家計経済研究所パネル調査研究報告書 No.4

# 女性の生き方と家計

## 消費生活に関するパネル調査（第16年度）

財団法人
家計経済研究所
The Institute for Research on Household Economics

家計経済研究所パネル調査研究報告書　No.4

# 女性の生き方と家計

## 消費生活に関するパネル調査（第 16 年度）

財団法人 家計経済研究所

# ま え が き

財団法人家計経済研究所は、平成 5 年から毎年、わが国で初めての本格的なパネル調査である「消費生活に関するパネル調査」を行ってきている。このたび、ここに第 16 年度調査の報告書（平成 21 年版）の報告書を刊行する。

パネル調査は、同一の調査対象者に対して継続して質問票に回答を求めるものであり、回答者個人の意識や行動の変化、その要因を時系列的に分析できるという、他の経済・社会調査には見られない際立った特徴を持っている。

本研究所のパネル調査は、第 1 年度（平成 5 年実施）には、全国各地の 24～34 歳の女性 1,500 人を無作為抽出したが、第 5 年度（同 9 年実施）には、24～27 歳の女性 500 人を加え、第 11 年度（同 15 年実施）には、さらに 24～29 歳の女性 836 人を加え、調査対象を拡大してきた。そして、第 16 年度目にあたる今回は、さらに 24～28 歳の 636 名の女性を全国から無作為に抽出し、対象者の年齢層をさらに拡大した。これにより、24～49 歳までの幅広い調査対象者を確保することとなり、様々な年齢層のコーホート比較など一層多様な分析が可能となると考えられる。

今回の報告書は「女性の生き方と家計」をテーマとしている。女性のライフスタイルのさまざまな変動を把握する上で、パネル調査によって得られるデータの分析は非常に有効であり、本書においてもさまざまな角度から分析が試みられている。読者の方々のご批判を仰ぐことができれば幸いである。

最後に、調査対象者の皆様、実地調査担当の社団法人中央調査社および調査員の方々に対し、心から御礼を申し上げる。

平成 21 年 10 月

財団法人　家計経済研究所
会　長　　塩野谷　祐一

# 目　次

**本書について**

**第Ⅰ部　第16年度「消費生活に関するパネル調査」の分析** …… 1

第1章 パネルデータにみる女性の生き方と家計
――消費生活に関するパネル調査（第16年度）について　（久木元 真吾） …… 3

第2章　均等後世代の女性のライフコース
――パネルデータによる検証　（坂口 尚文） …… 8

第3章 家族形成による家計管理・家計行動の変化について　（坂本 和靖） …… 18

第4章　離婚によって女性の生活はどう変化するか？　（村上 あかね） …… 37

第5章　若年女性の暮らしの変化
――1970年代後半と80年代前半コーホートの比較　（田中 慶子） …… 47

第6章　イベントヒストリー分析におけるパネル脱落の影響について
――「消費生活に関するパネル調査」における結婚の分析事例より（福田 節也） … 54

**第Ⅱ部　第16年度「消費生活に関するパネル調査」の概要** …… 65

調査の方法 …… 67
調査対象者の基本属性　（坂本 和靖・伊藤 ななえ） …… 81
単純集計データ …… 119

**執筆者紹介** …… 249

# 本書について

本書『女性の生き方と家計』は、財団法人家計経済研究所の継続調査研究プロジェクト「消費生活に関するパネル調査」の第 16 年度調査結果についての研究成果をまとめたものである。第 I 部に収めた研究成果論文は、いずれも財団法人家計経済研究所の機関誌『季刊家計経済研究』第 84 号（2009 年 10 月刊行）に掲載されている。各論文は、本書には掲載時のままの形で転載している。そのため、内容が執筆・発表時点のものである点に注意されたい。ただし、第 6 章（福田論文）は、初出時に他の論文とは異なる枠（「パネル論文」）で掲載されたため、第 1 章（久木元論文）において言及されていないので、留意されたい。

また、第 16 年度の「消費生活に関するパネル調査」の概要に関する資料を第 II 部に収録している。

2009 年 10 月

財団法人 家計経済研究所

# 第Ⅰ部

# 第16年度　「消費生活に関するパネル調査」の分析

第 1 章

# パネルデータにみる女性の生き方と家計
## ――消費生活に関するパネル調査（第16年度）について

久木元 真吾
（財団法人 家計経済研究所 次席研究員）

## 1. はじめに

財団法人家計経済研究所（以下、家計経済研究所）による「消費生活に関するパネル調査」は、1993年の開始以来毎年調査を実施しており、2008年の調査は第16年度調査にあたる。家計経済研究所では、これまで毎年の調査のたびに報告書をまとめてきた。第１年度から第12年度調査までは報告書を国立印刷局（旧・大蔵省［財務省］印刷局）から刊行してきたが、第13年度調査以降は、家計経済研究所の機関誌『季刊 家計経済研究』の秋号においてパネル調査の分析結果を発表している[1)]。この『季刊 家計経済研究』第84号では、第16年度の「消費生活に関するパネル調査」の結果に基づいた研究成果を特集としてまとめて掲載している。

## 2. 消費生活に関するパネル調査について

「消費生活に関するパネル調査」は、女性とその家族の生活実態を、収入・支出・貯蓄、就業行動、家族関係などの諸側面から明らかにすることを目的としている。最大の特徴は、同一個人に対して長期にわたり継続的に調査を行う、パネル調査という方法を採用している点にある。通常の調査は、調査を実施するたびに異なる対象者に対して調査を実施することになるため、前回と今回の調査結果の間に違いがあっても、それは集団レベルの変動であって、個人レベルの変動をとらえたことには必ずしもならない。同一個人の変動をとらえることは、同一個人を追跡するパネル調査を行うことによってはじめて可能になる。したがって「消費生活に関するパネル調査」は、女性とその家族の生活実態に関して個人レベルの変動をとらえることができるというメリットをもつものである。

この「消費生活に関するパネル調査」は、特に若年女性を調査対象として始まったものである。若年女性は、就職や転退職、結婚や出産・育児など、ライフスタイル上のさまざまな変動を経験する時期にあり、そうした変動を把握する上でパネル調査という方法は最も適切なものであるといえよう。

対象者の抽出は、現在まで４回行われている。第１年度（1993年実施）には、全国から無作為抽出された24～34歳の女性1,500人を対象として調査を開始した。その後、第５年度（1997年実施）に全国の24～27歳の女性500人を、第11年度（2003年実施）に全国の24～29歳の女性836人を、そして今回の調査である第16年度（2008年実施）に全国の24～28歳の女性636人を、それぞれ無作為抽出して対象者に追加している。この結果、第16年度（2008年実施）においては、対象者の女性は24～49歳という広い世代をカバーするに至っており、人数は全体で2,277人（うち有配偶者1,411人、無配偶者866人）となっている。

この号で検討する第16年度調査では、５年ぶりに新たな対象者の抽出・追加を実施した点が大きな特徴であり、20歳代の女性のデータが再び厚みのあるものになった。また、これで若年から中高

年にまでの約25年にわたる世代を把握できることになったことも重要な点である。

## 3.「女性の生き方」への社会的関心とパネルデータ

今回収録した「消費生活に関するパネル調査」の分析結果は、「女性の生き方と家計」をテーマとして執筆されたものである。上述したとおり、女性のライフスタイル上のさまざまな変動を把握する上で、パネル調査によって得られるパネルデータの分析は非常に有効である。その意味で「女性の生き方」にクローズアップすることは、調査のねらいとまさに一致することであり、その意味で今回に限らず、これまでのすべての調査年度においてこのテーマのもとで分析が行われていたということもできよう。そこでここでは、「消費生活に関するパネル調査」の分析が女性の生き方をとりあげることの背景を、より広い視点から考えることにしたい。

1972年に施行された「勤労婦人福祉法」が、女子差別撤廃条約批准のため改正され、通称「男女雇用機会均等法」として成立したのは1985年のことであった（施行は1986年）。これを受けて、各企業は1987年前後から、女性についても「総合職」を採用し始めた。つまり、女性であっても、昇進昇格・給与体系などに関して男性と同等の形で働くルートが開かれたのである。

男女雇用機会均等法の成立と施行は、たとえその実質的な内容にまだ課題が多々残されていたとしても、非常に重要な事実であった。特に「女性の生き方」という観点から考えるならば、女性が自らの生き方を選択するという契機が制度的に明確化されたという点において、均等法の成立と施行はひとつの画期をなすものであったといえよう。もちろん、そこには数々の留保が加わることを忘れてはならない。均等法以前の女性の生き方に「選択」の契機が皆無であったというわけではもちろんないし、また生き方の「選択」といっても、実際に女性たちに可能だったものが「選択」という語感に見合うようなものだったかは議論の余地があろう。さらに、そもそも本当に「選択」できた女性はごく限られた存在にすぎなかった可能性もあるかもしれない。しかし、そうした数々の点をふまえた上でなお、これまでになかった生き方のルートが制度的な裏打ちを伴って確保されたという点において、やはり「女性の生き方」にとって均等法がもっていた意味は決定的に大きなものだったと考えられる。

そして、均等法が女性の生き方にとってひとつの画期をなすものであったために、それを境にして「均等法世代」といった見方や言い方が生み出されることになった。ちょうどこの時期に学校を卒業していった女性たち、さらにはこの時期以降に卒業していった女性たちが、そのように一括されて取り上げられるようになった[2)]。「消費生活に関するパネル調査」の回答者の女性たちには、まさにこの「均等法世代」が含まれている。このような括り方をされることを通じて、この「均等法世代」の動向は社会的な関心を集めることになった。

ところで改めて考えてみると、選択というものは、選択する／したその瞬間だけですべてが終わってしまうとは必ずしも言い切れない。選択した結果、どのような展開が続き、どのような帰結がもたらされるのかということまで含めた上で、はじめてその選択をどう位置づけるか・どう評価するかが検討可能になる。したがって、均等法を機にして、女性の生き方の「選択」が社会的関心を集めたというときも、そこで関心が注がれているのは、単にどの選択肢が選ばれたかというだけではなく、どういう人がどういう選択をした／しなかったのか、その選択をした／しなかった結果、どのような帰結がもたらされたのかということまで含めてである。「選択」が可能になった世代の女性たちが、それぞれの「選択」を通じてどうなっていったかという、いわばその経験全体に対して社会的関心がもたれていると思われる[3)]。かくして、「均等法世代」の女性たちは、その「選択」だけにとどまらず、彼女たちがその後どのような人生を歩んでいったのかについても、常に社会的な関心の対象であり続けることになる。かつてあ

る週刊誌に「消費生活に関するパネル調査」の10年分の結果をもとに掲載された記事が、「均等法世代」とは言わないものの、「Hanako世代の10年――働き方と結婚、それぞれの選択」と題されていたのも、女性の生き方の「選択」とその「帰結」に関する持続的な関心があることを示している[4)]。

女性の生き方と「選択」をめぐる社会的関心は、さまざまなものが折り重なって構成されている。これからまさに「選択」を経験していくことになる若い女性たちが当事者として関心をもつこともちろんあるが、女性たちが置かれた環境をめぐっていかなる政策や支援が求められているのかを構想・立案する立場にとっても、関心の対象となるであろう。あるいは、純粋に社会科学的・学術的な関心もありうるだろう。しかし、そのいずれであっても、生き方をめぐる「選択」とその帰結を、「世代」という観点を意識しながらとらえようとするものである点は共通している。そして、パネルデータというデータの形式は、こうした関心にまさに応えることができるものである。

以上、特に均等法をとりあげて述べてきたが、女性の生き方にとって画期となったものを他に挙げることもできるだろう。ただ、ここで確認しておきたいのは、女性の生き方と「選択」というトピックがクローズアップされるようになったということであり、そこで生まれてきた関心に対してパネルデータが有効な貢献を果たせる可能性があるということである。おそらく他の契機であったとしても、生き方をめぐる「選択」とその帰結を、「世代」という観点を意識しながらとらえるという点では同様であろう。

## 4. 各論文の内容

以上のような背景のもとに、本号では「消費生活に関するパネル調査」のデータをもとに、「女性の生き方」をめぐって、特に家計経済研究所の当初からの関心領域である「家計」との関連を視野に入れつつ、いくつかの角度から分析を試みる。まず、坂口尚文「均等法後世代の女性のライフコース――パネルデータによる検証」は、1986年の均等法施行時に、学卒時に22歳以上であったか、それ以下であったかという区分で35歳までのライフコースに違いがあるかを調べたものである。分析の結果からは、35歳まで就業を継続している層が増加していることが明らかとなった。常勤の職員で働き続けている層も増えているが、一方で未婚が続いた結果、就業を続けているものが一定数いることがうかがえる。35歳で未婚状態にある者の多くは、必ずしも常勤職に就いているわけではない。このことは、仕事も不安定であり、結婚の意思があるにもかかわらず未婚状態のままにいる「仕事と生活の両立」以前ともいうべき層が、一定数いることを示している。均等法の施行や高等教育進学率の上昇により、女性が働く環境は大きな改善がなされてきたとはいえ、比較的低い賃金の職にしか就けない女性が、女性労働力の多数を占めている現状には変わりない。かつては低賃金・不安定雇用であっても、結婚により比較的若い時期に親から夫という生活保障の切り替えがなされていたが、今後、晩婚化や生涯未婚率が高まればそのような切り替えがなされず、また親の高齢化にともない、場合によっては女性一人で複数人の生活を支えなければならなくなる可能性もあると指摘している。

坂本和靖「家族形成による家計管理・家計行動の変化について」は、結婚・出産といった家族形成イベント前後に、世帯がとっている家計管理方法や家計行動がどう変化したかについて考察している。結婚直後における特徴をみると、片働きタイプの「手当タイプ」・「委任タイプ」が減少し、その分、共働きタイプのうちの「扶養タイプ」（夫妻ともに働き、夫が収入を共通の財布に拠出するが、妻は拠出しない）と「支出分担タイプ」（夫婦ともに働き、光熱費などの共同生活にあたって必要な経費以外は、すべて各人が自己管理している）が増加している。この「支出分担タイプ」という、共同の家計を担っているとは言い難い類型が増加していることは、個計化の傾向が先鋭化して表れているといえる。次に出産前後における特徴をみると、共働きタイプから片働きタイ

プ（「手当タイプ」「委任タイプ」）への移行が目立つ。また互いが独立して財布を管理していた「支出分担タイプ」は、出産を境に半分以上が共通の財布を持つようになっている。若いカップルに子どもが生まれると、分離経済から共同経済に変化していくという点がここでも確認された。

村上あかね「離婚によって女性の生活はどう変化するか？」は、女性の働き方と家計に焦点を当てて、離婚が女性の生活にどのような影響をもたらすかを検討している。分析結果から、次の４点が明らかになった。(1) 有配偶者や未婚者と比べると、離死別者は働いていても経済的に苦しい。(2) そもそも離別女性は離婚の前から収入が少なく、預貯金も少ない。(3) 離婚後、働きに出るなどして女性個人の収入や預貯金は増えるが、離別女性や子どもの生活を安定させ、子どものライフチャンスや女性の老後を支えるに足る十分な収入を得ている女性は少ない。この背景には、(4) 離別女性は学歴が低く、専門職従事者も少ないことがある。以上の内容は、女性が経済的に自立するようになったので離婚が増えたとする説明に、疑問を投げかける結果となっている。先行研究が示すように、離別者の夫も社会的に不利な状況にあることが多く、財産分与や養育費なども多くの場合は期待できない。したがって、(5) 離婚後の生活に対処するための資源としては、「親」が重要な存在になる。離婚後、親と同居する女性の多くは持家に住んでいる。この結果は、離別家庭における子どもだけではなく、離別女性自身の生活にも注目する必要性を示唆している。ただし、離別者全員が親に頼れるわけではもちろんないため、頼る先を持たない離別者も含め、社会全体で離別者を支える仕組みが求められる。

最後に、田中慶子「若年女性の暮らしの変化――1970年代後半と80年代前半コーホートの比較」では、第16年度調査から新たに追加されたコーホートD（1980年代前半生まれ）について、コーホートC（第11年度調査より追加、1970年代後半生まれ）との比較から、若年世代の家族や職業、意識の特徴を明らかにしている。単純な集計の比較からコーホートDの特徴として次の４点を指摘している。①親の年収が低下し、単身世帯が増えるなど「非パラサイト化」している。②高学歴化し、４年制大学もしくは専門・専修学校卒が増加している。③非正規での就業が増え、一度は非正規を経験する者が半数近くになる。④生活意識は非常に肯定的で、結婚意向も強い。

以上から浮かび上がってくるものをあえてまとめるならば、「人とのつながり」という論点の重要性である。どの分析においても、直接ないしは間接的に、女性たちが有する（有していない）人とのつながりが重要な背景になっていることが示唆されていると思われる。「女性の生き方と家計」をめぐって考えることが、「人とのつながり」の現在について考えることと同じ根をもつ問題であるということを、今回の「消費生活に関するパネル調査」の分析は含意しているのではないだろうか。

## 5. 用語について

最後に、以下の分析で用いられる用語について簡単に整理しておく。

「消費生活に関するパネル調査」の略称として「JPSC」という表現を用いることがあるが、これは英語の調査名（Japanese Panel Survey of Consumers）に由来している。1993年に実施された「消費生活に関するパネル調査」の第１年度調査を、以下では「パネル１」とよぶことがある。このよび方にしたがえば、2008年に実施された第16年度調査は「パネル16」ということになる。

また、「消費生活に関するパネル調査」では、上述したように３度にわたり対象者の抽出を行っている。以下では、第１年度（1993年）に抽出した対象者、第５年度（1997年）から追加された対象者、第11年度（2003年）から追加された対象者、第16年度（2008年）から追加された対象者を、それぞれ「コーホートA」「コーホートB」「コーホートC」「コーホートD」とよぶ。ちなみに第16年度調査の時点では、コーホートAは39～49歳、コーホートBは35～38歳、コーホートCは29～34歳になっている。コーホートDは上述のとおり24～28歳である。

配偶状態に関しては、「有配偶」、「無配偶」、「新婚」という３つの用語を用いる。それぞれ、「配偶者がいる者」、「未婚、あるいは離婚、死別により配偶者がいない者」、「パネル15では無配偶であったが、パネル16では有配偶である者、もしくはこの１年の間に離婚と再婚があった者」という意味である。また、「＊＊継続」（例えば、有配偶継続、同一企業継続、同居継続）とは、特に断りのない限りパネル15・パネル16の状態についての表現であり、それ以外の期間の状態を表すものではない。

なお、ここで「学歴」として用いるものは、原則として卒業あるいは修了した場合の最終学歴をさしている。たとえば「中学」は、中学卒業者と高校中退者をさしている[5)]。

**注**

1) 最近のものとしては、財団法人家計経済研究所編（2007; 2008）がある。いずれも、『季刊家計経済研究』第76号（2007年）および第80号（2008年）に掲載されたパネル調査の分析結果に加えて、調査実施の概要や対象者の基本属性に関する資料などをあわせて収録したものである。

2) 早い例では、1986年12月１日の読売新聞朝刊の記事で、在学中の女子大学生が「“均等法世代”といわれる彼女たち」と呼ばれている。また1987年11月19日付の日本経済新聞夕刊の記事には、「プレ均等法世代」という表現がみられる。

3) このことは、女性たちが仕事をめぐる経験を語る言葉の中に、下の世代に自らの経験を伝えていこうという契機がしばしばみられることと関連している可能性がある。一例として、日本能率協会マネジメントセンター編（2009）。また雑誌『日経ウーマン』に連載されているコラム「妹たちへ」も同様の例といえよう。

4)『Yomiuri Weekly』第63巻第33号（2004年８月８日号）。なお同誌は、第63巻第38号（2004年９月５日号）・第63巻第45号（2004年10月24日号）でも、「消費生活に関するパネル調査」の結果に基づいた記事を掲載している。

5) なお、学歴をこのような内容に定めたのは第３年度調査の報告書以降であり、第２年度調査の報告書では最終学歴に中退者も含めている。

**文献**

財団法人家計経済研究所編，2007,『生活時間にみる暮らしの実態と意識――消費生活に関するパネル調査（第14年度）』財団法人家計経済研究所.

――――編，2008,『制度変更と家計――消費生活に関するパネル調査（第15年度）』財団法人家計経済研究所.

日本能率協会マネジメントセンター編，2009,『私の仕事道』日本能率協会マネジメントセンター.

くきもと・しんご　財団法人 家計経済研究所 次席研究員。社会学・生活経営学専攻。

第 2 章

# 均等法後世代の女性のライフコース
## ――パネルデータによる検証

坂口 尚文
（財団法人 家計経済研究所 研究員）

## 1. はじめに

男女雇用機会均等法（以下、均等法）が1986年に成立し、20年以上が経過した。この20数年間で女性の就業には大きな変化がみられた。女性の雇用者数は増大し、均等法以前は女性があまり進出していなかった職業、職域においても女性の活躍が目立つようになっている。さらに1992年には育児・介護休業法が施行されるなど仕事と家庭の両立支援策も拡充され、法制度上は女性が長い期間働き続けられるような環境が整えられてきた。また、徐々にではあるが着実に男女の賃金格差も改善され、長年勤め続けるインセンティブも高まりつつある。女性の就業環境が改善され始めたことは、女性のライフコースにおける就業の相対的な位置づけを高めた。若年期に直面する重要なイベントには、就学、就業、結婚、出産がある。これらのイベントは、経験する・しないを含めてライフコース上の重要なイベントであることに変わりはない。ただ、均等法成立以前の時期は多くの女性にとって結婚や出産が、就業の時機や期間を大きく規定していたが、1990年代以降は、働き方への選好が、結婚や出産の時機や間隔に影響を与えるという関係もみられる。つまり家族領域だけでなく、職業自体を核としてライフコースを構成していくパターンが普及し始めていく。就業の位置づけが相対的に上昇したことは、就業期間を長期化させ、晩婚化、生涯未婚率の上昇、出生率の低下など、人口学的な変化として全体に影響が表れている。

就業に軸をおくライフコースのパターンが増え始めたとする統計的な根拠は、「労働力調査」「就業構造基本調査」など、横断面データを時系列でつなぎ合わせた結果に基づいている。横断面データでは、多くの人がたどっているであろうことは類推できても、個々人が実際にどのような軌跡をたどってきたのかを正確に知ることは難しい。

そこで、本稿ではパネルデータである「消費生活に関するパネル調査」（以下、JPSC）を用いて均等法施行前後で女性のライフコースがどのように変化したのか、就業を軸に結婚・出産に注目しながら明らかにする。具体的には、1959～1964年生まれと1965～1973年生まれの２つのコーホートを対象に、35歳までのライフコースを比較する。そして、均等法後の女性の就業に対する意識とその後のライフコースとの関連について検討する。

## 2．JPSCによるライフコース分析

### （1）JPSCによるライフコース研究の意義と限界

パネル調査という手法はライフコース研究のデータとして最適なアプローチの一つとされている。大まかな状態の推移を調べるだけであれば、ある時点で過去を振り返ってもらう回顧調査でも、遡及して情報を収集することは可能である。パネル調査でライフコースをたどる利点は、その正確性にある。特定の時代、時期にどのように考えていたかといった意識面を時間が経ってから回顧で捕捉することは困難である。

**図表−1** 分析対象数と学歴構成比

| | 1959〜1964年生まれ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 大学 | 短大 | 高校 | 専門 | 合計 |
| 人数 | 59 | 112 | 234 | 108 | 513 |
| 構成比 | 12% | 22% | 46% | 21% | 100% |
| 残存率* | 90% | 90% | 93% | 92% | 92% |
| | 1965〜1973年生まれ | | | | |
| | 大学 | 短大 | 高校 | 専門 | 合計 |
| 人数 | 111 | 179 | 345 | 152 | 787 |
| 構成比 | 14% | 23% | 44% | 19% | 100% |
| 残存率* | 72% | 78% | 77% | 79% | 77% |

*使用した学歴ごとの人数を当該学歴をもつ初回調査の対象者で割ったものである。就業状態の無回答や調査からの脱落により値は減少する

JPSCは、初回調査の対象を20歳代後半から30歳代前半の女性に限定してサンプリングを行っている。女性に限定するという対象設定がなされた背景には、消費の実態を明らかにする際、日本では女性の方が世帯の家計を管理している傾向が強く、その分、支出などについて正確な値が得られるだろうというねらいがあった。ただし、それだけにとどまらず、女性のライフコースを追跡し、その実態を明らかにすることも明確な調査目的であった。20歳代以降の女性は、結婚、出産、子育てあるいは離転職など、短期間にさまざまな「変化」を経験する。まさにその時期が調査の開始時点であり、それらのイベントのタイミングやイベント前後にどのような変化があったかをJPSCでは鮮明に把握できる。またJPSCは結婚だけ、あるいは出産だけといった１つのイベント前後の変化に特化した調査ではない。各イベントには、相互に連関がある。例えば、就業期間の長期化が結婚の時機に影響を与え、そのことがさらに、その人の子どもの数に影響するといった具合である。このようにJPSCでは、１つのイベントを契機としてその後のイベントがどのように展開するかをつなぎ合わせることができる。

もちろん、パネル調査によるアプローチにも欠点はある。一定の率で回答者が調査からの脱落してしまうことである。結婚や離婚などにより調査が継続しなければ、結果にバイアスが生じることになる。しかし何よりも大きな欠点は、結果が得られるまでに時間がかかるということである。その人の30年の人生をたどるには30年の歳月が必要である。JPSCは1993年に調査を開始し、2008年現在ですでに16カ年分のデータが蓄積されている。種をまいてから長い時間が経ち、女性の就業や結婚・出産の経過をたどるのに十分なデータ量がある程度そろった時期といえる。また、パネル調査にかぎらず、一般に社会調査は時間可塑的ではない。その時代に調査をしていなかったら、データによる実態の再現は極めて困難である。JPSCは初回調査が均等法施行から数年がたっていたとはいえ、開始時期が均等法施行の年にもっとも近いデータであり、入職時に均等法を経験した層の結婚、出産の動向については概ね捕捉が可能である。JPSCは標本を全国レベルで無作為に抽出しているパネル調査であるため、ある学校の卒業生といった特定の層だけでなく、日本の女性の生き方を記述することが可能となる。このような観点から、JPSCは均等法が女性の就業に与えた影響をみるのには最適なパネルデータであるし、またJPSCにしかできないテーマを数多く含んでいるともいえる。

### (2) 使用するデータ

コーホートA（1959〜1969年生まれ）およびコーホートB（1970〜1973年生まれ）の対象者が18歳から35歳までのデータを用いる。今回は通常のJPSCを用いた分析とは異なり、調査年ベースではなく年齢を基準にデータセットを作成している。36歳以降のデータは、原則使わないことになる。実際の調査年では、コーホートBで最も若い1973年生まれの対象者が35歳になる2008年の調査（パネル16）まで使用している。

初回調査時の年齢が対象者によって異なるため、使える調査の数は異なってくる。例えば24歳から調査に参加している対象者では12カ年分用いることができるが、29歳から参加した対象者では7カ年分しか使用できない。調査以前の情報については、就業状態をはじめ、回顧により遡及してデータを収集しているものもある。

今回の分析では、均等法施行時の年齢を基準にして対象を1959〜1964年生まれと1965〜1973年生まれの２つに分割しその比較を行う。それぞれの

**図表−2** 就業率

| | 1987年 | 1992年 | 1997年 | 2002年 |
|---|---|---|---|---|
| 25〜29歳 | 59% | 64% | 60% | − |
| 30〜34歳 | − | 56% | 60% | 55% |
| 参考（就業構造基本調査） | | | | |
| | 1987年 | 1993年 | 1997年 | 2002年 |
| 25〜29歳 | 54.3% | 62.1% | 64.3% | 68.7% |
| 30〜34歳 | 49.4% | 53.6% | 54.4% | 56.8% |

**図表−3** 分析対象の35歳時点での未婚率

| 1959〜1964年生まれ | 1965〜1973年生まれ |
|---|---|
| 10% | 19% |

| 参考（国勢調査･女性） | | | |
|---|---|---|---|
| | 1995年 | 2000年 | 2005年 |
| 30〜34歳 | 19.7% | 26.6% | 32.0% |
| 35〜39歳 | 10.0% | 13.8% | 18.4% |

人数、およびその学歴構成を図表−1にまとめた。使用する項目に無回答があったもの、あるいは34歳までに調査から脱落したケースなど、35歳までのデータが完全に揃わないケースについては、データセットから除外している（データの詳細は後述する）。コーホートAの年長層では、調査開始時点で30歳を超えており、その分、35歳までの調査回数が少ないため、コーホートA年少層とコーホートBの残存率よりも高くなっている。コーホートA年少層とコーホートBの35歳までの残存率はどの学歴でも70%台であるが、若干、大学の残存率が低くなっている。

今回のデータセットと他の官庁統計を比較したものが図表−2と3である。図表−2は各時点、各年齢層の就業率を「就業構造基本調査」の有業率と比べたものである。「就業構造基本調査」に比べると、総じてやや高い値が得られている。JPSCでは対象者の結婚、出産により回答継続が困難になりやすいので、調査開始時にすでに結婚、出産を経験している対象の方が調査に残りやすい傾向がある。また出産を終えて時間が経った対象は再就業し始めている割合が高いため、結果として各年齢層での就業率は実態より上がりやすくなる。ただ、本稿の焦点は継続就業を選択したか、あるいは専業主婦になることを選んだかといったライフコースの追跡にある。20歳代後半から30歳代前半で4割前後が非就業状態にある結果が得られたことは、出産・子育て期の就業―非就業の状態推移を最低限担保するものといえる。

図表−3は35歳時点での未婚率を示したものである。1959〜1964年生まれでは10%、1965〜1973年生まれでは19%と後年コーホートの方が高く、未婚化の動向を確認できる。「国勢調査」と比較してもほぼ同じで、本稿の分析対象者は、コーホート全体の動向を反映したサンプルであることを確認できる。

今回、35歳までという年齢に限定したのは、分析対象を一定数確保するという、データの制約面からの消極的な理由が大きい。出産やその後の再就職のことを考慮すれば、40歳代まで対象を広げるべきであろう。有業率のM字カーブがその左側の頂点から谷へと落ちる時期を、このデータセットでは最低限捉えている。なお、JPSCの質問形式や就業についてのやや技術的な留意点は、本稿の最後にまとめたのでそちらを参考にしてほしい。

### (3) ライフコースの分類について

女性のライフコースの分類については、国立社会人口問題研究所の「出生動向基本調査」で示された5つの分類、すなわち「（結婚と仕事の）両立」、「再就職」、「専業主婦」、「非婚就業継続」、「DINKS」が代表的である。本稿では、「両立」、「非婚就業継続」、「DINKS」をいったん統合し、結婚、出産を問わない「就業継続」を設ける。したがって、就業を軸に、「就業継続」、「再就職」、「専業主婦」の3パターンに分類した。今回は35歳の軌跡までしか追っていないため、結婚、出産を経験していない対象については、35歳以降それらのイベントが発生する可能性がある。なお「就業継続」の女性については、必要に応じて細分類して分析を行う。

以下に、本稿における各コースの定義を説明する。

1）「就業継続」は、学校卒業後、原則、35歳まで毎年就業していた者である。休職中の状態も就業として扱っている。

2）「再就職」は35歳までに結婚して、いったん、専業主婦として 非労働力化し、その後35歳までの間に働き始めるパターンである。就業期間、専業主婦であった期間の長さについては問わない。子どもを 2 人以上産むなどして、再就職の後も、また専業主婦に戻るケース。そこから、さらにもう一度就業するケースもある。今回はすべて同一視し、35歳までに 1 度でも就業→専業主婦→就業のパターンをとっていれば「再就職」として扱っている。

3）「専業主婦」は、就業後、専業主婦となり、35歳までそのまま一度も就業を行わないパターンである。専業主婦であった期間の長さは問わない。極端な場合、34歳まで働きつづけ、35歳で 1 年間だけ専業主婦になった場合も、専業主婦として分類することになる。

本稿の分類では、以下のような留意点（限界）がある。第 1 に、本稿では各年の就業状態で、「専業主婦」との回答があるかどうかがライフコースを分けるポイントとなる。期間中に「その他無職」や「学生」といった無業の期間があっても、それはライフコース分類の対象にしていない点である。もちろん、人々の人生全体を考えた場合、失業を経験することや、未婚期に非労働力化し、いわゆる家事手伝いやニートと呼ばれる状態に移行することは、その後のライフコースに大きな意味をもつと考えられる。ただ、本稿の主眼は、結婚、出産期における就業コースを明らかにすることにある。状態を一つ増やすことは、その組み合わせ的効果により、取りうるライフコースの数は急激に増加する。そのため、若年期における無業の意味づけについては、別の機会にあらためて論ずることにする。

第 2 に、「35歳までのライフコース」という設定の含意である。区切りの35歳という年齢が、対象者によっては子育ての最中であり、就業を再開していない時期にあたることである。結果として、実際にたどった／たどるであろうライフコースより「専業主婦」を過大に、「再就職」を過小に評価してしまうことには留意していただきたい。また、35歳以降であっても結婚、出産を契機に離職することは十分に考えられるので、「就業継続」についてもその割合を過大に評価している可能性がある。

第 3 に、調査期間中に離婚している対象については、専業主婦と回答した期間があれば、離婚後にそのまま無職が続けば「専業主婦」として、再び就業していれば「再就職」として扱っている。専業主婦と回答した期間がなければ、就業継続とみなしている。

このような点を留意した上で、以下では分析結果を検討していく。

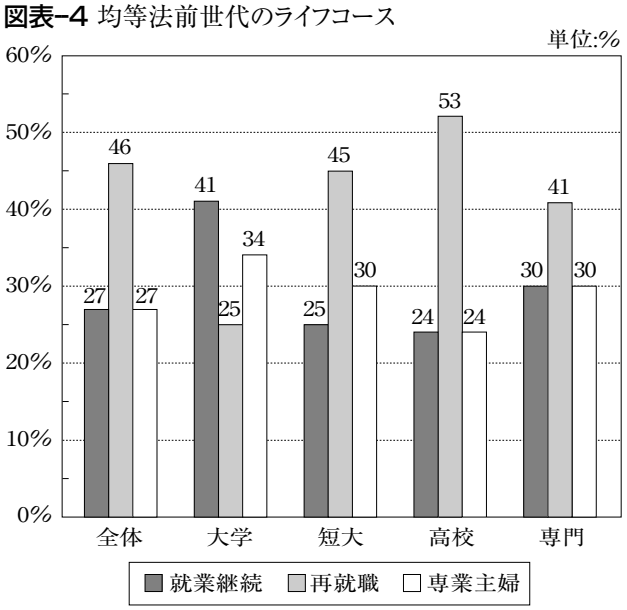
## 3．均等法以前と以後でライフコースはどのように変わったか

### (1) ライフコースの変化

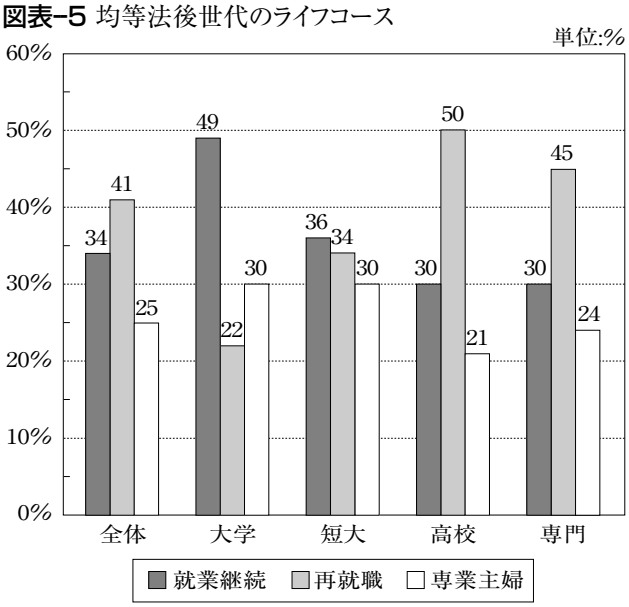
1986年に施行された均等法により、女性がたどるライフコースは変化したのだろうか。均等法の影響を知る、最も直接的な方法は法律の施行前に労働市場に参入した世代と施行後に参入した世代を比較することである。今回は、均等法の施行前に22歳を迎えたコーホートＡの年長層（1959～1964年生まれ）と、施行後に22歳を迎えたコーホートＡ年少層（1965～1969年生まれ）＋コーホートＢ（1970～1973年生まれ）の 2 つに対象を分けて、35歳までのライフコースの違いをみる。厳密には学歴によって労働市場に参入する時期は異なるが、今回は22歳という年齢だけを基準として対象を分割している。

以降、便宜的にコーホートＡ年長層を「均等法前世代」、コーホートＡ年少層＋コーホートＢを「均等法後世代」とよぶ。もちろん、均等法は雇用者全体を視野に入れた法律であるから、施行前に参入した世代であっても、働き続けていれば、様々な場面でその恩恵を受けることになる。よって、参入時期だけで単純に世代を区分したこの方法は、正確には学卒採用時に男女均等待遇の保証があったことが、ライフコースに違いを与えたかということになる。また、均等法後世代は法律の理念が浸透し始めてきた時期に、結婚、出産期を

**図表−4** 均等法前世代のライフコース




**図表−5** 均等法後世代のライフコース




注: 小数点以下四捨五入のため合計が100にならないケースがある（以下同）

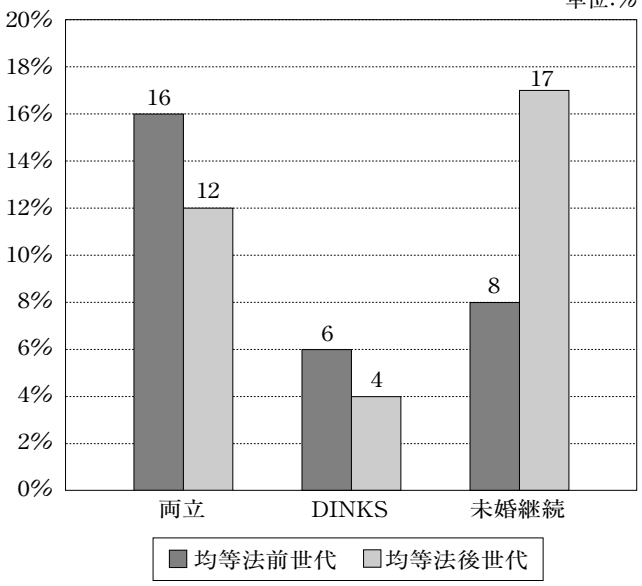
迎えた世代であるともいえよう。均等法後世代は企業での女性の採用が拡大されたことにより、当該期の不利益取扱いについて多数で是正を主張できた世代である。

まず、比較のベースとしての均等法前世代のライフコースパターンをみてみよう（図表−４）。全体の傾向をみると、「再就職」の割合が46%と最も高く、「就業継続」と「専業主婦」が27%と同程度を占めている。年齢別にみた女性の就業は、20歳代後半から30歳代にかけて非労働力化が進み、30歳代半ばを谷にして再び仕事に就いている人の割合が増加する、M字カーブの軌跡を描くことが知られている。７割以上の女性が35歳までに非労働力化を一度は経験する「再就職」と「専業主婦」のコースをたどることや、さらに、非労働力化したあと再び労働市場に戻る「再就職」コースの割合が46%と最も高い今回の結果は、M字カーブの軌跡と整合的なものといえる。

図表−４に戻り、結果を学歴別にみてみると、短大、高校、専門については、全体の傾向と同様に「再就職」の割合が高い。なかでも高校では「再就職」の割合が53%と全体の中で最も高くなっている。短大と専門も同様に再就職の占める比率が高く、これらの学歴ではM字のライフコースをたどったことが分かる。一方で、大学のライフコースの構成比は全体の傾向と顕著に異なっている。大学では「就業継続」の割合が41%と最も高くなっている。さらに「専業主婦」の割合が34%と、他の学歴では最も割合の高かった「再就職」の割合よりも高い値を示している。均等法前世代の女性が大学を卒業して数年たった、1987年の「就業構造基本調査」によると、大学・大学院卒女性の有業率の軌跡は、20歳代後半から30歳代前半にかけて有業率が急速に減少し、30歳代後半以降もさほど回復しない「きりん型」と呼ばれる軌跡を描いている。「専業主婦」の占める割合が「再就職」の割合よりも高い結果は、個人を追跡したパネルデータでみても均等法前世代の大卒女性が「きりん型」の動きをたどったことを示している（厚生労働省 2008）。

それでは均等法後世代では、ライフコースに違いが表れているのだろうか。図表−５は均等法後世代のライフコースを示したものである。全体の傾向を見てみると、「再就職」の割合が41%と最も高いことには変わりはない。しかし均等法前世代に比べて、５%ポイントほど低く、相対的な割合は減少している。逆に、「就業継続」の割合は７%ポイント伸びて34%となっている。学歴別に見ても、専門を除いて、「就業継続」の割合が進展していることがわかる。大学で８%ポイント、短大で11%ポイント、高校が６%ポイントの伸びを示している。また、専門も割合自体は減少して

**図表−6**「就業継続」の内訳（全体に占める割合）




いない。特に短大のライフコースの構成割合は大きく変化していて、僅差ではある「就業継続」の占める割合（36%）が「再就職」の占める割合（34%）を上回り、３つのパターンの中で最も高い割合となっている。均等法後世代が18歳を迎えた1983〜1991年の短大進学率は20%台前半で推移しており、10〜15%で推移していた大学進学率を一貫して上回っていた。この時期、学歴構成上、高い位置を占めていた短大のライフコースが、均等法施行以降に大きく変化したことは注目すべきであろう。

「就業継続」コースをたどった人を、さらに「両立」、「DINKS」、「未婚継続」の３分類に分け、対象者全員に占める割合をみてみた（図表−６）。

それぞれの定義は、「両立」が就業を継続していて、かつ結婚していて子どもがいる者、「DINKS」は結婚してはいるが、子どもがいない者、「未婚継続」は結婚していない者である。国立社会保障・人口問題研究所の「出生動向基本調査」の「非婚継続就業」は就業を続けるため、あるいは続けた結果の未婚を想定しているのに対し、本稿の「未婚継続」は35歳までに、結婚をしていなかったという事実だけである。なお、離婚経験のある者はいずれにもカウントしていない。

**図表−7**「未婚継続」者の学歴構成

| | 大学 | 短大 | 高校 | 専門 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 均等法前世代 | 13% | 21% | 49% | 18% | 100% |
| 均等法後世代 | 24% | 29% | 33% | 14% | 100% |

さて、図表−６をみると「未婚継続」の割合が元の水準に比べて大幅に増加している。今回は35歳までの状態で評価しているため、晩婚化の影響が大きく表れている。20歳代後半から30歳代にかけての近年の労働力率の上昇が、未婚率の上昇に起因する部分が大きいとした厚生労働省（2008）の試算と同様の結果が得られている。

「未婚継続」者の学歴構成をみたものが図表−７である。図表−７をみると大学、短大の割合が増加している。図表−１でみた全体の学歴構成と比較すれば、大学、短大での35歳時点での未婚率が高まっていることが分かる。ただし、構成上の比率は落ちたものの、依然として高卒が多数を占めている。

図表−８は、データがとれる均等法後世代について、「未婚継続」者の35歳時点の結婚意向を調べたものであるが、「したくない」、「必ずしもしなくてよい」が合わせて３割程度であり、残り7割のものは結婚の意思があることになる。本稿の「未婚継続」は、必ずしも生涯非婚という選択肢を望んでいるわけではないことがうかがえる。

### (2)「就業継続」者の常勤比率

ライフコースのコーホート比較からは、「就業継続」のコースをたどる人の割合が増加していることが分かった。それでは、「就業継続」者の職業の中身や安定性についてはどう変化したのだろうか。一つの指標として、学卒後、一貫して常勤職だった者が「就業継続」に占める割合を計算してみた（図表−９）。JPSCでは、雇用者の職務について、「１　常勤の職員、従業員」「２　パート、アルバイト」「３　嘱託・その他」でたずねている。このうち、学卒後の就業履歴が一貫して「常勤の職員、従業員」であった者である。学卒後の職業履歴に無職、再就学の期間がある者、自営・家族従業者の期間がある者は分母には計上し

**図表−8**「未婚継続」者の35歳時点での結婚意向（均等法後世代）

| 結婚が決まっている | すぐしたい | いずれはしたい | 必ずしもしなくてよい | したくない |
|---|---|---|---|---|
| 5% | 26% | 40% | 27% | 2% |

たが分子には計上していない。派遣労働者については、2004年の調査（パネル12）以降、別途設問を立てて聞くまでは完全に識別できない。また回顧による遡及データでも、識別できない。2002年調査（パネル10）までのコードとしては、「常勤の職員、従業員」か「嘱託・その他」に該当すると思われるが、どちらに回答したかは回答者に依存している。

学歴全体に占める比率は、均等法前世代の26%から後世代の31%と５%ポイントほど上昇している。学歴別にみると、最も伸びが大きかったのが専門においてであった。短大についても、３%ポイントほどの微増である。しかし大学については常勤継続の割合が低下している。その理由として職業の質が変わってきたことがあげられる。均等法以降は大卒女性の職種が広がってきている。大卒女性の選択する職種としては「教員」の相対的な位置が高かった。比較的、常勤職で仕事を続けやすい職種といえる。文部科学省の「学校基本調査」によれば、職業別に大卒女性の就職者構成比をみると、1985年の調査では「教員」の占める割合が27.4%を占めていたが、1990年には18.1%、1995年には10.0%にまで大幅に減少している。一方で、教員に比べて各人間で仕事の内容が多様で、教員に比べると総じて雇用保障が低いと考えられる事務従業者の割合は増加し、1985年の39.1%から、1990年には43.3%、1995年には49.3%と増加している。また同様に販売業に従事する者の割合も1985年の7.8%から、1990年の9.6%、1995年の14.5%と着実に増加している。特定の職業（職種）以外にも継続就業できる職業の裾野が広がったといえよう。さらに、先にみたように大学では均等法後に分母にあたる「就業継続」の割合が大きく増加したため、常勤継続者の人数自体は増加している。そのことが学歴全体での常勤継続者の割合が増加したことにも寄与している。また、均等法前と後の両方で最も高い常勤比率を示している。高校についても常勤者の比率は３%から７%と４%ポイントほど増加している。

「就業継続」に占める常勤比率は均等法後世代で高まったが、「就業継続」のライフコースに占める「未婚継続」の割合も均等法後で大幅に高まっていた。この両者の動きは、女性が仕事を続けるために未婚のままであったことを意味しているのだろうか。図表−７でみたように、「未婚継続」の学歴別内訳は大学、短大の占める割合が上昇しているものの、依然として高校が占める割合が高かった。高校については、その９割以上が常勤職での仕事を継続しておらず、他の学歴に比べて低い常勤割合を示している。「未婚継続」の一定層は、勤続年数が職の内容や賃金に反映されやすい常勤職を継続していないことが類推できる。つまり、均等法後世代の女性は職業上のキャリアを積むような仕事を継続している層もいる一方で、その多くは未婚が続いている結果として労働市場に残っている可能性を示唆している。このことを検証するには、「未婚継続」者がもとより仕事志向であったかどうか、その意識面を調べればよい。均等法後世代は結婚や出産の時期に仕事とどのようなかかわりを持ちたいと考えていたのか、次節では対象者の意識とたどったライフコースの関係をみてみる。

## ４．出産・子育て期の就業意向

出産・子育て期における就業希望に関する項目として、JPSCでは特定の調査年に「出産や育児のとき、仕事をどうなさいますか」という調査を行っている。次の４つの選択肢、「今、やっている仕事を続けたい」、「今やっている仕事はやめ、もっと時間の短い仕事をやりたい」、「今は仕事をやっているが、そのときには仕事を一切やめたい」、「今も仕事をやっていないが、そのときにも仕事をやるつもりはない」から選ぶ質問を行って

**図表-9**「就業継続」に占める
一貫して常勤職だった者の割合

| | 均等法前世代 | 均等法後世代 |
|---|---|---|
| 全体 | 26% | 31% |
| 大学 | 67% | 56% |
| 短大 | 43% | 46% |
| 専門 | 25% | 37% |
| 高校 | 3% | 7% |

網かけは対象の数が30を切るもの

いる。当該質問を行ったのは、コーホートAでは自身の第２回の調査にあたる1994年調査（パネル２）、コーホートBでは自身の初回調査にあたる1997年の調査（パネル５）である。コーホートAでは25歳から30歳に、Bでは24歳から27歳にあたり、ほぼ20歳代後半での意識をたずねたことになる。年齢的に有配偶女性の場合は、調査時点で出産、子育て中のこともあり、将来の意向よりも現在あるいは過去の状況を結果的に回答している可能性がある。そのため調査時点で無配偶の女性に限定して今回は集計を行った。均等法前後の比較ができればよかったが、均等法前の世代では調査開始時30歳を超え、妥当なデータが得られないので、分析は均等法後世代だけについて行っている。

図表-10は、「今、やっている仕事を続けたい」、「今は仕事をやっているが、そのときには仕事を一切やめたい」と回答した者が、35歳時点までにどのコースをとったか、その割合を示したものである。仕事を続けたいと回答した人のうち、63%は「就業継続」のコースを、また21%は「再就職」のコースをたどっている。就業意向をもっていた者の多くが仕事を続けていたことが分かる。「仕事を一切やめたい」と回答していた人については、33%の人が「専業主婦」化している一方、45%の人が「就業継続」になる。どのように解釈すればよいか、判断が難しい結果が得られている。

ただし、当初から出産・子育て期に労働市場から退出しようと考える人の多くは、調査時点ですでに結婚していた可能性がある。この仮定が成り立つ場合、今回の算出では調査時（20歳代後半）に有配偶であったものを除外したために、「再就職」「専業主婦」に人数が計上されずバイアスが発生している。そこで、調査時無配偶という条件をそのままに、35歳でたどりついたコース別に、結果の方から当時の意識をみてみると違った側面が浮かび上がってきた。図表-11はライフコースごとに出産・子育て期の就業意向についてみたものである。「就業継続」では、どの回答もほぼ同じ割合となった。「就業継続」については、「両立」と「未婚継続」とさらに分けると違いがはっきりする。「両立」では「仕事を続けたい」と回答する割合が64%と高い値を示しており、「もっと時間の短い仕事をやりたい」と回答した人21%を合わせると、85%が出産・育児に経験する前から就業継続の意向を持っていたことになる。ただし、「一切やめたい」と答えた15%の者は、何らかの理由で子どもが生まれてからも仕事を続けていることになる。

**図表-10** 20歳代での出産･子育て期の就業意向と
その後たどったライフコース

| | 就業継続 | 再就職 | 専業主婦 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 続けたい | 63% | 21% | 16% | 100% |
| 一切､やめたい | 45% | 21% | 33% | 100% |

「未婚継続」の結果は、「仕事を続けたい」者の割合が24%と若干低くなるものの、総じて回答がばらつく結果となった。「未婚継続」を構成するのは、仕事が何らかの形で結婚に影響を与えている（「仕事を続けたい」）層と、仕事以外のことが主な原因で未婚を続けている（「一切やめたい」）という異なる層が混在していることをうかがわす結果である。「未婚継続」の７割は結婚意向があり、また常勤継続の比率が必ずしも高くなかったことを、ここでもう一度確認しておく必要がある。「未婚継続」の実態は、キャリアを積むために非婚を選択した者だけではなく、むしろ比較的不安定な職に従事しながらの結果としての「未婚継続」が多くを占めている可能性がある。

「再就職」コースについては、「今やっている仕事はやめ、もっと時間の短い仕事をやりたい」と答えた者が、「就業継続」、「専業主婦」にくらべて、わずかではあるが高いことが特徴的である。

**図表-11** ライフコース別にみた20歳代での出産・子育て期の就業意向

| | 続けたい | 短い仕事を | 一切やめたい | その他・無回答 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 就業継続 | 33% | 30% | 32% | 4% | 100% |
| ―両立 | 64% | 21% | 15% | 0% | 100% |
| ―未婚継続 | 24% | 35% | 35% | 5% | 100% |
| 再就職 | 24% | 33% | 33% | 10% | 100% |
| 専業主婦 | 17% | 26% | 49% | 7% | 100% |

設問の選択肢にある「今も仕事をやっていないが、そのときにも仕事をやるつもりはない」は、調査時無職ということであり、今回のライフコース分類の基準では例外処理の対象となる者である。無回答と合わせて「その他・無回答」とした

「専業主婦」では、その約半数が「仕事をやめたい」と答えており、今後再就職する可能性を考えれば、「もっと時間の短い仕事をやりたい」と回答した26%を合わせ、全体の75%が、ほぼ希望通りのライフコースをたどっていることになる。一方で仕事を続けたいと考えていて、「専業主婦」化した人も17%と2割近い値に上る。

以上、図表-11からは対象者がおおむね希望や意向通りのライフコースを進んでおり、同時に希望のライフコースを実現するためには意思が重要であることも分かる。しかし、「仕事を続けたかったが仕事をやめてしまった人」、「仕事をやめて家事、育児に専念したかったが、35歳の時点ではまだ結婚していない人」、「家事、育児に専念したかったが仕事も続けている人」など、本人が希望するライフコースとそれが実現できることとの間に乖離があることも分かる。今後の分析では、何が原因で希望のライフコースを実現できなかったのか、あるいは希望や意向が変わるタイミングについて、JPSCから得られる他の情報も用いてより詳しく明らかにしていく必要がある。

均等法やその後に続く女性の就業環境の整備は、十分と言えないまでも着実に仕事を継続しやすい状況を生み出してきた。ただ、今回の結果からは、結婚の意向はありながら実現できず、またそれらの層が必ずしも安定した職についていない、つまり均等法など就業環境整備の恩恵の網からもれている層が一定数いることも分かった。もちろん、均等法以前も女性の多くは、安定かつ賃金の高い職についていたわけではない。ただ以前は、結婚によって親から夫という生活保障の切り替えができることが多かった。雇用保障が十分でない職業であっても、自分一人の生活を支えるには十分であるかもしれないし、またそのことが晩婚化の要因になったかもしれない。しかし、募集採用時の年齢差別は原則、禁止されているとは言え、一般的に年を重ねるにつれ対応できる仕事の幅が減少してしまうことは現実であり、親の高齢化の問題などを含め、自身の加齢に伴うリスクは大きくなることが予想される。今後JPSCのデータの蓄積により、これらの層がどのような経路をたどっていくかを明らかにすることが重要である。特に、未婚化や就業の非正規化は進展しつづける一方である。そのため、それらの変化の先頭にいるコーホートが、どのようなライフコースを歩んできた（歩んでいく）のかを明らかにすることが、進展する未婚化や非正規化の影響を考える上で必要である。

## 5．まとめ

本稿では1986年の均等法施行時に22歳以上であったか、それ以下であったかという区分で35歳までのライフコースに違いがあるかを調べてみた。結果からは、35歳まで就業を継続している層が増加していることがあきらかとなった。常勤の職員で働いている層も増えている。だが、一方で未婚が続いた結果、就業を続けている者が一定数いることがうかがえる。35歳で未婚状態にある者の多くは、必ずしも常勤職に就いているわけではない。近年、仕事と家庭の両立が重要視されるようになってきた。本稿の結果は、仕事も不安定であり、結婚の意思があるにもかかわらず未婚状態のままにいる「両立以前」の層が、一定数いることを示している。均等法の施行や高等教育進学率の上昇により、女性が働く環境は大きな改善がなされてきたとは言え、比較的低い賃金の職にしか就けない女性が女性労働力の多数を占めている現状には変

わりない。むしろ、均等法をはじめとする、就業支援策の網から漏れている層のほうが多いことを改めて確認できる。かつては低賃金・不安定雇用であっても、結婚により比較的若い時期に親から夫という生活保障の切り替えがなされていたが、今後、晩婚化や生涯未婚率が高まればそのような切り替えがなされず、また親の高齢化にともない、場合によっては女性一人で複数人の生活を支えなくてはいけないという状況も生み出すことになる。

そうとは言え、均等法が施行された直後の1980年代後半は、好景気の人手不足を背景に女性労働力の活用が叫ばれた時期でもあった。今後はコーホートC（1974年～1979年生まれ）以降の世代がどのようなライフコースをたどるかが焦点となるだろう。コーホートCの年少の層は学卒時にアジア金融危機に端を発する「就職氷河期」に直面し、さらには派遣労働の原則自由化や有期契約社員の増加など、学歴層を問わず就労の非正規化が大幅に進んだ世代でもある。コーホートCの動向は、女性の就業環境が景気面の影響を大きく受けるかどうか示唆するものとなる。つまり、同じ能力や仕事に対する志向を持ちながらも、入職時の市場環境がその後のライフコースに大きく影響を及ぼす可能性がある。現行の法制度だけではカバーできない、女性のライフコースにおける脆弱性の高さが導かれるかもしれない。

**参考　就業状態のデータについて**

JPSCでは、1997年の調査で、対象者に18歳から調査年度までを回顧してもらい、各年齢の就業状態を遡及して集めている。1997年調査は、コーホートAの対象者にとっては5回目の調査にあたり、コーホートBの対象者には初年度の調査にあたる。本稿ではこの遡及して収集したデータと各年の調査で得られた情報を接合して、18歳から35歳までの就業状態の配列データを作成した。ただし、遡及データと各年の調査で得られた情報では、思い出しによる不正確さという側面を除いても、２つの大きな違いがある。１つ目は、回答条件の違いである。履歴情報で得られる就業状態は１年間の主な状態であるのに対し、各年の調査で得られる就業状態は調査月時点（９月）での就業状態となる。

２つ目の違いとして、遡及データと各年調査では質問法や就業状態のコーディングが異なっていることがあげられる。特に問題となるのが仕事に就いていなかった状態の扱いである。遡及データでは「無職」のコードしかない一方で、各年調査では「専業主婦」と「その他、無職」とコードを分けてたずねている。各年調査の「その他、無職」は、質問票の他の情報から求職活動中であったかどうかも識別できるが、遡及データではその識別は行えない。今回の分析では、遡及データで「無職」と回答した年齢で有配偶だった場合は、一律「専業主婦」として扱っている。通常調査で、有配偶女性で「その他無職」と回答している人の割合は、有配偶女性の１～２％程度であるため、結果にさほど大きなバイアスを与えないと判断した。また、遡及データでは、就業していた時期に対してその時点での職務を直接、回答させている。各年の調査では、いったん、就業状態をたずねた上で雇用者のみに職務をたずねている。

**文献**

国立社会保障・人口問題研究所，2007，『結婚と出産に関する全国調査――出生動向基本調査』（http://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou13_s/Nfs13doukou_s.pdf）.

厚生労働省雇用均等・児童家庭局，2008，『平成19年版働く女性の実情』.

さかぐち・なおふみ　財団法人 家計経済研究所 研究員。主な論文に「所得流動性の再検証」（『季刊家計経済研究』80，2008）。労働経済学専攻。

第 3 章

# 家族形成による家計管理・家計行動の変化について†

坂本 和靖
（財団法人 家計経済研究所 研究員）

## 1. はじめに

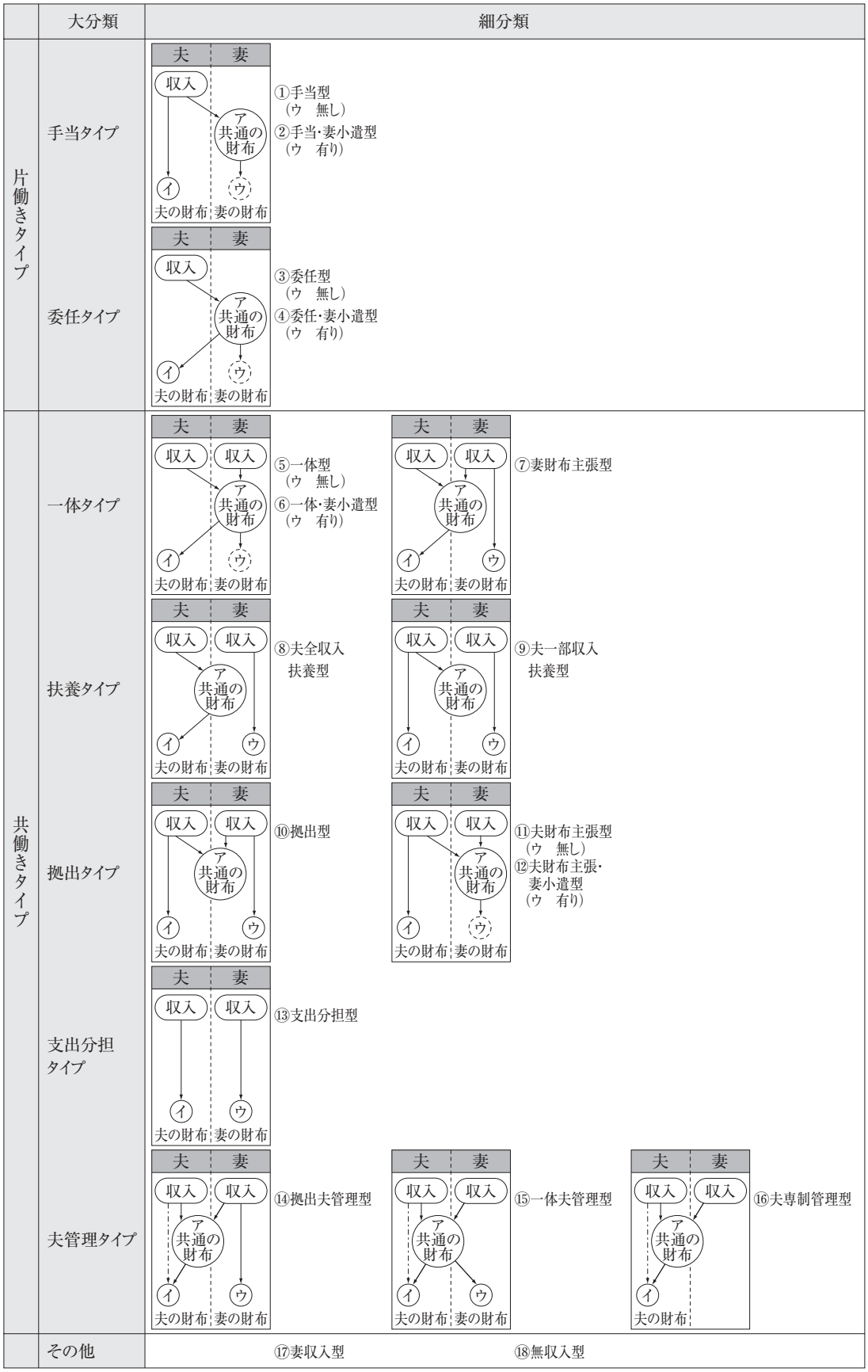
「消費生活に関するパネル調査 Japanese Panel Survey of Consumers」（以下JPSCと表記）では、1993年の調査初年度より、「家計管理」（調査票では「収入管理」と表記）に関する質問項目を設けている。定型の設問文ではなく、調査票の見開き２ページ一面にわたる大きなチャートの中で、対象者に順を追って回答してもらい、最終的に回答者の家計がどのようなタイプの家計管理をしているか類型化する設問である。

JPSCのこの設問設計にあたっては、JPSCに先行する財団法人家計経済研究所（1988, 1992）などの成果による部分が大きい。これらの研究の背景には、同研究所が設立当初から研究しつづけてきた家計の「個計化（「１家族・１収入・１財布・１支出型家計」から「１家族・複数収入・複数財布・複数支出型家計」への転換）」への視座があり[1]（財団法人家計経済研究所 1992; 御船 1992b）、世帯全体の家計費を、家族内部で行われる個人および家族単位の経済的諸行為の結果として捉えなおし、「家計を組織ととらえ、家計を中心に組織化概念を導入することにより営みの内実をとらえ」（御船 1992b: 2）ようとした姿勢にあると考えられる。

財団法人家計経済研究所が実施した「家庭の経済生活調査」（1992年）および他の調査結果から、「収入が共同の財布や個人の財布へ移転される方法が、配分や消費・貯蓄・最終消費などを規定することが確認された」（御船 1995a: 57）ことにより、その考え方を導入し、前述の家計管理に関する質問がつくられた。調査では、「フロー面の家計の個別化」[2]（御船 1992a: 26）を識別できるようにフローチャート形式というきわめて珍しい設問設計が施されており、それがJPSCの特徴の一つとなっている。こうした逐次的な意思決定過程に関する情報を活かした分析、直接回答者に家計管理に関する設問を行うという方法は、海外の経済心理学者、社会学者による研究と軌を一にしていた（Vogler and Pahl 1994; Pahl 1995; Heimdal and Houseknecht 2003; Vogler 2005; Vogler et al. 2008）。

New Home Economicsの流れを受ける経済学分野においても、複数の世帯員による交渉の結果、支出、余暇選択などの意思決定がなされることが中心課題とされてきた。そこでは、長年1人の意思決定者が家計行動の決定を司っていることを仮定した“Unitary Model”を基礎とした分析ではなく、明示的に各世帯員が各自の選好（効用）を持っていることを想定し、配分の交渉過程に注目した、“Collective Model”を利用することで、新たな含意を持った政策評価を行うことが可能となった。これにより、所得や社会保障などの給付を「世帯共通」のものとして捉えず、それぞれの所得や給付を誰が得たものかによって、世帯内において配分される各世帯員の消費、余暇時間に違いが生じることが示されている（Haddad, Hoddinott and Alderman eds. 1997; Bertrand, Mullainathan and Miller 2003; Apps and Rees 2005）[3]。先の研究主題が意思決定過程にあったのに対し、後者では配分結

**図表−1** 夫妻の経済関係と家計の財布




出所: 御船（1994: 47）図I−1−11

果に焦点が置かれており（Bonke and Browning 2009）、また、その多くが政府による施策実施が世帯に与える影響に関する考察となっている。

JPSCにおける家計管理に関する調査項目、それを生かした調査結果は、幾多の家計調査を経て到達した、直接実情をたずねることで家計の実態を捕捉するという試みであり、これにより、夫妻間における共通の財布の管理方法、収入がどのように夫妻間で配分されているのかについて[4]、仔細に見て取ることができるようになった。これは、他の調査には見られないJPSCの特徴であり、研究所設立当初からの関心であった「個計化」の分析を可能としている。

この設問形式から得られた結果を基に、御船（1995a）では、家計組織（家族の経済的結合のあり方）を、収入の源泉、そしてそれがどのように管理されているかによって、18種類に分類し[5]（図表-１）、さらに類似したタイプに揃え、７大分類にまとめている（手当タイプ、委任タイプ、一体タイプ、扶養タイプ、拠出タイプ、支出分担タイプ、夫管理タイプ）。JPSCにおける「家計管理」研究では、この類型化を基礎とした分析が行われている。

本稿では、御船（1995a）の家計組織の類型化、上述の家計管理に関する調査項目を生かしながら、結婚、出産などの家族形成イベント前後において、消費、時間配分などの定量的尺度、および満足度などの定性的尺度がどのように変化するか考察したい。

以降では、特定個人を追跡調査するパネル調査の長所を生かし、主に２つの分析を行っている。第一に、結婚前後の家計行動、および未婚時に希望した家計管理方法と結婚直後の家計管理方法の比較を行う。これにより、結婚によって支出がどれだけ減少（増加）したか、また家計に対する満足度が変化したかが観察できる。家計の側面から結婚が女性にもたらす影響を定量的・定性的に捕捉できる。

第二に、同様に、第１子出産前後の家計行動、家計管理方法の変化を追う。ここでは、子どもが誕生したことにより、妻の就業状況の変化に伴う所得源泉の変化、およびそれによって、夫妻間の支出および余暇時間などの配分にどのような影響があるかについて検証したい。

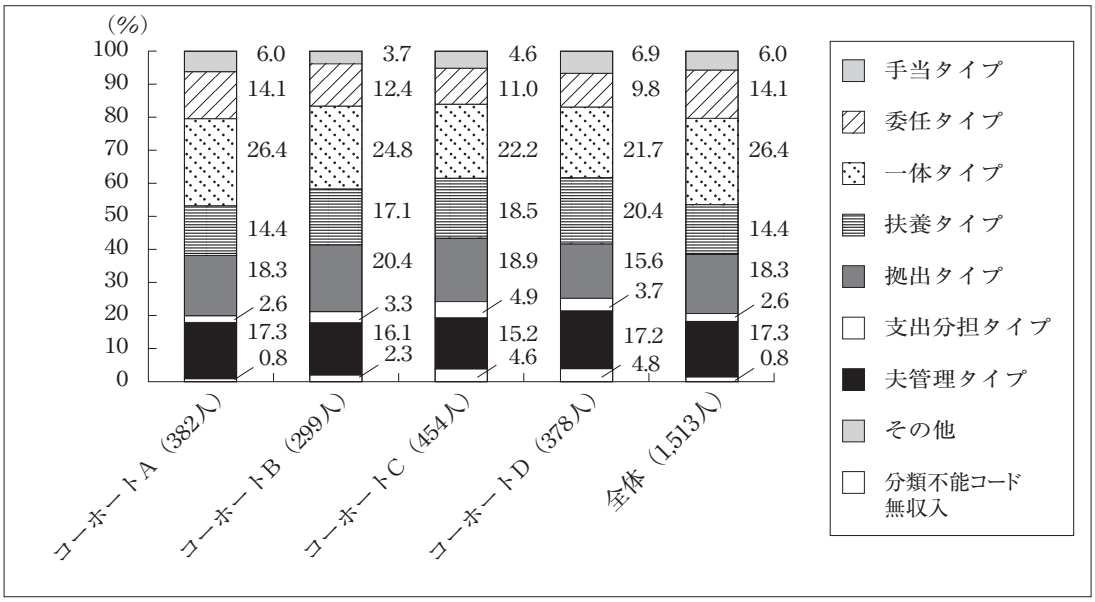
## 2. 結婚前後の変化

### (1) 家計管理の希望と現実

JPSCを用いた家計管理に関する調査項目を取り扱った先行研究について簡単に概観したい。最も包括的に家計管理に関する分析が行われたのは、御船（1995a）である。調査初年度データ（パネル１）を用いて、家計管理タイプ別に、家計費（生活費、貯蓄など）とその内訳、労働時間、家事･育児時間などの生活時間を精緻に比較分析し、あわせて、家族構成、夫妻の職業・収入などの社会経済的属性や、妻が夫に抱くイメージや出産意識、離婚意識、借金に対する意識、生活価値観など定性的指標を用いながら、家計管理の規定要因について論じている。また御船（1994）では、家庭生活上の決定を要するものごと（貯蓄方法・貯蓄額、大きな買い物、本人の仕事・生活設計、子どものしつけ、家族のレクリエーション、夫婦の性生活、親戚付き合い）に対する決定権をどちらがもっているか、あるいは家計管理に対する意識（好きか嫌いか）、夫婦関係満足度などの定性的な尺度と家計管理タイプとの関係について分析されている（パネル１～２データ利用）[6]。これらの研究結果から、女性が家計管理を行っている（財布のひもを握っている）としても、それはあくまで「共通の財布」の管理であり、妻の支出ではなく、夫の生活費や貯蓄となるため、支出段階の夫妻間格差が大きくなることを明らかにした[7]。

御船の研究が、包括的な家計管理タイプ別の家計行動の差異、その要因分析に力点が置かれていたのに対して、御船と同じく、調査初年度よりJPSCの家計管理分析に携わった木村は、パネルデータの同一個人の継続的捕捉という特徴を生かした時点間における夫妻間の配分の不平等という点に着目していた[8]。木村（1998）では、1990年代後半の不況が家計内部に与える影響を考察するべく、夫妻の収入の増減が、世帯内における資源配

**図表−2** 結婚前に希望する家計管理タイプ




分（家計の「共通の財布」、「個人の財布」、「妻のための支出」への配分）に与える影響について分析し、妻の収入は家族の必要にあわせて、各世帯員の「財布」に配分されることを示した（パネル４～５データ利用）。

また、木村（2001b）では、日本の家計に多く見られる、夫がすべての収入を渡し、妻に管理を委任する家計管理タイプでは、妻自身が使えるお金が少なく、家族生活のために、自分のためのお金を切り詰めるという夫妻間に不平等が発生していることに着目し、すべてのお金の管理が妻に委ねられる状態が継続する要因を分析した。その結果、妻が家計管理が嫌いな場合、すべてのお金の管理は継続しにくく、夫の収入水準が低い場合は、すべて管理するタイプに転じやすいことを示している（パネル１～８データ利用）。

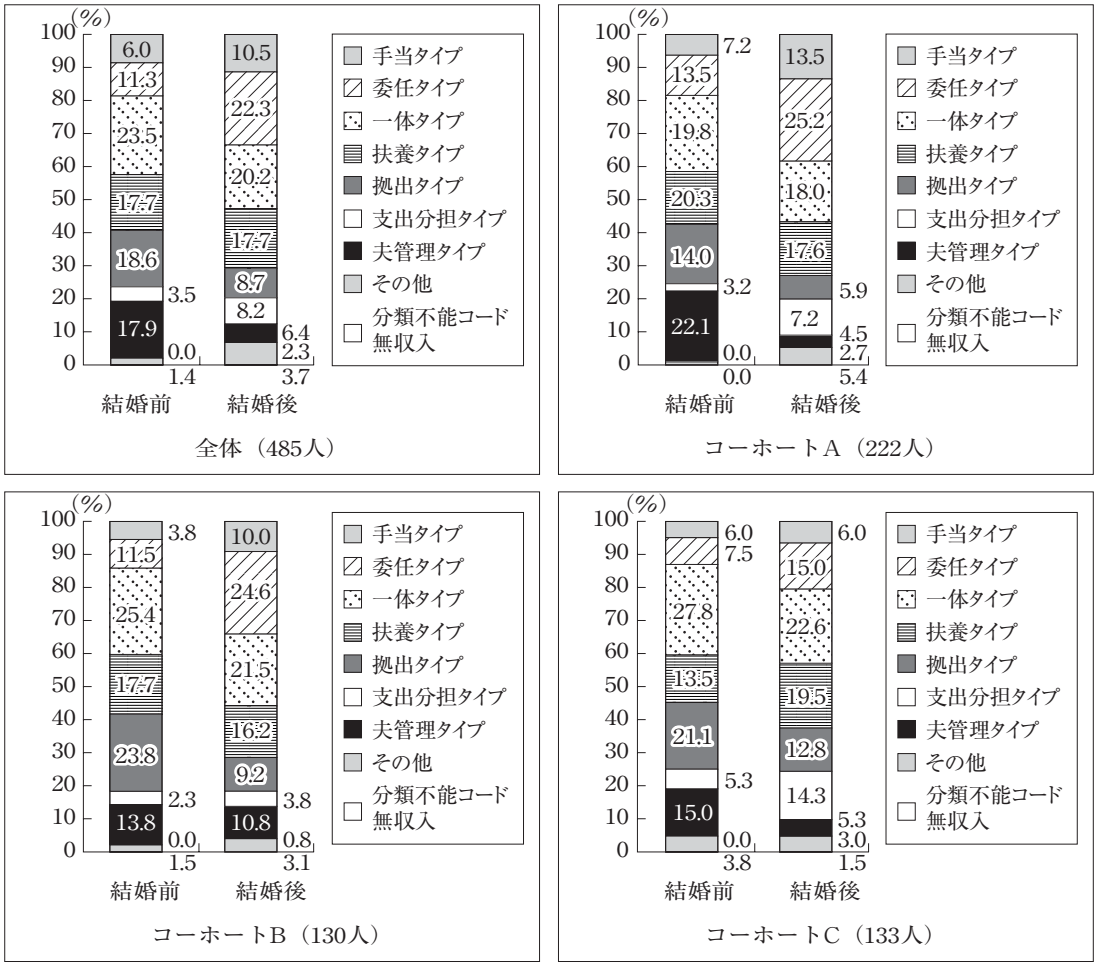
本節以降では、先行研究が扱った夫妻間格差を視野に入れつつ、パネル１から最新のパネル16（2008年）までのデータを利用し、これらの先行研究では扱われてこなかった、結婚、出産などのライフイベントによる家計行動変化と家計管理との関係について論じる。これまで、JPSCを用いて、結婚、出産それ自体の要因に関する分析が多くなされてきたが（樋口・阿部 1999など）、これらのイベントと家計管理との関係が論じられることは少なかった。

最初に結婚前後の家計管理の変化について説明する。ここで扱う家計管理の変化とは、結婚前に尋ねた結婚後に希望する家計管理タイプ[9]と、結婚直後の実際の家計管理タイプとの比較となっている。まず、結婚前後の変化を見る前に、1993年に調査開始したコーホートA[10]、1997年に調査を開始したコーホートB[11]、2003年に調査開始したコーホートC[12]、そして最新調査年の2008年に調査を開始したコーホートD[13]別に、未婚者が希望する家計管理タイプがどのように変化したのかを確認した（図表-２）。

20歳代後半の未婚者に限定し比較すると、すべてのコーホートにおいて、夫婦ともに働き、双方が収入すべてを共通の財布に出す「一体タイプ」が最も多い結果となっている。

次に高い割合を示したのは、夫妻ともに働き、双方とも収入の一部を共通の財布に繰り入れる「拠出タイプ」であった。しかし拠出タイプは若い世代になるにつれ、回答割合が小さくなっていく。その代わりに回答が高くなっていったのが、夫妻ともに働き、夫がすべてあるいは一部の収入を共通の財布に拠出するが、妻は拠出しない「扶

**図表−3** 希望した家計管理タイプと結婚後１年目の家計管理タイプ（コーホート比較）




養タイプ」であった。自分が稼いだお金を家計の足しにせず、自分のために使いたいという傾向がみられる。

また、これらとあわせて、どのコーホートにおいても、回答割合が高い家計管理タイプとして、「夫管理タイプ」があった。これは、収入の源泉が夫妻両方からあり、かつ共通の財布の管理を夫に委ねるタイプのものである。（図示されていないが）その中でも、妻が一部のお金は共通の財布に入れ、それ以外は自分の自由になるお金とし、共通の財布の管理を夫に任せる、「拠出夫管理型」がその多くを占めていた。結婚前は約20％弱の女性が夫が家計管理してくれることを望んでいることが確認された。

次に、その後結婚した対象者が、結婚前に希望していた家計管理を行っているか確認した[14]（図表−３）。調査期間中に結婚した回答者の多くは、前述した未婚者が希望する家計管理とそれほど変わらないが、結婚1年目の実際に家計管理をみると、全体、コーホートA、Bでは、収入源泉は夫からのみで、夫は収入のすべてを妻に渡す「委任タイプ」の割合が最も大きくなり、次いで、夫妻ともに働き、双方の全収入を共通の財布に納める「一体タイプ」、夫妻ともに働くが、夫のみが共通の財布に収め、妻の収入は妻自身の財布に入る「扶養タイプ」となっている。しかし、若いコーホートCでは、「一体タイプ」、「扶養タイプ」、「委任タイプ」の順で回答割合が大きい。

全体的に、片働きタイプの「手当タイプ」（夫が収入の一部を妻に渡し、それ以外は夫の財布に入る）、「委任タイプ」（夫が収入の全てを妻に渡し、妻が家計を管理する）が減少し、そのぶん共働きタイプのうちの「扶養タイプ」、「支出分担タ

**図表–4** 希望した家計管理タイプと結婚後１年目の家計管理タイプ（全結婚サンプル）

| | | 結婚後（%） | | | | | | | | | | 人数（縦計%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 手当タイプ | 委任タイプ | 一体タイプ | 扶養タイプ | 拠出タイプ | 支出分担タイプ | 夫管理タイプ | その他 | 分類不能・無回答 | 横計% | |
| 結婚前（%） | 手当タイプ | 31.0 | 20.7 | 13.8 | 6.9 | 3.4 | 10.3 | 6.9 | 3.4 | 3.4 | 100.0 | 29 (6.0) |
| | 委任タイプ | 10.9 | 41.8 | 16.4 | 14.5 | 5.5 | 1.8 | 5.5 | 1.8 | 1.8 | 100.0 | 55 (11.3) |
| | 一体タイプ | 9.0 | 22.6 | 28.6 | 15.8 | 8.3 | 7.5 | 4.5 | 1.5 | 2.3 | 100.0 | 133 (27.4) |
| | 扶養タイプ | 9.7 | 25.0 | 15.3 | 25.0 | 4.2 | 4.2 | 5.6 | 1.4 | 9.7 | 100.0 | 72 (14.8) |
| | 拠出タイプ | 8.8 | 17.6 | 17.6 | 19.8 | 14.3 | 11.0 | 5.5 | 3.3 | 2.2 | 100.0 | 91 (18.8) |
| | 支出分担タイプ | 12.5 | 18.8 | 6.3 | 6.3 | 18.8 | 25.0 | 12.5 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 16 (3.3) |
| | 夫管理タイプ | 7.4 | 13.6 | 19.8 | 21.0 | 9.9 | 9.9 | 11.1 | 3.7 | 3.7 | 100.0 | 81 (16.7) |
| | 分類不能・無回答 | 12.5 | 12.5 | 37.5 | 12.5 | 0.0 | 12.5 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | 100.0 | 8 (1.6) |
| 人数（横計 %） | | 51 (10.5) | 108 (22.3) | 98 (20.2) | 86 (17.7) | 42 (8.7) | 40 (8.2) | 31 (6.4) | 11 (2.3) | 18 (3.7) | (100.0) | 485(100.0) |

イプ」が増加している。かつてのように夫が働き、稼得収入のすべてを妻が管理する「委任タイプ」ではなくなり、家計の個計化の進展がうかがわれる。扶養タイプの増加は、結婚後の就業といっても、その就業は補完的なものであり、夫の収入で家計を賄っているという点だけみれば片働きタイプとの差はないようにも思われる。しかし、もう一つの「支出分担タイプ」の増加は、結婚後も二人とも働き続け、光熱費などの共同生活にあたって必要な経費以外は、すべて自己管理しており、共同の家計を担っているとは言い難い。こうした傾向も個計化の一つの表れといえる。

次に調査期間中に結婚したサンプル全体（調査初年度20歳代だった者）を用いて、結婚前に希望していた家計管理タイプから、実際に結婚した直後の家計管理タイプにどう変化したのかを図表–４に表章した。全般的に、結婚前に片働きタイプ（手当タイプ、委任タイプ）を希望していた者の方が、共働きタイプ希望者（それ以外のタイプ）と比べて、相対的に希望を実現させている割合が高い（31.0%、41.8%）。

逆に希望通りにならなかったのは、「夫管理タイプ」と「拠出タイプ」であった。前者では、多くが「一体タイプ」、「扶養タイプ」に流れ、後者では、「一体タイプ」、「扶養タイプ」のみならず、専業主婦の「委任タイプ」に流れていた。全体的に希望通りとならなかった理由として、親と同居している未婚者が多いため、家計を管理することに対するイメージが乏しかったか、またこれは本人の希望だけの問題ではなく、結婚相手の希望や属性、性格に依存するものであるために希望通りにならなかったことなども考えられる。

### （2）経済関係の変化

次に、結婚後の家計管理タイプ別に、妻の収入、妻の財布に入るお金（含む小遣い）、妻のための生活費、妻のための貯蓄の変化について図示する（JPSCの調査対象者は女性のため、夫の未婚時における情報は得られないため、本項以降の結婚前後の変化は妻だけに限られるものとする[15]）。

JPSCでは、無配偶者票と有配偶者票の２つの調査票が設けられており[16]、この２つの調査票はほぼ同じ形式に則っているが、家計に関する質問項目で一部の違いがみられる。そのため、そのまま比較できる収入（手取り月収）以外の各項目を以下のように定義した。

「財布に入るお金」（財布＋小遣い）
結婚前：収入－親に渡した金額＋親からの小遣い
結婚後：収入－共通の財布への繰り入れ額＋小遣い

「生活費」
結婚前：自分の財布からの支出額 － 基礎生活費*1 － その他*2
結婚後：（世帯全体の生活費のうち）妻のための生活費

**図表−5** 家計管理タイプ別妻の家計費（結婚前後）

| | 収入（千円） | | 財布+小遣い（千円） | | 生活費（千円） | | 貯蓄（千円） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 結婚後 | 差 | 結婚後 | 差 | 結婚後 | 差 | 結婚後 | 差 |
| 手当タイプ | 0.0 | −139.8 | 5.4 | −108.0 | 13.9 | −63.7 | 5.6 | −25.4 |
| 委任タイプ | 0.0 | −110.5 | 3.6 | −91.3 | 14.5 | −43.0 | 5.7 | −19.3 |
| 一体タイプ | 136.0 | −24.8 | 19.6 | −116.3 | 21.4 | −38.6 | 6.4 | −27.2 |
| 扶養タイプ | 131.5 | −22.8 | 131.5 | −2.2 | 16.6 | −49.6 | 18.6 | −20.0 |
| 拠出タイプ | 179.8 | −15.6 | 82.0 | −96.8 | 24.0 | −55.7 | 17.7 | −14.6 |
| 支出分担タイプ | 186.6 | +8.5 | 149.7 | −4.3 | 42.3 | −23.1 | 20.9 | −22.9 |
| 夫管理タイプ | 165.5 | −11.8 | 94.6 | −50.4 | 19.8 | −42.9 | 21.8 | −11.5 |
| 全体 | 98.5 | −52.5 | 55.7 | −73.4 | 19.9 | −45.6 | 11.8 | −21.3 |

（参考：夫妻間格差）

| | 収入<br>夫=100 | 生活費<br>夫=100 | 貯蓄<br>夫=100 |
|---|---|---|---|
| 手当タイプ | 0.0 | 38.9 | 42.9 |
| 委任タイプ | 0.0 | 51.5 | 66.4 |
| 一体タイプ | 63.5 | 67.4 | 76.7 |
| 扶養タイプ | 52.7 | 52.6 | 128.5 |
| 拠出タイプ | 77.4 | 73.7 | 148.1 |
| 支出分担タイプ | 83.2 | 114.5 | 86.0 |
| 夫管理タイプ | 71.0 | 63.0 | 80.7 |
| 全体 | 40.9 | 62.8 | 89.9 |

*1 食費＋家賃・地代・住宅の修繕＋電気・ガス・水道＋家具・家事用品[17]

*2 家族への小遣い、その他の支出

「貯蓄」
結婚前：自分の財布からの貯蓄額
結婚後：（世帯全体の貯蓄のうち）妻のための貯蓄

以上の定義に則り、結婚後の家計タイプ別に、結婚前後の各家計費の変化についてみた（図表−5）。まず、全体平均では、すべての家計費項目が減少していることがわかる（収入：−5.3万円、財布＋小遣い：−7.3万円、生活費：−4.6万円、貯蓄：−2.1万円）。

各タイプ別平均でみると、結婚して、唯一支出分担タイプのみが収入を増加させており、それ以外の項目は軒並み減少しているものの、他の管理タイプと比べると、減少幅は小さいことが確認された。収入の確保が生活費、貯蓄に反映されるだけではなく、ここで重要なのは、収入が（支出分担タイプと）同程度であっても、収入の一部を共通の財布に繰り入れる拠出タイプでは、生活費・貯蓄額に差が生じる。共通の財布を設けず、個々が自由に管理している支出分担タイプの方が（妻自身のための）生活費も多いことが確認された。

### (3) 生活時間の変化

最初に平日の生活時間の変化をみると、妻が無業である、手当タイプ、委任タイプは、仕事を辞めたことにより、労働時間が結婚前に比べて大幅に減少し、家事・育児時間が増加している（図表−6）。しかし、委任タイプに限っては、趣味・娯楽・交際時間が約50分増加しており、若干ゆとりのある生活となっている。

一方、それ以外の共働きタイプでは、縮小した労働時間に比して、家事・育児時間が大幅に増加していることがわかる。妻の正規就業割合が高い[18]拠出タイプ、支出分担タイプであっても約90分増加している。さらに、参考としてあげた結婚後の夫妻間格差をみると、労働時間が0.8倍（収入も同様）しか変わらないのに、家事・育児時間は

**図表−6** 家計管理タイプ別妻の生活時間配分（結婚前後）

（平日）

| | 労働時間（分） | | 家事･育児時間（分） | | 趣味･娯楽･交際時間（分） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 結婚後 | 差 | 結婚後 | 差 | 結婚後 | 差 |
| 手当タイプ | 0.0 | −393.3 | 445.7 | +370.5 | 224.2 | −3.1 |
| 委任タイプ | 0.0 | −366.5 | 396.3 | +289.6 | 244.3 | +49.2 |
| 一体タイプ | 452.1 | −37.4 | 196.4 | +133.0 | 115.2 | −36.8 |
| 扶養タイプ | 393.4 | −91.9 | 218.2 | +159.0 | 138.2 | −30.1 |
| 拠出タイプ | 475.8 | −42.3 | 140.7 | +92.3 | 116.1 | −65.5 |
| 支出分担タイプ | 500.5 | −3.7 | 139.3 | +90.6 | 85.0 | −72.3 |
| 夫管理タイプ | 474.8 | −21.5 | 152.9 | +87.9 | 114.5 | −3.2 |
| 全体 | 300.8 | −151.1 | 263.0 | +191.0 | 159.9 | −15.4 |

（休日）

| | 労働時間（分） | | 家事･育児時間（分） | | 趣味･娯楽･交際時間（分） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 結婚後 | 差 | 結婚後 | 差 | 結婚後 | 差 |
| 手当タイプ | 0.0 | −10.4 | 397.9 | +281.8 | 289.0 | −237.1 |
| 委任タイプ | 0.0 | −23.0 | 322.3 | +187.5 | 336.8 | −114.6 |
| 一体タイプ | 10.7 | −20.5 | 280.0 | +164.1 | 407.3 | −40.4 |
| 扶養タイプ | 6.1 | −8.3 | 256.0 | +154.5 | 397.2 | −127.7 |
| 拠出タイプ | 2.9 | −20.7 | 253.0 | +143.9 | 397.5 | −141.3 |
| 支出分担タイプ | 12.9 | −14.8 | 195.5 | +86.8 | 403.6 | −126.7 |
| 夫管理タイプ | 36.2 | +30.0 | 218.3 | +92.8 | 344.5 | −98.3 |
| 全体 | 7.5 | −13.7 | 284.2 | +167.1 | 370.5 | −116.8 |

（参考：夫妻間格差）

| | 平日 | | | 休日 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 労働 | 家事･育児時間 | 趣味･娯楽･交際時間 | 労働 | 家事･育児時間 | 趣味･娯楽･交際時間 |
| | 夫＝100 | 夫＝100 | 夫＝100 | 夫＝100 | 夫＝100 | 夫＝100 |
| 手当タイプ | − | 1893.1 | 220.0 | − | 374.8 | 72.0 |
| 委任タイプ | − | 2334.7 | 193.0 | − | 598.7 | 68.4 |
| 一体タイプ | 73.7 | 646.0 | 95.9 | 77.6 | 342.3 | 76.4 |
| 扶養タイプ | 61.3 | 1005.3 | 108.2 | 60.7 | 341.5 | 75.0 |
| 拠出タイプ | 78.8 | 783.5 | 88.3 | 38.1 | 373.5 | 71.7 |
| 支出分担タイプ | 81.7 | 634.6 | 67.1 | 23.1 | 356.2 | 88.1 |
| 夫管理タイプ | 85.4 | 520.9 | 83.9 | 58.4 | 330.7 | 78.1 |
| 全体 | 48.7 | 1187.5 | 132.3 | 30.6 | 391.5 | 74.5 |

6～7倍の差がついている。

この背景には、未婚女性の親との高い同居率が関係していると考えられる。結婚を契機とした離家により、独立世帯を持つことで、いままで親がかりであった家事を自分たちでするようになったため、家事・労働時間が増大したと考えられる。そのぶん趣味・娯楽・交際時間も大幅に減少しており、不利益を被っているようにみえる。また、夫妻間での開きには伝統的ジェンダー規範による影響が考えられる。次に休日の生活時間をみると、共働きタイプにおいて、家事・育児時間の夫妻間格差が3.3～3.7倍となっており、妻の就業形態で差はみられなかった。

### （4）家計に関する満足度の変化

本項では、家計に関する満足度（消費額[19]、消費内容[20]）の変化についてみていく（図表−7）。先行研究である色川（1999）では、結婚・出産前後における生活全般満足度[21]、生活程度[22]の変化が分析されているが、家計に対する意識までは考慮されていなかった。

消費額の満足度をみると、拠出タイプ以外のほとんどのタイプで、何らかの不満を抱く割合が増加している。最も満足度が減少している、委任タイプでは、少なすぎることに不満を抱くようになっている（+13.1%）。二番目に満足度が減少している、一体タイプでは、満足と回答する割合が減少し、使いすぎていることに不満、少なすぎることの不満が増加している（+9.4%、+7.1%）。

また消費内容の満足度をみると、支出分担タイプ以外のほとんどのタイプで、満足度が減少している。自分の収入のすべてを自分で管理できる支出分担タイプにおいて、満足度が高いことは首肯できる。一方、最も満足度が下がっているのは消費額と同様に、委任タイプであった。夫の収入を全て管理できる（財布の紐を握っている）はずだが、それはあくまで、共通の財布であって妻の財

**図表-7** 家計管理タイプ別妻の満足度（結婚前後）

| | 消費額への満足感　% | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 使いすぎている ことに不満 | | ほぼ満足 | | 少なすぎる ことに不満 | |
| | 結婚後 | 前年差 | 結婚後 | 前年差 | 結婚後 | 前年差 |
| 手当タイプ | 15.2 | +6.5 | 47.8 | −2.2 | 37.0 | −4.3 |
| 委任タイプ | 18.6 | ±0 | 32.6 | −17.4 | 48.8 | +13.1 |
| 一体タイプ | 18.8 | +9.4 | 40.0 | −16.5 | 41.2 | +7.1 |
| 扶養タイプ | 17.1 | +5.7 | 48.6 | −7.1 | 34.3 | +1.4 |
| 拠出タイプ | 10.8 | +2.7 | 43.2 | +2.7 | 46.0 | −5.4 |
| 支出分担タイプ | 14.3 | +5.7 | 40.0 | −8.6 | 45.7 | +2.9 |
| 夫管理タイプ | 22.2 | +3.7 | 40.7 | −7.4 | 37.0 | +3.7 |
| 全体 | 17.1 | +4.9 | 41.2 | −10.1 | 41.7 | +5.2 |

| | 消費内容への満足感　% | | | |
|---|---|---|---|---|
| | とても満足 ほぼ満足 | | やや不満 とても不満 | |
| | 結婚後 | 前年差 | 結婚後 | 前年差 |
| 手当タイプ | 58.7 | −10.9 | 41.3 | +10.9 |
| 委任タイプ | 47.8 | −16.7 | 52.2 | +16.7 |
| 一体タイプ | 59.5 | −11.9 | 40.5 | +11.9 |
| 扶養タイプ | 66.2 | −6.8 | 33.8 | +6.8 |
| 拠出タイプ | 46.2 | −12.8 | 53.9 | +12.8 |
| 支出分担タイプ | 61.1 | +2.8 | 38.9 | −2.8 |
| 夫管理タイプ | 63.0 | −14.8 | 37.0 | +14.8 |
| 全体 | 57.1 | −10.9 | 42.9 | +10.9 |

布ではないことや（御船 1995a）、一切の家計管理が押しつけられる負担感による影響も考えられる。

## 3. 出産前後の変化

### （1）家計管理の変化

次に、第１子出産前後における、家計管理タイプの変化について考察したい（図表-８）。子どものいない状態から子どもがいる家族への移行に伴い、夫妻の賃金労働および家事労働のあり方が変化する。養育を必要とする子どもの誕生により、市場・家事労働の分担や時間の工夫などが求められる。子どもがいなかった頃の夫妻は、自分のお金を自由に使える「分離経済システム」（Ahrne and Roman 1997＝2001: 141）が相対的に多いが、その生活はどう変化しているのか。

図表-８をみると、一番目立つのが、共働きタイプから片働きタイプ（手当、委任タイプ）への移行である。特に出産前は一体タイプ、扶養タイプだった女性の移行が多い（5.6+65.6=71.2%、14.3+67.3=81.6%）。また、互いが独立して財布を管理していた「支出分担タイプ」をみると、64.7%（=100.0－35.3）が共通の財布を持つようになっている。Ahrne and Roman（1997＝2001）、Bernhardt（1996）で示されていた、若いカップルに子どもが生まれると、分離経済から共同経済に変化していくという点がここでも確認されたといえる。夫の所得がすべて妻に管理される委任タイプが最も増加し（33.0%→58.8%）、これにより、所得はいったん共通の財布に繰り入れられることとなり、夫の自由度が失われる結果にみえるが、後述するように、妻が管理するようになっても、夫の支出は微増している。

### （2）経済関係の変化

出産後の家計管理タイプ別に、世帯内における金銭、支出の変化について確認した（図表-10）。まず、収入をみると、すべてのタイプの妻の収入が落ちこみ、逆に夫の収入が増加していることが確認できる。夫妻合わせた収入をみると、扶養タイプとなった者が最も大きく落ち込んでいる。この要因として、前掲の図表-８をみる限り、出産前に拠出、支出分担タイプなど、共働きタイプの中でも比較的収入が高かったと考えられるものが含まれているためといえる。

次に、金銭の流れ、「共通の財布」への繰り入れ額、各自で管理できる「財布＋小遣い」額についてみる。まず、妻の収入から「共通の財布」への繰り入れは、一体タイプで増加している以外、すべて減少している。前述してきたように、妻の収入が減少し、夫の収入が増加しているため、夫

**図表-8** 出産前後の家計管理タイプの変化

| | | 出産後（%） | | | | | | | | | | 人数（縦計%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 手当タイプ | 委任タイプ | 一体タイプ | 扶養タイプ | 拠出タイプ | 支出分担タイプ | 夫管理タイプ | その他 | 分類不能・無回答 | 横計% | |
| 出産前（%） | 手当タイプ | 72.5 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 40 (9.9) |
| | 委任タイプ | 7.5 | 87.2 | 1.5 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | 1.5 | 0.8 | 0.0 | 100.0 | 133 (33.0) |
| | 一体タイプ | 5.6 | 65.6 | 18.9 | 5.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.4 | 100.0 | 90 (22.3) |
| | 扶養タイプ | 14.3 | 67.3 | 8.2 | 10.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 49 (12.2) |
| | 拠出タイプ | 38.2 | 20.6 | 2.9 | 2.9 | 23.5 | 2.9 | 8.8 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 34 (8.4) |
| | 支出分担タイプ | 41.2 | 5.9 | 0.0 | 11.8 | 5.9 | 35.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 17 (4.2) |
| | 夫管理タイプ | 25.0 | 25.0 | 8.3 | 0.0 | 8.3 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 8.3 | 100.0 | 24 (6.0) |
| | その他タイプ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 1 (0.2) |
| | 分類不能・無回答 | 40.0 | 33.3 | 13.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.7 | 6.7 | | 15 (3.7) |
| 人数（横計 %） | | 83 (20.6) | 237 (58.8) | 28 (6.9) | 15 (3.7) | 11 (2.7) | 8 (2.0) | 11 (2.7) | 3 (0.7) | 7 (1.7) | (100.0) | 403 (100.0) |

の収入からは「共通の財布」への繰り入れは大幅な増加が予想されたが、妻の繰り入れ減少分に比して多くはなかった（ただし多くの割合を占める委任、一体両タイプが増加しているため、全体では増加している）。

そして、自分で管理できる「財布＋小遣い」をみると、総じて夫の「財布＋小遣い」額は増え、妻の「財布＋小遣い」額は減少している。夫の額に対する妻比（夫=100）をみると、扶養タイプの女性は、自分の収入を共通の財布に繰り入れていないものの、「財布＋小遣い」は夫より多く得ている（139.7）。また、共通の財布を持つ、同じ共働きタイプのなかでも、拠出タイプは、夫妻間差でみると、共通の財布への繰り入れ額が多く（78.5）、「財布＋小遣い」が少なく（26.8）、一番妻が割を食う形となっている。

### (3) 家計費の変化

家計管理タイプ別に家計費の変化をみると（図表-11）、全体では、生活費の支出全体は増加しているが、個々でみると、支出分担タイプが最も多く増加している（+4.9万円）。特に子どもの生活費が増加しており（+7.3万円）、そのぶん家族共通のため、妻のための支出が抑制されている。伸びだけではなく、生活費全体に占める子どもの生活費も32.5%（74.9÷230.1）と非常に高い（全体平均9.7%）。この一つの理由として、妻の所得割合の高さが考えられる（37.5%、全体平均7.5%）。所得源泉が誰かによって、配分のされ方が異なるという点は、Lundberg, Pollak and Wales（1997）などで示された結果と一致している。

いずれの家計タイプでも、新しく生まれた子どものための生活費が増えた分、家族共通のための生活費と妻のための生活費が減少している一方で、共働きタイプに限っては夫の生活費が上昇している。夫の生活費と比べた場合、妻の生活費比（夫=100）は扶養、拠出タイプでその差が大きいことがわかる。前述した収入比でみても、この2タイプでの妻の生活費は低いといえる。

### (4) 生活時間の変化

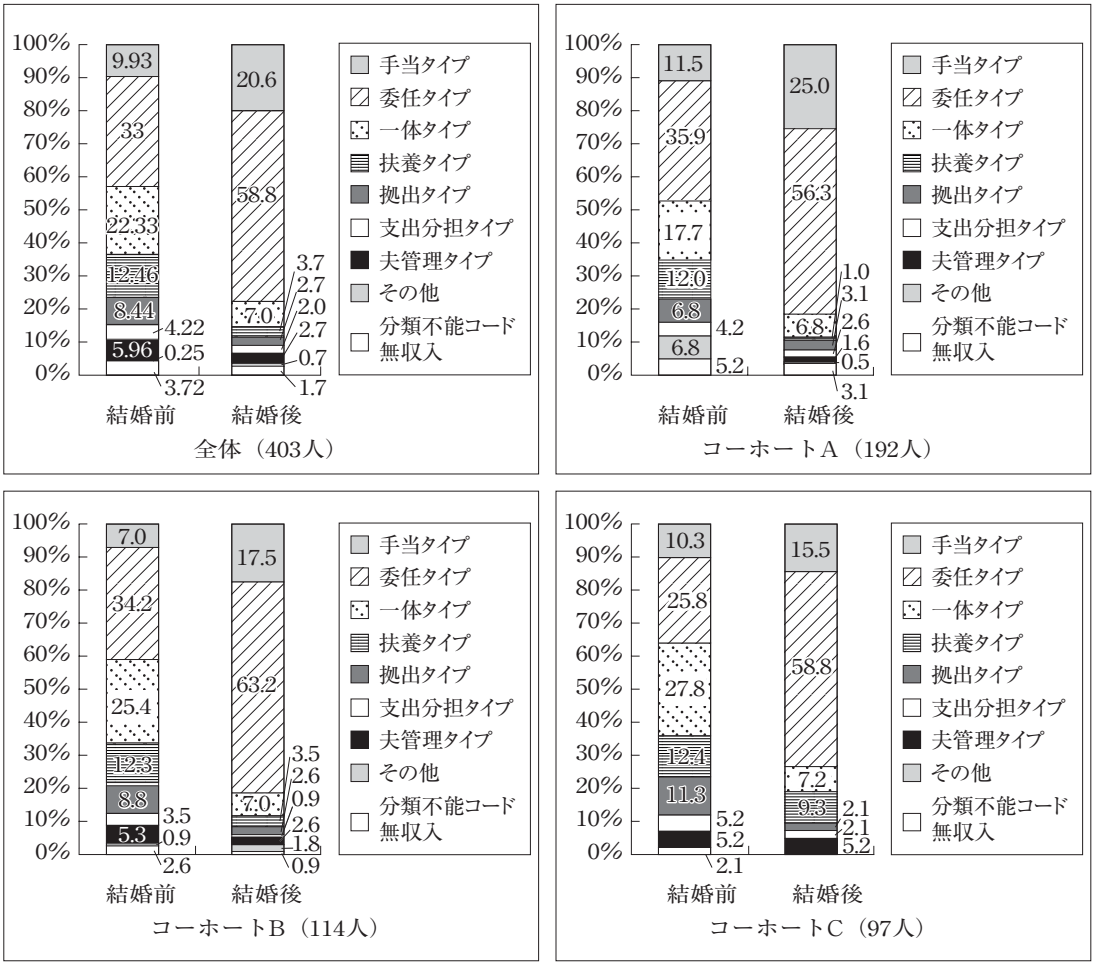
家計管理タイプ別の出産前後の生活時間の変化をみると、平日、休日とも妻の家事・育児時間が増大している（図表-12）。タイプ別によって、時間そのものには違いがあるものの、増加時間はすべて5時間以上となっている。相対的に片働きタイプの方が増加しているが、共働きタイプの中でも、拠出タイプ、支出分担タイプの増加が目立っている。

夫と妻の家事・育児時間の比（妻÷夫）をみると、支出分担タイプにおいて2490.0（平日）、850.0（休日）と一番差が広がっている。この差は、妻が無業の片働きタイプに比べても非常に大きい。

### (5) 家計に関する満足度の変化

消費額の満足度をみると、すべての家計タイプ

**図表-9** 出産前後の家計管理タイプの変化（コーホート別比較）




で「ほぼ満足」の回答割合が減少している（図表-13）。拠出、支出分担、夫管理タイプは使いすぎていることに対する不満が増加し、一体、拠出タイプは少なすぎることに対する不満が増加している。夫が共通財布を管理している夫管理タイプでは、使いすぎていること、少なすぎることに対する不満双方が増加している（+16.7%、+8.3%）。

次に、消費内容への満足度をみると、支出分担タイプは自身の支出がかなり減少しているにもかかわらず、消費内容自体は83.3%が満足しており、出産前後で変化がみられない。ただ前述のごとく、少なくなっていても自分の収入のすべてを自分で管理できる支出分担タイプにおいて、満足度が高いことは首肯できる。しかし、支出分担タイプと同程度に、妻自身の支出が減少している、手当タイプも出産前後で満足度に変化が見られなかった。（拠出タイプを除き）ほとんどのタイプにおいて、内容に関する不満はそれほど増加しなかった。

第１子出産後、子ども、夫のための支出が増加する一方で、妻自身の支出が減少している。おそらく、出産直後で子どもの世話が忙しく、自身の支出どころではないためかもしれないが、消費に関する満足度をみると、額については不満を呈しているが、内容については満足している女性が増加している。これは、なぜか。一つ考えられる理由として、子どもの幸せが自らの満足を引き上げているという利他的な志向性が考えられる。

## 4. まとめ

本稿では、結婚、出産という家族形成イベント前後における、家計管理、家計行動の変化についてみてきた。その主だった結果について、以下に

**図表−10** 家計管理タイプ別「経済関係」（出産前後）

| | ① 収入（万円） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 妻 | | 夫 | | 夫妻 | |
| | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 |
| 手当タイプ | 0.0 | −7.3 | 29.1 | +2.0 | 29.1 | −5.3 |
| 委任タイプ | 0.0 | −5.4 | 25.5 | +1.6 | 25.5 | −3.8 |
| 一体タイプ | 11.6 | −3.3 | 24.3 | +2.5 | 35.9 | −0.8 |
| 扶養タイプ | 9.9 | −4.9 | 23.2 | +0.9 | 33.1 | −13.7 |
| 拠出タイプ | 13.0 | −4.5 | 28.6 | +2.4 | 41.6 | −1.8 |
| 支出分担タイプ | 13.5 | −2.3 | 22.5 | −0.3 | 36.0 | −3.0 |
| 夫管理タイプ | 8.5 | −5.2 | 24.2 | +1.8 | 32.7 | −4.1 |
| 全体 | 2.1 | −5.9 | 25.9 | +1.3 | 28.0 | −4.7 |

| | ②共通の財布への繰り入れ額 | | | | ③財布＋小遣い（万円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 妻→ | | 夫→ | | 妻 | | 夫 | |
| | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 |
| 手当タイプ | 0.0 | −3.1 | 12.8 | −2.9 | 0.3 | −3.2 | 16.3 | +3.3 |
| 委任タイプ | 0.0 | −3.3 | 25.5 | +2.2 | 0.4 | −1.5 | 3.1 | −0.5 |
| 一体タイプ | 11.6 | +0.9 | 24.3 | +4.7 | 1.7 | −2.2 | 4.1 | −0.7 |
| 扶養タイプ | 0.0 | −7.2 | 20.9 | −0.9 | 9.9 | −0.3 | 7.1 | −4.1 |
| 拠出タイプ | 8.4 | −0.1 | 10.7 | −1.8 | 4.8 | −6.1 | 18.1 | +4.7 |
| 支出分担タイプ | 4.6 | −2.8 | 7.4 | +1.7 | 12.2 | +4.1 | 18.9 | +2.0 |
| 夫管理タイプ | 3.0 | −5.6 | − | − | 7.5 | +0.5 | − | − |
| 全体 | 1.1 | −3.5 | 21.8 | +1.2 | 1.3 | −2.0 | 6.7 | +0.5 |

| | 夫=100 | | |
|---|---|---|---|
| | 収入 | 共通の財布への繰り入れ額 | 財布＋小遣い |
| | 出産後 | 出産後 | 出産後 |
| 手当タイプ | 0.0 | 0.0 | 2.1 |
| 委任タイプ | 0.0 | 0.0 | 12.9 |
| 一体タイプ | 47.6 | 47.6 | 43.0 |
| 扶養タイプ | 42.6 | 0.0 | 139.7 |
| 拠出タイプ | 45.5 | 78.5 | 26.8 |
| 支出分担タイプ | 60.0 | 61.3 | 64.8 |
| 夫管理タイプ | 35.0 | − | − |
| 全体 | 8.2 | 4.9 | 19.5 |

列記する。

第一に、コーホート別に、未婚者の結婚後に希望する家計管理を比較すると、夫婦ともに働き、双方が収入すべてを共通の財布に出す「一体タイプ」を希望するものが最も多かった。二番目に多かったのは、夫妻ともに働き、収入の一部を共通の財布に繰り入れる「拠出タイプ」であった。しかし、拠出タイプは若い世代になるにつれ、回答割合が小さくなり、代わって、夫妻ともに働き、夫がすべてあるいは一部の収入を共通の財布に拠出するが、妻は拠出しない「扶養タイプ」が増加した。

第二に、結婚直後の家計管理タイプをコーホート比較すると、片働きタイプの「手当タイプ」、「委任タイプ」が減少し、その分、共働きタイプのうちの「扶養タイプ」、「支出分担タイプ」が増加している。扶養タイプの増加は、結婚後の就業といっても、その就業は補完的なものであり、夫の収入で家計を賄っているという点だけみれば片働きタイプとの差はないようにも思われる。しかし、もう一つの「支出分担タイプ」の増加は、結婚後も二人とも働き続け、光熱費などの共同生活にあたって必要な経費以外は、すべて自己管理しており、共同の家計を担っているとは言い難い。こうした傾向は個計化の一つの表れといえる。

第三に、結婚前後における家計費の変化をみる

**図表−11** 家計管理タイプ別家計費（出産前後）

| | 家計費（千円） | | 生活費（千円） | | 貯蓄（千円） | | ローン返済（千円） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 |
| 手当タイプ | 315.8 | −2.4 | 205.6 | −1.1 | 83.2 | −1.8 | 27.0 | +0.5 |
| 委任タイプ | 294.7 | +12.9 | 209.7 | +19.8 | 54.3 | −7.8 | 30.8 | +0.9 |
| 一体タイプ | 366.7 | +39.2 | 209.2 | +5.5 | 97.1 | +13.4 | 60.4 | +20.4 |
| 扶養タイプ | 366.9 | +7.4 | 225.9 | +18.4 | 75.1 | −26.8 | 65.9 | +15.8 |
| 拠出タイプ | 438.9 | +74.1 | 218.4 | −3.8 | 129.0 | +28.6 | 50.5 | +8.2 |
| 支出分担タイプ | 337.6 | +30.2 | 230.1 | +49.3 | 79.6 | −29.8 | 27.9 | +10.7 |
| 夫管理タイプ | 312.1 | −30.4 | 209.2 | −22.5 | 75.5 | −22.9 | 27.5 | +15.0 |
| 全体 | 312.9 | +12.5 | 210.0 | +13.0 | 69.2 | −3.9 | 33.7 | +3.4 |

| | 生活費（千円） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 共通 | | 妻 | | 夫 | | 子ども | |
| | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 |
| 手当タイプ | 135.1 | −8.0 | 10.2 | −14.4 | 26.2 | −7.9 | 23.1 | +22.6 |
| 委任タイプ | 136.4 | +0.8 | 13.4 | −2.9 | 30.1 | −3.0 | 18.2 | +17.7 |
| 一体タイプ | 129.2 | −12.0 | 15.4 | −7.8 | 34.9 | +0.3 | 17.5 | +16.1 |
| 扶養タイプ | 134.2 | −9.7 | 12.2 | −5.6 | 49.9 | +14.3 | 21.7 | +17.4 |
| 拠出タイプ | 132.1 | −22.7 | 14.8 | −9.1 | 40.1 | +10.6 | 19.3 | +19.3 |
| 支出分担タイプ | 86.6 | −25.2 | 22.6 | −13.7 | 41.8 | +17.6 | 74.9 | +73.4 |
| 夫管理タイプ | 132.1 | −35.5 | 22.2 | −1.7 | 30.7 | +1.3 | 16.0 | +16.0 |
| 全体 | 134.3 | −4.6 | 13.3 | −6.1 | 31.0 | −2.2 | 20.4 | +19.7 |

| | 貯蓄（千円） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 共通 | | 妻 | | 夫 | | 子ども | |
| | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 |
| 手当タイプ | 52.7 | −7.2 | 7.3 | −4.1 | 11.4 | +1.1 | 10.6 | +9.4 |
| 委任タイプ | 31.5 | −12.9 | 5.2 | −1.3 | 10.1 | +0.5 | 6.3 | +5.9 |
| 一体タイプ | 59.6 | +1.1 | 9.5 | −1.9 | 13.0 | +4.5 | 6.4 | +4.2 |
| 扶養タイプ | 46.7 | −18.7 | 13.0 | −8.4 | 18.4 | +13.1 | 7.3 | +4.7 |
| 拠出タイプ | 41.2 | +2.5 | 46.0 | +18.9 | 34.9 | +10.3 | 6.5 | +6.5 |
| 支出分担タイプ | 25.5 | −35.9 | 27.0 | +0.1 | 17.9 | −3.3 | 8.9 | +8.9 |
| 夫管理タイプ | 61.5 | −12.6 | 3.5 | −10.1 | 5.6 | −8.2 | 3.8 | −1.7 |
| 全体 | 40.0 | −10.6 | 7.7 | −1.9 | 11.6 | +1.3 | 7.3 | +6.4 |

| | 家計費に占める割合（%） | | | | | | 夫=100 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 生活費 | | 貯蓄 | | ローン返済 | | 生活費 | 貯蓄 |
| | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 出産後 |
| 手当タイプ | 65.1 | +0.1 | 26.3 | −0.4 | 8.5 | +0.2 | 39.0 | 64.5 |
| 委任タイプ | 71.1 | +3.8 | 18.4 | −3.6 | 10.4 | −0.2 | 44.6 | 51.0 |
| 一体タイプ | 57.0 | −5.1 | 26.5 | +0.9 | 16.5 | +4.2 | 44.1 | 73.3 |
| 扶養タイプ | 61.6 | +3.8 | 20.5 | −7.9 | 18.0 | +4.0 | 24.4 | 70.6 |
| 拠出タイプ | 49.8 | −11.1 | 38.7 | +11.2 | 11.5 | −0.1 | 37.0 | 131.8 |
| 支出分担タイプ | 68.2 | +9.3 | 23.6 | −12.0 | 8.3 | +2.7 | 54.2 | 151.0 |
| 夫管理タイプ | 67.0 | −0.6 | 24.2 | −4.5 | 8.8 | +5.1 | 72.2 | 63.0 |
| 全体 | 67.1 | +1.5 | 22.1 | −2.2 | 10.8 | +0.7 | 42.9 | 66.5 |

注: 図示されていないが、内訳として「それ以外の方のための支出」、「それ以外の方のための貯蓄」がある。

と、拠出タイプと支出分担タイプでは、収入が同程度であるが、収入の一部を共通の財布に繰り入れる拠出タイプでは、生活費・貯蓄額に差が生じる。共通の財布を設けず、個々が自由に管理している支出分担タイプの方が（妻自身のための）生活費も大きいことが確認された。

第四に、出産前後における家計管理タイプの変化をみると、夫、子どもの生活費が上昇するが、妻のための生活費が減少する結果となった。一方、消費に関する満足度をみると、額については

**図表−12** 家計管理タイプ別生活時間配分（出産前後）

（平日）

| | 労働時間（分） | | | | 家事・育児時間（分） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 妻 | | 夫 | | 妻 | | 夫 | |
| | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 |
| 手当タイプ | 0.0 | −258.0 | 630.6 | −3.0 | 735.2 | +534.3 | 60.0 | +50.9 |
| 委任タイプ | 0.0 | −188.6 | 621.1 | +7.1 | 725.1 | +484.4 | 57.3 | +46.7 |
| 一体タイプ | 283.2 | −150.0 | 580.3 | −30.4 | 482.3 | +340.6 | 99.0 | +79.4 |
| 扶養タイプ | 252.6 | −120.0 | 595.3 | −28.3 | 521.1 | +318.9 | 100.0 | +77.1 |
| 拠出タイプ | 227.5 | −279.8 | 587.5 | +2.5 | 585.0 | +437.7 | 58.3 | +38.3 |
| 支出分担タイプ | 165.0 | −322.5 | 562.5 | −45.0 | 622.5 | +495.0 | 25.0 | +5.0 |
| 夫管理タイプ | 165.0 | −160.4 | 549.2 | +33.8 | 542.5 | +380.2 | 87.7 | +44.1 |
| 全体 | 55.2 | −198.2 | 615.1 | +0.6 | 690.1 | +474.3 | 63.1 | +50.3 |

| | 趣味・娯楽・交際時間（分） | | | | 夫=100 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 妻 | | 夫 | | 労働 | 家事・育児 | 趣味･娯楽･交際 |
| | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 出産後 | 出産後 |
| 手当タイプ | 82.1 | −140.1 | 88.8 | −26.1 | 0.0 | 1225.3 | 92.5 |
| 委任タイプ | 92.9 | −135.5 | 93.8 | −23.5 | 0.0 | 1265.0 | 99.1 |
| 一体タイプ | 63.9 | −77.7 | 134.2 | +0.1 | 48.8 | 487.0 | 47.6 |
| 扶養タイプ | 67.9 | −29.5 | 82.1 | +13.5 | 42.4 | 521.1 | 82.7 |
| 拠出タイプ | 35.8 | −56.0 | 85.8 | −13.2 | 38.7 | 1002.9 | 41.7 |
| 支出分担タイプ | 80.0 | −46.3 | 142.5 | −1.3 | 29.3 | 2490.0 | 56.1 |
| 夫管理タイプ | 74.2 | −153.5 | 85.4 | −110.1 | 30.0 | 618.6 | 86.9 |
| 全体 | 84.9 | −124.5 | 95.4 | −23.0 | 9.0 | 1093.9 | 89.0 |

（休日）

| | 労働時間（分） | | | | 家事・育児時間（分） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 妻 | | 夫 | | 妻 | | 夫 | |
| | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 |
| 手当タイプ | 0.0 | −8.4 | 58.8 | +11.9 | 659.3 | +452.9 | 231.9 | +177.9 |
| 委任タイプ | 0.0 | −9.2 | 22.4 | +9.7 | 642.2 | +408.9 | 226.0 | +177.7 |
| 一体タイプ | 4.0 | −12.0 | 0.0 | −17.1 | 665.0 | +454.0 | 285.5 | +225.5 |
| 扶養タイプ | 3.2 | −26.8 | 43.3 | −32.8 | 665.8 | +454.2 | 286.7 | +218.2 |
| 拠出タイプ | 0.0 | −10.9 | 15.0 | −6.0 | 631.7 | +339.8 | 223.3 | +166.3 |
| 支出分担タイプ | 7.5 | +7.5 | 0.0 | ±0 | 765.0 | +532.5 | 90.0 | +51.3 |
| 夫管理タイプ | 0.0 | ±0 | 9.2 | −15.3 | 641.5 | +412.3 | 286.2 | +179.8 |
| 全体 | 1.1 | −8.8 | 29.0 | +6.5 | 650.8 | +424.7 | 233.3 | +180.6 |

| | 趣味・娯楽・交際時間（分） | | | | 夫=100 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 妻 | | 夫 | | 労働 | 家事・育児 | 趣味･娯楽･交際 |
| | 出産後 | 差 | 出産後 | 差 | 出産後 | 出産後 | 出産後 |
| 手当タイプ | 152.9 | −264.2 | 336.1 | −132.5 | 0.0 | 284.3 | 45.5 |
| 委任タイプ | 158.5 | −232.5 | 368.2 | −160.0 | 0.0 | 284.2 | 43.0 |
| 一体タイプ | 155.0 | −185.7 | 394.8 | −84.1 | − | 232.9 | 39.3 |
| 扶養タイプ | 126.3 | −286.6 | 341.7 | −120.6 | 7.3 | 232.3 | 37.0 |
| 拠出タイプ | 160.0 | −262.7 | 367.5 | −148.5 | 0.0 | 282.8 | 43.5 |
| 支出分担タイプ | 120.0 | −255.0 | 502.5 | +6.3 | − | 850.0 | 23.9 |
| 夫管理タイプ | 130.8 | −337.7 | 364.6 | −148.1 | 0.0 | 224.2 | 35.9 |
| 全体 | 154.0 | −243.1 | 364.0 | −144.8 | 3.6 | 278.9 | 42.3 |

不満を呈しているが、内容については満足している女性が増加している。この理由として、子どもの幸せが自らの満足感を引き上げているという利他的な考え方が影響したものと思われる。

本稿では、家族形成というライフイベントを軸に家計の変化についてみてきた。結婚、出産を境

**図表−13** 家計管理タイプ別妻の満足度（出産前後）

| | 消費額への満足感　% | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 使いすぎている ことに不満 | | ほぼ満足 | | 少なすぎる ことに不満 | |
| | 出産後 | 前年差 | 出産後 | 前年差 | 出産後 | 前年差 |
| 手当タイプ | 20.0 | ±0 | 45.0 | −5.0 | 35.0 | +5.0 |
| 委任タイプ | 20.6 | −2.0 | 28.6 | −3.5 | 50.8 | +5.5 |
| 一体タイプ | 29.6 | +3.7 | 24.9 | −12.1 | 44.4 | +7.4 |
| 扶養タイプ | 10.5 | −10.5 | 36.8 | −5.3 | 52.6 | +15.8 |
| 拠出タイプ | 30.0 | +20.0 | 30.0 | −20.0 | 40.0 | ±0 |
| 支出分担タイプ | 16.7 | +16.7 | 50.0 | −16.7 | 33.3 | ±0 |
| 夫管理タイプ | 16.7 | +16.7 | 41.7 | −25.0 | 41.7 | +8.3 |
| 全体 | 20.7 | ±0 | 33.4 | −6.0 | 45.9 | +6.0 |

| | 消費内容への満足感　% | | | |
|---|---|---|---|---|
| | とても満足 ほぼ満足 | | やや不満 とても不満 | |
| | 出産後 | 前年差 | 出産後 | 前年差 |
| 手当タイプ | 59.8 | ±0 | 40.2 | ±0 |
| 委任タイプ | 49.0 | −0.5 | 51.0 | +0.5 |
| 一体タイプ | 40.7 | −11.1 | 59.3 | +11.1 |
| 扶養タイプ | 63.2 | −5.3 | 36.8 | +5.3 |
| 拠出タイプ | 10.0 | −50.0 | 90.0 | +50.0 |
| 支出分担タイプ | 83.3 | ±0 | 16.7 | ±0 |
| 夫管理タイプ | 66.7 | −8.3 | 33.3 | +8.3 |
| 全体 | 53.0 | −1.7 | 47.0 | +1.7 |

とした就業変化だけではなく、同じ片働き・共働き、あるいは同じ夫妻間所得比であっても、家計タイプによって、世帯内における配分はさまざまであることがわかった。無論、これらは、片働きか共働きかによる所得源泉の形態、共通の財布の有無、共通の財布への繰り入れ方法などによって全て規定されるわけではなく、その背景にある各家計タイプ別の世帯属性によるもの、あるいは世帯内における各世帯員の所得割合などのバーゲニング・パワーによる影響かもしれない。

共働き世帯、所得源泉を複数もつ世帯の増加は、共同支出、必需支出を賄う以上に収入を得る家計が増え、共同家計への求心性を弱体化させると指摘されている。特に妻の所得の増加に伴い、夫妻間での所得のバランスが変わりつつあると言える（夫の手取り=100とした場合、妻の手取りが46.9［1993年］から52.6［2008年］に増加[23]）。

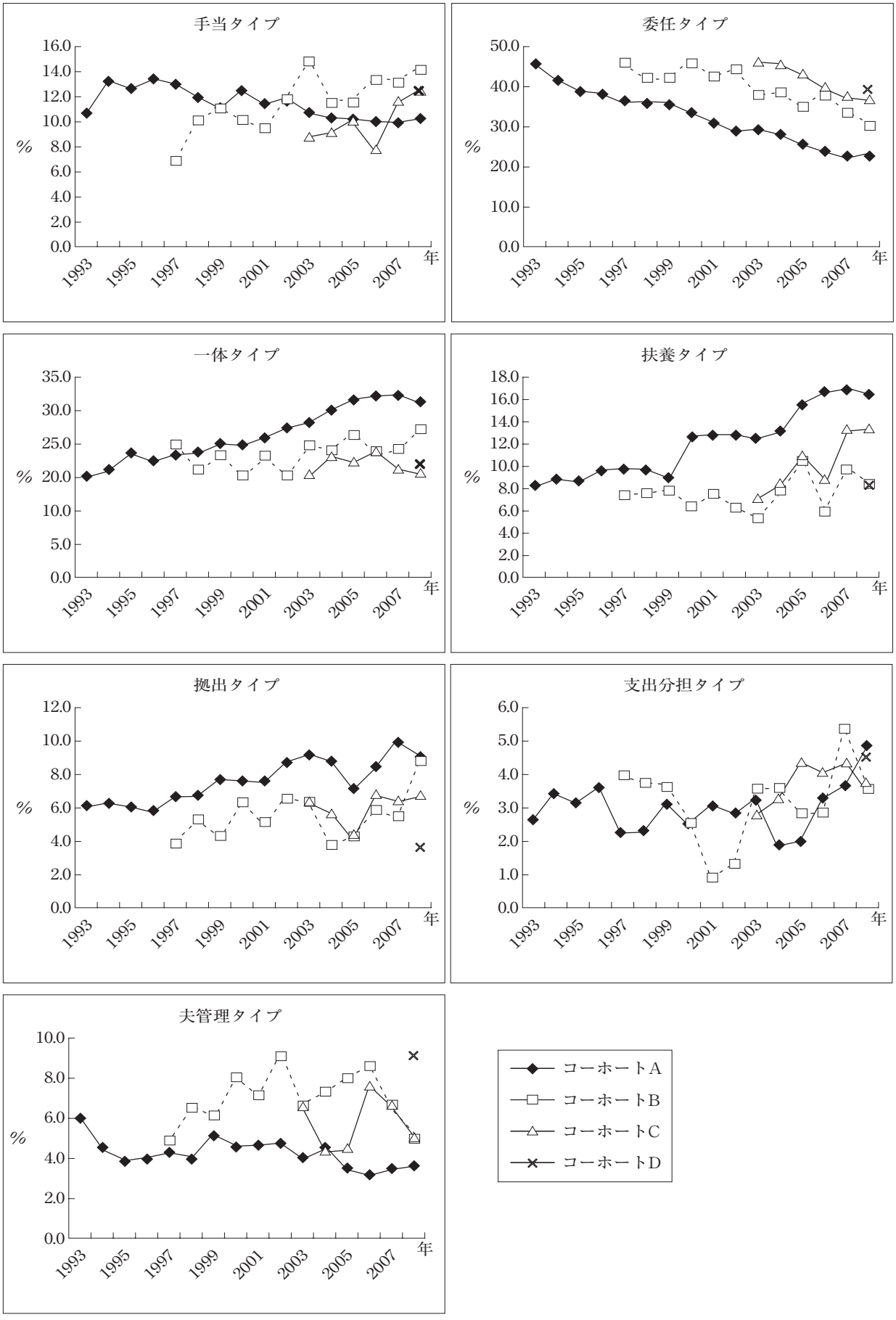
この16年、JPSCの調査期間内（1993〜2008年）における、有配偶世帯全体における家計管理タイプ別の趨勢をみると（図表-14）、委任タイプが大幅に減少し、変わって一体タイプ、扶養タイプが増加しており、結婚サンプル、出産サンプルに限定した前述の分析と同じ傾向がみてとれる。こうした全体的な流れとともに、注意しなければならないのは、各タイプ内での変化である。

それは、タイプを構成する属性の変化（図表-15）や、伝統的な規範の弱体化による、資源管理や交渉、業績主義によって、家計が組織化されているという側面も考えられる。後者の点について考えると、これまでは夫妻間の所得割合に比べて、家事・育児時間配分、支出配分が不公平であることが言われていたが、調査初年度（1993年）と最新年度（2008年）における、夫妻間所得割合（妻の月収／（夫の月収＋妻の月収））と夫妻間支出割合（妻のための支出／（夫のための支出＋妻の支出））の相関係数をみると[24]、0.334（1993年）から0.423（2008年）と収入と支出がより強く相関を持つようになり、「業績主義」に近づいているといえる。

夫妻の就業状態、共通の財布の有無、全収入を共通の財布に繰り入れるか、誰が共通の財布を管理するのかなどによって分類されている家計管理タイプ。その有用性については疑う余地はないものの、近年増加している、一体、扶養、拠出タイプにおいては、妻の就業形態の変化や、収入増加が目立つなど、タイプ別世帯属性の変化は看過できない。1997年を境に、共働き世帯数が片働き世帯数を超え、その差は毎年広がっている（総務省『労働力調査』）。そして、その世帯の実態は多様化しているものと思われる。

家計管理の把握を通して、さまざまな夫妻間格

**図表−14** 家計管理タイプ別推移（1993〜2008 年）（コーホート比較）



**図表−15** 家計管理タイプ別世帯属性比較（1993年と2008年: 妻24〜34歳）　単位: %

| | | 手当タイプ | | 委任タイプ | | 一体タイプ | | 扶養タイプ | | 拠出タイプ | | 支出分担タイプ | | 夫管理タイプ | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1993年 | 2008年 | 1993年 | 2008年 | 1993年 | 2008年 | 1993年 | 2008年 | 1993年 | 2008年 | 1993年 | 2008年 | 1993年 | 2008年 |
| 家族構成 | 夫妻のみ | 10.1 | 13.0 | 7.4 | 7.2 | 11.6 | 28.6 | 23.5 | 28.6 | 16.7 | 45.2 | 38.5 | 45.5 | 6.6 | 44.7 |
| | 夫妻と子ども | 49.5 | 68.1 | 63.2 | 72.7 | 43.4 | 53.3 | 30.9 | 54.0 | 28.3 | 38.7 | 15.4 | 31.8 | 31.2 | 34.2 |
| | 夫妻と親 | 3.7 | 1.5 | 1.8 | 1.9 | 2.3 | 1.9 | 6.2 | 3.2 | 6.7 | 3.2 | 7.7 | 9.1 | 16.4 | 0.0 |
| | 夫妻と子どもと親 | 36.7 | 17.4 | 27.6 | 18.2 | 42.8 | 16.2 | 39.5 | 14.3 | 48.3 | 12.9 | 38.5 | 13.6 | 45.9 | 21.1 |
| | 子どもなし | 13.6 | 14.3 | 9.3 | 9.1 | 13.4 | 30.2 | 30.1 | 32.8 | 23.0 | 48.4 | 44.4 | 54.6 | 24.2 | 44.7 |
| | 子どもあり | 86.4 | 85.7 | 90.8 | 91.0 | 86.6 | 69.8 | 69.9 | 67.2 | 77.1 | 51.6 | 55.6 | 45.5 | 75.8 | 55.3 |
| | 親と同居 | 40.0 | 18.6 | 28.9 | 20.0 | 43.6 | 17.9 | 44.6 | 17.2 | 54.1 | 13.1 | 44.4 | 22.7 | 61.3 | 21.1 |
| 妻の年収 | 50万円未満 | 86.9 | 72.1 | 87.2 | 83.9 | 22.4 | 18.8 | 28.4 | 26.2 | 19.3 | 9.7 | 4.2 | 4.6 | 34.5 | 14.7 |
| | 50万〜100万円未満 | 3.0 | 3.3 | 3.0 | 6.3 | 32.7 | 26.7 | 23.1 | 18.0 | 19.3 | 9.7 | 4.2 | 18.2 | 12.1 | 14.7 |
| | 100万〜200万円未満 | 5.1 | 6.6 | 3.3 | 2.6 | 20.6 | 26.7 | 19.2 | 16.4 | 8.8 | 12.9 | 16.5 | 9.1 | 19.0 | 23.5 |
| | 200万〜300万円未満 | 3.0 | 8.2 | 4.2 | 3.7 | 9.7 | 13.9 | 19.2 | 13.1 | 17.5 | 29.0 | 20.8 | 45.5 | 17.2 | 17.7 |
| | 300万円以上 | 2.0 | 9.8 | 2.3 | 3.7 | 14.6 | 13.9 | 10.3 | 26.2 | 35.1 | 38.7 | 54.2 | 22.7 | 17.2 | 29.4 |
| 夫の年収 | 300万円未満 | 7.2 | 4.8 | 9.4 | 13.0 | 19.4 | 23.5 | 10.5 | 18.6 | 16.1 | 16.7 | 8.3 | 30.0 | 24.1 | 12.1 |
| | 300万〜400万円未満 | 12.4 | 25.4 | 20.5 | 28.1 | 31.9 | 28.4 | 21.1 | 22.0 | 19.6 | 36.7 | 12.5 | 30.0 | 29.3 | 39.4 |
| | 400万〜500万円未満 | 30.9 | 25.4 | 29.2 | 20.8 | 23.1 | 24.5 | 22.4 | 30.5 | 32.1 | 23.3 | 33.3 | 15.0 | 17.2 | 24.2 |
| | 500万〜600万円未満 | 16.5 | 17.4 | 18.4 | 18.2 | 13.1 | 12.8 | 19.7 | 15.3 | 12.5 | 13.3 | 25.0 | 20.0 | 22.4 | 6.1 |
| | 600万円以上 | 33.0 | 27.0 | 22.6 | 19.8 | 12.5 | 10.8 | 26.3 | 13.6 | 19.6 | 10.0 | 20.8 | 5.0 | 6.9 | 18.2 |
| 妻の就業 | 常勤 | 1.9 | 8.6 | 1.8 | 5.2 | 29.3 | 31.4 | 27.9 | 32.8 | 54.2 | 58.1 | 74.1 | 63.6 | 43.3 | 42.1 |
| | パート・アルバイト | 3.7 | 2.9 | 1.6 | 0.5 | 50.0 | 54.9 | 41.8 | 54.7 | 25.4 | 35.5 | 11.1 | 31.8 | 18.3 | 39.5 |
| | 自営業・家族従業員 | 6.5 | 1.4 | 1.1 | 2.4 | 16.1 | 9.8 | 17.7 | 10.9 | 15.3 | 6.5 | 7.4 | 4.6 | 13.3 | 5.3 |
| | 無職 | 88.0 | 87.1 | 95.6 | 91.9 | 4.6 | 3.9 | 12.7 | 1.6 | 5.1 | 0.0 | 7.4 | 0.0 | 25.0 | 13.1 |
| 人数 | | 110 | 70 | 454 | 210 | 179 | 106 | 83 | 64 | 61 | 31 | 27 | 22 | 62 | 38 |

差に関する分析が行われてきた。今後は、その視座によりつつ、多様化する共働き世帯の実態を捕捉するために、意思決定過程に着目した家計管理タイプと、夫妻の就業形態、夫妻間所得比などを組み合わせた分析を行うことで、世帯内に内在する夫妻間の不平等問題に新しい知見を得ることが必要だと思われる。

† 家計経済研究所所内報告会において、出席者より多くのコメントを頂戴した。記して感謝する。

**注**

1)「経済社会の変化とともに家計も大きく変貌している。『個計化』という言葉に象徴されるように、それまでの家族共通の財布は分解して妻や子も自分の財布を持ちはじめたといわれる。家計経済研究所では、こうした動向に着目し、従来一つのまとまった単位と考えられていた家計を捉え直すべく1987年度以来研究を続けてきた」（財団法人家計経済研究所 1992: 江見康一会長「はじめに」）。

　なお、本稿では「個計化」としているが、識者によっては、「個別化」と表現される。「個計化」と「個別化」の差異については、御船（1992a: 24-25）に詳しい。

2)「フロー面の個別化とはさらに①所得の個別化②拠出の個別化③配分の個別化④財布の個別化⑤支出の個別化⑥消費支出の個別化⑦貯蓄の個別化の7つに分けて考えられる」（御船 1992a: 25）。

3) 実証分析においては、交渉関係を示す代理変数として、夫婦間の所得差、年齢差（Browning, Bourguignon, Chiappori and Lechene 1994）、離婚制度、離婚後の共有財産権の扱い方（Chiappori, Fortin and Lacroix 2002）、離婚法の変更：合意によってしか離婚が認められないものから一方の意思のみでも離婚が認められるものへの変更（Grey 1998; Wolfers 2006）、年金関連法の改正：既婚の年金制度加入者の配偶者に遺族給付の権利を付与されるものへの変更（Aura 2005）、所得税控除から児童手当への制度改定：主稼得者〔父親〕の所得税の税控除から、育児をしている者〔母親〕に同額の児童手当が支払われるという制度改定（Lundberg et al. 1997）などが挙げられている。日本では、ホリオカ・家計経済研究所編（2008）において、複数世帯員の交渉を明示的に扱った研究が行われている。

4) 家計経済研究所で行われている「現代核家族調査」でも生かされており、一部同様のことを尋ねている。

5)「①収入源泉が夫のみ、夫妻、妻のみ、なし、②共通の財布の有無、③共通の財布の管理者が夫か妻か、④の収入が共通の財布に拠出される方法、⑤夫妻各人の財布の有無とその性格」（御船 1995a : 57）を基準に分類した。

6) その他にも、御船・重川（2003）では、一定期間内における借入経験継続の有無によって、家計管理が

どう変化するかなど、さまざまな形で分析を行われた。

7) 御船自身の研究はこれにとどまらず、JPSC以外の調査研究を用いて、不動産資産の保有状況からみた、夫妻間不平等についての一連の研究を行われていることを付言したい（御船 2000, 2004, 2006）。夫妻各人の名義資産の所有状況（資産割合、資産額）、資産の処分権や名義決定方法などからみた夫妻の資産共同性の実態と意識のずれ、相違に関する分析や、家計内労働が資産形成に与える貢献に関する分析を通して、妻の財産が少ないという事実があったとしても、妻に被害者意識はなく、夫にも加害者意識がないため、社会全体、個人の財産に関する権利意識が希薄、よって問題視されない状況にあることを指摘している。

8) 御船が全くこの点に注目しなかったわけではない。御船（1995b）、御船・重川（1999）では、妻の就業状況の変化が家計費・家計組織に及ぼす影響について分析されている。

9)「今後、もし結婚したら、あなたは月々の収入管理をどのようにしたいと思いますか」。

10) 1993年10月時点で24～34歳であった女性。

11) 1997年10月時点で24～34歳であった女性。

12) 2003年10月時点で24～29歳であった女性。

13) 2008年10月時点で24～28歳であった女性。

14) JPSCでは、調査初年度において、調査期間前にすでに結婚している方にも、結婚前に希望していた家計管理タイプと結婚直後の家計管理タイプについて回顧調査している。

15) 年収を除く。

16) 過去１年以内に結婚した有配偶者には、新婚票も併せて回答してもらっている。

17) 生活費の各小分類について調査し始めたのがパネル６以降であるため、利用するデータはそれ以降のものに限定される。

18) 図示していないが、各タイプ別は以下のようになっている。一体タイプ63%、扶養タイプ54.4%、拠出タイプ72.7%、支出分担タイプ69.7%、夫管理タイプ70.9%。

19)「現在の消費（生活費支出）額に満足していますか」。選択肢は「１.使いすぎていることに不満　２.ほぼ満足　３.少なすぎることに不満」。

20)「現在の消費（生活費支出）の内容に満足していますか」。選択肢は、「１.とても満足　２.ほぼ満足　３.やや不満　４.とても不満」。

21)「あなたは生活全般に満足していますか」。選択肢は「１.満足　２.どちらかといえば満足　3.どちらともいえない　４.どちらかといえば不満　５.不満」。

22)「現在のあなたの生活程度は、世間一般からみて、次のどれに入ると思いますか」。選択肢は、「１.上　２.中の上　３.中の中　４.中の下　５.下」。

23) 共働き世帯に限定。

24) 共働き世帯に限定。

**文献**


色川卓男，1999,「結婚・出産・離婚で女性の〈生活満足度〉はどうかわるか」樋口美雄・岩田正美『パネルデータからみた現代女性――結婚・出産・就業・消費・貯蓄』東洋経済新報社, 193-223.

木村清美，1998,「夫妻の収入変化と「妻がもつお金」」財団法人家計経済研究所編『現代女性の暮らしと働き方――消費生活に関するパネル調査 第５年度』大蔵省印刷局，100-116.

――――，2001a,「家計の共同性と夫妻関係」『季刊 家計経済研究』49: 14-24.

――――，2001b,「家計内の貨幣配分の変化とその規定要因」財団法人家計経済研究所編『現代女性の生活意識と不安――消費生活に関するパネル調査 第8年度』財務省印刷局，81-97.

財団法人家計経済研究所編，1988,『現代家計と家計管理に関する実証研究』財団法人家計経済研究所.

――――編，1992,『ザ・現代家計』大蔵省印刷局.

樋口美雄・阿部正浩，1999,「経済変動と女性の結婚・出産・就業のタイミング」樋口美雄・岩田正美編『パネルデータからみた現代女性――結婚・出産・就業・消費・貯蓄』東洋経済新報社, 25-65.

樋口美雄・岩田正美編，1999,『パネルデータからみた現代女性――結婚・出産・就業・消費・貯蓄』東洋経済新報社.

ホリオカ，チャールズ ユウジ・財団法人家計経済研究所編，2008,『世帯内分配と世代間移転の経済分析』ミネルヴァ書房.

御船美智子，1992a,「家計の個別化について」『季刊 家計経済研究』13: 24-31.

――――，1992b,「家計組織化研究の意義」（財団法人家計経済研究所編 1992: 1-4）.

――――，1994,「家計収支と経済関係」財団法人家計経済研究所編『消費生活に関するパネル調査 第1年度』大蔵省印刷局，29-70.

――――，1995a,「家計内経済関係と夫妻間格差」『季刊 家計経済研究』25: 57-67.

――――，1995b,「家計収支と家計管理の変化」財団法人家計経済研究所編『消費生活に関するパネル調査 第２年度』大蔵省印刷局，39-73.

――――，2000,「夫妻の資産」財団法人家計経済研究所編『新 現代核家族の風景』大蔵省印刷局，65-84.

――――，2004,「夫妻の資産形成・資産に対する意識と妻のストレスとの関係」財団法人ハイライフ研究所編『現代家族のライフスタイルとストレス』財団法人ハイライフ研究所，87-96.

――――，2006,「女性の金融資産と住宅所有」財団法人家計経済研究所編『女性のライフコースと住宅所有』財団法人家計経済研究所，71-89.

御船美智子・重川純子，1999,「妻の就業変化パターンと家計費・家計管理組織」樋口美雄・岩田正美編『パネルデータからみた現代女性――結婚・出産・就業・消費・貯蓄』東洋経済新報社, 127-145.

御船美智子・重川純子，2003，「借り入れ動向と家計」財団法人家計経済研究所編『家計・仕事・暮らしと女性の現在――消費生活に関するパネル調査 第10年度』国立印刷局，29-54.

Ahrne, Göran and Christine Roman, 1997, *Rapport till Utredningen om fördelningen av ekonomisk makt och ekonomiska resurser mellan kvinnor ovh män*, SOU.（＝2001，日本・スウェーデン家族比較研究会／友子・ハンソン訳『家族に潜む権力』青木書店.）

Apps, Patricia and Ray Rees, 2005, "Gender, Time Use and Public Policy over the Life Cycle," *IZA Discussion Papers* 1855, Institute for the Study of Labor.

Aura, Saku, 2005, "Does the Balance of Power within a Family Matter?" *Journal of Public Economics*, 89 (9-10): 1699-1717.

Bernhardt, Eva M., 1996, "Non-Standard Parenting among Swedish Men," Ulla Björnberg and Anna-Karin Kollind eds, *Men's Family Relations*, Stockholm: Almqvist & Wiksell, 91-102.

Bertrand, Marianne, Sendhil Mullainathan and Douglas Miller, 2003,"Public Policy and Extended Families: Evidence from South Africa,"*The World Bank Economic Review*, 17(1): 27-50.

Bonke, Jens and Martin Browning, 2009, "Pooling of Income and Sharing of Consumption within Household," *Economics Series Working Papers* 428, University of Oxford, Department of Economics.

Browning, Martin, Francois Bourguignon, Pierre-Andre Chiappori and Valerie Lenchene, 1994, "Income and Outcome," *Journal of Political Economy*, 102 (6): 1067-1096.

Browning, Martin and Valerie Lechene, 2001, "Caring and Sharing," *Discussion Papers* 01-07, University of Copenhagen, Department of Economics.

Chiappori, Pierre-André, Bernard Fortin and Guy Lacroix, 2002, "Marriage Market, Divorce Legislation, and Household Labor Supply," *Journal of Political Economy*, 110(1): 37-72.

Grey, Jeffery, 1998, "Divorce-Law Changes, Household Bargaining, and Married Women's Labor Supply," *American Economic Review*, 88(3): 628-642.

Haddad, Lawrence, John Hoddinott and Harold Alderman eds., 1997, *Intrahousehold Resource Allocation in Development Countries*, Baltimore: Johns Hopkins University Press.

Heimdal, Kristen and Sharon Houseknecht, 2003, "Cohabiting and Married Couples' Income Organization Approaches in Sweden and the United States," *Journal of Marriage and Family*, 65(3): 539-549.

Lundberg, Shelly, Robert Pollak and Terence Wales, 1997, "Do Husbands and Wives Pool Their Resources?" *Journal of Human Resources*, 32 (3): 463-480.

Pahl, Jan, 1995, "His Money, Her Money," *Journal of Economic Psychology*, 16, 361-376.

Vogler, Carolyn, 1998, "Money in the Household," *The Sociological Review*, 46: 687-713.

Volger, Carolyn and Jan Pahl, 1994, "Money, Power and Inequality within Marriage," *The Sociological Review*, 42: 263-288.

Vogler, Carolyn, 2005, "Cohabiting Couples," *The Sociological Review*, 53: 1-29.

Vogler Carolyn, Clare Lyonette and Richard Wiggins, 2008, "Money, Power and Spending Decisions in Intimate Relationship," *The Sociological Review*, 56: 117-143.

Wolfers, Justin, 2006, "Did Unilateral Divorce Laws Raise Divorce Rates? A Reconcilation and New Results," *American Economic Review*, 96(5): 1802-1820.

さかもと・かずやす　財団法人 家計経済研究所 研究員。主な論文に「世帯内における消費・余暇配分の構造」（チャールズ ユウジ ホリオカ・財団法人家計経済研究所編『世帯内分配と世代間移転の経済分析』ミネルヴァ書房，2008）。労働経済学、生活経済学専攻。
（sakamoto@kakeiken.or.jp）

第 4 章

# 離婚によって女性の生活はどう変化するか？

村上 あかね
（東京大学社会科学研究所 准教授）

## 1. 問題の所在

日本では離婚が増加傾向にある。アメリカなどに比べると少ないものの、日本の離婚件数は1971年に初めて10万件を超え、1996年には20万件を突破した。1951年から1971年までは１‰を下回っていた普通離婚率（人口1,000人当たりの１年間の離婚件数）は上昇を続けた。1980年代の後半にいったん減少に転じたものの1999年以降は２‰台前半で推移している。2006年の離婚率は2.04‰、離婚件数は257,475件である。修正離婚率（既婚女性人口1,000人当たりの１年間の離婚件数）でみても、1970年の1.38‰から2007年には3.29‰へと上昇している（厚生労働省 2008; 国立社会保障・人口問題研究所 2009）。

離婚の上昇傾向は日本に限らず、多くの国で見られる。アメリカの家族研究を軸に離婚の理論を整理した野々山（1985）は、離婚が増加した背景として、離婚法の改正、そして経済の発展と女性の経済的自立にともなって結婚の意味が変化したことをあげる。前者について、有責主義（離婚の原因をつくった配偶者［有責配偶者］からの離婚請求は認めないという原則）から破綻主義（結婚生活が実質的に破綻している場合には、一定の条件を満たしていれば有責配偶者からの離婚請求も認めるという原則）の導入にみられる「離婚政策の寛容性が離婚率の主要な決定要因ではあるが、しかし、離婚法の寛容化は、他方において人びとの離婚需要の高まりにたいする従属変数である可能性は大きい」と指摘する（野々山 1985: 41）。そして、後者については「産業化にともなうアメリカの経済発展は、女性たちを労働市場に引き出すことによって女性たちの自己扶養能力を高めていくとともに、けっきょく結婚（あるいは結婚相手）を生活していくための手段と見なすのではなく、むしろ結婚（あるいは結婚のパートナー）そのものを生活していくための目的とする考え方に徐々に変化させることになった。そこでは夫婦の情緒や友愛が結婚における最も重要な要素となってきた」（野々山 1985: 74）。つまり、情緒や友愛について満足できなければ離婚するようになったということだ。

日本でも有責主義から破綻主義へと流れが変わりつつある。だが、日本の離婚のほとんどは協議離婚であるため、判決が多くの人の離婚行動に与えた影響はあまり大きくないと考えられる。さらに、2007年の年金分割制度（離婚したときに厚生年金の標準報酬を当事者間で分割することができる制度）の導入後、結婚期間の長い夫婦の離婚（熟年離婚）が増加する可能性が指摘された。たしかに、2007年４月の離婚件数は前年同月より1,349件（6.1%）増加し、それまでの減少傾向から反転した。とくに増えたのは、結婚35年以上の夫婦の離婚件数である。

しかし、破綻主義への転換にせよ、年金分割制度の導入にせよ、離婚をめぐる法や制度の変更が、離婚件数の増加傾向をもたらしたのか、あるいは離婚件数の増加にともなって導入されるようになったのかはより慎重な判断が必要だろう。

では、女性の経済的自立は、離婚の増加につな

がっているのか。たしかに、戦後、女性の高学歴化は進んだ。そして、女性の就業率も全体として上がった。しかし、それは未婚化によって生じたものである。既婚女性の多くは結婚や出産で退職し、子どもの手が離れてから再就職する。配偶者控除などの影響もあり、既婚女性の収入は130万円の範囲内に抑えられることがいまでも一般的だ。これらの結果をみると、女性の経済的自立が離婚につながるかは疑問である。

社会全体の離婚の動向に影響する要因や誰が離婚するかを理解することも重要だ。後者については第2節で触れる。そして、さらに検討の必要があるのは離婚が家族に及ぼす影響だ。

離婚率の増加と歩調をあわせるように母子世帯の推計数も1986年の600千世帯から2006年の788千世帯へと増加している（厚生労働省 2007)。「平成16年国民生活基礎調査」によれば母子世帯1世帯当たりの世帯所得は224.6万円であり、世帯人員1人当たりの平均所得金額は86.8万円となる。これに対し、（母子世帯ではない）児童のいる家庭では1世帯当たりの世帯所得は702.6万円、世帯員1人当たりの平均所得金額は161.5万円である。母子世帯の年間所得の内訳をみると、稼働所得が73.4%、公的年金・恩給が6.3%、財産所得は0.8%、年金以外の社会保障給付金が15.4%、仕送り・企業年金・個人年金・その他の所得 が4.0%である。つまり、生活保護を受けている母親、別れた元夫から慰謝料や養育費をもらっている母親という「イメージ」に当てはまる母子世帯は少なく、多くの場合母親が働いているにもかかわらず収入が低い。母親が子どもを引き取るケースも多く、離別者の生活水準は大きく低下し（Weizman 1985; 坂口 2006)、貧困に陥りやすく（岩田 2004)、離別者は有配偶者に比べて資産も少ない（家計経済研究所 2006)。また、その結果として、母子世帯における子どもの貧困率は高く、子どもの発達や格差への影響が懸念されている（阿部ほか 2005)。

これらの事実は、離婚の原因や離婚の発生に関する分析から、離婚前後の生活にも焦点を当てる必要があることを示唆する。そのために適しているのが、同一個人を継続して追跡するパネル調査である。本稿で用いる「消費生活に関するパネル調査」（以下、JPSCと省略）に含まれる離別者のケース数は決して多くはない。そのため、JPSCを用いる分析は、分析結果が少数の特異なケースに影響を受けやすく、母親の学歴別など対象者をいくつかのグループに分けて比較することが難しい。この点は、多くの回答者を確保している「平成9年度人口動態社会経済面調査」や日本労働政策研究・研修機構の調査に比べて難しい点だ。しかし、JPSCは、学歴、資格、職業、家計に関する詳細な情報を含む。そして、パネル調査であるため、離婚前後の生活実態や意識をより正確に測定できる。

さらに、近年の研究では、離別家庭の子どもの貧困に焦点が当てられることが多いが、離婚した母親自身ついても注目する必要がある。離婚が世帯所得とゆとり消費を減少させることはすでに坂口（2006）が指摘しているが、それがなぜかを理解するには、まず貯蓄や住宅、離別女性の親とのかかわりといったより広範な生活基盤の分析も必要である。

そこで、本稿は、女性の生活を大きく変えうる「離婚」というライフイベントに焦点を当てる。第2節、第3節では離婚の規定要因と離婚の社会経済的帰結に関する先行研究を確認する。そして、離別者の生活を既婚者および未婚者と比較したうえで、離婚後の家計がどう変化するか、親からの援助の実態を確認する（第4節)。第5節では、なぜ離別女性の生活が安定しないかの検討を踏まえて、日本における離婚が理論的・政策的に意味するものについて論じる。

## 2. 誰が離婚するのか

平成18年の「人口動態統計」によれば、同居期間5年未満の夫婦の離婚が多い。一方で、同居期間20年以上の夫婦の離婚件数は増加しており、その結果、離婚者の平均同居年数は延びている（1970年は6.8年、2006年は10.3年)。夫の年齢別にみると、30代前半が2割と多い（2006年)。親権を行わなければならない子の有無については、

1970年の調査からあまり大きくは変わっていない。親権を行わなければならない子がいる夫婦の割合は6～8割前後で推移している。

「人口動態統計」では、通常、調査・集計されない夫婦の職業、学歴や価値観も重要な要因である。たとえば、三輪（2007）は、離婚が起こりやすいのは、グレーカラーやブルーカラーであることを確認した。「消費生活に関するパネル調査」を分析した福田節也（2005a, 2005b）は、妻の学歴が高卒よりも低いこと、夫が非正規雇用・無職であること、配偶者以外の異性との親密な交際を肯定する女性ほど離婚率が高いことを示した。この結果は、夫の職業や雇用が不安定であること、学歴があまり高くないこと、離婚の肯定につながるような結婚観を持っていることが、離婚の発生を促すことを示唆する。福田亘孝（2009）でも、同様の結果が得られている[1)]。一般に、夫と妻の社会経済的地位は類似していることを考えると、このような背景が離別母子家庭の生活の困難につながっていると予想できる。そこで、次節では離婚の社会経済的影響についての研究を振り返る。

## 3. 離婚の社会経済的影響とは

離婚は、男女の暮らしにどのような影響をもたらすのか。Weitzman（1985）は、離婚後女性の生活水準は73%低下するが、逆に男性は42%上昇するとの結果を示した。このような男女差がみられる理由として次の理由を挙げる。（1）結婚生活において、妻は家族役割を重視するので稼得能力が失われる。夫の仕事を手伝うなどの妻の貢献は、離婚時の財産分与の際には評価されないし、労働市場でも評価されない。男性は結婚によってキャリアに投資する機会を得るため稼得能力を高める。（2）女性が子どもを引き取ることが多い。子どもを養う必要があるにもかかわらず、働く時間や場所の制約が生じる。（3）労働市場においては男女間賃金格差がある。（4）夫から慰謝料や養育費は十分にもらえない。Weitzmanによれば、離婚によって女性が失うのは収入や財産だけではない。住居が劣悪になったり、人間関係を失ったり、自尊心の源を失ったり、ストレスを抱えたり、子どもの進学機会を失うこともある。そして、離婚の増加は、社会全体としてみれば女性の貧困と子どもの貧困を増やすこととなると指摘する。

ただし、Weitzmanに対しては、分析結果が一貫しておらず、再計算するとWeitzmanが示したほどには女性の生活水準は低下しない、またサンプルの代表性が高くないというHoffman and Duncan（1988）による批判がある。

離婚の影響についてはヨーロッパのデータを用いた成果は、Andreß et al.（2009）にまとめられている。同じ国を対象とした研究でも、用いたデータや集計期間によって数値は若干異なるが、総じて女性のほうが離婚によって収入が減少する。Andreßらはさらにヨーロッパの数カ国のパネルデータを分析した。その結果、女性、とくに子どものいる女性は離婚や別居によって調整済みの世帯収入が減る一方、男性は変わらないか、変わったとしてもわずかな変化にとどまる傾向を見いだした。そして、離婚による生活水準の変化は、各国の保育ケアと税制と社会保障給付のありかた、女性の経済的自立性によって異なることも示した。

日本については、「平成9年度人口動態統計社会経済面調査」の調査がある。親権者（男）で、年収のある者は離婚前後も9割を超え、平均年収は離婚前458.7万円、離婚後見込み466.9万円と大きな変化はない。一方、親権者（女）で年収のある者は離婚前54.9%、離婚後92.8%となっており、平均年収は離婚前167.5万円、離婚後は見込みで195.6万円という。住居も、女性親権者は半数が「賃貸住宅」である。離婚の結果が、女性6割が転居し、結果として広さが「狭くなった」と答える女性も多い。ただし、これは10年以上前の調査であり、現況の把握が望まれる。

坂口（2006）は、「消費生活に関するパネル調査」から、世帯所得（世帯人数で調整済み・中央値）は離婚前の252万円から離婚後には160万円へと大きく低下すること、また、食費や交際費については2割ほど、衣類・履き物費については4割

ほど減少することを示した。坂口の指摘で興味深いのは、このような状況において、所得満足度は大きく下がったものの、消費内容満足度はそれほど低下していないことだ。これは、所得低下により支出の予算制約が高まったにもかかわらず、支出に対する裁量度が高まったからと解釈されている。

本稿では、これらの先行研究を踏まえながら、とくに女性の生活に焦点を当てる。そして、収入や住居だけではなく、預貯金や親とのかかわりといった資源にも焦点を当てて、離婚女性の生活の変化を明らかにする。

## 4. 分析

### (1) 分析に用いる調査の概要

分析には、財団法人家計経済研究所が1993年から2008年まで、毎年秋に同一個人を対象に実施している「消費生活に関するパネル調査」の第１回（パネル１）～第16回（パネル16）のデータを用いる。調査対象は、パネル１から調査を開始したコーホートA（24～34歳の女性1500人)、パネル５から新たに調査を開始したコーホートB（24～27歳の女性500人)、パネル11から調査を開始したコーホートC（24～29歳の女性836人)、パネル16から調査を開始したコーホートD（24～28歳の女性636人）である。いずれも、日本全国から層化二段無作為抽出法によって選ばれた。調査方法は留置法である。

継続して協力を依頼することから、調査初年度の回収率はコーホートAが41.4%、コーホートBが35.3%、コーホートCが28.4%、コーホートDが30.5%と高くはない。しかし、次回以降の回収率（t－1年に協力が得られた回答者を分母とした場合のt年の回収率）はおおむね90%台を維持しており、サンプルの脱落は比較的少ない[2)]。最新の2008年調査の対象は、2,277人（コーホートAは826人、コーホートBは259人、コーホートCは556人、コーホートDは636人）である。

### (2)「消費生活に関するパネル調査」における離婚の発生状況

本稿では、t－1年まで有配偶だった対象者がt年に離死別となり（新規離死別)、かつ生活変動の設問において「あなたが離婚・別居して別の世帯を形成した」に丸がついている場合を調査期間中における新たな離婚の発生と定義した。この結果、コーホートAについては、パネル２から16までに発生した離婚は合計104件、コーホートBについてはパネル５～16までに発生した離婚は合計32件、コーホートCについてはパネル11～16までに発生した離婚は合計32件であった（その後、再婚した者もいる)。過去の離死別経験を考慮すると、パネル16では既婚者1,411人（62.0%)、未婚者694人（30.5%)、離別者152人（6.7%)、死別者20人（0.9%）となった。既婚者や未婚者と比べると離別者と死別者の属性は類似しているとみなしたため、（３）項の属性については、離死別者をまとめて集計している。

### (3) パネル16における離死別者の特徴とは

この項では、有配偶者および未婚者と比較することで、離死別者の社会経済的特徴を確認する。まず、人口学的属性から確認しよう。図表では省略するが、平均年齢は有配偶者が37.3歳、未婚者が29.8歳、離死別者が38.3歳であった。有配偶者と離死別者ではあまり年齢が変わらない。子どもの有無については、子どもが０人の割合が既婚者では15.0%であるのに対し、離死別者では19.2%であった。離死別者のほうがやや子どもが少ない。親との同居については（図表－１)、有配偶者の約３割弱、未婚者の７割、離死別者の3.5割が親と同居している。有配偶者と比較すると、離死別者が親と同居している割合が高い。親と同居することで収入を増やし、支出を減らし、子どもの世話を頼むことができるためと考えられる。ただし、親と同居はしていないが近くに住んでいるケースもいる。世帯を分けることによって、社会保障上有利になるためかもしれないし、住宅事情や家族関係など同居しにくい事情もあるかもしれない。

つぎに、社会経済的背景を確認する。図表－２

**図表−1** 配偶関係別にみた親との同居（パネル16）

単位：%

| 配偶関係 | 同居 | 近居 | 遠居 | 親は死亡 | 無回答 | ケース数(人) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 有配偶 | 28.6 | 40.3 | 30.1 | 0.6 | 0.5 | 1411 |
| 未婚 | 73.6 | 5.8 | 19.2 | 1.2 | 0.3 | 694 |
| 離死別 | 35.5 | 37.8 | 19.2 | 7.0 | 0.6 | 172 |

カイ二乗値(8) = 451.6　Pr = 0.000

**図表−2** 配偶関係別にみた学歴（パネル16）

単位：%

| 配偶関係 | 高卒以下 | 専門学校 | 短大・高専 | 大学･大学院 | ケース数(人) |
|---|---|---|---|---|---|
| 有配偶 | 44.7 | 17.7 | 22.5 | 15.2 | 1411 |
| 未婚 | 29.1 | 18.2 | 17.3 | 35.5 | 694 |
| 離死別 | 71.5 | 9.9 | 12.2 | 6.4 | 172 |

カイ二乗値(6) = 171.6　Pr = 0.000

**図表−3** 配偶関係別にみた働き方（パネル16）

単位：%

| 配偶関係 | 無職 | 常雇 | パートなど | その他･不詳 | ケース数(人) |
|---|---|---|---|---|---|
| 有配偶 | 40.6 | 25.2 | 34.0 | 0.1 | 1411 |
| 未婚 | 7.9 | 67.2 | 24.4 | 0.6 | 694 |
| 離死別 | 16.9 | 42.4 | 40.7 | 0.0 | 172 |

カイ二乗値(6) = 412.4　Pr = 0.000

**図表−4** 配偶関係別にみた現在の住宅の所有関係（パネル16）

単位：%

| 配偶関係 | 持家 | 民間賃貸 | 公営 | 社宅 | NA | ケース数(人) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 有配偶 | 66.3 | 23.2 | 4.8 | 5.2 | 0.4 | 1411 |
| 未婚 | 67.4 | 24.5 | 4.6 | 3.2 | 0.3 | 694 |
| 離死別 | 42.4 | 29.7 | 25.6 | 0.0 | 2.3 | 172 |

カイ二乗値(8) = 150.6　Pr = 0.000

**図表−5** 配偶関係別にみた生活程度の評価

単位：%

| 配偶関係 | 上 | 中の上 | 中の中 | 中の下 | 下 | 無回答 | ケース数(人) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 有配偶 | 0.5 | 15.0 | 56.1 | 24.8 | 3.5 | 0.1 | 1411 |
| 未婚 | 0.4 | 15.4 | 54.9 | 24.9 | 4.0 | 0.3 | 694 |
| 離死別 | 0.0 | 4.1 | 40.1 | 42.4 | 13.4 | 0.0 | 172 |

カイ二乗値(10) = 75.1374　Pr = 0.000

からは、離死別者の学歴が低いことがわかる。離死別者の７割が高卒以下であり、大学・大学院卒は１割に満たない。世帯年収にも大きな違いがある。有配偶者は夫の年収が平均で500万円を超え、妻の年収は100万円超であることから、夫と妻の年収をあわせて600万円を超える。未婚者は本人の年収が平均で250万円を超える。一方、離別者は平均が約230万円である。その他の世帯員の収入は、平均値でみるとほとんどないことから、離死別者の世帯収入が少ないといえる。

しかし、離死別者が働いていないわけではない。パネル16の離死別者のうち、常雇は４割、パートタイマーで働いている人は４割と、大半が働いているにもかかわらず、収入が少ないのが現実である（図表−３）[3]。預貯金は、有配偶者も離死別者も平均で100万円に満たない。住宅についても、離死別者で持家に住んでいるのは半数に満たない（同居している親の持家の場合でも持家とみなしている）。公営住宅居住者は、４分の１にのぼる（図表−４）。離死別者の多くは子どもがいることを考えると、離死別者の生活は苦しいことがうかがえる。実際、暮らし向きにたいする評価（図表−５）を「現在のあなたの生活程度は、世間一般からみて、次のどれに入ると思いますか」という問からみると、離死別者の半数が「下」「中の下」と答えており、既婚者・未婚者の半数が「中の中」と答えていることとは大きく異なる。

まとめると、離死別者は有配偶者や未婚者と比べると、就業率が高いにもかかわらずフローおよびストックが少なく、暮らし向きが苦しい。このような状況をもたらす理由は、学歴の低さとそれに由来する仕事の内容である。離死別者のうち、専門管理職についている割合は１割前後と少なく、約６割が販売サービス職や技能職である（図表は省略）。

しかし、これらの数字はパネル16の時点で離死別である人の特徴である。どのようなプロセスを経て現在の状況に至ったかを知ることは、ライフコースにおける不平等のあり方を把握するために重要である。そこで、次項では離別者に限定し、

**図表−6** 離婚前後の本人の年収（税・社会保険料込み）の変化

無職者を含む　　単位：%

| 離婚前 | 離婚した年 | | | | | 離婚1年後 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | なし | ～129万円 | ～199万円 | ～499万円 | 500万円～ | なし | ～129万円 | ～199万円 | ～499万円 | 500万円～ | ケース数（人） |
| なし | 14.3 | 57.1 | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | 35.7 | 35.7 | 0.0 | 14 |
| ～129万円 | 5.1 | 33.3 | 38.5 | 23.1 | 0.0 | 5.1 | 17.9 | 33.3 | 41.0 | 2.6 | 39 |
| ～199万円 | 0.0 | 20.0 | 28.0 | 52.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 48.0 | 32.0 | 0.0 | 25 |
| ～499万円 | 0.0 | 6.3 | 12.5 | 68.8 | 12.5 | 0.0 | 3.1 | 12.5 | 71.9 | 12.5 | 32 |
| 500万円～ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 60.0 | 5 |

無職者を除く

| 離婚前 | 離婚した年 | | | | | 離婚1年後 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | なし | ～129万円 | ～199万円 | ～499万円 | 500万円～ | なし | ～129万円 | ～199万円 | ～499万円 | 500万円～ | ケース数（人） |
| なし | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0 |
| ～129万円 | 0.0 | 20.8 | 50.0 | 29.2 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | 37.5 | 45.8 | 4.2 | 24 |
| ～199万円 | 0.0 | 11.8 | 29.4 | 58.8 | 0.0 | 0.0 | 11.8 | 52.9 | 35.3 | 0.0 | 17 |
| ～499万円 | 0.0 | 4.2 | 12.5 | 70.8 | 12.5 | 0.0 | 0.0 | 4.2 | 79.2 | 16.7 | 24 |
| 500万円～ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 60.0 | 5 |

**図表−7** 離婚前後の本人の預貯金現在高の変化

無職者を含む　　単位：%

| 離婚前 | 離婚した年 | | | | | 離婚1年後 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | なし | ～129万円 | ～199万円 | ～499万円 | 500万円～ | なし | ～129万円 | ～199万円 | ～499万円 | 500万円～ | ケース数（人） |
| なし | 70.7 | 23.9 | 2.2 | 1.1 | 2.2 | 67.4 | 22.8 | 4.3 | 2.2 | 3.3 | 92 |
| ～129万円 | 20.7 | 44.8 | 27.6 | 6.9 | 0.0 | 34.5 | 27.6 | 24.1 | 6.9 | 6.9 | 29 |
| ～199万円 | 10.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 30.0 | 20.0 | 40.0 | 20.0 | 10.0 | 10.0 | 10 |
| ～499万円 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 1 |
| 500万円～ | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 71.4 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 85.7 | 7 |

無職者を除く

| 離婚前 | 離婚した年 | | | | | 離婚1年後 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | なし | ～129万円 | ～199万円 | ～499万円 | 500万円～ | なし | ～129万円 | ～199万円 | ～499万円 | 500万円～ | ケース数（人） |
| なし | 68.2 | 27.3 | 2.3 | 0.0 | 2.3 | 61.4 | 27.3 | 4.5 | 2.3 | 4.5 | 44 |
| ～129万円 | 21.7 | 47.8 | 21.7 | 8.7 | 0.0 | 30.4 | 34.8 | 21.7 | 4.3 | 8.7 | 23 |
| ～199万円 | 0.0 | 16.7 | 16.7 | 33.3 | 33.3 | 16.7 | 33.3 | 33.3 | 16.7 | 0.0 | 6 |
| ～499万円 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 1 |
| 500万円～ | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 80.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 5 |

離別前後の生活の変化を調べる。

### （4）離死別前後における生活の変化

この項では、離婚前後（離婚前、離婚した年、離婚１年後）の生活の変化に注目する。JPSCの調査期間中に新たに離別した女性にのみ焦点を当てるため、データの範囲はパネル２～パネル16のコーホートA～Cとする。調査期間中であれば、いつ離婚が発生したかは問わない。

図表−６によれば、離婚前の本人の年収（社会保険料や税金を含む）[4)]は０円の人こそ少ないものの130万円以下の人が５割弱であり、200万円未満が３分の２を占める。500万円以上あり、安心して生活を営める人は１割に満たない。離婚した年についても、この傾向はかわらない。離婚の翌年になると200万円を超える人がやや増えるが、それでも500万円を超える人はきわめて少ない。収入が増加する傾向にあるのは、離婚を機に働いている人を含むためである。しかし、この図表を離婚前・離婚した年･離婚１年後に働いていた人

**図表−8** 離婚前後の住宅の変化

単位：%

| 離婚前 | 離婚した年 | | 離婚1年後 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 賃貸など | 持家 | 賃貸など | 持家 | ケース数(人) |
| 賃貸など | 79.7 | 20.3 | 79.7 | 20.3 | 74 |
| 持家 | 41.2 | 58.8 | 47.1 | 52.9 | 68 |

**図表−9** 離別者・親との同居別にみた住宅の所有関係（パネル16）

単位：%

| 親との同居 | 持家 | 民間賃貸 | 公営 | 社宅 | NA | ケース数（人） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 同居 | 79.3 | 10.3 | 8.6 | 0.0 | 1.7 | 58 |
| 近居 | 17.0 | 35.6 | 42.4 | 0.0 | 5.1 | 59 |
| 遠居 | 15.4 | 61.5 | 23.1 | 0.0 | 0.0 | 26 |
| 親は死亡 | 25.0 | 12.5 | 62.5 | 0.0 | 0.0 | 8 |
| 無回答 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 1 |

カイ二乗値(12) = 73.0　Pr = 0.000

**図表−10** 離別者・親との同居別にみた生活程度の評価（パネル16）

単位：%

| 親との同居 | 上 | 中の上 | 中の中 | 中の下 | 下 | 無回答 | ケース数（人） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 同居 | 0.0 | 5.2 | 41.4 | 36.2 | 17.2 | 0.0 | 58 |
| 近居 | 0.0 | 1.7 | 44.1 | 47.5 | 6.8 | 0.0 | 59 |
| 遠居 | 0.0 | 0.0 | 26.9 | 65.4 | 7.7 | 0.0 | 26 |
| 親は死亡 | 0.0 | 12.5 | 25.0 | 25.0 | 37.5 | 0.0 | 8 |
| 無回答 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1 |

カイ二乗値(12) = 18.6　Pr = 0.097

に限定しても状況は大きくは変わらない。

女性自身の名義の預貯金残高（調査時の現在高。図表−7）も、収入と同じような傾向がある。離婚後預貯金残高が増える傾向がある。離婚した妻が働くようになったり、支出の裁量性が高まったり、支出を切り詰めた結果、預貯金現在高が増えた可能性がある。夫からの財産分与の可能性は低そうだ。なお、特筆すべきなのは離婚前に預貯金がなかった人が半数以上を占めることである。これを、離婚前・離婚した年・離婚1年後に働いていた人に限定しても状況はほぼ同じである。

住宅についても（図表−8）、離婚前後も賃貸に住む人と持家に住む人が約半数である。やや前者が多い。ただし、離婚前から賃貸だった人が離婚後も持家に住むケースは少ない。

つまり、離別者の生活は離婚の前から苦しく、離婚後は収入や預貯金が増えるものの、ゆとりがある状態からは遠い。その理由としては、妻は離婚前から働いていたが、130万円の範囲で働くことが多いこと、また学歴が低いために、離婚後も夫の収入を補うだけの職業機会に恵まれないことが累積したためといえる。図表−8をみると、持家居住者が意外に多く、図表−1とは異なる印象がある。その理由は、第一に、図表−8の対象となった人は少なくとも3年間データが得られている人である。つまり、持家であるために、調査から脱落しにくく、結果として、図表−8では持家率が高い可能性がある。第二に、福田（2005b）でも指摘されているように、妻方同居は離婚の発生に結びつきやすい。そのため、図表−8で持家の比率がやや高い可能性もある。親との同居については次項で確認する。

### (5) 親は離別者の生活をどうサポートするのか?

これまでに確認したように、ライフコースを通じて不安定な状況におかれることは、離婚後の女性と子どもの生活を難しくする。このような危機に対処するすべはないのだろうか。選択肢として考えられるのは(1)夫からの財産分与や養育費である。しかし、「母子世帯等調査」を見るとあまり期待できない。ほかの選択肢は(2)児童扶養手当など社会保障政策による再分配である。ただし、児童扶養手当も子どもが18歳になると打ち切られるため、長期的にみて離別者の生活を安定させるものではない。(3)再婚は、再々離婚につながる可能性が高い(野々山 1985)。(4)女性自身が職業訓練を受けるなどしてよりよい職業機会を得ることも考えられるが、ここでは論じない。とすると、(5)親からのサポートが重要ではないか。たとえば、親と同居すれば社会保障給付は減額されるかもしれないが、持家に住むことができ、将来の生活も安定するはずだ。あるいは、子どものいる対象者の場合、子どもの世話をしてもらうことで就業機会を増やすことができるかもしれない。そこで、パネル16について、離別者に限定し、親との同居と住宅の所有関係について再分析したものが図表-9である。

分析の結果、親と同居することで持家に住む機会が増えることがわかる。また、親と同居していれば、生活程度の評価も「中の中」の割合が高くなる(図表-10)。つまり、離別者にとって、親との同居は離別後の苦しい生活を乗り切るための重要な資源であることをあらためて確認できる。ただし、同居者については「中の下」の割合も高く、この点は今後慎重に検討する必要がある。

## 5. まとめ

本稿は、女性の働き方と家計に焦点を当てて、離婚が女性の生活にどのような影響をもたらすかを検討した。離婚前後の変化がわかる調査は「平成9年人口動態統計社会経済面調査」「母子世帯等調査」があるが意外に少なく、長期的な変化を追跡できるJPSCを用いた点に本稿の意義がある。また、これら官庁統計は学歴、職業や家計について詳しく聞いておらず、その点もJPSCの強みである。ただし、JPSCは官庁統計よりも離死別者のケース数が少ないため、分析結果の解釈は留保が必要である。また、今後は、(3)の属性についても離別者と死別者を識別して集計する予定である。

分析結果から以下の事実が示される。(1)有配偶者や未婚者と比べると、離(死)別者は働いていても経済的に苦しい。(2)同一個人を追跡するパネルデータの特徴を生かした分析からは、そもそも離別女性は離婚の前から収入が少なく、預貯金も少ない。(3)離婚後、働きに出るなどして女性個人の収入や預貯金は増えるが、離別女性や子どもの生活を安定させ、子どものライフチャンスや女性の老後を支えるに足る十分な収入を得ている女性は少ない。離婚が貧困のリスクと関連する(岩田・濱本 2004)という結果と重なる。この背景には、(4)離(死)別女性は学歴が低く、専門職従事者も少ないという現状がある。また、先行研究が示すように、離別者の夫も社会的に不利な状況にあることから、財産分与や養育費なども期待できない。したがって、(5)離婚後の生活に対処するための資源としては、「親」が重要な存在になる。離婚後、親と同居する女性の多くは持家に住んでいる。ただし、全員が親に頼れるわけではない。

この結果は、離別家庭における子どもだけではなく、離別女性自身の生活にも注目する必要性を示唆する。また、女性が経済的に自立するようになったので離婚が増えたとする理論がどこまで妥当かという疑問も投げかける。離婚の要因に関する先行研究を考慮すると、むしろ離婚へといたる夫婦の多くは夫の社会経済的地位が不安定ゆえに妻も働く必要があり、性別役割分業によって効用を最大化させて結婚の質を高めることができないため、離婚へといたると考えられる。ただ、離別女性が一般に低収入にとどまっていることを考えると、現状では多くの場合、結婚は女性の生活を支える仕組みになっている面もあることは確かである。ただし、離婚後に、女性の生活が大きく変

動することを考えると、性別役割分業体制にはリスクが大きい。

しかし、離婚にポジティブな面がまったくないとは言えない。第一に、坂口（2006）やPahl（1989＝1994）が示すように、離婚によって家計における裁量性が高まる可能性がある。裁量性が高まれば、むしろ離別女性と子どもの生活基盤が安定するきっかけとなりうる。本稿の分析でも、離婚後、女性個人の預貯金残高が増える傾向が見られたが、裁量性の高まりが関係するかもしれない。第二に、夫婦関係と子どもの心理への影響である。神原ら（2000）の調査結果によれば、離別家庭の子どもよりも夫婦関係が良くない子どものほうが、家庭の雰囲気が温かくないと評価している。夫婦間の結婚満足度が低いと、父親と子どもとのかかわりが減り、子どもの低い評価につながっているようだ。

ただし、離別家庭の生活が苦しいことは事実であり、親だけではなく、社会全体で離別女性の生活を支える仕組みが求められる。働けない事情がある一部を除けば、多くの離別女性は長時間働いている。しかし、収入が少ないことが大きな問題である。かならずしも学歴が高くない離別女性にとって、職業訓練は正規職員としての就業を可能にする一つの有効な取り組みである（高田 2008）。しかし、預貯金という資源が少なく、大きな生活変動のあと、ただちに生活を立て直す必要に迫られる女性が、十分な職業訓練を受けること可能だろうか。女性が生涯を通して安定した職業キャリアを形成し、生活できる社会であることが望まれる。

残された課題は、（１）JPSCのメリットを生かして、家計の変化を離婚前後の短期的な変化にとどまらず、離婚前、離婚した年、離婚１年後、３年後、５年後……というように長期的な変化を追うことである。それによって、ライフコースにおける累積的効果、つまり離別女性はライフコースをつうじて経済的に苦しい状況に置かれ続けるかどうか、そして苦境から脱出するにはどのような条件が必要かというライフコース論においても、政策的にも重要な仮説を検証することになる。さらに、Andreßら（2009）が提示した、国の家族政策や性別役割分業のありかたによって、離婚の社会経済的帰結が異なるという理論が日本にも当てはまるかも検証できる。国際比較を通じて、社会のありかたにたいして大きな示唆が得られる意義があろう。また、（２）第４節５項で分析した、親の援助の内容をもう少し具体的に明らかにすることである。そして、（３）Weitzman（1985）も示唆したように、離婚は生活水準を低下させるにとどまらない。人間関係やストレスの変化にまで分析の射程を拡げることで、女性の生活を総合的に捉えることも、必須である。そして、女性個人を主な調査対象としているJPSCでは不可能なことであるが、離婚が男性にもたらす影響を知ることも重要である。したがって、男女を対象とした「平成９年人口動態社会経済面調査」はやや調査時期が古いが、あらためてレビューする必要がある。さらに、慶応義塾大学家計パネル調査（KHPS）や東京大学社会科学研究所の「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS）など、調査対象に男性も含むパネルデータを用いることで、離婚がもたらす社会経済的帰結のジェンダー差について実証的に明らかにすることが望まれる。

**注**

1）ただし、日本労働政策研究・研修機構のデータを分析した藤原（2007）は、母子世帯内部にも母親の学歴による格差があると指摘する。
2）詳細な調査設計や毎年の回収率については家計経済研究所編（2008）を参照のこと。
3）「平成９年人口動態統計社会経済面調査」に比べて常雇の割合が低いのは、「平成９年人口動態統計社会経済面調査」が子どもの親権がある女性の数字であるという理由のほかに、この10年間に社会全体において常雇の仕事が減少したためと考えられる。
4）調査は毎年秋に実施される。一方、年収は調査が行われた年の、前年１月から12月までの年収を聞くという調査法上の問題がある。離婚が発生した月は不明なので、離婚前の年収には一部離婚後の年収も含まれる可能性がある。

付記　本稿は、科学研究費補助金（若手研究・スタートアップ）「リスク社会におけるライフイベントと家族の適応に関する研究――縦断的データを用いて」の成果の一部である。

**文献**


阿部彩・大石亜希子，2005,「母子世帯の経済状況と社会保障」国立社会保障・人口問題研究所編『子育て世帯の社会保障』東京大学出版会，143-161.

岩田正美・濱本知寿香，2004,「デフレ下の『貧困の経験』」樋口美雄・太田清・家計経済研究所編『女性たちの平成不況』日本経済新聞社，203-233.

神原文子，2000,「夫婦関係満足度と親子関係」神原文子・高田洋子編『教育期の子育てと親子関係』ミネルヴァ書房，119-143.

厚生労働省，1998,「平成9年度人口動態社会経済面調査の概況――離婚家庭の子ども」(http://www1.mhlw.go.jp/toukei/s-keizai/mokuji.html).

――――，2005,『平成16年国民生活基礎調査の概況』(http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa04/index.html).

――――，2007,『平成18年国民生活基礎調査の概況』(http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa06/index.html).

――――，2007,『平成18年全国母子世帯等調査結果報告』(http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-setai06/index.html).

――――，2008,『平成19年 人口動態統計(確定数)の概況』(http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei07/index.html).

国立社会保障・人口問題研究所，2009,『人口統計資料集（2009)』(http://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/Popular2009.asp?chap=0).

財団法人家計経済研究所編，2006,『女性のライフコースと住宅所有』財団法人家計経済研究所.

――――編，2008,『制度変更と家計――消費生活に関するパネル調査（第15年度)』財団法人家計経済研究所.

坂口尚文，2006,「結婚、離婚に伴う女性の所得、支出変化」『ESP』408: 44-49.

高田しのぶ，2008,「母子家庭の母の正規就業を阻む要因」労働政策研究・研修機構編『母子世帯の母への就業支援に関する研究』労働政策研究・研修機構，247-259.

野々山久也，1985,『離婚の社会学』日本評論社.

福田節也，2005a,「結婚終焉のリスク――離婚・死別・再婚の発生」財団法人家計経済研究所『リスクと家計――消費生活に関するパネル調査（第12年度)』国立印刷局，35-48.

――――，2005b,「離婚の要因分析」財団法人家計経済研究所『リスクと家計――消費生活に関するパネル調査（第12年度)』国立印刷局，49-63.

福田亘孝，2009,「配偶者との別れと再びの出会い――離別と死別、再婚」藤見純子・西野理子編『現代日本人の家族――NFRJからみたその姿』有斐閣，72-84.

藤原千沙，2007,「母子世帯の階層分化――制度利用者の特徴からみた政策対象の明確化」『季刊家計経済研究』73: 10-20.

三輪哲，2007,「なぜ離婚リスクは社会階層により異なるのか」永井暁子・松田茂樹編『対等な夫婦は幸せか』勁草書房，29-43.

Andreß, Hans-Jürgen, Barbara Borgloh, Miriam Bröckel, Marco Gießelmann and Dina Hummelsheim, 2009, "The Economic Consequence of Partnership Dissolution: A Comparative Analysis of Panel Studies from Belgium, Germany, Great Britain, Italy and Spain," Hans-Jürgen Andreß and Dina Hummelsheim eds., *When Marriage Ends: Economic and Social Consequences of Partnership Dissolution*, Cheltenham: Edward Elgar, 286-329.

Hoffman, Saul D. and Greg J. Duncan, 1988, "What Are the Economic Consequences of Divorce?" *Demography*, 25（4）: 641-645.

Pahl, Jan M., 1989, *Money and Marriage*, Basingstoke: Macmillan Education.（=1994，室住真麻子・木村清美・御船美智子訳『マネー＆マリッジ――貨幣をめぐる制度と家族』ミネルヴァ書房.）

Weitzman, Lenore J., 1985, *The Divorce Revolution: The Unexpected Social and Economic Consequences for Women and Children in America*, New York: Macmillan.


むらかみ・あかね　東京大学社会科学研究所 准教授・財団法人 家計経済研究所 客員研究員。主な論文に「家族と貧困」（野々山久也編『論点ハンドブック家族社会学』世界思想社，2009)。家族社会学、社会階層論、社会調査法専攻。(murakami@iss.u-tokyo.ac.jp)

第 5 章

# 若年女性の暮らしの変化
## ――1970年代後半と80年代前半コーホートの比較

田中 慶子
（財団法人 家計経済研究所 研究員）

## 1. はじめに

「消費生活に関するパネル調査」（以下、JPSC）は、第16年度を迎えた2008年に、24～28歳の新たなコーホート（以下、コーホートDとする）を追加した。JPSCは、20代後半以降の女性（や世帯）の家計や暮らし、就業という多様な側面から同一個人を追跡していくことに主眼があることは言うまでもない。しかし同時に1993年の調査開始以降、1996年、2003年と新規コーホートを追加してきたことで、現在では1959年～1984年生まれまでと幅広い年齢層の女性が対象となり、同年齢に同様の質問をしているため、時代効果に注目したコーホート比較を行えるという強みをもっているデータとなっている。この20年間で女性をとりまく環境は大きく変化している。これまでもJPSCによって「均等法世代」などが描き出されて、社会構造の変化によって女性のライフコースがどのような影響を受けるのかが明かにされてきた。

今回、新たに追加したコーホートDは、1980年～1984年生まれ（以下、1980年代前半とする）であり、1974～1979年生まれ（以下、1970年代後半とする）のコーホートCとともに「ロストジェネレーション」（朝日新聞 2007）といわれ[1)]、豊かな時代に生まれ、バブル崩壊後の「失われた10年」に大人になった。卒業・就職・結婚・出産という「成人への移行」の時期を、持続的・長期的な経済停滞期のもとで過ごした戦後初の世代であるという点で特徴的である。1990年代以降の高学歴化や若年雇用環境の悪化、未婚化の影響などを考えるうえでも、その動向が注目される世代である。コーホートDのこれまでのライフコースを概観すると、生まれた時はバブル景気であったものの、1990年代の低成長期に教育期を過ごし、好景気を知らない世代といわれる。18歳時点での進路も、高学歴化、とりわけ4年制大学への進学が急増し、2000年には女性でも4年制大学への進学が3割を超えた。短期大学への進学も2割近くおり、高卒後の進路が「就職から進学へ」と転換した世代である。しかし1990年代後半以降、若年層の雇用環境は厳しく、非正規化、雇用の不安定化が社会問題化した。学卒時の就職も「超氷河期」といわれ、（一時的に改善した時期があったが）就職も非常に難しい状況を経験した（している）世代である。また男女平等を意識だけでなく、教育などの実践においても幼少期から体得している世代であろう。そして、1990年代以降の未婚化、晩婚化、少子化という風潮の中で家族形成期を迎えており、生涯未婚率が女性でも2割を超えると予想されている（国立社会保障・人口問題研究所 2008）。

このようにコーホートDは、1990年代以降の日本社会の変化―幼少期から長期的な低成長・不況下にあり、進学や就業というライフコースの重大な選択の時期に、景気の変動、若年雇用環境の悪化という社会構造の影響が「直撃」した世代である。そのような状況が「成人への移行」のプロセスや、意識・態度にどのような影響がみられるのか、さらに今後のライフコースの展開が注目されるであろう。

**図表−1** 家族領域についてのコーホート比較

| | | コーホートD | | コーホートC | | 比率の差 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | % | n | % | |
| 配偶地位 | 未婚 | 399 | 62.7 | 418 | 60.3 | 2.4 |
| | 有配偶 | 210 | 33.0 | 257 | 37.1 | −4.1 |
| | 無配偶・離死別あり | 19 | 3.0 | 11 | 1.6 | 1.4 |
| | 有配偶・離死別あり | 5 | 0.8 | 6 | 0.9 | −0.1 |
| | 無回答 | 3 | 0.5 | 1 | 0.1 | 0.3 |
| 世帯類型 | 有配偶・夫婦のみ | 57 | 9.0 | 50 | 7.2 | 1.7 |
| | 有配偶・夫婦と子 | 122 | 19.2 | 141 | 20.3 | −1.2 |
| | 無配偶・親と同居 | 294 | 46.2 | 327 | 47.2 | −1.0 |
| | 無配偶・単身 | 105 | 16.5 | 90 | 13.0 | 3.5 |
| | その他（三世代同居など） | 58 | 9.1 | 85 | 12.3 | −3.1 |
| 両親の健在 | 両親健在 | 570 | 89.6 | 623 | 89.9 | −0.3 |
| | 1人健在 | 54 | 8.5 | 65 | 9.4 | −0.9 |
| | 両親死亡 | 0 | 0.0 | 1 | 0.1 | −0.1 |
| | 無回答 | 12 | 1.9 | 4 | 0.6 | 1.3 |
| 母親就業 | 外で働いたことがない | 141 | 22.2 | 182 | 26.3 | −4.1 |
| | 5年未満 | 100 | 15.7 | 120 | 17.3 | −1.6 |
| | 5年〜10年未満 | 110 | 17.3 | 100 | 14.4 | 2.9 |
| | 10年〜15年 | 77 | 12.1 | 110 | 15.9 | −3.8 |
| | 15年以上 | 196 | 30.8 | 172 | 24.8 | 6.0 |
| | 無回答 | 12 | 1.9 | 9 | 1.3 | 0.6 |
| 親の年収 | 249万円以下 | 117 | 18.4 | 137 | 19.8 | −1.4 |
| | 250万〜499万円 | 118 | 18.6 | 127 | 18.3 | 0.3 |
| | 500万〜749万円 | 138 | 21.7 | 126 | 18.2 | 3.5 |
| | 750万〜999万円 | 92 | 14.5 | 103 | 14.9 | −0.4 |
| | 1000万〜1249万円 | 43 | 6.8 | 70 | 10.1 | −3.3 |
| | 1250万〜1499万円 | 14 | 2.2 | 25 | 3.6 | −1.4 |
| | 1500万円以上 | 17 | 2.7 | 31 | 4.5 | −1.8 |
| | 無回答 | 97 | 15.3 | 74 | 10.7 | 4.6 |
| ライフイベント経験 | なし | 306 | 48.1 | 319 | 46.0 | 2.1 |
| | 1種類 | 165 | 25.9 | 204 | 29.4 | −3.5 |
| | 2種類以上 | 165 | 25.9 | 170 | 24.5 | 1.4 |
| | 平均（0を除く） | | 1.8 | | 1.7 | |
| | 家族・人間関係 | | 1.9 | | 1.8 | 0.1 |
| | 進路の変更 | | 1.4 | | 1.2 | 0.2 |
| | 経済的困難 | | 1.7 | | 1.5 | 0.2 |

そこで、本稿ではコーホート比較のための基礎的作業として、新しいコーホートDのこれまでのライフコースや「成人への移行」のプロセスという基本属性を確認することを目的とする。その際、１つ前のコーホートCと比較することで、あわせてJPSCにおける「ロストジェネレーション」内での差異を明らかにする。

## 2. 若年期の暮らしの変化 ——コーホートCとDの比較から

JPSCでは、就業、消費、暮らしなど多岐にわたる質問を行っている。ここでは、家族（主に親子関係について）、学校から職業への移行、生活意識という３つの領域について、基礎的な集計にとどまるがコーホートによる違いを確認していく。前述のようにコーホートCは、第11年度調査（2003年実施）から、コーホートDは、第16年度調査（2008年実施）から追加された。初回調査の対

象年齢は、コーホートCは24～29歳、コーホートDは24～28歳であるため、ここではコーホートCは28歳までに限定して、比較を行う。コーホートCでは693名、コーホートDでは636名となる。なお、JPSCは母集団（国勢調査）に対し、地域（都道府県）、年齢（２区分）、配偶関係、無配偶の場合は世帯構成によって層化を行いサンプリングしている。回収が完了数ベースとなるため、コーホートによってサンプル数に若干差があるが、母集団の構成を維持しており、初回調査については全体の動向を反映しているものと考えられる。

**（1）家族領域**

対象者の家族に関する基本属性について比較する。集計結果は、図表－１にまとめて示している。最初に配偶地位については、未婚率でみるとコーホートDは62.7%、コーホートCは60.3%であり、2.4ポイント上昇している。JPSCでも未婚化の動向を確認できる。また、無配偶・離死別経験がある者が1.6%から3.0%とわずかではあるが増加している。コーホート全体の未婚化・晩婚化の動向とは別に、早婚で若年期に離死別を経験する層の動向が今後注目される。

次に、世帯構成をみると、コーホート全体に占める「無配偶・単身」と「有配偶・夫婦のみ」世帯が増え、「有配偶・夫婦と子」や「その他（三世代同居など）」など、子どもがいる世帯類型の割合が減っている。ただし、無配偶のみで比較すると（図表は省略）、単身世帯は21.0%→25.1%に増加し、「親と同居」（含む三世代同居）は77.9%→72.2%に減少しており、未婚で親元に同居している「パラサイト・シングル」（山田 1999）は減少傾向にある。

続いて、両親の状況についてみてみると、いずれのコーホートも、約９割が両親ともに健在である。今回のコーホートDの回答で特徴的だったこととして、ケース数としては多くないものの両親（主に父親）の健在について無回答が増えていることがある（1.3%増加）。回答者本人の離死別だけでなく、回答者の親夫婦についても離死別したケースが増加していることが予想される。また、回答者が20歳になるまでの間の母親の就業期間については、「外で働いたことがない」という専業主婦タイプが減少し、「５年～10年未満」や「15年以上」と母親が外で就労していたという者が増えている。コーホートCでは「働いたことがない」が最も多く、次いで「15年以上」がそれぞれ４分の１ずつを占めていたが、コーホートDでは「15年以上」が３割で最も多く、（一貫して）専業主婦の母親に育てられたという者が減っている。

昨年１年間の親の収入額（階級値）をみると、1000万円以上の層が6.5ポイントほど減少し、500万～749万円の層が18.2%→21.7%に増加している。1970年代後半の「団塊ジュニア」にあたるコーホートCの世代は、親元に同居し、経済的に豊かな親から経済的にも支援を受けている「パラサイト・シングル」が注目を集めたが（山田 1999）、コーホートDでは、年収1000万円を超える豊かな親は減少し、また未婚者でも親元同居の割合が減少し、1970年代後半に比べ1980年代前半コーホートでは、親子双方からみて「パラサイト化」していないことが確認できる。

回答者が、中学を卒業してから現在までの間に、本人や家族にネガティブなライフイベント（手術や長期療養を要するような重い病気や、退職・失業、離婚・別居などの10項目）の経験があったのかをみると、何も経験していない（「なし」）という者が46.0%→48.1%に増えている一方、２種類以上のライフイベントを経験している者の割合が増えている。とくにコーホートDでは４種類以上と多くのイベントを累積的に経験している者の割合が増えている。経験した出来事について、その結果どのようなことが起こったのか（複数回答）を、家族・人間関係の困難[2)]、進路の変更[3)]、経済的困難[4)]の３つに分類して比較してみると、いずれの経験（対処）も増えており、若年期において、本人もしくは家族のことでライフコースの変更や、対処を必要とするようなネガティブなライフイベントを経験した者が増えていることが推察される。

以上のように、親との関係を中心とした家族領域について２つのコーホートを比較すると、コー

**図表-2** 学校から職業への移行についてのコーホート比較

| | | コーホートD | | コーホートC | | 比率の差 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | % | n | % | |
| 最終学歴 | 中学校 | 38 | 6.0 | 28 | 4.0 | 2.0 |
| | 高校 | 186 | 29.2 | 220 | 31.7 | −2.5 |
| | 専門・専修 | 129 | 20.3 | 131 | 18.9 | 1.4 |
| | 短大 | 81 | 12.7 | 154 | 22.2 | −9.5 |
| | 高専 | 1 | 0.2 | 2 | 0.3 | −0.1 |
| | 4年制大学 | 190 | 29.9 | 145 | 20.9 | 9 |
| | 大学院 | 10 | 1.6 | 9 | 1.3 | 0.3 |
| | その他 | 0 | 0.0 | 3 | 0.4 | −0.2 |
| | 無回答 | 1 | 0.2 | 1 | 0.1 | −0.1 |
| 中退経験 | あり | | 10.4 | | 10.0 | 0.4 |
| 学卒と初職 | 学卒前 | 67 | 11.7 | 66 | 11.4 | 0.4 |
| | 同時 | 457 | 80.0 | 476 | 82.1 | −2.0 |
| | 学卒後 | 47 | 8.2 | 38 | 6.6 | 1.7 |
| | | 571 | 100.0 | 580 | 100.0 | |
| 現在の就業 | 有職 | 474 | 74.5 | 493 | 71.1 | 3.4 |
| | 休職中 | 14 | 2.2 | 5 | 0.7 | 1.5 |
| | 学生 | 9 | 1.4 | 11 | 1.6 | −0.2 |
| | 専業主婦 | 107 | 16.8 | 141 | 20.3 | −3.5 |
| | その他無職 | 32 | 5.0 | 43 | 6.2 | −1.2 |
| | 専業主婦率 | | 48.6 | | 53.4 | −4.8 |
| | 未婚有職率 | | 90.2 | | 88.1 | 2.1 |
| 職務 | 常勤 | 310 | 64.2 | 310 | 62.5 | 1.7 |
| | パート・アルバイト | 124 | 25.7 | 132 | 26.6 | −0.9 |
| | 嘱託・その他 | 49 | 10.1 | 54 | 10.9 | −0.8 |
| 年収(万円) | 常勤 | 285 | 274.9 | 288 | 284.4 | −9.5 |
| | パート・アルバイト | 105 | 122.2 | 111 | 124.3 | −2.1 |
| | 嘱託・その他 | 39 | 213.7 | 50 | 179.2 | 34.5 |
| | 全体 | 429 | 232.0 | 449 | 233.1 | −1.2 |
| 月収(手取り)(万円) | 常勤 | 280 | 18.0 | 303 | 17.6 | 0.4 |
| | パート・アルバイト | 109 | 10.0 | 114 | 10.0 | 0.0 |
| | 嘱託・その他 | 42 | 16.1 | 54 | 15.2 | 0.9 |
| | 全体 | 431 | 15.8 | 471 | 15.5 | 0.3 |
| 現職＝初職 | 継続 | 207 | 32.5 | 215 | 31.0 | 1.5 |
| 期間中の就業 | 常勤・自営経験なし | | 25.3 | | 17.0 | |
| | すべて常勤・自営 | | 45.2 | | 50.8 | |

ホートDでは未婚化が進展しているが、その実態は「パラサイト・シングル」というよりも、親を経済的に頼りづらくなり、また子ども（20代後半女性）も離家しており、「非パラサイト」的な関係となっている。また、1990年代以降は、（景気の悪化と連動するように）家族関係の不安定化（離婚や子どもの虐待などの増加、一家離散など）も指摘される。JPSCをみるとネガティブなライフイベントをまったく経験しない人が増える一方、そのようなイベントを累積的に経験し、ライフコースの変更を余儀なくされるような対処を迫られる人もわずかではあるが確実に増えており、「家族のリスク化」（山田 2001）の兆候がみられる。

### (2) 学校から職業への移行

次に、学校から職業への移行についても、２つのコーホートを比較しながらみていこう。まず、回答者の最終学歴（中退は卒業に含まない）を確認すると、コーホートCでは、高校31.7%、短大

**図表−3** 生活意識についてのコーホート比較

| | | コーホートD | | コーホートC | | 比率の差 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | % | n | % | |
| 生活満足 | 満足 | 101 | 15.9 | 85 | 12.3 | 3.6 |
| | どちらかといえば満足 | 283 | 44.5 | 293 | 42.3 | 2.2 |
| | どちらともいえない | 173 | 27.2 | 197 | 28.4 | −1.2 |
| | どちらかといえば不満 | 59 | 9.3 | 87 | 12.6 | −3.3 |
| | 不満 | 18 | 2.8 | 30 | 4.3 | −1.5 |
| | 無回答 | 2 | 0.3 | 1 | 0.1 | 0.2 |
| 幸福感 | とても幸せ | 221 | 34.7 | 190 | 27.4 | 7.3 |
| | まあまあ幸せ | 300 | 47.2 | 359 | 51.8 | −4.6 |
| | どちらでもない | 77 | 12.1 | 108 | 15.6 | −3.5 |
| | 少し不幸 | 31 | 4.9 | 22 | 3.2 | 1.7 |
| | とても不幸 | 4 | 0.6 | 12 | 1.7 | −1.1 |
| | 無回答 | 3 | 0.5 | 2 | 0.3 | 0.2 |
| 階層意識 | 上 | 3 | 0.5 | 10 | 1.4 | −0.9 |
| | 中の上 | 87 | 13.7 | 97 | 14.0 | −0.3 |
| | 中の中 | 371 | 58.3 | 379 | 54.7 | 3.6 |
| | 中の下 | 145 | 22.8 | 157 | 22.7 | 0.1 |
| | 下 | 27 | 4.2 | 48 | 6.9 | −2.7 |
| | 無回答 | 3 | 0.5 | 2 | 0.3 | 0.2 |
| 結婚意向 | 結婚が決まっている | 27 | 6.5 | 27 | 6.3 | 0.2 |
| | すぐにでもしたい | 79 | 18.9 | 55 | 12.8 | 6.1 |
| | いずれしたいが、今はしたくない | 240 | 57.4 | 262 | 61.1 | −3.7 |
| | 必ずしもしなくてよい | 47 | 11.2 | 65 | 15.2 | −4.0 |
| | したくない | 22 | 5.3 | 19 | 4.4 | 0.9 |
| | 無回答 | 3 | 0.7 | 1 | 0.2 | 0.5 |

22.2%、4年制大学20.9%の順となっていたが、コーホートDでは4年制大学29.9%、高校29.2%、専門・専修学校20.3%と、短大が大幅に減り、代わって専門・専修学校が増加している。コーホートによって最終学歴の構成が大きく変わってきていること、また高等教育への進学率、とりわけ大学が2割から3割へと増えていることが、今後の就業や結婚の趨勢にどのような影響を及ぼすのか注目される。

また回答者のこれまで通った学校での中退経験の有無をみると、いずれかの学校で中退経験がある者がコーホートCは10.0%、コーホートDは10.4%となっている。

学校から職業への移行のタイミングについては、いずれのコーホートも約8割が学卒と初職を同じ年に経験している。学卒前に職業が開始している者が（学生中にアルバイトを始め、中退して結果的に初職になっているケースなど）1割、学卒より初職が1年以上後になっている者が1割という構成自体に変化はないが、前後どちらとも初職と学卒の間隔が広まっている層が出現している。変化はわずかではあるが、先行コーホートでみられた「学卒と就職の同時性」が崩れてきたことが注目される。

次に、現在の職業の状況は、（休職中を含む）有職者が71.8%→76.7%と増加し、専業主婦が減っている。ただし、配偶別にみると有配偶に占める専業主婦率は、53.4%→48.6%となる一方、未婚者の有職率は88.1%→90.2%と微増にとどまる。つまり結婚後も就業を継続している層が増えていると思われる。また有職者に限定して職務についてみると、コーホートDでは常勤が62.5%→64.2%と1.7ポイントほど増え、パート・アルバイトや嘱託・その他は減少している。コーホートCの初年度では、派遣社員であるかを特定してたずねていないため、比較は行えないが、コーホートDでは

有職者のうち、労働者派遣事務所の派遣社員は9.3%となっている。

収入について就業状態別にコーホート比較をすると[5]、常勤では年収で10万円近く、手取りの月収でも４千円ほど低下している。パート・アルバイトでは、年収で２万円ほど低下しているが、９月の手取り月収ではほぼ変化がない。嘱託・その他では、年収が35万円ほど増加している。おそらく常勤と同様の働き方をする嘱託・その他（派遣社員）がここに含まれている可能性がある。ただし、手取り月収では大きな変化はない。

現職が、学卒後の初職である者は、いずれも約３割と変わらない。ただし、高学歴化に伴いコーホートDの方が学卒後から調査時点までの期間が、相対的に短くなる者が多いため、離転職の発生する確率という意味ではコーホートDの方が高くなるだろう。また18歳以降調査時点までに就業経験がある者の中で、全期間、常勤・自営[6]であった者は、コーホートCの50.8%からコーホートDでは45.2%と半数を割り、一度は非正規を経験する者が半数以上になった。また期間中、常勤・自営経験が一度もない者は順に17.0%から25.3%に増加しており、若年層での非正規化が進展していることを確認できる。

以上のように、学校から職業への移行については、４年制大学進学増加による高学歴化、および学卒と就職の同時性のゆらぎ、一貫した常勤・自営という層の減少と不安定な就労の増加を確認できる。また常勤であっても年収が低下していたり、常勤・自営の期間が調査時点では１度もない者が増加していることなどから、コーホートD（2008年時点）の就業環境は、コーホートC（2003年時点）に比べ厳しい状況であることを確認した。

### (3) 生活意識

最後に、生活意識について比較する。ここでは、生活満足度、幸福感、階層意識、（無配偶のみ）結婚意向の４つについてみていく。まず、生活満足度では、満足（満足＋どちらかといえば満足）が54.6%→60.4%と５%ほどではあるが増加しており、不満（不満＋どちらかといえば不満）は減少している。大規模調査でも（雇用環境の厳しさなどにもかかわらず）若年層の生活満足度が低下しない、むしろ高まっていることが指摘されているが（内閣府 2009）、JPSCにおいてもその動向を追認する結果となった。幸福感についても同様に「とても幸せ」と最良の評価をする者が7.3%と大幅に増えている。また階層帰属意識についても「中の中」が増加しており、コーホートCと比べてコーホートDは（年収が低い、雇用が不安定にもかかわらず）現状に対して肯定的な評価をしていることがわかる。また、結婚意向についても「すぐにでもしたい」という者が12.8%から18.9%と増加し、積極的な結婚意向を示している。

以上のように、コーホートCに比べコーホートDでは、全般的に肯定的な生活意識をもっており、他の調査と一致するような結果となっている。コーホートCの調査時点（2003年）に比べ、コーホートDを追加した2008年は（その間、一時的に景気回復を経験したものの）、若者の社会的支援の必要性が広く訴えられるなど、若年期をめぐる環境は決して楽観的な状況ではないにも関わらず、若年期の女性自身は、生活意識の上では肯定的になっており、従来の生活意識を規定する条件とは異なる構造がある可能性を示唆している。

## 3. まとめ

本稿では、新規に追加したコーホートDの基本属性や「成人への移行」を、コーホートCとの比較をしながら確認し、JPSCの「ロストジェネレーション」内での差異をあきらかにすることを目的とした。2003年と2008年という２時点で社会経済的環境は変化しており、その点を十分考慮する必要はあるが、JPSCからは1980年代前半コーホートの特徴として、次の４点をあげることができる。①親の年収が低下し、子ども（対象者）も離家して単身世帯が増えるなど「非パラサイト化」している。②最終学歴が高学歴化しており、４年制大学もしくは専門・専修学校が増加している。③非正規での就業が増え、20代後半までに一度は非正規での就業を経験する者が半数になっている。

④生活意識は非常に肯定的で、結婚意向も強いことである。今回は、単純な比較に留まるが、今後はこのようなコーホートの特徴をふまえつつ、これから彼女たちが結婚や出産、職業キャリアの形成を迎えていくなかで、どのようなライフコースを進むのか、年長コーホートとライフコースとはどのように異なる/異ならないでいくのか。今後の調査で追跡していくことができるだろう。

**注**

1）(2007年時点で）25歳～35歳（1972年～1982年生まれ）の世代をさす。
2）「家族内の人間関係がうまくいかなくなった」「精神的に落ち込んだ」「離婚・別居などで家族がわかれた」の3項目。
3）「進学をあきらめたり、休学・退学した」「自分が新たに働きに出た」の2項目。
4）「収入や資産が低下」「家族の誰かが働きに出た」「親戚などに援助を頼んだ」「土地・家屋を売った」「金融機関から借金をした」の5項目。
5）数値は実数で調整を行っていない。
6）本稿では安定的な職業であるという点から、常勤と自営（家族従業を含む）をひとまとめにして扱う。

**文献**

朝日新聞「ロストジェネレーション」取材班，2007,『ロストジェネレーション――さまよう2000万人』朝日新聞社.
国立社会保障・人口問題研究所，2008,『日本の世帯数の将来推計（平成20年3月推計)』.
内閣府，2009,『国民生活に関する世論調査』(http://www8.cao.go.jp/survey/h21/h21-life/index.html).
山田昌弘，1999,『パラサイト・シングルの時代』筑摩書房.
――――，2001,『家族というリスク』勁草書房.

たなか・けいこ　財団法人 家計経済研究所 研究員。主な論文に「若年層の家族意識は保守化しているのか」(SSJDA『家族形成に関する実証研究』，2007)。家族社会学専攻。(tanaka@kakeiken.or.jp)

第 6 章

# イベントヒストリー分析におけるパネル脱落の影響について

## ――「消費生活に関するパネル調査」における結婚の分析事例より

福田 節也
（マックスプランク人口研究所 研究員）

## 1. はじめに

近年、わが国でも盛んに用いられるようになった分析手法の１つにイベントヒストリー分析（event-history analysis）がある。パネルデータを用いたイベントヒストリー分析では、最も一般的な方法として、脱落はセンサリング（censoring: 観察打ち切り例）として扱われてきた。しかし、脱落と対象とするイベントとが独立に生起しない場合、このような処置はパラメーターの推定にバイアスをもたらす。近年において、わが国でもパネルデータを用いてイベントヒストリー分析を行う事例が増えつつあるが、この点について言及している研究はそれほど多くないように思われる。

本稿では、「消費生活に関するパネル調査」（以下JPSC）の個票データを用いて、イベントヒストリー分析の一種である離散時間ロジットモデル（discrete-time logit model）を用いた結婚の要因分析を行い、脱落がパラメーター推定に与える影響について明らかにする。具体的には、１）脱落をセンサリングとして扱い、通常の離散時間ロジットモデルを行った場合と、２）脱落を結婚に競合するイベントとして扱い、双方のパラメーターを同時決定モデルとして求める場合で結婚要因のパラメーターを比較する。なお、後者のモデルにおいては、Hillほか（1993）によって提案されたSURF（Shared Unmeasured Risk Factors）モデルを使用する[1)]。分析によって、結婚と脱落が独立に生起しているのかを統計的に検定し、両者が非独立であった場合、脱落をセンサリングとして扱うと結婚要因のパラメーター推定にどの程度バイアスが生じるのかを提示する。なお、本稿では以後、結婚とは初婚を意味することとする。

## 2. パネルデータを用いた離散時間ロジット分析

### （1）離散時間ロジットモデル

パネルデータに対する主要な分析手法の１つとして、イベントヒストリー分析がある。イベントヒストリー分析とは、あるイベントの発生パターンとその要因に関する分析手法の総称である。別名、生存分析（survival analysis）ともいわれる。イベントヒストリー分析にはいくつかのモデルがある。本論文において用いるのは、イベントヒストリー分析のうち、時間の測定単位が連続的（際限なく細かい）とは仮定できず、離散的（序数的）である場合に利用される離散時間ロジットモデル（Allison 1982）である。離散時間ロジットモデルのモデル式は以下によって表される。

$$\ln[P_t/(1-P_t)] = a_t + b_1X_1(t) + b_2X_2(t) + \cdots + b_kX_k(t) \qquad (1)$$

$P_t$：ハザード確率、$a_t$：時間変数、
$b_k$：共変量$X_k$の回帰係数、$X_k$：共変量

（１）式より分かるように、離散時間ロジットモデルは、各リスク時点でのハザード確率$P_t$のロジット[2)]を被説明変数とする回帰モデルである。ここでいうハザード確率とは、時間tまでにイベン

トが発生していないという条件の下で、時間tにおいてイベントが発生する確率を意味する。（１）式はロジットモデル（ロジスティック回帰分析）と類似しており、係数を指数化してハザード確率のオッズ比として解釈することができる。ただし、ロジットモデルでは確率$P$を扱うのに対して、離散時間ロジットモデルでは、ハザード確率$P_t$を用いる。また、離散時間ロジットモデルでは、定数$a$や共変量$X$がリスク期間中に変化することを許容している点も通常のロジットモデルとは異なる。係数$b_k$は、共変量$X_k$がハザード確率のロジットに与える効果を意味している。ただし、離散時間ロジットモデルでは、係数$b_k$は共変量$X_k$のリスク期間を通じた平均的な効果を表していることに留意する必要がある[3)]。また、時間変数$a_t$は、ベースライン・ログオッズ（baseline log odds）として解釈される。ベースライン・ログオッズは、すべての共変量$X$が０であった場合におけるハザード確率のロジットの時間推移を表しており、時間経過にともなうイベントの基本的な発生パターンを表す。

離散時間ロジットモデルの適用においては、第１にリスク開始からイベントが発生するか、もしくはセンサリングとなった時点までの人－期間別データ（person-period data）を作成する。次に、この人－期間別データに対して、イベントが生起するか否かのダミー変数を従属変数とする通常のロジット分析を行う。なお、パラメーターの推定は最尤法（maximum likelihood method）によって行われる。

離散時間ロジットモデルは、パネルデータと最も親和性が高いイベントヒストリー分析であるといえる。なぜならば、通常個人を対象としたパネル調査では、調査が行われるのは年に１回であり、各年における結婚や出産、就業状態等の変化は、調査時点の状態の変化によって測定されることが多いためである。例えば結婚であれば、ある個人が結婚したか否かは、前年の調査で未婚であった人が当年の調査で有配偶であることによって把握されることが多い。そのため、結婚の生起はt－１年からt年の間に起きたことは明らかであっても、具体的にいつ、例えば何月に起きたのかまでは不明である場合が多々ある。このような場合には、イベントの生起時点に関する情報は年単位でしか把握することができず、連続時間を仮定することができない。したがって、イベント発生月が不明である場合には、ハザード率の近似として、リスク期間別のハザード確率を用いた離散時間ロジットモデルを利用することが最も簡便かつ現実的な選択であるといえる[4)]。

### （2）離散時間ロジットモデルにおける競合イベントの取り扱い

パネル調査における脱落は、あらゆるイベントにとって競合するイベントである。なぜならば、脱落が生じることによって対象とするイベントの生起リスクが観測できなくなるためである。また、イベントの生起によって、少なくともリスク期間における脱落の発生リスクは消失する。そのため、脱落は常に対象とするイベントと相互に競合するイベントであるといえる。

山口（2002）によれば、離散時間モデルにおける競合するイベントの取り扱いには次の３つの方法がある。１）競合するほかのすべてのイベントをその生起時点でセンサリングとして扱う、２）競合するイベントを従属変数とする離散時間多項ロジットモデル（discrete-time multinomial logit model）を適用する、そして３）競合するイベントを従属変数とするSURFモデルを行う。以下に山口（2002）を参照しつつ、どのような場合に各方法を使用するべきなのかについて解説する。なお、以下では相互に競合するイベントAとイベントBがあるとする。

競合するイベントを右センサリングとして扱うという第１の方法は、最も一般的に用いられる手法である。しかし、離散時間モデルにおいてこの方法が妥当であるのは、イベントAとイベントBのハザード確率$P_A(t)$と$P_B(t)$の積が無視できるほど小さい場合のみである。連続時間を仮定するモデルにおいては、競合する各イベントが独立に起こるという条件が成立する場合、競合するイベントをセンサリングとして扱うことが可能である。

この条件が成立するには、競合するイベントがいずれも起こらない確率が各イベントの生存確率の積となる必要がある（$S_{A+B}(t)=S_A(t)\times S_B(t)$）。しかし、離散時間モデルにおいては、時点tにおいてイベントAもBも起こらない確率は、（$1-P_A(t)-P_B(t)$）であり、（$1-P_A(t)$）×（$1-P_B(t)$）とはならない。したがって、離散時間モデルでは、競合イベントが独立である条件の（$1-P_A(t)$）×（$1-P_B(t)$）に対して、$P_A(t)\times P_B(t)$分だけ誤差が生じることとなる。そのため、イベントAかB、あるいは双方の生起確率が著しく小さく、$P_A(t)\times P_B(t)$が無視できるほど小さい場合に限り、他の競合イベントをセンサリングとして扱うことが妥当となる。

$P_A(t)\times P_B(t)$が無視できるほど小さくない場合、第2の方法である多項ロジットモデルによる競合リスク分析が検討される。この方法では、前項において解説した人－期間別データに対して、多項ロジットモデルを適用し、競合する各イベントのハザード確率の同時推定を行う（Allison 1982）。だたし、多項ロジットモデルではIIA（Independence from Irrelevant Alternatives）の仮定を前提としている。IIAの仮定とは、いかなる2つの確率の比もほかの確率の大きさによる影響を受けないことをいう。$P_A(t)$と$P_B(t)$がともに起こらない確率を$P_C(t)$（$=1-P_A(t)-P_B(t)$）とすると、IIAが成立する時、以下の関係が成り立つ（山口 2002）。

① $P_A(t)/P_C(t)$が$P_B(t)$に依存しない
② $P_B(t)/P_C(t)$が$P_A(t)$に依存しない

①の関係が成立する時、イベントBが起こらないという条件の下でイベントAの生起確率が、イベントBの生起確率から独立である（AはBから条件付きで独立）。また、②の関係が成立する時、イベントAが起こらないという条件の下でイベントBの生起確率が、イベントAの生起確率から独立である（BはAから条件付きで独立）。IIAが成立する時、条件付きでイベントAとイベントBの決定要因が独立と考えられるため、離散時間多項ロジットモデルを適用することができる。

競合するイベントの条件付き生起確率にIIAが成立するか否かをより直接的に検証し、かつIIAが成り立たない場合でも偏りなくパラメーターを推定する方法が、第3の選択肢であるSURFモデルである。SURFモデルでは、間接的にではあるが、イベントAとイベントBの非観察要因（Shared Unmeasured Risk Factors）に相関があるか否かを統計的に検定することができる（Hill et al. 1993）。IIAが成立する場合、この相関は0となり、SURFモデルは離散時間多項ロジットモデルと同様の結果を得る。そのため、SURFモデルによる分析を通して、第2の方法である離散時間多項ロジットモデルの適用が妥当か否かを検討することができる。次節ではSURFモデルの概要について述べる。

## 3. SURFモデルの概要と適用手順

### （1）SURFモデルの概要

SURFモデルとは、McFadden（1981）が多項ロジットモデルの拡張として導いたネステッド・ロジットモデルをHillほか（1993）が離散時間モデルに応用したものである。その要諦は、競合イベントの同時分析において、各イベントの誤差項に部分的な相関を許容することで、多項ロジットモデルにおけるIIAの仮定を緩和することにある。以下に、Hillほか（1993）や山口（2002）を参照しつつ、その概要について述べる。

m個の競合するイベントがある場合に、個人iがt時においてどのイベントを経験するのかは、各イベントの潜在的な生起傾向（state propensity index）によって決定されている。この潜在的な生起傾向は、直接には観察できない連続量（latent variable）で、確率のような固定範囲をもたないとする。その場合、個人iのt時における潜在的なイベント生起傾向$S_{tmi}$は以下の（2）式によって表すことができる。

$$
\begin{aligned}
S_{t0i} &= \beta^{*}_{0}{}'X_{t0i} + \varepsilon_{t0i} \\
S_{t1i} &= \beta^{*}_{1}{}'X_{t1i} + \varepsilon_{t1i} \\
&\vdots \quad\quad \vdots \quad\quad \vdots \\
S_{tmi} &= \beta^{*}_{m}{}'X_{tmi} + \varepsilon_{tmi}
\end{aligned}
\qquad (2)
$$

$S_{tmi}$は、説明変数の分散によって説明される部分$\beta^{*}_{m}{}'X_{tmi}$と誤差分$\varepsilon_{tmi}$とに分けられる。式（2）では、個人iは$S_{tmi}$が最も高いイベントを経験すると仮定する。離散時間ハザードモデルにおいては、リスク開始時点においてイベント未経験の状態である$S_{t0i}$の値が最も高いと仮定される。他の潜在的イベント生起傾向$S_{tmi}$がこれを超えるまで、いずれのイベントも生起しない。しかし、誤差項による攪乱もしくは共変量$X_{tmi}$の値の変化によって、$S_{tmi}$が$S_{t0i}$を超えると最も潜在的イベント生起傾向が高いイベントが生起する。

簡略化のため、ここで競合するイベントが2つであるとする。誤差項$\varepsilon_{tmi}$に極値分布を仮定すると、これがイベント間で独立である場合にIIAが成立し、離散時間多項ロジットモデルを得る。しかし、$\varepsilon_{t0i}$は他の2つから独立であるが、$\varepsilon_{t1i}$と$\varepsilon_{t2i}$の間に相関がある場合、SURFモデルを得る[5)]。

ここで注目すべきは、離散時間多項ロジットモデルの成立要件であるIIAは、競合イベントの同時分析における誤差項、すなわち非観察要因が、各イベント間で独立である時に成立するということである。結婚と脱落について考えてみると、これは非常に強い仮定であるといえる。なぜならば、パネル調査においては、結婚はそれ自体が脱落の要因となるためである。JPSCの脱落要因について分析した坂本（2006）によると、当年の調査において結婚する予定があると回答した女性ほど、翌年の調査以降脱落する確率が高い傾向がある。女性にとって結婚は転居を伴うことが多い。そのため、結婚直後のサンプル捕捉が困難となる。また、結婚により夫や夫の家族による調査拒否、またそれを忌避することによる本人からの調査拒否などが発生する（坂本 2006）。その結果、結婚と脱落の生起傾向は類似したものとなり、非観察要因についても共通の傾向をもつ可能性が高いのである。SURFモデルでは、非類似係数（index of dissimilarity）$\rho$を説明変数の係数と同時に推定する。$\varepsilon_{1}$と$\varepsilon_{2}$の相関係数は（$1-\rho^{2}$）として表される。したがって、$\rho$が1の時は競合イベントの非観察要因には相関がない、つまりIIAを仮定できることを意味する。また、$\rho$の標準誤差もモデルで計算されるため、$\rho$が統計的に有意に1と異なるのかの検証も行うことができる（山口2002）。この$\rho$の解釈を通して、競合するイベントの非独立性の存在やその強さについて検証することができる。また、説明変数の係数は、$\rho$すなわち、競合するイベント間における非観察要因の相関を補正した上で得られた値となる。モデルで$\rho$を統制することは、競合するイベントの生起過程に条件付き独立を留保した状態を統計学的に作り出すことに等しい。そのため、SURFモデルにおける係数は、競合するイベントが起こらなかった場合に、説明変数が当該イベントのハザード確率に与える効果を表す。

### （2）SURFモデルの適用手順

SURFモデルは、通常のロジットモデルを用いた2段階推定によって比較的容易に適用することができる。結婚と脱落を競合イベントとして取り扱う場合を例として、Hillほか（1993）や山口（2002）によって示されているSURFモデルの適用手順を以下に示す。

① はじめに、通常の離散時間ロジットモデルと同様に人－期間別データを作成する。また、従属変数Y（t）はイベントが生起していなければ0、結婚が生起する場合は1、そして脱落が生起する場合を2となるようにコーディングする。

② ①で作成した人－期間別データより、結婚もしくは脱落を経験したサンプル（Y（t）が1もしくは2のケース）のみを取り出し、結婚対脱落を対比としたロジット分析を行う。ここでの分析は、結婚か脱落が生起したとして、それが脱落ではなく結婚である確率を推定するモデルとなる。

③　②で得られた回帰係数をもとにして、以下の値を算出する。

$$z_1(t)=\log\left[1+\exp(-\Sigma_k b_k x_k(t))\right] \quad (3)$$

$$z_2(t)=\log\left[1+\exp(\Sigma_k b_k x_k(t))\right] \quad (4)$$

この時、$\Sigma_k b_k x_k$（t）は②のモデルで得られた予測値を表す。$z_1$（t）と$z_2$（t）の値を①で作成した人－期間別データの各レコードに対して計算して、変数として付帯する。さらに、このデータに結婚か脱落が生起した場合に1、いずれも生起せずに未婚のままである場合に0をとる新しい変数Y*（t）を作成して追加する。

④　③で作成した人－期間別データを用いて、従属変数をY*（t）とする離散時間ロジット分析を行う。ただし、この時③で作成した$z_1$（t）もしくは$z_2$（t）の一方を説明変数としてモデルに追加する。$z_1$（t）を追加した場合には、脱落を経験せずに結婚するというハザード確率の係数$\beta_{1k}$を得る。一方、$z_2$（t）を追加した場合は、結婚せずに脱落するというハザード確率の係数$\beta_{2k}$を得る。なお、②と④では異なる説明変数をもつことも可能である（Hill et al. 1993）。この時、$z_1$と$z_2$の係数として算出されるのが$\rho$の推定値である。$\rho$は$z_1$と$z_2$のどちらを用いても全く同じ値を示し、理論的には0から1までの値をとる。結婚と脱落の観察されない異質性（誤差項）の相関係数は、$1-\rho^2$によって与えられる。

⑤　④で得た分析結果では$\rho$が0であるという帰無仮説に対するP値が示されている。しかし、ここでは$\rho$の標準誤差を用いて、$\rho$が1である、つまり結婚と脱落の相関係数が0であるという帰無仮説を検定するようにP値を計算しなおす必要がある。また、②で用いた変数を④において再度用いる場合、④で得られる係数は$\rho b_k+\beta_{1k}$あるいは$-\rho b_k+\beta_{2k}$の式によって再計算する必要がある（Hill et al. 1993）。さらに、これらの係数の標準誤差は分析では算出されない。そのため、統計的検定を行うためには、当該変数を②および④から除いて推定したモデルとこれを含めたモデルでLog-likelihoodを比較して、尤度比検定（Log-likelihood ratio test）を行う（Hill et al. 1993）。

### （3）SURFモデルの適用における留意点

SURFモデルの適用においてはいくつか留意する点がある。第1に、2段階推定によるSURFモデルでは、競合するイベントの非観察要因の相関はリスク期間を通じて一定と仮定されている（Hill et al. 1993）。したがって、非観察要因がリスク期間を通じて、結婚と脱落に異なる影響を与える場合、この仮定が成立しない。例えば、調査の初期においては結婚を契機として脱落するサンプルが多いが、調査回が進むにつれて結婚以外の事由による脱落が増えるという場合には、非観察要因の相関がリスク期間を通じて一定であることを仮定できない。この仮定が成立しない場合、時間依存性共変量のパラメーターや$\rho$の推定値にバイアスが生じる（Hill et al. 1993）。しかし、非観察要因の相関がリスク期間を通じて変化する場合においても、時間固定共変量の係数についてはバイアスが少なく、比較的安定的に推定されることが示されている（Hill et al. 1993）。また、この仮定が満たされない場合には、$\rho$の推定値が1に近づく傾向があるため、$\rho$が1と有意に異ならない場合においても、競合するイベントの非観察要因に相関がある可能性が高いことが指摘されている（Hill et al. 1993）。

さらに、SURFモデルでは、誤差項に負の相関を仮定することができないという制約がある（山口 2002）。例えば、婚前同棲の解消について競合するイベントが結婚と別離である場合、非観察要因（例えば、性格の相性）は結婚に対しては正の効果をもち、別離に対しては負の効果をもつことが十分に起こりえる。しかし、$\rho$は理論上、$0<\rho\leq 1$の範囲の値を取るため、非観察要因の相関係数$1-\rho^2$は正であることが仮定されている[6]。したがって、非観察要因の相関が負である競合イベントは、SURFモデルでは分析することができない。

**図表−1** 結婚と脱落の発生頻度

| 年齢（歳） | | 未婚 | 結婚 | 脱落 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 24〜25 | n | 235 | 23 | 33 | 291 |
| | % | 80.8 | 7.9 | 11.3 | 100.0 |
| 25〜26 | n | 400 | 47 | 46 | 493 |
| | % | 81.1 | 9.5 | 9.3 | 100.0 |
| 26〜27 | n | 485 | 76 | 57 | 618 |
| | % | 78.5 | 12.3 | 9.2 | 100.0 |
| 27〜28 | n | 509 | 73 | 52 | 634 |
| | % | 80.3 | 11.5 | 8.2 | 100.0 |
| 28〜29 | n | 487 | 65 | 55 | 607 |
| | % | 80.2 | 10.7 | 9.1 | 100.0 |
| 29〜30 | n | 452 | 49 | 46 | 547 |
| | % | 82.6 | 9.0 | 8.4 | 100.0 |
| 30〜31 | n | 381 | 33 | 29 | 443 |
| | % | 86.0 | 7.5 | 6.6 | 100.0 |
| 31〜32 | n | 321 | 29 | 22 | 372 |
| | % | 86.3 | 7.8 | 5.9 | 100.0 |
| 32〜33 | n | 264 | 28 | 19 | 311 |
| | % | 84.9 | 9.0 | 6.1 | 100.0 |
| 33〜34 | n | 217 | 10 | 20 | 247 |
| | % | 87.9 | 4.1 | 8.1 | 100.0 |
| 34〜35 | n | 177 | 10 | 11 | 198 |
| | % | 89.4 | 5.1 | 5.6 | 100.0 |
| 合計 | n | 3,928 | 443 | 390 | 4,761 |
| （24〜35歳） | % | 82.5 | 9.3 | 8.2 | 100.0 |

また、SURFモデルにおける推定上の問題として、２段階推定においては、パラメーター推定値の標準誤差が平均してやや小さめに推定される可能性が指摘されている（山口 2002）。これは１段階目のパラメーター推定値には実際には誤差があるにもかかわらず、２段階推定では定数として扱うことから生じる。しかし、通常はこのバイアスは有意度に影響を与えない程度であるため、それほど問題とはならない（山口 2002）。

最後に、$\rho$が統計的に有意に１よりも小さい場合、回帰係数$\beta_k$を厳密にはオッズ比として解釈することができないという制約がある（山口 2002）。そのため、本稿における分析ではオッズ比ではなく、係数を用いて解釈を行う。離散時間モデルにおける係数は、ハザード確率のログオッズに対する共変量の影響力を表しており、共変量$X_k$における１単位の増加はイベント生起のログオッズを$\beta_k$分増加（減少）させると解釈することができる。

## 4. データと分析対象

分析には、財団法人家計経済研究所が1993年から実施している「消費生活に関するパネル調査」（JPSC）の第１年度から第16年度までの個票データを用いる。分析の対象は、1959〜69年生まれのコーホートA、1970〜73年生まれのコーホートB、そして1974〜79年生まれのコーホートCの未婚女性計1,226人である。コーホートBはパネル５からコーホートCはパネル11からの追加サンプルである。このうち説明変数に欠損値があるサンプルを除外し、あわせて1,157人（コーホートA：432人、コーホートB：281人、コーホートC：444人）を分析サンプルとして用いた。なお、各コーホートにおいて結婚年齢が大きく異なることがないように、35歳の調査月（毎年10月）までに生起した結婚のみを分析の対象とした。

分析では、結婚ならびに脱落を競合するイベントとして取り扱い、未婚女性が結婚するか、調査から脱落するか、未婚のまま第16年度の調査あるいは35歳時の調査を迎えるまでをリスク期間とした離散時間ロジットモデルならびに、その応用的分析手法であるSURFモデルによるイベントヒストリー分析を行う。これらの分析を通して、１）結婚と脱落の生起過程にはどの程度の相関があるのか、２）脱落を右センサーとして扱い、通常の離散時間ロジットモデルによる分析を行った場合、結婚要因のパラメーター推定にはどの程度のバイアスが生じるのかを明らかにする。

## 5. 記述統計

### (1) 結婚と脱落の推移

図表−１は、各調査間における結婚と脱落の発生頻度を表している。未婚女性に対する結婚と脱落の発生頻度をみると、結婚については26〜27歳をピークにベル型の生起パターンを示している。一方、脱落については、年齢が若いほど発生しやすい傾向がみられる。

調査からの脱落率にはばらつきがあるものの、およそ６％から11％の間で推移している。結婚と

**図表−2** 説明変数の記述統計

| 変数 | カテゴリー | 平均 | 標準偏差 |
|---|---|---|---|
| 従属変数 | 結婚 | 0.09 | − |
| | 脱落 | 0.08 | − |
| 年齢 | 24〜26歳 | 0.16 | − |
| | 26〜28歳 | 0.26 | − |
| | 28〜30歳 | 0.24 | − |
| | 30〜32歳 | 0.17 | − |
| | 32〜35歳 | 0.16 | − |
| コーホート | コーホートA | 0.40 | − |
| | コーホートB | 0.28 | − |
| | コーホートC | 0.32 | − |
| 学歴 | 高校卒以下 | 0.32 | − |
| | 専門学校卒 | 0.17 | − |
| | 短大･高専卒 | 0.25 | − |
| | 大学･大学院卒 | 0.26 | − |
| 職業 | 常勤の職員・従業者 | 0.66 | − |
| | パート・アルバイト/派遣・嘱託/自営・家従/自由業/その他 | 0.24 | − |
| | 無職 | 0.10 | − |
| 年収 | 年収（万円） | 261.77 | 131.78 |
| | 年収ゼロダミー | 0.03 | − |
| 親との同別居 | 親と別居ダミー | 0.18 | − |
| 都市規模 | 14 (13) 大都市居住ダミー | 0.31 | − |
| 結婚意欲 | 結婚意欲ありダミー | 0.81 | − |

サンプル数（人×リスク期間にいた年数）：4,761

脱落の各生起確率のうち、どちらかあるいは一方が無視できるほど小さい場合には、それぞれのイベントが独立に生起していると仮定して、一方のイベントの生起を他方のイベントのセンサーされたケースとして取り扱うことが可能である（山口2002）。しかし、ここでは結婚と脱落の生起確率は年齢によっては比較的大きく、無視できるほどには小さくはない。そのため、脱落をセンサーとして扱い、初婚をイベントとする通常の離散時間ロジットモデルではパラメーター推定にバイアスが生じる可能性が高い。したがって、JPSCでは脱落を初婚と競合するイベントとして取り扱い、多項ロジットあるいはSURFモデルによって、競合イベントのパラメーターを同時推定する手法が望ましいことが示唆される。

### (2) 説明変数の記述統計

分析に用いた説明変数の記述統計を図表−2に示した。モデルでは、結婚のベースライン・ハザードは年齢の関数として表される。年齢は24歳から35歳までを2歳間隔で区切り（最後の年齢階級は32〜35歳までの3歳間隔）、ダミー変数によるステップ関数として近似する。他の説明変数はベースライン・ハザードを比例的に増減させる効果をもつことを仮定している。説明変数の多くが、時間とともに値が変化することを許容する時間依存性共変量である。説明変数（原因）の従属変数（結果）に対する時間的先行を留保するため、時間依存性共変量は前年度調査で得られた値を使用した。また、リスク期間を通じて一定の値をもつ時間固定共変量として、前述のコーホートA、B、Cを表すダミー変数を用いた。

年収については、賃金収入のほかに財産収入や社会保障給付、親からの仕送りなどを合計した値を用いた。また、これらの収入は調査前年の1年間について回答を得ている。そのため、分析では多くの場合、結婚の生起年より2年前の値が説明変数として用いられている。年収についても他の変数と同様に欠損値は分析より除外し、自然対数化した値を用いた。なお、年収がゼロであったサンプルには、各年における年収の平均値を代入して分析に含めた。また、年収がゼロであったか否かのダミー変数を作成して、年収がゼロであるケースには1を、そうでないケースには0を付した。このダミー変数の係数は、年収ゼロのサンプルが平均的な年収の女性に比べて、どれだけ結婚のログオッズが高いのか（あるいは低いのか）を表す。

結婚意欲については、調査時点において結婚をしたいと考えているか否かを表すダミー変数とした。パネル1では、結婚を「1. したい」、「2. 必ずしもしなくてよい」、そして「3. したくない」の3つの選択肢より回答を得ており、パネル2以降では「1. まもなく結婚することが決まっている」、「2. すぐにでもしたい」、「3. 今はしたくないが、いずれはしたい」、「4. 必ずしもしなくてよい」、そして「5. したくない」の5つの選択肢より回答を得ている。そのため各調査回において、結婚を「必ずしもしなくてよい」あるいは「したくない」と回答した場合に結婚意欲ダミーを0、その他の回答を得た場合にはこれを1とコ

**図表−3** 離散時間ロジットモデルならびにSURFモデルによる結婚のハザード確率の推定結果

| | 離散時間ロジットモデル | | SURFモデル | |
|---|---|---|---|---|
| | (1) | (2) | (3) | (4) |
| | 結婚ハザード | 結婚（対：脱落） | 結婚ハザード | 脱落ハザード |
| | $\beta$ | $\beta$ i | $\beta_1$ | $\beta_2$ |
| 年齢ダミー（対：26〜28歳） | | | | |
| 24〜26歳 | −0.350 ** | −0.381 * | −0.240 | 0.025 |
| 28〜30歳 | −0.197 | −0.218 | −0.191 | −0.039 |
| 30〜32歳 | −0.470 *** | −0.099 | −0.463 *** | −0.394 *** |
| 32〜35歳 | −0.632 *** | −0.370 | −0.559 *** | −0.302 ** |
| コーホート（対：コーホートA） | | | | |
| コーホートB | −0.170 | −0.488 ** | −0.128 | 0.211 |
| コーホートC | −0.332 *** | −0.783 *** | −0.189 | 0.356 |
| 学歴（対：高校卒以下） | | | | |
| 専門学校卒 | 0.094 | 0.300 | 0.061 | −0.147 |
| 短大・高専卒 | −0.149 | 0.276 | −0.160 * | −0.352 ** |
| 大学・大学院卒 | −0.226 | 0.086 | −0.255 ** | −0.315 *** |
| 職業（対：常勤雇用） | | | | |
| 非常勤雇用・自営・自由業 | 0.185 | 0.302 | 0.156 | −0.054 |
| 無職 | 0.869 *** | 0.991 *** | 0.743 ** | 0.054 |
| 年収（自然対数値） | 0.338 *** | 0.512 *** | 0.292 | −0.063 |
| 年収ゼロダミー | −1.380 *** | −1.855 *** | −1.021 | 0.269 |
| 親との同別居（対：親と同居） | | | | |
| 親と別居 | −0.077 | −0.550 *** | 0.044 | 0.427 ** |
| 都市規模（対：その他の市/町村） | | | | |
| 14（13）大都市 | −0.275 ** | −0.205 | −0.256 ** | −0.113 * |
| 結婚意欲（対：なし） | | | | |
| あり | 1.980 *** | 1.881 *** | 1.586 ** | 0.277 ** |
| $z_1$ ※1 | − | − | 0.232 ** | − |
| $z_2$ ※1 | − | − | − | 0.232 ** |
| 定数 | −5.449 *** | −3.887 *** | −4.256 | −3.356 *** |
| | | | | |
| person-year数 | 4,761 | 833 | 4,761 | 4,761 |
| カイ2乗値 | 165.279 | 113.751 | 107.286 | 107.286 |
| 自由度 | 16 | 16 | 17 | 17 |

* p<.1、** p<.05、*** p<.01

※1：$z_1$および$z_2$においては、係数が1と有意に異なるか否かの検定を行い、p値を算出した

ーディングした[7]。その他の変数については、調査票から得られる回答をもとに、単純な再コーディングを施し、表記の変数として用いた。

## 6. 分析結果

### (1) 離散時間ロジットモデルの結果

図表−3の第1列は、脱落を右センサリングとして扱った離散時間ロジットモデルの結果を示している。ベースライン・ログオッズについてみると、女性の結婚のハザード確率は26〜28歳をピークに典型的なベル型の生起パターンを示している。コーホートについては、1974〜79年生まれのコーホートCの女性において、先行するコーホートの女性と比べて結婚のハザード確率が低い傾向がみられる。

学歴については、高学歴の女性ほど結婚のハザード確率が低い傾向がみられるが、その影響は統計的には有意ではない。また、職業については、無職の女性ほど結婚しやすいとの結果を得ているが、常勤雇用とその他の雇用形態との間には統計的に有意な差が認められない。女性の経済的自立と結婚選択の観点から注目される所得については、強い正の効果が認められた。この結果は、高収入の女性ほど結婚しにくくなるとする先行研究（Ono 2003; 福田 2007）とは異なるものであり、

この係数がバイアスによる値なのか否かは分析の含意を左右する重要な問題である。

パラサイト・シングル仮説（山田 1999）の検証などで繰り返し用いられてきた親との同別居についても結婚の生起に対する影響は認められない。一方、大都市圏に居住する女性は、結婚する確率が低い傾向が認められる。大都市圏における住宅コストの高さ、豊富な就業機会、そして結婚以外の社会的選択肢の存在や結婚規範の低さなどの要因が、女性の早婚を妨げているものと思われる（Raymo and Ono 2007）。最後に、結婚意欲については、結婚を望む女性ほど現実に結婚しやすいことが示されている。

以上の結果は、SURFモデルではどのように異なるのであろうか。

### （2）SURFモデルの結果

図表－3の第2列から第4列では、SURFモデルによる分析結果を示している。第2列では、1段階目の推定である結婚対脱落のロジットモデルのパラメーターを表している。1段階目の推定モデルでは、イベントヒストリー分析ではなく、結婚か脱落が生起したレコードのみを用いて、脱落を0、結婚を1とするロジットモデルを行っている。

第2列のモデルの予測値を用いて、2段階目の推定を行ったのが第3列と第4列のモデルである。第3列では、脱落が起きなかったと仮定した場合における結婚ハザード確率のパラメーター推定値を示している。一方、第4列は、結婚が起きなかったと仮定した場合における未婚者の脱落ハザード確率のパラメーター推定値を表す。両モデルの$z_1$と$z_2$は同じ値で、1以下の正の数となっていることから、SURFモデルが成功裏になされたことが確認できる（山口 2002）。また、$z_1$と$z_2$の値は5％水準で統計的に有意に1と異なることから、結婚と脱落の生起過程には、共通の非観察要因が存在し、独立とは見なせないことが明らかである。なお、2つのモデルの誤差項の相関は0.946（$=1-0.232^2$）と非常に高い値を示している。これらのことからIIAの仮定は成立せず、離散時間多項ロジットよりもSURFモデルが適したモデルであることが認められる。

結婚の決定要因における離散時間ロジットモデル（以下、通常モデル）とSURFモデルの違いを検証するため、図表－3の第1列と第3列のパラメーターを比較する。年齢の効果については、SURFモデル（第3列）では24～26歳ダミーの係数が、通常モデル（第1列）と比べて弱まり、統計的な有意性を失っている。同様にSURFモデルでは、コーホートBとコーホートCの係数がより0に近い値を示しており、35歳までの結婚ハザード確率にコーホート差はないとの結論を得ている。脱落の結婚に対する生起確率（第2列）が24～26歳やコーホートBおよびCにおいて高いために、通常モデルでは、これらのグループにおける結婚のハザード確率が相対的に過小に推定されていたことが示唆される。つまり、SURFモデルの結果は、脱落が生起しなければ、これらのグループではより高い頻度で結婚が観察されたことを意味している。したがって、通常モデルにおける、「近年のコーホートほど先行するコーホートに比べて、結婚のハザード確率が低い」との傾向は、脱落によるバイアスによって過大に評価される恐れがある。

通常モデルにおいて統計的有意性がみられなかった学歴による結婚ハザード確率の差異は、SURFモデルではより明確に表れている。SURFモデルでは、短大・高専卒以上の学歴において、高校卒以下よりも結婚のハザード確率が低い。第4列の結果をみると、学歴の高い女性は高卒以下の女性に比べて脱落のハザード確率も低い傾向がある。このことは基準カテゴリーである「高校卒以下」の女性において、結婚と脱落がともに生起しやすい傾向にあることを意味する。通常モデルでは、脱落（右センサリング）によって高校卒以下の女性において結婚が促されている効果が打ち消されてしまい、結婚のハザード確率における学歴間の差異が過小に推定されていたものと思われる。

職業については、SURFモデルにおける非正規雇用ならびに無職の係数が、通常モデルと比べて大きく減少している。無職女性が結婚しやすいという傾向が通常モデルでは過大に推定されていた

ことが明らかである。同様に、都市規模ならびに結婚意欲についても、その影響はSURFモデルにおいて、通常モデルよりも弱めに推定されている。

また、統計的に有意ではないが、SURFモデルでは親との別居が結婚を促す要因へと転じている。第4列をみると、脱落のハザード確率が親と別居している女性において高い傾向がみられる。したがって、結婚と脱落の決定要因が相互に打ち消しあった結果、通常モデルでは親との別居による影響が過小に推定されているものと思われる。

最後に、通常モデルにおいて、結婚に対して正の効果をもっていた年収の影響は、SURFモデルではその統計的有意性を失っている。したがって、この分析におけるモデルでは、女性の経済的自立と結婚との間には有意な関係がみられないという結論を得る。むしろ、無職や学歴の低い女性ほど結婚のハザード確率が高い傾向がみられることから、女性の稼得能力は結婚と負の相関をもつことが示唆される。

## 7. まとめ

本稿ではJPSCの第1回から第16回までの個票データを用いて、脱落の取り扱いが、イベントヒストリー分析におけるパラメーター推定に与える影響について検証した。分析では、離散時間ロジットモデル（Allison 1982）ならびにその拡張であるSURFモデル（Hill et al. 1993）を用いて、初婚ハザード確率の要因分析を行い、両者のパラメーター推定値を比較した。

分析の結果、脱落を右センサリングとして取り扱う離散時間ロジットモデルでは、係数の推定において重大なバイアスが生じており、分析の妥当性が著しく損なわれる恐れがあることが明らかとなった。その理由としては、同調査における結婚と脱落が独立には生起しない競合イベントであることが挙げられる。結婚と脱落は相互に競合するイベントである。なぜならば、脱落が生起することで結婚の生起リスクは消失し、結婚が生起することで結婚のリスク期間における脱落のリスクが消失するためである。しかし、この2つのイベントは独立ではない。なぜならば、結婚と脱落には共通の非観察要因が存在するためである。言い換えるならば、結婚と脱落の同時モデルにおける両者の誤差項には、かなり高い相関（$r$=0.946）が認められる。

結婚と脱落が独立ではないことは、2つのイベントの生起過程が類似していることを意味する。JPSCを用いた脱落の分析では、結婚自体が脱落の主要な要因となっていることが示されている（坂本 2006）。この場合、脱落と結婚の発生パターンや決定要因は、多くの点で共通した要素をもつこととなる。

SURFモデルを用いた競合リスク・ハザード分析では、結婚と脱落の非観察要因の相関を統制した上で、パラメーター推定を行うことが可能である。また、通常のロジットモデルによる推定が可能であることから、汎用的な統計パッケージを用いて分析を行うことができる。パネル調査における脱落が不可避である以上、脱落を競合リスクとするSURFモデルは、バイアスの少ないパラメーターを得る方法として簡便かつ有用であり、パネルデータを用いたイベントヒストリー分析では検討されるべき分析手法であるといえる。

**注**

1）この分析手法は、山口（2002）において「離散時間モデルにおけるネステッド・ロジットモデル（nested logit model）」として紹介されている。ただし、この呼称はやや冗長である上に、離散時間モデルではない通常のネステッド・ロジットモデルと混同する恐れがあるため、ここではHillほか（1993）で用いられているSURFモデルと呼ぶこととする。

2）ロジットとはオッズを自然対数化した値をいう。オッズとは、イベントが生起しない確率（1－P）に対するイベント生起確率（P）の比を指し、P／（1－P）として表される。

3）ただし、共変量$X_k$と時間変数$a_t$の交互作用項をモデルに組み入れることで、係数$b_k$がリスク期間を通じて変化することを許容するモデルを構築することが可能である。

4）Allison（1982）は、ロジットモデルの代わりにcomplementary log-logモデルを使用して同様の分析が可能であることを示している。complementary log-logモデルを使用した離散時間ハザードモデルによって算出される係数$b$は、連続時間を仮定する等比ハザードモデルから算出された係数$b$の近似値となる。そのため、離散時間ロジットモデルの$\exp(b)$はハザード確

率のオッズ比を表すが、離散時間complementary log-logモデルのexp（$b$）は、連続時間を仮定する等比ハザードモデルと同様にハザード比として直接的に解釈できるという利点がある（Allison 1982）。近年の統計パッケージには、complementary log-logモデルをサポートするものも多いため、併せてその使用を検討すべきである。

5）SURFモデルのより詳細な数式展開については、Hillほか（1993）や山口（2002）を参照のこと。

6）しかし、実際の分析においては、$\rho$の推定値が$0 < \rho$ 1の範囲を超えることは頻繁に起こりうる。$\rho$の推定値が統計的に有意に1より大きいか、0より小さい場合には2段階推定の妥当性に問題があると考えられ、その結果は信頼できない（山口 2002）。

7）SURFモデルにおいて$\rho$を安定的に推定するには、競合するイベントのどちらか一方にのみ作用するような説明変数があるのが望ましい（Hill 1994）。例えば、本分析においては各調査回における無回答の割合などがその候補として挙げられよう。おそらく調査における無回答の割合は、翌年の脱落の強い予測要因となるであろうが、結婚に対して与える影響は限定的であると思われるためである。しかし、JPSCにおいては各調査における無回答割合を算出するのは容易ではないため、ここでは簡便法として結婚意欲を説明変数に含める。脱落の一部が結婚であるとするならば、結婚意欲は結婚にも脱落にも正の影響を与えるであろうが、結婚に対してより強い影響を与えるものと思われるためである。

**文献**

坂本和靖，2006,「サンプル脱落に関する分析――「消費生活に関するパネル調査」を用いた脱落の規定要因と推計バイアスの検証」『日本労働研究雑誌』551: 55-70.

福田節也，2007,「ジェンダーシステムと女性の結婚選択（2）――日本における「女性の経済的自立仮説」の検証」『季刊 家計経済研究』76: 54-62.

山口一男，2002,「イベントヒストリー分析（14）」『統計』53（10）: 66-71.

山田昌弘，1999,『パラサイト・シングルの時代』筑摩書房.

Allison, Paul D., 1982, “Discrete-Time Methods for the Analysis of Event Histories,” *Sociological Methodology*, 13: 61-98.

Hill, D. H., 1994, “Adjusting for Attrition in Event-History Analysis,” *Proceedings of the Survey Research Methods Section*, American Statistical Association, 417-421.

Hill, D. H., W. G. Axinn and A. Thornton, 1993, “Competing Hazards with Shared Unmeasured Risk Factors,” *Sociological Methodology*, 23: 245-277.

McFadden, D., 1981, “Econometric Models of Probabilistic Choice,” C. F. Manski and D. McFadden eds., *Structural Analysis of Discrete Data with Econometric Applications*, Cambridge: MIT Press, 198-272.

Ono, H., 2003, “Women’s Economic Standing, Marriage Timing, and Cross-National Contexts of Gender,” *Journal of Marriage and Family*, 65: 275-286.

Raymo, J. M. and H. Ono, 2007, “Coresidence with Parents, Women’s Economic Resources, and the Transition to Marriage,” *Journal of Family Issues*, 28: 653-681.

ふくだ・せつや　マックスプランク人口研究所 研究員・財団法人 家計経済研究所 嘱託研究員。主な論文に“Leaving the Parental Home in Post-war Japan: Demographic Changes, Stem-family Norms and the Transition to Adulthood”（*Demographic Research*, 20（30）, 2009）。人口学・家族社会学専攻。

# 第Ⅱ部

# 第 16 年度「消費生活に関するパネル調査」の概要

## 調査の方法

本調査の対象者は、第 1 年度（1993）調査の際に抽出した対象者（コーホート A）、第 5 年度（1997）調査の際に抽出した対象者（コーホート B）と第 11 年度（2003）調査の際に抽出した対象者（コーホート C）と第 16 年度（2008）調査の際に抽出した対象者（コーホート D）からなる。

（1）調査の設計

**コーホート A**

① 調査地域　全国

② 調査対象　第 1 年度　満 24～34 歳の女性
第 2 年度　第 1 年度の回答者
第 3 年度以降　前年度の回答者と、前年度の調査時点では諸事情のため回答できなかった者

③ 初回完了数　1,500 票

④ 抽出方法　層化 2 段無作為抽出

⑤ 調査方法　留置法

⑥ 調査時期　［第 1 年度］　1993 年 10 月 1 日～10 月 31 日（第 1 年度以降、毎年 10 月 1 日から 10 月 31 日の間に調査をおこなっている）

**コーホート B**

① 調査地域　全国

② 調査対象　第 5 年度　満 24～27 歳の女性
第 6 年度　第 5 年度の回答者
第 7 年度以降　前年度の回答者と、前年度の調査時点では諸事情のため回答できなかった者

③ 初回完了数　500 票

④ 抽出方法　層化 2 段無作為抽出

⑤ 調査方法　留置法

⑥　調査時期　　［第 5 年度］　1997 年 10 月 1 日～10 月 31 日（第 5 年度以降、毎年 10 月 1 日から 10 月 31 日の間に調査をおこなっている）

**コーホート C**

①　調査地域　　全国

②　調査対象　　満 24～29 歳の女性

③　初回完了数　　836 票

④　抽出方法　　層化 2 段無作為抽出

⑤　調査方法　　留置法

⑥　調査時期　　［第 11 年度］2003 年 10 月 1 日～10 月 31 日（補完調査 2004 年 2 月）
（第 11 年度以降、毎年 10 月 1 日から 10 月 31 日の間に調査をおこなっている）

**コーホート D**

①　調査地域　　全国

②　調査対象　　満 24～28 歳の女性

③　初回完了数　　636 票

④　抽出方法　　層化 2 段無作為抽出

⑤　調査方法　　留置法

⑥　調査時期　　［第 16 年度］2008 年 10 月 1 日～10 月 31 日（補完調査 2009 年 2 月）

（2）サンプルデザイン

**コーホート A**

【層化】

ア．全国の都道府県を 8 ブロックに分類した。

イ．各ブロック内でさらに、都市規模によって次のように分類し、層化した。

a．13 大都市（札幌市、仙台市、千葉市、東京都区、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市）

b．その他の市

c．町村

（注）ここでいう市とは、1993 年 4 月 1 日現在による市政施行の地域とした。

【標本数の配分】

各都市規模別の層での推定母集団の大きさにより、年齢構成・配偶関係（1992 年 3 月 31 日現在で 24 歳～34 歳の年齢別、配偶関係別人口数）を考慮して、1,500 の標本数を比例配分した。

【抽出】

ア．第 1 次抽出単位となる調査地点として、平成 2 年国勢調査時に設定された調査区を使用した。

イ．調査地点（国勢調査区）の抽出数については、1 調査地点あたりの標本数が 12 になるよう、各層に割り当てられた標本数から算出し決定した。

ウ．調査地点（調査区）の抽出は、層内での抽出地点数が 2 地点以上割り当てられた層について、以下のように抽出間隔を算出し、等間隔法によって抽出した。

$$\frac{\text{層での調査区数（計）}}{\text{層での抽出調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$

エ．抽出に際しての各層内の市町村の配列順序は、平成 2 年国勢調査時の「都道府県・市区町村コード表」の配列順序に従った。

オ．抽出調査地点での対象者の抽出は、調査地点の住所（町・丁目・街区・番地等を指定）により、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。

カ．この調査は完了指定数調査としたため、上記の正規対象者 1 について予備対象者 3 を付した。

キ．以上の作業の結果得られた層別の標本数、調査地点数は図表 1 のとおりであ

る。

**コーホート B**

サンプルデザインは標本数の配分を除いてコーホート A と同じである。コーホート A の回答者は、ほぼ国勢調査と同様の分布となったが、無配偶単身者だけは若干国勢調査の比率を下回っていた。そこで、コーホート B は標本数の配分の際に無配偶単身者の比率に配慮している。

【標本数の配分】

各都市規模別の層での推定母集団の大きさにより、年齢構成・配偶関係（1996 年 3 月 31 日現在で 24 歳～27 歳の年齢別、配偶関係別人口数、無配偶者の単身世帯数）を考慮して、500 の標本数を比例配分した。層別の標本数、調査地点数は図表 2 のとおりである。

【抽出】

正規対象者 1 名に対し、配偶状況と世帯状況を考慮して、以下のように予備対象者を付した。有配偶者には 3 名、無配偶・非単身者には 3 名、無配偶・単身者には 5 名を付した。

**コーホート C**

【層化】

ア．全国の都道府県を 8 ブロックに分類した。

イ．各ブロック内でさらに、都市規模によって次のように分類し、層化した。

ａ．14 大都市（札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都区、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市）

ｂ．その他の市

ｃ．町村

（注）ここでいう市とは、2003 年 4 月 1 日現在による市政施行の地域とした。

【標本数の配分】

各都市規模別の層での推定母集団の大きさにより、年齢構成・配偶関係（2003年3月31日現在で24~29歳の年齢別、配偶関係別人口数）を考慮して、836の標本を比例配分した。層別の標本数、調査地点数は図表3のとおりである。

【抽出】

調査地点毎の調査対象数は各都市規模層の年齢構成・配偶関係の配分数に応じて4～9対象を割り当てた。また、正規対象数1名につき、配偶状況と世帯状況を考慮して、以下のように予備対象者を付した。有配偶者には3名、無配偶・非単身者には4名、無配偶・単身者には7名を付した。

**コーホートD**

【層化】

ア．全国の都道府県を8ブロックに分類した。

イ．各ブロック内でさらに、都市規模によって次のように分類し、層化した。

ａ．18大都市（札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都区、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市）

ｂ．その他の市

ｃ．町村

（注）ここでいう市とは、2008年4月1日現在による市政施行の地域とした。

【標本数の配分】

各都市規模別の層での推定母集団の大きさにより、年齢構成・配偶関係（2008年3月31日現在で24~28歳の年齢別、配偶関係別人口数）を考慮して、636の標本を比例配分した。層別の標本数、調査地点数は図表4のとおりである。

【抽出】

調査地点毎の調査対象数は各都市規模層の年齢構成・配偶関係の配分数に応じて4～9対象を割り当てた。また、正規対象数1名につき、配偶状況

と世帯状況を考慮して、以下のように予備対象者を付した。有配偶者には3名、無配偶・非単身者には4名、無配偶・単身者には7名を付した。

(3) 調査の主体

財団法人　家計経済研究所

土肥原洋　（財団法人家計経済研究所専務理事）

久木元真吾（財団法人家計経済研究所次席研究員）

坂口尚文　（財団法人家計経済研究所研究員）

坂本和靖　（財団法人家計経済研究所研究員）

田中慶子　（財団法人家計経済研究所研究員）

消費生活に関するパネル調査研究会メンバー（2009 年度）

所属は 2009 年 9 月現在

| | | |
|---|---|---|
| 主査 | 樋口美雄 | （慶應義塾大学商学部教授） |
| 副査 | 岩田正美 | （日本女子大学人間社会学部教授） |
| （五十音順） | 阿部正浩 | （獨協大学経済学部教授） |
| | 色川卓男 | （静岡大学教育学部准教授） |
| | 小原美紀 | （大阪大学大学院国際公共政策研究科准教授） |
| | 佐藤朋彦 | （総務省統計局統計調査部国勢統計課労働力人口統計室課長補佐） |
| | 重川純子 | （埼玉大学教育学部教授） |
| | 永井暁子 | （日本女子大学人間社会学部准教授） |
| | 野田正彰 | （関西学院大学教授） |
| | 馬場康彦 | （明星大学人文学部教授） |
| | 浜田浩児 | （独立行政法人　労働政策研究・研修機構労働政策研究所副所長） |
| | 濱本知寿香 | （大東文化大学経済学部准教授） |
| | チャールズ・ユウジ・ホリオカ | （大阪大学社会経済研究所教授） |
| | 村上あかね | （東京大学社会科学研究所准教授） |

図表1　コーホートAの層別推定母集団数、標本サイズ、調査地点数

| | 13大都市 | その他の市 | 町　村 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 272,755<br>24( 2) | 328,511<br>36( 3) | 177,644<br>12( 1) | 778,910<br>72( 6) |
| 東　北 | 143,956<br>12( 1) | 710,759<br>60( 5) | 439,852<br>36( 3) | 1,294,567<br>108( 9) |
| 関　東 | 2,261,067<br>192( 16) | 3,035,727<br>264( 22) | 612,586<br>60( 5) | 5,909,380<br>516( 43) |
| 中　部 | 330,121<br>36( 3) | 1,982,543<br>168( 14) | 787,642<br>72( 6) | 3,100,306<br>276( 23) |
| 近　畿 | 791,651<br>72( 6) | 1,684,208<br>144( 12) | 331,368<br>24( 2) | 2,807,227<br>240( 20) |
| 中　国 | 158,655<br>12( 1) | 578,830<br>48( 4) | 220,257<br>24( 2) | 957,742<br>84( 7) |
| 四　国 | －<br>－(－) | 343,032<br>36( 3) | 175,300<br>12( 1) | 518,332<br>48( 4) |
| 九　州 | 327,575<br>24( 5) | 1,019,476<br>84( 7) | 580,010<br>48( 4) | 1,927,061<br>156( 13) |
| 計 | 4,285,780<br>372( 31) | 9,683,086<br>840( 70) | 3,324,659<br>288( 24) | 17,293,525<br>1,500(125) |

注）上段:推定母集団数
　　下段:標本サイズ(調査地点数)

図表2　コーホートBの層別推定母集団数、標本サイズ、調査地点数

| | 13大都市 | その他の市 | 町　村 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 315,837<br>8( 2) | 354,942<br>10( 3) | 163,782<br>4( 1) | 834,561<br>22( 6) |
| 東　北 | 165,648<br>4( 1) | 717,759<br>20( 5) | 403,002<br>9( 3) | 1,286,409<br>33( 9) |
| 関　東 | 2,759,343<br>72( 16) | 3,683,433<br>98( 22) | 623,364<br>14( 5) | 7,066,140<br>184( 43) |
| 中　部 | 385,263<br>9( 3) | 2,239,332<br>61( 14) | 831,210<br>20( 6) | 3,455,805<br>90( 23) |
| 近　畿 | 942,807<br>25( 6) | 1,994,082<br>55( 12) | 345,852<br>5( 2) | 3,282,741<br>85( 20) |
| 中　国 | 180,561<br>4( 1) | 607,938<br>15( 4) | 209,568<br>4( 2) | 998,067<br>23( 7) |
| 四　国 | －<br>－(－) | 359,337<br>10( 3) | 168,459<br>4( 1) | 527,796<br>14( 4) |
| 九　州 | 363,696<br>10( 5) | 1,041,798<br>26( 7) | 557,448<br>13( 4) | 1,962,942<br>49( 13) |
| 計 | 5,113,155<br>132( 31) | 10,998,621<br>295( 70) | 3,302,685<br>73( 24) | 19,414,461<br>500(125) |

注）上段:推定母集団数
　　下段:標本サイズ(調査地点数)

図表3　コーホートCの層別推定母集団数、標本サイズ、調査地点数

| | 14大都市 | その他の市 | 町　村 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 540,756 | 613,383 | 265,566 | 1,419,705 |
| | 11( 2) | 15( 3) | 6( 1) | 32( 6) |
| 東北 | 317,436 | 1,244,232 | 665,448 | 2,227,116 |
| | 6( 1) | 29( 5) | 17( 3) | 52( 9) |
| 関東 | 4,679,379 | 6,137,133 | 1,135,146 | 11,951,658 |
| | 118( 17) | 158( 21) | 29( 5) | 305( 43) |
| 中部 | 614,394 | 4,021,920 | 1,447,863 | 6,084,177 |
| | 19( 3) | 97( 14) | 35( 6) | 151( 23) |
| 近畿 | 1,565,124 | 3,533,046 | 628,206 | 5,726,376 |
| | 40( 6) | 87( 12) | 14( 2) | 141( 20) |
| 中国 | 337,476 | 1,169,547 | 385,989 | 1,893,012 |
| | 8( 1) | 28( 4) | 9( 2) | 45( 7) |
| 四国 | － | 681,645 | 299,001 | 980,646 |
| | －( － ) | 18( 3) | 6( 1) | 24( 4) |
| 九州 | 675,927 | 1,902,615 | 962,382 | 3,540,924 |
| | 18( 2) | 45( 7) | 23( 4) | 86( 13) |
| 計 | 8,730,492 | 19,303,521 | 5,789,601 | 33,823,614 |
| | 220( 32) | 477( 69) | 139( 24) | 836(125) |

注）上段:推定母集団数
　　下段:標本サイズ（調査地点数）

図表4　コーホートDの層別推定母集団数、標本サイズ、調査地点数

| | 18大都市 | その他の市 | 町　村 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 66,227 | 69,550 | 24,681 | 160,458 |
| | 11( 2) | 11( 3) | 4( 1) | 26( 6) |
| 東北 | 37,916 | 175,721 | 46,499 | 260,136 |
| | 7( 1) | 29( 7) | 8( 2) | 44( 10) |
| 関東 | 539,215 | 709,813 | 64,797 | 1,313,825 |
| | 89( 18) | 118( 22) | 10( 3) | 217( 43) |
| 中部 | 133,722 | 451,572 | 69,476 | 654,770 |
| | 23( 5) | 75( 17) | 12( 3) | 110( 25) |
| 近畿 | 206,915 | 385,174 | 34,559 | 626,648 |
| | 34( 7) | 63( 11) | 5( 2) | 102( 20) |
| 中国 | 37,244 | 155,344 | 15,805 | 208,393 |
| | 6( 1) | 26( 6) | 3( 1) | 35( 8) |
| 四国 | | 92,753 | 15,981 | 108,734 |
| | | 15( 4) | 3( 1) | 18( 5) |
| 九州 | 85,115 | 290,154 | 65,475 | 440,744 |
| | 14( 2) | 48( 9) | 11( 2) | 73( 13) |
| 計 | 1,106,354 | 2,330,081 | 337,273 | 3,773,708 |
| | 184( 36) | 385( 79) | 56( 15) | 625( 130) |

注）上段:推定母集団数
　　下段:標本サイズ（調査地点数）

# 図表5　各年度回収状況

| | 調査年 | コーホートA | | コーホートB | | コーホートC | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 有効完了数 | 有効回収率 | 有効完了数 | 有効回収率 | 有効完了数 | 有効回収率 |
| 第1年度(パネル1) | 1993年 | 1,500人 | 41.4% | － | － | － | － |
| 第2年度(パネル2) | 1994年 | 1,422人 (7) | 94.3% | － | － | － | － |
| 第3年度(パネル3) | 1995年 | 1,342人 (1) | 94.3% | － | － | － | － |
| 第4年度(パネル4) | 1996年 | 1,298人 (9) | 96.0% | － | － | － | － |
| 第5年度(パネル5) | 1997年 | 1,255人 (6) | 96.2% | 500人 | 34.3% | － | － |
| 第6年度(パネル6) | 1998年 | 1,196人 (3) | 95.0% | 442人 (7) | 87.0% | － | － |
| 第7年度(パネル7) | 1999年 | 1,137人 (6) | 94.5% | 412人 (6) | 91.7% | － | － |
| 第8年度(パネル8) | 2000年 | 1,102人 (4) | 96.6% | 386人 (3) | 92.9% | － | － |
| 第9年度(パネル9) | 2001年 | 1,059人 (2) | 95.7% | 366人 (2) | 94.3% | － | － |
| 第10年度(パネル10) | 2002年 | 1,032人 (2) | 97.3% | 344人 (1) | 93.7% | | |
| 第11年度(パネル11) | 2003年 | 980人 (6) | 95.0% | 323人 | 94.2% | 836人 | 28.4% |
| 第12年度(パネル12) | 2004年 | 944人 (1) | 96.7% | 312人 (2) | 95.4% | 724人 (4) | 85.6% |
| 第13年度(パネル13) | 2005年 | 904人 (3) | 95.4% | 292人 (1) | 93.2% | 674人 (2) | 92.8% |
| 第14年度(パネル14) | 2006年 | 875人 (1) | 96.7% | 278人 | 95.2% | 621人 (4) | 91.5% |
| 第15年度(パネル15) | 2007年 | 847人 (2) | 96.3% | 271人 (2) | 96.4% | 588人 (4) | 93.4% |
| 第16年度(パネル16) | 2008年 | 826人 | 97.7% | 259人 | 96.3% | 556人 | 93.7% |

注：有効回収率とは

[(t年度に回収した全有効調査票数)－(t+1年度に回収したt年度有効調査票数)－(t年度に回収したt-1年度有効調査票数)]

/[（t-1年度に回収した全有効調査票数)－(t年度に回収したt－1年度有効調査票数）]

( )内の数字は次年度に回収した当年度有効調査票

## 図表6　コーホートAの回収状況(第16年度)

| | 18大都市 | その他の市 | 町村 | 外国 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 14<br>14( 100.0) | 26<br>26( 100.0) | 5<br>6( 83.3) | | 45<br>46( 97.8) |
| 東北 | 5<br>6( 83.3) | 40<br>42( 95.2) | 7<br>7( 100.0) | | 52<br>55( 94.5) |
| 関東 | 104<br>107( 97.2)<br>〈1〉 | 129<br>134( 96.3)<br>〈1〉 | 22<br>22( 100.0) | | 255<br>263( 97.0)<br>〈2〉 |
| 中部 | 25<br>25(100.0) | 119<br>122( 97.5) | 19<br>20( 95.0) | | 163<br>167( 97.6) |
| 近畿 | 38<br>38(100.0) | 93<br>95( 97.9) | 10<br>10(100.0) | | 141<br>143( 98.6) |
| 中国 | 9<br>9(100.0) | 40<br>41( 97.6) | 2<br>2(100.0) | | 51<br>52( 98.1) |
| 四国 | | 33<br>34( 97.1) | 1<br>1(100.0) | | 34<br>35( 97.1) |
| 九州 | 18<br>18(100.0) | 51<br>53( 96.2) | 11<br>11(100.0) | | 80<br>82( 97.6) |
| 外国 | | | | 2<br>3( 66.7)<br>〈1〉 | 2<br>3( 66.7)<br>〈1〉 |
| 計 | 213<br>217( 98.2)<br>〈1〉 | 531<br>547( 97.1)<br>〈1〉 | 77<br>79( 97.5) | 2<br>3( 66.7)<br>〈1〉 | 823<br>846( 97.3)<br>〈3〉 |

注：上段：完了数、下段：調査票配布数(回収率)
　＜＞内の数字は第14年度回答者(第15年度欠票)からの復活票

## 図表7　コーホートBの回収状況（第16年度）

| | 18大都市 | その他の市 | 町村 | 外国 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 3<br>3(100.0) | 4<br>4(100.0) | 1<br>1(100.0) | | 8<br>8(100.0) |
| 東北 | 1<br>1(100.0) | 11<br>13( 84.6) | 4<br>4(100.0)<br>〈1〉 | | 16<br>18( 88.9)<br>〈1〉 |
| 関東 | 32<br>34( 94.1) | 43<br>46( 93.5) | 2<br>3( 66.7) | | 77<br>83( 92.8) |
| 中部 | 8<br>10( 80.0) | 45<br>46( 97.8)<br>〈1〉 | 3<br>4( 75.0) | | 56<br>60( 93.3)<br>〈1〉 |
| 近畿 | 18<br>18(100.0) | 31<br>31(100.0) | 2<br>2(100.0) | | 51<br>51(100.0) |
| 中国 | 1<br>1(100.0) | 7<br>7(100.0) | 1<br>1(100.0) | | 9<br>9(100.0) |
| 四国 | | 9<br>9(100.0) | | | 9<br>9(100.0) |
| 九州 | 6<br>6(100.0) | 19<br>19(100.0) | 6<br>6(100.0) | | 31<br>31(100.0) |
| 外国 | | | | | 0<br>0( 0.0) |
| 計 | 69<br>73( 94.5) | 169<br>175( 96.6)<br>〈1〉 | 19<br>21( 90.5)<br>〈1〉 | 0<br>0( 0.0) | 257<br>269( 95.5)<br>〈2〉 |

注：上段：完了数、下段：調査票配布数(回収率)
　＜＞内の数字は第14年度回答者(第15年度欠票)からの復活票

## 図表8　コーホートCの回収状況（第16年度）

| | 18大都市 | その他の市 | 町村 | 外国 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 11<br>11(100.0) | 8<br>9( 88.9) | 4<br>4(100.0) | | 23<br>24( 95.8) |
| 東北 | 5<br>5(100.0) | 23<br>24( 95.8) | 2<br>2(100.0) | | 30<br>31( 96.8) |
| 関東 | 64<br>72( 88.9) | 102<br>110( 92.7)<br>〈1〉 | 7<br>7(100.0) | | 173<br>189( 91.5)<br>〈1〉 |
| 中部 | 23<br>23(100.0) | 72<br>76( 94.7) | 11<br>11(100.0) | | 106<br>110( 96.4) |
| 近畿 | 46<br>48( 95.8) | 58<br>60( 96.7) | 8<br>9( 88.9) | | 112<br>117( 95.7) |
| 中国 | 6<br>6(100.0) | 26<br>27( 96.3) | 1<br>1(100.0) | | 33<br>34( 97.1) |
| 四国 | | 16<br>16(100.0) | | | 16<br>16(100.0) |
| 九州 | 11<br>11(100.0)<br>〈1〉 | 41<br>43( 95.3)<br>〈1〉 | 7<br>8( 87.5) | | 59<br>62( 95.2)<br>〈2〉 |
| 外国 | | | | 1<br>2( 50.0) | 1<br>2( 50.0) |
| 計 | 166<br>176( 94.3)<br>〈1〉 | 346<br>365( 94.8)<br>〈2〉 | 40<br>42( 95.2) | 1<br>2( 50.0) | 553<br>585( 94.5)<br>〈3〉 |

注：上段：完了数、下段：調査票配布数(回収率)
　＜＞内の数字は第13年度回答者(第14年度欠票)からの復活票

図表9　コーホートDの回収状況（第16年度）

| | 18大都市 | その他の市 | 町村 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 11<br>43( 25.6) | 11<br>34( 32.4) | 4<br>12(33.3) | 26<br>89( 29.2) |
| 東北 | 7<br>21( 33.3) | 31<br>79( 39.2) | 8<br>18(44.4) | 46<br>118( 39.0) |
| 関東 | 89<br>362( 24.6) | 118<br>423( 27.9) | 11<br>19( 57.9) | 218<br>804( 27.1) |
| 中部 | 25<br>73( 34.2) | 77<br>206( 37.4) | 12<br>24( 50.0) | 114<br>303( 37.6) |
| 近畿 | 34<br>92( 37.0) | 64<br>234( 27.4) | 5<br>11( 45.5) | 103<br>337( 30.6) |
| 中国 | 6<br>18( 33.3) | 26<br>84( 31.0) | 3<br>9( 33.3) | 35<br>111( 31.5) |
| 四国 | | 15<br>40( 37.5) | 3<br>6( 50.0) | 18<br>46( 39.1) |
| 九州 | 15<br>69( 21.7) | 50<br>175( 28.6) | 11<br>36( 30.6) | 76<br>280( 27.1) |
| 計 | 185<br>572( 32.3) | 394<br>1302( 30.3) | 57<br>211( 27.0) | 636<br>2088( 30.5) |

注：上段：完了数、下段：調査票配布数(回収率)

# 調査対象者の基本属性

財団法人 家計経済研究所 研究員　　坂本　和靖
財団法人 家計経済研究所 研究助手　伊藤ななえ

第 II 部では、まずパネル 16 における調査対象者の基本属性を『国勢調査』とも比較しつつ、コーホート別に確認する。つぎにパネル 15 からパネル 16 にかけての 1 年間の、調査対象者の生活の変化をコーホート別に述べる。

ここで用いる用語については、第 1 章の「5. 用語について」を参照されたい。なお、第 II 部の図表中の「無回答」には「不明」が含まれている。

## １．パネル 16 の基本属性

現在の調査対象者の年齢は、以下のようになっている。調査初年度（1993 年）に 24～34 歳であったコーホート A は、調査 16 年目を迎える本年度（2008 年）に 39～49 歳、また第 5 年度（1997 年）に新規追加されたコーホート B（調査開始時 24～27 歳）は、調査 11 年目を迎えて 35～38 歳、第 11 年度（2003 年）に新規追加されたコーホート C（調査開始時 24～29 歳）は、29～34 歳となっている。そして、第 16 年度から新規に対象者に加わったコーホート D は、24～28 歳である。

以下では、パネル 16 でのコーホート A（パネル 16-A）、コーホート B（パネル 16-B）、コーホート C（パネル 16-C）、コーホート D（パネル 16-D）の基本属性を示す。

対象者の年齢構成は、『国勢調査』と比較すると、ほぼ同じ分布となっている（図表 10）。有配偶率（縦計）は、コーホート A については初回調査のパネル 1 で 30 歳以上のグループで『国勢調査』に比べてやや高く（図表 11）、パネル 16 でも高い結果となっている。また、コーホート B についても初回調査のパネル 5 で『国勢調査』に比べてやや高く、パネル 16 でも『国勢調査』より高い。コーホート C についても初回調査のパネル 11 で、同様にやや高い（図表 11）結果となっており、パネル 16 でもおおむね高い。今年から調査が開始されたコーホートDでも、『国勢調査』よりも有配偶率がやや高い結果が得られた（図表 37）。

このように全体の有配偶率が高いことの原因としては、(1) 初回調査時においてやや有配偶率が高かったこと、(2) 無配偶者は調査対象から脱落しやすい傾向があるな

どが挙げられる。

図表 12～図表 26 および図表 27 は、以下の項目についてコーホート別にパネル 16 の結果をまとめたものである。有配偶の夫年齢、同居家族人員数、別居している家族を含む家族人員数、世帯構成、親との居住状況、子どもの人数、長子の就学状況、末子の就学状況、本人就業状況、有配偶の夫の就業状況、住宅の所有関係、本人学歴、有配偶の夫学歴、最終卒業学校（本人と夫)、本人年収、有配偶の夫年収、夫婦の合計年収。

## ２．調査対象者の基本属性の変化

### (1)パネル 15 からパネル 16 までの配偶状態の変化

図表 28 では配偶変化をまとめている。パネル 15 から 16 の間で「この 1 年間に結婚した」ケース数は、コーホート A で 5 件、コーホート B では 2 件と少ない。パネル 11 から加わったコーホート C では 24 件だった。「この 1 年間に離別または死別」した件数は、コーホート A では 6 件、コーホート B では 4 件、コーホート C では 7 件だった。

### (2)パネル 15 からパネル 16 までの 1 年間の基本属性の変化

出産については、年齢が高くなるほどこの 1 年に出産した者の割合が下がる傾向を確認できる（図表 30)。

住居移動についてみると、有配偶、無配偶ともに、年齢が高いほど「住居移動なし」の割合が高い。またこの 1 年に結婚したものに限定すると、コーホート A、B、C 合わせて 74.1%（＝（2 人＋2 人＋19 人）÷（5 人＋2 人＋24 人）×100）と、結婚を契機とし、居住移動する割合が高い（図表 31)。異なる地方への転居は、有配偶、無配偶合わせて、コーホート A で 3 人、コーホート B は 4 人、コーホート C は 6 人であり、住居移動の中心は同じ地域ブロック内での移動であったといえる（図表 32)。住宅の変化は図表 33 に示す。

就業状態の変化をまとめたものが図表 34 である。コーホート A では就業を継続したものが有配偶で 59.5%、無配偶で 78.1%であり、新規に就業したものが有配偶で 3.6%、無配偶で 4.1%、離職したものが有配偶で 4.7%、無配偶ではいなかった。コーホート B においては就業を継続したものが有配偶で 42.2%、無配偶で 73.1%であり、

新規に就業したものが有配偶で 6.8%、無配偶で 4.5%であり、離職したものが有配偶で 5.2%、無配偶で 3.0%であった。コーホート C においては就業を継続したものが有配偶で 43.0%、無配偶で 73.1%であり、新規に就業したものが有配偶で 4.7%、無配偶で 4.2%であり、離職したものが有配偶で 7.9%、無配偶で 2.8%であった。

**(3)年齢・学歴・居住地別、配偶状態変化・就業状態変化の分布**

図表 35-1 および 35-2、35-3 は年齢・学歴別の配偶変化・就業状態変化を、図表 36-1 および 36-2、36-3 は年齢・学歴別の配偶変化・親との居住状態変化を示している。

図表 37 以降は、新規回答者コーホート D に関する図表となっている。『国勢調査』、『就業構造基本調査』と比較可能な場合は、その数値を同表中、および別表に併記している。

図表10　対象者の有配偶率（パネル16時点）

| | | 29～31歳 | 32～34歳 | 35～38歳 | 39～41歳 | 42～44歳 | 45～47歳 | 48～49歳 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 本調査（パネル16-A） | 有配偶 | － | － | － | 198 | 160 | 173 | 126 | 657 |
| | 横計% | － | － | － | 30.1 | 24.4 | 26.3 | 19.2 | 100.0 |
| | 縦計% | － | － | － | 79.5 | 75.8 | 80.1 | 84.0 | 79.5 |
| | 無配偶 | － | － | － | 51 | 51 | 43 | 24 | 169 |
| | 横計% | － | － | － | 30.2 | 30.2 | 25.4 | 14.2 | 100.0 |
| | 縦計% | － | － | － | 20.5 | 24.2 | 19.9 | 16.0 | 20.5 |
| | 内未婚 | － | － | － | 25 | 33 | 17 | 4 | 79 |
| | 横計% | － | － | － | 31.6 | 41.8 | 21.5 | 5.1 | 100.0 |
| | 縦計% | － | － | － | 10.0 | 15.6 | 7.9 | 2.7 | 9.6 |
| | 内離死別 | － | － | － | 26 | 18 | 26 | 20 | 90 |
| | 横計% | － | － | － | 28.9 | 20.0 | 28.9 | 22.2 | 100.0 |
| | 縦計% | － | － | － | 10.4 | 8.5 | 12.0 | 13.3 | 10.9 |
| | 計 | － | － | － | 249 | 211 | 216 | 150 | 826 |
| | 横計% | － | － | － | 30.1 | 25.5 | 26.2 | 18.2 | 100.0 |
| | 縦計% | － | － | － | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 本調査（パネル16-B） | 有配偶 | | | 192 | － | － | － | － | 192 |
| | 横計% | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 縦計% | － | － | 74.1 | － | － | － | － | 74.1 |
| | 無配偶 | － | － | 67 | － | － | － | － | 67 |
| | 横計% | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 縦計% | － | － | 25.9 | － | － | － | － | 25.9 |
| | 内未婚 | － | － | 44 | － | － | － | － | 44 |
| | 横計% | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 縦計% | － | － | 17.0 | － | － | － | － | 17.0 |
| | 内離死別 | － | － | 23 | － | － | － | － | 23 |
| | 横計% | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 縦計% | － | － | 8.9 | － | － | － | － | 8.9 |
| | 計 | － | － | 259 | － | － | － | － | 259 |
| | 横計% | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 縦計% | － | － | 100.0 | － | － | － | － | 100.0 |
| 本調査（パネル16-C） | 有配偶 | 145 | 199 | － | － | － | － | － | 344 |
| | 横計% | 42.2 | 57.8 | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 縦計% | 55.1 | 67.9 | － | － | － | － | － | 61.9 |
| | 無配偶 | 118 | 94 | － | － | － | － | － | 212 |
| | 横計% | 55.7 | 44.3 | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 縦計% | 44.9 | 32.1 | － | － | － | － | － | 38.1 |
| | 内未婚 | 102 | 70 | － | － | － | － | － | 172 |
| | 横計% | 59.3 | 40.7 | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 縦計% | 38.8 | 23.9 | － | － | － | － | － | 30.9 |
| | 内離死別 | 16 | 24 | － | － | － | － | － | 40 |
| | 横計% | 40.0 | 60.0 | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 縦計% | 6.1 | 8.2 | － | － | － | － | － | 7.2 |
| | 計 | 263 | 293 | － | － | － | － | － | 556 |
| | 横計% | 47.3 | 52.7 | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 縦計% | 100.0 | 100.0 | － | － | － | － | － | 100.0 |

図表10　対象者の有配偶率（パネル16時点）〈続き〉

| | | 29～31歳 | 32～34歳 | 35～38歳 | 39～41歳 | 42～44歳 | 45～47歳 | 48～49歳 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 『平成17年国勢調査』（2005年女）・（パネル16-A） | 有配偶 | － | － | － | 1,809,558 | 1,824,755 | 1,862,180 | 1,245,638 | 6,742,131 |
| | 横計% | － | － | － | 26.8 | 27.1 | 27.6 | 18.5 | 100.0 |
| | 縦計% | － | － | － | 75.7 | 78.4 | 80.2 | 81.1 | 78.6 |
| | 未婚 | － | － | － | 336,884 | 255,914 | 203,338 | 113,258 | 909,394 |
| | 横計% | － | － | － | 37.0 | 28.1 | 22.4 | 12.5 | 100.0 |
| | 縦計% | － | － | － | 14.1 | 11.0 | 8.8 | 7.4 | 10.6 |
| | 死別 | － | － | － | 17,749 | 26,373 | 39,571 | 35,912 | 119,605 |
| | 横計% | － | － | － | 14.8 | 22.1 | 33.1 | 30.0 | 100.0 |
| | 縦計% | － | － | － | 0.7 | 1.1 | 1.7 | 2.3 | 1.4 |
| | 離別 | － | － | － | 184,357 | 189,146 | 189,101 | 123,214 | 685,818 |
| | 横計% | － | － | － | 26.9 | 27.6 | 27.6 | 18.0 | 100.0 |
| | 縦計% | － | － | － | 7.7 | 8.1 | 8.1 | 8.0 | 8.0 |
| | (再)無配偶計 | － | － | － | 538,990 | 471,433 | 432,010 | 272,384 | 1,714,817 |
| | 横計% | － | － | － | 31.4 | 27.5 | 25.2 | 15.9 | 100.0 |
| | 縦計% | － | － | － | 22.6 | 20.2 | 18.6 | 17.7 | 20.0 |
| | 不詳 | － | － | － | 40,683 | 32,527 | 28,970 | 17,179 | 119,359 |
| | 横計% | － | － | － | 34.1 | 27.3 | 24.3 | 14.4 | 100.0 |
| | 縦計% | － | － | － | 1.7 | 1.4 | 1.2 | 1.1 | 1.4 |
| | 計 | － | － | － | 2,389,231 | 2,328,715 | 2,323,160 | 1,535,201 | 8,576,307 |
| | 横計% | － | － | － | 27.9 | 27.2 | 27.1 | 17.9 | 100.0 |
| | 縦計% | － | － | － | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 『平成17年国勢調査』（2005年女）・（パネル16-B） | 有配偶 | － | － | 2,611,580 | － | － | － | － | 2,611,580 |
| | 横計% | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 縦計% | － | － | 71.9 | － | － | － | － | 71.9 |
| | 未婚 | － | － | 687,852 | － | － | － | － | 687,852 |
| | 横計% | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 縦計% | － | － | 18.9 | － | － | － | － | 18.9 |
| | 死別 | － | － | 15,465 | － | － | － | － | 15,465 |
| | 横計% | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 縦計% | － | － | 0.4 | － | － | － | － | 0.4 |
| | 離別 | － | － | 244,372 | － | － | － | － | 244,372 |
| | 横計% | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 縦計% | － | － | 6.7 | － | － | － | － | 6.7 |
| | (再)無配偶計 | － | － | 947,689 | － | － | － | － | 947,689 |
| | 横計% | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 縦計% | － | － | 26.1 | － | － | － | － | 26.1 |
| | 不詳 | － | － | 70,905 | － | － | － | － | 70,905 |
| | 横計% | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 縦計% | － | － | 2.0 | － | － | － | － | 2.0 |
| | 計 | － | － | 3,630,174 | － | － | － | － | 3,630,174 |
| | 横計% | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 縦計% | － | － | 100.0 | － | － | － | － | 100.0 |
| 『平成17年国勢調査』（2005年女）・（パネル16-C） | 有配偶 | 1,554,031 | 1,919,354 | － | － | － | － | － | 3,473,385 |
| | 横計% | 44.7 | 55.3 | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 縦計% | 55.9 | 65.6 | － | － | － | － | － | 60.9 |
| | 未婚 | 1,109,156 | 834,282 | － | － | － | － | － | 1,943,438 |
| | 横計% | 57.1 | 42.9 | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 縦計% | 39.9 | 28.5 | － | － | － | － | － | 34.1 |
| | 死別 | 3,548 | 6,487 | － | － | － | － | － | 10,035 |
| | 横計% | 35.4 | 64.6 | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 縦計% | 0.1 | 0.2 | － | － | － | － | － | 0.2 |
| | 離別 | 109,865 | 158,637 | － | － | － | － | － | 268,502 |
| | 横計% | 40.9 | 59.1 | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 縦計% | 4.0 | 5.4 | － | － | － | － | － | 4.7 |
| | (再)無配偶計 | 1,222,569 | 999,406 | － | － | － | － | － | 2,221,975 |
| | 横計% | 55.0 | 45.0 | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 縦計% | 44.0 | 34.2 | － | － | － | － | － | 39.0 |
| | 不詳 | 3,457 | 4,978 | － | － | － | － | － | 8,435 |
| | 横計% | 41.0 | 59.0 | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 縦計% | 0.1 | 0.2 | － | － | － | － | － | 0.1 |
| | 計 | 2,780,057 | 2,923,738 | － | － | － | － | － | 5,703,795 |
| | 横計% | 48.7 | 51.3 | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 縦計% | 100.0 | 100.0 | － | － | － | － | － | 100.0 |

注：コーホートAとコーホートB・Cでは無配偶単身世帯に対するアタック数が異なる。
資料：総務省『平成17年 国勢調査』

# 図表11　対象者の有配偶率
# (パネル1-A(1993年)、パネル5-B(1997年)、パネル11-C(2003年)時点)

〈パネル1-A〉

| | | 24～26歳 | 27～29歳 | 30～32歳 | 33～34歳 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 本調査 (パネル1 ・1993年) | 有配偶 | 179 | 261 | 324 | 238 | 1002 |
| | 横計% | 17.9 | 26.0 | 32.3 | 23.8 | 100.0 |
| | 縦計% | 39.6 | 66.6 | 82.0 | 91.2 | 66.8 |
| | 無配偶 | 273 | 131 | 71 | 23 | 498 |
| | 横計% | 54.8 | 26.3 | 14.3 | 4.6 | 100.0 |
| | 縦計% | 60.4 | 33.4 | 18.0 | 8.8 | 33.2 |
| | 計 | 452 | 392 | 395 | 261 | 1500 |
| | 横計% | 30.1 | 26.1 | 26.3 | 17.4 | 100.0 |
| | 縦計% | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 『平成2年 国勢調査』 (1990年) | 有配偶 | 939,155 | 1,555,106 | 1,876,208 | 1,317,565 | 5,688,034 |
| | 横計% | 16.5 | 27.3 | 33.0 | 23.2 | 100.0 |
| | 縦計% | 39.6 | 67.1 | 80.8 | 85.5 | 66.5 |
| | 無配偶 | 1,414,995 | 751,522 | 437,672 | 220,033 | 2,824,222 |
| | 横計% | 50.1 | 26.6 | 15.5 | 7.8 | 100.0 |
| | 縦計% | 59.6 | 32.4 | 18.9 | 14.3 | 33.0 |
| | 不　詳 | 19,091 | 11,306 | 7,089 | 3,765 | 41251.0 |
| | 横計% | 46.3 | 27.4 | 17.2 | 9.1 | 100.0 |
| | 縦計% | 0.8 | 0.5 | 0.3 | 0.2 | 0.5 |
| | 計 | 2,373,241 | 2,317,934 | 2,320,969 | 1,541,363 | 8,553,507 |
| | 横計% | 27.7 | 27.1 | 27.1 | 18.0 | 100.0 |
| | 縦計% | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

資料:総務省『平成2年 国勢調査』

〈パネル5-B〉

| | | パネル5-B |
|---|---|---|
| | | 24～27歳 |
| 本調査 (パネル5 ・1997年) | 有配偶 | 201 |
| | 縦計% | 40.2 |
| | 無配偶 | 299 |
| | 縦計% | 59.8 |
| | 計 | 500 |
| | 縦計% | 100.0 |
| 『平成7年 国勢調査』 (1995年) | 有配偶 | 1,396,324 |
| | 縦計% | 37.8 |
| | 無配偶 | 2,281,126 |
| | 縦計% | 61.7 |
| | 不　詳 | 17,196 |
| | 縦計% | 0.5 |
| | 計 | 3,694,646 |
| | 縦計% | 100.0 |

資料:総務省『平成7年 国勢調査』

〈パネル11-C〉

| | | パネル11-C |
|---|---|---|
| | | 24～29歳 |
| 本調査 (パネル11 ・2003年) | 有配偶 | 351 |
| | 縦計% | 42.0 |
| | 無配偶 | 485 |
| | 縦計% | 58.0 |
| | 計 | 836 |
| | 縦計% | 100.0 |
| 『平成12年 国勢調査』 (1999年) | 有配偶 | 2,277,655 |
| | 縦計% | 39.9 |
| | 無配偶 | 3,427,324 |
| | 縦計% | 60.0 |
| | 不　詳 | 3,989 |
| | 縦計% | 0.1 |
| | 計 | 5,708,968 |
| | 縦計% | 100.0 |

資料:総務省『平成12年 国勢調査』

## 図表12　有配偶の夫の年齢－コーホートA･B･C－

| | | 32歳以下 | 33～35歳 | 36～38歳 | 39～41歳 | 42～44歳 | 45～47歳 | 48～51歳 | 52歳以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 実数 | 2 | 11 | 21 | 90 | 128 | 133 | 163 | 109 | 657 |
| | % | 0.3 | 1.7 | 3.2 | 13.7 | 19.5 | 20.2 | 24.8 | 16.6 | 100.0 |
| パネル16－B | 実数 | 7 | 27 | 66 | 52 | 19 | 13 | 6 | 2 | 192 |
| | % | 3.6 | 14.1 | 34.4 | 27.1 | 9.9 | 6.8 | 3.1 | 1.0 | 100.0 |
| パネル16－C | 実数 | 136 | 122 | 50 | 24 | 8 | 3 | 1 | － | 344 |
| | % | 39.5 | 35.5 | 14.5 | 7.0 | 2.3 | 0.9 | 0.3 | － | 100.0 |

## 図表13　家族人員数（同居）－コーホートA･B･C－

| | | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | 6人以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 有配偶 | 2 | 62 | 110 | 219 | 141 | 123 | 657 |
| | % | 0.3 | 9.4 | 16.7 | 33.3 | 21.5 | 18.7 | 100.0 |
| | 無配偶 | 33 | 43 | 51 | 26 | 9 | 7 | 169 |
| | % | 19.5 | 25.4 | 30.2 | 15.4 | 5.3 | 4.1 | 100.0 |
| | 計 | 35 | 105 | 161 | 245 | 150 | 130 | 826 |
| | % | 4.2 | 12.7 | 19.5 | 29.7 | 18.2 | 15.7 | 100.0 |
| パネル16－B | 有配偶 | － | 21 | 32 | 82 | 28 | 29 | 192 |
| | % | － | 10.9 | 16.7 | 42.7 | 14.6 | 15.1 | 100.0 |
| | 無配偶 | 16 | 15 | 21 | 10 | 3 | 2 | 67 |
| | % | 23.9 | 22.4 | 31.3 | 14.9 | 4.5 | 3.0 | 100.0 |
| | 計 | 16 | 36 | 53 | 92 | 31 | 31 | 259 |
| | % | 6.2 | 13.9 | 20.5 | 35.5 | 12.0 | 12.0 | 100.0 |
| パネル16－C | 有配偶 | 1 | 60 | 77 | 116 | 46 | 44 | 344 |
| | % | 0.3 | 17.4 | 22.4 | 33.7 | 13.4 | 12.8 | 100.0 |
| | 無配偶 | 41 | 22 | 67 | 47 | 22 | 13 | 212 |
| | % | 19.3 | 10.4 | 31.6 | 22.2 | 10.4 | 6.1 | 100.0 |
| | 計 | 42 | 82 | 144 | 163 | 68 | 57 | 556 |
| | % | 7.6 | 14.7 | 25.9 | 29.3 | 12.2 | 10.3 | 100.0 |

注：コーホートAとコーホートB･Cでは無配偶単身世帯に対するアタック数が異なる。

## 図表14　家族人員数（含別居）－コーホートA･B･C－

| | | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | 6人以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 有配偶 | － | 41 | 70 | 233 | 149 | 164 | 657 |
| | % | － | 6.2 | 10.7 | 35.5 | 22.7 | 25.0 | 100.0 |
| | 無配偶 | 24 | 38 | 57 | 27 | 12 | 11 | 169 |
| | % | 14.2 | 22.5 | 33.7 | 16.0 | 7.1 | 6.5 | 100.0 |
| | 計 | 24 | 79 | 127 | 260 | 161 | 175 | 826 |
| | % | 2.9 | 9.6 | 15.4 | 31.5 | 19.5 | 21.2 | 100.0 |
| パネル16－B | 有配偶 | － | 20 | 32 | 81 | 28 | 31 | 192 |
| | % | － | 10.4 | 16.7 | 42.2 | 14.6 | 16.1 | 100.0 |
| | 無配偶 | 11 | 13 | 18 | 14 | 8 | 3 | 67 |
| | % | 16.4 | 19.4 | 26.9 | 20.9 | 11.9 | 4.5 | 100.0 |
| | 計 | 11 | 33 | 50 | 95 | 36 | 34 | 259 |
| | % | 4.2 | 12.7 | 19.3 | 36.7 | 13.9 | 13.1 | 100.0 |
| パネル16－C | 有配偶 | － | 60 | 71 | 117 | 48 | 48 | 344 |
| | % | － | 17.4 | 20.6 | 34.0 | 14.0 | 14.0 | 100.0 |
| | 無配偶 | 27 | 15 | 52 | 64 | 27 | 27 | 212 |
| | % | 12.7 | 7.1 | 24.5 | 30.2 | 12.7 | 12.7 | 100.0 |
| | 計 | 27 | 75 | 123 | 181 | 75 | 75 | 556 |
| | % | 4.9 | 13.5 | 22.1 | 32.6 | 13.5 | 13.5 | 100.0 |

# 図表15　世帯構成－コーホートA・B・C－

〈パネル16-A〉

| | 夫婦のみ | 夫婦と子のみ | 親と夫婦 | 親と夫婦と子 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 有 配 偶 | 41 | 375 | 15 | 217 | 9 | 657 |
| % | 6.2 | 57.1 | 2.3 | 33.0 | 1.4 | 100.0 |

| | 本人のみ | 本人と子のみ | 親と本人 | 親と本人と子 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 無 配 偶 | 33 | 49 | 61 | 24 | 2 | 169 |
| % | 19.5 | 29.0 | 36.1 | 14.2 | 1.2 | 100.0 |

〈パネル16-B〉

| | 夫婦のみ | 夫婦と子のみ | 親と夫婦 | 親と夫婦と子 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 有 配 偶 | 20 | 129 | 4 | 37 | 2 | 192 |
| % | 10.4 | 67.2 | 2.1 | 19.3 | 1.0 | 100.0 |

| | 本人のみ | 本人と子のみ | 親と本人 | 親と本人と子 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 無 配 偶 | 16 | 16 | 33 | 2 | － | 67 |
| % | 23.9 | 23.9 | 49.3 | 3.0 | － | 100.0 |

〈パネル16-C〉

| | 夫婦のみ | 夫婦と子のみ | 親と夫婦 | 親と夫婦と子 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 有 配 偶 | 60 | 216 | 10 | 56 | 2 | 344 |
| % | 17.4 | 62.8 | 2.9 | 16.3 | 0.6 | 100.0 |

| | 本人のみ | 本人と子のみ | 親と本人 | 親と本人と子 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 無 配 偶 | 41 | 16 | 138 | 16 | 1 | 212 |
| % | 19.3 | 7.5 | 65.1 | 7.5 | 0.5 | 100.0 |

## 図表16　親との居住状況－コーホートA・B・C－

| | | 同 居・準同居 | 近隣居住 | 同一市区町村内居住 | 同一都道府県内居住 | 左記以外に居住 | 全員死亡 | 無回答 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 有配偶 | 246 | 117 | 106 | 93 | 86 | 7 | 2 | 657 |
| | % | 37.4 | 17.8 | 16.1 | 14.2 | 13.1 | 1.1 | 0.3 | 100.0 |
| | 無配偶 | 84 | 22 | 17 | 17 | 12 | 16 | 1 | 169 |
| | % | 49.7 | 13.0 | 10.1 | 10.1 | 7.1 | 9.5 | 1 | 100.0 |
| | 計 | 330 | 139 | 123 | 110 | 98 | 23 | 3 | 826 |
| | % | 40.0 | 16.8 | 14.9 | 13.3 | 11.9 | 2.8 | 0.4 | 100.0 |
| パネル16－B | 有配偶 | 47 | 46 | 45 | 33 | 20 | － | 1 | 192 |
| | % | 24.5 | 24.0 | 23.4 | 17.2 | 10.4 | － | 1 | 100.0 |
| | 無配偶 | 36 | 9 | 7 | 6 | 5 | 4 | － | 67 |
| | % | 53.7 | 13.4 | 10.4 | 9.0 | 7.5 | 6.0 | － | 100.0 |
| | 計 | 83 | 55 | 52 | 39 | 25 | 4 | 1 | 259 |
| | % | 32.0 | 21.2 | 20.1 | 15.1 | 9.7 | 1.5 | 0.4 | 100.0 |
| パネル16－C | 有配偶 | 69 | 69 | 86 | 76 | 42 | 1 | 1 | 344 |
| | % | 20.1 | 20.1 | 25.0 | 22.1 | 12.2 | 0.3 | 0.3 | 100.0 |
| | 無配偶 | 152 | 14 | 11 | 15 | 20 | － | － | 212 |
| | % | 71.7 | 6.6 | 5.2 | 7.1 | 9.4 | － | － | 100.0 |
| | 計 | 221 | 83 | 97 | 91 | 62 | 1 | 1 | 556 |
| | % | 39.7 | 14.9 | 17.4 | 16.4 | 11.2 | 0.2 | 0.2 | 100.0 |

## 図表17　子どもの人数－コーホートA・B・C－

| | | いない | 1人 | 2人 | 3人以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 有配偶 | 56 | 94 | 336 | 171 | 657 |
| | % | 8.5 | 14.3 | 51.1 | 26.0 | 100.0 |
| | 無配偶 | 91 | 24 | 36 | 18 | 169 |
| | % | 53.8 | 14.2 | 21.3 | 10.7 | 100.0 |
| | 計 | 147 | 118 | 372 | 189 | 826 |
| | % | 17.8 | 14.3 | 45.0 | 22.9 | 100.0 |
| パネル16－B | 有配偶 | 26 | 35 | 98 | 33 | 192 |
| | % | 13.5 | 18.2 | 51.0 | 17.2 | 100.0 |
| | 無配偶 | 49 | 6 | 4 | 8 | 67 |
| | % | 73.1 | 9.0 | 6.0 | 11.9 | 100.0 |
| | 計 | 75 | 41 | 102 | 41 | 259 |
| | % | 29.0 | 15.8 | 39.4 | 15.8 | 100.0 |
| パネル16－C | 有配偶 | 70 | 86 | 137 | 51 | 344 |
| | % | 20.3 | 25.0 | 39.8 | 1.0 | 86.2 |
| | 無配偶 | 180 | 16 | 12 | 4 | 212 |
| | % | 84.9 | 7.5 | 5.7 | 1.9 | 100.0 |
| | 計 | 250 | 102 | 149 | 55 | 556 |
| | % | 45.0 | 18.3 | 26.8 | 9.9 | 100.0 |

## 図表18　長子の就学状況－コーホートA・B・C－

| | | 0 歳 | 1～3歳 | 4歳以上で未就学 | 小学1～3年 | 小学4～6年 | 中学生 | 高校生以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 有配偶 | － | 4 | 12 | 29 | 57 | 89 | 410 | 601 |
| | % | － | 0.7 | 2.0 | 4.8 | 9.5 | 14.8 | 68.2 | 100.0 |
| | 無配偶 | － | － | 1 | 3 | 6 | 6 | 62 | 78 |
| | % | － | － | － | 3.8 | 7.7 | 7.7 | 79.5 | 98.7 |
| | 計 | － | 4 | 13 | 32 | 63 | 95 | 472 | 679 |
| | % | － | 0.6 | 1.9 | 4.7 | 9.3 | 14.0 | 69.5 | 100.0 |
| パネル16－B | 有配偶 | 2 | 21 | 15 | 47 | 29 | 35 | 17 | 166 |
| | % | 1.2 | 12.7 | 9.0 | 28.3 | 17.5 | 21.1 | 10.2 | 100.0 |
| | 無配偶 | － | 1 | 1 | 1 | 3 | 4 | 8 | 18 |
| | % | － | 5.6 | 5.6 | 5.6 | 16.7 | 22 | 44.4 | 100.0 |
| | 計 | 2 | 22 | 16 | 48 | 32 | 39 | 25 | 184 |
| | % | 1.1 | 12.0 | 8.7 | 26.1 | 17.4 | 21.2 | 13.6 | 100.0 |
| パネル16－C | 有配偶 | 21 | 65 | 63 | 72 | 40 | 13 | － | 274 |
| | % | 7.7 | 23.7 | 23.0 | 26.3 | 14.6 | 4.7 | － | 100.0 |
| | 無配偶 | － | 3 | 5 | 9 | 13 | 1 | 1 | 32 |
| | % | － | 9.4 | 15.6 | 28.1 | 40.6 | 3.1 | 3.1 | 100.0 |
| | 計 | 21 | 68 | 68 | 81 | 53 | 14 | 1 | 306 |
| | % | 6.9 | 22.2 | 22.2 | 26.5 | 17.3 | 4.6 | 0.3 | 100.0 |

## 図表19　末子の就学状況－コーホートA・B・C－

| | | 0 歳 | 1～3歳 | 4歳以上で未就学 | 小学1～3年 | 小学4～6年 | 中学生 | 高校生以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 有配偶 | 5 | 19 | 41 | 68 | 113 | 123 | 232 | 601 |
| | % | 0.8 | 3.2 | 6.8 | 11.3 | 18.8 | 20.5 | 38.6 | 100.0 |
| | 無配偶 | － | 2 | 2 | 7 | 9 | 14 | 44 | 78 |
| | % | － | 2.6 | 2.6 | 9.0 | 11.5 | 17.9 | 56.4 | 100.0 |
| | 計 | 5 | 21 | 43 | 75 | 122 | 137 | 276 | 679 |
| | % | 0.7 | 3.1 | 6.3 | 11.0 | 18.0 | 20.2 | 40.6 | 100.0 |
| パネル16－B | 有配偶 | 12 | 47 | 34 | 37 | 25 | 9 | 2 | 166 |
| | % | 7.2 | 28.3 | 20.5 | 22.3 | 15.1 | 5.4 | 1.2 | 100.0 |
| | 無配偶 | － | 1 | 2 | 6 | 3 | 5 | 1 | 18 |
| | % | － | 5.6 | 11.1 | 33.3 | 16.7 | 27.8 | 5.6 | 100.0 |
| | 計 | 12 | 48 | 36 | 43 | 28 | 14 | 3 | 184 |
| | % | 6.5 | 26.1 | 19.6 | 23.4 | 15.2 | 7.6 | 1.6 | 100.0 |
| パネル16－C | 有配偶 | 59 | 116 | 52 | 37 | 8 | 2 | － | 274 |
| | % | 21.5 | 42.3 | 19.0 | 13.5 | 2.9 | 0.7 | － | 100.0 |
| | 無配偶 | － | 6 | 7 | 11 | 7 | 1 | － | 32 |
| | % | － | 19 | 21.9 | 34.4 | 21.9 | 3.1 | － | 100.0 |
| | 計 | 59 | 122 | 59 | 48 | 15 | 3 | － | 306 |
| | % | 19.3 | 39.9 | 19.3 | 15.7 | 4.9 | 1.0 | － | 100.0 |

## 図表20　就業状況（本人）－コーホートA・B・C－

| | | 常勤 | パート・嘱託等 | 自営他 | 無職 | 無回答 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 有配偶 | 128 | 251 | 69 | 209 | － | 657 |
| | % | 19.5 | 38.2 | 10.5 | 31.8 | － | 100.0 |
| | % | 28.6 | 56.0 | 15.4 | － | － | 100.0 |
| | 無配偶 | 93 | 46 | 9 | 20 | 1 | 169 |
| | % | 55.0 | 27.2 | 5.3 | 11.8 | 0.6 | 100.0 |
| | % | 62.8 | 31.1 | 6.1 | － | － | 100.0 |
| | 計 | 221 | 297 | 78 | 229 | 1 | 826 |
| | % | 26.8 | 36.0 | 9.4 | 27.7 | 0.1 | 100.0 |
| | % | 37.1 | 49.8 | 13.1 | － | － | 100.0 |
| パネル16－B | 有配偶 | 36 | 55 | 13 | 88 | － | 192 |
| | % | 18.8 | 28.6 | 6.8 | 45.8 | － | 100.0 |
| | % | 34.6 | 52.9 | 12.5 | － | － | 100.0 |
| | 無配偶 | 36 | 21 | 2 | 8 | － | 67 |
| | % | 53.7 | 31.3 | 3.0 | 11.9 | － | 100.0 |
| | % | 61.0 | 35.6 | 3.4 | － | － | 100.0 |
| | 計 | 72 | 76 | 15 | 96 | － | 259 |
| | % | 27.8 | 29.3 | 5.8 | 37.1 | － | 100.0 |
| | % | 44.2 | 46.6 | 9.2 | － | － | 100.0 |
| パネル16－C | 有配偶 | 75 | 77 | 25 | 167 | － | 344 |
| | % | 21.8 | 22.4 | 7.3 | 48.5 | － | 100.0 |
| | % | 42.4 | 43.5 | 14.1 | － | － | 100.0 |
| | 無配偶 | 135 | 48 | 11 | 17 | 1 | 212 |
| | % | 63.7 | 22.6 | 5.2 | 8.0 | 0.5 | 100.0 |
| | % | 69.6 | 24.7 | 5.7 | － | － | 100.0 |
| | 計 | 210 | 125 | 36 | 184 | － | 555 |
| | % | 37.8 | 22.5 | 6.5 | 33.2 | － | 100.0 |
| | % | 56.6 | 33.7 | 9.7 | － | － | 100.0 |

注：各欄の最下段は、無職・無回答の者を除いた割合を示す。

## 図表21　就業状況（有配偶の夫）－コーホートA・B・C－

| | | 常勤 | パート・嘱託等 | 自営他 | 無職 | 無回答 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 実数 | 521 | 17 | 115 | 3 | 1 | 657 |
| | % | 79.3 | 2.6 | 17.5 | 0.5 | 0.2 | 100.0 |
| パネル16－B | 実数 | 158 | 2 | 28 | 4 | － | 192 |
| | % | 82.3 | 1.0 | 14.6 | 2.1 | － | 100.0 |
| パネル16－C | 実数 | 292 | 6 | 39 | 6 | 1 | 344 |
| | % | 84.9 | 1.7 | 11.3 | 1.7 | 0.3 | 100.0 |

## 図表22　住宅の所有関係－コーホートA・B・C－

| | | 持ち家 | 民間の賃貸 | 公営・公団公社等の賃貸 | 社宅・寮 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 有配偶 | 538 | 68 | 26 | 24 | 1 | 657 |
| | % | 81.9 | 10.4 | 4.0 | 3.7 | 0.2 | 100.0 |
| | 無配偶 | 98 | 33 | 36 | － | 2 | 169 |
| | % | 58.0 | 19.5 | 21.3 | － | 1.2 | 100 |
| | 計 | 636 | 101 | 62 | 24 | 3 | 826 |
| | % | 77.0 | 12.2 | 7.5 | 2.9 | 0.4 | 100.0 |
| パネル16－B | 有配偶 | 141 | 34 | 8 | 9 | － | 192 |
| | % | 73.4 | 17.7 | 4.2 | 4.7 | － | 100.0 |
| | 無配偶 | 31 | 23 | 12 | － | 1 | 67 |
| | % | 46.3 | 34.3 | 17.9 | － | 1.5 | 100.0 |
| | 計 | 172 | 57 | 20 | 9 | 1 | 259 |
| | % | 66.4 | 22.0 | 7.7 | 3.5 | 0.4 | 100.0 |
| パネル16－C | 有配偶 | 184 | 107 | 23 | 29 | 1 | 344 |
| | % | 53.5 | 31.1 | 6.7 | 8.4 | 0.3 | 100.0 |
| | 無配偶 | 146 | 42 | 18 | 5 | 1 | 212 |
| | % | 68.9 | 19.8 | 8.5 | 2.4 | 0.5 | 100.0 |
| | 計 | 330 | 149 | 41 | 34 | 2 | 556 |
| | % | 59.4 | 26.8 | 7.4 | 6.1 | 0.4 | 100.0 |

# 図表23　学歴（本人）－コーホートA・B・C－

| | | 中学校 | 専門・専修（入学条件なし） | 高　校 | 専門・専修（入学条件・高卒以上） | 短大・高専 | 大学以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 有配偶 | 28 | 9 | 285 | 117 | 141 | 77 | 657 |
| | % | 4.3 | 1.4 | 43.4 | 17.8 | 21.5 | 11.7 | 100.0 |
| | 無配偶 | 13 | － | 79 | 28 | 27 | 22 | 169 |
| | % | 7.7 | － | 46.7 | 16.6 | 16.0 | 13.0 | 100.0 |
| | 計 | 41 | 9 | 364 | 145 | 168 | 99 | 826 |
| | % | 5.0 | 1.1 | 44.1 | 17.6 | 20.3 | 12.0 | 100.0 |
| パネル16－B | 有配偶 | 8 | 2 | 71 | 34 | 47 | 30 | 192 |
| | % | 4.2 | 1.0 | 37.0 | 17.7 | 24.5 | 15.6 | 100.0 |
| | 無配偶 | 7 | 1 | 27 | 4 | 19 | 9 | 67 |
| | % | 10.4 | 1.5 | 40.3 | 6.0 | 28.4 | 13.4 | 100.0 |
| | 計 | 15 | 3 | 98 | 38 | 66 | 39 | 259 |
| | % | 5.8 | 1.2 | 37.8 | 14.7 | 25.5 | 15.1 | 100.0 |
| パネル16－C | 有配偶 | 13 | 4 | 115 | 56 | 90 | 66 | 344 |
| | % | 3.8 | 1.2 | 33.4 | 16.3 | 26.2 | 19.2 | 100.0 |
| | 無配偶 | 8 | 2 | 57 | 33 | 50 | 62 | 212 |
| | % | 3.8 | 0.9 | 26.9 | 15.6 | 23.6 | 29.2 | 100.0 |
| | 計 | 21 | 6 | 172 | 89 | 140 | 128 | 556 |
| | % | 3.8 | 1.1 | 30.9 | 16.0 | 25.2 | 23.0 | 100.0 |

注：卒業・修了した場合を最終学歴とする。

# 図表24　学歴（夫）－コーホートA・B・C－

| | 中学校 | 専門・専修 1) | 高　校 | 専門・専修 2) | 短大・高専 | 大学以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 56 | 15 | 256 | 73 | 27 | 230 | 657 |
| % | 8.5 | 2.3 | 39.0 | 11.1 | 4.1 | 35.0 | 100.0 |
| パネル16－B | 18 | － | 87 | 24 | 13 | 50 | 192 |
| % | 9.4 | － | 45.3 | 12.5 | 6.8 | 26.0 | 100.0 |
| パネル16－C | 23 | 3 | 126 | 45 | 17 | 130 | 344 |
| % | 6.7 | 0.9 | 36.6 | 13.1 | 4.9 | 37.8 | 100.0 |
| 計 | 97 | 18 | 469 | 142 | 57 | 410 | 1,193 |
| % | 8.1 | 1.5 | 39.3 | 11.9 | 4.8 | 34.4 | 100.0 |

注：卒業・修了した場合を最終学歴とする。
1）高校を卒業していないサンプルで専門・専修学校卒業者
2）高校を卒業していたサンプルで専門・専修学校卒業者

# 図表25　最終卒業学校 25～49歳女性

| | | 中学校 | 高 校 | 短大・高専 | 大学・大学院 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 有 配 偶 | 25～29歳 | 126,996 | 998,271 | 675,568 | 234,694 | 8,320 | 2,091,108 |
| | | 6.0 | 47.5 | 32.2 | 11.2 | 0.4 | |
| | 30～34歳 | 139,261 | 1,461,964 | 922,779 | 380,011 | 9,062 | 2,980,192 |
| | | 4.7 | 48.9 | 30.9 | 12.7 | 0.3 | |
| | 35～39歳 | 196,947 | 1,690,338 | 853,860 | 411,648 | 2,217 | 3,225,511 |
| | | 6.1 | 52.4 | 26.5 | 12.8 | 0.1 | |
| | 40～44歳 | 139,261 | 1,461,964 | 922,779 | 380,011 | 9,062 | 2,980,192 |
| | | 4.7 | 48.9 | 30.9 | 12.7 | 0.3 | |
| | 45～49歳 | 490,633 | 2,136,157 | 670,356 | 332,433 | 1,706 | 3,722,289 |
| | | 13.2 | 57.4 | 18.0 | 8.9 | 0.0 | |
| | 計 | 1,093,098 | 7,748,694 | 4,045,342 | 1,738,797 | 30,367 | 14,999,292 |
| | | 7.3 | 51.6 | 26.9 | 11.6 | 0.2 | |
| 未婚 | 25～29歳 | 109,759 | 876,458 | 902,983 | 538,306 | 53,828 | 2,549,743 |
| | | 4.2 | 33.7 | 34.7 | 20.7 | 2.1 | |
| | 30～34歳 | 60,808 | 459,258 | 357,535 | 193,777 | 14,399 | 1,137,929 |
| | | 5.3 | 39.9 | 31.0 | 16.8 | 1.2 | |
| | 35～39歳 | 35,941 | 242,477 | 162,372 | 91,487 | 5,245 | 549,931 |
| | | 6.5 | 43.7 | 29.2 | 16.5 | 0.9 | |
| | 40～44歳 | 32,179 | 143,285 | 86,074 | 55,943 | 4,204 | 328,451 |
| | | 9.7 | 43.1 | 25.9 | 16.8 | 1.3 | |
| | 45～49歳 | 45,906 | 128,303 | 53,156 | 36,046 | 4,469 | 274,399 |
| | | 16.5 | 46.0 | 19.1 | 12.9 | 1.6 | |
| | 計 | 284,593 | 1,849,781 | 1,562,120 | 915,559 | 82,145 | 4,840,453 |
| | | 5.8 | 37.6 | 31.7 | 18.6 | 1.7 | |
| 死別 | 25～29歳 | 655 | 2,092 | 793 | 177 | 44 | 3,891 |
| | | 16.6 | 53.2 | 20.2 | 4.5 | 1.1 | |
| | 30～34歳 | 1,253 | 5,440 | 2,119 | 640 | 110 | 9,851 |
| | | 12.6 | 54.6 | 21.3 | 6.4 | 1.1 | |
| | 35～39歳 | 1,977 | 12,535 | 5,059 | 1,610 | 95 | 21,858 |
| | | 9.0 | 57.1 | 23.0 | 7.3 | 0.4 | |
| | 40～44歳 | 4,916 | 24,840 | 9,825 | 3,872 | 72 | 44,635 |
| | | 11.0 | 55.6 | 22.0 | 8.7 | 0.2 | |
| | 45～49歳 | 19,618 | 58,086 | 15,797 | 5,950 | 113 | 102,279 |
| | | 19.2 | 56.7 | 15.4 | 5.8 | 0.1 | |
| | 計 | 28,419 | 102,993 | 33,593 | 12,249 | 434 | 182,514 |
| | | 15.5 | 56.3 | 18.4 | 6.7 | 0.2 | |
| 離別 | 25～29歳 | 22,767 | 65,789 | 17,508 | 3,496 | 1,058 | 113,469 |
| | | 19.9 | 57.4 | 15.3 | 3.1 | 0.9 | |
| | 30～34歳 | 25,923 | 105,524 | 34,140 | 9,973 | 1,481 | 181,784 |
| | | 14.1 | 57.6 | 18.6 | 5.4 | 0.8 | |
| | 35～39歳 | 23,624 | 132,288 | 44,936 | 15,613 | 985 | 223,643 |
| | | 10.5 | 58.9 | 20.0 | 7.0 | 0.4 | |
| | 40～44歳 | 28,427 | 138,617 | 47,754 | 19,878 | 478 | 242,524 |
| | | 11.7 | 57.0 | 19.7 | 8.2 | 0.2 | |
| | 45～49歳 | 60,508 | 176,429 | 43,958 | 18,428 | 362 | 310,657 |
| | | 19.5 | 56.7 | 14.1 | 5.9 | 0.1 | |
| | 計 | 161,249 | 618,647 | 188,296 | 67,388 | 4,364 | 1,072,077 |
| | | 15.0 | 57.5 | 17.5 | 6.3 | 0.4 | |
| (再)無配偶計 | 25～29歳 | 133,181 | 944,339 | 921,284 | 541,979 | 54,930 | 2,667,103 |
| | | 4.9 | 34.7 | 33.8 | 19.9 | 2.0 | |
| | 30～34歳 | 87,984 | 570,222 | 393,794 | 204,390 | 15,990 | 1,329,564 |
| | | 6.5 | 42.4 | 29.3 | 15.2 | 1.2 | |
| | 35～39歳 | 61,542 | 387,300 | 212,367 | 108,710 | 6,325 | 795,432 |
| | | 7.7 | 48.3 | 26.5 | 13.6 | 0.8 | |
| | 40～44歳 | 65,522 | 306,742 | 143,653 | 79,693 | 4,754 | 615,610 |
| | | 10.6 | 49.4 | 23.2 | 12.8 | 0.8 | |
| | 45～49歳 | 126,032 | 362,818 | 112,911 | 60,424 | 4,944 | 687,335 |
| | | 18.2 | 52.4 | 16.3 | 8.7 | 0.7 | |
| | 計 | 474,261 | 2,571,421 | 1,784,009 | 995,196 | 86,943 | 6,095,044 |
| | | 7.7 | 41.6 | 28.9 | 16.1 | 1.4 | |

資料:総務省『平成12年 国勢調査』
注:計は最終卒業学校不詳を含む。

# 図表26　最終卒業学校 25～54歳男性

| | 中学校 | 高 校 | 短大・高専 | 大学・大学院 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 1,945,349 | 8,225,974 | 1,334,479 | 5,574,643 | 27,805 | 17,503,513 |
| % | 11.1 | 46.9 | 7.6 | 31.8 | 0.2 | |

資料:総務省『平成12年 国勢調査』
注:計は最終卒業学校不詳を含む。

# 図表27　　年収－コーホートA・B・C－

＜対象者本人＞

| | | なし | ～50万円未満 | ～100万円未満 | ～150万円未満 | ～200万円未満 | ～250万円未満 | ～300万円未満 | ～400万円未満 | 400万円以上 | 無回答 | 計 | 平均(万円)(0を含む) | 平均(万円)(0を除く) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 有配偶 | 175 | 26 | 132 | 92 | 44 | 38 | 27 | 32 | 54 | 37 | 657 | 149.1 | 207.7 |
| | % | 26.6 | 4.0 | 20.1 | 14.0 | 6.7 | 5.8 | 4.1 | 4.9 | 8.2 | 5.6 | 100.0 | | |
| | 無配偶 | 12 | 3 | 9 | 6 | 18 | 24 | 17 | 26 | 45 | 9 | 169 | 303.2 | 327.8 |
| | % | 7.1 | 1.8 | 5.3 | 3.6 | 10.7 | 14.2 | 10.1 | 15.4 | 26.6 | 5.3 | 100.0 | | |
| パネル16－B | 有配偶 | 79 | 20 | 21 | 20 | 9 | 7 | 6 | 7 | 16 | 7 | 192 | 105.7 | 184.5 |
| | % | 41.1 | 10.4 | 10.9 | 10.4 | 4.7 | 3.6 | 3.1 | 3.6 | 8.3 | 3.6 | 100.0 | | |
| | 無配偶 | 2 | 4 | 3 | 7 | 5 | 11 | 6 | 18 | 7 | 4 | 67 | 242.3 | 250.3 |
| | % | 3.0 | 6 | 4.5 | 10.4 | 7.5 | 16.4 | 9.0 | 26.9 | 10.4 | 6.0 | 100.0 | | |
| パネル16－C | 有配偶 | 137 | 32 | 39 | 28 | 13 | 19 | 13 | 30 | 17 | 16 | 344 | 109.5 | 188.0 |
| | % | 39.8 | 9.3 | 11.3 | 8.1 | 3.8 | 5.5 | 3.8 | 8.7 | 4.9 | 4.7 | 100.0 | | |
| | 無配偶 | 6 | 5 | 7 | 18 | 29 | 44 | 25 | 45 | 29 | 4 | 212 | 262.3 | 270.1 |
| | % | 2.8 | 2.4 | 3.3 | 8.5 | 13.7 | 20.8 | 11.8 | 21.2 | 13.7 | 1.9 | 100.0 | | |

＜有配偶の夫＞

| | なし | ～300万円未満 | ～400万円未満 | ～500万円未満 | ～600万円未満 | ～800万円未満 | 800万円以上 | 無回答 | 計 | 平均(万円)(0を含む) | 平均(万円)(0を除く) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16-A | 3 | 62 | 74 | 100 | 82 | 148 | 145 | 43 | 657 | 617.4 | 620.4 |
| % | 0.5 | 9.4 | 11.3 | 15.2 | 12.5 | 22.5 | 22.1 | 6.5 | 100.0 | | |
| パネル16-B | 2 | 16 | 29 | 38 | 39 | 33 | 24 | 11 | 192 | 545.4 | 551.5 |
| % | 1.0 | 8.3 | 15.1 | 19.8 | 20.3 | 17.2 | 12.5 | 5.7 | 100.0 | | |
| パネル16-C | 3 | 38 | 75 | 78 | 56 | 51 | 21 | 22 | 344 | 484.9 | 489.4 |
| % | 0.9 | 11.0 | 21.8 | 22.7 | 16.3 | 14.8 | 6.1 | 6.4 | 100.0 | | |

# 図表27　　年収－コーホートA・B・C－〈続き〉

＜夫婦の合計年収－夫の就業状態別－＞

| | | ～300万円未満 | ～400万円未満 | ～500万円未満 | ～600万円未満 | ～700万円未満 | ～800万円未満 | ～1000万円未満 | 1000万円以上 | 無回答 | 計 | 平均(万円)(0を含む) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 常勤 | 9 | 27 | 62 | 65 | 61 | 55 | 98 | 105 | 39 | 521 | 792.9 |
| | % | 1.7 | 5.2 | 11.9 | 12.5 | 11.7 | 10.6 | 18.8 | 20.2 | 7.5 | 100.0 | |
| | パート・嘱託等 | 4 | 3 | 3 | 1 | 1 | － | 2 | 1 | 2 | 17 | 513.5 |
| | % | 23.5 | 17.6 | 17.6 | 5.9 | 6 | － | 11.8 | 6 | 11.8 | 100.0 | |
| | 自営他 | 6 | 10 | 13 | 16 | 13 | 9 | 21 | 13 | 14 | 115 | 693.0 |
| | % | 5.2 | 8.7 | 11.3 | 13.9 | 11.3 | 7.8 | 18.3 | 11.3 | 12.2 | 100.0 | |
| | 無職 | 2 | － | － | － | － | － | － | － | 1 | 3 | 162.0 |
| | % | 66.7 | － | － | － | － | － | － | － | 33.3 | 100.0 | |
| | 計 | 21 | 40 | 78 | 82 | 75 | 64 | 121 | 119 | 56 | 656 | 767.0 |
| | % | 3.2 | 6.1 | 11.9 | 12.5 | 11.4 | 9.8 | 18.4 | 18.1 | 8.5 | 100.0 | |
| パネル16－B | 常勤 | 5 | 15 | 22 | 34 | 19 | 18 | 22 | 13 | 10 | 158 | 645.8 |
| | % | 3.2 | 9.5 | 13.9 | 21.5 | 12.0 | 11.4 | 13.9 | 8.2 | 6.3 | 100.0 | |
| | パート・嘱託等 | 1 | － | － | － | 1 | － | － | － | － | 2 | 357.5 |
| | % | 50.0 | － | － | － | 50.0 | － | － | － | － | 100.0 | |
| | 自営他 | 3 | 2 | 5 | 4 | 2 | 1 | 2 | 6 | 3 | 28 | 755.9 |
| | % | 10.7 | 7.1 | 17.9 | 14.3 | 7.1 | 3.6 | 7.1 | 21.4 | 10.7 | 100.0 | |
| | 無職 | 1 | － | 2 | － | 1 | － | － | － | － | 4 | 406.0 |
| | % | 25.0 | － | 50.0 | － | 25.0 | － | － | － | － | 100.0 | |
| | 計 | 10 | 17 | 29 | 38 | 23 | 19 | 24 | 19 | 13 | 192 | 652.6 |
| | % | 5.2 | 8.9 | 15.1 | 19.8 | 12.0 | 9.9 | 12.5 | 9.9 | 6.8 | 100.0 | |
| パネル16－C | 常勤 | 12 | 31 | 52 | 56 | 37 | 33 | 30 | 14 | 27 | 292 | 596.0 |
| | % | 4.1 | 10.6 | 17.8 | 19.2 | 12.7 | 11.3 | 10.3 | 4.8 | 9.2 | 100.0 | |
| | パート・嘱託等 | － | － | 1 | 1 | 1 | － | 1 | － | 2 | 6 | 616.0 |
| | % | － | － | 16.7 | 16.7 | 16.7 | － | 16.7 | － | 33.3 | 100.0 | |
| | 自営他 | 7 | 7 | 4 | 4 | 6 | 1 | 2 | 3 | 5 | 39 | 652.8 |
| | % | 17.9 | 17.9 | 10.3 | 10.3 | 15.4 | 2.6 | 5.1 | 7.7 | 12.8 | 100.0 | |
| | 無職 | 1 | 2 | 2 | － | 1 | － | － | － | － | 6 | 416.0 |
| | % | 16.7 | 33.3 | 33.3 | － | 16.7 | － | － | － | － | 100.0 | |
| | 計 | 20 | 40 | 59 | 61 | 45 | 34 | 33 | 17 | 34 | 343 | 599.0 |
| | % | 5.8 | 11.7 | 17.2 | 17.8 | 13.1 | 9.9 | 9.6 | 5.0 | 9.9 | 100.0 | |

注：パネル16-A、16-Cのうち、就業状態変化が「無回答」であるサンプル（2人）については非掲載。

# 図表28　配偶変化－コーホートA･B･C－

| | | パネル16-A | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 有配偶 | 未　婚 | 離死別 | 計 |
| パネル15-A | 有配偶 | 652 | | 6 | 658 |
| | 未　婚 | 2 | 79 | | 81 |
| | 離死別 | 3 | | 84 | 87 |
| 計 | | 657 | 79 | 90 | 826 |

| | | パネル16-B | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 有配偶 | 未　婚 | 離死別 | 計 |
| パネル15-B | 有配偶 | 190 | | 4 | 194 |
| | 未　婚 | 2 | 44 | | 46 |
| | 離死別 | | | 19 | 19 |
| 計 | | 192 | 44 | 23 | 259 |

| | | パネル16-C | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 有配偶 | 未　婚 | 離死別 | 計 |
| パネル15-C | 有配偶 | 320 | | 7 | 327 |
| | 未　婚 | 24 | 172 | | 196 |
| | 離死別 | | | 33 | 33 |
| 計 | | 344 | 172 | 40 | 556 |

注：空欄は該当データなし。

# 図表29　年齢別配偶変化－コーホートA・B・C－

| パネル16-C、16-B、16-A時点の年齢 | | この1年間に結婚（A） | パネル15無配偶（B） | （A）／（B）％ |
|---|---|---|---|---|
| パネル16-C | 29～31歳 | 16 | 130 | 12.3 |
| | 32～34歳 | 8 | 99 | 8.1 |
| パネル16-B | 35～38歳 | 2 | 65 | 3.1 |
| パネル16-A | 39～41歳 | 3 | 52 | 5.8 |
| | 42～44歳 | 2 | 51 | 4 |
| | 45～47歳 | － | 41 | － |
| | 48～49歳 | － | 24 | － |
| 計 | | 31 | 462 | 6.7 |

図表30　この1年間の出産の有無（有配偶）－コーホートA・B・C－

| | | 1人目を出産 | 2人目を出産 | 3人目以上を出産 | 出産しない | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16-C | 29～31歳 | 10 | 14 | 4 | 117 | 145 |
| | % | 6.9 | 9.7 | 2.8 | 80.7 | 100.0 |
| | 32～34歳 | 11 | 13 | 7 | 168 | 199 |
| | % | 5.5 | 6.5 | 3.5 | 84.4 | 100.0 |
| パネル16-B | 35～38歳 | 2 | 10 | － | 180 | 192 |
| | % | 1.0 | 5.2 | － | 93.8 | 100.0 |
| パネル16-A | 39～41歳 | － | 3 | 2 | 193 | 198 |
| | % | － | 1.5 | 1.0 | 97.5 | 100.0 |
| | 42～44歳 | － | － | － | 160 | 160 |
| | % | － | － | － | 100.0 | 100.0 |
| | 45～47歳 | － | － | － | 173 | 173 |
| | % | － | － | － | 100.0 | 100.0 |
| | 48～49歳 | － | － | － | 126 | 126 |
| | % | － | － | － | 100.0 | 100.0 |
| 計 | | 23 | 40 | 13 | 1,117 | 1,193 |
| | % | 1.9 | 3.4 | 1.1 | 93.6 | 100.0 |

# 図表31　住居移動－コーホートA・B・C－

| | | 住居移動あり | 住居移動なし | 計 |
|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 有配偶 | 26 | 631 | 657 |
| | % | 4.0 | 96.0 | 100.0 |
| | (この1年間に結婚) | 2 | 3 | 5 |
| | % | 40.0 | 60.0 | 100.0 |
| | 無配偶 | 8 | 161 | 169 |
| | % | 4.7 | 95.3 | 100.0 |
| | 計 | 34 | 792 | 826 |
| | % | 4.1 | 95.9 | 100.0 |
| パネル16－B | 有配偶 | 24 | 168 | 192 |
| | % | 12.5 | 87.5 | 100.0 |
| | (この1年間に結婚) | 2 | － | 2 |
| | % | 100.0 | － | 100.0 |
| | 無配偶 | 7 | 60 | 67 |
| | % | 10.4 | 89.6 | 100.0 |
| | 計 | 31 | 228 | 259 |
| | % | 12.0 | 88.0 | 100.0 |
| パネル16－C | 有配偶 | 42 | 302 | 344 |
| | % | 12.2 | 87.8 | 100.0 |
| | (この1年間に結婚) | 19 | 5 | 24 |
| | % | 79.2 | 20.8 | 100.0 |
| | 無配偶 | 19 | 193 | 212 |
| | % | 9.0 | 91.0 | 100.0 |
| | 計 | 61 | 495 | 556 |
| | % | 11.0 | 89.0 | 100.0 |

注:パネル15からパネル16への変化を示している。
「有配偶」は「この1年間に結婚」を含んでいる。

# 図表32　居住地域－コーホートA・B・C－

| | | パネル16－A | | | | | | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 海外 | |
| パネル15－A | 北海道 | 32(13) | | | | | | | | | 32( 13) |
| | 東北 | | 43( 9) | | | | | | | | 43( 9) |
| | 関東 | | | 199(56) | | | | | | | 199( 56) |
| | 中部 | | | | 136(27) | 1 | | | | | 137( 27) |
| | 近畿 | | | | | 108(32) | | | | | 108( 32) |
| | 中国 | | | | | | 44(6) | | 1 | | 45( 6) |
| | 四国 | | | | | | | 30(4) | | | 30( 4) |
| | 九州 | | | | | | 1 | | 58(21) | | 59( 21) |
| | 海外 | | | | | | | | | 2( 1) | 2( 1) |
| 合計 | | 32(13) | 43( 9) | 199(56) | 136(27) | 109(32) | 45(6) | 30(4) | 59(21) | 2( 1) | 655(169) |

| | | パネル16－B | | | | | | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 海外 | |
| パネル15－B | 北海道 | 5(3) | | | | | | | | | 5( 3) |
| | 東北 | | 13(4) | | | | | | | | 13 ( 4) |
| | 関東 | | | 59(18) | | 1 | | | | | 60( 18) |
| | 中部 | | | | 43(14) | | | 1 | | | 44( 14) |
| | 近畿 | | | | | 37(12) | | 1 | | | 38( 12) |
| | 中国 | | | | | | 5(4) | | | | 5( 4) |
| | 四国 | | | | | | | 6(1) | | | 6( 1) |
| | 九州 | | | | | 1 | | | 20(11) | | 21( 11) |
| | 海外 | | | | | | | | | | 0( 0) |
| 合計 | | 5(3) | 13(4) | 59(18) | 43(14) | 39(12) | 5(4) | 8(1) | 20(11) | 0(0) | 192 ( 67) |

| | | パネル16－C | | | | | | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 海外 | |
| パネル15－C | 北海道 | 9(14) | | | | | | | | | 9 ( 14) |
| | 東北 | | 24( 5) | 1 | | | | | | | 25( 5) |
| | 関東 | | | 105 ( 66) | | (1) | | | 1 | | 106 ( 67) |
| | 中部 | | | | 68(38) | | | | | | 68 ( 38) |
| | 近畿 | | (1) | 1 | | 71(40) | | | | | 72 ( 41) |
| | 中国 | | | | | | 24( 9) | | | | 24( 9) |
| | 四国 | | | | | | | 7( 9) | | | 7( 9) |
| | 九州 | | | (1) | | | | | 33(27) | | 33 ( 28) |
| | 海外 | | | | | | | | | (1) | 0( 1) |
| 合計 | | 9(14) | 24(6) | 107(67) | 68(38) | 71(41) | 24( 9) | 7(9) | 34(27) | (1) | 344(212) |

注：数値はパネル16時点で有配偶の人数、(　)内はパネル16時点で無配偶の人数を示す。
　空欄は該当データなし。
　パネル16-Aのうち、復活サンプルでパネル15に回答していないケース(2人)については除いて集計している。

## 図表33　住宅変化－コーホートA・B・C－

| | | 新規購入<br>(借家→持家) | 持家継続<br>(持家→持家) | 持家継続<br>(買　替) | 借家継続 | 新規借家<br>(持家→借家) | 無回答 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－A | 有配偶 | 8 | 523 | 6 | 116 | 2 | 2 | 657 |
| | % | 1.2 | 79.6 | 0.9 | 17.7 | 0.3 | 0.3 | 100.0 |
| | 無配偶 | 1 | 97 | － | 64 | 5 | 2 | 169 |
| | % | 0.6 | 57.4 | － | 37.9 | 3.0 | 1.2 | 100.0 |
| | 計 | 9 | 620 | 6 | 180 | 7 | 4 | 826 |
| | % | 1.1 | 75.1 | 0.7 | 21.8 | 0.8 | 0.5 | 100.0 |
| パネル16－B | 有配偶 | 10 | 129 | 2 | 48 | 2 | 1 | 192 |
| | % | 5.2 | 67.2 | 1.0 | 25.0 | 1.0 | 0.5 | 100.0 |
| | 無配偶 | － | 31 | － | 32 | 3 | 1 | 67 |
| | % | － | 46.3 | － | 47.8 | 4.5 | 1.5 | 100.0 |
| | 計 | 10 | 160 | 2 | 80 | 5 | 2 | 259 |
| | % | 3.9 | 61.8 | 0.8 | 30.9 | 1.9 | 0.8 | 100.0 |
| パネル16－C | 有配偶 | 6 | 173 | 4 | 141 | 18 | 2 | 344 |
| | % | 1.7 | 50.3 | 1.2 | 41.0 | 5.2 | 0.6 | 100.0 |
| | 無配偶 | 3 | 139 | 4 | 59 | 6 | 1 | 212 |
| | % | 1.4 | 65.6 | 1.9 | 27.8 | 2.8 | 0.5 | 100.0 |
| | 計 | 9 | 312 | 8 | 200 | 24 | 3 | 556 |
| | % | 1.6 | 56.1 | 1.4 | 36.0 | 4.3 | 0.5 | 100.0 |

注：パネル15からパネル16への変化を示している。

## 図表34　就業変化－コーホートA・B・C－

| | | 継続就業 | | 転　職 | 新規就業 | | 離　職 | | 無業継続 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 同一企業 | 自営家従 | | 無職→雇用 | 無業→自家従 | 雇用→無業 | 自家従→無業 | | |
| パネル16－A | 有配偶 | 333 | 57 | 33 | 18 | 6 | 23 | 8 | 178 | 656 |
| | % | 50.8 | 8.7 | 5.0 | 2.7 | 0.9 | 3.5 | 1.2 | 27.1 | 100.0 |
| | (この1年間に結婚) | 3 | － | 1 | － | － | 1 | － | － | 5 |
| | % | 60.0 | － | 20.0 | － | － | 20.0 | － | － | 100.0 |
| | 無配偶 | 123 | 9 | 10 | 7 | － | － | － | 20 | 169 |
| | % | 72.8 | 5.3 | 5.9 | 4.1 | － | － | － | 11.8 | 100.0 |
| | 計 | 456 | 66 | 43 | 25 | 6 | 23 | 8 | 198 | 825 |
| | % | 55.3 | 8.0 | 5.2 | 3.0 | 0.7 | 2.8 | 1.0 | 24.0 | 100.0 |
| パネル16－B | 有配偶 | 69 | 12 | 10 | 12 | 1 | 6 | 4 | 78 | 192 |
| | % | 35.9 | 6.3 | 5.2 | 6.3 | 0.5 | 3.1 | 2.1 | 40.6 | 100.0 |
| | (この1年間に結婚) | 2 | － | － | － | － | － | － | － | 2 |
| | % | 100.0 | － | － | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 無配偶 | 49 | 2 | 5 | 3 | － | 2 | － | 6 | 67 |
| | % | 73.1 | － | 7.5 | 4.5 | － | 3.0 | － | 9.0 | 97.0 |
| | 計 | 118 | 14 | 15 | 15 | 1 | 8 | 4 | 84 | 259 |
| | % | 45.6 | 5.4 | 5.8 | 5.8 | 0.4 | 3.1 | 1.5 | 32.4 | 100.0 |
| パネル16－C | 有配偶 | 129 | 19 | 13 | 12 | 4 | 26 | 1 | 140 | 344 |
| | % | 37.5 | 5.5 | 3.8 | 3.5 | 1.2 | 7.6 | 0.3 | 40.7 | 100.0 |
| | (この1年間に結婚) | 16 | 1 | 4 | － | － | 2 | － | 1 | 24 |
| | % | 66.7 | 4.2 | 16.7 | － | － | 8.3 | － | 4.2 | 97.0 |
| | 無配偶 | 148 | 7 | 31 | 9 | － | 6 | － | 11 | 212 |
| | % | 69.8 | 3.3 | 14.6 | 4.2 | － | 2.8 | － | 5.2 | 100.0 |
| | 計 | 277 | 26 | 44 | 21 | 4 | 32 | 1 | 151 | 556 |
| | % | 49.8 | 4.7 | 7.9 | 3.8 | 0.7 | 5.8 | 0.2 | 27.2 | 100.0 |

注：パネル15からパネル16への変化を示している。
「有配偶」は「この1年間に結婚」を含んでいる。
「自営家従」・「自家従」は自営・家族従業者の意味。
就業状態変化が「無回答」であるサンプル（パネル16-Aの1人）については除いて集計している。

## 図表35－1　基本属性別配偶・就業状態変化（パネル15-A→パネル16-A）

〈パネル16-A〉

| | | 合計 | 年齢層 | | | | 学歴 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 39～41 | 42～44 | 45～47 | 48～49 | 中学校 | 専門・専修（入学条件なし） | 高校 | 専門・専修（入学条件・高卒以上） | 短大・高専 | 大学以上 |
| この一年に結婚 | 同一企業 | 3 | 1 | 2 | － | － | 1 | － | 1 | － | － | 1 |
| | 自営家従 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 転職 | 1 | 1 | － | － | － | 1 | － | － | － | － | － |
| | 無業→雇用 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無業→自営 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 雇用→無業 | 1 | 1 | － | － | － | － | － | － | － | － | 1 |
| | 自営→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無職継続 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 小計 | 5 | 3 | 2 | － | － | 2 | － | 1 | － | － | 2 |
| 未婚継続 | 同一企業 | 62 | 21 | 27 | 11 | 3 | 1 | － | 22 | 12 | 15 | 12 |
| | 自営家従 | 3 | － | 1 | 1 | 1 | － | － | 1 | 1 | － | 1 |
| | 転職 | 1 | － | 1 | － | － | － | － | － | － | － | 1 |
| | 無業→雇用 | 5 | 2 | － | 3 | － | － | － | 2 | 1 | 2 | － |
| | 無業→自営 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 雇用→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 自営→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無職継続 | 8 | 2 | 4 | 2 | － | 1 | － | 5 | 1 | 1 | － |
| | 小計 | 79 | 25 | 33 | 17 | 4 | 2 | － | 30 | 15 | 18 | 14 |
| 有配偶継続 | 同一企業 | 330 | 79 | 81 | 104 | 66 | 6 | 2 | 158 | 62 | 66 | 36 |
| | 自営家従 | 57 | 10 | 17 | 16 | 14 | 4 | 1 | 23 | 13 | 8 | 8 |
| | 転職 | 32 | 11 | 9 | 7 | 5 | 1 | 3 | 14 | 4 | 8 | 2 |
| | 無業→雇用 | 18 | 9 | 5 | 1 | 3 | 1 | － | 5 | 4 | 5 | 3 |
| | 無業→自営 | 6 | 4 | 2 | － | － | － | － | 2 | 1 | 2 | 1 |
| | 雇用→無業 | 22 | 8 | 7 | 5 | 2 | － | 1 | 10 | 4 | 6 | 1 |
| | 自営→無業 | 8 | 4 | － | 2 | 2 | － | － | 5 | 1 | － | 2 |
| | 無職継続 | 178 | 70 | 37 | 38 | 33 | 14 | 2 | 67 | 27 | 46 | 22 |
| | 小計 | 651 | 195 | 158 | 173 | 125 | 26 | 9 | 284 | 116 | 141 | 75 |
| 離死別継続 | 同一企業 | 59 | 18 | 11 | 13 | 17 | 6 | － | 34 | 7 | 7 | 5 |
| | 自営家従 | 5 | 1 | － | 4 | － | － | － | 2 | 1 | － | 2 |
| | 転職 | 9 | 4 | 2 | 3 | － | 2 | － | 5 | 2 | － | － |
| | 無業→雇用 | 1 | 1 | － | － | － | － | － | 1 | － | － | － |
| | 無業→自営 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 雇用→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 自営→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無職継続 | 10 | － | 3 | 4 | 3 | 3 | － | 5 | 2 | － | － |
| | 小計 | 84 | 24 | 16 | 24 | 20 | 11 | － | 47 | 12 | 7 | 7 |

## 図表35－1　基本属性別配偶・就業状態変化（パネル15-A→パネル16-A）〈続き〉

| | | 合計 | 年齢層 | | | | 学歴 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 39～41 | 42～44 | 45～47 | 48～49 | 中学校 | 専門・専修（入学条件なし） | 高校 | 専門・専修（入学条件・高卒以上） | 短大・高専 | 大学以上 |
| この一年に離死別 | 同一企業 | 2 | 1 | － | 1 | － | － | － | － | 1 | 1 | － |
| | 自営家従 | 1 | － | － | 1 | － | － | － | 1 | － | － | － |
| | 転職 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無業→雇用 | 1 | － | 1 | － | － | － | － | － | － | － | 1 |
| | 無業→自営 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 雇用→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 自営→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無職継続 | 2 | 1 | 1 | － | － | － | － | 1 | － | 1 | － |
| | 小計 | 6 | 2 | 2 | 2 | － | － | － | 2 | 1 | 2 | 1 |
| 合計 | 同一企業 | 456 | 120 | 121 | 129 | 86 | 14 | 2 | 215 | 82 | 89 | 54 |
| | 自営家従 | 66 | 11 | 18 | 22 | 15 | 4 | 1 | 27 | 15 | 8 | 11 |
| | 転職 | 43 | 16 | 12 | 10 | 5 | 4 | 3 | 19 | 6 | 8 | 3 |
| | 無業→雇用 | 25 | 12 | 6 | 4 | 3 | 1 | － | 8 | 5 | 7 | 4 |
| | 無業→自営 | 6 | 4 | 2 | － | － | － | － | 2 | 1 | 2 | 1 |
| | 雇用→無業 | 23 | 9 | 7 | 5 | 2 | － | 1 | 10 | 4 | 6 | 2 |
| | 自営→無業 | 8 | 4 | － | 2 | 2 | － | － | 5 | 1 | － | 2 |
| | 無職継続 | 198 | 73 | 45 | 44 | 36 | 18 | 2 | 78 | 30 | 48 | 22 |
| | 総計 | 825 | 249 | 211 | 216 | 149 | 41 | 9 | 364 | 144 | 168 | 99 |
| 合計(%) | 同一企業 | 55.3 | 48.2 | 57.3 | 59.7 | 57.7 | 34.1 | 22.2 | 59.1 | 56.9 | 53.0 | 54.5 |
| | 自営家従 | 8.0 | 4.4 | 8.5 | 10.2 | 10.1 | 9.8 | 11.1 | 7.4 | 10.4 | 4.8 | 11.1 |
| | 転職 | 5.2 | 6.4 | 5.7 | 4.6 | 3.4 | 9.8 | 33.3 | 5.2 | 4.2 | 4.8 | 3.0 |
| | 無業→雇用 | 3.0 | 4.8 | 2.8 | 1.9 | 2.0 | 2.4 | － | 2.2 | 3.5 | 4.2 | 4.0 |
| | 無業→自営 | 0.7 | 1.6 | 0.9 | － | － | － | － | 0.5 | 0.7 | 1.2 | 1.0 |
| | 雇用→無業 | 2.8 | 3.6 | 3.3 | 2.3 | 1.3 | － | 11.1 | 2.7 | 2.8 | 3.6 | 2.0 |
| | 自営→無業 | 1.0 | 1.6 | － | 1 | 1.3 | － | － | 1.4 | 0.7 | － | 2.0 |
| | 無職継続 | 24.0 | 29.3 | 21.3 | 20.4 | 24.2 | 43.9 | 22.2 | 21.4 | 20.8 | 28.6 | 22.2 |
| | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

注：有配偶継続のうち、就業状態変化が「無回答」であるサンプル（1人）については除いて集計している。

図表35－2　基本属性別配偶・就業状態変化（パネル15-B→パネル16-B）

〈パネル16-B〉

| | | 合 計 | 年齢層 | 学 歴 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 35～38 | 中学校 | 専門・専修（入学条件なし） | 高 校 | 専門・専修（入学条件・高卒以上） | 短大・高専 | 大学以上 |
| この一年に結婚 | 同一企業 | 2 | 2 | － | － | － | － | 1 | 1 |
| | 自営家従 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 転 職 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無業→雇用 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無業→自営 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 雇用→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 自営→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無職継続 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 小 計 | 2 | 2 | － | － | － | － | 1 | 1 |
| 未婚継続 | 同一企業 | 34 | 34 | － | － | 12 | 4 | 12 | 6 |
| | 自営家従 | 1 | 1 | － | － | － | － | － | 1 |
| | 転 職 | 3 | 3 | － | － | 1 | － | 2 | － |
| | 無業→雇用 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無業→自営 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 雇用→無業 | 1 | 1 | － | － | 1 | － | － | － |
| | 自営→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無職継続 | 5 | 5 | 1 | － | 3 | － | － | 1 |
| | 小 計 | 44 | 44 | 1 | － | 17 | 4 | 14 | 8 |
| 有配偶継続 | 同一企業 | 67 | 67 | 2 | － | 29 | 12 | 18 | 6 |
| | 自営家従 | 12 | 12 | 1 | － | 3 | 3 | 3 | 2 |
| | 転 職 | 10 | 10 | － | 1 | 3 | 4 | 1 | 1 |
| | 無業→雇用 | 12 | 12 | 2 | － | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 無業→自営 | 1 | 1 | － | － | 1 | － | － | － |
| | 雇用→無業 | 6 | 6 | 1 | － | 3 | － | 1 | 1 |
| | 自営→無業 | 4 | 4 | － | － | 2 | － | － | 2 |
| | 無職継続 | 78 | 78 | 2 | 1 | 26 | 12 | 21 | 16 |
| | 小 計 | 190 | 190 | 8 | 2 | 71 | 34 | 46 | 29 |
| 離死別継続 | 同一企業 | 11 | 11 | 3 | 1 | 4 | － | 3 | － |
| | 自営家従 | 1 | 1 | 1 | － | － | － | － | － |
| | 転 職 | 2 | 2 | 1 | － | 1 | － | － | － |
| | 無業→雇用 | 3 | 3 | － | － | 1 | － | 2 | － |
| | 無業→自営 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 雇用→無業 | 1 | 1 | 1 | － | － | － | － | － |
| | 自営→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無職継続 | 1 | 1 | － | － | 1 | － | － | － |
| | 小 計 | 19 | 19 | 6 | 1 | 7 | － | 5 | － |

図表35－2　基本属性別配偶・就業状態変化（パネル15-B→パネル16-B）〈続き〉

| | | 合 計 | 年齢層 | 学 歴 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 35～38 | 中学校 | 専門・専修（入学条件なし） | 高 校 | 専門・専修（入学条件・高卒以上） | 短大・高専 | 大学以上 |
| この一年に離死別 | 同一企業 | 4 | 4 | － | － | 3 | － | － | 1 |
| | 自営家従 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 転 職 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無業→雇用 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無業→自営 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 雇用→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 自営→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無職継続 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 小 計 | 4 | 4 | － | － | 3 | － | － | 1 |
| 合計 | 同一企業 | 118 | 118 | 5 | 1 | 48 | 16 | 34 | 14 |
| | 自営家従 | 14 | 14 | 2 | － | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | 転 職 | 15 | 15 | 1 | 1 | 5 | 4 | 3 | 1 |
| | 無業→雇用 | 15 | 15 | 2 | － | 5 | 3 | 4 | 1 |
| | 無業→自営 | 1 | 1 | － | － | 1 | － | － | － |
| | 雇用→無業 | 8 | 2 | 2 | － | 4 | － | 1 | 1 |
| | 自営→無業 | 4 | 4 | － | － | 2 | － | － | 2 |
| | 無職継続 | 84 | 84 | 3 | 1 | 30 | 12 | 21 | 17 |
| | 総 計 | 259 | 253 | 15 | 3 | 98 | 38 | 66 | 39 |
| 合計（%） | 同一企業 | 45.6 | 46.6 | 33.3 | 33.3 | 49.0 | 42.1 | 51.5 | 35.9 |
| | 自営家従 | 5.4 | 5.5 | 13.3 | － | 3.1 | 7.9 | 4.5 | 7.7 |
| | 転 職 | 5.8 | 5.9 | 6.7 | 33.3 | 5.1 | 10.5 | 4.5 | 2.6 |
| | 無業→雇用 | 5.8 | 5.9 | 13.3 | － | 5.1 | 7.9 | 6.1 | 2.6 |
| | 無業→自営 | 0.4 | 0.4 | － | － | 1.0 | － | － | － |
| | 雇用→無業 | 3.1 | 0.8 | 13.3 | － | 4.1 | － | 1.5 | 2.6 |
| | 自営→無業 | 1.5 | 1.6 | － | － | 2.0 | － | － | 5 |
| | 無職継続 | 32.4 | 33.2 | 20.0 | 33.3 | 30.6 | 31.6 | 31.8 | 43.6 |
| | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

## 図表35－3　基本属性別配偶・就業状態変化（パネル15-C→パネル16-C）

〈パネル16-C〉

| | | 合 計 | 年齢層 | | 学 歴 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 29～31 | 32～34 | 中学校 | 専門・専修（入学条件なし） | 高 校 | 専門・専修（入学条件・高卒以上） | 短大・高専 | 大学以上 |
| この一年に結婚 | 同一企業 | 16 | 11 | 5 | 1 | － | 3 | 4 | 2 | 6 |
| | 自営家従 | 1 | 1 | － | － | － | － | － | － | 1 |
| | 転 職 | 4 | 2 | 2 | － | － | － | 2 | 1 | 1 |
| | 無業→雇用 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無業→自営 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 雇用→無業 | 2 | 1 | 1 | － | － | － | － | 1 | 1 |
| | 自営→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無職継続 | 1 | 1 | － | － | － | 1 | － | － | － |
| | 小 計 | 24 | 16 | 8 | 1 | － | 4 | 6 | 4 | 9 |
| 未婚継続 | 同一企業 | 125 | 73 | 52 | 2 | － | 20 | 25 | 35 | 43 |
| | 自営家従 | 7 | 2 | 5 | － | － | 3 | 1 | 1 | 2 |
| | 転 職 | 23 | 17 | 6 | 1 | 1 | 5 | 3 | 3 | 10 |
| | 無業→雇用 | 8 | 3 | 5 | － | － | 2 | － | 4 | 2 |
| | 無業→自営 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 雇用→無業 | 3 | 1 | 2 | － | － | － | 1 | 1 | 1 |
| | 自営→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無職継続 | 6 | 6 | － | － | － | 3 | － | － | 3 |
| | 小 計 | 172 | 102 | 70 | 3 | 1 | 33 | 30 | 44 | 61 |
| 有配偶継続 | 同一企業 | 113 | 55 | 58 | 2 | 1 | 35 | 20 | 31 | 24 |
| | 自営家従 | 18 | 7 | 11 | － | 1 | 9 | 3 | 1 | 4 |
| | 転 職 | 9 | 4 | 5 | － | － | 3 | 1 | 4 | 1 |
| | 無業→雇用 | 12 | 4 | 8 | 1 | 1 | 5 | 2 | 2 | 1 |
| | 無業→自営 | 4 | － | 4 | 1 | － | 1 | 2 | － | － |
| | 雇用→無業 | 24 | 13 | 11 | － | － | 11 | 2 | 8 | 3 |
| | 自営→無業 | 1 | 1 | － | － | － | 1 | － | － | － |
| | 無職継続 | 139 | 45 | 94 | 8 | 1 | 46 | 20 | 40 | 24 |
| | 小 計 | 320 | 129 | 191 | 12 | 4 | 111 | 50 | 86 | 57 |
| 離死別継続 | 同一企業 | 22 | 9 | 13 | 1 | － | 15 | 2 | 4 | － |
| | 自営家従 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 転 職 | 6 | － | 6 | 2 | － | 4 | － | － | － |
| | 無業→雇用 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無業→自営 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 雇用→無業 | 2 | 1 | 1 | － | － | 1 | 1 | － | － |
| | 自営→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無職継続 | 3 | 2 | 1 | 1 | － | 2 | － | － | － |
| | 小 計 | 33 | 12 | 21 | 4 | － | 22 | 3 | 4 | － |

## 図表35－3　基本属性別配偶・就業状態変化（パネル15-C→パネル16-C）〈続き〉

| | | 合 計 | 年齢層 | | 学 歴 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 29～31 | 32～34 | 中学校 | 専門・専修（入学条件なし） | 高 校 | 専門・専修（入学条件・高卒以上） | 短大・高専 | 大学以上 |
| この一年に離死別 | 同一企業 | 1 | 1 | － | － | － | － | － | － | 1 |
| | 自営家従 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 転 職 | 2 | 1 | 1 | － | － | 1 | － | 1 | － |
| | 無業→雇用 | 1 | － | 1 | 1 | － | － | － | － | － |
| | 無業→自営 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 雇用→無業 | 1 | 1 | － | － | － | － | － | 1 | － |
| | 自営→無業 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 無職継続 | 2 | 1 | 1 | － | 1 | 1 | － | － | － |
| | 小 計 | 7 | 4 | 3 | 1 | 1 | 2 | － | 2 | 1 |
| 合計 | 同一企業 | 277 | 149 | 128 | 6 | 1 | 73 | 51 | 72 | 74 |
| | 自営家従 | 26 | 10 | 16 | － | 1 | 12 | 4 | 2 | 7 |
| | 転 職 | 44 | 24 | 20 | 3 | 1 | 13 | 6 | 9 | 12 |
| | 無業→雇用 | 21 | 7 | 14 | 2 | 1 | 7 | 2 | 6 | 3 |
| | 無業→自営 | 4 | － | 4 | 1 | － | 1 | 2 | － | － |
| | 雇用→無業 | 32 | 17 | 15 | － | － | 12 | 4 | 11 | 5 |
| | 自営→無業 | 1 | 1 | － | － | － | 1 | － | － | － |
| | 無職継続 | 151 | 55 | 96 | 9 | 2 | 53 | 20 | 40 | 27 |
| | 総 計 | 556 | 263 | 293 | 21 | 6 | 172 | 89 | 140 | 128 |
| 合計(%) | 同一企業 | 49.8 | 56.7 | 43.7 | 28.6 | 16.7 | 42.4 | 57.3 | 51.4 | 57.8 |
| | 自営家従 | 4.7 | 3.8 | 5.5 | － | 16.7 | 7.0 | 4.5 | 1.4 | 5.5 |
| | 転 職 | 7.9 | 9.1 | 6.8 | 14.3 | 16.7 | 7.6 | 6.7 | 6.4 | 9.4 |
| | 無業→雇用 | 3.8 | 2.7 | 4.8 | 9.5 | 16.7 | 4.1 | 2.2 | 4.3 | 2.3 |
| | 無業→自営 | 0.7 | － | 1.4 | 4.8 | － | 0.6 | 2.2 | － | － |
| | 雇用→無業 | 5.8 | 6.5 | 5.1 | － | － | 7.0 | 4.5 | 7.9 | 3.9 |
| | 自営→無業 | 0.2 | 0.4 | － | － | － | 0.6 | － | － | － |
| | 無職継続 | 27.2 | 20.9 | 32.8 | 42.9 | 33.3 | 30.8 | 22.5 | 28.6 | 21.1 |
| | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

# 図表36－1　基本属性別配偶・親との居住状態変化（パネル15-A→パネル16-A）

〈パネル16-A〉

| | | 合　計 | 年　齢　層 | | | | 学　歴 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 39～41 | 42～44 | 45～47 | 48～49 | 中学校 | 専門・専修（入学条件なし） | 高　校 | 専門・専修（入学条件・高卒以上） | 短大・高専 | 大学以上 |
| この一年に結婚 | 同居→同居(妻方) | 1 | 1 | － | － | － | － | － | － | － | － | 1 |
| | 同居→同居(夫方) | 1 | － | 1 | － | － | － | － | － | － | － | 1 |
| | 同居→別居 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居→同居(妻方) | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居→同居(夫方) | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居→別居 | 3 | 2 | 1 | － | － | 2 | － | 1 | － | － | － |
| | 小　計 | 5 | 3 | 2 | － | － | 2 | － | 1 | － | － | 2 |
| 未婚継続 | 同居継続 | 58 | 17 | 25 | 15 | 1 | 2 | － | 25 | 10 | 13 | 8 |
| | 同居→別居 | 1 | － | 1 | － | － | － | － | － | － | － | 1 |
| | 別居→同居 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居継続 | 20 | 8 | 7 | 2 | 3 | － | － | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | 小　計 | 79 | 25 | 33 | 17 | 4 | 2 | － | 30 | 15 | 18 | 14 |
| 有配偶継続 | 同居継続(妻方) | 65 | 17 | 19 | 16 | 13 | 1 | － | 30 | 11 | 20 | 3 |
| | 同居継続(夫方) | 172 | 45 | 35 | 44 | 48 | 5 | 1 | 102 | 26 | 27 | 11 |
| | 同居(妻方)→同居(夫方) | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居(夫方)→同居(妻方) | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居(妻方)→別居 | 3 | 2 | 1 | － | － | 2 | － | － | 1 | － | － |
| | 同居(夫方)→別居 | 7 | 2 | － | 3 | 2 | － | － | 2 | 2 | 3 | － |
| | 別居→同居(妻方) | 2 | － | 2 | － | － | － | － | 1 | 1 | － | － |
| | 別居→同居(夫方) | 1 | 1 | － | － | － | － | － | 1 | － | － | － |
| | 別居継続 | 394 | 127 | 101 | 105 | 61 | 16 | 8 | 146 | 74 | 90 | 60 |
| | 小　計 | 644 | 194 | 158 | 168 | 124 | 24 | 9 | 282 | 115 | 140 | 74 |
| 離死別継続 | 同居継続 | 25 | 9 | 5 | 6 | 5 | 2 | － | 12 | 6 | 4 | 1 |
| | 同居→別居 | 3 | 1 | － | － | 2 | － | － | 3 | － | － | － |
| | 別居→同居 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居継続 | 54 | 13 | 11 | 17 | 13 | 9 | － | 31 | 6 | 3 | 5 |
| | 小　計 | 82 | 23 | 16 | 23 | 20 | 11 | － | 46 | 12 | 7 | 6 |
| この一年に離死別 | 同居(妻方)→同居 | 1 | 1 | － | － | － | － | － | 1 | － | － | － |
| | 同居(夫方)→同居 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居(妻方)→別居 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居(夫方)→別居 | 1 | － | － | 1 | － | － | － | 1 | － | － | － |
| | 別居→同居 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居→別居 | 4 | 1 | 2 | 1 | － | － | － | － | 1 | 2 | 1 |
| | 小　計 | 6 | 2 | 2 | 2 | － | － | － | 2 | 1 | 2 | 1 |

## 図表36－2　基本属性別配偶・親との居住状態変化(パネル15-B→パネル16-B)

〈パネル16-B〉

| | | 合 計 | 年 齢 層 | 学 歴 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 35～38 | 中学校 | 専門・専修(入学条件なし) | 高 校 | 専門・専修(入学条件・高卒以上) | 短大・高専 | 大学以上 |
| この一年に結婚 | 同居→同居(妻方) | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居→同居(夫方) | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居→別居 | 2 | 2 | － | － | － | － | 1 | 1 |
| | 別居→同居(妻方) | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居→同居(夫方) | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居→別居 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 小 計 | 2 | 2 | － | － | － | － | 1 | 1 |
| 未婚継続 | 同居継続 | 32 | 32 | － | － | 11 | 1 | 12 | 8 |
| | 同居→別居 | 1 | 1 | － | － | 1 | － | － | － |
| | 別居→同居 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居継続 | 10 | 10 | 1 | － | 5 | 3 | 1 | － |
| | 小 計 | 43 | 43 | 1 | － | 17 | 4 | 13 | 8 |
| 有配偶継続 | 同居継続(妻方) | 13 | 13 | － | 2 | 8 | 2 | 1 | － |
| | 同居継続(夫方) | 29 | 29 | 3 | － | 13 | 3 | 8 | 2 |
| | 同居(妻方)→同居(夫方) | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居(妻方)→別居 | 1 | 1 | － | － | － | － | 1 | － |
| | 同居(夫方)→別居 | 1 | 1 | － | － | － | 1 | － | － |
| | 別居→同居(妻方) | 3 | 3 | － | － | － | 1 | 2 | － |
| | 別居→同居(夫方) | 2 | 2 | － | － | 2 | － | － | － |
| | 別居継続 | 140 | 140 | 5 | － | 47 | 27 | 34 | 27 |
| | 小 計 | 189 | 189 | 8 | 2 | 70 | 34 | 46 | 29 |
| 離死別継続 | 同居継続 | 4 | 4 | 1 | － | 2 | － | 1 | － |
| | 同居→別居 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居→同居 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居継続 | 15 | 15 | 5 | 1 | 5 | － | 4 | － |
| | 小 計 | 19 | 19 | 6 | 1 | 7 | － | 5 | － |
| この一年に離死別 | 同居(妻方)→同居 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居(夫方)→同居 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居(妻方)→別居 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居(夫方)→別居 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居→同居 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居→別居 | 4 | 4 | － | － | 3 | － | － | 1 |
| | 小 計 | 4 | 4 | － | － | 3 | － | － | 1 |

## 図表36－3　基本属性別配偶・親との居住状態変化(パネル15-C→パネル16-C)

〈パネル16-C〉

| | | 合 計 | 年齢層 | | 学 歴 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 29～31 | 32～34 | 中学校 | 専門・専修(入学条件なし) | 高 校 | 専門・専修(入学条件・高卒以上) | 短大・高専 | 大学以上 |
| この一年に結婚 | 同居→同居(妻方) | 3 | 1 | 2 | 1 | － | － | 1 | 1 | － |
| | 同居→同居(夫方) | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居→別居 | 16 | 13 | 3 | － | － | 4 | 4 | 2 | 6 |
| | 別居→同居(妻方) | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居→同居(夫方) | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居→別居 | 5 | 2 | 3 | － | － | － | 1 | 1 | 3 |
| | 小 計 | 24 | 16 | 8 | 1 | － | 4 | 6 | 4 | 9 |
| 未婚継続 | 同居継続 | 129 | 80 | 49 | 1 | － | 29 | 23 | 39 | 32 |
| | 同居→別居 | 6 | 2 | 4 | － | － | － | 2 | 1 | 3 |
| | 別居→同居 | 1 | 1 | － | － | － | － | － | － | 1 |
| | 別居継続 | 36 | 19 | 17 | 2 | 1 | 4 | 5 | 4 | 20 |
| | 小 計 | 172 | 102 | 70 | 3 | 1 | 33 | 30 | 44 | 56 |
| 有配偶継続 | 同居継続(妻方) | 21 | 8 | 13 | 2 | － | 11 | 4 | 4 | － |
| | 同居継続(夫方) | 41 | 15 | 26 | 1 | － | 16 | 10 | 9 | 5 |
| | 同居(夫方)→同居(妻方) | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居(妻方)→別居 | 2 | 1 | 1 | － | － | 2 | － | － | － |
| | 同居(夫方)→別居 | 3 | 3 | － | － | － | 1 | － | 1 | 1 |
| | 別居→同居(妻方) | 2 | 2 | － | － | － | 1 | － | 1 | － |
| | 別居→同居(夫方) | 2 | 1 | 1 | － | － | 2 | － | － | － |
| | 別居継続 | 248 | 98 | 150 | 9 | 4 | 78 | 36 | 71 | 46 |
| | 小 計 | 319 | 128 | 191 | 12 | 4 | 111 | 50 | 86 | 52 |
| 離死別継続 | 同居継続 | 19 | 9 | 10 | 1 | － | 12 | 3 | 3 | － |
| | 同居→別居 | 2 | 1 | 1 | － | － | 2 | － | － | － |
| | 別居→同居 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居継続 | 12 | 2 | 10 | 3 | － | 8 | － | 1 | － |
| | 小 計 | 33 | 12 | 21 | 4 | － | 22 | 3 | 4 | － |
| この一年に離死別 | 同居(妻方)→同居 | 2 | 1 | 1 | 1 | － | － | － | － | 1 |
| | 同居(夫方)→同居 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居(妻方)→別居 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 同居(夫方)→別居 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 別居→同居 | 1 | 1 | － | － | － | － | － | 1 | － |
| | 別居→別居 | 4 | 2 | 2 | － | 1 | 2 | － | 1 | － |
| | 小 計 | 7 | 4 | 3 | 1 | 1 | 2 | － | 2 | 1 |

図表37　対象者の有配偶率－コーホートD－

| | | パネル16-D<br>24～28歳 |
|---|---|---|
| 本調査<br>(パネル16<br>・2008年) | 有配偶 | 218 |
| | 縦計% | 34.3 |
| | 無配偶 | 418 |
| | 縦計% | 65.7 |
| | 計 | 636 |
| | 縦計% | 100.0 |
| 『平成17年<br>国勢調査』<br>(2005年) | 有配偶 | 1,243,894 |
| | 縦計% | 31.7 |
| | 無配偶 | 2,682,123 |
| | 縦計% | 68.3 |
| | 不　詳 | 3,260 |
| | 縦計% | 0.1 |
| | 計 | 3,929,277 |
| | 縦計% | 100.0 |

資料:総務省『平成17年 国勢調査』

図表38　有配偶の夫の年齢－コーホートD－

| | | 27歳以下 | 28～30歳 | 31～33歳 | 34歳以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル<br>16－D | 実　数 | 78 | 78 | 41 | 21 | 218 |
| | % | 35.8 | 35.8 | 18.8 | 9.6 | 100.0 |

図表39　家族人員数（同居）－コーホートD－

| | | 1 人 | 2 人 | 3 人 | 4 人 | 5 人 | 6人以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－D | 有配偶 | 0 | 57 | 66 | 53 | 21 | 21 | 218 |
| | % | 0.0 | 26.1 | 30.3 | 24.3 | 9.6 | 9.6 | 100.0 |
| | 無配偶 | 105 | 28 | 102 | 103 | 47 | 33 | 418 |
| | % | 25.1 | 6.7 | 24.4 | 24.6 | 11.2 | 7.9 | 100.0 |
| | 計 | 105 | 85 | 168 | 156 | 68 | 54 | 636 |
| | % | 16.5 | 13.4 | 26.4 | 24.5 | 10.7 | 8.5 | 100.0 |
| 国調（平17） | 有配偶 | 11,650 | 1,231,716 | | | | | 1,243,366 |
| | % | 0.9 | 99.1 | | | | | 100.0 |
| | 無配偶 | 621,423 | 2,047,427 | | | | | 2,668,850 |
| | % | 23.3 | 76.7 | | | | | 100.0 |
| | 計 | 633,073 | 3,279,143 | | | | | 3,912,216 |
| | % | 16.2 | 83.8 | | | | | 100.0 |

資料：総務省『平成17年 国勢調査』

図表40　家族人員数（含別居）－コーホートD－

| | | 1 人 | 2 人 | 3 人 | 4 人 | 5 人 | 6人以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－D | 有配偶 | － | 57 | 66 | 53 | 20 | 22 | 218 |
| | % | － | 26.1 | 30.3 | 24.3 | 9.2 | 10.1 | 100.0 |
| | 無配偶 | 65 | 18 | 69 | 123 | 84 | 59 | 418 |
| | % | 15.6 | 4.3 | 16.5 | 29.4 | 20.1 | 14.1 | 100.0 |
| | 計 | 65 | 75 | 135 | 176 | 104 | 81 | 636 |
| | % | 10.2 | 11.8 | 21.2 | 27.7 | 16.4 | 12.7 | 100.0 |

図表41　世帯構成－コーホートD－

| | 夫婦のみ | 夫婦と子のみ | 親と夫婦 | 親と夫婦と子 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 有　配　偶 | 57 | 122 | 2 | 37 | － | 218 |
| % | 26.1 | 56.0 | 0.9 | 17.0 | － | 100.0 |
| 国調(平17) | 406,963 | 613,181 | 54,494 | 129,599 | 27,479 | 1,231,716 |
| % | 33.0 | 49.8 | 4.4 | 10.5 | 2.2 | 100.0 |

| | 本人のみ | 本人と子のみ | 親と本人 | 親と本人と子 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 無　配　偶 | 105 | 6 | 294 | 8 | 5 | 418 |
| % | 25.1 | 1.4 | 70.3 | 1.9 | 1.2 | 100.0 |

資料:総務省『平成17年 国勢調査』

図表42　親との居住状況－コーホートD－

| | | 同 居・準同居 | 近隣居住 | 同一市区町村内居住 | 同一都道府県内居住 | 左記以外に居住 | 全員死亡 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－D | 有 配 偶 | 41 | 51 | 49 | 52 | 22 | － | 215 |
| | % | 19.1 | 23.7 | 22.8 | 24.2 | 10.2 | － | 100.0 |
| | 無 配 偶 | 300 | 8 | 17 | 32 | 59 | － | 416 |
| | % | 72.1 | 1.9 | 4.1 | 7.7 | 14.2 | － | 100.0 |
| | 計 | 341 | 59 | 66 | 84 | 81 | － | 631 |
| | % | 54.0 | 9.4 | 10.5 | 13.3 | 12.8 | － | 100.0 |

注：親との居住状況が「不明」であるサンプル（有配偶3人、無配偶2人）については非掲載。

図表43　子どもの人数－コーホートD－

| | | いない | 1 人 | 2 人 | 3人以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－D | 有 配 偶 | 59 | 79 | 68 | 12 | 218 |
| | % | 27.1 | 36.2 | 31.2 | 5.5 | 100.0 |
| | 無 配 偶 | 404 | 10 | 4 | － | 418 |
| | % | 96.7 | 2.4 | 1.0 | － | 100.0 |
| | 計 | 463 | 89 | 72 | 12 | 636 |
| | % | 72.8 | 14.0 | 11.3 | 1.9 | 100.0 |

図表44　長子の就学状況－コーホートD－

| | | 0 歳 | 1～3歳 | 4歳以上で未就学 | 小学1～3年 | 小学4～6年 | 中学生以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－D | 有配偶 | 21 | 72 | 53 | 10 | 3 | － | 159 |
| | % | 13.2 | 45.3 | 33.3 | 6.3 | 1.9 | － | 100.0 |
| | 無配偶 | 1 | 2 | 8 | 3 | － | － | 14 |
| | % | 7.1 | 14.3 | 57.1 | 21.4 | － | － | 100.0 |
| | 計 | 22 | 74 | 61 | 13 | 3 | － | 173 |
| | % | 12.7 | 42.8 | 35.3 | 7.5 | 1.7 | － | 100.0 |

図表45　末子の就学状況－コーホートD－

| | | 0 歳 | 1～3歳 | 4歳以上で未就学 | 小学1～3年 | 小学4～6年 | 中学生以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－D | 有配偶 | 46 | 94 | 17 | 2 | － | － | 159 |
| | % | 28.9 | 59.1 | 10.7 | 1.3 | － | － | 100.0 |
| | 無配偶 | 1 | 5 | 6 | 2 | － | － | 14 |
| | % | 7 | 35.7 | 42.9 | 14.3 | － | － | 100.0 |
| | 計 | 47 | 99 | 23 | 4 | － | － | 173 |
| | % | 27.2 | 57.2 | 13.3 | 2.3 | － | － | 100.0 |

図表46　就業状況（本人）－コーホートD－

| | | 常　勤 | パート・嘱託等 | 自営他 | 無　職 | 無回答 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－D | 有配偶 | 45 | 54 | 10 | 109 | 0 | 218 |
| | % | 20.6 | 24.8 | 4.6 | 50.0 | 0.0 | 100.0 |
| | % | 41.3 | 49.5 | 9.2 | － | － | 100.0 |
| | 無配偶 | 251 | 103 | 23 | 39 | 2 | 418 |
| | % | 60.0 | 24.6 | 5.5 | 9.3 | 0.5 | 100.0 |
| | % | 66.6 | 27.3 | 6.1 | － | － | 100.0 |
| | 計 | 296 | 157 | 33 | 148 | 2 | 636 |
| | % | 46.5 | 24.7 | 5.2 | 23.3 | 0.3 | 100.0 |
| | % | 60.9 | 32.3 | 6.8 | － | － | 100.0 |

注：各欄の最下段は、無職、無回答の者を除いた割合を示す。

図表47　就業状況（有配偶の夫）－コーホートD－

| | | 常　勤 | パート・嘱託等 | 自営他 | 無　職 | 無回答 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－D | 実　数 | 190 | 3 | 20 | 3 | 2 | 218 |
| | % | 87.2 | 1.4 | 9.2 | 1.4 | 0.9 | 100.0 |

図表48　住宅の所有関係－コーホートD－

| | | 持ち家 | 民間の賃貸 | 公営・公団公社等の賃貸 | 社宅・寮 | その他 | 無回答 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－D | 有配偶 | 73 | 118 | 11 | 12 | 4 | － | 218 |
| | % | 33.5 | 54.1 | 5.0 | 5.5 | 1.8 | － | 100.0 |
| | 無配偶 | 266 | 123 | 10 | 17 | － | 2 | 418 |
| | % | 63.6 | 29.4 | 2.4 | 4.1 | － | 0.5 | 100.0 |
| | 計 | 339 | 241 | 21 | 29 | 4 | 2 | 636 |
| | % | 53.3 | 37.9 | 3.3 | 4.6 | 0.6 | 0.3 | 100.0 |

図表49　学歴（本人）－コーホートD－

| | | 中学校 | 専門・専修（入学条件なし） | 高　校 | 専門・専修（入学条件・高卒以上） | 短大・高専 | 大学以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－D | 有　配　偶 | 22 | 2 | 72 | 42 | 39 | 41 | 218 |
| | % | 10.1 | 0.9 | 33.0 | 19.3 | 17.9 | 18.8 | 100.0 |
| | 無　配　偶 | 16 | － | 115 | 78 | 45 | 164 | 418 |
| | % | 3.8 | － | 27.5 | 18.7 | 10.8 | 39.2 | 100.0 |
| | 計 | 38 | 2 | 187 | 120 | 84 | 205 | 636 |
| | % | 6.0 | 0.3 | 29.4 | 18.9 | 13.2 | 32.2 | 100.0 |

注：卒業・修了した場合を最終学歴とする。

図表50　学歴（夫）－コーホートD－

| | 中学校 | 専門・専修 1) | 高　校 | 専門・専修 2) | 短大・高専 | 大学以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－D | 18 | 3 | 85 | 30 | 8 | 74 | 218 |
| % | 8.3 | 1.4 | 39.0 | 13.8 | 3.7 | 33.9 | 100.0 |

注：卒業・修了した場合を最終学歴とする。
1）高校を卒業していないサンプルで専門・専修学校卒業者
2）高校を卒業していたサンプルで専門・専修学校卒業者

図表51　　年収－コーホートD－

＜対象者本人＞

| | | なし | ～50万円未満 | ～100万円未満 | ～150万円未満 | ～200万円未満 | ～250万円未満 | ～300万円未満 | ～400万円未満 | 400万円以上 | 無回答 | 計 | 平均(万円)(0を含む) | 平均(万円)(0を除く) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－D | 有配偶 | 75 | 14 | 25 | 16 | 7 | 16 | 11 | 19 | 5 | 30 | 218 | 106.6 | 177.4 |
| | % | 34.4 | 6.4 | 11.5 | 7.3 | 3.2 | 7.3 | 5.0 | 8.7 | 2.3 | 13.8 | 100.0 | | |
| | 無配偶 | 10 | 16 | 24 | 41 | 34 | 76 | 59 | 91 | 29 | 38 | 418 | 230.8 | 237.0 |
| | % | 2.4 | 3.8 | 5.7 | 9.8 | 8.1 | 18.2 | 14.1 | 21.8 | 6.9 | 9.1 | 100.0 | | |

＜有配偶の夫＞

| | なし | ～300万円未満 | ～400万円未満 | ～500万円未満 | ～600万円未満 | ～800万円未満 | 800万円以上 | 無回答 | 計 | 平均(万円)(0を含む) | 平均(万円)(0を除く) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16-D | 2 | 38 | 72 | 40 | 23 | 10 | 3 | 30 | 218 | 381.7 | 385.8 |
| % | 0.9 | 17.4 | 33.0 | 18.3 | 10.6 | 4.6 | 1.4 | 13.8 | 100.0 | | |

＜夫婦の合計年収－夫の就業状態別－＞

| | | ～300万円未満 | ～400万円未満 | ～500万円未満 | ～600万円未満 | ～700万円未満 | ～800万円未満 | ～1000万円未満 | 1000万円以上 | 無回答 | 計 | 平均(万円)(0を含む) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル16－D | 常勤 | 13 | 36 | 40 | 30 | 20 | 15 | 8 | 2 | 26 | 190 | 501.2 |
| | % | 6.8 | 18.9 | 21.1 | 15.8 | 10.5 | 7.9 | 4.2 | 1.1 | 13.7 | 100.0 | |
| | パート・嘱託等 | － | 1 | 1 | － | － | － | － | － | 1 | 3 | 372.0 |
| | % | － | 33.3 | 33.3 | － | － | － | － | － | 33.3 | 100.0 | |
| | 自営他 | 2 | 4 | 4 | － | － | 1 | － | 1 | 8 | 20 | 430.7 |
| | % | 10.0 | 20.0 | 20.0 | － | － | 5.0 | － | 5.0 | 40.0 | 100.0 | |
| | 無職 | － | － | － | 1 | － | － | － | － | 2 | 3 | 282.5 |
| | % | － | － | － | 33.3 | － | － | － | － | 66.7 | 100.0 | |
| | 計 | 15 | 41 | 45 | 31 | 20 | 16 | 8 | 3 | 37 | 216 | 492.6 |
| | % | 6.9 | 19.0 | 20.8 | 14.4 | 9.3 | 7.4 | 3.7 | 1.4 | 17.1 | 100.0 | |

注：就業状態変化が「無回答」であるサンプル（2人）については非掲載。

図表52　最終卒業学校　25～29歳女性(有配偶・未婚・死別・離別)

| | 中学校 | 高　校 | 短大・高専 | 大学・大学院 | 不明 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 有　配　偶 | 126,996 | 998,271 | 675,568 | 234,694 | 55,579 | 2,091,108 |
| % | 6.1 | 47.7 | 32.3 | 11.2 | 2.7 | 100.0 |
| 未婚 | 109,759 | 876,458 | 902,983 | 538,306 | 122,237 | 2,549,743 |
| % | 4.3 | 34.4 | 35.4 | 21.1 | 4.8 | 100.0 |
| 死別 | 655 | 2,092 | 793 | 177 | 174 | 3,891 |
| % | 16.8 | 53.8 | 20.4 | 4.5 | 4.5 | 100.0 |
| 離別 | 22,767 | 65,789 | 17,508 | 3,496 | 3,909 | 113,469 |
| % | 20.1 | 58.0 | 15.4 | 3.1 | 3.4 | 100.0 |
| (再)無配偶計 | 133,181 | 944,339 | 921,284 | 541,979 | 126,320 | 2,667,103 |
| % | 5.0 | 35.4 | 34.5 | 20.3 | 4.7 | 100.0 |

資料:総務省『平成12年 国勢調査』
注:計は卒業者の総数である。

図表53　最終卒業学校　25～29歳女性(総数－未婚・未婚)

| | 中学 | 高校 | 専門学校 | 短大・高専 | 大学・大学院 | 不明 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総数－未婚≒有配偶・離別・死別 | 46,800 | 288,200 | 150,800 | 127,700 | 151,400 | 4,300 | 769,200 |
| % | 6.1 | 37.5 | 19.6 | 16.6 | 19.7 | 0.6 | 100.0 |
| 未婚 | 31,500 | 448,600 | 384,400 | 405,000 | 708,700 | 8,400 | 1,986,600 |
| % | 1.6 | 22.6 | 19.3 | 20.4 | 35.7 | 0.4 | 100.0 |

資料:総務省『平成19年 就業構造基本調査』
注:計は卒業者の総数である。

図表54　最終卒業学校　20～44歳男性（有配偶）

| | 中学校 | 高　校 | 短大・高専 | 大学・大学院 | 不明 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 724,251 | 4,621,168 | 995,239 | 3,415,459 | 232,280 | 9,988,397 |
| % | 7.3 | 46.3 | 10.0 | 34.2 | 2.3 | 100.0 |

資料：総務省『平成12年 国勢調査』
注：計は卒業者の総数である。

図表55　最終卒業学校　20～44歳男性（有配偶・離別・死別）

| | 中学 | 高校 | 専門学校 | 短大・高専 | 大学・大学院 | 不明 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 607,500 | 3,981,000 | 1,271,200 | 344,500 | 3,601,800 | 42,600 | 9,848,600 |
| % | 6.2 | 40.4 | 12.9 | 3.5 | 36.6 | 0.4 | 100.0 |

資料：総務省『平成19年 就業構造基本調査』
注：計は卒業者の総数である。

図表56　就業状態　25～29歳女性

| | 有業者 | | | 無業者 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 仕事が主 | 仕事が従 | 計 | | |
| 人数 | 2,445,200 | 366,200 | 2,813,400 | 1,013,000 | 3,826,400 |
| % | 63.9 | 9.6 | 73.5 | 26.5 | 100.0 |

資料:総務省『平成19年 就業構造基本調査』

図表57　従業上の地位・雇用形態　25～29歳の女性有業者

| | 自営業主 | 家族従業者 | 雇用者 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 民間役員 | 役員以外 | | | 計 | 計 |
| | | | | | うち正規 | うちパート・嘱託等 | | |
| 人数 | 40,900 | 20,400 | 12,400 | 2,732,800 | 1,638,300 | 1,094,100 | 2,745,300 | 2,813,400 |
| % | 1.5 | 0.7 | 0.5 | 99.5 | 59.7 | 38.9 | 97.6 | 100.0 |

資料:総務省『平成19年 就業構造基本調査』

# 単純集計データ

有配偶継続・・・121

（コーホートＡＢＣ）

無配偶継続・・・153

新　　婚・・・180

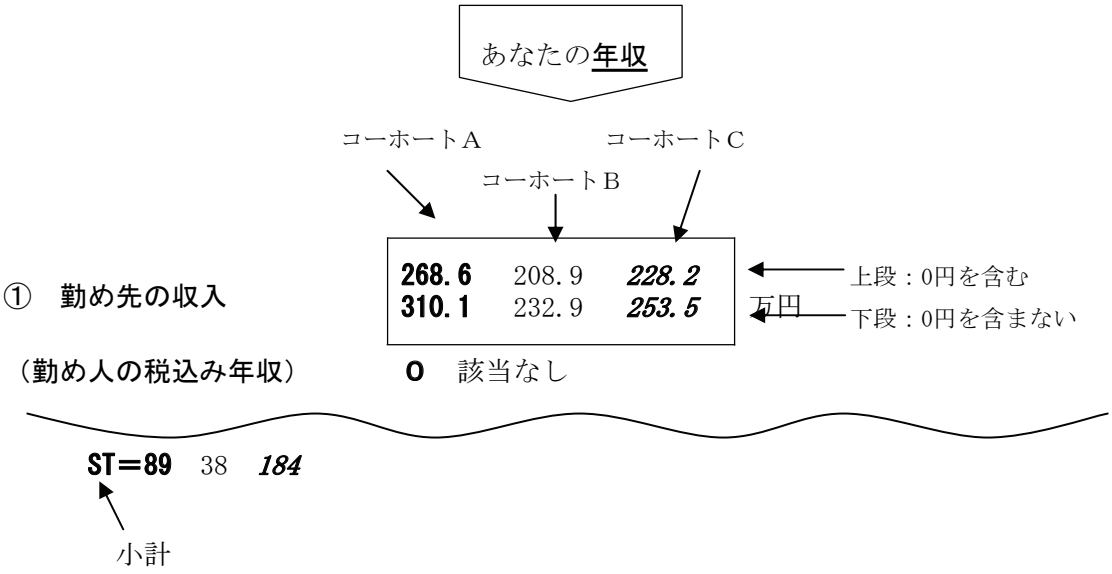
有配偶新規・・・185

（コーホートＤ）

無配偶新規・・・220

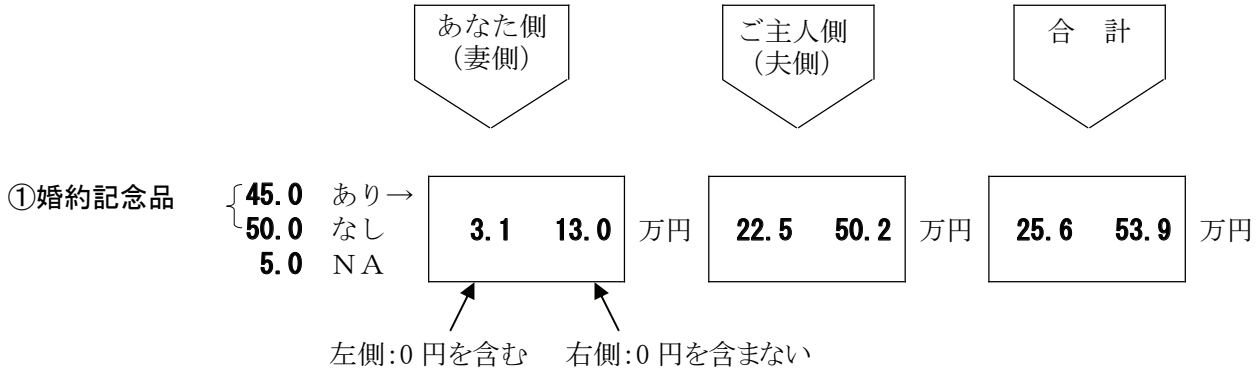
# 数字の読み方

**有配偶継続、無配偶継続票**




・一行のみ（または一列）の場合は、左（上）から、コーホートA、B、Cです。
・日数、金額などを回答する欄で、平均値が上下に別れている場合、上段は0円を含む値、
　下段は0円を含まない値です。
・「ＳＴ」は、コーホート別の小計（人数）です。

**新婚票**




・新婚票には、コーホートA、B、Cの別はありません。
・平均値が左右に分かれている場合、左側は0円を含む値、右側は0円を含まない値です。

# 有配偶継続

## ◎ 家庭生活についてのおたずね ◎

ご記入にあたってのお願い

・この調査票は、配偶者のいらっしゃる方にお願いしております。

・ご記入には長時間かかりますが、あなた様がすべてご記入下さい。

・あなた様ご自身やご家族のことなどについて少し立ち入ったこともお聞きしますが、統計的に分析することが目的ですので、ありのままをお答えいただきますようお願いします。

・９月１カ月でのことをお聞きしている質問もありますので、そのような質問にはおわかりになった時点でお答え下さい。

・質問番号順にお答え下さい。質問の中には、一部の方にだけおたずねするものがありますが、その場合は指示に従って下さい。

・お答えは、あてはまる回答についている数字を○でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入する場合があります。「その他」にあてはまる時は、数字を○でかこみ、（　　）内に具体的な内容を記入して下さい。（　　）内に書ききれない場合は、欄外にご記入下さい。

・（○は１つ）という質問では、○は１つだけにしぼって下さい。

・ご主人のことについておたずねしている質問では、あなた様ご自身がわからないことがありましたら、ご主人に聞いてご記入下さい。

・なお、「⑧⑨⑩=101」とか⑪などの記号は、コンピュータで処理するためのものですので、質問やお答えとは関係ありません。

ご記入いただきました調査票は　　日　　時ごろ　調査員の　　がいただきにあがりますので、よろしくお願いいたします。

第8989号

2008年９月

| 支局番号 | | 地点番号 | | | 対象番号 | | 回 | パネル番号 | | | | 調査員名 | 点検者名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 6 | | | | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | | |

社団法人　中央調査社

| 1 | ご家族についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．現在いっしょに住んでおられるご家族は、あなたを含めて全部で何人ですか。　⑧⑨⑩=101

□□ 人　⑪⑫

（同じ屋根の下、または同一敷地内にお住まいのご家族は「いっしょに住んでいる」としてご記入下さい）

問２．ご家族１人１人について、あなたとの続き柄、性別、年齢、就学・就労状況、同居・別居の別、配偶関係をお知らせ下さい。（単身赴任、留学、進学、就職、結婚や入院などで別居しているご主人、お子さんも含めてご記入下さい）

| | あなたとの続き柄〔具体的にご記入下さい〕 | あなたとの続き柄（下記のコード表参照） | 性別 | 年齢（今年10月1日現在の満年齢） | 現在の就学・就労状況 | 同居・別居 | 配偶関係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 未就学 / 小学1～3年 / 小学4～6年 / 中学生 / 高校生 / 短大・大学生 / 専門学校 / 仕事に就いている / 無職 / その他（具体的に） | | 独身 / 結婚している |
| 1 | あなた　本　人 | 0 0 ⑭⑮ | 1 男　(2) 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | |
| 2 | あなたのご主人 | 0 1 ⑯⑰ | (1) 男　2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑪ | |
| 3 | あなたの＿＿ | ⑱⑲ | 1 男　2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑫ | 1 2 |
| 4 | あなたの＿＿ | ⑳ | 1 男　2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑬ | 1 2 |
| 5 | あなたの＿＿ | | 1 男　2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑭ | 1 2 |
| 6 | あなたの＿＿ | | 1 男　2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑮ | 1 2 |
| 7 | あなたの＿＿ | | 1 男　2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑯ | 1 2 |
| 8 | あなたの＿＿ | | 1 男　2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑰ | 1 2 |
| 9 | あなたの＿＿ | | 1 男　2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑱ | 1 2 |
| 10 | あなたの＿＿ | ㉑ | 1 男　2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑲ | 1 2 |

⑧⑨⑩=102

⑳・=skip

**続き柄コード表**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 00 | 本人（妻） | 05 | 子ども（第４子） | 10 | 夫の祖父母 | 15 | その他の親族 |
| 01 | ご主人 | 06 | 子ども（第５子以下） | 11 | 妻の兄弟姉妹 | 16 | その他 |
| 02 | 子ども（第１子） | 07 | 妻の父母 | 12 | 夫の兄弟姉妹 | | |
| 03 | 子ども（第２子） | 08 | 夫の父母 | 13 | 子どもの配偶者 | | |
| 04 | 子ども（第３子） | 09 | 妻の祖父母 | 14 | 孫 | | |

【01・02】



| 2 | この１年間の生活変動についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**にあなたの世帯に次のような変動がありましたか。（○はいくつでも）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 世帯に入った | **0.8** | 6.3 | ***17.2*** | あなたの子どもが生まれた |
| | **0.3** | 0.5 | **－** | あなた、または夫の親を引き取った |
| | **1.4** | － | ***0.3*** | 世帯員が単身赴任から戻った |
| | **2.7** | 0.5 | ***0.6*** | その他（それ以外の理由で世帯員が増えた） |
| 世帯から出た | **1.2** | **－** | ***0.6*** | 世帯員が単身赴任で転出した |
| | **7.0** | 1.0 | ***0.9*** | 世帯員が転出して世帯員が減った |
| | **1.8** | － | ***0.9*** | 世帯員が死亡して世帯員が減った |
| | **1.8** | － | ***0.6*** | その他（それ以外の理由で世帯員が減った） |
| | **0.8** | 1.0 | ***7.3*** | あなたが結婚して別の世帯を形成した |
| | **0.2** | － | ***0.3*** | あなたが離婚・別居して別の世帯を形成した |
| | **0.2** | － | ***1.5*** | あなた（とその家族）が親の家から出て、独立した世帯を形成した |
| | **－** | 0.5 | ***0.6*** | あなた（とその家族）が親の家に入って、同居世帯を形成した |
| | **83.7** | 90.1 | ***72.7*** | 特に何もない ⟶ （４ページの問３へ） |

**〔問２はこの１年間（平成19年10月～平成20年９月）に出産した方にお聞きします。それ以外の方は４ページの問３へお進み下さい。〕**

問２．(1)　あなたにとって何番目のお子さんですか。

**ST=5**　12　***59***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **－** | 16.7 | ***35.6*** | 最初の子 |
| **60.0** | 83.3 | ***45.8*** | 二番目 |
| **40.0** | － | ***18.6*** | 三番目以降 |

(2)　出産に関わる費用はどれくらいでしたか。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | 病院に支払った費用（定期検診も含む） | 約 | **49.8** | 55.8 | ***49.4*** |
| | | | **49.8** | 55.8 | ***49.4*** |
| ② | 育児用品購入費 | 約 | **3.0** | 4.6 | ***9.5*** |
| | | | **3.8** | 4.6 | ***10.3*** |
| ③ | 産後の手伝いお礼 | 約 | **3.0** | 1.8 | ***2.4*** |
| | | | **15.0** | 7.3 | ***6.9*** |
| ④ | その他（　　） | 約 | **2.0** | 2.2 | ***0.9*** |
| | | | **10.0** | 8.7 | ***6.5*** |

万円

(3)　その費用は主に何で賄いましたか。（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **60.0** | 75.0 | ***47.5*** | 自分達の収入・預貯金 |
| **－** | － | **－** | あなたの親からの援助 |
| **－** | － | ***1.7*** | 夫の親からの援助 |
| **40.0** | 16.7 | ***32.2*** | 健康保険や互助組合などの出産給付や祝い金、または役所の補助金 |
| **－** | － | ***3.4*** | お祝い金 |
| **－** | － | － | 借　金 |
| **－** | － | － | その他（具体的に　　） |
| **－** | 8.3 | ***15.3*** | ＮＡ |

(4)　あなたは、産前産後仕事についていましたか。

**80.0** 66.7 ***49.2*** 出産の前から仕事についていなかった →（4ページ問3へ）

**－** 8.3 ***15.3*** 出産前は仕事についていたが出産を機にやめた

**20.0** 25.0 ***33.9*** 出産前は仕事についていて出産後も仕事についている（仕事につくつもり）

**－** － ***1.7*** NA

(5)　あなたは、産前産後休暇はとりましたか。

**ST=1** 4 ***29***

**－** 75.0 ***65.5*** とった → 産前 [**－** / 6.0 / ***5.4***] 週間　産後 [**－** / 8.0 / ***9.6***] 週間

**100.0** － ***13.8*** とらなかった

**－** 25.0 ***20.7*** そうした制度がない

**〔出産を機に仕事をやめた方は4ページの問3へ〕**

(6)　あなたは、育児休業制度や育児時間を利用しましたか。

**ST=1** 3 ***20***　　**ST=－** 3 ***13***

**－** 100.0 ***65.0*** 利用した → 形態

**－** 100.0 ***92.3*** 育児休業→ [**－** / 9.7 / ***9.5***] ヵ月

**－** 66.7 ***7.7*** 育児時間→ 毎日 [**－** / 1.5 / ***8.0***] 時間

**100.0** － ***10.0*** 利用しない

**－** － ***25.0*** そうした制度がない

(7)　**ご主人**は育児休業制度や育児時間を利用しましたか。

**ST=1** 3 ***20***

**－** － **－** 利用した

**100.0** 66.7 ***65.0*** 利用しない

**－** 33.3 ***30.0*** そうした制度がない

**－** － ***5.0*** NA



**〔問3は同居でも別居でもこの1年間（平成19年10月～平成20年9月）にご親族で死亡された方がいらっしゃる方にお聞きします。それ以外の方は5ページの問5へお進み下さい。〕**

問3．死亡されたのはどなたですか。（○はいくつでも）

**ST=75** 18 ***43***

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **24.0** | 5.6 | ***7.0*** | あなたの父 | **22.7** | 38.9 | ***32.6*** | あなたの祖父母 |
| **5.3** | － | ***2.3*** | あなたの母 | **6.7** | 33.3 | ***37.2*** | 夫の祖父母 |
| **18.7** | － | ***4.7*** | 夫の父 | **1.3** | － | **－** | 子ども |
| **10.7** | － | ***2.3*** | 夫の母 | **14.7** | 22.2 | ***18.6*** | その他（具体的に　　） |
| **1.3** | － | **－** | あなたや夫の養親 | | | | |

**〔問4は同居でも別居でも、この1年間（平成19年10月～平成20年9月）に親を亡くされた方に伺います。それ以外の方は5ページの問5へお進み下さい。〕**

問4．(1)　**この1年間**（平成19年10月～平成20年9月）に複数の親を亡くされた方は、相続の問題が解決した方を次の中から1人選び○をつけて下さい。以下の質問はその方についてお答え下さい。（○は1つだけ）　**ST=42** 1 ***7***

**38.1** 100.0 ***42.9*** あなたの父　**9.5** － ***14.3*** あなたの母　**31.0** － ***28.6*** 夫の父　**16.7** － ***14.3*** 夫の母　**2.4** － **－** あなたや夫の養親

**2.4** － **－** NA

(2)　亡くなられるまでに介護を必要としましたか。

**59.5** － **－** 必要とした

**40.5** 100.0 ***100.0*** 必要としなかった →（(6)へ）

(3)　その介護期間はどれくらいでしたか。

**ST=25** － **－**

**8.0** － **－** 1ヵ月以内　**24.0** － **－** 1～3ヵ月　**12.0** － **－** 4～6ヵ月　**24.0** － **－** 7ヵ月～1年　**12.0** － **－** 1～3年　**16.0** － **－** 3年以上

**4.0** － **－** NA

(4)　主な介護者はどなたでしたか。（○は1つだけ）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **16.0** | － | **－** | あなた自身 | **4.0** | － | **－** | その他の親戚 |
| **4.0** | － | **－** | あなたのきょうだい（その配偶者） | **8.0** | － | **－** | 介護保険利用のホームヘルパーなど |
| **28.0** | － | **－** | あなたの親 | **16.0** | － | **－** | 介護施設の職員 |
| **－** | － | **－** | あなたの夫 | **－** | － | **－** | 介護保険利用以外の家政婦や付添婦 |
| **8.0** | － | **－** | あなたの夫のきょうだい（その配偶者） | **－** | － | **－** | その他（具体的に　　） |
| **12.0** | － | **－** | あなたの夫の親 | **4.0** | － | **－** | NA |

(5)　主に介護をしていた場所はどこですか。（○は1つだけ）

**40.0** － **－** 病　院　**20.0** － **－** 施　設　**20.0** － **－** あなたの自宅　**20.0** － **－** 亡くなった方の自宅　**－** － **－** その他（具体的に　　）

(6)　亡くなった方の子どもが相続した遺産はどのように配分されましたか。（○は1つだけ）

**ST=42** 1 ***7***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **11.9** | － | ***14.3*** | 均等に配分された →（5ページの問5へ） |
| **14.3** | － | ***14.3*** | きょうだいのうち、長男が全部相続した |
| **7.1** | 100.0 | **－** | きょうだいのうち、長男が多く相続した |
| **4.8** | － | ***14.3*** | きょうだいのうち、長男以外の子が全部相続した |
| **4.8** | － | **－** | きょうだいのうち、長男以外の子が多く相続した |
| **14.3** | － | **－** | その他（具体的　　） |
| **7.1** | － | **－** | 一人っ子の長子が全部相続した |
| **33.3** | － | ***57.1*** | どの子どもも遺産を全く相続しなかった →（5ページの問5へ） |
| **2.4** | － | **－** | NA |

〔問4(6)で「２～７」と答えた方に〕

(7)　遺産を全部または多く相続した子（または子の配偶者）は以下のことをしましたか。

ST=22　1　2　（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 40.9 | － | 50.0 | 亡くなった方と同居していた |
| 27.3 | － | － | 亡くなった方の介護をしていた |
| 9.1 | － | － | 亡くなった方の家事をしていた |
| 13.6 | － | － | 亡くなった方の扶養（経済的援助）をしていた |
| 18.2 | 100.0 | － | 家業を継いだ |
| 18.2 | － | 50.0 | いずれもしなかった |
| 18.2 | － | － | ＮＡ |

〔全員の方に〕

問５．この１年間（平成19年10月～平成20年９月）にあなた自身に次のような出来事がありましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4.6 | 9.4 | 7.3 | 新たに仕事についた |
| 0.6 | 0.5 | 0.9 | 転勤や単身赴任 |
| 3.8 | 3.1 | 4.7 | 職場または仕事を変えた |
| 3.8 | 4.2 | 9.3 | 仕事をやめた・希望退職 |
| 0.9 | － | 0.3 | 失業（解雇された、退職勧告があった） |
| － | － | 0.3 | 倒産・破産 |
| － | － | － | 大学（院）や専門学校などに入学した |
| 2.4 | 2.1 | 6.7 | 新しく習い事などを始めた |
| 14.5 | 17.7 | 12.2 | ＰＴＡや生協、その他サークル・団体等の役員を引き受けた |
| 1.4 | 2.1 | 3.2 | 手術や長期の療養が必要な重い病気にかかった |
| 1.5 | 0.5 | 1.2 | うつ状態など精神的な問題があった |
| 0.3 | 0.5 | 0.3 | ローンやクレジットなどを含めた消費者トラブルにあった |
| 1.5 | 1.6 | 2.3 | 事故や災害にあった |
| 1.2 | 5.7 | 9.0 | その他特別な出来事があった（具体的に　　） |
| 70.0 | 60.4 | 59.0 | 特別なことは何もなかった →（６ページの問８へ） |
| 11.0 | 0.5 | 0.3 | ＮＡ |

〔問６はこの１年間（平成19年10月～平成20年９月）に手術や長期療養を要するような重い病気や、うつ状態など精神的な問題があった方にお伺いします。それ以外の方は６ページの問７へお進み下さい。〕

問６．(1)　そのことによって生活に大きな変化がありましたか。（○はいくつでも）

ST=19　5　13

| | | | |
|---|---|---|---|
| 15.8 | － | 15.4 | 仕事が続けられなくなってやめたり転職した |
| － | － | 7.7 | 離婚や別居をした |
| － | － | － | 休学や退学をした |
| － | － | 7.7 | 親の家に戻った（同居した） |
| 5.3 | 20.0 | 15.4 | 長期入院となった |
| 47.4 | － | 15.4 | その他（具体的　　） |
| 36.8 | 80.0 | 46.2 | 特に変化はなかった |

(2)　その時のあなたの生活費や療養費は誰が支えていましたか。（○はいくつでも）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 78.9 | 100.0 | 84.6 | 夫の収入や預貯金 | 5.3 | 20.0 | 23.1 | 公的な年金や医療給付、助成金 |
| 42.1 | 40.0 | 30.8 | あなた自身の収入や預貯金 | 5.3 | 20.0 | 7.7 | 民間の保険給付や保険金の解約金 |
| － | － | 7.7 | 親の収入や預貯金 | 5.3 | － | － | 融機関などからの借金 |
| － | － | － | 夫やあなたの資産売却 | － | － | － | 親などからの借金 |
| － | － | － | 親の資産売却 | － | － | 7.7 | その他（具体的に　　） |
| | | | | 5.3 | － | － | ＮＡ |

(3)　療養生活の相談相手は誰でしたか。（○はいくつでも）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 36.8 | 40.0 | 84.6 | 医師など医療、福祉などの専門家 | 63.2 | 40.0 | 38.5 | 友人 |
| － | － | － | 宗教者 | － | － | － | その他（具体的に　　） |
| 42.1 | 40.0 | 76.9 | 親やきょうだい | － | 40.0 | － | 特にいなかった |
| 78.9 | 60.0 | 84.6 | 夫や子ども | 5.3 | － | － | ＮＡ |



〔問７はこの１年間（平成19年10月～平成20年９月）にあなた自身が事故や災害、消費者トラブルにあわれた方に伺います。それ以外の方は問８へお進み下さい。〕

問７．(1)　その事故や災害、消費者トラブルは何でしたか。（○はいくつでも）

ST=12　4　9

| | | | |
|---|---|---|---|
| 83.3 | 75.0 | 88.9 | 交通事故 |
| － | － | － | 火災 |
| 8.3 | － | － | 労働災害 |
| － | － | － | 盗難 |
| 8.3 | － | 11.1 | 商品被害 |
| － | 25.0 | － | クレジットなどの債務返済困難 |
| － | － | － | その他（具体的に　　） |
| 8.3 | － | － | ＮＡ |

(2)　そのことによって生活に大きな変化がありましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| － | － | － | 仕事が続けられなくなってやめたり転職した |
| － | － | － | 離婚や別居をした |
| － | － | － | 休学や退学をした |
| － | － | － | 親の家に戻った（同居した） |
| － | － | － | 資産を失った |
| 8.3 | 25.0 | 11.1 | 賠償金、返済など大きな費用がかかった |
| 41.7 | 50.0 | 22.2 | 精神的に落ち込んだ |
| 8.3 | － | － | その他（具体的に　　） |
| 50.0 | 25.0 | 66.7 | 特に変化はなかった |

(3)　そのためにどのような対処をしましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 8.3 | － | 22.2 | 預貯金を取り崩した |
| － | － | － | 資産を売却した |
| － | － | 11.1 | 親やきょうだいの経済的援助を受けた |
| － | 25.0 | － | 親戚、知人から借金した |
| － | － | － | 金融機関から借金した |
| － | － | － | 公的機関から資金を借りた |
| － | － | － | 民間保険を解約した |
| 41.7 | 25.0 | 33.3 | 民間保険の給付を受けた |
| 8.3 | － | － | 労災保険など社会保険給付を請求した |
| － | － | － | 公的機関や専門機関へ相談した |
| 8.3 | － | － | 親やきょうだいに手助けや相談にのってもらった |
| 8.3 | － | － | 友人の手助けや相談にのってもらった |
| － | － | － | 宗教者に相談した |
| 16.7 | － | － | その他（具体的に　　） |
| 25.0 | 50.0 | 44.4 | 特に何もしていない |

〔全員の方に〕

問８．この１年間に引っ越し(結婚の際の転居も含みます)をしましたか。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4.0 | 12.5 | 12.2 | し　た | 96.0 | 87.5 | 87.8 | しなかった |

問９．それでは、**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に他のご家族に次のような出来事がありましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **7.2** | 2.1 | ***0.9*** | 新たに仕事についた |
| **2.9** | 2.6 | ***1.2*** | 転勤や単身赴任 |
| **4.0** | 4.7 | ***3.8*** | 職場または仕事を変えた |
| **2.0** | 2.1 | ***2.3*** | 仕事をやめた・希望退職 |
| **0.8** | － | ***0.3*** | 失業（解雇された、退職勧告があった） |
| **－** | － | **－** | 倒産・破産 |
| **3.8** | 2.6 | ***2.9*** | 手術や長期の療養が必要な重い病気にかかった |
| **2.0** | 0.5 | ***0.3*** | うつ状態など精神的な問題や登校拒否などがあった |
| **0.3** | － | **－** | ローンやクレジットなどを含めた消費者トラブルにあった |
| **1.5** | 2.6 | ***1.2*** | 事故や災害にあった |
| **27.2** | 15.1 | ***8.7*** | 受験や入学 |
| **2.6** | 1.0 | ***2.3*** | その他特別な出来事があった（具体的に　　） |
| **54.9** | 70.3 | ***78.2*** | 特別なことは何もなかった →（次ページ問１へ） |
| **0.9** | 1.0 | ***0.3*** | ＮＡ |

付問１．その出来事によって、生活に大きな変化がありましたか。（○はいくつでも）

**ST=290**　55　***74***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **43.8** | 36.4 | ***18.9*** | 大きな費用がかかった |
| **8.6** | 14.5 | ***20.3*** | 収入や資産が低下した |
| **5.2** | 9.1 | ***2.7*** | 世話（介護や看病を含む）が大変だった |
| **2.4** | 1.8 | ***5.4*** | 家族内の人間関係がうまくいかなくなった |
| **6.9** | 5.5 | ***10.8*** | あなた自身が精神的に落ち込んだ |
| **0.7** | － | － | 離婚・別居した |
| **3.1** | 7.3 | ***2.7*** | その他（具体的に　　） |
| **41.7** | 40.0 | ***60.8*** | 特に変化はなかった |
| **0.7** | － | ***1.4*** | ＮＡ |

付問２．そのための対処としてどのようなことをしましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **34.8** | 32.7 | ***28.4*** | 預貯金を取り崩した |
| **－** | － | **－** | 資産を売却した |
| **6.6** | 9.1 | ***6.8*** | 親やきょうだいの経済的援助を受けた |
| **－** | － | ***1.4*** | 親戚、知人から借金した |
| **3.8** | 1.8 | ***1.4*** | 金融機関から借金した |
| **2.4** | － | **－** | 公的機関から資金を借りた |
| **1.4** | 1.8 | ***1.4*** | 民間保険を解約した |
| **5.9** | 5.5 | ***9.5*** | 民間保険の給付を受けた |
| **0.7** | 1.8 | ***9.5*** | 労災保険など社会保険給付を請求した |
| **2.8** | 5.5 | ***2.7*** | 公的機関や専門機関へ相談した |
| **7.2** | 5.5 | ***14.9*** | 親やきょうだいに手助けや相談にのってもらった |
| **5.9** | － | ***4.1*** | 友人の手助けや相談にのってもらった |
| **0.3** | 1.8 | **－** | 宗教者に相談した |
| **2.1** | － | ***1.4*** | その他（具体的に　　） |
| **42.8** | 47.3 | ***51.4*** | 特に何もしていない |
| **4.1** | 3.6 | ***6.8*** | ＮＡ |





| ３ | あなたの職業生活についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたは**現在（平成20年９月）**、仕事についていますか。

（仕事には、常勤従業員、パート、アルバイト、嘱託、自営、家族従業などすべて含みます。ただし、学生アルバイトは除きます。）

**67.9** 53.1 ***46.2*** 仕事についている

**0.3** 1.0 ***5.2*** 休職中（仕事から離れているが、元の仕事に戻ることになっている状態）

**0.3** － ***0.3*** 学　生

**30.6** 45.3 ***46.8*** 専業主婦

**0.9** 0.5 ***1.5*** その他の無職

**ST=2**　2　***18***　→（15ページの付問15へ）

付問　休職の理由をお聞かせ下さい。

**－** 100.0 ***77.8*** 育児休業中

**－** － － 介護休業中

**100.0** － **－** 病気休業中

**－** － ***6.7*** その他〔具体的に〕

**－** － ***5.6*** ＮＡ

**ST=448**　104　***177***

問２．あなたは現在、複数の仕事についていますか。

**6.9** 5.8 ***5.1*** 複数の仕事についている

**92.6** 94.2 ***94.9*** 複数の仕事にはついていない

**0.4** － **－** ＮＡ

問３．あなたの現在の職業は何ですか。**主たる**お仕事の内容を**具体的**にご記入の上、○をつけて下さい。お手数ですが、自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書き下さい。

（○は１つだけ）

（**具体的**に　　）

自営者・家族従業者・自由業

| | | | |
|---|---|---|---|
| **0.2** | － | **－** | 農林漁業（自営者） |
| **1.8** | 1.9 | ***1.1*** | 農林漁業（家族従業者） |
| **2.7** | 2.9 | ***2.8*** | 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者） |
| **7.8** | 5.8 | ***8.5*** | 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者） |
| **2.2** | － | ***0.6*** | 自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など） |

勤め

| | | | |
|---|---|---|---|
| **0.7** | 1.0 | **－** | 管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など） |
| **0.2** | 1.9 | ***1.1*** | 専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など） |
| **9.6** | 11.5 | ***11.9*** | 技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など） |
| **5.1** | 3.8 | ***6.2*** | 教　員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など） |
| **23.4** | 26.0 | ***34.5*** | 事務職（一般事務、営業社員、銀行員など） |
| **17.2** | 15.4 | ***13.6*** | 技能・作業職（工員、警察官、電話交換手、データ入力作業者、運転士、配達員、職人など） |
| **28.3** | 27.9 | ***18.6*** | 販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、調理人、ウエイトレス、ホームヘルパーなど） |
| **0.7** | 1.9 | ***1.1*** | 自宅で賃仕事（内職） |

**問４へ**

〔13に○のついた方は17ページへ〕

〔問４～問19までは、問３で答えた**主たる**職業についてお答えください。〕

問４．その勤め先の従業員は**会社全体**で何人くらいですか。
（注　従業員数には臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい）

**ST=445** 102 ***175***

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **15.7** | 20.6 | ***13.1*** | １～４人 | **13.7** | 14.7 | ***9.7*** | 30～99人 | **11.5** | 11.8 | ***14.3*** | 1000人以上 |
| **9.7** | 6.9 | ***8.6*** | ５～９人 | **18.7** | 13.7 | ***18.3*** | 100～499人 | **10.1** | 6.9 | ***13.1*** | 官公庁 |
| **13.0** | 17.6 | ***16.0*** | 10～29人 | **5.6** | 6.9 | ***6.3*** | 500～999人 | **2.0** | 1.0 | ***0.6*** | NA |

問５．その勤め先の業種は次のどれに該当しますか。（派遣社員の方は、派遣元の業種についてお答え下さい）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1.8** | 1.0 | ***1.1*** | 農林業 |
| **0.2** | 1.0 | ***1.1*** | 漁業・水産業 |
| **－** | － | **－** | 鉱業 |
| **3.6** | 2.0 | ***2.9*** | 建設業 |
| **14.2** | 10.8 | ***18.3*** | 製造業（出版、印刷を含む） |
| **29.9** | 28.4 | ***22.9*** | 卸売・小売業（デパート、スーパー、食堂、喫茶店を含む） |
| **4.7** | 7.8 | ***5.1*** | 金融・保険・不動産業 |
| **3.1** | 3.9 | ***6.3*** | 運輸・通信業 |
| **0.4** | － | ***1.1*** | 電気・ガス・水道・熱供給業 |
| **33.0** | 40.2 | ***29.1*** | サービス業（学校、病院、ホテル、映画館、理・美容店、広告代理店、清掃会社を含む） |
| **8.8** | 4.9 | ***11.4*** | 公務 |
| **－** | － | **－** | その他（具体的に　　） |
| **0.2** | － | ***0.6*** | NA |

問６．(1)　あなたの職務は次のどれですか。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **37.5** 40.2 ***51.4*** | **52.6** 52.0 ***40.6*** | **9.7** 7.8 ***8.0*** | **0.2** － **－** |
| 常勤の職員・従業者 | パート・アルバイト | 嘱託・その他 | NA |

(2)　あなたは労働者派遣事務所の派遣社員ですか。

**5.4** 2.9 ***7.4*** 派遣社員　　**91.7** 96.1 ***90.3*** 派遣社員ではない　　**2.9** 1.0 ***2.3*** NA

問７．あなたの仕事の給与は、時給計算ですか、日給計算ですか。

**39.6** 40.2 ***48.0*** 月給　　**0.2** － **－** 週給　　**3.6** 2.0 ***1.1*** 日給　　**50.3** 48.0 ***42.9*** 時給　　**5.6** 9.8 ***6.9*** その他（　　）　　**0.7** － ***1.1*** NA

**ST=177** 41 ***84***

(1)　あなたは月にいくらぐらいこの仕事から収入を得ていますか。
(残業手当を含む、ボーナスを含まない税引き前の収入)

月当たり

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **22** 21 ***20*** | 万 | **1** 3 ***0*** | 千円 | |

**ST=16** 2 ***2***

(2)　日給はいくらですか。

１日当たり

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 万 | **11122** 4800 ***11746*** | 円 | |

**ST=224** 49 ***75*** →(問８へ)

(3)　時給はいくらですか。

１時間当たり

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 万 | **884** 940 ***999*** | 円 | |



問８．実際に勤務する労働時間は通常**週に**どのくらいですか。

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **8.3** | 9.8 | ***6.3*** | 15時間未満 | **9.4** | 11.8 | ***15.4*** | 43～45時間 | **0.2** | 2.9 | ***1.7*** | 60～64時間 |
| **12.6** | 16.7 | ***9.1*** | 15～21時間 | **5.8** | 5.9 | ***3.4*** | 46～48時間 | **1.6** | 2.0 | ***0.6*** | 65時間以上 |
| **30.3** | 25.5 | ***25.1*** | 22～34時間 | **5.6** | 4.9 | ***4.6*** | 49～54時間 | **0.7** | － | ***1.1*** | NA |
| **23.6** | 19.6 | ***30.9*** | 35～42時間 | **1.8** | 1.0 | ***1.7*** | 55～59時間 | | | | |

問９．(1)　給与の支払われている残業時間は**週に**どのくらいですか。

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **31.2** | 26.5 | ***34.9*** | ０時間 | **2.2** | － | ***3.4*** | ６～10時間 | **0.2** | － | ***0.6*** | 21時間以上 |
| **15.3** | 19.6 | ***20.0*** | １～３時間 | **1.8** | 1.0 | ***2.9*** | 11～15時間 | **41.3** | 42.2 | ***32.6*** | 残業というものはない |
| **6.5** | 10.8 | ***4.6*** | ４～５時間 | **0.7** | － | ***0.6*** | 16～20時間 | **0.7** | － | ***0.6*** | NA |

(2)　給与の支払われていない、いわゆるサービス残業は**週に**どのくらいですか。

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **36.4** | 32.4 | ***43.4*** | ０時間 | **1.6** | － | ***2.9*** | ６～10時間 | **0.2** | － | － | 21時間以上 |
| **14.4** | 16.7 | ***10.9*** | １～３時間 | **1.8** | 2.9 | ***1.7*** | 11～15時間 | **39.3** | 41.2 | ***32.6*** | 残業というものはない |
| **4.3** | 4.9 | ***7.4*** | ４～５時間 | **0.9** | 1.0 | － | 16～20時間 | **1.1** | 1.0 | ***1.1*** | NA |

問10．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に実際に勤務したのは何日ですか。

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **1.6** | 4.9 | ***3.4*** | 50日未満 | **9.4** | 1.0 | ***6.9*** | 175～199日 | **8.8** | 4.9 | ***6.9*** | 275～299日 |
| **2.5** | 4.9 | ***12.0*** | 50～99日 | **14.8** | 17.6 | ***12.0*** | 200～224日 | **5.4** | 4.9 | ***3.4*** | 300日以上 |
| **6.7** | 15.7 | ***9.7*** | 100～149日 | **27.2** | 21.6 | ***28.6*** | 225～249日 | **1.6** | 2.9 | ***1.1*** | NA |
| **4.7** | 4.9 | ***4.0*** | 150～174日 | **17.3** | 16.7 | ***12.0*** | 250～274日 | | | | |

問11．現在勤めている会社等の創立時期はいつですか。
（注　公務員の方は創立時期にかかわりなく、「官公庁」に○をして下さい）

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **9.4** | 5.9 | ***8.6*** | 戦　前 | **13.5** | 14.7 | ***12.6*** | 昭和40年代 | **18.9** | 23.5 | ***21.1*** | 平成元年以降 |
| **6.5** | 8.8 | ***8.6*** | 昭和20年代 | **9.7** | 8.8 | ***12.6*** | 昭和50年代 | **10.1** | 7.8 | ***13.1*** | 官公庁 |
| **15.5** | 14.7 | ***11.4*** | 昭和30年代 | **9.9** | 12.7 | ***8.0*** | 昭和60～63年 | **6.5** | 2.9 | ***4.0*** | NA |

付問．それは何年ですか。

平成 [　　] 年

問12．(1)　有給休暇は１年間に何日ありますか。（前年度繰り越し分は除きます）

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **15.1** | 15.7 | ***15.6*** | 日 | **46.5** | 52.0 | ***37.7*** | 有給休暇はない →（問13へ） | **2.0** | 4.9 | ***2.3*** | NA |

(2)　それでは、**平成19年度（平成19年４月～平成20年３月）**に、あなたは合計で何日間有給休暇を取りましたか。

**ST=238** 49 ***109***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **7.8** | 8.8 | ***8.6*** | 日 |
| **8.9** | 10.8 | ***10.1*** | |

問13．あなたの勤めている会社等には「育児休業制度」がありますか。

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **19.8** | 27.5 | ***39.4*** | 会社等に制度があり、自分にも資格がある | **11.7** | 10.8 | ***11.4*** | 会社等に制度はあるが、自分には資格がない | **4.9** | 4.9 | ***5.1*** | 会社等に制度はあるが、自分には資格があるかどうかわからない |
| **32.6** | 30.4 | ***22.9*** | 会社等に制度がない | **30.1** | 26.5 | ***20.6*** | 会社等に制度があるかどうかわからない | **0.9** | － | ***0.6*** | NA |

**ST=162** 44 ***98*** →（問14へ）

付問．あなたの勤めている会社等の中の周りの人で、育児休業を取った人、現在取っている人がいますか。

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **69.8** | 81.8 | ***78.6*** | いる | **29.6** | 18.2 | ***19.4*** | いない | **0.6** | － | ***2.0*** | NA |

問14. あなたの勤めている会社等には「介護休業制度」がありますか。

**16.4** 19.6 ***22.9*** 会社等に制度があり、自分にも資格がある
**4.9** 4.9 ***4.6*** 会社等に制度はあるが、自分には資格がない
**3.6** 2.0 ***5.1*** 会社等に制度はあるが、自分には資格があるかどうかわからない
**33.7** 31.4 ***25.1*** 会社等に制度がない
**40.2** 42.2 ***41.7*** 会社等に制度があるかどうかわからない
**1.1** － ***0.6*** NA

↓ **ST=111** 27 ***57***
→ (問15へ)

付問. あなたの勤めている会社等の中の周りの人で、介護休業を取った人、現在取っている人がいますか。

**28.8** 37.0 ***28.1*** い る
**71.2** 63.0 ***68.4*** いない
**－** － ***3.5*** NA

問15. あなたは雇用保険に加入していますか。

**52.6** 49.0 ***59.4*** 会社の雇用保険に加入している
**－ － －** 船員保険に加入している
**46.1** 50.0 ***40.0*** どれにも加入していない
**1.3** 1.0 ***0.6*** NA

問16. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、業務に係わる知識や技能を学ぶために、会社等から派遣されて研修会や講習会などに出席したことがありますか。

**29.4** 28.4 ***20.6*** あ る
**69.9** 71.6 ***79.4*** な い
**0.7** － － NA

↓ **ST=131** 29 ***36***
→ (問17へ)

付問１. どのような研修会・講習会の内容でしたか。（○はいくつでも）

**62.6** 69.0 ***58.3*** あなたの勤めている会社等が主催した研修会・講習会
**13.7** 17.2 ***22.2*** 地元の団体（商工会議所等）や同業組合などが主催した研修会・講習会
**15.3** 24.1 ***19.4*** 関連企業（機械を購入した企業などを含む）が主催した研修会・講習会
**26.7** 13.8 ***22.2*** 市や県など行政が主催した研修会・講習会
**2.3** － ***5.6*** 大学、専門学校など
**－** － － 留学
**2.3** － ***2.8*** その他（具体的に　　）

付問２. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、すべて合わせて何日ぐらい研修会や講習会に参加しましたか。

**16.0** 3.4 ***13.9*** １日以内
**57.3** 79.3 ***61.1*** ２日～５日
**17.6** 6.9 ***13.9*** ６日～10日
**7.6** 6.9 ***5.6*** 11日～20日
**1.5** － ***2.8*** 21日～30日
**－** 3.4 ***2.8*** １カ月以上

付問３. 研修会や講習会は就業時間内に行われましたか。

**58.8** 55.2 ***66.7*** 就業時間内で行われた
**26.7** 31.0 ***11.1*** 就業時間外で行われた
**13.7** 13.8 ***22.2*** 就業時間内、就業時間外両方で行われた
**0.8** － － NA

問17. あなたがしている仕事を、全くの新人がやれるようになるにはどれくらいの期間がかかりますか。

**8.3** 4.9 ***4.6*** 今日からできる
**13.7** 12.7 ***6.3*** 数日で
**8.3** 5.9 ***5.7*** １～２週間で
**12.6** 13.7 ***15.4*** １カ月
**16.9** 16.7 ***21.1*** ３カ月
**10.1** 11.8 ***13.7*** 半年
**12.6** 16.7 ***14.9*** １年
**7.9** 5.9 ***8.0*** ２～３年
**4.3** 7.8 ***8.0*** ４～５年
**2.5** 2.9 ***1.1*** ６～９年
**2.2** 1.0 ***0.6*** 10年以上
**0.7** － ***0.6*** NA



問18. あなたは、**１年前(昨年９月末)**にも仕事についていましたか。

**94.8** 88.2 ***91.4*** 仕事についていた
**5.2** 11.8 ***8.6*** 仕事についていなかった

↓ **ST=422** 90 ***160***
→ (13ページ付問10へ)

問19. **１年前(昨年９月末)**も現在と同じ会社等に勤めていましたか。

**93.4** 90.0 ***91.9*** 同じ会社
**6.4** 10.0 ***8.1*** 同じでない
**0.2** － － NA

↓ **ST=394** 81 ***147***
→ (次ページの付問４へ)

付問１. あなたの勤め先の従業員数は会社全体で１年前に比べて増えていますか。
（注　公務員の方は「官公庁」に○をしてください）

**0.5** － ***1.4*** ３割以上増えた
**8.1** 11.1 ***10.9*** １～２割増えた
**67.3** 74.1 ***59.2*** 変わらない
**11.7** 6.2 ***11.6*** １～２割減った
**0.5** － － ３割以上減った
**10.7** 8.6 ***15.0*** 官公庁
**1.3** － ***2.0*** NA

付問２. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなたに次のような配置転換がありましたか。

**－** － ***0.7*** ご自身の転居を伴う事業所間移動
**2.0** 4.9 ***6.1*** ご自身の転居を伴わない事業所間移動
**4.3** 3.7 ***4.8*** 同一事業所内の別の部署
**91.4** 91.4 ***85.7*** 配置転換はなかった
**2.3** － ***2.7*** NA

付問３. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**にあなたの仕事の内容に変化がありましたか。

**85.3** 84.0 ***84.4*** 変化はない
**13.5** 16.0 ***13.6*** 変化があった
**1.3** － ***2.0*** NA

→ (17ページへ)

〔問19で「２　同じでない」と答えた方に〕**ST=27**　9　***13***

付問４．**１年前（昨年９月末）**の会社等から変わったのは、次のどれにあたりますか。

| **85.2** 77.8 ***84.6*** | **－** － ***7.7*** | **－** － **－** | **3.7** － **－** | **3.7** － **－** |
|---|---|---|---|---|
| 転　職 | 出　向 | 転　籍 | 合併・分社 | ＮＡ |

→（17ページへ）

付問５．**１年前（昨年９月末）**の会社等をやめたのはいつですか。

□□月

付問６．どのような理由で、あなたは**１年前（昨年９月末）**の会社等をやめたのですか。

**ST=26**　9　***12***　（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **7.7** | － | ***8.3*** | 人員整理・会社解散・倒産のため |
| **－** | － | ***8.3*** | 一時的・不安定な仕事だったから |
| **30.8** | 33.3 | ***25.0*** | 労働条件（収入、時間）が悪かったため |
| **30.8** | 33.3 | ***41.7*** | 仕事の内容に不満があったため |
| **3.8** | 11.1 | **－** | 家族の就職・転職・転勤及び事業所の移転のため |
| **－** | － | ***25.0*** | 結婚のため |
| **－** | － | **－** | 妊娠・出産・育児のため |
| **－** | － | **－** | 自分が病気になったから |
| **－** | － | **－** | 家族の介護のため |
| **23.1** | 11.1 | ***16.7*** | 良い条件の仕事が見つかったから・独立したから |
| **15.4** | 22.2 | ***8.3*** | 人間関係が気まずくなったから |
| **7.7** | **－** | **－** | 解雇された |
| **－** | － | **－** | 大学や専門学校などでの勉強や留学準備のため |
| **7.7** | － | ***8.3*** | 定年又は雇用契約の満了 |
| **11.5** | 11.1 | ***8.3*** | その他（具体的に　　）**11.5**　22.2　***8.3***　ＮＡ |

付問７．やめた時、雇用保険の失業給付を受給しましたか。

**ST=26**　9　***12***

**7.7**　－　***8.3***　受給した→ **3.0** － ***3.0*** カ月　　**ST=2**　－　***1***

**34.6** 33.3 ***50.0***　受給しなかった

**46.2** 33.3 ***33.3***　雇用保険には入っていなかった　　**11.5** 33.3 ***8.3*** ＮＡ

付問８．仕事をやめたり、中断して、収入がなくなった時、どのように対処しましたか。

**ST=26**　9　***12***　（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **23.1** | 22.2 | ***25.0*** | 夫や親の収入で生活はやっていけた |
| **65.4** | 55.6 | ***66.7*** | すぐ次の仕事についた |
| **－** | － | **－** | 退職金や保険給付で当座はやっていけた |
| **3.8** | 22.2 | ***16.7*** | 預貯金の取り崩しをした |
| **－** | － | **－** | 借金やカードで買い物をした |
| **－** | － | **－** | その他（具体的に　　） |
| **11.5** | 22.2 | ***8.3*** | ＮＡ |



付問９．やめたり、仕事を変えたことについて、どう思っていますか。（○は１つだけ）

**ST=26**　9　***12***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **57.7** | 66.7 | ***50.0*** | よかったと思っている |
| **30.8** | 11.1 | ***41.7*** | 仕方がなかったと思っている |
| **－** | － | **－** | 後悔している |
| **－** | － | **－** | その他（具体的に　　）**11.5**　22.2　***8.3***　ＮＡ |

付問10．なぜ、あなたは現在の会社等を選びましたか。（○はいくつでも）

**ST=49**　21　***27***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **30.6** | 9.5 | ***22.2*** | 給与がよい |
| **26.5** | 38.1 | ***25.9*** | 休日、休暇が多い |
| **22.4** | 28.6 | ***48.1*** | 拘束時間が少ない、労働時間が自由になる |
| **44.9** | 47.6 | ***51.9*** | 家に近い、通勤距離が短い |
| **－** | 4.8 | **－** | 転勤がない、少ない |
| **12.2** | 4.8 | ***3.7*** | 安定している、失業のおそれがない |
| **4.1** | 4.8 | ***7.4*** | 将来発展する可能性がある |
| **－** | － | ***11.1*** | 結婚・出産後も続けやすい |
| **2.0** | 14.3 | ***7.4*** | 技術が身につく |
| **18.4** | 19.0 | ***11.1*** | 能力が生かせる |
| **20.4** | 19.0 | ***22.2*** | 仕事内容に興味がある |
| **8.2** | 4.8 | ***22.2*** | その他（具体的に　　）**14.3**　9.5　***3.7***　ＮＡ |

付問11．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、何ヵ月勤めましたか。（**１年前の会社、現在の会社**を含めて下さい。また、**短期のアルバイト**や**パート**なども含めて下さい）

**9.3**　7.4　***7.6***　カ月

付問12．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、何ヵ月職探しをしましたか。

**2.1**　1.5　***1.9***　カ月

**30.6** 38.1 ***44.4***　この１年間に職探しをしなかった

**14.3** 9.5 ***7.4*** ＮＡ

付問13．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**にいくつの会社等に勤めましたか。（**１年前の会社、現在の会社**を含めて下さい。また、**短期のアルバイト**や**パート**なども含めて下さい）

**2.1**　1.4　***1.5***　社

付問14．現在の会社に就職したのはいつですか。

□□月

→（17ページへ）

〔問１で「３　学生」「４　専業主婦」「５　その他の無職」と答えた方に〕

付問15.　１年前（昨年９月末）には仕事についていましたか。

**ST=209**　88　***167***

**14.8** 11.4 ***16.2***　仕事についていた　→ **ST=31**　10　***27***

**85.2** 88.6 ***83.8***　ついていない　→（次ページの付問21へ）

付問16.　１年前（昨年９月末）の会社等をやめたのはいつですか。

□□月

付問17.　どのような理由で、あなたは１年前（昨年９月末）の会社等をやめたのですか。

（○はいくつでも）

**12.9**　－　***3.7***　人員整理・会社解散・倒産のため
**9.7**　10.0　***3.7***　一時的・不安定な仕事だったから
**19.4**　20.0　***18.5***　労働条件（収入、時間）が悪かったため
**9.7**　20.0　***14.8***　仕事の内容に不満があったため
**12.9**　－　***3.7***　家族の就職・転職・転勤及び事業所の移転のため
**－**　－　**－**　結婚のため
**6.5**　10.0　***63.0***　妊娠・出産・育児のため
**9.7**　10.0　***3.7***　自分が病気になったから
**12.9**　－　**－**　家族の介護のため
**－**　－　**－**　良い条件の仕事が見つかったから・独立したから
**－**　20.0　***11.1***　人間関係が気まずくなったから
**6.5**　－　**－**　解雇された
**－**　－　**－**　大学や専門学校などでの勉強や留学準備のため
**－**　－　***11.1***　定年又は雇用契約の満了
**9.7**　10.0　***11.1***　その他（具体的に　　）**12.9** 30.0　**－**　ＮＡ

付問18.　やめた時、雇用保険の失業給付を受給しましたか。

**ST=1**　1　***4***

**3.2** 10.0 ***14.8***　受給した→ **3.0** / 3.0 / ***4.5***　カ月

**32.3** 20.0 ***33.3***　受給しなかった
**41.9** 30.0 ***44.4***　雇用保険には入っていなかった
**22.6** 40.0　***7.4***　ＮＡ

付問19.　やめた時、収入がなくなったこと、またはその中断にどのように対処しましたか。

（○はいくつでも）

**64.5** 40.0 ***85.2***　夫や親の収入で生活はやっていけた
**9.7**　－　***14.8***　退職金や保険給付で当座はやっていけた
**25.8** 10.0 ***11.1***　預貯金の取り崩しをした
**－**　－　－　借金やカードで買い物をした
**－** 10.0　***3.7***　その他（具体的に　　）
**16.1** 40.0　**－**　ＮＡ



付問20.　やめたり、仕事を変えたことについて、どう思っていますか。（○は１つだけ）

**22.6** 50.0 ***37.0***　よかったと思っている
**54.8** 20.0 ***63.0***　仕方がなかったと思っている
**6.5**　－　**－**　後悔している
**－**　－　**－**　その他（具体的に　　）**16.1** 30.0　**－**　ＮＡ

付問21.　この１年間（平成19年10月～平成20年９月）に、何ヵ月勤めましたか。

**ST=209**　88　***167***

**7.2** / 7.9 / ***5.5***　カ月

**82.8** 86.4 ***81.4***　まったく勤めなかった→（付問23へ）
**4.3**　5.7　***0.6***　ＮＡ

付問22.　この１年間（平成19年10月～平成20年９月）にいくつの会社等に勤めましたか。（**１年前の会社**を含めて下さい。また、**短期のアルバイト**や**パート**なども含めて下さい）

**ST=36**　12　***31***

**1.1** 1.4 ***1.1***　社

付問23.　あなたは将来仕事につくことを考えていますか。

**ST=209**　88　***167***

**13.4** 11.4 ***12.6***　すぐにでも仕事をしたい
**10.0** 13.6 ***16.2***　２～３年後には仕事をしたい
**30.6** 43.2 ***49.1***　将来的には仕事をしたい
→ **ST=113**　60　***130***

**45.5** 30.7 ***21.6***　考えていない　→（次ページへ）
**0.5** 1.1 ***0.6***　ＮＡ

付問24.　そのために何らかの活動をしていますか。（○はいくつでも）

**7.1** 11.7 ***7.7***　具体的な求職活動をしている
**22.1** 15.0 ***9.2***　そろそろ具体的な求職活動をしようと思っている
**1.8**　1.7　***1.5***　職業訓練を受けている
**0.9**　1.7　***0.8***　そろそろ職業訓練を受けようと思っている
**69.0** 70.0 ***80.0***　漠然と考えているだけ　**－**　－　***0.8***　ＮＡ

付問25.　この１年間（平成19年10月～平成20年９月）にどれくらいの期間求職活動をなさっていますか。

**ST=8**　7　***10***

**3.3** / 2.9 / ***2.8***　カ月

（次ページへ）

| 4 | あなたのご主人の職業生活についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたのご主人は**現在（平成20年９月）**、仕事についていますか。

（仕事には、常勤従業員、パート、アルバイト、嘱託、自営、家族従業などすべて含みます。ただし、学生アルバイトは除きます。）

**99.2** 97.9 ***98.3*** 仕事についている

**0.3** － － 休職中（仕事から離れているが元の仕事に戻ることになっている状態）

↓ **ST=2** － －

**－** － － 学　生

**0.5** 2.1 ***1.7*** その他の無職

→（23ページの付問15へ）

付問　休職の理由をお聞かせ下さい。

**－** － － 育児休業中　　**－** － － 介護休業中　　**100.0** － － 病気休業中

**－** － － その他〔具体的に〕（　　）

問２．あなたのご主人は現在、複数の仕事についていますか。

**ST=654** 188 ***338***

**2.4** 1.6 ***2.4*** 複数の仕事についている　　**97.1** 97.9 ***96.4*** 複数の仕事にはついていない

**0.5** 0.5 ***1.2*** ＮＡ

問３．ご主人の現在の職業は何ですか。**主たる**お仕事の内容を**具体的**にご記入の上、○をつけて下さい。お手数ですが、自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書き下さい。

（○は１つだけ）

**具体的**に（　　）

自営者・家族従業者・自由業

**1.1** 1.1 ***0.6*** 農林漁業（自営者）

**0.2** 0.5 ***0.3*** 農林漁業（家族従業者）

**13.6** 9.0 ***6.2*** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者）

**1.5** 2.1 ***3.3*** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者）

**1.2** 2.1 ***1.2*** 自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など）

勤め

**11.6** 3.7 ***2.7*** 管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など）

**0.6** 1.1 ***1.5*** 専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など）

**11.0** 16.5 ***19.2*** 技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など）

**2.1** 1.6 ***2.7*** 教員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など）

**19.1** 19.1 ***21.6*** 事務職（一般事務、営業社員、銀行員など）

**28.9** 33.5 ***31.7*** 技能・作業職（工員、警察官、運転士、配達員、職人など）

**8.9** 9.6 ***8.9*** 販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、調理人、ウエイター、ホームヘルパーなど）

**－** － － 自宅で賃仕事（内職）　　**－** － ***0.3*** ＮＡ

〔13に○のついた方は25ページへ〕

**ST=654** 188 ***337***

〔問４～問16までは、問３で答えた**主たる**職業についてお答えください。〕

問４．その勤め先の従業員は**会社全体**で何人くらいですか。

（注　従業員数には臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい）

**17.6** 16.0 ***10.4*** １～４人　　**12.8** 13.3 ***15.1*** 30～99人　　**17.6** 16.5 ***17.8*** 1000人以上

**6.7** 5.9 ***8.6*** ５～９人　　**17.1** 17.6 ***18.1*** 100～499人　　**9.0** 5.9 ***10.4*** 官公庁

**10.6** 13.3 ***11.0*** 10～29人　　**7.3** 10.6 ***8.6*** 500～999人　　**1.2** 1.1 **－** ＮＡ



問５．その勤め先の業種は次のどれに該当しますか。（派遣社員の方は、派遣元の業種についてお答え下さい）

**1.5** 1.1 ***0.9*** 農林業

**0.3** 1.1 **－** 漁業・水産業

**0.2** － ***0.6*** 鉱業

**15.4** 17.0 ***15.4*** 建設業

**25.4** 24.5 ***25.8*** 製造業（出版、印刷を含む）

**17.1** 16.0 ***11.6*** 卸売・小売業（デパート、スーパー、食堂、喫茶店を含む）

**4.6** 6.4 ***4.5*** 金融・保険・不動産業

**8.6** 9.6 ***10.1*** 運輸・通信業

**1.1** 1.6 ***3.0*** 電気・ガス・水道・熱供給業

**17.3** 17.6 ***19.0*** サービス業（学校、病院、ホテル、映画館、理・美容店、広告代理店、清掃会社を含む）

**8.4** 5.3 ***8.9*** 公務

**－** － ***0.3*** その他（具体的に　　）　　**0.2** － － ＮＡ

問６．(1)　ご主人の職務は次のどれですか。

**92.8** 93.1 ***95.8*** 常勤の職員・従業者

**0.9** 1.1 ***0.6*** パート・アルバイト

**5.7** 5.9 ***3.6*** 嘱託・その他

**0.6** － － ＮＡ

(2)　ご主人は労働者派遣事務所の派遣社員ですか。

**0.5** 1.1 ***1.2*** 派遣社員　　**97.6** 97.3 ***97.9*** 派遣社員ではない　　**2.0** 1.6 ***0.9*** ＮＡ

問７．ご主人のお仕事の給与は、時給計算ですか、日給計算ですか。

**83.2** 84.6 ***86.1*** 月給　　**－** － － 週給

**5.7** 8.5 ***7.1*** 日給

**2.0** － ***1.5*** 時給

**8.1** 5.9 ***5.0*** その他（　　）

**1.1** 1.1 ***0.3*** ＮＡ

**ST=544** 159 ***290***

(1)　ご主人は月にいくらぐらいこの仕事から収入を得ていますか。（残業手当を含む、ボーナスを含まない税引き前の収入）

月当たり

| 百 | 十 | 一 | |
|---|---|---|---|
| **41** | | **9** | 千円 |
| 36 | | 3 | |
| ***33*** | | ***6*** | |

万

**ST=37** 16 ***24***

(2)　日給はいくらですか。

１日当たり

| 千 | 百 | 十 | 一 | |
|---|---|---|---|---|
| **1** | **4391** | | | 円 |
| 1 | 3520 | | | |
| ***1*** | ***0892*** | | | |

万

**ST=13** － ***5*** →（問８へ）

(3)　時給はいくらですか。

１時間当たり

| 千 | 百 | 十 | 一 | |
|---|---|---|---|---|
| | **1436** | | | 円 |
| | － | | | |
| | ***1084*** | | | |

万

問８．実際に勤務する労働時間は通常**週に**どのくらいですか。

**1.4** 0.5 ***0.9*** 15時間未満

**1.1** 0.5 ***1.8*** 15～21時間

**2.8** 1.1 ***0.9*** 22～34時間

**12.4** 12.8 ***10.4*** 35～42時間

**14.1** 16.0 ***9.2*** 43～45時間

**12.8** 14.9 ***10.1*** 46～48時間

**21.1** 20.2 ***22.6*** 49～54時間

**9.8** 9.6 ***14.2*** 55～59時間以上

**9.2** 13.3 ***12.5*** 60～64時間

**14.4** 10.1 ***16.6*** 65時間

**1.1** 1.1 ***0.9*** ＮＡ

問９．(1)　給与の支払われている残業時間は**週に**どのくらいですか。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **37.2** | 26.6 | ***23.4*** | ０時間 | **7.5** | 12.8 | ***13.1*** | ６～10時間 | **1.4** | 1.6 | ***4.2*** | 21時間以上 |
| **10.6** | 14.4 | ***11.0*** | １～３時間 | **4.6** | 5.9 | ***7.4*** | 11～15時間 | **26.8** | 19.7 | ***21.7*** | 残業というものはない |
| **8.6** | 14.4 | ***12.5*** | ４～５時間 | **2.3** | 4.3 | ***5.3*** | 16～20時間 | **1.2** | 0.5 | ***1.5*** | ＮＡ |

(2)　給与の支払われていない、いわゆるサービス残業は**週に**どのくらいですか。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **25.7** | 31.9 | ***34.1*** | ０時間 | **12.4** | 9.6 | ***10.4*** | ６～10時間 | **4.6** | 3.2 | ***5.9*** | 21時間以上 |
| **8.0** | 9.6 | ***8.6*** | １～３時間 | **7.5** | 8.5 | ***6.5*** | 11～15時間 | **26.0** | 21.3 | ***21.4*** | 残業というものはない |
| **8.7** | 12.8 | ***8.3*** | ４～５時間 | **6.0** | 2.7 | ***3.3*** | 16～20時間 | **1.2** | 0.5 | ***1.5*** | ＮＡ |

問10.　**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に実際に勤務したのは何日ですか。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **0.8** | － | ***0.3*** | 50日未満 | **1.4** | 1.6 | ***1.2*** | 175～199日 | **18.0** | 18.6 | ***17.8*** | 275～299日 |
| **0.5** | － | ***0.3*** | 50～99日 | **9.3** | 5.3 | ***7.1*** | 200～224日 | **13.8** | 11.2 | ***12.5*** | 300日以上 |
| **1.2** | 1.1 | ***1.5*** | 100～149日 | **24.3** | 34.0 | ***29.1*** | 225～249日 | | | | |
| **0.9** | 1.6 | ***1.2*** | 150～174日 | **28.3** | 25.5 | ***27.0*** | 250～274日 | **1.5** | 1.1 | ***2.1*** | ＮＡ |

問11.　現在勤めている会社等の創立時期はいつですか。
（注　公務員の方は創立時期にかかわりなく、「官公庁」に○をして下さい）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **10.4** | 10.6 | ***9.2*** | 戦　前 | **11.0** | 11.7 | ***14.8*** | 昭和50年代 |
| **9.6** | 10.1 | ***11.3*** | 昭和20年代 | **8.6** | 9.6 | ***8.3*** | 昭和60～63年 |
| **15.6** | 12.8 | ***11.9*** | 昭和30年代 | **14.8** | 20.2 | ***15.7*** | 平成元年以降 |
| **16.1** | 15.4 | ***13.6*** | 昭和40年代 | **9.2** | 5.9 | ***10.1*** | 官公庁 |

**4.7** 3.7 ***5.0*** ＮＡ

付問．それは何年ですか。

平成 [　　] 年

問12.(1)　ご主人の有給休暇は１年間に何日ありますか。（前年度繰り越し分は除きます）

**20.1**
18.6
***18.0***
日

**34.3** 29.3 ***29.7*** 有給休暇はない→（問13へ）
**4.3** 2.7 ***2.7*** ＮＡ

(2)　それでは、**平成19年度（平成19年４月～平成20年３月）**に、ご主人は合計で何日間有給休暇を取りましたか。

**ST=430**　133　***237***

| | | |
|---|---|---|
| **6.1** | 7.2 | ***6.3*** |
| **7.6** | 8.2 | ***7.9*** |

日



問13.　ご主人は雇用保険に加入していますか。

| | | |
|---|---|---|
| **75.4** 83.5 ***85.2*** | **0.5** － － | **22.2** 16.0 ***14.2*** |
| 会社の雇用保険に加入している | 船員保険に加入している | どれにも加入していない |
| | | **2.0** 0.5 ***0.6*** ＮＡ |

問14.　ご主人がしている仕事を、全くの新人がやれるようになるにはどれくらいの期間がかかりますか。

| | | |
|---|---|---|
| **1.1** 0.5 ***0.9*** | **7.6** 9.6 ***11.3*** | **13.6** 15.4 ***16.3*** |
| 今日からできる | ３カ月 | ４～５年 |
| **3.7** 3.2 ***2.7*** | **9.8** 11.7 ***11.6*** | **4.6** 6.4 ***5.6*** |
| 数日で | 半年 | ６～９年 |
| **2.4** 2.1 ***0.9*** | **11.6** 13.3 ***13.4*** | **17.1** 15.4 ***8.6*** |
| １～２週間で | １年 | 10年以上 |
| **8.0** 3.2 ***6.2*** | **18.2** 18.1 ***20.8*** | **2.3** 1.1 ***1.8*** |
| １カ月 | ２～３年 | ＮＡ |

問15.　ご主人は、**１年前（昨年９月末）**にも仕事についていましたか。

**99.5** 98.9 ***99.7***
仕事についていた
↓ **ST=651** 186 ***336***

**0.5** 1.1 ***0.3***
仕事についていなかった
→（22ページの付問10へ）

問16.　**１年前（昨年９月末）**も現在と同じ会社等に勤めていましたか。

**95.4** 94.1 ***94.3***
同じ会社
↓ **ST=621** 175 ***317***

**4.3** 5.9 ***5.7***
同じでない
→（次ページの付問４へ）

**0.3** － －
ＮＡ

付問１．ご主人の勤め先の従業員数は会社全体で１年前に比べて増えていますか。
（注　公務員の方は「官公庁」に○をしてください）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **0.3** － ***0.3*** | **6.3** 6.9 ***8.2*** | **70.5** 74.3 ***68.8*** | **12.4** 9.1 ***9.5*** | **0.5** 1.1 ***0.3*** | **9.2** 6.3 ***10.7*** |
| ３割以上増えた | １～２割増えた | 変わらない | １～２割減った | ３割以上減った | 官公庁 |

**0.8** 2.3 ***2.2*** ＮＡ

付問２．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、ご主人に次のような配置転換がありましたか。

**2.4** 1.7 ***1.6*** ご主人の転居を伴う事業所間移動
**4.2** 6.3 ***2.8*** ご主人の転居を伴わない事業所間移動
**2.4** 8.0 ***3.5*** 同一事業所内の別の部署
**89.7** 82.9 ***90.5*** 配置転換はなかった
**1.3** 1.1 ***1.6*** ＮＡ

付問３．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**にご主人の仕事の内容に変化がありましたか。

| | | |
|---|---|---|
| **89.9** 81.7 ***84.5*** | **9.8** 17.1 ***14.8*** | **0.3** 1.1 ***0.6*** |
| 変化はない | 変化があった | ＮＡ |

→（25ページへ）

〔問16で「２　同じでない」と答えた方に〕

付問４．１年前（昨年９月末）の会社等から変わったのは、次のどれにあたりますか。

**ST=28**　11　***19***

**78.6** 90.9 ***68.4*** 転　職　　**10.7** － － 出　向　　**7.1** － ***10.5*** 転　籍　　**3.6** － ***15.8*** 合併・分社　　－ － ***5.3*** ＮＡ

(25ページへ)

付問５．１年前（昨年９月末）の会社等をやめたのはいつですか。

□□ 月

付問６．どのような理由で、ご主人は１年前（昨年９月末）の会社等をやめたのですか。

（○はいくつでも）

**ST=22**　11　***14***

**22.7** 9.1　－　人員整理・会社解散・倒産のため
**13.6** 9.1 ***14.3*** 一時的・不安定な仕事だったから
**36.4** 45.5 ***28.6*** 労働条件（収入、時間）が悪かったため
**18.2** 27.3 ***57.1*** 仕事の内容に不満があったため
－　－　－　家族の就職・転職・転勤及び事業所の移転のため
－　－　－　結婚のため
－　－ ***7.1*** 出産・育児のため
**4.5**　－　－　自分が病気になったから
**4.5**　－　－　家族の介護のため
－ 27.3 ***21.4*** 良い条件の仕事が見つかったから・独立したから
**9.1** 18.2 ***14.3*** 人間関係が気まずくなったから
**27.3**　－　－　解雇された
－　－　－　大学や専門学校などでの勉強や留学準備のため
**4.5**　－ ***7.1*** 定年又は雇用契約の満了
**4.5**　－ ***14.3*** その他（具体的に　　）
－ 9.1 ***7.1*** ＮＡ

付問７．やめた時、雇用保険の失業給付を受給しましたか。

**18.2** 9.1　－　受給した　→ **2.8** / 1.0 / － カ月　**ST=4**　1　－
**59.1** 54.5 ***78.6***　受給しなかった
**22.7** 27.3 ***14.3***　雇用保険には入っていなかった　－ 9.1 ***7.1*** ＮＡ

付問８．仕事をやめたり、中断して、収入がなくなった時、どのように対処しましたか。

（○はいくつでも）

**ST=22**　11　***14***

**31.8** 18.2 ***7.1*** 妻や親の収入で生活はやっていけた
**45.5** 54.5 ***64.3*** すぐ次の仕事についた
**18.2** 9.1　－　退職金や保険給付で当座はやっていけた
**45.5** 36.4 ***35.7*** 預貯金の取り崩しをした
－　－　－　借金やカードで買い物をした
－　－ ***7.1*** その他（具体的に　　）－ 9.1 ***7.1*** ＮＡ



付問９．やめたり、仕事を変えたことについて、どう思っていますか。（○は１つだけ）

**ST=22**　11　***14***

**27.3** 54.5 ***50.0*** よかったと思っている
**72.7** 36.4 ***35.7*** 仕方がなかったと思っている
－　－　－　後悔している
－　－ ***7.1*** その他（具体的に　　）－ 9.1 ***7.1*** ＮＡ

付問10．なぜ、ご主人は現在の会社等を選びましたか。（○はいくつでも）

**ST=25**　13　***15***

**20.0** 23.1 ***13.3*** 給与がよい
**4.0** 15.4 ***6.7*** 休日、休暇が多いく
**4.0** 15.4　－　拘束時間が少ない、労働時間が自由になる
**28.0** 23.1 ***26.7*** 家に近い、通勤距離が短い
**12.0** 7.7 ***20.0*** 転勤がない、少ない
**20.0** 7.7 ***13.3*** 安定している、失業のおそれがない
**20.0** 53.8 ***20.0*** 将来発展する可能性がある
**8.0** 30.8 ***40.0*** 技術が身につく
**12.0** 38.5 ***40.0*** 能力が生かせる
**16.0** 38.5 ***40.0*** 仕事内容に興味がある
**12.0**　－ ***6.7*** その他（具体的に　　）
**4.0** 7.7　－　ＮＡ

付問11．この１年間（平成19年10月～平成20年９月）に、何ヵ月勤めましたか。（**１年前の会社**、**現在の会社**を含めて下さい。また、**短期のアルバイト**や**パート**なども含めて下さい）

**ST=25**　13　***15***

**9.9** 11.0 ***10.8*** カ月

付問12．この１年間（平成19年10月～平成20年９月）に、何ヵ月職探しをしましたか。

**ST=25**　13　***15***

**3.1** 2.6 ***1.4*** カ月　**16.0** 7.7 ***40.0*** この１年間に職探しをしなかった
**12.0** 7.7　－　ＮＡ

付問13．この１年間（平成19年10月～平成20年９月）にいくつの会社等に勤めましたか。（**１年前の会社**、**現在の会社**を含めて下さい。また、**短期のアルバイト**や**パート**なども含めて下さい）

**ST=25**　13　***15***

**2.3** 2.2 ***1.9*** 社

付問14．現在の会社等に就職したのはいつですか。

□□ 月

(25ページへ)

〔問１で「３　学生」「４　その他の無職」と答えた方に〕

付問15.　**１年前（昨年９月末）**には仕事についていましたか。

**ST=3**　4　***6***

**33.3** 25.0 ***100.0***
仕事についていた

**66.7** 75.0 **－**
ついていない → （次ページの付問21へ）

付問16.　**１年前（昨年９月末）**の会社等をやめたのはいつですか。

□□ 月

付問17.　どのような理由で、ご主人は**１年前（昨年９月末）**の会社等をやめたのですか。
（○はいくつでも）

**ST=1**　1　***6***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **－** | － | **－** | 人員整理・会社解散・倒産のため |
| **－** | － | **－** | 一時的・不安定な仕事だったから |
| **100.0** | － | ***50.0*** | 労働条件（収入、時間）が悪かったため |
| **－** | 100.0 | ***50.0*** | 仕事の内容に不満があったため |
| **－** | － | **－** | 家族の就職・転職・転勤及び事業所の移転のため |
| **－** | － | **－** | 結婚のため |
| **－** | － | **－** | 出産・育児のため |
| **－** | － | ***16.7*** | 自分が病気になったから |
| **－** | － | **－** | 家族の介護のため |
| **－** | － | ***16.7*** | 良い条件の仕事が見つかったから・独立したから |
| **－** | － | **－** | 人間関係が気まずくなったから |
| **－** | － | ***16.7*** | 解雇された |
| **－** | － | **－** | 大学や専門学校などでの勉強や留学準備のため |
| **－** | － | **－** | 定年又は雇用契約の満了 |
| **－** | － | ***16.7*** | その他（具体的に　　） |

付問18.　やめた時、雇用保険の失業給付を受給しましたか。

**100.0** － ***83.3***
受給した ⟶ **4.0** － ***3.3*** カ月

**ST=1**　－　***5***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **－** | － | ***16.7*** | 受給しなかった |
| **－** | 100.0 | **－** | 雇用保険には入っていなかった |

付問19.　やめた時、収入がなくなったこと、またはその中断にどのように対処しましたか。
（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **－** | 100.0 | ***16.7*** | 妻や親の収入で生活はやっていけた |
| **100.0** | － | ***50.0*** | 退職金や保険給付で当座はやっていけた |
| **100.0** | － | ***50.0*** | 預貯金の取り崩しをした |
| **－** | － | **－** | 借金やカードで買い物をした |
| **－** | － | **－** | その他（具体的に　　） |
| **－** | － | **－** | ＮＡ |



付問20.　やめたり、仕事を変えたことについて、どう思っていますか。（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **－** | － | ***66.7*** | よかったと思っている |
| **100.0** | 100.0 | ***33.3*** | 仕方がなかったと思っている |
| **－** | － | **－** | 後悔している |
| **－** | － | **－** | その他（具体的に　　） |

付問21.　**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、何ヵ月勤めましたか。

**ST=3**　4　***6***

**8.0**
10.0
***9.0*** カ月

**66.7** 50.0 **－** まったく勤めなかった→（付問23へ）

付問22.　**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**にいくつの会社等に勤めましたか。（**１年前の会社**を含めて下さい。また、**短期のアルバイト**や**パート**なども含めて下さい）

**ST=1**　2　***6***

**1.0**
1.0
***1.0*** 社

付問23.　ご主人は将来仕事につくことを考えていますか。

**ST= 3**　4　6

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **100.0** 50.0 ***66.7*** | **－** 25.0 **－** | **－** － **－** | **－** 25.0 ***16.7*** | **－** － ***16.7*** |
| すぐにでも仕事をしたい | ２～３年後には仕事をしたい | 将来的には仕事をしたい | 考えていない → （次ページへ） | ＮＡ |

付問24.　そのために何らかの活動をしていますか。（○はいくつでも）

**ST=3**　3　***4***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **33.3** | － | ***100.0*** | 具体的な求職活動をしている |
| **33.3** | 33.3 | **－** | そろそろ具体的な求職活動をしようと思っている |
| **－** | － | **－** | 職業訓練を受けている |
| **33.3** | － | **－** | そろそろ職業訓練を受けようと思っている |
| **－** | 66.7 | **－** | 漠然と考えているだけ |

付問25.　**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**にどれくらいの期間求職活動をなさっていますか。

**ST=1**　－　***4***

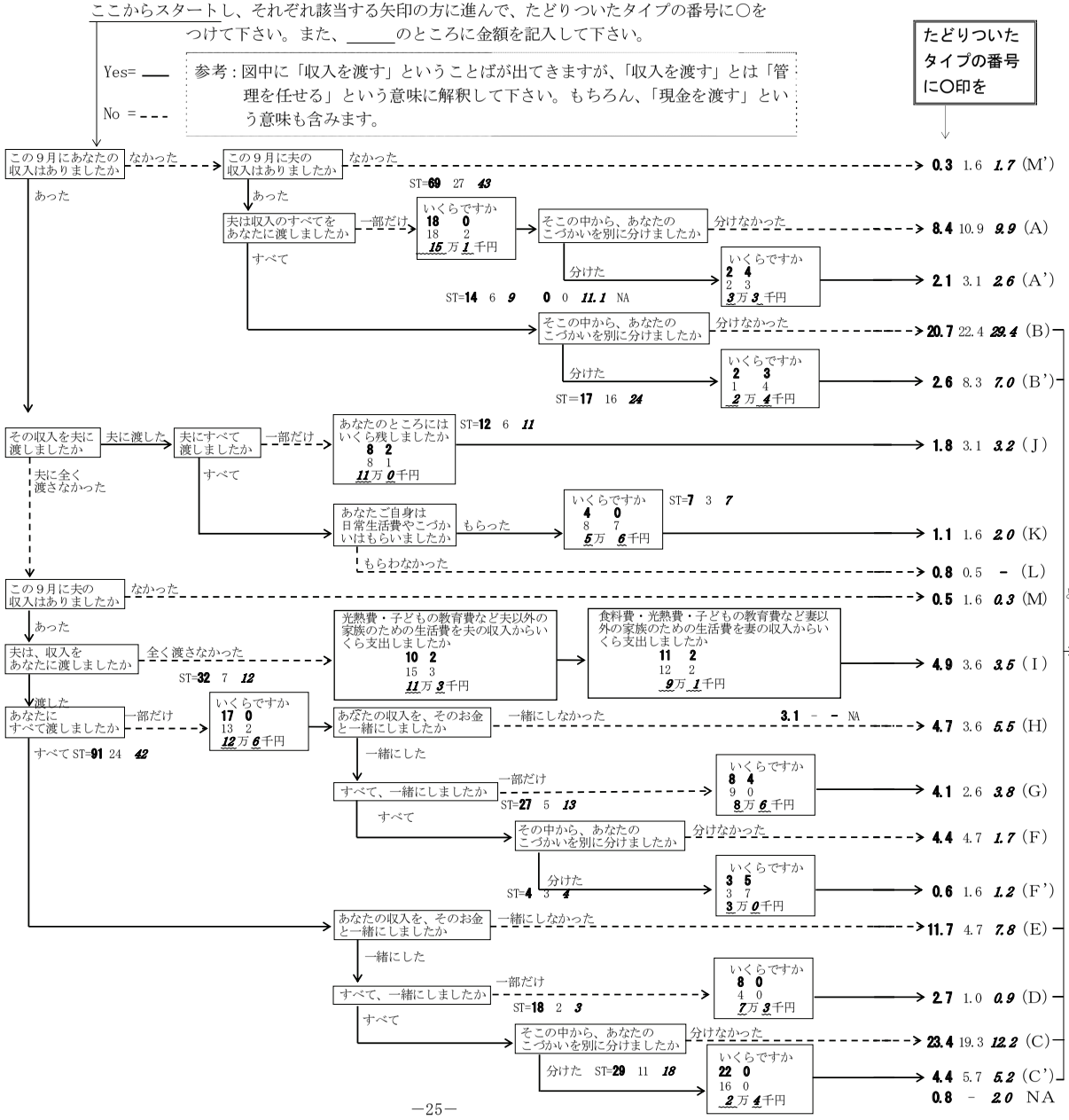
**4.0**
－
***2.5*** カ月

| 5 | 収入管理タイプについてうかがいます。 |
|---|---|

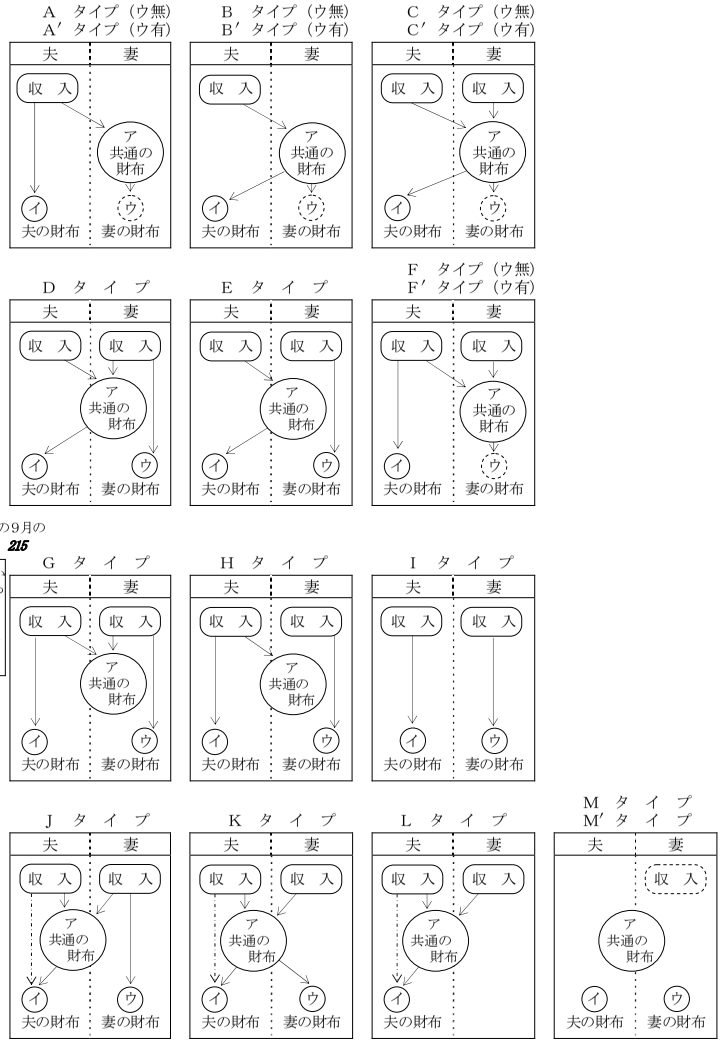
問１．お宅の月々の収入管理タイプについてうかがいます。
ここからスタートし、それぞれ該当する矢印の方に進んで、たどりついたタイプの番号に○をつけて下さい。また、＿＿＿のところに金額を記入して下さい。

Yes= ——
No = - - -

参考：図中に「収入を渡す」ということばが出てきますが、「収入を渡す」とは「管理を任せる」という意味に解釈して下さい。もちろん、「現金を渡す」という意味も含みます。




ご参考までに、お宅の収入管理タイプを図にすると、次のようになります。



| 6 | 家計についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．お宅では、**この９月**にどのくらい支出、貯蓄（生命保険などの保険料の支払いを含む）、ローン返済をしましたか。**０円の場合は、０と記入して下さい。**

| 生活費その他の支出 | | 貯　蓄 | | ローン返済 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 万 | 千円 | 万 | 千円 | 万 | 千円 |
| 2 9<br>2 4<br>*2 2* | 5<br>2<br>*6* | 8 8<br>6 6<br>*6 7* | 0<br>7<br>4<br>8<br>*5*<br>*2* | 5 9<br>5 9<br>*4 7* | 8<br>6<br>8<br>－<br>*3*<br>*7* |

（貯蓄、ローン返済を除く）

内訳

| | 万 | 千円 |
|---|---|---|
| 家族共通の支出 | 1 6<br>1 6<br>1 5<br>1 5<br>*1 4*<br>*1 4* | 6<br>7<br>2<br>3<br>*2*<br>*4* |
| 妻のための支出 | 1<br>2<br>1<br>1<br>*1*<br>*2* | 7<br>2<br>5<br>9<br>*5*<br>*0* |
| 夫のための支出 | 3<br>4<br>3<br>4<br>*3*<br>*3* | 5<br>1<br>4<br>0<br>*2*<br>*7* |
| 子どものための支出 | 6<br>7<br>3<br>3<br>*2*<br>*3* | 4<br>6<br>1<br>7<br>*4*<br>*3* |
| それ以外の方のための支出 | 1<br>3<br>1<br>3<br>*1*<br>*3* | 6<br>9<br>2<br>3<br>*2*<br>*5* |

（生命保険料などを含む）

内訳

| | 万 | 千円 |
|---|---|---|
| 家族共通の貯蓄 | 3<br>5<br>3<br>4<br>*3*<br>*5* | 5<br>4<br>0<br>8<br>*5*<br>*1* |
| 妻のための貯蓄 | 1<br>2<br>1<br>*1* | 1<br>0<br>9<br>8<br>*8*<br>*7* |
| 夫のための貯蓄 | 1<br>2<br>1<br>2<br>*1*<br>*2* | 5<br>9<br>1<br>0<br>*0*<br>*1* |
| 子どものための貯蓄 | 1<br>2<br>1<br>2<br>*1*<br>*2* | 6<br>8<br>2<br>0<br>*1*<br>*0* |
| それ以外の方のための貯蓄 | 3<br>2<br>*2* | 3<br>3<br>2<br>1<br>*2*<br>*3* |



問２．次の各項目について、あなたのご家庭で**この９月１カ月間**に支出した額を記入して下さい。
（現金を支払ったものの他、クレジット・ローンで購入したもの、銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）から自動的に引き落とした分も含みます）
**（支出がなかったものについては０と記入して下さい）**

| | | |
|---|---|---|
| 食料（外食・給食代も含みます）……→ | **75** 58 ***47***<br>**76** 58 ***48*** | 千円 |
| 家賃・地代・住宅の修繕（住宅ローンは含みません）……→ | **20** 26 ***34***<br>**59** 64 ***60*** | 千円 |
| 電気・ガス・水道（上・下）……→ | **25** 20 ***17***<br>**26** 21 ***19*** | 千円 |
| 家具・家事用品（寝具はこちらに含みます）……→ | **5** 8 ***5***<br>**10** 16 ***9*** | 千円 |
| 衣類・はき物 ……→ | **11** 9 ***10***<br>**15** 13 ***13*** | 千円 |
| 保健医療（栄養ドリンク・健康食品も含みます）……→ | **7** 7 ***6***<br>**10** 12 ***10*** | 千円 |
| 交通(自動車購入費用・ガソリン代・定期代なども含みます)→ | **25** 31 ***23***<br>**27** 33 ***26*** | 千円 |
| 通信（郵便・電話代・インターネットなど）……→ | **20** 15 ***15***<br>**20** 16 ***16*** | 千円 |
| 教育（授業料・受験や補習用の塾・教科書・参考書など）…→ | **42** 21 ***17***<br>**57** 30 ***32*** | 千円 |
| 教養・娯楽(受験・補習塾以外の習い事､教養・娯楽用の耐久→財はこちらに含みます) | **10** 13 ***9***<br>**19** 20 ***17*** | 千円 |
| 交際 ……→ | **10** 8 ***10***<br>**15** 13 ***17*** | 千円 |
| 夫・妻・子どもへの小遣い、子どもへの仕送り ……→ | **44** 33 ***30***<br>**51** 40 ***39*** | 千円 |
| 親への仕送り、小遣い ……→ | **2** 2 ***2***<br>**25** 29 ***34*** | 千円 |
| その他の支出 ……→ | **25** 18 ***28***<br>**45** 37 ***47*** | 千円 |

| | | |
|---|---|---|
| 生活費合計 ……→ | **328** 272 ***252*** | 千円 |

問３．あなた方ご夫婦、及びご夫婦以外の方が世帯員にいらっしゃればその方が**昨年１年間（平成19年１月～平成19年12月）**に得た収入は、財産収入、社会保障給付、親からの仕送りなども含め、全体でいくらでしたか。次の①～⑤の区分でお答え下さい。**（該当する収入がない場合は「０該当なし」に○をして下さい）**

| | 夫の年収 | 妻の年収 | 夫婦の共通の年収 | 夫婦以外の世帯員の方全員の年収 |
|---|---|---|---|---|
| ① 勤め先の収入 | **534.8 614.5** 474.9 528.0 ***438.5 461.9*** 万円 | **130.7 194.7** 97.8 197.8 ***106.7 201.9*** 万円 | ＊ | **30.2 201.4** 13.4 201.6 ***53.2 467.2*** 万円 |
| （勤め人の税込み年収） | **12.6** 9.8 ***5.0*** 該当なし | **31.8** 49.5 ***46.4*** 該当なし | | **75.7** 84.9 ***80.1*** 該当なし |
| ② 事業収入 | **67.9 523.4** 55.6 553.3 ***36.9 830.2*** 万円 | **7.5 196.1** 8.2 490.0 ***1.5 77.7*** 万円 | ＊ | **15.8 482.6** 23.6 594.0 ***7.1 437.5*** 万円 |
| （自営者の税込み年収） | **84.8** 87.5 ***93.2*** 該当なし | **93.1** 96.2 ***96.6*** 該当なし | | **86.1** 87.3 ***89.0*** 該当なし |
| ③ 財産収入（昨年1年分）（預貯金利子、株式配当、家賃、地代など） | **6.4 90.0** 2.2 55.4 1.3 40.9 万円 | **10.9 300.0** 0.0 1.0 ***0.2 11.0*** 万円 | **0.4 22.0** 0.8 148.0 ***0.1 10.7*** 万円 | **6.8 195.7** 13.9 2100.0 ***1.6 77.0*** 万円 |
| | **90.6** 93.5 ***94.4*** 該当なし | **93.3** 97.3 ***96.9*** 該当なし | **94.7** 96.7 ***95.4*** 該当なし | **86.0** 90.4 ***88.6*** 該当なし |
| ④ 社会保障給付（昨年1年分）（児童手当、失業給付、年金など）（社会保障給付は振り込み口座の名義人の収入として下さい） | **4.9 17.4** 9.7 16.7 ***8.7 15.3*** 万円 | **0.4 40.3** 0.5 27.0 ***1.2 35.6*** 万円 | **0.0 24.0** 0.3 30.0 ***0.2 10.3*** 万円 | **35.2 168.0** 13.6 107.8 ***8.7 97.6*** 万円 |
| | **70.1** 40.8 ***41.8*** 該当なし | **95.8** 96.2 ***95.0*** 該当なし | **96.3** 96.2 ***94.1*** 該当なし | **70.4** 79.5 ***82.4*** 該当なし |
| ⑤ その他の収入（昨年1年分）（親からの仕送り・こづかい、養育費など） | **0.5 33.7** 1.9 31.2 ***0.8 20.3*** 万円 | **1.9 48.8** 0.5 10.7 ***0.5 13.3*** 万円 | **0.6 36.1** 1.2 19.6 ***0.2 17.3*** 万円 | **0.7 54.4** － － ***0.7 16.8*** 万円 |
| | **96.0** 91.3 ***93.8*** 該当なし | **93.1** 92.9 ***94.7*** 該当なし | **94.9** 91.3 ***95.0*** 該当なし | **87.8** 91.0 ***86.8*** 該当なし |
| 合計 | **614.4 617.5** 544.4 550.5 ***486.2 490.9*** 万円 | **151.3 210.4** 106.9 188.7 ***110.0 188.1*** 万円 | **1.0 29.9** 2.4 30.3 ***0.6 12.4*** 万円 | **88.7 268.2** 64.4 405.3 ***71.3 357.8*** 万円 |
| | **0.5** 1.1 ***0.9*** 該当なし | **27.2** 42.4 ***40.9*** 該当なし | **93.1** 89.7 ***92.0*** 該当なし | **59.6** 76.5 ***72.4*** 該当なし |

〔この欄に記入された方に〕

付問．その方はどなたですか。（該当する方すべてに○）

ＳＴ＝**174** 25 ***52***

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **29.3** | 24.0 | ***26.9*** | 夫の父 | **0.6** | － | ***3.8*** | あなたの祖父母 |
| **39.7** | 36.0 | ***26.9*** | 夫の母 | **1.7** | 4.0 | ***13.5*** | 夫やあなたの兄弟姉妹 |
| **12.6** | 28.0 | ***23.1*** | あなたの父 | **33.9** | 16.0 | ***26.9*** | あなた方ご夫婦の子ども |
| **20.7** | 20.0 | ***21.2*** | あなたの母 | **1.1** | － | **－** | その他（具体的　　） |
| **1.7** | 4.0 | ***5.8*** | 夫の祖父母 | **1.7** | － | ***3.8*** | NA |



問４．あなたとあなたのご主人、及びご夫婦以外の方が世帯員にいらっしゃればその方がそれぞれお支払いになった税金（所得税、住民税など）と社会保険料（健康保険料、公的年金保険料、雇用保険料など）の合計は**昨年１年間**（平成19年１月～平成19年12月）でいくらでしたか。**（支払わなかった場合は「０支払いなし」に○をして下さい）**

| 夫の税金・社会保険料 | 妻の税金・社会保険料 | 夫婦以外の世帯員の方全員の税金・社会保険料 |
|---|---|---|
| **91.0** **95.2** 82.8 85.7 ***68.3*** ***70.9*** 万円 | **17.9** **36.3** 11.8 33.7 ***15.0*** ***33.3*** 万円 | **8.3** **36.3** 5.3 32.9 ***7.9*** ***54.0*** 万円 |
| **4.0** 3.1 ***3.2*** 支払いなし | **46.7** 59.9 ***50.6*** 支払いなし | **59.7** 63.4 ***67.6*** 支払いなし |

問５．(1) **現在、あなたご自身**は、どのような公的医療保障制度に加入していますか。
**（１～６に○を１つ、１～４の場合は、さらに１か２に○を１つ）**

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **67.6** | 67.7 | ***66.9*** | 会社の健康保険 | **31.1** | 25.4 | ***31.7*** | あなた自身が加入 |
| | | | **ST=444** 130 ***230*** | **62.6** | 71.5 | ***62.2*** | ご家族が保険に加入 |
| | | | | **6.3** | 3.1 | ***6.1*** | NA |
| **19.9** | 19.8 | ***18.3*** | 国民健康保険 | **28.2** | 18.4 | ***27.0*** | あなた自身が加入 |
| | | | **ST=131** 38 ***63*** | **69.5** | 81.6 | ***73.0*** | ご家族が保険に加入 |
| | | | | **23 0** | － | **－** | NA |
| **0.2** | － | **－** | 船員保険 | **－** | － | **－** | あなた自身が加入 |
| | | | ST=**1** － **－** | **100.0** | － | **－** | ご家族が保険に加入 |
| **8.2** | 8.9 | ***10.5*** | 共済保険・共済制度 | **50.0** | 47.1 | ***44.4*** | あなた自身が加入 |
| | | | **ST=54** 17 ***36*** | **46.3** | 47.1 | ***52.8*** | ご家族が保険医加入 |
| | | | | **3.7** | 5.9 | ***2.8*** | NA |
| **－** | － | ***0.3*** | 医療扶助 | → (2) へ | | | |
| **1.2** | 1.6 | ***1.2*** | どれにも加入していない | **1.2** | 0.5 | ***1.5*** | NA |

(2) あなたご自身は**現在**、公的年金制度（国民年金、厚生年金、共済年金）にどのような資格で加入していますか。（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **16.9** | 15.1 | ***11.3*** | 第１号被保険者（第２号、第３号以外の方：自営業者や自営業者の妻など）<br>※国民年金の保険料納付を免除（一部免除を含む）されている方も含みます。 |
| **30.3** | 22.4 | ***30.2*** | 第２号被保険者（厚生年金や共済組合の加入者：会社員、団体職員、公務員など）<br>※育児休業制度取得により保険料納付を免除されている方も含みます。 |
| **49.2** | 58.9 | ***54.4*** | 第３号被保険者（主婦などで第３号被保険者の届けを市町村に出している方：会社員団体職員、公務員などの夫に扶養されている妻） |
| **1.5** | 2.1 | ***1.5*** | 加入していない（第３号被保険者でも年金保険料納付を免除されているのでもなく、保険料を支払っていない方） |
| **2.1** | 1.6 | ***2.6*** | NA |

問６．**この９月**の手取り収入（収入総額から税金、社会保険料を差し引いた額）はどのくらいですか。
（ボーナス、臨時の給与は除きます）

①ご主人 …… ９月の**手取り収入** **34.6** / 30.8 / ***28.6*** 万円

**3.7** 5.2 ***2.6*** な し

②あなた …… ９月の**手取り収入** **13.0** / 12.6 / ***13.8*** 万円

**33.2** 46.9 ***53.2*** な し

---

問７．(1) 次のもののうち、**あなた自身の親**から一部でも出してもらっているものはありますか。
（○はいくつでも）

| 住宅ローン返済 | 家賃、地代 | 生活費 | 子どものための費用（教育費、服、その他の費用など） | その他〔具体的に〕 | 出してもらっているものはない |
|---|---|---|---|---|---|
| **0.5** | **0.2** | **4.7** | **3.0** | **0.9** | **91.2** |
| 0.5 | － | 3.1 | 3.6 | 0.5 | 92.2 |
| ***0.6*** | ***0.3*** | ***3.8*** | ***7.0*** | ***2.0*** | ***87.5*** |

**1.2** 1.0 ***0.6*** NA

→ ((3)へ)

(2) **あなた自身の親**から出してもらっている金額は月に合計いくらぐらいですか。

月に **4** / 4 / ***2*** 万 **8** / 3 / ***4*** 千円

(3) それでは、**ご主人の親**から一部でも出してもらっているものはありますか。（○はいくつでも）

| 住宅ローン返済 | 家賃、地代 | 生活費 | 子どものための費用（教育費、服、その他の費用など） | その他〔具体的に〕 | 出してもらっているものはない |
|---|---|---|---|---|---|
| **0.6** | **0.2** | **8.4** | **1.7** | **1.2** | **86.9** |
| 1.0 | 0.5 | 6.3 | 2.1 | 0.5 | 89.6 |
| ***1.5*** | ***0.9*** | ***7.0*** | ***6.1*** | ***1.5*** | ***84.6*** |

**2.4** 1.6 ***2.0*** NA

→ (次ページへ)

(4) **ご主人の親**から出してもらっている金額は月に合計いくらぐらいですか。

月に **5** / 5 / ***3*** 万 **5** / 3 / ***4*** 千円





| 7 | 親との関係についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．**あなたの親**の**昨年１年間（平成19年１月～平成19年12月）**の収入額（税込み額）はおおよそいくらぐらいですか。勤め先からの収入、事業収入、社会保障給付、財産収入などを合計し、あてはまる金額に○をして下さい。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **50.7** | **25.7** | **6.8** | **1.4** | **0.6** | **0.3** | **0.6** | **5.2** | **8.7** |
| 41.1 | 28.1 | 10.4 | 4.2 | 6.3 | － | 0.5 | 2.1 | 7.3 |
| ***26.7*** | ***33.4*** | ***17.4*** | ***7.3*** | ***5.8*** | ***1.5*** | ***1.7*** | ***1.2*** | ***4.9*** |
| 249万円以下 | 250～499万円 | 500～749万円 | 750～999万円 | 1000～1249万円 | 1250～1499万円 | 1500万円以上 | 〔自分の両親は死亡〕 | NA |

---

問２．あなたの**ご主人の親**の**昨年１年間（平成19年１月～平成19年12月）**の収入額（税込み額）はおおよそいくらぐらいですか。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **44.3** | **24.8** | **6.7** | **1.7** | **1.7** | **0.2** | **0.8** | **11.9** | **8.1** |
| 41.7 | 30.2 | 9.9 | 1.6 | 2.6 | 1.0 | 2.1 | 3.1 | 7.8 |
| ***26.5*** | ***31.1*** | ***19.2*** | ***7.3*** | ***5.5*** | ***1.5*** | ***0.9*** | ***1.5*** | ***6.7*** |
| 249万円以下 | 250～499万円 | 500～749万円 | 750～999万円 | 1000～1249万円 | 1250～1499万円 | 1500万円以上 | 〔夫の両親は死亡〕 | NA |

---

問３．あなた方ご夫婦は、**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に**あなたの親から**金融資産や実物資産をもらったことがありますか。もらった場合はその価値をご記入下さい。

| | 金融資産 | | | | 実物資産 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生前贈与として | **96.7** | 96.9 | ***96.8*** | もらったことはない | **98.0** | 97.4 | ***97.1*** | もらったことはない |
| | **0.8** | 1.0 | ***1.5*** | もらったことがある | **0.3** | 0.5 | ***0.6*** | もらったことがある |
| → その現在の価値 | **120.0** | 450.0 | ***442.0*** | 万円 | **1275.0** | 520.0 | ***51.5*** | 万円 |
| 遺産として | **94.2** | 97.4 | ***97.4*** | もらったことはない | **95.3** | 97.4 | ***96.8*** | もらったことはない |
| | **0.8** | － | **－** | もらったことがある | **0.4** | － | ***0.3*** | もらったことがある |
| → その現在の価値 | **2206.0** | － | **－** | 万円 | **2033.3** | － | ***1200.0*** | 万円 |

---

問４．あなた方ご夫婦は、**あなたの親から**将来相続を受けることになると思いますか。

**26.8** 25.5 ***33.4*** 思う　**67.1** 72.4 ***64.2*** 思わない　**4.9** 2.1 ***1.5*** 自分の両親は死亡　**1.2** － ***0.9*** NA

---

問５．あなた方ご夫婦は、**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に**ご主人の親から**金融資産や実物資産をもらったことがありますか。もらった場合はその価値をご記入下さい。

| | 金融資産 | | | | 実物資産 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生前贈与として | **96.5** | 97.9 | ***95.6*** | もらったことはない | **97.6** | 98.4 | ***96.8*** | もらったことはない |
| | **0.5** | 1.0 | ***2.3*** | もらったことがある | **0.2** | 0.5 | ***0.6*** | もらったことがある |
| → その現在の価値 | | **83.3** | 100.0 | ***353.1*** 万円 | | **300.0** | 120.0 | ***255.0*** 万円 |
| 遺産として | **95.0** | 97.9 | ***97.1*** | もらったことはない | **95.3** | 98.4 | ***96.5*** | もらったことはない |
| | **0.5** | 0.5 | **－** | もらったことがある | **0.3** | － | **－** | もらったことがある |
| → その現在の価値 | **1425.0** | 10.0 | **－** | 万円 | **1170.0** | － | **－** | 万円 |

問６．あなた方ご夫婦は、**ご主人の親から**将来相続を受けることになると思いますか。

**38.7** 38.0 ***44.5*** 思う　**47.9** 57.8 ***51.5*** 思わない　**11.1** 3.1 ***1.5*** 夫の両親は死亡　**2.3** 1.0 ***2.6*** NA

---

問７．あなた方ご夫婦は、今後、**あなたの親**に経済的援助をするつもりですか。（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **4.9** | 3.1 | ***1.5*** | 現在している |
| **19.5** | 26.0 | ***29.4*** | 今後、する予定 |
| **69.9** | 68.2 | ***66.9*** | 現在していないし、する予定はない |
| **5.2** | 2.1 | ***1.5*** | 自分の両親は死亡 |

**0.6** 0.5 ***0.9*** NA

---

問８．あなた方ご夫婦は、今後、**あなたの親**のお世話（家事、介護、訪問）をするつもりですか。
（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **12.5** | 3.6 | ***3.8*** | 現在している |
| **39.7** | 51.6 | ***45.9*** | 今後、する予定 |
| **41.9** | 43.2 | ***47.7*** | 現在していないし、する予定はない |
| **5.1** | 2.1 | ***1.5*** | 自分の両親は死亡 |

**0.8** 0.5 ***1.2*** NA

---

問９．あなた方ご夫婦は、今後、**ご主人の親**に経済的援助をするつもりですか。（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **12.9** | 3.6 | ***4.1*** | 現在している |
| **19.0** | 31.3 | ***27.9*** | 今後、する予定 |
| **54.9** | 60.9 | ***65.7*** | 現在していないし、する予定はない |
| **12.3** | 3.1 | ***1.5*** | 夫の両親は死亡 |

**0.8** 1.0 ***0.9*** NA

---

問10．あなた方ご夫婦は、今後、**ご主人の親**のお世話（家事、介護、訪問）をするつもりですか。
（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **16.0** | 6.8 | ***1.5*** | 現在している |
| **37.7** | 45.8 | ***48.5*** | 今後、する予定 |
| **33.0** | 43.2 | ***47.7*** | 現在していないし、する予定はない |
| **12.3** | 3.1 | ***1.5*** | 夫の両親は死亡 |

**0.9** 1.0 ***0.9*** NA





| ８ | 子育てについてうかがいます。 |
|---|---|

**〔問１は未就学児のお子さんがいらっしゃる方にお聞きします。いらっしゃらない方は問２へ〕**

問１．あなたは、そのお子さんのために認可保育所、無認可保育所、幼稚園、ベビーシッター・家政婦親戚・知人などによる育児サービスを利用していますか。

ST=**65** 93 ***227***

**81.5** 69.9 ***66.1*** 利用している　**18.5** 30.1 ***33.5*** 利用していない　**－** － ***0.4*** NA

（問２へ）

付問．次の(1)～(6)のそれぞれについて、利用している未就学児の人数をお答え下さい。また、利用している場合は、この**９月にかかった費用**をご記入下さい。利用している未就学児が２人以上いらっしゃる方は**未就学児全員の合計費用**をお答え下さい。

ST＝**47** 58 ***139***

| | 〔利用している未就学児の人数〕 | | 〔費　用〕 | |
|---|---|---|---|---|
| (1) 認可保育所（市区町村へ申し込んだもの）……→ | **0.3** 0.5 ***0.7*** | 人 | **4.9** 11.4 ***13.6*** | 千円 |
| | **1.1** 1.2 ***1.4*** | | **16.5** 27.7 ***27.8*** | |
| (2) 無認可保育所（ベビーホテルや家庭保育室、勤務先の保育施設など）……→ | **－** 0.1 ***0.1*** | 人 | **－** 2.4 ***2.4*** | 千円 |
| | **－** 1.3 ***1.4*** | | **－** 46.7 ***47.1*** | |
| (3) 幼稚園 ……→ | **0.7** 0.5 ***0.5*** | 人 | **25.8** 13.1 ***15.0*** | 千円 |
| | **1.0** 1.0 ***1.1*** | | **39.1** 25.3 ***31.6*** | |
| (4) ベビーシッター・家政婦 ……→ | **－** － **－** | 人 | **0.2** － **－** | 千円 |
| | **1.0** － ***1.0*** | | **10.0** － ***6.0*** | |
| (5) その他（家庭で、家族や同居していない親族・知人にみてもらう場合の費用など）……→ | **－** － **－** | 人 | **－** **0.1** **－** | 千円 |
| | **－** 1.0 ***1.0*** | | **－** **4.0** **－** | |
| **2.1** － ***0.7*** NA | | | | |
| (6) 合　計 ……→ | **1.0** 1.1 ***1.3*** | 人 | **30.9** 27.1 ***31.0*** | 千円 |
| | **1.0** 1.1 ***1.3*** | | **31.6** 27.5 ***31.0*** | |

↑
上記のいずれかのサービスを利用している未就学児の人数をご記入下さい。

---

**〔問２は小学校６年生までのお子さんがいらっしゃる方にお聞きします。〕**

問２．**児童手当**給付は受けていますか。（なお、児童手当は小学校６学年までの児童が対象であり、３歳未満の場合は一律月額10,000円で、３歳以上は第１子・第２子に月額5,000円、第３子以降に月額10,000円が、２月、６月、10月にまとめて支給されるものです）

ST=**246** 155 ***272***

**76.0** 82.6 ***92.3*** 受けている　**23.6** 16.8 ***6.6*** 受けていない　**－** － ***0.4*** 知らない　**0.4** 0.6 ***0.7*** NA

〔問３～問５は15歳以下（中学生まで）のお子さんがいらっしゃる方にお聞きします。〕

問３．現在、ご主人は、育児・子育てにどの程度関わっていますか。（○はいくつでも）

ST=**369**　164　***274***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **6.8** | 26.8 | ***52.2*** | おむつを替えたり、着替えをさせる、着替えを用意する |
| **37.7** | 62.2 | ***81.4*** | 子どもを風呂に入れたり、一緒に入る |
| **26.3** | 41.5 | ***56.6*** | 子どもにご飯を食べさせたり、寝かせる |
| **37.7** | 64.6 | ***86.9*** | 子どもをあやしたり遊ぶ |
| **22.2** | 10.4 | ***2.9*** | ほとんど子どもとふれあわない |
| **24.9** | 9.8 | ***4.0*** | その他（具体的に　　）**3.3** 3.0 ***1.5*** NA |

問４．現在、あなた以外に子どもの世話をしてくれる人がいますか。（○はいくつでも）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **50.4** | 57.9 | ***75.9*** | あなたの夫 | **14.4** | 35.4 | ***50.0*** | 保育所・幼稚園・学童保育など |
| **38.8** | 50.0 | ***64.6*** | あなたの親 | **0.3** | － | ***0.7*** | ベビーシッター・家政婦など |
| **13.3** | 19.5 | ***26.6*** | あなたのきょうだい | **3.0** | 0.6 | ***1.5*** | その他（具体的に　　） |
| **27.4** | 39.0 | ***44.5*** | 夫の親 | **7.3** | 6.1 | ***2.9*** | 特に世話をしてくれる人はいない |
| **11.4** | 11.0 | ***14.2*** | 友人 | **18.7** | 6.7 | ***2.2*** | 特に世話をしてもらう必要がない |
| **5.4** | 3.7 | ***9.9*** | 近所の人 | **1.4** | － | **－** | NA |

問５．現在、育児や子育てについて相談できる方はいますか。（○はいくつでも）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **62.3** | 73.2 | ***79.2*** | あなたの夫 | **16.8** | 22.6 | ***26.6*** | 近所の人 |
| **52.6** | 65.9 | ***82.1*** | あなたの親 | **10.6** | 20.1 | ***30.3*** | 医師、助産婦、保育士、保健師などの専門家 |
| **33.1** | 32.3 | ***40.5*** | あなたのきょうだい | **2.4** | 3.0 | ***2.2*** | その他（具体的に　　） |
| **21.4** | 25.6 | ***40.1*** | 夫の親 | **1.9** | － | ***0.4*** | 特に相談できる人はいない |
| **72.9** | 73.2 | ***77.4*** | 友人 | **4.1** | 1.8 | ***1.1*** | 特に相談する必要はない |
| | | | | **1.1** | － | ***0.4*** | NA |





## ９　貯蓄と資産についてうかがいます。

貯蓄を「預貯金」と「有価証券」に分けてお聞きします。

● 預貯金とは、次のようなものをいいます。

郵便局（ゆうちょ銀行）の定額・定期・積立貯金、通常貯金
銀行、信用金庫などの定期預金・定期積金、普通預金
社内預金、金投資口座、金貯蓄口座、中期国債ファンドなど

● 有価証券とは、次のようなものをいいます。

株式（時価）、債券（額面）、株式投資信託（時価）、
公社債投資信託（時価）、貸付信託・金銭信託（額面）など

問１．お宅では、預貯金や有価証券をどのくらいお持ちですか。
Aお宅（あなた方ご夫婦および子ども）でお持ちのものの全体と、Bそのうちあなた（妻）個人のものとしてお持ちのものの、両方についてお答え下さい。

| | | | A お宅（**あなた**、夫、子ども）でお持ちのもの**全体** | B Aのうち、**あなた個人のもの**としてお持ちのもの |
|---|---|---|---|---|
| 預貯金 | (1) | 現在預貯金をお持ちですか。 | **78.1** 82.8 ***80.2*** お宅（**あなた**、夫、子ども）で預貯金がある<br>**20.9** 16.1 ***19.6*** な　い → ((3)へ)<br>**1.1** 1.0 ***0.6*** NA | (1)<br>**49.0** 47.4 ***45.6*** **あなた個人のもの**として預貯金がある<br>**49.8** 51.6 ***53.2*** な　い → ((3)へ)<br>**1.2** 1.0 ***1.2*** **NA** |
| | 預貯金をお持ちの場合 | (2) 現在の預貯金の額はどのくらいですか。 | ST=**513** 159 ***276***<br>**719.3** 455.3 ***382.0*** 万円 | (2)<br>**337.7** 254.5 ***205.3*** 万円 |
| 有価証券 | (3) | 現在有価証券をお持ちですか。 | **14.5** 6.3 ***11.3*** お宅（**あなた**、夫、子ども）で有価証券がある<br>**82.8** 91.7 ***87.5*** な　い → (Bの(1)へ)<br>**2.7** 2.1 ***1.2*** NA | (3)<br>**7.5** 2.6 ***4.7*** **あなた個人のもの**として有価証券がある<br>**90.6** 95.8 ***93.6*** な　い → (次ページへ)<br>**2.0** 1.6 ***1.7*** **NA** |
| | 有価証券をお持ちの場合 | (4) 現在の有価証券の額はどのくらいですか。 | ST=**95** 12 ***39***<br>**444.5** 185.0 ***166.6*** 万円 | (4) ST=**49** 5 ***16***<br>**264.1** 116.0 ***137.5*** 万円 |
| | | (5) この１年間（平成19年10月～平成20年９月）に有価証券を購入しましたか。（購入後売却した場合も購入に含めます） | **30.5** 25.0 ***41.0*** 購入した　**57.9** 75.0 ***48.7*** 購入しなかった<br>**11.6** － ***10.3*** NA | (5)<br>**26.5** 20.0 ***37.5*** 購入した　**73.5** 80.0 ***62.5*** 購入しなかった |
| | | (6) この１年間（平成19年10月～平成20年９月）に有価証券を売却しましたか。（売却後購入した場合も売却に含めます） | **16.8** 25.0 ***12.8*** 売却した　**71.6** 66.7 ***69.2*** 売却しなかった<br>**11.6** 8.3 ***17.9*** NA | (6)<br>**10.2** 20.0 ***12.5*** 売却した　**89.8** 60.0 ***81.3*** 売却しなかった<br>**－** 20.0 ***6.3*** NA |

問２．(1)　あなた方ご夫婦が現在考えておられる貯蓄の合計目標額はいくらぐらいですか。

| | | |
|---|---|---|
| | 億 | **2303　2318**<br>1714　1714<br>***1501　1501*** 万円 |

(2)　あなた方ご夫婦はどのような目的で貯蓄なさっていますか。下にあげてある目的のために貯蓄をしている場合は「あり」に○、していない場合は「なし」に○をつけて下さい。

(3)　次に、(2)で「あり」とお答えいただいた貯蓄のそれぞれについて、どのくらいの貯蓄額を目標にしているかをご記入下さい。

| | (2) 貯蓄目的 | (3) 貯蓄目的のあるものについて |
|---|---|---|
| | | 貯蓄目標額 |
| (a) 夫婦の老後の生活に備えるため | **53.9**　35.9　***32.8*** あり<br>**43.4**　63.0　***66.0*** なし<br>**2.7**　1.0　***1.2*** NA | 億 **1515.1**<br>1079.7<br>***1135.1*** 万円 |
| (b) 病気、災害、その他不時の出費に備えるため | **51.1**　52.1　***40.4*** あり<br>**46.0**　46.9　***58.1*** なし<br>**2.9**　1.0　***1.5*** NA | 億 **380.9**<br>232.2<br>***244.6*** 万円 |
| (c) 子どもの教育費に | **59.4**　68.8　***65.1*** あり<br>**38.2**　30.2　***34.3*** なし<br>**2.4**　1.0　***0.6*** NA | 億 **588.9**<br>512.3<br>***504.2*** 万円 |
| (d) 子どもの結婚資金に | **21.5**　17.2　***15.1*** あり<br>**76.3**　82.3　***83.1*** なし<br>**2.3**　0.5　***1.7*** NA | 億 **493.0**<br>428.8<br>***284.6*** 万円 |
| (e) マイホーム(土地を含む)の取得(建て替え、買い替えを含む)のため | **15.8**　22.4　***28.8*** あり<br>**81.7**　76.6　***70.1*** なし<br>**2.4**　1.0　***1.2*** NA | 億 **1438.8**<br>1288.1<br>***963.5*** 万円 |
| (f) 耐久消費財の購入資金に | **15.8**　18.8　***11.6*** あり<br>**81.7**　80.2　***86.6*** なし<br>**2.4**　1.0　***1.7*** NA | 億 **170.4**<br>245.8<br>***165.9*** 万円 |
| (g) レジャー資金に | **12.8**　21.9　***21.2*** あり<br>**84.5**　76.6　***77.9*** なし<br>**2.7**　1.6　***0.9*** NA | 億 **158.9**<br>93.0<br>***98.8*** 万円 |
| (h) 独立自営のための資金に | **1.2**　1.6　***2.6*** あり<br>**95.9**　96.9　***95.6*** なし<br>**2.9**　1.6　***1.7*** NA | 億 **425.0**<br>183.3<br>***508.9*** 万円 |
| (i) 特に目的はないが貯蓄をしていれば安心だから | **49.6**　47.9　***59.0*** あり<br>**47.0**　50.0　***39.2*** なし<br>**3.3**　2.1　***1.7*** NA | 億 **714.5**<br>526.8<br>***516.2*** 万円 |
| (j) 遺産として残すため | **1.2**　2.1　***0.6*** あり<br>**96.2**　96.4　***97.7*** なし<br>**2.6**　1.6　***1.7*** NA | 億 **1000.0**<br>600.0<br>***750.0*** 万円 |
| (k) その他〔具体的に〕<br>(　　) | **1.8**　3.1　***3.5*** あり<br>**86.6**　87.5　***83.4*** なし<br>**11.6**　9.4　***13.1*** NA | 億 **560.8**<br>670.0<br>***352.5*** 万円 |



問３．あなた方ご夫婦は、次の保険にどのくらい保険料を払っていますか。
（注　保険には簡易保険、郵便年金、生命保険、個人年金保険、積立型損害保険、障害保険、学資保険などを含みます）

| A **あなたが**保険料の払い込み人となっている保険（該当するものに○をつけ、その保険料をご記入下さい。） | | | B **ご主人が**保険料の払い込み人となっている保険（該当するものに○をつけ、その保険料をご記入下さい。） | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 保険の種類<br>加入しているもの | **昨年１年間（平成19年1月～12月）**の保険料 | **これまで払い込んだ**保険料の合計額 | 保険の種類<br>加入しているもの | **昨年１年間（平成19年1月～12月）**の保険料 | **これまで払い込んだ**保険料の合計額 |
| 掛け捨てタイプの保険<br>**35.3**　39.6　***40.1*** | **7.7**<br>7.0<br>***6.3*** 万円<br>ST=**232**　76　***138*** | | 掛け捨てタイプの保険<br>**58.1**　66.1　***61.0*** | **13.8**<br>13.2<br>***10.2*** 万円<br>ST=**382**　127　***210*** | |
| 積立タイプの保険<br>**43.8**　38.5　***36.6*** | **21.9**<br>18.1<br>***15.7*** 万円<br>ST=**288**　74　***126*** | **251.9**<br>216.5<br>***132.3*** 万円 | 積立タイプの保険<br>**65.9**　59.9　***49.4*** | **38.3**<br>29.6<br>***18.7*** 万円<br>ST=**433**　115　***170*** | **494.3**<br>285.5<br>***172.6*** 万円 |
| 私が払い込みとなっている保険はない<br>**32.7**　34.9　***33.1*** | | | 夫が払い込み人となっている保険はない<br>**7.9**　7.8　***11.0*** | | |
| **3.3**　1.6　***2.0*** NA | | | **3.8**　2.1　***2.6*** NA | | |

| 10 | 住宅についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．現在のお住まいの住居は、次のどれになりますか。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **71.1** | 62.5 | ***48.0*** | 一戸建て |
| **1.2** | 0.5 | ***1.7*** | 連棟戸建て（テラスハウスなど） |
| **25.3** | 32.8 | ***43.3*** | 鉄筋・鉄骨マンション（集合住宅） |
| **2.4** | 4.2 | ***6.7*** | 木造アパート（集合住宅） |
| － | － | ***0.3*** | その他（　　） |



問２．お宅の住居の所有関係は次のどれになりますか。（親など家族名義の場合は自己所有としてお答え下さい）

| **66.4** | **12.9** | **2.6** | **10.4** | **4.0** | **3.7** | **0.2** |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 57.8 | 13.5 | 2.1 | 17.7 | 4.2 | 4.7 | － |
| ***41.0*** | ***10.2*** | ***2.3*** | ***31.1*** | ***6.7*** | ***8.4*** | ***0.3*** |
| 持ち家一戸建（敷地は自己所有） | 持ち家マンション（敷地は区分所有） | 持ち家一戸建、マンション（敷地は借地） | 民間の賃貸住宅 | 公営・公団・公社などの賃貸住宅 | 社宅・寮（借上げ社宅を含む） | その他（　　） |

→（次ページの問３へ）

下の「A敷地」「B住宅」の両方をお答え下さい。

下の「B住宅」をお答え下さい。（マンションの場合は敷地も込みでお答え下さい）

付問１．家賃は月額いくらですか。

十一 ST=**118** 51 ***159***

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **6** | | **9** | | |
| 6 | 万 | 2 | 千円 | |
| ***6*** | | ***4*** | | |

付問２．使用している部屋（居住室）の数はいくつですか。ダイニングキッチンは居住室に含めます。ただし、流しなどの部分を除いた広さが３畳にみたない場合は含めません。

合計 **3.8** / 3.5 / ***3.5*** 室

→（次ページの問３へ）

A 敷　地

付問３．敷地の現在の市場価格（売るとした場合の価格）はいくらくらいと思いますか。おおよそで結構です。

ST=**436** 111 ***141***

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 億 | **1** | **7** | **4** | **8** | |
| | | 1 | 5 | 3 | 5 | 万円 |
| | | ***1*** | ***4*** | ***3*** | ***5*** | |

B 住　宅

付問４．住宅の現在の市場価格（売るとした場合の価格）はいくらくらいと思いますか。おおよそで結構です。

ST=**538** 141 ***184***

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 億 | **1** | **2** | **8** | **8** | |
| | | 1 | 3 | 2 | 2 | 万円 |
| | | ***1*** | ***3*** | ***0*** | ***4*** | |

〔昨年10月１日以降に、転居して、現在、持ち家（一戸建て、マンション）にお住まいの方、または、現在お住まいの土地・住宅を購入、増改築、名義変更した方に引き続きおたずねします〕

A 敷 地

付問５．敷地面積はどのくらいですか。
ST=**16** 7 ***9***

**266.2**
205.8
***127.8*** m²

付問６．敷地はどなたの名義になっていますか。共同名義の場合、あてはまるすべての名義人の方をお答えください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **6.3** | 57.1 | ***33.3*** | あなた本人 |
| **43.8** | 57.1 | ***77.8*** | ご主人 |
| **18.8** | 14.3 | **－** | あなたの親 |
| **25.0** | 14.3 | ***22.2*** | ご主人の親 |
| **6.3** | **－** | **－** | その他(具体的に　　) |
| **－** | **－** | **－** | わからない |
| **12.5** | **－** | **－** | NA |

（付問６で１～２をお答えの方に）
付問７．どのように取得しましたか。
ST=**7** 5 ***7***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **42.9** | 60.0 | ***42.9*** | すべて自己資金（ローンを含む）で購入した |
| **14.3** | 20.0 | ***28.6*** | 親から一部資金援助してもらった |
| **－** | **－** | ***14.3*** | 親との共同名義で購入した |
| **－** | **－** | ***14.3*** | 親から贈与された |
| **－** | 20.0 | **－** | 親から相続した |
| **－** | **－** | **－** | その他（　　） |
| **42.9** | **－** | **－** | NA |

（付問７で２～５をお答えの方に）
付問８．上の質問でお答えになった「親」はどなたの親ですか。
ST=**1** 2 ***4***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **－** | 50.0 | ***25.0*** | あなたの親 |
| **100.0** | **－** | ***50.0*** | ご主人の親 |
| **－** | 50.0 | ***25.0*** | 両方の親 |

B 住 宅

付問９．延べ床面積はどのくらいですか。
（畳２枚＝１坪＝3.3m²）
ST=**28** 12 ***14***

**159.8**
92.6
***93.5*** m²

付問10. 使用している部屋（居住室）の数はいくつですか。ダイニングキッチンは居住室に含めます。ただし、流しなどの部分を除いた広さが３畳にみたない場合は含めません。

合計 **5.1** / 4.6 / ***4.8*** 室

付問11. 建築の時期はいつ頃ですか。
明治　昭和
大正　平成
［　　］年

付問12. 住宅はどなたの名義になっていますか。共同名義の場合、あてはまるすべての名義人の方をお答えください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **7.1** | 25.0 | ***21.4*** | あなた本人 |
| **46.4** | 75.0 | ***78.6*** | ご主人 |
| **14.3** | 8.3 | **－** | あなたの親 |
| **－** | **－** | ***14.3*** | ご主人の親 |
| **3.6** | **－** | **－** | その他(具体的に　　) |
| **－** | **－** | **－** | わからない |
| **39.3** | 16.7 | ***7.1*** | NA |

（付問12で１～２をお答えの方に）
付問13. どのように取得しましたか。
ST=**14** 9 ***11***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **50.0** | 66.7 | ***54.5*** | すべて自己資金（ローンを含む）で購入した |
| **28.6** | 33.3 | ***36.4*** | 親から一部資金援助してもらった |
| **－** | **－** | **－** | 親との共同名義で購入した |
| **14.3** | **－** | ***9.1*** | 親から贈与された |
| **－** | **－** | **－** | 親から相続した |
| **－** | **－** | **－** | その他（　　） |
| **7.1** | **－** | **－** | NA |

（付問13で２～５をお答えの方に）
付問14. 上の質問でお答えになった「親」はどなたの親ですか。
ST=**6** 3 ***5***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **33.3** | 33.3 | ***20.0*** | あなたの親 |
| **33.3** | 33.3 | ***60.0*** | ご主人の親 |
| **16.7** | 33.3 | ***20.0*** | 両方の親 |
| **16.7** | **－** | **－** | NA |





〔全員の方に〕

問３．親との居住状況について、次のように分類した場合、どれにあてはまりますか。
（最も近くに居住しているあなたの親またはご主人の親でお答え下さい）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **22.2** | 10.9 | ***10.5*** | 親と同一建物で、生計を共にしている（同居世帯） |
| **9.1** | 7.3 | ***6.4*** | 親と同一建物で、生計が別（準同居世帯） |
| **6.1** | 6.3 | ***3.2*** | 親と同一敷地内の別建物に居住（準同居世帯） |
| **17.8** | 24.0 | ***20.1*** | 同一町丁内または１km以内に親が居住（近隣地域居住） |
| **6.2** | 9.9 | ***10.2*** | （区のある18大都市居住者）同一区内に親が居住 |
| **9.9** | 13.5 | ***14.8*** | （その他の市部、郡部居住者）同一市町村内に親が居住 |
| **14.2** | 17.2 | ***22.1*** | 同一都道府県内に親が居住 |
| **13.1** | 10.4 | ***12.2*** | 上記１～７地域以外に親が居住 |
| **1.1** | **－** | ***0.3*** | 親は全員死亡 ―→（次ページの問８へ） **0.3** 0.5 ***0.3*** NA |

付問. 同居または最も近くに居住している親は、次のうちどなたですか。
ST=**650** 192 ***343***

**40.2** 40.1 ***43.7** あなたの親　**51.7** 51.6 ***46.4** ご主人の親　**7.4** 7.8 ***9.3** ご主人とあなたの両方の親　**0.8** 0.5 ***0.6** NA

〔問４～問５は、あなたの親と別居している方におたずねします〕

問４．あなたの親が現在お住まいの住居は、次のどれになりますか。父親、母親それぞれについてお答え下さい。ST=**550** 171 ***312***

| | 父親 | | | 母親 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一戸建・持ち家（敷地は自己所有・区分所有）…… | **53.8** | 63.7 | ***67.9*** | **63.3** | 69.6 | ***68.9*** |
| 一戸建・持ち家（敷地は借地）…… | **3.3** | 3.5 | ***4.8*** | **4.4** | 2.9 | ***3.8*** |
| マンション・持ち家 …… | **2.9** | 5.3 | ***5.4*** | **2.9** | 5.3 | ***7.7*** |
| 民間の賃貸住宅 …… | **3.8** | 3.5 | ***4.2*** | **6.7** | 5.3 | ***6.1*** |
| 公営・公団・公社などの賃貸住宅 …… | **3.8** | 1.8 | ***2.6*** | **6.9** | 4.7 | ***4.8*** |
| 社宅・寮（借上げ社宅を含む）…… | **－** | **－** | ***0.6*** | **－** | **－** | ***0.3*** |
| 介護施設・有料老人ホーム・ケア付きの高齢者住宅など… | **1.1** | **－** | **－** | **2.5** | **－** | **－** |
| その他（具体的に　　）… | **0.7** | 1.2 | ***1.9*** | **0.5** | **－** | ***1.3*** |
| 死亡 …… | **24.2** | 15.8 | ***8.7*** | **6.5** | 3.5 | ***1.6*** |
| …… | **6.4** | 5.3 | ***3.8*** NA | **6.2** | 8.8 | ***5.4*** NA |

問５．今後、あなたは、あなたの親と同居する予定はありますか。あるいは、同居したいと思いますか。
（○は１つだけ）
ST=**573** 179 ***321***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1.2** | **－** | ***1.6*** | 同居の予定がある |
| **－** | **－** | ***0.3*** | 今すぐ同居したいと考えている |
| **11.0** | 11.2 | ***10.6*** | いずれは同居したいと考えている |
| **14.5** | 16.8 | ***16.5*** | 今は考えていないが、以前考えたことがある |
| **68.6** | 65.9 | ***66.7*** | 考えたことはない　**4.7** 6.1 ***4.4*** NA |

〔問６は、ご主人の親と別居している方におたずねします〕

問６．ご主人の親が現在お住まいの住居は、次のどれになりますか。父親、母親それぞれについてお答え下さい。

**ST=398** 154 ***295***

| | 父親 | | | 母親 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一戸建・持ち家（敷地は自己所有・区分所有）…… | **48.5** | 53.2 | ***63.4*** | **63.3** | 56.5 | ***68.1*** |
| 一戸建・持ち家（敷地は借地）…… | **2.0** | 3.9 | ***4.1*** | **3.5** | 4.5 | ***3.4*** |
| マンション・持ち家 …… | **6.0** | 3.9 | ***7.1*** | **6.0** | 6.5 | ***7.8*** |
| 民間の賃貸住宅 …… | **2.8** | 9.7 | ***5.8*** | **7.5** | 13.6 | ***8.5*** |
| 公営・公団・公社などの賃貸住宅 …… | **3.8** | 6.5 | ***3.4*** | **6.3** | 9.1 | ***3.1*** |
| 社宅・寮（借上げ社宅を含む） …… | **－** | **－** | ***1.0*** | **－** | **－** | ***0.7*** |
| 介護施設・有料老人ホーム・ケア付きの高齢者住宅など … | **1.3** | **－** | **－** | **3.5** | 0.6 | **－** |
| その他（具体的に　　）…… | **1.5** | 1.9 | ***2.0*** | **0.3** | **－** | ***0.7*** |
| 死亡 …… | **26.9** | 17.5 | ***10.2*** | **4.0** | 3.9 | ***2.7*** |
| NA …… | **7.3** | 3.2 | ***3.1*** | **5.5** | 5.2 | ***5.1*** |

〔問７は、ご主人の親と別居している方におたずねします〕

問７．今後、あなたは、ご主人の親と同居する予定はありますか。あるいは、同居したいと思いますか。

ST=**475** 172 ***319***　　（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1.5** | 1.2 | ***2.5*** | 同居の予定がある |
| **0.6** | 1.2 | ***0.6*** | 今すぐ同居したいと考えている |
| **8.0** | 9.3 | ***9.4*** | いずれは同居したいと考えている |
| **15.4** | 17.4 | ***18.5*** | 今は考えていないが、以前考えたことがある |
| **60.4** | 64.0 | ***63.3*** | 考えたことはない |

**14.1**　7.0　***5.6***　NA

〔全員の方に〕

問８．あなた方ご夫婦は**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、自分たちで住んだり、セカンドハウスとして利用するために土地または住宅を購入しましたか。（新築や親との共同名義のものも含みます）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **0.2** 0.5 ***0.9*** | **0.5** – ***0.9*** | **0.8** 2.1 ***2.0*** | **0.5** 1.6 ***1.2*** | **98.2** 95.3 ***95.1*** – 0.5 – NA |
| 土地のみを購入した | 家屋のみを購入した | 土地と家屋両方を購入した | マンションを購入した | 購入しなかった |

（問９へ）

付問．その購入価格はいくらでしたか。（家屋のみ、マンションの場合は「家屋」のみに、土地のみの場合は「土地」のみにご記入下さい）

家　屋　ST=**9** 8 ***14***　　億　**2** 2 ***2***　**5** 3 ***3***　**4** 0 ***4***　**1** 7 ***3***　万円

土　地　ST=**8** 4 ***10***　　億　**1** 1 ***1***　**4** 4 ***1***　**6** 8 ***8***　**9** 8 ***0***　万円

合　計　ST=**12** 8 ***17***　　億　**2** 3 ***2***　**8** 1 ***4***　**0** 5 ***5***　**7** 7 ***7***　万円

〔全員の方に〕

問９．平成17年以降、控除対象となる住宅ローン残高の限度額と控除率は、段階的に引き下げられることをご存じですか。（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **5.0** | 12.5 | ***11.9*** | 引き下げられることもその内容も知っている |
| **38.5** | 36.5 | ***42.7*** | 引き下げられることは知っているが、その内容は知らない |
| **56.0** | 50.5 | ***45.1*** | 引き下げられることを知らない |
| **0.5** | 0.5 | ***0.3*** | NA |

〔問10は問８で「１～４．購入した」と答えた方にお聞きします。それ以外の方は問11にお進み下さい〕

問10．このような住宅ローン減税の制度変更によって、次の方からの住宅取得資金贈与がありましたか。

ST=**12** 8 ***17***　　（○はいくつでも）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **8.3** | 12.5 | ***11.8*** | あなたの親 | – | – | – | 夫の祖父母 |
| **8.3** | 25.0 | ***17.6*** | 夫の親 | – | 12.5 | – | その他（具体的に　　） |
| – | – | – | あなたの祖父母 | **75.0** | 50.0 | ***70.6*** | だれからもなかった→（次ページ問11へ） |
| | | | | **16.7** | 12.5 | – | NA |

付問．では、住宅取得資金贈与には、具体的にどのような影響がありましたか。（○はいくつでも）

ST=**1** 3 ***5***

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **100.0** | 66.7 | ***100.0*** | 初めて贈与を受けた | – | – | – | 贈与の額が増えた |
| – | – | – | 贈与の時期が早まった | – | – | – | 贈与の額が減った |
| – | – | – | 贈与の時期が遅くなった | – | – | – | その他（具体的に　　） |

– 33.3 – NA



〔全員の方に〕

問11．このような住宅ローン減税の制度変更はあなたの住宅取得行動にどのような影響を及ぼしましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1.5** | 4.2 | ***9.6*** | 住宅ローン残高の限度額と控除率が引き下げられる前に住宅を購入したかったため、住宅購入の時期を早めた |
| **0.6** | – | ***0.6*** | 住宅購入が不可能になった |
| **0.6** | – | ***0.9*** | 住宅購入の時期を遅らせた |
| **0.2** | – | ***0.6*** | 住宅の購入価格を下げた |
| **0.5** | – | ***0.6*** | その他（具体的に　　） |
| **96.2** | 94.3 | ***87.8*** | 何の影響もなかった |

**0.6**　1.6　***0.6***　NA

問12．このような住宅ローン減税の制度変更によって、将来次のような方からの住宅取得資金贈与があると思いますか。（○はいくつでも）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **1.8** | 3.6 | ***3.5*** | あなたの親 | – | – | – | 夫の祖父母 |
| **5.2** | 2.6 | ***6.1*** | 夫の親 | **0.3** | 0.5 | – | その他（具体的に　　） |
| – | – | ***0.3*** | あなたの祖父母 | **92.1** | 93.2 | ***92.2*** | だれからもないと思う →（問13へ） |
| **1.4** | 1.6 | ***0.9*** | NA | | | | |

付問．では、住宅取得資金贈与には、具体的にどのような影響があると思いますか。（○はいくつでも）

ST=**43** 10 ***24***

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **41.9** | 60.0 | ***58.3*** | 初めて贈与を受ける | **9.3** | 10.0 | ***8.3*** | 贈与の額が増える |
| **7.0** | 20.0 | ***16.7*** | 贈与の時期が早まる | **16.3** | 10.0 | ***8.3*** | 贈与の額が減る |
| **7.0** | 10.0 | – | 贈与の時期が遅くなる | **2.3** | – | ***4.2*** | その他（具体的に　　） |

**20.9** – 8.3 NA

〔全員の方に〕

問13．このような住宅ローン減税の制度変更はあなたの将来の住宅取得行動にどのような影響を及ぼすと思いますか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1.8** | 2.1 | ***6.1*** | 住宅ローン残高の限度額と控除率が引き下げられる前に住宅を購入したいため、住宅購入の時期を早める |
| **2.3** | 2.6 | ***4.1*** | 住宅購入が不可能になる |
| **1.2** | 2.1 | ***3.8*** | 住宅購入の時期を遅らせる |
| **3.2** | 4.7 | ***7.3*** | 住宅の購入価格を下げる |
| **0.9** | 1.0 | ***0.3*** | その他（具体的に　　） |
| **89.6** | 89.1 | ***80.5*** | 何の影響もない |

**1.4**　0.5　***0.9***　NA

問14．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなた方ご夫婦が自分たちで住んだり、セカンドハウスとして利用していた土地または住宅を売却しましたか。（親との共同名義のものも含みます）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **0.2** – – | – – – | – – – | – – ***0.3*** | **98.2** 99.0 ***98.5*** | **1.7** 1.0 ***1.2*** NA |
| 地のみを売却した | 家屋のみを売却した | 土地、家屋両方を売却した | マンションを売却した | 売却しなかった | |

（次ページ問15へ）

付問．その売却価格はいくらでしたか。（家屋のみ、マンションの場合は「家屋」のみに、土地のみの場合は「土地」のみにご記入下さい）

家　屋　ST=**0** 0 ***1***　　億　**0** 0 ***0***　万円

土　地　ST=**1** 0 ***0***　　億　**1** 1 **8** **0** 0 ***0***　万円

合　計　ST=**1** 0 ***1***　　億　**1** 1 **8** **0** 0 ***3*** ***8*** ***0***　万円

問15. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなた方ご夫婦が自分たちで住んだり、セカンドハウスとして利用していた住宅を増築または改築しましたか。（親との共同名義のものも含みます）

**0.2** － *0.6* 増築した　**1.7** － － 改築した　**0.2** － － 増改築した　**96.7** 98.4 *98.3* どちらもしなかった　**1.4** 1.6 *1.2* NA

→（問16へ）

付問. その費用はいくらでしたか。ST=**13** － *2*

| | 億 | | 4 | 6 | 8 | 万円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | － | |
| | | *1* | *2* | *8* | *0* | |

問16. あなた方ご夫婦は、今住んでいる家、セカンドハウス**以外**に、例えば他人に貸すために土地・建物などの不動産を所有していますか。（親との共同名義のものも含みます）

**1.4** 1.0 －　**0.5** 0.5 *0.3*　**3.3** 0.5 *0.3*　**0.8** 0.5 *0.3*　**92.7** 96.9 *97.7*

土地のみを所有している　建物のみを所有している　土地、建物両方を所有している　マンションを所有している　所有していない　**1.4** 0.5 *1.5* NA

→（問17へ）

付問. 所有している不動産の現在の市場価格（売るとした場合の価格）は合計でいくらぐらいですか。
ST=**39** 5 *3*

| | 億 | 3 | 6 | 9 | 3 | 万円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 9 | 1 | 7 | |
| | | *4* | *6* | *6* | *7* | |

問17. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなた方ご夫婦は、今住んでいる家やセカンドハウス**以外**に、土地・建物を購入しましたか。（新築や親との共同名義のものも含みます）

**0.2** － －　－ － －　**0.2** － －　**0.2** － －　**98.6** 100.0 *98.5*

土地のみを購入した　建物のみを購入した　土地、建物両方を購入した　マンションを購入した　購入しなかった　**0.9** － *1.5* NA

→（問18へ）

付問. その購入価格はいくらでしたか。
ST=**3** － －

| | 億 | 2 | 2 | 0 | 0 | 万円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | － | |
| | | | | | － | |

問18. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなた方ご夫婦が自分たちで住んだりセカンドハウスとして利用していた土地・建物**以外**の土地・建物を売却しましたか。（親との共同名義のものも含みます）

**0.2** － －　－ － －　－ － －　－ － **0.3**　**98.0** 99.5 *98.3*

土地のみを売却した　建物のみを売却した　土地、建物両方を売却した　マンションを売却した　売却しなかった　**1.8** 0.5 *1.5* NA

→（次ページへ）

付問. その売却価格はいくらでしたか。
ST=**1** － *1*

| | 億 | | 2 | 1 | 0 | 万円 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | － | |
| | | *1* | *2* | *0* | *0* | |



| 11 | 住宅ローンについてうかがいます。 |
|---|---|

問１. あなた方ご夫婦は、**現在**、住宅ローンに関する借入れをなさっていますか。

**48.9** 51.6 *36.9* 借入れをしている　**50.8** 48.4 *62.5* していない　**0.3** － *0.6* NA

→（47ページへ）

付問１. **現在の**借入れ残高の総額および**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**の返済総額はいくらですか。（借り替えも含みます）
ST=**321** 99 *127*

借入れ残高総額

| 1 | 7 | 8 | 1 | 万円 |
|---|---|---|---|---|
| 2 | 0 | 6 | 3 | |
| *2* | *0* | *7* | *3* | |

この１年間の返済総額

| 137 | 125 | *112* | 万円 |
|---|---|---|---|
| 137 | 128 | *116* | |

**0.3** 2.0 *3.1* この１年間は返済しなかった

付問２. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に新たに借入れをしましたか。（借り替えも含みます）

**4.4** 9.1 *7.1* した　→ 新規借入れ額
**94.4** 90.9 *92.1* しなかった
**1.2** － *0.8* NA

ST=**14** 9 *9*

| 2 | 6 | 9 | 5 | 万円 |
|---|---|---|---|---|
| 2 | 2 | 5 | 3 | |
| *2* | *0* | *5* | *6* | |

付問３. **現在の**借入れについて、以下の項目にご記入下さい。
「①借りた目的」「②借入先」は、次ページのコード表からあてはまる「コード番号」をご記入下さい。

| ①借りた目的（01～06のコード番号記入） | ②借入先（11～16のコード番号記入） | ③現在の借入れ残高（合計） | ④この一年間の返済額（合計） |
|---|---|---|---|
| | | 千 百 十 一 0 万円 | 百 十 一 0 万円<br>**0** この1年間は返済しなかった |
| | | 千 百 十 一 0 万円 | 百 十 一 0 万円<br>**0** この1年間は返済しなかった |
| | | 千 百 十 一 0 万円 | 百 十 一 0 万円<br>**0** この1年間は返済しなかった |

コード表

① 借りた目的

01 借り替え
02 土地の購入
03 住宅（土地も含む）の購入
04 建物の建築
05 増改築
06 別荘の購入

② 借入先

11 銀行など金融機関
12 住宅金融支援機構・年金融資・財形融資・公団融資・自治体融資などの公的融資
13 社内融資
14 妻の親
15 夫の親
16 その他

問２．返済総額は、あなた方ご夫婦にとって、どの程度負担に感じていますか。（○は１つだけ）

ST=**321** 99 ***127***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **20.6** | 31.3 | ***27.6*** | 特に問題はない |
| **41.4** | 39.4 | ***46.5*** | やや負担である |
| **22.4** | 17.2 | ***15.0*** | かなり負担である |
| **8.4** | 7.1 | ***5.5*** | 苦しい |
| **7.2** | 5.1 | ***5.5*** | NA |





| | |
|---|---|
| 12 | 住宅ローン以外のローンについてうかがいます。 |

問１．あなた方ご夫婦は、**現在**借入れ（住宅ローンを除く、自動車ローン・消費者ローン・キャッシングなど）をなさっていますか。

**23.1** 27.6 ***23.8*** 借入れをしている ↓

**76.6** 72.4 ***75.9*** **0.3** － ***0.3*** NA していない →（49 ページの問３へ）

付問１．**現在の**借入れ残高の総額および**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**の返済総額はいくらですか。

ST＝**152** 53 ***82***

借入れ残高総額 **2 6 4** / 1 4 3 / ***1 8 3*** 万円

この１年間の返済総額 **70** 47 ***49*** / **72** 49 ***49*** 万円

**2.6** 3.8 ***1.2*** この１年間は返済しなかった

付問２．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に新たに借入れをしましたか。

ST=**49** 13 ***24***

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **32.2** | 24.5 | ***29.3*** | した | → 新規借入れ額 **1 1 8** / 1 4 8 / ***1. 0 9*** 万円 |
| **64.5** | 75.5 | ***70.7*** | しなかった | |
| **3.3** | － | － | NA | |

付問３．**現在の**借入れについて、以下の項目にご記入下さい。

「①借りた目的」「②借入先」「③そこで借りた理由」は、次ページのコード表からあてはまる「コード番号」をご記入下さい。

「③そこで借りた理由」は１カ所の借入先それぞれについて最大の理由１つを選んでご記入下さい。

| ①借りた目的（01～11のコード番号を記入） | ②借入先（21～29のコード番号を記入） | ③そこで借りた理由（31～45のコード番号を記入） | ④現在の借入れ残高（合計） | ⑤この一年間の返済額（合計） |
|---|---|---|---|---|
| | → | → | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 O この1年間は返済しなかった |
| | → | → | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 O この1年間は返済しなかった |
| | → | → | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 O この1年間は返済しなかった |
| | → | → | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 O この1年間は返済しなかった |
| | → | → | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 O この1年間は返済しなかった |

コード表

① 借りた目的

01 事業用の資金（事業用の自動車の購入、事業用借金の返済等、事業のための借入はここに含む）
02 乗用車の購入
03 家具・家電などの耐久消費財の購入
04 衣類・身の回り品・食料品などの購入
05 趣味・レジャー・交際費として
06 教育費
07 結婚費用
08 病気・不慮の事故
09 家族の生活費の補填
10 借金の返済
11 その他

② 借入先

21 銀行など金融機関・郵便局（ゆうちょ銀行）
22 社内融資
23 銀行系クレジット会社（ＪＣＢ、ＶＩＳＡ、ＵＣなど）
24 信販会社（日本信販、ジャックス、ライフなど）
25 消費者金融会社（アコム、武富士、プロミス、レイクなど）
26 流通関連会社（丸井、クレディセゾン、オーエムシーカードなど。およびデパート各社）
27 妻の親
28 夫の親
29 その他

③ そこで借りた理由

31 そこでしか借りられなかった
32 手続きが簡単だった
33 時間的に一番早く借りられた
34 営業時間が長く、夜も開いていた
35 土曜・日曜にも借りられた
36 金利が低かった
37 その機関の人から熱心に勧められた
38 友人・知人に勧められた
39 借入れできるカードを持っていた
40 返済方法が簡単そうだった
41 たまたま近くにあった
42 有名で信頼できると思った
43 気軽に借りられるから
44 金融機関から借金をしたくなかった
45 その他

問２．返済総額は、あなた方ご夫婦にとって、どの程度負担に感じていますか。（○は１つだけ）
ST=**152** 53 ***82***

**21.7** 28.3 ***35.4*** 特に問題はない
**42.1** 41.5 ***39.0*** やや負担である
**19.1** 13.2 ***13.4*** かなり負担である
**15.8** 15.1 ***9.8*** 苦しい
**1.3** 1.9 **2.4** NA



〔全員の方に〕

問３．あなた方ご夫婦は、**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**借入れをしたかったのに、断られたことがありますか。（○はいくつでも）

**1.2** 1.0 ***0.9*** 断られたことがある
**0.5** － ***0.9*** 認められたが減額されたことがある
**98.2** 98.4 ***98.0*** な い
**0.2** 0.5 ***0.3*** NA

問４．あなた方ご夫婦は、**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**借入れをしたかったのに、断られることを見込んで最初からあきらめたことがありますか。

**2.7** 2.6 ***2.0*** 最初からあきらめたことがある
**96.7** 95.8 ***97.7*** な い
**0.6** 1.6 ***0.3*** NA

問５．あなた方ご夫婦は、今後、新規に、または追加して借入れをなさるおつもりがありますか。

**3.8** 1.6 ***2.6*** 借入れのつもりがある
**61.6** 65.1 ***69.5*** な い
**34.2** 32.8 ***27.6*** わからない
**0.3** 0.5 ***0.3*** NA

（次ページへ）

付問１．その場合、借入れ先としてどの機関を考えますか。下の９つの中から、あなたが考える順に３つを選び、番号を□にご記入下さい。

１位 □　２位 □　３位 □

ST=**25** 3 ***9***

| １位 | | | | ２位 | | | ３位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **52.0** | 66.7 | ***55.6*** | 銀行など金融機関・郵便局（ゆうちょ銀行） | **20.0** | 33.3 | ***33.3*** | － | － | － |
| **12.0** | 33.3 | ***22.2*** | 住宅金融支援機構・年金融資・財形融資・公団融資・自治体融資などの公的融資 | **12.0** | 33.3 | ***33.3*** | **8.0** | － | ***11.1*** |
| **8.0** | － | ***11.1*** | 社内融資 | **4.0** | － | － | **8.0** | － | ***33.3*** |
| **8.0** | － | ***11.1*** | 銀行系クレジット会社（ＪＣＢ、ＶＩＳＡ、ＵＣなど） | **16.0** | － | ***11.1*** | **8.0** | － | － |
| **4.0** | － | － | 信販会社（日本信販、ジャックス、ライフなど） | **4.0** | － | ***11.1*** | **12.0** | － | － |
| － | － | － | 消費者金融会社（アコム、武富士、プロミス、レイクなど） | **4.0** | － | － | － | － | ***11.1*** |
| **4.0** | － | － | 流通関連会社（丸井、クレディセゾン、オーエムシーカードなど。およびデパート各社） | **4.0** | － | － | **4.0** | － | － |
| **8.0** | － | － | その他（具体的に　　） | － | － | － | － | － | － |
| － | － | － | わからない | **8.0** | 33.3 | ***11.1*** | **8.0** | 33.3 | ***33.3*** |
| **4.0** | － | － NA | | **28.0** | － | － NA | **52.0** | 66.7 | ***11.1*** NA |

付問２．その機関での借入れをお考えになるのはどのような理由からですか。（○はいくつでも）

**44.0** 33.3 － 手続きが簡単
－ － － 営業時間が長く、夜も開いている
**4.0** － － 土曜・日曜も利用できる
**60.0** 66.7 ***33.3*** 金利が低い
**16.0** － － 担保、保証人等が必要ない
－ 66.7 ***33.3*** 秘密保持に安心できる
**8.0** － ***11.1*** アフターサービスが良い
**24.0** 66.7 ***44.4*** 有名で信頼できる
**4.0** － － その他（具体的に　　）
**4.0** － ***11.1*** NA

## 13 クレジットカードを利用した飲食や買い物などについてうかがいます。

問１．あなた方ご夫婦はクレジットカードをご利用ですか。

（注）クレジットカードの具体例
- 銀行系クレジットカード（ＪＣＢ、ＶＩＳＡ、ＵＣなど）
- 信販会社（日本信販、ジャックス、ライフなど）
- 消費者金融会社（アコム、武富士、プロミス、レイクなど）
- 流通関連会社（丸井、クレディセゾン、オーエムシーカードなど。およびデパート各社）

| 利用している | カードは持っているがほとんど利用していない | カードは持っていない |
|---|---|---|
| **58.6** 60.4 ***63.4*** | **32.1** 30.7 ***29.9*** | **9.3** 8.9 ***6.7*** |

（次ページへ）

付問１．支払名義人別に何枚ずつお持ちですか。

ST=**385** 116 ***218***

| | あなたの名義 | ご主人の名義 | あなたの親の名義 | ご主人の親の名義 |
|---|---|---|---|---|
| | **2.** \| **8** | **2.** \| **5** | **1.** \| **5** | **1.** \| **2** |
| | 2. \| 4 | 2. \| 3 | 2. \| 4 | 1. \| 8 |
| | ***2.*** \| ***2*** | ***2.*** \| ***2*** | ***2*** \| ***0*** | ***1.*** \| ***4*** |
| | 枚 | 枚 | 枚 | 枚 |
| ST= | **347** ↓103 ***195*** | **349** ↓109 ***196*** | **15** ↓7 ***18*** | **13** ↓8 ***11*** |

（支払名義人それぞれについて）
付問２．クレジットカードを利用するにあたって、何か制約条件をつけていますか。該当するものに○をつけて下さい。（○は２つまで）

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)利用金額の限度を月に２万円位までと決めている…… | **14.4** | 7.8 | ***9.7*** | **6.3** | 3.7 | ***4.1*** | **6.7** | - | - | - | - | ***9.1*** |
| (2)利用金額の限度を月に５万円位までと決めている…… | **6.3** | 4.9 | ***4.1*** | **2.3** | 2.8 | ***5.6*** | - | - | ***5.6*** | - | - | - |
| (3)利用金額の限度を月に10万円位までと決めている…… | **3.2** | 5.8 | ***5.1*** | **2.6** | 4.6 | ***4.1*** | - | - | - | - | - | - |
| (4)月々の返済金額の限度を決めている…… | **11.0** | 7.8 | ***7.2*** | **7.7** | 5.5 | ***5.6*** | **6.7** | - | ***5.6*** | **7.7** | - | ***9.1*** |
| (5)利用する店や、利用する物・サービスを決めている…… | **41.8** | 39.8 | ***35.4*** | **37.2** | 40.4 | ***34.7*** | **40.0** | 28.6 | ***16.7*** | **15.4** | 25.0 | - |
| (6)その他（具体的に　　）… | **2.3** | 1.9 | ***3.6*** | **2.0** | 5.5 | ***3.1*** | - | 14.3 | ***5.6*** | **7.7** | 12.5 | ***9.1*** |
| (7)特に制約を設けていない …… | **34.9** | 38.8 | ***42.6*** | **45.8** | 44.0 | ***46.4*** | **46.7** | 57.1 | ***66.7*** | **61.5** | 62.5 | ***63.6*** |
| NA…… | **0.3** | - | ***1.5*** | **2.0** | 0.9 | ***2.0*** | **6.7** | - | ***5.6*** | **7.7** | - | ***9.1*** |

（あなたの名義、ご主人の名義のカードについて）
付問３．　現在、これから決済される（引き落とされる）利用残高はいくらくらいありますか。

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 残　高 …… | **10.4** | 9.6 | ***12.0*** | 万円 | **10.7** | 16.4 | ***14.7*** | 万円 | | |
| 残高はあるが覚えていない…… | **19.0** | 18.4 | ***22.1*** | | **18.1** | 15.6 | ***20.4*** | | | |
| 残高はない…… | **28.5** | 37.9 | ***26.2*** | | **34.4** | 29.4 | ***29.1*** | | | |
| わからない…… | **4.9** | 3.9 | ***7.2*** | | **12.9** | 10.1 | ***12.2*** | | | |
| NA…… | **2.0** | - | ***1.0*** | | **2.9** | 1.8 | - | | | |



## 14 家庭電気製品などについてうかがいます。

問１．現在、あなた方ご夫婦は次のものをいくつ保有していますか。その台数を記入して下さい。持っていない場合は、０をご記入下さい。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **32.6** 36.5 ***32.6*** | 自動食器洗い機 ……→ | **1.0** 1.0 ***1.0*** | 台 |
| **39.4** 33.3 ***32.0*** | 衣類乾燥機 ……→ | **1.0** 1.0 ***1.0*** | 台 |
| **92.1** 93.2 ***94.8*** | ルームエアコン ……→ | **3.1** 2.5 ***2.1*** | 台 |
| **100.0** 99.0 ***99.1*** | カラーテレビ ……→ | **2.5** 1.9 ***1.8*** | 台 |
| **88.9** 87.5 ***84.0*** | パソコン ……→ | **1.6** 1.4 ***1.4*** | 台 |
| **99.5** 99.5 ***99.4*** | 携帯電話（ＰＨＳも含む） …→ | **2.9** 2.3 ***2.2*** | 台 |
| **94.7** 94.8 ***92.4*** | 乗用車 ……→ | **1.7** 1.5 ***1.5*** | 台 |

| 15 | 生活行動についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたとご主人の生活時間についてうかがいます。
日常の生活行動を次の６つに分けた場合、通常の平日、休日にそれぞれ合計でおおよそ何時間費やしていますか。
あなたの場合とご主人の場合についてお答え下さい。（10分単位でご記入下さい）
同時に複数のことをした場合は、主なもののほうでお答え下さい。

**あなたの**生活時間

（注：無職の方はご主人の休みの日）

| | 平日 | | | 休日 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)通勤・通学 | **27m** | 19m | ***25m*** | **1m** | 1m | ***1m*** |
| | **43m** | 38m | ***57m*** | **51m** | 1h10m | ***1h10m*** |
| (2)仕　事 | **4h49m** | 3h49m | ***3h26m*** | **17m** | 19m | ***5m*** |
| | **7h00m** | 7h01m | ***7h19m*** | **3h42m** | 4h17m | ***3h17m*** |
| (3)勉　学 | **11m** | 10m | ***9m*** | **16m** | 9m | ***11m*** |
| | **1h09m** | 1h33m | ***1h13m*** | **1h30m** | 1h47m | ***1h33m*** |
| (4)家事・育児 | **5h19m** | 6h51m | ***7h46m*** | **6h17m** | 7h47m | ***8h42m*** |
| | **5h23m** | 6h58m | ***7h51m*** | **6h22m** | 7h57m | ***8h49m*** |
| (5)趣味・娯楽・交際など | **2h33m** | 2h08m | ***2h02m*** | **4h52m** | 4h01m | ***3h56m*** |
| | **3h02m** | 2h43m | ***2h40m*** | **5h19m** | 4h33m | ***4h45m*** |
| (6)上記以外の睡眠、食事、入浴、身の回りの用事など | **10h42m** | 10h43m | ***10h12m*** | **12h17m** | 11h43m | ***11h04m*** |
| | **10h42m** | 10h43m | ***10h12m*** | **12h17m** | 11h43m | ***11h04m*** |
| | 計　２４時間 | | | 計　２４時間 | | |

**ご主人の**生活時間

| | 平日 | | | 休日 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)通勤・通学 | **1h08m** | 1h05m | ***1h04m*** | **1m** | 1m | ***1m*** |
| | **1h14m** | 1h09m | ***1h08m*** | **56m** | 1h00m | ***56m*** |
| (2)仕　事 | **10h05m** | 9h48m | ***10h24m*** | **33m** | 33m | ***17m*** |
| | **10h08m** | 10m04h | ***10h32m*** | **3h54m** | 4h05m | ***2h56m*** |
| (3)勉　学 | **11m** | 9m | ***9m*** | **21m** | 18m | ***16m*** |
| | **1h05m** | 1h25m | ***1h09m*** | **1h44m** | 1h56m | ***1h50m*** |
| (4)家事・育児 | **23m** | 44m | ***48m*** | **1h36m** | 3h01m | ***3h48m*** |
| | **1h03m** | 1h19m | ***1h24m*** | **2h29m** | 3h43m | ***4h34m*** |
| (5)趣味・娯楽・交際など | **2h07m** | 2h10m | ***1h57m*** | **7h47m** | 7h17m | ***6h45m*** |
| | **2h40m** | 2h40m | ***2h30m*** | **8h13m** | 7h40m | ***7h10m*** |
| (6)上記以外の睡眠、食事、入浴、身の回りの用事など | **10h06m** | 10h04m | ***9h37m*** | **13h41m** | 12h50m | ***12h52m*** |
| | **10h06m** | 10h04m | ***9h37m*** | **13h41m** | 12h50m | ***12h52m*** |
| | 計　２４時間 | | | 計　２４時間 | | |



問２．あなたとご主人は１週間に何日休みの日がありますか。
（週２日休みの場合は、2.0とお答え下さい。隔週の休みは0.5と換算して下さい。）

あなた **2.1** 2.1 ***2.1*** / **2.1** 2.1 ***2.1*** 日　　ご主人 **1.6** 1.6 ***1.6*** / **1.6** 1.6 ***1.6*** 日

**31.2** 45.8 ***50.6*** 仕事についていない　　**0.5** 2.1 ***1.5*** 仕事についていない

問３．あなたとご主人は何曜日が休みですか。（隔週休みの場合は休みとしてお答え下さい。）

| | 日曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 決まっていない | 仕事についていない | NA |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ST=**452** 104 ***170*** | | | | | | | | | | |
| あなた ＞ | **68.8** | **8.4** | **5.3** | **6.6** | **6.0** | **4.4** | **54.9** | **25.4** | … | **1.8** |
| | 71.2 | 10.6 | 7.7 | 9.6 | 3.8 | 10.6 | 59.6 | 22.1 | … | 1.0 |
| | ***77.1*** | ***6.5*** | ***6.5*** | ***10.6*** | ***5.3*** | ***2.4*** | ***65.3*** | ***13.5*** | … | ***4.1*** |
| ST= **654** 188 ***339*** | | | | | | | | | | |
| ご主人 ＞ | **75.2** | **1.5** | **3.4** | **2.4** | **1.7** | **1.1** | **54.4** | **18.3** | … | **1.8** |
| | 74.5 | 1.6 | 1.1 | 2.1 | 1.1 | 0.5 | 54.3 | 21.8 | … | 1.1 |
| | ***74.3*** | ***0.9*** | ***2.7*** | ***3.5*** | ***0.9*** | ***0.3*** | ***50.7*** | ***20.1*** | … | ***1.2*** |

問４．あなたは**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に１泊２日以上の旅行をしましたか。
（夜行日帰りは１泊２日には含みません）

**国内**

（1）観光旅行（レクリエーション・スポーツなどのための旅行を含みます）

**55.4** 47.4 ***43.0*** しなかった　**43.5** 51.0 ***56.4*** した　**1.1** 1.6 ***0.6*** NA

（2）帰省・訪問などの旅行

**69.3** 59.9 ***50.6*** しなかった　**28.6** 38.5 ***48.5*** した　**2.1** 1.6 ***0.9*** NA

（3）業務出張・研修・その他の業務関連

**63.9** 52.6 ***55.2*** しなかった　**7.0** 3.6 ***3.8*** した
**26.6** 40.6 ***39.5*** この１年間は仕事についていない
**2.4** 3.1 ***1.5*** NA

**海外**

（4）観光旅行（レクリエーション・スポーツなどのための旅行を含みます）

**92.5** 90.6 ***93.3*** しなかった　**5.9** 7.3 ***5.8*** した　**1.5** 2.1 ***0.9*** NA

（5）帰省・訪問などの旅行

**97.1** 96.9 ***96.8*** しなかった　**1.4** 0.5 ***2.3*** した　**1.5** 2.6 ***0.9*** NA

（6）業務出張・研修・その他の業務関連

**71.1** 56.3 ***58.4*** しなかった　**0.6** － ***1.2*** した
**26.6** 40.6 ***39.8*** この１年間は仕事についていない
**1.7** 3.1 ***0.6*** NA

| 16 | 自己啓発についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたは**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に各種学校、専門学校、大学、通信教育などで受講しましたか。会社から派遣されたものは除いてお答え下さい。

**2.3** 1.0 ***3.5*** 受講した

**97.6** 99.0 ***96.2*** 受講しなかった

**0.2** **－** ***0.3*** NA

（次ページの問１へ）

付問１．通ったのはどのような学校ですか。（通信教育を含む）（○はいくつでも）

ST=**15** 2 ***12***

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **46.7** | 50.0 | ***25.0*** | 各種学校 | － | － | ***8.3*** | 大学（卒業を目的とする） |
| **6.7** | **－** | ***8.3*** | 職業訓練学校 | **－** | **－** | **－** | 大学（科目履修、聴講生、研究生など） |
| **－** | **－** | **－** | 高等学校 | **6.7** | **－** | **8.3** | **大学（通信部、放送大学）** |
| **13.3** | **－** | ***8.3*** | 専門学校・専修学校 | **6.7** | **－** | **－** | 大学院 |
| － | － | － | 短大・高専 | **20.0** | 50.0 | ***41.7*** | その他（具体的に　　） |

付問２．この１年間に、その学校を卒業しましたか。

**46.7** **－** ***58.3*** 卒業した・修了した

**53.3** 100.0 ***41.7*** 卒業しない・修了しない

付問３．受講した理由をお聞かせ下さい。**（○は２つまで）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **33.3** | **－** | ***50.0*** | これまでの仕事を発展させるために役立ちそうな知識や資格などを得るため |
| **46.7** | 50.0 | ***83.3*** | これからの仕事に役立ちそうな知識や資格を得るため |
| **－** | **－** | **－** | 進学の準備のため |
| **40.0** | **－** | ***16.7*** | 教養を身につけるため |
| **－** | **－** | **－** | 高度な勉強がしたいから |
| **6.7** | **－** | ***8.3*** | 自分の視点を作りたいから |
| **13.3** | 50.0 | **－** | 芸術・芸能・趣味を高めるため |
| **－** | **－** | **－** | 健康・体力作りのため |
| **6.7** | **－** | **－** | 時間を充実させるため |
| **13.3** | **－** | **－** | 打ち込めるものがほしいから |
| **－** | **－** | **－** | 家庭・日常生活に関する知識や技能を得るため |
| **－** | **－** | **－** | 社会貢献（ボランティア等）のための知識や技能を得るため |
| **6.7** | **－** | **－** | その他（具体的に　　） |

付問４．その費用はどなたが負担しましたか。（○はいくつでも）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **86.7** | 100.0 | ***66.7*** | 自分自身 | **－** | **－** | **－** | 自分の親 |
| **－** | **－** | ***33.3*** | 勤め先 | **6.7** | **－** | **－** | 教育訓練給付制度 |
| **13.3** | **－** | ***25.0*** | 夫 | **－** | **－** | **－** | その他の公的な助成 |
| | | | | **－** | **－** | **－** | その他（具体的に　　） |

付問５．（勤務先または、公的な助成を除いて）**あなた自身が、またはあなたの家族が**負担した費用（授業料や教材費）は**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**でいくらでしたか。（交通費は除きます）

| | | |
|---|---|---|
| **24.1** | 3.5 | ***17.3*** |
| **24.1** | 3.5 | ***20.7*** |

万円　**－－** ***16.7*** な　し





| 17 | お子さんについてうかがいます。 |
|---|---|

問１．お子さんのことについておたずねします。お子さんのいる方もいない方もお答え下さい。
今後、子どもは（もっと）欲しいですか。

**3.2** 13.5 ***35.5*** 是非、欲しい

**4.6** 21.4 ***24.4*** 条件によっては欲しい

**91.6** 64.6 ***40.1*** 欲しくない

**0.5** **－** **－** NA

ST=**30** 41 ***84***

付問１．その条件とは何ですか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **70.0** | 78.0 | ***79.8*** | 生活費に余裕ができたら |
| **33.3** | 14.6 | ***31.0*** | 住居が広くなったら |
| **23.3** | 36.6 | ***23.8*** | 仕事を続けられるなら |
| **40.0** | 48.8 | ***48.8*** | 夫や家族が協力してくれるなら |
| **13.3** | 24.4 | ***26.2*** | 保育所や保育ママさんなどの社会制度が利用できれば |
| **23.3** | 12.2 | ***14.3*** | その他（具体的に　　） |
| － | 2.4 | ***1.2*** | NA |

ST=**602** 124 ***138***

付問２．なぜ欲しくないのですか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **39.4** | 53.2 | ***65.2*** | 教育費・養育費の負担が大きいから |
| **8.6** | 12.9 | ***22.5*** | 広い家が必要だから |
| **8.3** | 12.1 | ***15.2*** | 仕事を続けたいから |
| **9.0** | 14.5 | ***25.4*** | 自分自身の生活を大切にしたいから |
| **2.7** | 3.2 | ***4.3*** | 夫との２人の生活を大切にしたいから |
| **29.7** | 41.1 | ***42.8*** | 子どもを一人前に育てるのは容易ではないから |
| **6.6** | 12.9 | ***13.8*** | 夫の育児協力が期待できないから |
| **52.3** | 49.2 | ***42.0*** | 体力的に大変だから |
| **8.3** | 12.1 | ***12.3*** | 丈夫な子どもが生まれるかどうか不安だから |
| **0.7** | 3.2 | **－** | 子どもが嫌いだから |
| **0.2** | **－** | **－** | 女の子さえ生まれればいいから |
| **0.2** | **－** | **－** | 男の子さえ生まれればいいから |
| **62.8** | 66.1 | ***74.6*** | いまの子どもの人数で満足だから |
| **12.6** | 5.6 | ***3.6*** | その他（具体的に　　） |
| **0.5** | **－** | ***0.7*** | NA |

（次ページの問２へ）

付問３．（あと）何人ぐらい子どもは欲しいですか。

ST=**52** 68 ***206***

**1.3** 1.2 ***1.5*** 人

付問４．男の子と女の子、どちらが欲しいのかと尋ねられたら、どちらが欲しいですか。（○は１つだけ）

**15.4** 27.9 ***35.4*** 男の子　**80.8** 70.6 ***64.1*** 女の子　**3.8** 1.5 ***0.5*** NA

〔全員の方に〕

問２．(1)　子どもに、将来、どこまで教育を受けさせたいですか。（○は１つだけ）

**20.4** 17.2 ***17.4***　定評のある大学（４年制）に進学させたい
**11.9** 11.5 ***10.8***　どこの大学でもよいから、大学（４年制）に進学させたい
**0.2** 3.1 ***1.7***　短大に進学させたい
**3.2** 3.1 ***1.5***　専門学校に進学させたい
**10.4** 13.5 ***16.0***　高校までは進学させたい
**52.7** 51.6 ***52.6***　本人次第
**1.4** － －　NA

(2)　その理由は何ですか。（○はいくつでも）

**33.3** 30.7 ***29.7***　就職等で有利になるから
**3.5** 5.7 ***3.2***　結婚等で有利になるから
**13.7** 10.4 ***10.8***　社会的に高い評価を得ることができるから
**28.6** 33.9 ***30.2***　よい教育を受けさせたいため
**28.8** 34.4 ***30.5***　よい友人を作るため
**16.4** 19.3 ***26.5***　何となく
**27.7** 21.9 ***19.2***　その他（具体的に　　）
**2.4** 1.0 ***0.3***　NA

〔問３～問９は中学生以下のお子さんのいらっしゃる方にお聞きします。それ以外の方は58ページへお進み下さい〕

問３．問３から問９は中学生以下のお子さんのうち一番年上のお子さんについて伺います。そのお子さんは公立の学校に通っていますか、私立の学校に通っていますか。

ST=**369** 164 ***274***

**82.1** 78.0 ***51.8***　公立　**1.6** － ***0.4***　国立　**7.9** 8.5 ***13.5***　私立　**8.4** 13.4 ***34.3*** NA

問４．そのお子さんは何かお稽古事（学習塾、英会話等を除く）をなさっていますか。（○はいくつでも）

**29.8** 35.4 ***28.5***　学校以外のスポーツ教室やスポーツ・クラブに通っている
**29.5** 19.5 ***7.7***　学校の部活動を行っている
**10.3** 18.3 ***11.7***　ピアノなど音楽教室に通っている
**12.7** 14.0 ***8.0***　絵画や習字、そろばん等の教室に通っている
**1.6** 3.7 **1.8**　その他（具体的に　　）
**31.2** 26.8 ***39.8***　何もやっていない ――→（次ページの問６へ）
**8.1** 8.5 ***18.6***　NA

問５．お稽古事に、すべて合わせて、１年間にいくらぐらい支出していますか。

ST=**224** 106 ***114***

１年間に

| | |
|---|---|
| | **9** |
| **1** | **0** |
| 1 | 2 |
| 1 | 3 |
| ***1*** | ***2*** |
| ***1*** | ***2*** |

万

| |
|---|
| **9** |
| **4** |
| 4 |
| 0 |
| ***4*** |
| ***5*** |

千円



問６．そのお子さんは学習塾や予備校（家庭教師を含む）、英会話等に通っていますか。
（○はいくつでも）

ST=**369** 164 ***274***　　ST=**150** 56 ***35***

**40.7** 34.1 ***12.8***　普段から通っている ――→週　に　**2.4** 2.0 ***1.5*** 回

月謝は月に

| | |
|---|---|
| | **2** |
| | 1 |
| | ***1*** |

万

| |
|---|
| **2** |
| 7 |
| ***1*** |

千円

ST=**30** 5 ***3***

**8.1**　**3.0** ***1.1***　夏休みや冬休みの時に通っている　費用は年に

| | |
|---|---|
| **1** | **3** |
| | 7 |
| | ***2*** |

万

| |
|---|
| **1** |
| 4 |
| ***2*** |

千円

**50.1** 56.7 ***68.6***　通っていない ――→（問９へ）

問７．なぜ、学習塾や予備校、英会話等に通わせているのですか。（○はいくつでも）

ST=**153** 59 ***36***

**23.5** 20.3 ***16.7***　学校（幼稚園）の成績が良くなると思うから
**15.0** 20.3 ***8.3***　学校（幼稚園）の成績が悪いので、補習のため
**19.0** 16.9 ***11.1***　学校（幼稚園）の授業内容では不十分だと思うので
**37.3** 10.2 ***8.3***　受験をさせるため
**9.2** 15.3 *2.8*　通わせないと不安だから
**2.0** 1.7 －　ほかの子が通っているから
**49.7** 55.9 ***63.9***　本人が行きたいといっているので
**2.0** 6.8 ***2.8***　時間が余っているから
**7.8** 13.6 ***13.9***　その他（具体的に　　）
**2.0** 1.7 ***11.1***　NA

問８．学習塾や予備校、英会話等に通わせた結果を、どう評価していますか。

**89.5** 88.1 ***83.3***　通わせないよりも、よい結果が出ていると思う
**7.8** 10.2 ***5.6***　通わせても、通わせなくても、結果は変わらないと思う
**2.6** 1.7 ***11.1***　NA

〔問６で「３　通っていない」と答えた方に〕

問９．今後、学習塾や予備校、英会話等に通わせる予定はありますか。

ST=**185** 93 ***188***　　ST=**37** 14 ***56***

**20.0** 15.1 ***29.8***　もう少し大きくなったら通わせる→何歳ぐらいから

| |
|---|
| **12** |
| 10 |
| ***9*** |

歳

**45.4** 57.0 ***34.6***　成績のいかんによっては通わせるかもしれない
**33.0** 24.7 ***35.1***　通わせるつもりはない
**1.6** 3.2 ***0.5***　NA

| 18 | あなたの友人関係についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．現在つき合いのある友人の人数を、以下のきっかけごとにお答え下さい。
ここでいう「友人」とは、あなたと１対１の関係でつき合いがある（会ったり、電話で話したり、文通したりする）友人をいいます。グループ交際の場合は含みません。
また、出会った「きっかけ」が重複する場合は、主なきっかけでお答え下さい。

| 出会った時期と主なきっかけ | | 何人いますか 女性 | 何人いますか 男性 |
|---|---|---|---|
| 幼なじみや、学校時代にできた友人 | | **3.7** 4.1 ***6.6*** 人<br>**4.5** 4.6 ***7.0*** | **0.6** 0.6 ***1.1*** 人<br>**3.0** 2.9 ***3.6*** |
| 学校を卒業してからできた友人 | 仕事を通して | **3.3** 3.0 ***3.7*** 人<br>**4.3** 4.0 ***4.8*** | **0.5** 0.6 ***1.1*** 人<br>**2.7** 2.9 ***3.8*** |
| | 趣味やボランティア活動などを通して | **1.3** 0.8 ***1.1*** 人<br>**4.4** 3.8 ***4.6*** | **0.2** 0.3 ***0.4*** 人<br>**3.3** 3.2 ***4.3*** |
| | 友人を通して | **0.6** 0.5 ***0.4*** 人<br>**2.6** 2.1 ***2.1*** | **0.1** 0.1 ***0.2*** 人<br>**2.5** 1.5 ***2.7*** |
| | 子どもを通して | **3.6** 3.7 ***3.8*** 人<br>**4.9** 5.0 ***6.0*** | **0.3** 0.1 ***0.1*** 人<br>**3.6** 2.6 ***2.3*** |
| | 夫を通して | **0.4** 0.4 ***0.6*** 人<br>**2.4** 2.1 ***2.2*** | **0.3** 0.5 ***0.5*** 人<br>**2.7** 3.0 ***2.9*** |
| | 近所に住んでいることがきっかけで | **1.3** 1.1 ***1.0*** 人<br>**2.9** 2.6 ***2.9*** | **0.2** － ***0.1*** 人<br>**3.4** 1.8 ***3.3*** |
| | その他（　　） | **0.1** － ***0.1*** 人<br>**4.7** 3.0 ***2.1*** | － － － 人<br>**3.5** 5.0 ***3.0*** |
| **合　　計** | | **14.2** 13.4 ***17.3*** 人<br>**14.4** 13.5 ***17.4*** | **2.2** 2.1 ***3.4*** 人<br>**5.7** 4.8 ***6.4*** |



| 19 | 生活意識についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたは生活全般に満足していますか。

**7.8** 13.5 ***17.4*** **40.0** 49.0 ***52.6*** **27.4** 21.4 ***19.8*** **18.6** 10.4 ***7.3*** **5.9** 5.2 ***2.6*** **0.3** 0.5 ***0.3*** NA

満　足 / どちらかといえば満足 / どちらともいえない / どちらかといえば不満 / 不　満

問２．ふだんのあなたの健康状態はどうですか。

**8.8** 10.9 ***13.1*** **34.1** 40.6 ***48.8*** **43.2** 37.0 ***31.4*** **13.4** 11.5 ***6.1*** **0.5** － ***0.3*** －－ ***0.3*** NA

とても健康 / まあ健康 / ふつう / あまり健康ではない / まったく健康でない

問３．あなたは自分の身体について、同年齢の人と比べて若い方だと思いますか。

**9.3** 6.3 ***4.7*** 若い方だと思う
**18.1** 12.0 ***18.3*** やや若い方だと思う
**62.1** 63.5 ***60.8*** ふつう
**7.9** 15.1 ***14.0*** やや老けている方だと思う
**2.4** 3.1 *2.0* 老けている方だと思う
**0.2** － ***0.3*** NA

問４．現在のあなたの生活程度は、世間一般からみて、次のどれにはいると思いますか。

**0.5** － ***1.2*** **15.1** 18.8 ***16.0*** **53.9** 52.1 ***58.1*** **27.4** 25.5 ***21.5*** **3.2** 3.6 ***2.9*** －－ ***0.3*** NA

上 / 中の上 / 中の中 / 中の下 / 下

問５．ご家庭の現在の収入に満足していますか。

**2.6** 1.6 ***5.2*** **33.5** 39.1 ***43.0*** **46.3** 43.8 ***41.9*** **17.5** 15.1 ***9.3*** **0.2** 0.5 ***0.6*** NA

とても満足 / ほぼ満足 / やや不満 / とても不満

問６．ご家庭の現在の消費（生活費支出）額に満足していますか。

**48.4** 47.9 ***52.9*** **39.6** 43.8 ***40.7*** **11.9** 8.3 ***5.8*** **0.2** － ***0.6*** NA

使いすぎていることに不満 / ほぼ満足 / 少なすぎることに不満

問７．ご家庭の現在の消費（生活費支出）の内容に満足していますか。

**0.6** － ***0.6*** **33.2** 34.9 ***44.2*** **53.4** 57.3 ***46.5*** **12.8** 7.8 ***8.4*** －－ ***0.3*** NA

とても満足 / ほぼ満足 / やや不満 / とても不満

問８．あなたは現在の夫婦関係に満足していますか。

**7.6** 11.5 ***24.7*** **32.6** 39.1 ***37.8*** **40.8** 35.9 ***26.7*** **12.8** 8.3 ***7.3*** **6.2** 5.2 ***2.9*** －－ ***0.6*** NA

非常に満足している / まあまあ満足している / ふつう / あまり満足していない / まったく満足していない

問９．あなたは幸せだと思っていますか。それとも、不幸だと思っていますか。

**13.2** 24.0 ***34.3*** **55.7** 54.7 ***50.0*** **22.7** 15.6 ***11.9*** **6.7** 3.1 ***2.6*** **1.5** 2.6 ***0.9*** **0.2** － ***0.3*** NA

とても幸せ / まあまあ幸せ / どちらでもない / 少し不幸 / とても不幸

| 20 | あなたの考え方・ご意見についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．この１週間のあなたのからだや心の状態についてお聞きします。以下のような気分やことがらをどのくらい経験しましたか。（１）～（12）についてそれぞれあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ○は１つだけ）

| | まったくなかった | 週に１～２日 | 週に３～４日 | ほとんど毎日 | NA |
|---|---|---|---|---|---|
| （1）ふだんは何でもないことをわずらわしいと感じたこと | **41.6**<br>42.2<br>***43.6*** | **48.4**<br>49.0<br>***49.1*** | **5.8**<br>4.7<br>***4.7*** | **3.7**<br>4.2<br>***2.0*** | **0.6**<br>－<br>***0.6*** |
| （2）家族や友達から励ましてもらっても気分が晴れないこと | **70.5**<br>71.9<br>***73.8*** | **24.4**<br>25.5<br>***23.0*** | **2.9**<br>2.1<br>***2.0*** | **1.7**<br>0.5<br>***0.9*** | **0.6**<br>－<br>***0.3*** |
| （3）憂うつだと感じたこと | **52.1**<br>55.2<br>***53.5*** | **33.8**<br>32.3<br>***35.8*** | **7.9**<br>10.9<br>***7.0*** | **6.2**<br>1.6<br>***3.2*** | **－**<br>**－**<br>***0.6*** |
| （4）物事に集中できなかったこと | **50.4**<br>59.4<br>***55.5*** | **40.0**<br>29.7<br>***36.0*** | **6.1**<br>7.8<br>***6.1*** | **3.0**<br>3.1<br>***2.0*** | **0.5**<br>－<br>***0.3*** |
| （5）食欲が落ちたこと | **77.0**<br>81.8<br>***77.6*** | **18.9**<br>14.1<br>***16.9*** | **2.1**<br>2.6<br>***3.8*** | **1.7**<br>1.6<br>***1.5*** | **0.3**<br>－<br>***0.3*** |
| （6）何をするのも面倒と感じたこと | **43.2**<br>42.2<br>***45.1*** | **41.4**<br>46.9<br>***43.3*** | **6.7**<br>5.2<br>***6.4*** | **8.1**<br>5.7<br>***4.9*** | **0.6**<br>－<br>***0.3*** |
| （7）何か恐ろしい気持がしたこと | **84.5**<br>88.0<br>***88.1*** | **12.0**<br>11.5<br>***8.4*** | **1.4**<br>0.5<br>***2.3*** | **1.7**<br>－<br>***0.9*** | **0.5**<br>－<br>***0.3*** |
| （8）なかなか眠れなかったこと | **69.4**<br>67.7<br>***69.8*** | **22.4**<br>22.4<br>***23.8*** | **5.6**<br>6.8<br>***4.9*** | **2.0**<br>3.1<br>***1.2*** | **0.6**<br>－<br>***0.3*** |
| （9）ふだんより口数が少なくなったこと | **72.9**<br>79.7<br>***75.9*** | **20.9**<br>14.6<br>***19.5*** | **3.3**<br>3.1<br>***2.6*** | **2.4**<br>2.1<br>***1.7*** | **0.5**<br>0.5<br>***0.3*** |
| (10) 一人ぼっちで寂しいと感じたこと | **79.9**<br>82.3<br>***83.4*** | **14.3**<br>14.1<br>***12.8*** | **3.0**<br>0.5<br>***2.6*** | **2.3**<br>2.6<br>***0.6*** | **0.5**<br>0.5<br>***0.6*** |
| (11)「毎日が楽しい」と感じたこと | **27.1**<br>16.7<br>***14.5*** | **33.6**<br>41.1<br>***38.4*** | **26.2**<br>27.1<br>***28.2*** | **12.5**<br>15.1<br>***18.3*** | **0.6**<br>－<br>***0.6*** |
| (12) 悲しいと感じたこと | **63.8**<br>65.1<br>***65.7*** | **28.5**<br>30.7<br>***29.1*** | **4.6**<br>3.1<br>***2.9*** | **2.6**<br>1.0<br>***2.0*** | **0.6**<br>－<br>***0.3*** |



問２．近年、離婚が増加してきましたが、あなたはそれについてどのようにお考えになりますか。あなたのお考えに最も近いものを１つお答えください。

**55.7** 56.3 ***45.6*** 問題のある結婚生活なら解消した方がよい
**20.9** 20.3 ***22.1*** 自分の生き方や気持ちを大切にするのは悪いことではない
**3.5** 2.6 ***4.1*** 離婚を悪いことだとする考えが減ったので、仕方がない
**18.3** 19.3 ***24.1*** 子どもが犠牲になるので、よくない
**1.1** 1.6 ***3.5*** どんなことがあっても、結婚生活はまっとうすべきだ
**0.6** － ***0.6*** NA

問３．最近食品が値上がりしていますが、値上がりした食品の購入について、あなたはどのような対応をとりましたか。最も多くとった行動を１つお答えください。

**24.0** 17.2 ***14.2*** これまでより購入する量を減らした
**3.3** 2.6 ***5.5*** 廉価品や輸入品など、より安い商品を購入するようにした
**2.4** 4.2 ***4.7*** パンからお米に代えるなど、代替品や類似品を購入するようにした
**48.7** 53.1 ***53.8*** まとめ買いや特売の日に買うなど、安く購入する努力をした
**20.7** 22.4 ***20.6*** 食品は、これまでと同じように買い物している
**0.8** 0.5 ***1.2*** NA

大変長い間、ご協力ありがとうございました。

**無配偶継続**

# ◎ 家庭生活についてのおたずね ◎

ご記入にあたってのお願い

・この調査票は、現在配偶者のいない方（①結婚していない方、②結婚後離死別なさった方）にお願いしております。

・お子さんについての質問など未婚の方には関わりのない質問もありますが、この調査票ではお子さんのいらっしゃる方にもお願いしておりますので、ご了承下さい。

・ご記入には長時間かかりますが、あなた様がすべてご記入下さい。

・あなた様ご自身やご家族のことなどについて少し立ち入ったこともお聞きしますが、統計的に分析することが目的ですので、ありのままをお答えいただきますようお願いします。

・９月１カ月でのことをお聞きしている質問もありますので、そのような質問にはおわかりになった時点でお答え下さい。

・質問番号順にお答え下さい。質問の中には、一部の方にだけおたずねするものがありますが、その場合は指示に従って下さい。

・お答えは、あてはまる回答についている数字を○でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入する場合があります。「その他」にあてはまる時は、数字を○でかこみ、（　　）内に具体的な内容を記入して下さい。（　　）内に書ききれない場合は、欄外にご記入下さい。

・（○は１つ）という質問では、○は１つだけにしぼって下さい。

・ご家族のことについておたずねしている質問では、あなた様ご自身がわからないことがありましたら、ご家族に聞いてご記入下さい。

・なお、「⑧⑨⑩=201」とか⑪などの記号は、コンピュータで処理するためのものですので、質問やお答えとは関係ありません。

ご記入いただきました調査票は　　日　　時ごろ　調査員の　　がいただきにあがりますので、よろしくお願いいたします。

第 8989 号

2008 年 9 月

| 支局番号 | | 地点番号 | | | 対象番号 | | 回 | パネル番号 | | | | 調査員名 | 点検者名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 6 | | | | | | |

①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　・　・　・　・　・　　社団法人　中央調査社

| 1 | ご家族についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．現在いっしょに住んでおられるご家族は、あなたを含めて全部で何人ですか。　⑧⑨⑩=201

□□ 人　⑪⑫

（同じ屋根の下、または同一敷地内にお住まいのご家族は「いっしょに住んでいる」としてご記入下さい）

問２．ご家族１人１人について、あなたとの続き柄、性別、年齢、就学・就労状況、同居・別居の別、配偶関係をお知らせ下さい。（単身赴任や留学、進学、就職、結婚や入院などで別居しているお子さんも含めてご記入下さい）

| | あなたとの続き柄〔具体的にご記入下さい〕 | あなたとの続き柄（下記のコード表参照） | 性別 | 年齢（今年10月1日現在の満年齢） | 現在の就学・就労状況 | 同別居 | 配偶関係 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 未就学 / 小学1～3年 / 小学4～6年 / 中学生 / 高校生 / 短大・大学生 / 専門学校 / 仕事・就いている / 無職 / その他〔具体的に〕 | 居 / 居 | 独身 / 結婚している | ⑧⑨⑩=202 ⑳=skip |
| 1 | あなた　本人 | 00 ⑭⑮ | 1 男 (2) 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | | |
| 2 | あなたの＿＿ | ⑯⑰ | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑪ | 1 2 | |
| 3 | あなたの＿＿ | ⑱⑲ | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑫ | 1 2 | |
| 4 | あなたの＿＿ | ⑳ | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑬ | 1 2 | |
| 5 | あなたの＿＿ | | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑭ | 1 2 | |
| 6 | あなたの＿＿ | | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑮ | 1 2 | |
| 7 | あなたの＿＿ | | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑯ | 1 2 | |
| 8 | あなたの＿＿ | | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑰ | 1 2 | |
| 9 | あなたの＿＿ | | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑱ | 1 2 | |
| 10 | あなたの＿＿ | ⑬ | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑲ | 1 2 | |

続き柄コード表

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 00 | 本人 | 05 | 子ども（第５子以下） | 10 | 孫 |
| 01 | 子ども（第１子） | 06 | 自分の父母 | 11 | その他の親族 |
| 02 | 子ども（第２子） | 07 | 自分の祖父母 | 12 | その他 |
| 03 | 子ども（第３子） | 08 | 自分の兄弟姉妹 | | |
| 04 | 子ども（第４子） | 09 | 子どもの配偶者 | | |

【01・02】



| 2 | あなたの職業生活についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたは**現在（平成20年９月）**、仕事についていますか。

（仕事には、常勤従業員、パート、アルバイト、嘱託、自営、家族従業などすべて含みます。ただし、学生アルバイトは除きます。）

- **87.6** 88.1 ***92.0*** 仕事についている
- **0.6** － － 休職中（仕事から離れているが、元の仕事に戻ることになっている状態）
- **－** － ***0.5*** 学　生
- **2.4** 1.5 ***0.5*** 専業主婦
- **9.5** 10.4 ***7.1*** その他の無職

→（９ページの付問15へ）

付問　休職の理由をお聞かせ下さい。

ST＝**1**　0　***0***

- **－** － **－** 育児休業中
- **－** － **－** 介護休業中
- **100.0** － － 病気休業中
- **－** － **－** その他〔具体的に〕（　　）

問２．あなたは現在、複数の仕事についていますか。

ST＝**149**　59　***195***

- **9.4** 18.6 ***5.6*** 複数の仕事についている
- **89.9** 81.4 ***94.4*** 複数の仕事にはついていない
- **0.7** － － ＮＡ

問３．あなたの現在の**主たる**職業は何ですか。お仕事の内容を**具体的**にご記入の上、○をつけて下さい。お手数ですが、自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書き下さい。

（○は１つだけ）

**具体的**に（　　）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 自営者・家族従業者・自由業 | **－** | － | － | 農林漁業（自営者） |
| | **－** | － | － | 農林漁業（家族従業者） |
| | **2.0** | － | ***2.1*** | 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者） |
| | **1.3** | 1.7 | ***1.5*** | 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者） |
| | **2.0** | 1.7 | ***2.1*** | 自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など） |
| 勤め | **1.3** | － | ***0.5*** | 管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など） |
| | **－** | 1.7 | － | 専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など） |
| | **7.4** | 11.9 | ***12.8*** | 技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など） |
| | **6.0** | 6.8 | ***5.1*** | 教　員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など） |
| | **47.7** | 33.9 | ***43.6*** | 事務職（一般事務、営業社員、銀行員など） |
| | **6.7** | 18.6 | ***11.8*** | 技能・作業職（工員、警察官、電話交換手、データ入力作業者、運転士、配達員、職人など） |
| | **24.8** | 23.7 | ***20.5*** | 販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、調理人、ウエイトレス、ホームヘルパーなど） |
| | **0.7** | － | － | 自宅で賃仕事（内職） |

〔13に○のついた方は11ページへ〕

〔問４～問19までは、問３で答えた**主たる**職業についてお答え下さい。〕

問４．その勤め先の従業員は**会社全体**で何人くらいですか。
（注　従業員数には臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい）

ST＝**148**　59　***195***

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **13.5** | 13.6 | ***7.7*** | １～４人 | **20.9** | 8.5 | ***11.8*** | 30～99人 | **16.9** | 20.3 | ***21.5*** | 1000人以上 |
| **4.7** | 6.8 | ***6.7*** | ５～９人 | **19.6** | 16.9 | ***22.1*** | 100～499人 | **6.8** | 11.9 | ***8.7*** | 官公庁 |
| **10.1** | 10.2 | ***13.3*** | 10～29人 | **6.8** | 11.9 | ***8.2*** | 500～999人 | **0.7** | － | － | ＮＡ |

問５．その勤め先の業種は次のどれに該当しますか。（派遣社員の方は、派遣元の業種についてお答えください）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **0.7** | － | **－** | 農林業 |
| **－** | 1.7 | **－** | 漁業・水産業 |
| **－** | － | **－** | 鉱業 |
| **4.7** | 3.4 | ***3.6*** | 建設業 |
| **9.5** | 18.6 | ***15.9*** | 製造業（出版、印刷を含む） |
| **21.6** | 11.9 | ***19.0*** | 卸売・小売業（デパート、スーパー、食堂、喫茶店を含む） |
| **11.5** | 10.2 | ***9.2*** | 金融・保険・不動産業 |
| **6.1** | 3.4 | ***6.2*** | 運輸・通信業 |
| **0.7** | － | **－** | 電気・ガス・水道・熱供給業 |
| **38.5** | 40.7 | ***37.9*** | サービス業（学校、病院、ホテル、映画館、理・美容店、広告代理店、清掃会社を含む） |
| **6.8** | 10.2 | ***7.7*** | 公務 |
| **－** | － | ***0.5*** | その他（具体的に　　　　） |

問６．(1)　あなたの職務は次のどれですか。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **66.9** 62.7 ***72.3*** | **27.0** 28.8 ***16.4*** | **5.4** 8.5 ***10.8*** | **0.7** **－** ***0.5*** |
| 常勤の職員・従業者 | パート・アルバイト | 嘱託・その他 | ＮＡ |

(2)　あなたは労働者派遣事務所の派遣社員ですか。

**6.1** 8.5 ***11.8*** 派遣社員　**90.5** 88.1 ***88.2*** 派遣社員ではない　**3.4** 3.4 **－** ＮＡ

問７．あなたの仕事の給与は、時給計算ですか、日給計算ですか。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **61.5** 55.9 ***67.7*** | **－ － －** | **4.7** 5.1 ***4.6*** | **30.4** 28.8 ***23.6*** | **3.4** 10.2 ***4.1*** |
| 月給 | 週給 | 日給 | 時給 | （その他） |

ST＝**91**　33　***132***　／　ST＝**7**　3　***9***　／　ST＝**45**　17　***46***　／　→（問８へ）

(1)　あなたは月にいくらぐらいこの仕事から収入を得ていますか。
（残業手当を含む、ボーナスを含まない税引き前の収入）

月当たり

| 万 | | | 千円 |
|---|---|---|---|
| **2** | **6** | | **3** |
| 2 | 2 | | 5 |
| ***2*** | ***2*** | | ***6*** |

(2)　日給はいくらですか。

１日当たり

□万

| | | | |
|---|---|---|---|
| **7** | **4** | **3** | **2** |
| 8 | 6 | 5 | 8 |
| ***6*** | ***9*** | ***5*** | ***7*** |

円

(3)　時給はいくらですか。

１時間当たり

□万

| | | | |
|---|---|---|---|
| | **9** | **8** | **1** |
| 1 | 1 | 3 | 2 |
| ***1*** | ***1*** | ***2*** | ***3*** |

円





問８．実際に勤務する労働時間は通常**週に**どのくらいですか。

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **2.7** | 8.5 | ***3.1*** | 15時間未満 | **15.5** | 11.9 | ***14.9*** | 43～45時間 | **1.4** | 8.5 | ***4.6*** | 60～64時間 |
| **3.4** | 1.7 | ***2.1*** | 15～21時間 | **6.8** | 3.4 | ***8.7*** | 46～48時間 | **1.4** | 1.7 | **－** | 65時間以上 |
| **8.8** | 8.5 | ***6.2*** | 22～34時間 | **10.8** | 11.9 | ***13.3*** | 49～54時間 | **－** | － | ***0.5*** | ＮＡ |
| **45.9** | 40.7 | ***43.1*** | 35～42時間 | **3.4** | 3.4 | ***3.6*** | 55～59時間 | | | | |

問９．(1)　給与の支払われている残業時間は**週に**どのくらいですか。

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **33.8** | 23.7 | ***31.3*** | ０時間 | **6.8** | 8.5 | ***13.3*** | ６～10時間 | **－** | － | ***1.0*** | 21時間以上 |
| **25.0** | 30.5 | ***20.5*** | １～３時間 | **1.4** | 1.7 | ***2.6*** | 11～15時間 | **21.6** | 23.7 | ***18.5*** | 残業というものはない |
| **10.1** | 10.2 | ***10.8*** | ４～５時間 | **0.7** | 1.7 | ***2.1*** | 16～20時間 | **0.7** | － | － | ＮＡ |

(2)　給与の支払われていない、いわゆるサービス残業は**週に**どのくらいですか。

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **46.6** | 49.2 | ***45.6*** | ０時間 | **3.4** | 5.1 | ***5.6*** | ６～10時間 | **0.7** | － | ***1.5*** | 21時間以上 |
| **19.6** | 11.9 | ***15.9*** | １～３時間 | **4.1** | 3.4 | ***3.6*** | 11～15時間 | **20.9** | 22.0 | ***17.9*** | 残業というものはない |
| **3.4** | 6.8 | ***7.7*** | ４～５時間 | **－** | － | ***2.1*** | 16～20時間 | **1.4** | 1.7 | － | ＮＡ |

問10．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に実際に勤務したのは何日ですか。

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **1.4** | 3.4 | ***3.1*** | 50日未満 | **2.0** | 3.4 | ***3.6*** | 175～199日 | **7.4** | 3.4 | ***8.2*** | 275～299日 |
| **2.0** | 1.7 | ***1.5*** | 50～99日 | **15.5** | 18.6 | ***13.8*** | 200～224日 | **8.1** | 6.8 | ***4.1*** | 300日以上 |
| **6.8** | 5.1 | ***3.1*** | 100～149日 | **33.8** | 35.6 | ***36.4*** | 225～249日 | **－** | － | ***0.5*** | ＮＡ |
| **1.4** | 8.5 | ***3.1*** | 150～174日 | **21.6** | 13.6 | ***22.6*** | 250～274日 | | | | |

問11．現在勤めている会社等の創立時期はいつですか。
（注　公務員の方は創立時期にかかわりなく、「官公庁」に○をして下さい）

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **14.2** | 13.6 | ***10.8*** | 戦　前 | **12.2** | 18.6 | ***11.3*** | 昭和40年代 | **21.6** | 18.7 | ***25.1*** | 平成元年以降 |
| **6.8** | 15.3 | ***7.2*** | 昭和20年代 | **12.2** | 3.4 | ***12.3*** | 昭和50年代 | **6.8** | 11.9 | ***8.7*** | 官公庁 |
| **13.5** | 10.2 | ***11.3*** | 昭和30年代 | **8.1** | 6.8 | ***7.2*** | 昭和60～63年 | **4.7** | 1.7 | ***6.2*** | ＮＡ |

付問．それは何年ですか。

平成　□□　年

問12．(1)　有給休暇は１年間に何日ありますか。（前年度繰り越し分は除きます）

| | | |
|---|---|---|
| **12.3** | 12.0 | ***12.2*** |
| **17.4** | 15.1 | ***15.9*** |

日

**29.1**
20.3　有給休暇はない ――→　（問13へ）
***22.6***

(2)　それでは、**平成19年度（平成19年４月～平成20年３月）**に、あなたは合計で何日間有給休暇を取りましたか。

ST＝**105**　47　***151***

| | | |
|---|---|---|
| **8.3** | 8.2 | ***6.5*** |
| **9.3** | 10.1 | ***8.1*** |

日

問13. あなたの勤めている会社等には「育児休業制度」がありますか。

**33.1** 32.2 ***40.5*** 会社等に制度があり、自分にも資格がある
**12.2** 15.3 ***10.8*** 会社等に制度はあるが、自分には資格がない
**7.4** 8.5 ***7.7*** 会社等に制度はあるが、自分には資格があるかどうかわからない
**29.7** 20.3 ***15.4*** 会社等に制度がない
**16.9** 23.7 ***25.1*** 会社等に制度があるかどうかわからない
**0.7** － ***0.5*** NA

↓ （次ページ問14へ）

付問. あなたの勤めている会社等の中の周りの人で、育児休業を取った人、現在取っている人がいますか。

ST＝**78** 33 ***115***

**83.3** 69.7 ***76.5*** い る
**16.7** 27.3 ***21.7*** いない
**－** 3.0 ***1.7*** NA

問14. あなたの勤めている会社等には「介護休業制度」がありますか。

ST＝**148** 59 ***195***

**26.4** 22.0 ***21.0*** 会社等に制度があり、自分にも資格がある
**6.8** 11.9 ***5.6*** 会社等に制度はあるが、自分には資格がない
**2.7** 10.2 ***6.7*** 会社等に制度はあるが、自分には資格があるかどうかわからない
**31.8** 20.3 ***21.5*** 会社等に制度がない
**32.4** 35.6 ***44.6*** 会社等に制度があるかどうかわからない
**－** － ***0.5*** NA

↓ （問15へ）

付問. あなたの勤めている会社等の中の周りの人で、介護休業を取った人、現在取っている人がいますか。

ST＝**53** 26 ***65***

**35.8** 7.7 ***23.1*** い る
**64.2** 88.5 ***73.8*** いない
**－** 3.8 ***3.1*** NA

問15. あなたは雇用保険に加入していますか。

ST＝**148** 59 ***195***

**83.8** 76.3 ***81.5*** 会社の雇用保険に加入している
**－** － － 船員保険に加入している
**14.9** 23.7 ***18.5*** どれにも加入していない
**1.4** － － NA

問16. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、業務に係わる知識や技能を学ぶために、会社等から派遣されて研修会や講習会などに出席したことがありますか。

**27.7** 25.4 ***33.3*** あ る
↓

**72.3** 74.6 ***66.7*** な い
（問17へ）

付問１．どのような研修会・講習会の内容でしたか。（○はいくつでも）

ST＝**41** 15 ***65***

**78.0** 66.7 ***61.5*** あなたの勤めている会社等が主催した研修会・講習会
**12.2** 13.3 ***13.8*** 地元の団体（商工会議所等）や同業組合などが主催した研修会・講習会
**17.1** 20.0 ***29.2*** 関連企業（機械を購入した企業などを含む）が主催した研修会・講習会
**24.4** 40.0 ***27.7*** 市や県など行政が主催した研修会・講習会
**2.4** － ***1.5*** 大学、専門学校など
**－** － **－** 留学
**7.3** － ***3.1*** その他（具体的に ）



付問２．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、すべて合わせて何日ぐらい研修会や講習会に参加しましたか。

**9.8** 13.3 ***20.0*** １日以内
**51.2** 53.3 ***49.2*** ２日～５日
**17.1** 26.7 ***15.4*** ６日～10日
**19.5** － ***12.3*** 11日～20日
**2.4** 6.7 ***1.5*** 21日～30日
**－** － **－** １カ月以上
**－** － ***1.5*** NA

付問３．研修会や講習会は就業時間内に行われましたか。

**56.1** 60.0 ***49.2*** 就業時間内で行われた
**22.0** 13.3 ***21.5*** 就業時間外で行われた
**22.0** 26.7 ***29.2*** 就業時間内、就業時間外両方で行われた

問17. あなたがしている仕事を、全くの新人がやれるようになるにはどれくらいの期間がかかりますか。

ST＝**148** 59 ***195***

**6.1** 10.2 ***4.6*** 今日からできる
**4.1** 10.2 ***4.6*** 数日で
**6.1** 1.7 ***3.6*** １～２週間で
**12.8** 8.5 ***12.8*** １カ月
**22.3** 22.0 ***24.1*** ３カ月
**14.9** 13.6 ***18.5*** 半年
**13.5** 13.6 ***13.8*** １年
**11.5** 15.3 ***9.2*** ２～３年
**4.1** 3.4 ***6.7*** ４～５年
**3.4** 1.7 ***1.0*** ６～９年
**1.4** － ***1.0*** 10年以上

問18. あなたは、**１年前（昨年９月末）**にも仕事についていましたか。

**95.3** 94.9 ***95.4*** 仕事についていた
↓

**4.7** 5.1 ***4.6*** 仕事についていなかった
（８ページの付問10へ）

問19. **１年前（昨年９月末）**も現在と同じ会社等に勤めていましたか。

ST＝**141** 56 ***186***

**92.9** 89.3 ***84.4*** 同じ会社
↓

**7.1** 10.7 ***15.6*** 同じでない
（次ページの付問４へ）

付問１．あなたの勤め先の従業員数は会社全体で１年前に比べて増えていますか。
（注 公務員の方は「官公庁」に○をしてください）

ST＝**131** 50 ***157***

**1.5** － ***1.3*** ３割以上増えた
**12.2** 8.0 ***14.0*** １～２割増えた
**64.9** 58.0 ***56.7*** 変わらない
**13.7** 22.0 ***17.8*** １～２割減った
**－** － － ３割以上減った
**6.9** 12.0 ***8.9*** 官公庁
**0.8** － ***1.3*** NA

付問２．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなたに次のような配置転換がありましたか。

**－** － **－** ご自身の転居を伴う事業所間移動
**3.1** 6.0 ***3.8*** ご自身の転居を伴わない事業所間移動
**6.1** 8.0 ***7.0*** 同一事業所内の別の部署
**90.8** 86.0 ***87.9*** 配置転換はなかった
**－** － ***1.3*** NA

付問３．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**にあなたの仕事の内容に変化がありましたか。

**89.3** 78.0 ***76.4*** 変化はない
**10.7** 22.0 ***22.9*** 変化があった
**－** － ***0.6*** NA

（11ページへ）

〔問19で「２　同じでない」と答えた方に〕

付問４．１年前（昨年９月末）の会社等から変わったのは、次のどれにあたりますか。

ST＝10　6　29

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 70.0 | 83.3 | 96.6 | － | － | － | 10.0 | － | － | 10.0 | － | － | 10.0 | － | － |
| 転　職 | | | 出　向 | | | 転　籍 | | | 合併・分社 | | | ＮＡ | | |

→（11ページへ）

付問５．１年前（昨年９月末）の会社等をやめたのはいつですか。

［　　］月

付問６．どのような理由で、あなたは１年前（昨年９月末）の会社等をやめたのですか。

（○はいくつでも）

ST＝8　6　29

| | | | |
|---|---|---|---|
| － | － | 10.3 | 人員整理・会社解散・倒産のため |
| 12.5 | － | 24.1 | 一時的・不安定な仕事だったから |
| 25.0 | 16.7 | 27.6 | 労働条件（収入、時間）が悪かったため |
| 12.5 | 16.7 | 17.2 | 仕事の内容に不満があったため |
| － | － | － | 家族の就職・転職・転勤及び事業所の移転のため |
| － | － | － | 結婚のため |
| － | － | － | 妊娠・出産・育児のため |
| － | － | 17.2 | 自分が病気になったから |
| 12.5 | － | － | 家族の介護のため |
| － | 33.3 | 20.7 | 良い条件の仕事が見つかったから・独立したから |
| 12.5 | － | 3.4 | 人間関係が気まずくなったから |
| － | － | － | 解雇された |
| － | － | － | 大学や専門学校などでの勉強や留学準備のため |
| － | 50.0 | 3.4 | 定年又は雇用契約の満了 |
| 25.0 | 16.7 | 10.3 | その他（具体的に　　） |
| 25.0 | 16.7 | 6.9 | ＮＡ |

付問７．やめた時、雇用保険の失業給付を受給しましたか。

ST＝0　1　3

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| － | 16.7 | 10.3 | 受給した→ | －<br>3.0<br>2.0 |

カ月

| | | | |
|---|---|---|---|
| 50.0 | 66.7 | 62.1 | 受給しなかった |
| 25.0 | － | 20.7 | 雇用保険には入っていなかった |
| 25.0 | 16.7 | 6.9 | ＮＡ |

付問８．仕事をやめたり、中断して、収入がなくなった時、どのように対処しましたか。

（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| － | － | 6.9 | 親の収入で生活はやっていけた |
| 37.5 | 50.0 | 58.6 | すぐ次の仕事についた |
| － | － | 3.4 | 退職金や保険給付で当座はやっていけた |
| 25.0 | 33.3 | 34.5 | 預貯金の取り崩しをした |
| － | － | 3.4 | 借金やカードで買い物をした |
| 12.5 | － | － | その他（具体的に　　） |
| 25.0 | 16.7 | 6.9 | ＮＡ |



付問９．やめたり、仕事を変えたことについて、どう思っていますか。（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 12.5 | 16.7 | 75.9 | よかったと思っている |
| 62.5 | 50.0 | 17.2 | 仕方がなかったと思っている |
| － | 16.7 | － | 後悔している |
| － | － | － | その他（具体的に　　） |
| 25.0 | 16.7 | 6.9 | ＮＡ |

付問10．なぜ、あなたは現在の会社等を選びましたか。（○はいくつでも）

ST＝15　9　38

| | | | |
|---|---|---|---|
| 13.3 | 22.2 | 10.5 | 給与がよい |
| 20.0 | 22.2 | 26.3 | 休日、休暇が多い |
| 26.7 | 33.3 | 13.2 | 拘束時間が少ない、労働時間が自由になる |
| 40.0 | 33.3 | 39.5 | 家に近い、通勤距離が短い |
| － | － | 5.3 | 転勤がない、少ない |
| 20.0 | 11.1 | 10.5 | 安定している、失業のおそれがない |
| 6.7 | 11.1 | 18.4 | 将来発展する可能性がある |
| － | － | 21.1 | 結婚・出産後も続けやすい |
| － | 33.3 | 13.2 | 技術が身につく |
| 26.7 | 44.4 | 28.9 | 能力が生かせる |
| 26.7 | 22.2 | 42.1 | 仕事内容に興味がある |
| 6.7 | 33.3 | 10.5 | その他（具体的に　　） |
| 6.7 | 11.1 | 2.6 | ＮＡ |

付問11．この１年間（平成19年10月～平成20年９月）に、何ヵ月勤めましたか。（**１年前の会社、現在の会社**を含めて下さい。また**短期のアルバイト**や**パート**なども含めて下さい）

| | | |
|---|---|---|
| 9.3 | 9.4 | 9.8 |

カ月

付問12．この１年間（平成19年10月～平成20年９月）に、何ヵ月職探しをしましたか。

| | | |
|---|---|---|
| 1.1 | 0.9 | 1.9 |
| 1.8 | 1.2 | 2.7 |

カ月

33.3
22.2　この１年間に職探しをしなかった
28.9

付問13．この１年間（平成19年10月～平成20年９月）にいくつの会社等に勤めましたか。（**１年前の会社**、**現在の会社**を含めて下さい。また、**短期のアルバイト**や**パート**なども含めて下さい）

| | | |
|---|---|---|
| 1.5 | 1.9 | 2.1 |

社

付問14．現在の会社等に就職したのはいつですか。

［　　］月

→（11ページへ）

〔問１で「３　学生」「４　専業主婦」「５　その他の無職」と答えた方に〕

付問15.　**１年前（昨年９月末）**には仕事についていましたか。

**ST＝20**　8　***17***

**－**　25.0　***35.3***　仕事についていた　→

**100.0**　75.0　***64.7***　ついていない　→　（次ページの付問21へ）

付問16.　**１年前（昨年９月末）**の会社等をやめたのはいつですか。

□□　月

付問17.　どのような理由で、あなたは**１年前（昨年９月末）**の会社等をやめたのですか。

（○はいくつでも）

**ST＝0**　2　***6***

- **－**　－　**－**　人員整理・会社解散・倒産のため
- **－**　－　***33.3***　一時的・不安定な仕事だったから
- **－**　－　***33.3***　労働条件（収入、時間）が悪かったため
- **－**　50.0　***33.3***　仕事の内容に不満があったため
- **－**　－　**－**　家族の就職・転職・転勤及び事業所の移転のため
- **－**　－　***16.7***　結婚のため
- **－**　－　**－**　妊娠・出産・育児のため
- **－**　－　***16.7***　自分が病気になったから
- **－**　－　***16.7***　家族の介護のため
- **－**　－　**－**　良い条件の仕事が見つかったから・独立したから
- **－**　－　**－**　人間関係が気まずくなったから
- **－**　－　**－**　懲戒解雇された
- **－**　－　**－**　大学や専門学校などでの勉強や留学準備のため
- **－**　－　***16.7***　定年又は雇用契約の満了
- **－**　－　***33.3***　その他（具体的に　　）
- **－**　50.0　**－**　ＮＡ

付問18.　やめた時、雇用保険の失業給付を受給しましたか

**ST＝－**　－　***2***

- **－**　－　***33.3***　受給した　→　**－** / － / ***3.5***　カ月
- **－**　50.0　***16.7***　受給しなかった
- **－**　－　***50.0***　雇用保険には入っていなかった
- **－**　50.0　**－**　ＮＡ

付問19.　やめた時、収入がなくなったこと、またはその中断にどのように対処しましたか。

（○はいくつでも）

**ST＝0**　2　***6***

- **－**　－　***16.7***　親の収入で生活はやっていけた
- **－**　－　***33.3***　退職金や保険給付で当座はやっていけた
- **－**　50.0　***50.0***　預貯金の取り崩しをした
- **－**　－　**－**　借金やカードで買い物をした
- **－**　－　***16.7***　その他（具体的に　　）
- **－**　50.0　**－**　ＮＡ



付問20.　やめたり、仕事を変えたことについて、どう思っていますか。（○は１つだけ）

- **－**　－　***66.7***　よかったと思っている
- **－**　50.0　***33.3***　仕方がなかったと思っている
- **－**　－　**－**　後悔している
- **－**　－　**－**　その他（具体的に　　）
- **－**　50.0　**－**　ＮＡ

付問21.　**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、何ヵ月勤めましたか。

**ST＝20**　8　***17***

**0.2**　3.0　***2.9***
**1.5**　7.0　***7.7***
カ月

**90.0**
50.0　まったく勤めなかった→（付問23へ）
***58.8***

付問22.　**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**にいくつの会社等に勤めましたか。（**１年前の会社**を含めて下さい。また、**短期のアルバイト**や**パート**なども含めて下さい。）

**ST＝2**　4　***7***

**1.5**　1.7　***1.3***　社

付問23.　あなたは将来仕事につくことを考えていますか。

**ST＝20**　8　***17***

| **30.0**　50.0　***29.4*** | **5.0**　12.5　***17.6*** | **20.0**　25.0　***35.3*** | **45.0**　12.5　***11.8*** | **－**　－　***5.9*** |
|---|---|---|---|---|
| すぐにでも仕事をしたい | ２～３年後には仕事をしたい | 将来的には仕事をしたい | 考えていない → | ＮＡ |

（次ページへ）

付問24.　そのために何らかの活動をしていますか。（○はいくつでも）

**ST＝11**　7　***14***

- **18.2**　－　***14.3***　具体的な求職活動をしている
- **45.5**　28.6　***28.6***　そろそろ具体的な求職活動をしようと思っている
- **－**　－　**－**　職業訓練を受けている
- **－**　－　***21.4***　そろそろ職業訓練を受けようと思っている
- **36.4**　71.4　***35.7***　漠然と考えているだけ

付問25.　**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**にどれくらいの期間求職活動をなさっていますか。

**ST＝2**　－　***2***

**9.0** / － / ***1.5***　カ月

（次ページへ）

| 3 | 家計についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなた、及びあなた以外の世帯員の方がいらっしゃればその方が、**昨年１年間（平成19年１月～平成19年12月）**に得た収入は、財産収入、社会保障給付、親からの仕送りなども含め、全体でいくらでしたか。次の①～⑤の区分でお答え下さい。**（該当する収入がない場合は「０　該当なし」に○をして下さい）**

| | あなたの年収 | あなた以外の世帯員の方全員の年収 |
|---|---|---|
| ① 勤め先の収入 | **266.5** 217.1 ***243.1*** / **323.0** 235.8 ***266.1*** 万円 | **88.0** 145.4 ***389.3*** / **247.7** 393.4 ***597.3*** 万円 |
| （勤め人の税込み年収） | **17.2** 7.8 ***8.6*** 該当なし | **56.5** 53.7 ***31.6*** 該当なし |
| ② 事業収入 | **12.6** 1.0 ***4.7*** / **252.4** 60.0 ***245.8*** 万円 | **32.2** 91.7 ***155.3*** / **324.6** 468.9 ***1066.9*** 万円 |
| （自営者の税込み年収） | **93.3** 96.9 ***97.1*** 該当なし | **79.0** 68.5 ***77.6*** 該当なし |
| ③ 財産収入（昨年１年分）（預貯金利子・株式配当・家賃・地代など） | **2.1** 5.1 ***0.9*** / **26.4** 80.5 ***17.7*** 万円 | **15.3** 12.0 ***21.0*** / **142.5** 110.8 ***184.0*** 万円 |
| | **90.2** 92.2 ***94.3*** 該当なし | **78.3** 75.9 ***80.5*** 該当なし |
| ④ 社会保障給付（昨年１年分）（児童手当、失業給付、年金など）（社会保険給付は振り込み口座の名義人の収入として下さい） | **16.1** 13.9 ***7.9*** / **66.1** 62.7 ***53.1*** 万円 | **84.6** 57.5 ***53.2*** / **204.8** 189.0 ***182.8*** 万円 |
| | **74.2** 76.6 ***84.3*** 該当なし | **51.4** 59.3 ***64.4*** 該当なし |
| ⑤ その他の収入（昨年１年分）（親からの仕送り・こづかい、養育費など） | **5.9** 5.2 ***5.8*** / **58.8** 41.0 ***41.4*** 万円 | **3.8** 1.0 ***0.3*** / **153.7** 24.0 ***12.8*** 万円 |
| | **88.3** 85.9 ***85.2*** 該当なし | **85.5** 81.5 ***88.5*** 該当なし |
| 合　　計 | **303.2** 242.3 ***262.3*** / **327.8** 250.3 ***270.1*** 万円 | **224.0** 307.7 ***614.6*** / **326.5** 456.6 ***741.3*** 万円 |
| | **7.4** 3.1 ***2.9*** 該当なし | **27.5** 27.8 ***15.5*** 該当なし |

〔この欄に記入された方に〕

付問．その方はどなたですか。（該当する方すべてに○）

ST＝**83** 32 ***132***

| 父 | 母 | 祖父母 | 兄弟姉妹 | あなたの子ども | その他（　） | NA |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **44.6** 59.4 ***81.1*** | **61.4** 71.9 ***53.8*** | **1.2** － ***9.1*** | **12.0** 18.8 ***37.1*** | **21.7** 3.1 ***0.8*** | **2.4** － ***3.0*** | **3.6** 6.3 － |



問２．あなた、及びあなた以外の世帯員の方がいらっしゃればその方がお支払いになった税金（所得税、住民税など）と社会保険料（健康保険料、公的年金保険料、雇用保険料など）の合計は**昨年１年間（平成19年１月～平成19年12月）**でいくらでしたか。**（支払わなかった場合は「０支払いなし」に○をして下さい）**

| あなたの税金・社会保険料 | あなた以外の世帯員の方全員の税金・社会保険料 |
|---|---|
| **41.9** 36.5 ***40.7*** / **49.1** 42.2 ***47.7*** 万円 | **25.5** 32.5 ***89.1*** / **41.9** 49.8 ***108.7*** 万円 |
| **13.6** 13.4 ***13.2*** 支払いなし | **30.3** 28.6 ***13.0*** 支払いなし |

問３．(1) **現在、あなたご自身**は、どのような公的医療保障制度に加入していますか。
**（１～６に○を１つ、１～４の場合は、さらに１か２に○を１つ）**

ST＝**114** 41 ***140***

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **67.5** | 61.2 | ***66.0*** | 会社の健康保険 | **86.0** 87.8 ***87.9*** あなた自身が加入 |
| **26.0** | 29.9 | ***20.8*** | 国民健康保険 | **0.9** 2.4 ***1.4*** ご家族の保険に加入 |
| － | － | － | 船員保険 | **13.2** 9.8 ***10.7*** NA |
| **2.4** | 3.0 | ***8.0*** | 共済保険・共済制度 | |
| | ST＝**44** 20 ***44*** | | | **65.9** 70.0 ***61.4*** あなた自身が加入 |
| | | | | **31.8** 20.0 ***36.4*** ご家族の保険に加入 |
| | | | | **2.3** 10.0 ***2.3*** NA |
| | ST＝－ － － | | | － － － あなた自身が加入 |
| | | | | － － － ご家族の保険に加入 |
| | ST＝**4** 2 ***17*** | | | **75.0** 50.0 ***70.6*** あなた自身が加入 |
| | | | | － － ***17.6*** ご家族の保険に加入 |
| | | | | **25.0** 50.0 ***11.8*** NA |
| **1.2** | 1.5 | ***0.9*** | 医療扶助 | |
| **2.4** | 3.0 | ***2.8*** | どれにも加入していない | →〔(2)へ〕 |
| － | － | ***0.9*** | NA | |

(2) あなたご自身は**現在**、公的年金制度（国民年金、厚生年金、共済年金）にどのような資格で加入していますか。（○は１つだけ）

**24.9** 20.9 ***20.3*** 第１号被保険者（第２号、第３号以外の方：自営業者や自営業者の妻など）
※国民年金の保険料納付を免除（一部免除を含む）されている方も含みます。

**65.1** 62.7 ***67.5*** 第２号被保険者（厚生年金や共済組合の加入者：会社員、団体職員、公務員など）
※育児休業制度取得により保険料納付を免除されている方も含みます。

**1.2** 3.0 ***0.9*** 第３号被保険者（主婦などで第３号被保険者の届けを市町村に出している方：会社員、団体職員、公務員などの夫に扶養されている妻）

**5.3** 9.0 ***6.6*** 加入していない（第３号被保険者でも年金保険料納付を免除されているのでもなく、保険料を支払っていない方）

**3.6** 4.5 ***4.7*** NA

問４．**この９月の手取り収入**（収入総額から税金、社会保険料を差し引いた額）はどれくらいですか。
（ボーナス、臨時の給与は除きます）

９月の**手取り収入**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **17.2** | **19.2** | | | **10.7** |
| 15.1 | 17.4 | 万円 | | 13.4　なし |
| ***16.9*** | ***18.2*** | | | ***7.5*** |

問５．(1) 次のもののうち、**あなた自身の親**から一部でも出してもらっているものはありますか。
（○はいくつでも）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **1.2** | **2.4** | **9.5** | **4.1** | **1.2** | **84.6** | **0.6** |
| － | － | 16.4 | 1.5 | 3.0 | 80.6 | － |
| ***0.9*** | ***2.8*** | ***16.5*** | ***2.4*** | ***0.9*** | ***80.2*** | ***0.5*** |
| 住宅ローン返済 | 家賃、地代 | 生活費 | 子どものための費用(教育費、服、その他の費用など) | その他〔具体的に〕（　　） | 出してもらっているものはない → (次ページへ) | ＮＡ |

(2) **あなた自身の親**から出してもらっている金額は月に合計いくらぐらいですか。
ST＝**25**　13　***41***

月に　**5** / 3 / ***4***　万　**7** / 5 / ***2***　千円





問６．あなたは、**この９月**の収入を親に渡しましたか。

**68.0**　52.2　***52.4***　渡さなかった
**23.7**　32.8　***42.0***　一部渡した
**－**　1.5　**－**　すべて渡した
**6.5**　11.9　***5.2***　収入がなかった
**1.8**　1.5　***0.5***　ＮＡ

ST＝**40**　22　***89***

付問１．いくら渡しましたか。
**5** / 3 / ***3***　万　**3** / 5 / ***7***　千円

ST＝**－**　1　**－**

付問２．あなた自身の生活費やこづかいはもらいましたか。
**－**　100.0－　**－**
もらった
**－**　**－**　**－**
もらわなかった → (問７へ)

付問３．いくらもらいましたか。
**－** / 3 / **－**　万　　千円

問７．**この９月に、あなたの財布から**（親に渡した分を除く）、どのように支出なさいましたか。
（現金を支払ったものの他、クレジット・ローンで購入したもの、銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）から自動的に引き落とした分も含みます）
**（支出がなかったものについては０と記入して下さい）**

ST＝**156**　65　***194***

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| a）食料（外食・給食代も含みます）→ | **32** / **34** | 26 / 28 | ***23*** / ***25*** | 千円 |
| b）家賃・地代・住宅の修繕（住宅ローンは含みません）→ | **19** / **42** | 23 / 46 | ***13*** / ***47*** | 千円 |
| c）電気・ガス・水道（上・下）→ | **9** / **16** | 8 / 15 | ***4*** / ***14*** | 千円 |
| d）家具・家事用品（寝具はこちらに含みます）→ | **2** / **8** | 2 / 9 | ***1*** / ***7*** | 千円 |
| e）衣類・はき物 → | **11** / **18** | 12 / 17 | ***17*** / ***23*** | 千円 |
| f）保健医療（栄養ドリンク・健康食品も含みます）→ | **6** / **11** | 6 / 9 | ***5*** / ***11*** | 千円 |
| g）交通（自動車購入費用・ガソリン代・定期代なども含みます）→ | **11** / **14** | 14 / 16 | ***11*** / ***14*** | 千円 |
| h）通信（郵便・電話代・パソコン通信など）→ | **11** / **13** | 9 / 9 | ***9*** / ***11*** | 千円 |
| i）教育（授業料・受験や補習用の塾・教科書・参考書など）→ | **10** / **33** | 7 / 21 | ***3*** / ***14*** | 千円 |
| j）教養・娯楽(受験･補習塾以外の習い事､教養･娯楽用の耐久財はこちらに含みます)→ | **10** / **24** | 8 / 15 | ***9*** / ***24*** | 千円 |
| k）交際 → | **10** / **16** | 11 / 15 | ***15*** / ***20*** | 千円 |
| l）家族への小遣い → | **4** / **20** | 2 / 11 | ***3*** / ***20*** | 千円 |
| m）その他の支出 → | **17** / **30** | 10 / 23 | ***12*** / ***21*** | 千円 |
| (1) 支　出（計）（a～mの合計）→ | **149** / **154** | 138 / 138 | ***125*** / ***125*** | 千円 |
| (2) 貯　　蓄 → | **31** / **60** | 19 / 40 | ***31*** / ***51*** | 千円 |
| (3) ローンの返済 → | **13** / **57** | 6 / 37 | ***10*** / ***46*** | 千円 |
| 総　　額　((1)～(3)の合計)→ | **188** / **194** | 163 / 163 | ***166*** / ***166*** | 千円 |

## 4　親との関係についてうかがいます。

問１．あなたの親の**昨年１年間（平成19年1月～平成19年12月）**の収入額（税込み額）はおおよそいくらぐらいですか。勤め先からの収入、事業収入、社会保障給付、財産収入などを合計し、あてはまる金額に○をして下さい。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **46.7** | **27.8** | **4.7** | **2.4** | **1.2** | **0.6** | **－** | **8.9** | **7.7** |
| 41.8 | 29.9 | 14.9 | － | － | 1.5 | 1.5 | 6.0 | 4.5 |
| ***30.2*** | ***25.5*** | ***19.8*** | ***6.1*** | ***6.6*** | ***2.4*** | ***3.3*** | **－** | ***6.1*** |
| 249万円以下 | 250～499万円 | 500～749万円 | 750～999万円 | 1000～1249万円 | 1250～1499万円 | 1500万円以上 | 自分の両親は死亡 | ＮＡ |

問２．あなたは、**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、親からお金をもらったことがありますか。（もらっていない方は「**0**もらわない」に○をつけて下さい）

仕送りとして　**5　0**／1　0／***3　5***　万円　**90.5** 91.0 ***92.5*** もらわない

こづかいとして　**2　0**／7／***9***　万円　**91.1** 88.1 ***84.4*** もらわない

問３．あなたは、**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**にあなたの親から金融資産や実物資産をもらったことがありますか。もらった場合はその価値をご記入下さい。

| | 金融資産 | | 実物資産 | |
|---|---|---|---|---|
| 生前贈与として | **96.4** 94.0 ***96.7*** もらったことはない<br>**－** － ***0.9*** もらったことがある | | **95.9** 100.0 ***98.1*** もらったことはない<br>**－** － **－** もらったことがある | |
| | →その現在の価値 | **－　－　*259*** 万円 | →その現在の価値 | **－　－　－** 万円 |
| 遺産として | **94.1** 92.5 ***95.8*** もらったことはない<br>**0.6** － **－** もらったことがある | | **92.9** 98.5 ***96.2*** もらったことはない<br>**0.6** － **－** もらったことがある | |
| | →その現在の価値 | **4000　－　－** 万円 | →その現在の価値 | **4000　－　－** 万円 |

問４．あなたは、あなたの親から将来相続をうけることになると思いますか。（○は１つだけ）

**34.9** 35.8 ***38.7*** 思う　**55.6** 56.7 ***61.3*** 思わない　**8.9** 6.0 － 自分の両親は死亡　**－** 1.5 **－** 将来相続不明　**0.6** － － ＮＡ

→（次ページへ）

問５．あなたは、今後、あなたの親に経済的援助をするつもりですか。（○は１つだけ）

**9.5** 13.4 ***10.4*** 現在している　**34.3** 26.9 ***56.6*** 今後、する予定　**46.2** 52.2 ***33.0*** 現在していないし、する予定はない　**8.9** 6.0 **－** 両親は死亡　**1.2** 1.5 **－** ＮＡ

問６．あなたは、今後、あなたの親のお世話（家事、介護、訪問）をするつもりですか。（○は１つだけ）

**15.4** 7.5 ***6.1*** 現在している　**56.8** 58.2 ***69.3*** 今後、する予定　**17.8** 28.4 ***24.5*** 現在していないし、する予定はない　**8.9** 6.0 **－** 両親は死亡　**1.2** － － ＮＡ



## 5　子育てについてうかがいます。

**〔問１は未就学児のお子さんがいらっしゃる方にお聞きします。いらっしゃらない方は問２へ〕**

問１．あなたは、そのお子さんのために認可保育所、無認可保育所、幼稚園、ベビーシッター・家政婦、親戚・知人などによる育児サービスを利用していますか。

ST＝**4**　3　***13***

**75.0** 100 ***84.6*** 利用している　／　**25.0** － ***15.4*** 利用していない →（問２へ）

付問．次の(1)～(6)のそれぞれについて、利用している未就学児の人数をお答え下さい。また、利用している場合は、**この９月にかかった費用**をご記入下さい。利用している未就学児が２人以上いらっしゃる方は**未就学児全員の合計費用**をお答え下さい。

ST＝**3**　3　***10***

| | 〔利用している未就学児の人数〕 | | 〔費　用〕 | |
|---|---|---|---|---|
| (1) 認可保育所（市区町村へ申し込んだもの）→ | **0.7** 0.3 ***0.9***<br>**1.0** 1.0 ***1.1*** | 人 | **－** － ***9.7***<br>**－** － ***16.2*** | 千円 |
| (2) 無認可保育所（ベビーホテルや家庭保育室、勤務先の保育施設など）→ | **－** － **－**<br>**－** － **－** | 人 | **－** － **－**<br>**－** － **－** | 千円 |
| (3) 幼稚園 → | **1.0** 0.3 ***0.3***<br>**3.0** 1.0 ***1.5*** | 人 | **40.0** 9.7 ***11.7***<br>**120.0** 29.0 ***53.5*** | 千円 |
| (4) ベビーシッター・家政婦 → | **－** － **－**<br>**－** － **－** | 人 | **－** － **－**<br>**－** － **－** | 千円 |
| (5) その他（家庭で、家族や同居していない親族・知人にみてもらう場合の費用など）→ | **－** 0.3 **－**<br>**－** 1.0 **－** | 人 | **－** 10.0 **－**<br>**－** 30.0 **－** | 千円 |
| (6) 合　計 → | **1.7** 1.0 ***1.2***<br>**1.7** 1.0 ***1.2*** | 人 | **40.0** 19.7 ***20.4***<br>**120.0** 29.5 25.5 | 千円 |

↑上記のいずれかのサービスを利用している未就学児の人数をご記入下さい。

**〔問２は小学校６年生までのお子さんがいらっしゃる方にお聞きします。〕**

問２．**児童手当**給付は受けていますか。（なお、児童手当は小学校６学年までの児童が対象であり、３歳未満の場合は一律月額10,000円で、３歳以上は第１子・第２子に月額5,000円、第３子以降に月額10,000円が、２月、６月、10月にまとめて支給されるものです）

ST＝**20**　12　***31***

**95.0** 100 ***93.5*** 受けている　**5.0** － **－** 受けていない　**－** － **－** 知らない　**－** － ***6.5*** ＮＡ

〔全員の方に〕

問３．あなたには、平成２年４月２日以降に生まれたお子さんがいらっしゃいますか。

| | | |
|---|---|---|
| **23.7** 28.4 ***15.6*** | **75.7** 68.7 ***83.0*** | **0.6** 3.0 ***1.4*** |
| い る | いない | ＮＡ |
| ↓ | →（次ページへ） | |

付問１．ひとり親世帯などが受給できる**児童扶養手当**は受給していますか。（○は１つだけ）

ST＝**40** 19 ***33***

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **30.0** 47.4 ***30.3*** | **32.5** 10.5 ***36.4*** | **17.5** 15.8 ***18.2*** | － 5.3 ***3.0*** | **20.0** 21.1 ***12.1*** |
| 全部受給 | 一部受給 | 受けていない | 知らない | **ＮＡ** |
| ↓ | | | | |

付問２．８月の支給額はいくらですか。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **1** | **1** | 万 | **0** | **3** | **0** | **8** | 円 |
| 1 | 3 | | 7 | 2 | 5 | 8 | |
| ***1*** | ***1*** | | ***2*** | ***6*** | ***5*** | ***0*** | |

〔問４～問５は15歳以下（中学生まで）のお子さんがいらっしゃる方にお聞きします。〕

問４．**現在**、あなた以外に子どもの世話をしてくれる人がいますか。（○はいくつでも）

ST＝**34** 17 ***32***

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **50.0** | 41.2 | ***78.1*** | あなたの親 | － | － | **－** | ベビーシッター・家政婦など |
| **17.6** | 35.3 | ***46.9*** | あなたのきょうだい | **2.9** | 5.9 | ***3.1*** | 子どもの父親 |
| **14.7** | 11.8 | ***9.4*** | 友人 | **2.9** | － | **－** | その他（具体的に　　） |
| **8.8** | － | **－** | 近所の人 | **14.7** | 11.8 | ***3.1*** | 特に世話をしてくれる人はいない |
| **5.9** | － | ***25.0*** | 保育所・幼稚園・学童保育など | **11.8** | 5.9 | ***3.1*** | 特に世話をしてもらう必要はない |
| | | | | **20.6** | 17.6 | ***9.4*** | ＮＡ |

問５．**現在**、育児や子育てについて相談できる方はいますか。（○はいくつでも）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **47.1** | 35.3 | ***71.9*** | あなたの親 | **－** | 5.9 | ***6.3*** | 子どもの父親 |
| **32.4** | 35.3 | ***40.6*** | あなたのきょうだい | **5.9** | － | ***3.1*** | その他（具体的に　　） |
| **61.8** | 64.7 | ***68.8*** | 友人 | **－** | － | ***3.1*** | 特に相談できる人はいない |
| **17.6** | 5.9 | ***9.4*** | 近所の人 | **－** | 5.9 | **－** | 特に相談する必要はない |
| **8.8** | 17.6 | ***12.5*** | 医師、助産婦、保育士、保健師などの専門家 | **20.6** | 17.6 | ***9.4*** | ＮＡ |



| ６ | 貯蓄と資産についてうかがいます。 |
|---|---|

貯蓄を「預貯金」と「有価証券」に分けてお聞きします。

● 預貯金とは、次のようなものをいいます。

> 郵便局（ゆうちょ銀行）の定額・定期・積立貯金、通常貯金
> 銀行、信用金庫などの定期預金・定期積金、普通預金
> 社内預金、金投資口座、金貯蓄口座、中期国債ファンドなど

● 有価証券とは、次のようなものをいいます。

> 株式（時価）、債券（額面）、株式投資信託（時価）、
> 公社債投資信託（時価）、貸付信託・金銭信託（額面）など

問１．あなたは、預貯金や有価証券をどのくらいお持ちですか。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 預貯金 | | (1) 現在預貯金をお持ちですか。 | **64.5** 74.6 ***72.6*** 私個人のものとして預貯金がある ↓ ／ **34.9** 25.4 ***26.9*** な い →（(3)へ） ／ **0.6** － ***0.5*** ＮＡ |
| | 預貯金をお持ちの場合 | (2) 現在の預貯金の額はどのくらいですか。 | ST＝**109** 50 ***154***<br>**669.0**<br>361.0<br>***281.7***<br>万円 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 有価証券 | | (3) 現在有価証券をお持ちですか。 | **14.2** 4.5 ***10.4*** 私個人のものとして有価証券がある ↓ ／ **81.7** 89.6 ***86.8*** な い →（次ページへ） ／ **4.1** 6.0 ***2.8*** ＮＡ |
| | 有価証券をお持ちの場合 | (4) 現在の有価証券の額はどのくらいですか。 | ST＝**24** 3 ***22***<br>**540.8**<br>33.3<br>***195.0***<br>万円 |
| | | (5) この1年間（平成19年10月～平成20年9月）に有価証券を購入しましたか。（購入後売却した場合も購入に含めます） | **25.0** 33.3 ***59.1*** 購入した ／ **70.8** 66.7 ***40.9*** 購入しなかった ／ **4.2** － － ＮＡ |
| | | (6) この1年間（平成19年10月～平成20年9月）に有価証券を売却しましたか。（売却後購入した場合も売却に含めます） | **20.8** － ***18.2*** 売却した ／ **75.0** 100.0 ***81.8*** 売却しなかった ／ **4.2** － － ＮＡ |

問２．(1)あなたが現在考えておられる貯蓄の合計目標額はいくらぐらいですか。

**1875.5** 832.2 ***1244.3***
**1875.5** 846.6 ***1269.5***
万円

(2)あなたはどのような目的で貯蓄なさっていますか。下にあげてある目的のために貯蓄をしている場合は「あり」に○、していない場合は「なし」に○をつけて下さい。
(3)次に、(2)で「あり」とお答えいただいた貯蓄のそれぞれについて、どのくらいの貯蓄額を目標にしているかをご記入下さい。

| | (2) 貯蓄目的 | (3) 貯蓄目的のあるものについて 貯蓄目標額 |
|---|---|---|
| (a) 耐久消費財の購入資金に | **18.9** 13.4 ***13.7*** あり<br>**76.9** 80.6 ***85.4*** なし<br>**4.1** 6.0 ***0.9*** NA | 億 **171.0** 116.7 ***835.9*** 万円 |
| (b) レジャー資金に | **21.9** 35.8 ***25.0*** あり<br>**74.0** 59.7 ***74.1*** なし<br>**4.1** 4.5 ***0.9*** NA | 億 **106.4** 87.8 ***104.0*** 万円 |
| (c) 結婚資金に | **11.8** 22.4 ***37.3*** あり<br>**82.8** 70.1 ***62.3*** なし<br>**5.3** 7.5 ***0.5*** NA | 億 **212.1** 238.7 ***202.9*** 万円 |
| (d) 病気、災害、その他不時の出費に備えるため | **55.0** 38.8 ***45.8*** あり<br>**40.2** 56.7 ***53.8*** なし<br>**4.7** 4.5 ***0.5*** NA | 億 **425.4** 164.4 ***235.1*** 万円 |
| (e) マイホーム(土地を含む)の取得(建て替え、買い替えを含む)のため | **9.5** 4.5 ***8.5*** あり<br>**85.8** 91.0 ***90.6*** なし<br>**4.7** 4.5 ***0.9*** NA | 億 **1475.0** 1733.3 ***1502.9*** 万円 |
| (f) 子どもの教育費に | **16.6** 17.9 ***9.9*** あり<br>**79.3** 77.6 ***89.6*** なし<br>**4.1** 4.5 ***0.5*** NA | 億 **1179.2** 201.7 ***654.3*** 万円 |
| (g) 子どもの結婚資金に | **11.8** 4.5 ***5.7*** あり<br>**84.0** 91.0 ***93.4*** なし<br>**4.1** 4.5 ***0.9*** NA | 億 **177.5** 133.3 ***225.0*** 万円 |
| (h) 老後の生活に備えるため | **53.8** 28.4 ***31.6*** あり<br>**42.0** 67.2 ***67.9*** なし<br>**4.1** 4.5 ***0.5*** NA | 億 **1252.6** 700.0 ***1054.8*** 万円 |
| (i) 独立自営のための資金に | **1.2** 3.0 ***4.2*** あり<br>**94.1** 92.5 ***94.8*** なし<br>**4.7** 4.5 ***0.9*** NA | 億 **150.0** 200.0 ***666.7*** 万円 |
| (j) 特に目的はないが貯蓄をしていれば安心だから | **50.9** 50.7 ***62.3*** あり<br>**44.4** 44.8 ***36.8*** なし<br>**4.7** 4.5 ***0.9*** NA | 億 **654.7** 368.8 ***500.9*** 万円 |
| (k) 遺産として残すため | **3.0** - ***0.5*** あり<br>**90.5** 91.0 ***97.2*** なし<br>**6.5** 9.0 ***2.4*** NA | 億 **980.0** - ***500.0*** 万円 |
| (l) その他〔具体的に〕( ) | **2.4** 1.5 ***1.4*** あり<br>**84.0** 89.6 ***87.3*** なし<br>**13.6** 9.0 ***11.3*** NA | 億 **100.0** 300.0 ***566.7*** 万円 |



問３．あなたは、次の保険にどのくらい保険料を払っていますか。
(注　保険には簡易保険、郵便年金、生命保険、個人年金保険、積立型損害保険、障害保険、学資保険などを含みます)

あなたが保険料の払い込み人となっている保険
(該当するものに○をつけ、その保険料をご記入下さい。)

| 保険の種類 加入しているもの | 昨年１年間(平成19年１月～12月)の保険料 | これまで払い込んだ保険料の合計額 |
|---|---|---|
| **49.1** 46.3 ***38.2*** 掛け捨てタイプの保険 | ST＝**83** 31 ***81***<br>**8.7** 10.2 ***6.6*** 万円 | |
| **55.6** 46.3 ***38.2*** 積立タイプの保険 | ST＝**94** 31 ***81***<br>**20.6** 25.9 ***14.7*** 万円 | **285.7** 153.9 ***121.9*** 万円 |
| **20.1** 20.9 ***34.4*** 私が払い込み人となっている保険はない | | |

**1.8** 1.5 ***1.9*** NA

| 7 | 住宅についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．現在お住まいの住居は、次のどれになりますか。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **50.3** | 47.8 | ***59.9*** | 一戸建て |
| **4.1** | － | ***0.5*** | 連棟戸建て（テラスハウスなど） |
| **39.1** | 41.8 | ***34.0*** | 鉄筋・鉄骨マンション（集合住宅） |
| **6.5** | 10.4 | ***5.2*** | 木造アパート（集合住宅） |
| **－** | － | ***0.5*** | その他（具体的に　　） |



問２．お宅の住居の所有関係は次のどれになりますか。（親など家族名義の場合は自己所有としてお答え下さい）

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **42.0** 44.8 ***57.1*** | **10.7** 1.5 ***9.9*** | **5.3** － ***1.9*** | **19.5** 34.3 ***19.8*** | **21.3** 17.9 ***8.5*** | **－** － ***2.4*** | **1.2** 1.5 ***0.5*** |
| 持ち家一戸建（敷地は自己所有） | 持ち家マンション（敷地は区分所有） | 持ち家一戸建、マンション（敷地は借地） | 民間の賃貸住宅 | 公営・公団・公社などの賃貸住宅 | 社宅・寮（借上げ社宅を含む） | その他（　　） |

（次ページの問３へ）

下の「A敷地」「B住宅」の両方をお答え下さい。

下の「B住宅」をお答え下さい。（マンションの場合は敷地も込みでお答え下さい。）

付問１．家賃は月額いくらですか。

ST＝**69** 35 ***65***

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **4** | 4 | ***5*** | 万 | **5** 8 ***1*** 千円 |

付問２．使用している部屋（居住室）の数はいくつですか。ダイニングキッチンは居住室に含めます。ただし、流しなどの部分を除いた広さが3畳にみたない場合は含めません。

ST＝**69** 35 ***65***

合計 **3.2** 3.1 ***2.4*** 室

（次ページの問３へ）

A　敷　地

付問３．敷地の現在の市場価格（売るとした場合の価格）はいくらくらいと思いますか。おおよそで結構です。

ST＝**71** 30 ***121***

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 億 | **2** 3 ***2*** | **1** 7 ***0*** | **0** 8 ***3*** | **2** 5 ***9*** | 万円 |

B　住　宅

付問４．住宅の現在の市場価格（売るとした場合の価格）はいくらくらいと思いますか。おおよそで結構です。

ST＝**98** 31 146

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 億 | **1** ***1*** | **2** 8 ***1*** | **6** 6 ***6*** | **6** 2 ***3*** | 万円 |

〔昨年10月１日以降に、転居して、現在、持家（一戸建て、マンション）にお住まいの方、または、現在お住まいの土地・住宅を購入、増改築、名義変更した方に引き続きおたずねします〕

A 敷 地

付問５．敷地面積はどのくらいですか。
ST=2 － 6
1 8 3 3 m²
－
4 8

付問６．敷地はどなたの名義になっていますか。共同名義の場合、あてはまるすべての名義人の方をお答えください。
ST=2 － 6
50.0 － － あなた本人
50.0 － 100 親
－ － － その他（具体的に ）
－ － － わからない

（付問６で「１」をお答えの方に）
付問７．どのように取得しましたか。
ST=1 － －
－ － － すべて自己資金（ローンを含む）で購入した
－ － － 親から一部資金を援助してもらった
－ － － 親と共同名義で購入した
－ － － 親から贈与された
－ － － 親から相続した
100.0 － － その他（ ）

B 住 宅

付問８．延べ床面積はどのくらいですか。
ST=5 － 12 （畳２枚＝１坪＝3.3m²）
2 2 5 m²
－
5 4

付問９．使用している部屋（居住室）の数はいくつですか。ダイニングキッチンは居住室に含めます。ただし、流しなどの部分を除いた広さが３畳にみたない場合は含めません。
ST=5 － 12
合計 7.5 室
－
4.0

付問10．建築の時期はいつ頃ですか。
明治 昭和 年
大正 平成

付問11．住宅はどなたの名義になっていますか。共同名義の場合、あてはまるすべての名義人の方をお答え下さい。
ST=5 － 12
40.0 － 25.0 あなた本人
－ － 8.3 親
－ － 8.3 その他（具体的 ）
－ － － わからない
60.0 － 58.3 NA

（付問11で「１」をお答えの方に）
付問12．どのように取得しましたか。
ST=2 － 3
100.0 － 33.3 すべて自己資金（ローンを含む）で購入した
－ － 66.7 親から一部資金を援助してもらった
－ － － 親と共同名義で購入した
－ － － 親から贈与された
－ － － 親から相続した
－ － － その他（ ）



〔全員の方に〕

問３．親との居住状況について、次のように分類した場合、どれにあてはまりますか。

42.0 46.3 64.6 親と同一建物で、生計を共にしている（同居世帯）
6.5 6.0 7.1 親と同一建物で、生計が別（準同居世帯） → （問５へ）
1.2 1.5 － 親と同一敷地内の別建物に居住（準同居世帯）
13.0 13.4 6.6 同一町丁内または１km以内に親が居住（近隣地域居住）
4.1 1.5 2.4 （区のある18大都市居住者）同一区内に親が居住
5.9 9.0 2.8 （その他の市部、郡部居住者）同一市町村内に親が居住
10.1 9.0 7.1 同一都道府県内に親が居住
7.1 7.5 9.4 上記１～７地域以外に親が居住
9.5 6.0 － 親は全員死亡 → （次ページの問６へ） 0.6 － － NA

付問．親が現在お住まいの住居は、次のどれになりますか。父親、母親それぞれについてお答え下さい。

ST=68 27 60

| | 父親 | | | 母親 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| １戸建・持ち家（敷地は自己所有・区分所有） | 55.9 | 40.7 | 65.0 | 64.7 | 25.9 | 68.3 |
| １戸建・持ち家（敷地は借地） | 2.9 | 14.8 | 1.7 | 5.9 | 14.8 | 3.3 |
| マンション・持ち家 | 1.5 | 7.4 | 3.3 | 1.5 | 11.1 | 6.7 |
| 民間の賃貸住宅 | 5.9 | 14.8 | 11.7 | 8.8 | 22.2 | 10.0 |
| 公営・公団・公社などの賃貸住宅 | 5.9 | 14.8 | 1.7 | 8.8 | 14.8 | 3.3 |
| 社宅・寮（借上げ社宅を含む） | － | － | － | － | － | － |
| 介護施設・有料老人ホーム・ケア付きの高齢者住宅など | － | － | － | 1.5 | － | － |
| その他（具体的に ） | － | － | － | 1.5 | － | － |
| 死亡 | 19.1 | － | 10.0 | 4.4 | － | － |
| NA | 8.8 | 7.4 | 6.7 | 2.9 | 11.1 | 8.3 |

〔問３で「４」～「８」と答えた方に〕

問４．あなたは、親元で暮らす予定はありますか。あるいは、親元で暮らしたいと思いますか。
（○は１つだけ）

4.4 － 3.3 暮らす予定がある
1.5 － － 今すぐ暮らしたいと考えている
25.0 － 33.3 いずれは暮らしたいと考えている
5.9 22.2 13.3 今は考えていないが、以前は考えたことがある
58.8 77.8 45.0 考えたことはない 4.4 － 5.0 NA

〔問３で「１」～「３」と答えた方に〕

問５．あなたは、親元を離れる予定はありますか。あるいは、親元を離れたいと思いますか。
ST=84 36 152 （○は１つだけ）

1.2 8.3 11.8 離れる予定がある
3.6 8.3 2.0 今すぐ離れたいと考えている
17.9 33.3 50.7 いずれは離れたいと考えている
36.9 16.7 20.4 今は考えていないが、以前は考えたことがある
39.3 33.3 15.1 考えたことはない 1.2 － － NA

〔全員の方に〕

問６．あなたは**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、自分で住んだり、セカンドハウスとして利用するために土地・住宅を購入しましたか。（新築や親との共同名義のものも含みます）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| － － － | － － － | **0.6** － － | **0.6** － ***1.4*** | **98.8** 100.0 ***98.6*** |
| 土地のみを購入した | 家屋のみを購入した | 土地と家屋両方を購入した | マンションを購入した | 購入しなかった |

（問７へ）

付問．その購入価格はいくらでしたか。（家屋のみ、マンションの場合は「家屋」のみに、土地のみの場合は「土地」のみにご記入下さい）

ST＝**2** － ***3***

家　屋　［　　］億［**3 6 0 0**／－／***2 0 6 0***］万円

ST＝**1** － **－**

土　地　［　　］億［**－**／－／**－**］万円

ST＝**2** － ***3***

合　計　［　　］億［**2 3 5 0**／－／***2 0 6 0***］万円

〔全員の方に〕

問７．平成17年以降、控除対象となる住宅ローン残高の限度額と控除率は、段階的に引き下げられることをご存じですか。（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **4.7** | 7.5 | ***5.2*** | 引き下げられることもその内容も知っている |
| **31.4** | 25.4 | ***25.9*** | 引き下げられることは知っているが、その内容は知らない |
| **63.3** | 67.2 | ***67.9*** | 引き下げられることを知らない |

**0.6** － ***0.9*** NA

〔問８は問６で「１～４．購入した」と答えた方にお聞きします。それ以外の方は問９にお進み下さい〕

問８．このような住宅ローン減税の制度変更によって、次のような方からの住宅取得資金贈与がありましたか。（○はいくつでも）

ST＝**2** － ***3***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **－** － ***33.3*** | あなたの親 | **－** － **－** | その他（具体的に　　） |
| **－** － **－** | あなたの祖父母 | **100.0** － ***66.7*** | だれからもなかった ⟶（問９へ） |

付問．では、住宅取得資金贈与には、具体的にどのような影響がありましたか。（○はいくつでも）

ST＝**－** － ***1***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **－** － ***100.0*** | 初めて贈与を受けた | **－** － **－** | 贈与の額が増えた |
| **－** － **－** | 贈与の時期が早まった | **－** － **－** | 贈与の額が減った |
| **－** － **－** | 贈与の時期が遅くなった | **－** － **－** | その他（具体的に　　） |



〔全員の方に〕

問９．このような住宅ローン減税の制度変更はあなたの住宅取得行動にどのような影響を及ぼしましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **0.6** | 4.5 | ***0.5*** | 住宅ローン残高の限度額と控除率が引き下げられる前に住宅を購入したかったため、住宅購入の時期を早めた |
| **－** | 1.5 | ***0.9*** | 住宅購入が不可能になった |
| **0.6** | 1.5 | **－** | 住宅購入の時期を遅らせた |
| **0.6** | － | **－** | 住宅の購入価格を下げた |
| **－** | － | **－** | その他（具体的に　　） |
| **98.2** | 92.5 | ***97.6*** | 何の影響もなかった |

**－** － ***0.9*** NA

問10．このような住宅ローン減税の制度変更によって、将来次のような方からの住宅取得資金贈与があると思いますか。（○はいくつでも）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **8.3** | 7.5 | ***8.5*** | あなたの親 | **－** | 1.5 | **－** | その他（具体的に　　） |
| **－** | － | ***0.9*** | あなたの祖父母 | **91.7** | 89.6 | ***87.3*** | だれからもないと思う ⟶（問11へ） |
| | | | | **－** | 1.5 | ***3.3*** | NA |

付問．では、住宅取得資金贈与には、具体的にどのような影響があると思いますか。（○はいくつでも）

ST＝**14** 6 ***20***

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **57.1** | 33.3 | ***45.0*** | 初めて贈与を受ける | **21.4** | 16.7 | ***15.0*** | 贈与の額が増える |
| **7.1** | － | ***10.0*** | 贈与の時期が早まる | **－** | 33.3 | ***15.0*** | 贈与の額が減る |
| **－** | － | **－** | 贈与の時期が遅くなる | **14.3** | 16.7 | ***10.0*** | その他（具体的に　　） |

**－** － ***10.0*** NA

〔全員の方に〕

問11．このような住宅ローン減税の制度変更はあなたの将来の住宅取得行動にどのような影響を及ぼすと思いますか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **2.4** | 1.5 | ***3.3*** | 住宅ローン残高の限度額と控除率が引き下げられる前に住宅を購入したいため、住宅購入の時期を早める |
| **5.9** | 9.0 | ***4.7*** | 住宅購入が不可能になる |
| **1.2** | 4.5 | ***2.4*** | 住宅購入の時期を遅らせる |
| **4.1** | 4.5 | ***4.2*** | 住宅の購入価格を下げる |
| **0.6** | － | ***1.4*** | その他（具体的に　　） |
| **88.8** | 83.6 | ***83.0*** | 何の影響もない |

**－** 3.0 ***2.4*** NA

問12．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなたが自分で住んだり、セカンドハウスとして利用していた土地または住宅を売却しましたか。（親との共同名義のものも含みます）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **－** － **－** | **－** － **－** | **－** － **－** | **－** － **－** | **100** 100 ***99.1*** | **－** － ***0.9*** |
| 土地のみを売却した | 家屋のみを売却した | 土地、家屋両方を売却した | マンションを売却した | 売却しなかった | NA |

（次ページの問13へ）

付問．その売却価格はいくらでしたか。（家屋のみ、マンションの場合は「家屋」のみに、土地のみの場合は「土地」のみにご記入下さい）

家　屋　［　　］億［**－**／－／**－**］万円

土　地　［　　］億［**－**／－／**－**］万円

合　計　［　　］億［**－**／－／**－**］万円

問13. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなたが自分で住んだり、セカンドハウスとして利用していた住宅を増築または改築しましたか。（親との共同名義のものも含みます）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **0.6** － *0.5* | **0.6** － *0.5* | **98.8** 100.0 *98.6* | **－** － *0.5* |
| 増築した | 改築した | どちらもしなかった | ＮＡ |
| | | ↳（問14へ） | |

付問. その費用はいくらでしたか。　ST＝**2** － *2*

億 **5 6 0** / *2 6 5* 万円

問14. あなたは、今住んでいる家、セカンドハウス**以外**に、例えば他人に貸すために土地・建物などの不動産を所有していますか。（親との共同名義のものも含みます）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **0.6** 1.5 *0.9* | **0.6** － **－** | **1.8** 1.5 *0.9* | **－** － **－** | **97.0** 97.0 *97.6* | **－** － *0.5* |
| 土地のみを所有している | 建物のみを所有している | 土地、建物両方を所有している | マンションを所有している | 所有していない | ＮＡ |
| | | | | ↳（問15へ） | |

付問. 所有している不動産の現在の市場価格（売るとした場合の価格）は合計でいくらぐらいですか。

ST＝**5** 2 *4*

億 **2 0 6 0** / 2 0 7 5 / *2 6 3 3* 万円

問15. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなたは、今住んでいる家やセカンドハウス**以外**に、土地・建物を購入しましたか。（新築や親との共同名義のものも含みます）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **－** － **－** | **－** － **－** | **－** － **－** | **－** － **－** | **100** 100 *99.5* | **－** － *0.5* |
| 土地のみを購入した | 建物のみを購入した | 土地、建物両方を購入した | マンションを購入した | 購入しなかった | ＮＡ |
| | | | | ↳（問16へ） | |

付問. その購入価格はいくらでしたか。

億 **－** / **－** / **－** 万円

問16. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなたは、自分たちで住んだり、セカンドハウスとして利用していた土地・建物**以外**の土地・建物を売却しましたか。（親との共同名義のものも含みます）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **－** － **－** | **－** － **－** | **－** － **－** | **－** － **－** | **99.4** 100 *99.1* | **0.6** － *0.9* |
| 土地のみを売却した | 建物のみを売却した | 土地、建物両方を売却した | マンションを売却した | 売却しなかった | ＮＡ |
| | | | | ↳（次ページへ） | |

付問. その売却価格はいくらでしたか。

億 **－** / **－** / **－** 万円



| 8 | 住宅ローンについてうかがいます。 |
|---|---|

問１. あなたは、**現在**、住宅ローンに関する借入れをなさっていますか。

| | |
|---|---|
| **7.1** 3.0 *2.8* | **92.9** 97.0 *97.2* |
| 借入れをしている | していない |
| | ↳（29ページへ） |

付問１. **現在の**借入れ残高の総額および**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**の返済総額はいくらですか。（借り替えも含みます）

ST＝**12** 2 *6*

借入れ残高総額 **1 6 6 2** / 1 1 9 0 / *1 3 5 7* 万円　この１年間の返済総額 **1 3 5** / 8 0 / *5 0* 万円

**8.3** － **－**　この１年間は返済しなかった

**8.3** － **－** ＮＡ

付問２. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に新たに借入れをしましたか。（借り替えも含みます）

ST＝**12** 2 *6*

**－** － **－** し た ──→ 新規借入れ額 0 万円

**100** 100 *100* しなかった

付問３. **現在の**借入れについて、以下の項目にご記入下さい。
「①借りた目的」「②借入先」は、次ページのコード表からあてはまる「コード番号」をご記入下さい。

| ①借りた目的（01～06のコード番号記入） | ②借入先（11～16のコード番号記入） | ③現在の借入れ残高（合計） | ④この一年間の返済額（合計） |
|---|---|---|---|
| | | 千 百 十 一 0 万円 | 百 十 一 0 万円 **0** この1年間は返済しなかった |
| | | 千 百 十 一 0 万円 | 百 十 一 0 万円 **0** この1年間は返済しなかった |
| | | 千 百 十 一 0 万円 | 百 十 一 0 万円 **0** この1年間は返済しなかった |

コード表

| ① 借りた目的 | ② 借入先 |
|---|---|
| 01　借り替え<br>02　土地の購入<br>03　住宅（土地も含む）の購入<br>04　建物の建築<br>05　増改築<br>06　別荘の購入 | 11　銀行など金融機関<br>12　住宅金融支援機構・年金融資・財形融資<br>公団融資・自治体融資などの公的融資<br>13　社内融資<br>14　親<br>16　その他 |

問２．返済総額は、あなたにとって、どの程度負担に感じていますか。（○は１つだけ）

ST＝12　2　*6*

| | | |
|---|---|---|
| **41.7** | 50.0 | ***50.0*** |
| **33.3** | 50.0 | ***33.3*** |
| **25.0** | － | ***16.7*** |
| **－** | － | **－** |

特に問題はない
やや負担である
かなり負担である
苦しい





| 9 | 住宅ローン以外のローンについてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたは、**現在**借入れ（住宅ローンを除く、自動車ローン・消費者ローン・キャッシングなど）をなさっていますか。

**14.8**　14.9　***13.2***　借入れをしている

**85.2**　85.1　***86.8***　していない　→（31ページの問３へ）

付問１．**現在の**借入れ残高の総額および**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**の返済総額はいくらですか。　ST＝25　10　*28*

借入れ残高総額　**1　3　5**　1　0　8　**9　6**　万円

この１年間の返済総額　**28**　23　***39***　**28**　25　***41***　万円

**－**　10.0　***3.6***　この１年間は返済しなかった

付問２．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に新たに借入れをしましたか。

ST＝25　10　*28*

**28.0**　20.0　***32.1***　した　→　新規借入れ額　**57**　80　***70***　万円

**72.0**　80.0　***67.9***　しなかった

ST＝7　2　*9*

付問３．**現在の**借入れについて、以下の項目にご記入下さい。

「①借りた目的」「②借入先」「③そこで借りた理由」は、次ページのコード表からあてはまる「コード番号」をご記入下さい。

「③そこで借りた理由」は１カ所の借入先それぞれについて最大の理由１つを選んでご記入下さい。

| ①借りた目的（01～11のコード番号記入） | ②借入先（21～29のコード番号記入） | ③そこで借りた理由（31～45のコード番号記入） | ④現在の借入れ残高（合計） | ⑤この一年間の返済額（合計） |
|---|---|---|---|---|
| | → | → | 千　百　十　一　万円 | 百　十　一　万円<br>**0**　この1年間は返済しなかった |
| | → | → | 千　百　十　一　万円 | 百　十　一　万円<br>**0**　この1年間は返済しなかった |
| | → | → | 千　百　十　一　万円 | 百　十　一　万円<br>**0**　この1年間は返済しなかった |
| | → | → | 千　百　十　一　万円 | 百　十　一　万円<br>**0**　この1年間は返済しなかった |
| | → | → | 千　百　十　一　万円 | 百　十　一　万円<br>**0**　この1年間は返済しなかった |

コード表

① 借りた目的

01 事業用の資金（事業用の自動車の購入、事業用借金の返済等、事業のための借入はここに含む）
02 乗用車の購入
03 家具・家電などの耐久消費財の購入
04 衣類・身の回り品・食料品などの購入
05 趣味・レジャー・交際費として
06 教育費
07 結婚費用
08 病気・不慮の事故
09 家族の生活費の補填
10 借金の返済
11 その他

② 借入先

21 銀行など金融機関・郵便局（ゆうちょ銀行）
22 社内融資
23 銀行系クレジット会社（ＪＣＢ、ＶＩＳＡ、ＵＣなど）
24 信販会社（日本信販、ジャックス、ライフなど）
25 消費者金融会社（アコム、武富士、プロミス、レイクなど）
26 流通関連会社（丸井、クレディセゾン、オーエムシーカードなど。およびデパート各社）
27 親
29 その他

③ そこで借りた理由

31 そこでしか借りられなかった
32 手続きが簡単だった
33 時間的に一番早く借りられた
34 営業時間が長く、夜も開いていた
35 土曜・日曜にも借りられた
36 金利が低かった
37 その機関の人から熱心に勧められた
38 友人・知人に勧められた
39 借入れできるカードを持っていた
40 返済方法が簡単そうだった
41 たまたま近くにあった
42 有名で信頼できると思った
43 気軽に借りられるから
44 金融機関から借金をしたくなかった
45 その他

問２．返済総額は、あなたにとって、どの程度負担に感じていますか。（○は１つだけ）

| ST＝25 | 10 | 28 | |
|---|---|---|---|
| **16.0** | 40.0 | ***21.4*** | 特に問題はない |
| **48.0** | 30.0 | ***42.9*** | やや負担である |
| **20.0** | 30.0 | ***25.0*** | かなり負担である |
| **8.0** | － | ***10.7*** | 苦しい |
| **8.0** | － | **－** | ＮＡ |



〔全員の方に〕

問３．あなたは、**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**借入れをしたかったのに、断られたことがありますか。（○はいくつでも）

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **1.2** | 1.5 | **－** | **－** | － | ***0.5*** | **98.8** | 98.5 | ***99.5*** |
| 断られたことがある | | | 認められたが減額されたことがある | | | な　い | | |

問４．あなたは、**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**借入れをしたかったのに、断られることを見込んで最初からあきらめたことがありますか。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **2.4** | 1.5 | ***1.4*** | **97.6** | 98.5 | ***98.1*** | **－** | － | ***0.5*** |
| 最初からあきらめたことがある | | | な　い | | | ＮＡ | | |

問５．あなたは、今後、新規に、または追加して借入れをなさるおつもりがありますか。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **3.6** | 3.0 | ***0.5*** | **72.2** | 70.1 | ***76.4*** | **23.7** | 26.9 | ***22.6*** |
| 借入れのつもりがある | | | な　い | | | わからない | | |

**0.6** － ***0.5***
ＮＡ

（次ページへ）

付問１．その場合、借入れ先としてどの機関を考えますか。下の９つの中から、あなたが考える順に３つを選び、番号を□にご記入下さい。

| ST＝6 | 2 | 1 | 1位 | | | 2位 | | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **－** | － | **－** | **33.3** | 50.0 | ***100.0*** | **50.0** | － | **－** | | | | 銀行など金融機関・郵便局(ゆうちょ銀行) |
| **－** | 50.0 | **－** | **16.7** | － | **－** | **－** | － | **－** | | | | 住宅金融支援機構・年金融資・財形融資・公団融資・自治体融資などの公的融資 |
| **16.7** | － | **－** | **－** | － | **－** | **－** | － | **－** | | | | 社内融資 |
| **16.7** | － | **－** | **33.3** | 50.0 | **－** | **33.3** | － | **－** | | | | 銀行系クレジット会社（ＪＣＢ、ＶＩＳＡ、ＵＣなど） |
| **33.3** | － | **－** | **16.7** | － | **－** | **－** | － | **－** | | | | 信販会社（日本信販、ジャックス、ライフなど） |
| **－** | 50.0 | **－** | **－** | － | **－** | **－** | － | **－** | | | | 消費者金融会社（アコム、武富士、プロミス、レイクなど） |
| **16.7** | － | **－** | **－** | － | **－** | **－** | － | **－** | | | | 流通関連会社（丸井、クレディセゾン、オーエムシーカードなど。およびデパート各社） |
| **16.7** | － | ***100.0*** | **－** | － | **－** | **－** | 50.0 | ***100.0*** | | | | その他（具体的に　　） |
| **－** | － | **－** | **－** | － | **－** | **16.7** | 50.0 | **－** | | | | わからない |

付問２．その機関での借入れをお考えになるのはどのような理由からですか。（○はいくつでも）

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **83.3** | 50.0 | **－** | 手続きが簡単 | **－** | － | **－** | 秘密保持に安心できる |
| **16.7** | － | **－** | 営業時間が長く、夜も開いている | **－** | － | **－** | アフターサービスが良い |
| **33.3** | － | **－** | 土曜・日曜も利用できる | **16.7** | － | **－** | 有名で信頼できる |
| **33.3** | 50.0 | ***100.0*** | 金利が低い | **－** | － | **－** | その他　（具体的に　　） |
| **16.7** | － | **－** | 担保、保証人等が必要ない | | | | |

| 10 | クレジットカードを利用した飲食や買い物などについてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたはクレジットカードをご利用ですか。　ST＝**169**　67　***212***

（注）クレジットカードの具体例
・銀行系クレジットカード（ＪＣＢ、ＶＩＳＡ、ＵＣなど）
・信販会社（日本信販、ジャックス、ライフなど）
・消費者金融会社（アコム、武富士、プロミス、レイクなど）
・流通関連会社（丸井、クレディセゾン、オーエムシーカードなど。およびデパート各社）

**54.5**　61.2　***65.1***
利用している

**25.4**　14.9　***15.6***
カードは持っているがほとんど利用していない

**20.1**　23.9　***19.3***
カードは持っていない

→（次ページへ）

付問１．支払名義人別に何枚ずつお持ちですか。

あなたの名義　ST＝**92**　41　***138***　親の名義

| あなたの名義 | | 親の名義 | |
|---|---|---|---|
| **3.3**<br>3.0<br>***2.8*** | 枚 | **2.8**<br>2.0<br>***2.7*** | 枚 |

（支払名義人それぞれについて）
付問２．クレジットカードを利用するにあたって、何か制約条件をつけていますか。該当するものに○をつけて下さい。（○は２つまで）

| | あなたの名義 | | | 親の名義 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)利用金額の限度を月に２万円位までと決めている…… | **9.8** | 17.1 | ***9.4*** | **9.1** | － | ***4.0*** |
| (2)利用金額の限度を月に５万円位までと決めている…… | **12.0** | 9.8 | ***4.3*** | **－** | 25.0 | ***4.0*** |
| (3)利用金額の限度を月に10万円位までと決めている…… | **3.3** | 4.9 | ***4.3*** | **－** | － | **－** |
| (4)月々の返済金額の限度を決めている… | **13.0** | 12.2 | ***10.9*** | **－** | － | **－** |
| (5)利用する店や、利用する物・サービスを決めている…… | **44.6** | 51.2 | ***34.1*** | **18.2** | 25.0 | ***28.0*** |
| (6)その他（具体的に　　）… | **－** | 2.4 | ***3.6*** | **9.1** | － | ***4.0*** |
| (7)特に制約を設けていない …… | **33.7** | 31.7 | **39.1** | **45.5** | 50.0 | ***56.0*** |
| ＮＡ | **－** | － | ***2.2*** | **18.2** | － | ***4.0*** |

（あなたの名義のカードについて）
付問３．現在、これから決済される（引き落とされる）利用残高はいくらくらいありますか。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 残　高 …… | **1　0**<br>1　0<br>***1　2*** | 万円 | |
| 残高はあるが覚えていない…… | **19.6** | 12.2 | ***20.3*** |
| 残高はない…… | **19.6** | 14.6 | ***15.2*** |
| わからない…… | **1.1** | 7.3 | ***5.1*** |
| ＮＡ | **1.1** | － | **－** |



| 11 | 家庭電気製品などについてうかがいます。 |
|---|---|

問１．現在、あなた自身は次のものをいくつ保有していますか。その台数を記入して下さい。持っていない場合は、０をご記入下さい。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **8.9**<br>4.5<br>***9.0*** | 自動食器洗い機 ……→ | **1.0**<br>1.0<br>***1.0*** | 台 |
| **12.4**<br>11.9<br>***9.0*** | 衣類乾燥機 ……→ | **1.0**<br>1.0<br>***1.0*** | 台 |
| **72.8**<br>68.7<br>***69.3*** | ルームエアコン ……→ | **1.7**<br>1.3<br>***1.3*** | 台 |
| **89.3**<br>86.6<br>***79.7*** | カラーテレビ ……→ | **1.7**<br>1.2<br>***1.3*** | 台 |
| **65.7**<br>71.6<br>***74.1*** | パソコン ……→ | **1.2**<br>1.1<br>***1.2*** | 台 |
| **94.7**<br>92.5<br>***98.6*** | 携帯電話（ＰＨＳも含む）……→ | **1.4**<br>1.2<br>***1.2*** | 台 |
| **60.9**<br>61.2<br>***52.8*** | 乗用車 ……→ | **1.1**<br>1.0<br>***1.1*** | 台 |

| 12 | 生活行動についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたの生活時間についてうかがいます。
日常の生活行動を次の６つに分けた場合、通常の平日、休日にそれぞれ合計でおおよそ何時間費やしていますか。（10分単位でご記入下さい）
同時に複数のことをした場合は、主なもののほうでお答え下さい。

| | 平日 時間 | 平日 分 | 休日 時間 | 休日 分 |
|---|---|---|---|---|
| (1)通勤・通学 | | **5** **1**<br>**5** **9**<br>4 7<br>5 6<br>***5*** ***7***<br>***6*** ***2*** | **1** | **5** **4**<br>5<br>1 0<br>***3***<br>***5*** ***1*** |
| (2)仕　事 | **7**<br>**8**<br>7<br>8<br>***8***<br>***8*** | **3** **6**<br>**2** **5**<br>1 7<br>0 9<br>***0*** ***5***<br>***4*** ***1*** | ***3*** | **2** **4**<br>**2** **6**<br>9<br>2 0<br>***2*** ***1***<br>***3*** ***5*** |
| (3)勉　学 | **1**<br>1<br>***1*** | ***1*** ***2***<br>***0*** ***8***<br>2 1<br>4 1<br>***2***<br>***1*** ***4*** | **1**<br>2<br>***1*** | **2** **2**<br>**4** **4**<br>3 2<br>1 1<br>***2*** ***4***<br>***3*** ***8*** |
| (4)家事・育児 | **2**<br>**2**<br>2<br>2<br>***1***<br>***2*** | **2** **1**<br>**5** **1**<br>4<br>3 1<br>***3*** ***3***<br>***7*** | **4**<br>3<br>3<br>***2***<br>***3*** | **2** **4**<br>**3** **3**<br>2<br>4 3<br>***4*** ***9***<br>***3*** ***7*** |
| (5)趣味・娯楽・交際など | **2**<br>**2**<br>3<br>3<br>***2***<br>***3*** | **1** **5**<br>**5** **7**<br>4<br>1 3<br>***4*** ***5***<br>***4*** | **6**<br>**6**<br>7<br>7<br>***8***<br>***8*** | **1** **7**<br>**5** **2**<br>3 5<br>4 9<br>***6***<br>***3*** ***1*** |
| (6)上記以外の睡眠、食事、入浴、身の回りの用事など | **1** **0**<br>**1** **0**<br>1 0<br>1 0<br>***1*** ***0***<br>***1*** ***0*** | **4** **3**<br>**4** **3**<br>2 7<br>2 7<br>***1*** ***9***<br>***1*** ***9*** | **1** **2**<br>**1** **2**<br>1 2<br>1 2<br>***1*** ***2***<br>***1*** ***2*** | **5** **3**<br>**5** **3**<br>3 7<br>3 7<br>***1*** ***8***<br>***1*** ***8*** |
| | 計　２４時間 | | 計　２４時間 | |



問２．あなたは１週間に何日休みの日がありますか。
（週に２日休みの場合は2.0日とお答え下さい。
隔週の休みは0.5と換算して下さい。）

**1**
2
***1***
．
**8**
0
***9***
日

**11.2**　11.9　***7.5***
仕事についていない

**1.8**　3.0　***0.9***　NA

（次ページへ）

問３．あなたは何曜日が休みですか。（隔週休みの場合は休みとしてお答え下さい。）

ST＝150　59　***196***

| 日曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 決まっていない | NA |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **71.3** | **4.0** | **4.0** | **0.7** | **2.0** | **2.0** | **54.7** | **24.7** | **1.3** |
| 79.7 | 8.5 | 1.7 | 6.8 | 8.5 | 3.4 | 62.7 | 18.6 | － |
| ***69.4*** | ***2.0*** | ***4.1*** | ***7.1*** | ***3.1*** | ***2.0*** | ***57.7*** | ***27.6*** | ***0.5*** |

問４．あなたは**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に１泊２日以上の旅行をしましたか。
（夜行日帰りは１泊２日には含みません）

**国内**

(1)　観光旅行（レクリエーション・スポーツなどのための旅行を含みます）

**56.2**　40.3　***37.7***　しなかった　　**41.4**　56.7　***60.4***　した
**2.4**　3.0　***1.9***　NA

(2)　帰省・訪問などの旅行

**84.6**　80.6　***71.7***　しなかった　　**13.6**　17.9　***23.1***　した
**1.8**　1.5　***5.2***　NA

(3)　業務出張・研修・その他の業務関連

**80.5**　77.6　***77.4***　しなかった　　**7.1**　11.9　***13.2***　した
**10.7**　6.0　***4.7***　この１年間は仕事についていない　　**1.8**　4.5　***4.7***　NA

**海外**

(4)　観光旅行（レクリエーション・スポーツなどのための旅行を含みます）

**83.4**　89.6　***81.6***　しなかった　　**13.6**　7.5　***13.7***　した
**3.0**　3.0　***4.7***　NA

(5)　帰省・訪問などの旅行

**97.0**　97.0　***93.4***　しなかった　　**0.6**　－　***0.5***　した
**2.4**　3.0　***6.1***　NA

(6)　業務出張・研修・その他の業務関連

**87.6**　91.0　***89.2***　しなかった　　**－**　1.5　***1.9***　した
**10.7**　6.0　***4.7***　この１年間は仕事についていない　　**1.8**　1.5　***4.2***　NA

| 13 | 自己啓発についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたは**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に各種学校、専門学校、大学、通信教育などで受講しましたか。会社から派遣されたものは除いてお答え下さい。

**5.9** 7.5 ***11.3*** 受講した　**93.5** 92.5 ***88.7*** 受講しなかった　**0.6** － － ＮＡ

（次ページの問１へ）

付問１．通ったのはどのような学校ですか。（通信教育を含む）（○はいくつでも）

ST＝**10** 5 ***24***

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **40.0** | 40.0 | ***20.8*** | 各種学校 | **10.0** | － | － | 大学（卒業を目的とする） |
| － | － | ***8.3*** | 職業訓練学校 | － | 20.0 | ***4.2*** | 大学（科目履修、聴講生、研究生など） |
| － | － | － | 高等学校 | － | 20.0 | － | 大学（通信部、放送大学） |
| **20.0** | － | ***20.8*** | 専門学校・専修学校 | － | － | － | 大学院 |
| － | － | － | 短大・高専 | **30.0** | 40.0 | ***45.8*** | その他（具体的に　　） |

付問２．この１年間に、その学校を卒業しましたか。

**30.0** 80.0 ***50.0*** 卒業した・修了した　**70.0** 20.0 ***45.8*** 卒業しない・修了しない　**－** － ***4.2*** ＮＡ

付問３．受講した理由をお聞かせ下さい。（**○は２つまで**）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **40.0** | 40.0 | ***50.0*** | これまでの仕事を発展させるために役立ちそうな知識や資格などを得るため |
| **20.0** | 20.0 | ***50.0*** | これからの仕事に役立ちそうな知識や資格を得るため |
| － | － | － | 進学の準備のため |
| **30.0** | 20.0 | ***12.5*** | 教養を身につけるため |
| **10.0** | － | ***4.2*** | 高度な勉強がしたいから |
| **10.0** | 20.0 | － | 自分の視点を作りたいから |
| **40.0** | 40.0 | ***12.5*** | 芸術・芸能・趣味を高めるため |
| － | 20.0 | ***4.2*** | 健康・体力作りのため |
| － | 20.0 | ***8.3*** | 時間を充実させるため |
| － | － | － | 打ち込めるものがほしいから |
| － | － | － | 家庭・日常生活に関する知識や技能を得るため |
| **20.0** | 20.0 | － | 社会貢献（ボランティア等）のための知識や技能を得るため |
| － | － | ***4.2*** | その他（具体的に　　） |

付問４．その費用はどなたが負担しましたか。（○はいくつでも）

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **90.0** | 100 | ***87.5*** | 自分自身 | － | － | ***16.7*** | 教育訓練給付制度 | |
| － | － | ***8.3*** | 勤め先 | － | － | ***4.2*** | その他の公的な助成 | |
| － | － | ***8.3*** | 自分の親 | － | － | － | その他（具体的　　） | **10.0** － － ＮＡ |

付問５．（勤務先または、公的な助成を除いて）**あなた自身が、またはあなたの家族が**負担した費用（授業料や教材費）は**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**でいくらでしたか。（交通費は除きます）

| | | |
|---|---|---|
| **13.5** | 14.8 | ***18.5*** |
| **16.9** | 24.7 | ***20.1*** |

万円　**20.0** 40.0 ***8.3*** な　し



| 14 | お子さんについてうかがいます。 |
|---|---|

〔問１、問２は全員の方にお聞きします〕

問１．将来、子どもは（もっと）欲しいですか。

**10.1** 31.3 ***50.5*** 是非、欲しい　**15.4** 23.9 ***29.2*** 条件によっては欲しい　**73.4** 44.8 ***20.3*** 欲しくない　**1.2** － － ＮＡ

付問１．その条件とは何ですか。（○はいくつでも）

ST＝**26** 16 ***62***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **38.5** | 50.0 | ***62.9*** | 生活費に余裕ができたら |
| **3.8** | － | ***11.3*** | 住居が広くなったら |
| **15.4** | 18.8 | ***27.4*** | 仕事を続けられるなら |
| **50.0** | 12.5 | ***48.4*** | 夫や家族が協力してくれるなら |
| **19.2** | 12.5 | ***25.8*** | 保育所や保育ママさんなどの社会制度が利用できれば |
| **30.8** | 56.3 | ***21.0*** | その他（具体的に　　） |
| **－** | 6.3 | ***3.2*** | ＮＡ |

付問２．なぜ欲しくないのですか。（○はいくつでも）

ST＝**124** 30 ***43***

| | | | |
|---|---|---|---|
| **18.5** | 23.3 | ***27.9*** | 結婚したくないから |
| **13.7** | 23.3 | ***20.9*** | 自分自身の生活を大切にしたいから |
| **6.5** | 6.7 | ***16.3*** | 仕事を続けたいから |
| **2.4** | 3.3 | ***7.0*** | 結婚をしても夫との２人の生活を大切にしたいから |
| **4.0** | 10.0 | ***9.3*** | 子どもが嫌いだから |
| **12.9** | 33.3 | ***20.9*** | 教育費・養育費の負担が大きそうだから |
| **41.1** | 66.7 | ***53.5*** | 子どもを一人前に育てるのは容易ではないから |
| **38.7** | 23.3 | ***14.0*** | その他（具体的に　　） |
| **2.4** | － | ***4.7*** | ＮＡ |

（問２へ）

付問３．（あと）何人ぐらい子どもは欲しいですか。　ST＝**43** 37 ***169***

| | | |
|---|---|---|
| **1.4** | 1.8 | ***1.9*** |

人

付問４．男の子と女の子、どちらが欲しいのかと尋ねられたら、どちらが欲しいですか。

ST＝**43** 37 ***169***　（○は１つだけ）

**32.6** 43.2 ***32.0*** 男の子　**67.4** 56.8 ***66.9*** 女の子　**－** － ***1.2*** ＮＡ

問２．(1)　子どもに、将来、どこまで教育を受けさせたいですか。（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **9.5** | 11.9 | ***14.6*** | 定評のある大学（４年制）に進学させたい |
| **8.9** | 17.9 | ***13.2*** | どこの大学でもよいから、大学（４年制）に進学させたい |
| **1.2** | 3.0 | ***0.9*** | 短大に進学させたい |
| **2.4** | 1.5 | ***3.3*** | 専門学校に進学させたい |
| **13.6** | 7.5 | ***11.3*** | 高校までは進学させたい |
| **60.9** | 53.7 | ***54.7*** | 本人次第 |
| | | | **3.6** 4.5 ***1.9*** ＮＡ |

(2)　その理由は何ですか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **26.0** | 26.9 | ***25.5*** | 就職等で有利になるから |
| **2.4** | 9.0 | ***1.4*** | 結婚等で有利になるから |
| **8.3** | 17.9 | ***8.5*** | 社会的に高い評価を得ることができるから |
| **18.9** | 28.4 | ***24.1*** | よい教育を受けさせたいため |
| **22.5** | 46.3 | ***35.4*** | よい友人を作るため |
| **30.8** | 23.9 | ***23.6*** | 何となく |
| **17.2** | 16.4 | ***18.4*** | その他（具体的に　　） |
| | | | **4.7** 6.0 ***3.3*** ＮＡ |

〔問３～問９は中学生以下のお子さんのいらっしゃる方にお聞きします。それ以外の方は39ページへお進み下さい〕　ST＝**34**　17　***32***

問３．問３から問９は中学生以下のお子さんのうち一番年上のお子さんについて伺います。そのお子さんは公立の学校に通っていますか、私立の学校に通っていますか。

**79.4**　88.2　***81.3***　公立　　**－**　**－**　***3.1***　国立　　**11.8**　5.9　***3.1***　私立　　**8.8**　5.9　***12.5***　ＮＡ

---

問４．そのお子さんは何かお稽古事（学習塾、英会話等を除く）をなさっていますか。（○はいくつでも）

ST＝**34**　17　***32***

**44.1**　17.6　***34.4***　学校以外のスポーツ教室やスポーツ・クラブに通っている
**17.6**　29.4　***3.1***　学校の部活動を行っている
**8.8**　11.8　***3.1***　ピアノなど音楽教室に通っている
**14.7**　11.8　***12.5***　絵画や習字、そろばん等の教室に通っている
**－**　－　**－**　その他（具体的に　　）
**26.5**　41.2　***50.0***　何もやっていない ――――→（問６へ）　　**8.8**　5.9　***9.4***　ＮＡ

---

問５．お稽古事に、すべて合わせて、１年間にいくらぐらい支出していますか。

ST＝**22**　9　***13***

１年間に　**1 0**／**1 0**／1 1／1 3／***1 2***／***1 2***　万　**1**／**6**／5／0／***4***／***4***　千円

---

問６．そのお子さんは学習塾や予備校（家庭教師を含む）、英会話等に通っていますか。

ST＝**34**　17　***32***　　（○はいくつでも）

**35.3**　29.4　***21.9***
普段から通っている ――→ 週　に　**1.9**／2.2／***2.0***　回
ST＝**12**　5　***7***

月謝は月に　**1**／1／***1***　万　**5**／4／***3***　千円

**2.9**　5.9　***3.1***
夏休みや冬休みの時に通っている ――→ 費用は年に　**20**／2／***7***　**0**／0／***0***　千円
ST＝**1**　1　***1***

**55.9**　64.7　***71.9***
通っていない ――――→（問９へ）　　**8.8**　5.9　***6.3***　ＮＡ

---

問７．なぜ、学習塾や予備校、英会話等に通わせているのですか。（○はいくつでも）

ST＝**12**　5　***7***

**25.0**　－　**－**　学校（幼稚園）の成績が良くなると思うから
**8.3**　20.0　**－**　学校（幼稚園）の成績が悪いので、補習のため
**16.7**　－　**－**　学校（幼稚園）の授業内容では不十分だと思うので
**33.3**　40.0　***28.6***　受験をさせるため
**16.7**　－　**－**　通わせないと不安だから
**－**　－　**－**　ほかの子が通っているから
**41.7**　80.0　***71.4***　本人が行きたいといっているので
**－**　－　**－**　時間が余っているから
**8.3**　20.0　**－**　その他（具体的に　　）　　**－**　－　***14.3***　ＮＡ



問８．学習塾や予備校、英会話等に通わせた結果を、どう評価していますか。

ST＝**12**　5　***7***

**91.7**　60.0　***85.7***　通わせないよりも、よい結果が出ていると思う
**8.3**　40.0　**－**　通わせても、通わせなくても、結果は変わらないと思う　　**－**　－　***14.3***　ＮＡ

---

〔問６で「３　通っていない」と答えた方に〕

問９．今後、学習塾や予備校、英会話等に通わせる予定はありますか。

ST＝**19**　11　***23***

**15.8**　－　***26.1***　もう少し大きくなったら通わせる ――→ 何歳ぐらいから　**13.0**／－／***9.2***
**36.8**　54.5　***47.8***　成績のいかんによっては通わせるかもしれない
**47.4**　45.5　**26.1**　通わせるつもりはない

| 15 | あなたの友人関係についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．現在つき合いのある友人の人数を、以下のきっかけごとにお答え下さい。
ここでいう「友人」とは、あなたと１対１の関係でつき合いがある（会ったり、電話で話したり、文通したりする）友人をいいます。グループ交際の場合は含みません。
また、出会った「きっかけ」が重複する場合は、主なきっかけでお答え下さい。

| 出会った時期と主なきっかけ | | 何人いますか 女性 | | | 男性 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 幼なじみや、学校時代にできた友人 | | **4.0** 4.8 ***6.2*** | | | **1.2** 1.4 ***1.4*** | | |
| | | **5.0** 5.4 ***6.5*** 人 | | | **3.8** 4.1 ***3.2*** 人 | | |
| 学校を卒業してからできた友人 | 仕事を通して | **4.7** 5.2 ***4.0*** | | | **1.6** 1.6 ***1.5*** | | |
| | | **5.8** 5.8 ***4.7*** 人 | | | **4.0** 2.9 ***3.2*** 人 | | |
| | 趣味やボランティア活動などを通して | **2.2** 2.6 ***1.9*** | | | **0.6** 1.5 ***1.0*** | | |
| | | **5.7** 6.3 ***5.4*** 人 | | | **3.3** 6.5 ***4.7*** 人 | | |
| | 友人を通して | **0.8** 1.0 ***1.0*** | | | **0.5** 0.5 ***0.7*** | | |
| | | **3.0** 3.3 ***2.8*** 人 | | | **2.9** 1.9 ***2.4*** 人 | | |
| | 子どもを通して | **1.3** 1.2 ***0.6*** | | | **0.1** 0.4 ***0.1*** | | |
| | | **4.3** 7.2 ***5.5*** 人 | | | **3.8** 9.3 ***2.8*** 人 | | |
| | 以前の夫を通して | **0.1** 0.1 ***0.1*** | | | **0.1** 0.1 **－** | | |
| | | **2.3** 2.7 ***5.5*** 人 | | | **2.3** 2.7 ***1.7*** 人 | | |
| | 近所に住んでいることがきっかけで | **1.1** 1.6 ***0.2*** | | | **0.2** 0.2 ***0.1*** | | |
| | | **4.1** 9.2 ***1.9*** 人 | | | **4.0** 3.5 ***3.4*** 人 | | |
| | その他（　　） | **0.1** 0.1 ***0.1*** | | | **0.1** － ***0.1*** | | |
| | | **3.0** 1.7 ***2.4*** 人 | | | **2.0** 1.0 ***2.7*** 人 | | |
| **合　　計** | | **14.4** 16.6 ***13.8*** | | | **4.4** 5.8 **4.9** | | |
| | | **14.8** 17.1 ***14.0*** 人 | | | **6.3** 8.0 **6.4** 人 | | |



| 16 | 生活意識についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたは生活全般に満足していますか。

**3.6** 4.5 ***10.8*** **42.0** 46.3 ***42.0*** **31.4** 26.9 ***30.7*** **17.2** 13.4 ***15.6*** **5.9** 7.5 ***0.9*** **－** 1.5 **－**

満　足　／　どちらかといえば満足　／　どちらともいえない　／　どちらかといえば不満　／　不　満　／　ＮＡ

問２．ふだんのあなたの健康状態はどうですか。

**8.3** 3.0 ***10.8*** **36.1** 37.3 ***35.8*** **39.1** 34.3 ***39.2*** **13.6** 22.4 ***13.7*** **3.0** 3.0 ***0.5***

とても健康　／　まあまあ健康　／　ふつう　／　あまり健康ではない　／　まったく健康ではない

問３．あなたは、自分の身体について、同年齢の人と比べて若い方だと思いますか。

**17.8** 17.9 ***10.8*** 若い方だと思う
**24.9** 20.9 ***21.2*** やや若い方だと思う
**49.7** 44.8 ***46.7*** ふつう
**5.3** 11.9 ***19.3*** やや老けている方だと思う
**2.4** 4.5 ***1.9*** 老けている方だと思う

問４．現在のあなたの生活程度は、世間一般からみて、次のどれにはいると思いますか。

**－** － **－** **9.5** 3.0 ***14.2*** **43.2** 49.3 ***51.9*** **34.9** 38.8 ***29.7*** **12.4** 9.0 ***4.2***

上　／　中の上　／　中の中　／　中の下　／　下

問５．ご家庭の現在の収入に満足していますか。

**0.6** － ***4.2*** **30.2** 25.4 ***36.8*** **45.0** 49.3 ***49.1*** **24.3** 25.4 ***9.9***

とても満足　／　ほぼ満足　／　やや不満　／　とても不満

問６．ご家庭の現在の消費（生活費支出）額に満足していますか。

**36.7** 32.8 ***31.1*** **47.3** 50.7 ***61.3*** **16.0** 16.4 ***7.5***

使いすぎていることに不満　／　ほぼ満足　／　少なすぎることに不満

問７．ご家庭の現在の消費（生活費支出）の内容に満足していますか。

**－** － ***0.5*** **44.4** 37.3 ***55.7*** **39.1** 52.2 ***39.2*** **16.6** 10.4 ***4.7***

とても満足　／　ほぼ満足　／　やや不満　／　とても不満

問８．あなたは幸せだと思っていますか。それとも、不幸だと思っていますか。

**7.7** 6.0 ***16.5*** **55.0** 64.2 ***53.3*** **26.6** 22.4 ***25.5*** **8.3** 7.5 ***3.8*** **2.4** － ***0.9***

とても幸せ　／　まあまあ幸せ　／　どちらでもない　／　少し不幸　／　とても不幸

## 17 結婚についてうかがいます。

問１．結婚（法律にもとづくもの）はしたいですか。

－ － ***9.0*** まもなく結婚することが決まっている → （問２へ）

**6.5** 19.4 ***19.3*** すぐにでもしたい

**14.2** 22.4 ***40.6*** 今はしたくないが、いずれはしたい

**50.9** 46.3 ***25.9*** 必ずしもしなくてよい

**26.6** 11.9 ***5.2*** したくない

**1.8** － － NA

付問１．いくつぐらいまでに結婚したいですか。

**47**
39
***35*** 歳ぐらいまでに

付問２．現在結婚していない理由をお聞かせ下さい。（○は３つまで）ST＝**35** 28 ***127***

**5.7** 7.1 ***4.7***
仕事がおもしろくて、まだ結婚にまで目が向かないから

－ － ***1.6***
勉強がおもしろくて、まだ結婚にまで目が向かないから

**11.4** 32.1 ***22.8***
現在の生活に満足しているので、まだ結婚にまで目が向かないから

－ 7.1 ***13.4***
結婚前にやっておきたいことがあるから

**57.1** 78.6 ***63.0***
まだ結婚したい人に出会っていないから

**31.4** 10.7 ***22.0***
恋人とつきあっているが、まだ結婚に踏み切るところまでいかないから

**2.9** 14.3 ***2.4***
親の期待する結婚相手を見つけるのが難しいから

**14.3** 7.1 ***7.1***
その他（具体的に　　）

付問３．その理由は何ですか。（○は３つまで）

ST＝**131** 39 ***66***

**4.6** 5.1 ***6.1***
仕事をしていく上で障害になるから

**41.2** 51.3 ***39.4***
現在の生活に満足しているので、特に結婚の必要性を感じないから

**35.1** 41.0 ***37.9***
結婚によって生活が向上するとは限らないから

**10.7** 10.3 ***3.0***
経済的に自立しているので、あえて結婚する必要がないから

**22.9** 17.9 ***19.7***
対等なパートナーとしてやっていけるような男性が少ないから

**28.2** 20.5 ***30.3***
結婚という形にこだわらずに異性とつきあう方がいいから

**16.8** 35.9 ***22.7***
そもそも結婚に興味がないから

**4.6** 2.6 ***7.6***
結婚制度に疑問を感じるから

**10.7** 10.3 ***6.1***
その他（具体的に　　）

〔全員の方に〕

問２．あなたは、この１年間（平成19年10月～平成20年９月）に、結婚に向けた次のような行動をしましたか。（○はいくつでも）

**1.2** 4.5 ***3.8*** 親戚や家族の紹介でお見合をした

**3.0** 3.0 ***3.8*** 友人の紹介でお見合をした

**2.4** 9.0 ***12.3*** 友人や親戚に男性の紹介を頼んだ

**0.6** 3.0 ***0.9*** この１年の間に、結婚紹介の会に加入した

**2.4** 1.5 － １年以上前から、結婚紹介の会に継続加入している

**0.6** － ***3.8*** 結婚情報誌を購読した

**4.7** 4.5 ***18.9*** 恋人と結婚について話し合った

－ － ***5.7*** 婚約をした

**1.2** － ***4.2*** その他（具体的に　　）

**85.8** 82.1 ***60.8*** 何もしなかった

**1.8** 1.5 ***0.5*** NA



## 18 この１年間の生活変動についてうかがいます。

ここからはお子さんについての質問など未婚の方には関わりのない質問もありますが、お子さんのいらっしゃる方にもお願いしておりますので、ご了承願います。

問１．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**にあなたの世帯に次のような変動がありましたか。（○はいくつでも）

世帯に入った
- － － － あなたの子どもが生まれた
- － － － あなたの親を引き取った
- － － ***0.5*** 世帯員が単身赴任から戻った
- **1.2** 1.5 ***4.2*** その他（それ以外の理由で世帯員が増えた）

世帯から出た
- － － ***0.5*** 世帯員が単身赴任で転出した
- **3.0** 6.0 ***3.3*** 世帯員が転出して世帯員が減った
- **1.8** 1.5 ***2.4*** 世帯員が死亡して世帯員が減った
- **1.8** － ***1.4*** その他（それ以外の理由で世帯員が減った）

- **3.0** 6.0 ***3.3*** あなたが離婚・別居して別の世帯を形成した
- **1.2** 1.5 ***3.3*** あなた（とその家族）が親の家から出て、独立した世帯を形成した
- － － ***0.5*** あなた（とその家族）が親の家に入って、同居世帯を形成した
- **89.3** 85.1 ***82.1*** 特に何もない ⟶ （次ページの問３へ）

**〔問２はこの１年間（平成19年10月～平成20年９月）に出産した方にお聞きします。それ以外の方は次ページの問３へお進み下さい。〕**

問２．(1) あなたにとって何番目のお子さんですか。

－ － － 最初の子
－ － － 二番目
－ － － 三番目以降

(2) 出産に関わる費用はどれくらいでしたか。

① 病院に支払った費用（定期検診も含む） ……⟶ 約 －／－／－ 万円

② 育児用品購入費 ……⟶ 約 －／－／－ 万円

③ 産後の手伝いお礼 ……⟶ 約 －／－／－ 万円

④ その他（　　）…⟶ 約 －／－／－ 万円

(3) その費用は主に何で賄いましたか。（○は１つだけ）

－ － － 自分の収入・預貯金
－ － － 親からの援助
－ － － 健康保険や互助組合などの出産給付や祝い金、または役所の補助金
－ － － お祝い金
－ － － 借　金
－ － － その他（具体的に　　）

(4)　あなたは、産前産後仕事についていましたか。

| － － － | － － － | － － － |
|---|---|---|
| 出産の前から仕事についていなかった | 出産前は仕事についていたが出産を機にやめた | 出産前は仕事についていて出産後も仕事についている（仕事につくつもり） |
| → (問３へ) | | |

(5)　産前産後休暇はとりましたか。

とった →　産前 [－－－] 週間　　産後 [－－－] 週間

－ － －　とらなかった
－ － －　そうした制度がない

〔出産を機に仕事をやめた方は問３へ〕

(6)　育児休業制度や育児時間を利用しましたか。

利用した　→　形態　　育児休業→ [－－－] ヵ月

育児時間→ 毎日 [－－－] 時間

－ － －　利用しない
－ － －　そうした制度がない

〔問３は同居でも別居でもこの１年間（平成19年10月～平成20年９月）にご親族で死亡された方がいらっしゃる方にお聞きします。それ以外の方は問４へお進み下さい。〕

問３．死亡されたのはどなたですか。（○はいくつでも）　ST＝**14**　8　***17***

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **50.0** | 12.5 | ***5.9*** | あなたの父 | **21.4** | 50.0 | ***58.8*** | あなたの祖父母 |
| **14.3** | － | ***5.9*** | あなたの母 | － | － | － | 子ども |
| **7.1** | － | － | あなたの夫 | **21.4** | 62.5 | ***29.4*** | その他（具体的　　） |
| － | － | － | あなたの養親 | | | | |

〔問４は同居でも別居でも、この１年間（平成19年10月～平成20年９月）に親を亡くされた方に伺います。それ以外の方は次ページの問５へお進み下さい。〕

問４．(1)　**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に複数の親を亡くされた方は、相続の問題が解決した方を次の中から１人選び○をつけて下さい。以下の質問はその方についてお答え下さい。

ST＝**8**　1　***2***　（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **75.0** 100 ***50.0*** | **12.5** － ***50.0*** | － － － | **12.5** － － |
| あなたの父 | あなたの母 | あなたの養親 | ＮＡ |

(2)　亡くなられるまでに介護を必要としましたか。

| | | |
|---|---|---|
| **75.0** － ***50.0*** | **12.5** 100.0 ***50.0*** | **12.5** － － |
| 必要とした → | 必要としなかった → (次ページ(6)へ) | ＮＡ |

(3)　その介護期間はどれくらいでしたか。　ST＝**6**　0　***1***

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| － － ***100*** | **33.3** － － | **33.3** － － | **33.3** － － | － － － | － － － |
| １ヵ月以内 | １～３ヵ月 | ４～６ヵ月 | ７ヵ月～１年 | １～３年 | ３年以上 |

(4)　主な介護者はどなたでしたか。（○は１つだけ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **33.3** － － | あなた自身 | － － － | 介護保険利用のホームヘルパーなど |
| － － － | あなたの兄弟（その配偶者） | － － － | 介護施設の職員 |
| **66.7** － ***100*** | あなたの親 | － － － | 介護保険利用以外の家政婦や付添婦 |
| － － － | その他の親戚 | － － － | その他（具体的に　　） |



(5)　主に介護をしていた場所はどこですか。（○は１つだけ）

ST＝**6**　－　***1***

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **33.3** － ***100*** | － － － | **16.7** － － | **50.0** － － | － － － |
| 病　院 | 施　設 | あなたの自宅 | 亡くなった方の自宅 | その他（具体的に　　） |

(6)　亡くなった方の子どもが相続した遺産はどのように配分されましたか。（○は１つだけ）

ST＝**8**　1　***2***

| | | | |
|---|---|---|---|
| － | － | － | 均等に配分された → (問５へ) |
| **12.5** | － | － | きょうだいのうち、長男が全部相続した |
| **12.5** | － | － | きょうだいのうち、長男が多く相続した |
| － | － | － | きょうだいのうち、長男以外の子が全部相続した |
| － | 100.0 | － | きょうだいのうち、長男以外の子が多く相続した |
| **12.5** | － | － | その他（具体的に　　） |
| － | － | － | 一人っ子の長子が全部相続した |
| **50.0** | － | ***100*** | どの子どもも遺産を全く相続しなかった → (問５へ) |

**12.5** － － ＮＡ

(7)　遺産を全部または多く相続した子（または子の配偶者）は以下のことをしましたか。

ST＝**3**　1　－　（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **66.7** | 100 | － | 亡くなった方と同居していた |
| － | － | － | 亡くなった方の介護をしていた |
| － | 100 | － | 亡くなった方の家事をしていた |
| － | － | － | 亡くなった方の扶養（経済的援助）をしていた |
| **33.3** | － | － | 家業を継いだ |
| － | － | － | いずれもしなかった |

**33.3** － － ＮＡ

〔全員の方に〕

問５．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**にあなた自身に次のような出来事がありましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **8.3** | 13.4 | ***14.2*** | 新たに仕事についた |
| **0.6** | 4.5 | ***0.5*** | 転勤や単身赴任 |
| **5.9** | 7.5 | ***12.3*** | 職場または仕事を変えた |
| **2.4** | 9.0 | ***8.0*** | 仕事をやめた・希望退職 |
| － | － | ***1.4*** | 失業（解雇された、退職勧告があった） |
| **0.6** | － | － | 倒産・破産 |
| － | － | － | 大学（院）や専門学校などに入学した |
| **3.6** | 10.4 | ***8.5*** | 新しく習い事などを始めた |
| **4.1** | 6.0 | ***1.9*** | ＰＴＡや生協、その他サークル・団体等の役員を引き受けた |
| **6.5** | 6.0 | ***3.8*** | 手術や長期の療養が必要な重い病気にかかった |
| **2.4** | 1.5 | ***3.8*** | うつ状態など精神的な問題があった |
| **1.2** | 3.0 | － | ローンやクレジットなどを含めた消費者トラブルにあった |
| **2.4** | 1.5 | ***2.8*** | 事故や災害にあった |
| **10.7** | 4.5 | ***7.1*** | その他特別な出来事があった（具体的に　　） |
| **64.5** | 53.7 | ***58.5*** | 特別なことは何もなかった → (46 ページの問８へ) |

**0.6** 3.0 ***0.9*** ＮＡ

〔問６はこの１年間（平成19年10月～平成20年９月）に手術や長期療養を要するような重い病気や、うつ状態など精神的な問題があった方にお伺いします。それ以外の方は問７へお進み下さい。〕

問６．(1)　そのことによって生活に大きな変化がありましたか。（○はいくつでも）

ST＝14　4　15

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| － | － | 26.7 | 仕事が続けられなくなってやめたり転職した | | | |
| － | － | － | 離婚や別居をした | 21.4 | 50.0 | 33.3 | 長期入院となった |
| － | － | － | 休学や退学をした | 21.4 | 25.0 | 20.0 | その他（具体的に　　） |
| － | － | － | 親の家に戻った（同居した） | 64.3 | 25.0 | 40.0 | 特に変化はなかった |

(2)　その時のあなたの生活費や療養費は誰が支えていましたか。（○はいくつでも）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 71.4 | 50.0 | 66.7 | あなた自身の収入や預貯金 | － | － | － | 金融機関などからの借金 |
| 7.1 | － | 13.3 | 親の収入や預貯金 | － | － | 6.7 | 親などからの借金 |
| － | － | － | あなたの資産売却 | 7.1 | － | 6.7 | その他（具体的に　　） |
| － | － | － | 親の資産売却 | | | | |
| 50.0 | 75.0 | 6.7 | 公的な年金や医療給付、助成金 | | | | |
| 21.4 | 25.0 | － | 民間の保険給付や保険金の解約金 | | | | |

(3)　療養生活の相談相手は誰でしたか。（○はいくつでも）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 50.0 | 50.0 | 60.0 | 医師など医療、福祉などの専門家 | | | | |
| 7.1 | － | － | 宗教者 | 50.0 | 75.0 | 46.7 | 友人 |
| 28.6 | 50.0 | 40.0 | 親やきょうだい | 21.4 | － | 6.7 | その他（具体的に　　） |
| 21.4 | － | － | 子ども | 7.1 | 25.0 | 26.7 | 特にいなかった |

〔問７はこの１年間（平成19年10月～平成20年９月）にあなた自身が事故や災害、消費者トラブルにあわれた方に伺います。それ以外の方は次ページの問８へお進み下さい。〕

問７．(1)　その事故や災害、消費者トラブルは何でしたか。（○はいくつでも）

ST＝6　3　6

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 33.3 | － | 50.0 | 交通事故 | － | － | － | 商品被害 |
| － | － | － | 火災 | － | － | － | クレジットなどの債務返済困難 |
| － | 33.3 | － | 労働災害 | 50.0 | 66.7 | － | その他（具体的に　　） |
| － | － | 50.0 | 盗難 | 16.7 | － | － | ＮＡ |

(2)　そのことによって生活に大きな変化がありましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| － | － | － | 仕事が続けられなくなってやめたり転職した |
| － | － | － | 離婚や別居をした |
| － | － | － | 休学や退学をした |
| － | － | － | 親の家に戻った（同居した） |
| － | － | 33.3 | 資産を失った |
| － | － | 16.7 | 賠償金、返済など大きな費用がかかった |
| 33.3 | 33.3 | 16.7 | 精神的に落ち込んだ |
| 16.7 | － | － | その他（具体的に　　） |
| 50.0 | 66.7 | 66.7 | 特に変化はなかった |

16.7　－　－　ＮＡ



(3)　そのためにどのような対処をしましたか。（○はいくつでも）

ST＝6　3　6

| | | | |
|---|---|---|---|
| 16.7 | － | 16.7 | 預貯金を取り崩した |
| － | － | － | 資産を売却した |
| － | － | － | 親やきょうだいの経済的援助を受けた |
| － | － | － | 親戚、知人から借金した |
| － | － | － | 金融機関から借金した |
| － | － | － | 公的機関から資金を借りた |
| － | － | － | 民間保険を解約した |
| 16.7 | 33.3 | 16.7 | 民間保険の給付を受けた |
| － | 33.3 | － | 労災保険など社会保険給付を請求した |
| － | 33.3 | － | 公的機関や専門機関へ相談した |
| 16.7 | － | － | 親やきょうだいに手助けや相談にのってもらった |
| 16.7 | － | 16.7 | 友人の手助けや相談にのってもらった |
| － | － | － | 宗教者に相談した |
| 16.7 | － | 16.7 | その他（具体的に　　） |
| 33.3 | 33.3 | 33.3 | 特に何もしていない |
| 16.7 | － | － | ＮＡ |

〔全員の方に〕

問８．この１年間に引っ越しをしましたか。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 4.7 | 10.4 | 9.0 | | 95.3 | 89.6 | 91.0 |
| し | た | | | しなかった | | |

問９．それでは、**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に他のご家族に次のような出来事がありましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4.7 | 3.0 | 6.6 | 新たに仕事についた |
| 0.6 | － | 0.9 | 転勤や単身赴任 |
| 3.0 | 1.5 | 3.8 | 職場または仕事を変えた |
| 3.0 | 1.5 | 3.3 | 仕事をやめた・希望退職 |
| － | － | 0.9 | 失業（解雇された、退職勧告があった） |
| － | － | 0.5 | 倒産・破産 |
| 7.7 | 6.0 | 5.7 | 手術や長期の療養が必要な重い病気にかかった |
| 1.8 | 1.5 | 1.4 | うつ状態など精神的な問題や登校拒否などがあった |
| － | － | 0.5 | ローンやクレジットなどを含めた消費者トラブルにあった |
| 1.8 | － | 1.9 | 事故や災害にあった |
| 8.3 | 9.0 | 0.9 | 受験や入学 |
| 3.6 | 4.5 | 2.8 | その他特別な出来事があった（具体的に　　） |
| 71.6 | 71.6 | 74.5 | 特別なことは何もなかった→（次ページへ） |

－　1.5　2.4　ＮＡ

付問１．その出来事によって、生活に大きな変化がありましたか。（○はいくつでも）

ST＝48　18　49

| | | | |
|---|---|---|---|
| 27.1 | 16.7 | 12.2 | 大きな費用がかかった |
| 4.2 | － | 14.3 | 収入や資産が低下した |
| 14.6 | 11.1 | 24.5 | 世話（介護や看病を含む）が大変だった |
| 2.1 | 5.6 | 10.2 | 家族内の人間関係がうまくいかなくなった |
| 12.5 | 11.1 | 16.3 | あなた自身が精神的に落ち込んだ |
| 6.3 | － | 2.0 | 離婚・別居した |
| 4.2 | 16.7 | 6.1 | その他（具体的に　　） |
| 43.8 | 44.4 | 53.1 | 特に変化はなかった |

4.2　5.6　－　ＮＡ

付問２．そのための対処としてどのようなことをしましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **22.9** | 5.6 | ***10.2*** | 預貯金を取り崩した |
| **－** | － | **－** | 資産を売却した |
| **8.3** | － | ***4.1*** | 親やきょうだいの経済的援助を受けた |
| **2.1** | － | **－** | 親戚、知人から借金した |
| **－** | － | **－** | 金融機関から借金した |
| **2.1** | 5.6 | **－** | 公的機関から資金を借りた |
| **－** | － | **－** | 民間保険を解約した |
| **2.1** | 5.6 | ***4.1*** | 民間保険の給付を受けた |
| **4.2** | － | **－** | 労災保険など社会保険給付を請求した |
| **10.4** | － | **－** | 公的機関や専門機関へ相談した |
| **12.5** | 11.1 | ***14.3*** | 親やきょうだいに手助けや相談にのってもらった |
| **10.4** | 11.1 | ***10.2*** | 友人の手助けや相談にのってもらった |
| **2.1** | － | **－** | 宗教者に相談した |
| **6.3** | － | ***6.1*** | その他（具体的に　　） |
| **47.9** | 66.7 | ***67.3*** | 特に何もしていない |
| **6.3** | － | ***2.0*** | ＮＡ |



| 19 | あなたの考え方・ご意見についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．この１週間のあなたのからだや心の状態についてお聞きします。以下のような気分やことがらをどのくらい経験しましたか。（１）～（12）についてそれぞれあてはまる番号に○をつけてください。
（それぞれ○は１つだけ）

| | まったくなかった | 週に１～２日 | 週に３～４日 | ほとんど毎日 | ＮＡ |
|---|---|---|---|---|---|
| （1）ふだんは何でもないことをわずらわしいと感じたこと | **46.2**<br>49.3<br>***42.9*** | **47.3**<br>38.8<br>***44.8*** | **4.1**<br>6.0<br>***9.4*** | **2.4**<br>3.0<br>***2.8*** | **－**<br>3.0<br>**－** |
| （2）家族や友達から励ましてもらっても気分が晴れないこと | **73.4**<br>71.6<br>***65.1*** | **23.1**<br>20.9<br>***25.0*** | **1.8**<br>4.5<br>***5.2*** | **1.8**<br>1.5<br>***4.2*** | **－**<br>1.5<br>***0.5*** |
| （3）憂うつだと感じたこと | **56.8**<br>50.7<br>***43.4*** | **32.0**<br>35.8<br>***34.0*** | **6.5**<br>6.5<br>***12.3*** | **4.7**<br>7.5<br>***9.9*** | －<br>－<br>***0.5*** |
| （4）物事に集中できなかったこと | **56.8**<br>55.2<br>***43.4*** | **34.9**<br>29.9<br>***43.4*** | **5.3**<br>7.5<br>***7.5*** | **3.0**<br>4.5<br>***5.2*** | **－**<br>3.0<br>***0.5*** |
| （5）食欲が落ちたこと | **79.3**<br>73.1<br>***75.9*** | **17.2**<br>19.4<br>***18.9*** | **3.6**<br>3.0<br>***3.8*** | **－**<br>4.5<br>***0.9*** | **－**<br>－<br>***0.5*** |
| （6）何をするのも面倒と感じたこと | **45.6**<br>46.3<br>***37.3*** | **42.0**<br>41.8<br>***44.3*** | **10.7**<br>7.5<br>***10.4*** | **1.8**<br>3.0<br>***7.1*** | **－**<br>1.5<br>***0.9*** |
| （7）何か恐ろしい気持がしたこと | **91.1**<br>86.6<br>***82.5*** | **6.5**<br>9.0<br>***12.7*** | **1.2**<br>3.0<br>***3.3*** | **0.6**<br>1.5<br>***1.4*** | **0.6**<br>－<br>**－** |
| （8）なかなか眠れなかったこと | **66.9**<br>65.7<br>***64.2*** | **24.3**<br>29.9<br>***25.9*** | **7.7**<br>1.5<br>***6.1*** | **1.2**<br>3.0<br>***3.8*** | |
| （9）ふだんより口数が少なくなったこと | **79.3**<br>65.7<br>***69.3*** | **17.2**<br>23.9<br>***25.0*** | **2.4**<br>3.0<br>***4.7*** | **0.6**<br>4.5<br>***0.9*** | **0.6**<br>3.0<br>**－** |
| (10) 一人ぼっちで寂しいと感じたこと | **78.1**<br>73.1<br>***69.8*** | **16.0**<br>22.4<br>***19.3*** | **4.1**<br>1.5<br>***7.1*** | **0.6**<br>3.0<br>***3.3*** | **1.2**<br>－<br>***0.5*** |
| (11)「毎日が楽しい」と感じたこと | **25.4**<br>19.4<br>***25.5*** | **32.0**<br>50.7<br>***40.6*** | **27.8**<br>16.4<br>***24.5*** | **14.8**<br>13.4<br>***8.5*** | **－**<br>－<br>***0.9*** |
| (12) 悲しいと感じたこと | **60.4**<br>64.2<br>***57.5*** | **31.4**<br>28.4<br>***33.5*** | **6.5**<br>3.0<br>***5.7*** | **1.8**<br>3.0<br>***2.8*** | **－**<br>1.5<br>***0.5*** |

問２．近年、離婚が増加してきましたが、あなたはそれについてどのようにお考えになりますか。あなたのお考えに最も近いものを１つお答えください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **69.8** | 53.7 | ***53.3*** | 問題のある結婚生活なら解消した方がよい |
| **15.4** | 25.4 | ***25.9*** | 自分の生き方や気持ちを大切にするのは悪いことではない |
| **5.9** | 9.0 | ***2.8*** | 離婚を悪いことだとする考えが減ったので、仕方がない |
| **6.5** | 9.0 | ***15.1*** | 子どもが犠牲になるので、よくない |
| **1.2** | 3.0 | ***1.9*** | どんなことがあっても、結婚生活はまっとうすべきだ |

**1.2** － ***0.9*** ＮＡ

問３．最近食品が値上がりしていますが、値上がりした食品の購入について、あなたはどのような対応をとりましたか。最も多くとった行動を１つお答えください。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **21.9** | 16.4 | ***17.0*** | これまでより購入する量を減らした | |
| **3.0** | 4.5 | ***5.2*** | 廉価品や輸入品など、より安い商品を購入するようにした | |
| **2.4** | － | ***0.5*** | パンからお米に代えるなど、代替品や類似品を購入するようにした | |
| **45.0** | 44.8 | ***41.0*** | まとめ買いや特売の日に買うなど、安く購入する努力をした | |
| **25.4** | 32.8 | ***36.3*** | 食品は、これまでと同じように買い物している | **2.4** 1.5 **－** NA |

大変長い間、ご協力ありがとうございました。

# 新　　婚

## ◎ 家庭生活についてのおたずね ◎
## （この１年間に結婚した人用）

この調査票は、この１年間に結婚なさった方に、お聞きするものです。もう１つの調査票と併せてご記入の上、調査員にお渡し下さい。

2008 年９月

| 支局番号 | | 地点番号 | | | 対象番号 | | 回 | パネル番号 | | | | 調 査 員 名 | 点 検 者 名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | ６ | | | | | | |

社団法人　中 央 調 査 社

| 1 | あなたのご主人についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．ご主人のきょうだいは何人ですか。

男（夫も含めて） **1.7** 人

女 **0.9** 人

問２．ご主人の続き柄は次のうちのどれになりますか。

**61.3** 長　男　　**22.6** 次　男　　**12.9** その他　　**3.2** ＮＡ

問３．ご主人は、小・中学生の時どこに住んでいましたか。小・中学生の９年間で一番長く住んでいた県をお答え下さい。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **12.9** | 北海道 | **16.1** | 東京都 | **－** | 滋賀県 | **－** | 香川県 |
| **－** | 青森県 | **3.2** | 神奈川県 | **－** | 京都府 | **－** | 愛媛県 |
| **3.2** | 岩手県 | **9.7** | 新潟県 | **12.9** | 大阪府 | **3.2** | 高知県 |
| **－** | 宮城県 | **－** | 富山県 | **－** | 兵庫県 | **－** | 福岡県 |
| **－** | 秋田県 | **－** | 石川県 | **－** | 奈良県 | **－** | 佐賀県 |
| **－** | 山形県 | **－** | 福井県 | **－** | 和歌山県 | **－** | 長崎県 |
| **－** | 福島県 | **－** | 山梨県 | **－** | 鳥取県 | **－** | 熊本県 |
| **－** | 茨城県 | **3.2** | 長野県 | **－** | 島根県 | **－** | 大分県 |
| **3.2** | 栃木県 | **－** | 岐阜県 | **6.5** | 岡山県 | **－** | 宮崎県 |
| **－** | 群馬県 | **3.2** | 静岡県 | **3.2** | 広島県 | **－** | 鹿児島県 |
| **6.5** | 埼玉県 | **9.7** | 愛知県 | **－** | 山口県 | **－** | 沖縄県 |
| **－** | 千葉県 | **3.2** | 三重県 | **－** | 徳島県 | **－** | 外国（　　） |

問４．ご主人が卒業した中学校は次のうちどれでしたか。

**90.3** 公立・国立の中学校　　**9.7** 私立の中学校

問５．ご主人は高等学校には行きましたか。

**100.0** 卒業した　**－** 中退した　**－** 行かなかった

↓ **ST＝31**　　→（問６へ）

付問１．その高校は、公立・国立・私立のうちどれですか。

**71.0** 公立・国立　　**29.0** 私立

付問２．普通科ですか、職業科ですか。

**74.2** 普通科高校　　**22.6** 工業科高校
**－** 商業科高校　　**3.2** その他の職業科高校

問６．ご主人は専門学校・専修学校には行きましたか。（在学中を含む）

**25.8** 卒業した　　**3.2** 中退した　　**－** 在学中　　**71.0** 行かなかった

問７．ご主人は大学進学予備校には行きましたか。（在学中を含む）

**25.8** 行った　　**－** 在学中　　**74.2** 行かなかった



問８．ご主人は短大・高専には行きましたか。（在学中を含む）

**9.7** 卒業した　**－** 中退した　**－** 在学中　　**87.1** 行かなかった　**3.2** ＮＡ

↓ **ST＝3**　　→（問９へ）

付問．その短大・高専は私立・公立・国立のうちどれですか。

**66.7** 私立　　**－** 公立　　**33.3** 国立

問９．ご主人は４年制大学（医・歯学部を含む）には行きましたか。（在学中を含む）

**41.9** 卒業した　**－** 中退した　**－** 在学中　　**54.8** 行かなかった　**3.2** ＮＡ

↓ **ST＝13**　　→（問 10 へ）

付問１．その大学は私立・公立・国立のうちどれですか。

**76.9** 私立　　**7.7** 公立　　**15.4** 国立

付問２．専攻されたのは次のいずれですか。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **7.7** | 文学系 | **－** | 芸術系 | **－** | 医学・歯学・薬学系 |
| **－** | 教育系 | **53.8** | 理学・工学系 | **－** | その他の文系（　　） |
| **7.7** | 法律・政治系 | **－** | 家政・文系 | **－** | その他の理系（　　） |
| **30.8** | 経済・経営・商業系 | **－** | 家政・理系 | | |

問 10．ご主人は大学院には行きましたか。（在学中を含む）

**3.2** 修了した　**－** 中退した　**－** 在学中　　**93.5** 行かなかった　**3.2** ＮＡ

↓ **ST＝1**　　→（問 11 へ）

付問．その大学院は私立・公立・国立のうちどれですか。

**－** 私立　　**－** 公立　　**100.0** 国立

問 11．(1) ご主人が最後に卒業した学校はどちらですか。（中退は卒業に含めないで下さい）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **－** | 中学校 | **3.2** | 高専 |
| **25.8** | 高等学校（大検・高卒認定） | **38.7** | ４年制大学（医・歯学部を含む） |
| **19.4** | 専門学校・専修学校 | **3.2** | 大学院 |
| **6.5** | 短大 | **－** | その他（　　） |
| | | **3.2** | ＮＡ |

(2) その学校を卒業したのは何年ですか。

**1** 昭和
**2** 平成　　年

［例）平成 14 年３月に卒業は → 1 昭和 / ② 平成 1 4 年］

| 2 | あなたのご主人の職業についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたのご主人は、これまでに、通算して何年何カ月仕事についていますか。その合計年数をお答え下さい。

（仕事には、常勤の職員・従業員、パート・アルバイト、嘱託、自営、家族従業などすべて含みます。ただし、**学生アルバイトは除きます**。）

| **147.0** | カ月 |
|---|---|

---

**〔ご主人が現在無職の方にお聞きします。〕**

問２．前の仕事をおやめになってから、仕事についていない期間はどれくらい続いていますか。
（仕事の経験のない方は、**学校を卒業してからの期間を**お答え下さい）

**ST＝1**

| **1.0** | カ月 |
|---|---|

---

**〔ご主人が仕事についている方にお聞きします。〕**

問３．ご主人は、現在の仕事（勤め人の方は会社、それ以外の方は職種）を、いつから続けていますか。

**1** 昭和
**2** 平成 [　　] 年 [　　] 月から現在まで



| 3 | ご主人のご両親についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．ご主人の父親の最終学歴は次のうちどれですか。（中退は卒業に含めないで下さい）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **16.1** | 中学校（旧制小学校・高等小学校） | **－** | 短大 | **3.2** | 大学院 |
| **48.4** | 高等学校（旧制中学） | **－** | 高専 | **－** | その他（　　） |
| **－** | 専門学校・専修学校 | **22.6** | ４年制大学 | **9.7** | ＮＡ |

---

問２．ご主人の父親はご健在ですか。

**83.9** 健　在 → **ST＝26**

**16.1** 既に死亡している → **ST＝5**

付問１．何歳ですか。

**64.1** 歳

付問２．いつお亡くなりになりましたか。

**1** 昭和
**2** 平成 [　　] 年

付問３．ご主人の父親は現在職業をお持ちですか。

**65.4** 職業を持っている
**26.9** 職業を持っていない
**7.7** わからない

付問４．(1) ご主人の父親のご職業は何ですか。具体的にご記入の上、○をつけて下さい。（○は１つだけ）

付問４．(2) ご主人の父親の現役の頃のご職業は何でしたか。具体的にご記入の上、○をつけて下さい。（○は１つだけ）

自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書きの上、○をつけて下さい。（○は１つだけ）

**具体的に**（　　）

自営者・家族従業者・自由業
- **6.5** 農林漁業（自営者）
- **－** 農林漁業（家族従業者）
- **16.1** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者）
- **－** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者）
- **3.2** 自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など）

勤め
- **16.1** 管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など）
- **－** 専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など）
- **3.2** 技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など）
- **－** 教　員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など）
- **12.9** 事務職（一般事務、営業社員、銀行員など）
- **32.3** 技能・作業職（工員、警察官、運転士、配達員、職人など）
- **6.5** 販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、ウエイター、ホームヘルパーなど）

- **－** 自宅で賃仕事（内職）
- **－** 無　　職

**3.2** ＮＡ

**ST＝30**

〔13、14 に○のついた方は５ページに〕

付問５．その勤め先の従業員は会社全体で何人くらいですか（でしたか）。
（注　従業員数には　臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい。）

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **13.3** | １～４人 | **16.7** | 10～29 人 | **16.7** | 100～499 人 | **－** | 1000 人以上 | | |
| **3.3** | ５～９人 | **16.7** | 30～99 人 | **13.3** | 500～999 人 | **10.0** | 官公庁 | **10.0** | ＮＡ |

付問６．ご主人の父親の職務は次のどれですか（でしたか）。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **93.3** | 常勤の職員・従業者 | **－** | パート・アルバイト | **3.3** | 嘱託・その他 |
| | | | | **3.3** | ＮＡ |

問３．ご主人の母親の最終学歴は次のうちどれですか。（中退は卒業に含めないで下さい）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **6.5** | 中学校（旧制小学校・高等小学校） | **12.9** | 短大 | **－** | 大学院 |
| **61.3** | 高等学校（旧制中学） | **3.2** | 高専 | **－** | その他（　　） |
| **6.5** | 専門学校・専修学校 | **3.2** | ４年制大学 | **6.5** | ＮＡ |

---

問４．ご主人の母親はご健在ですか。

**96.8** 健　在
↓ **ST=30**

付問１．何歳ですか。

**61.3** 歳

**3.2** 既に死亡している
↓ **ST=1**

付問２．いつお亡くなりになりましたか。

**1** 昭和
**2** 平成
□□ 年

---

問５．ご主人が生まれてから20歳になるまでの間に、ご主人の母親は外に働きに出たことがありますか。あればその期間をお知らせ下さい。（自営・家族従業の仕事は除いてお答え下さい）

| **22.6** | **22.6** | **9.7** | **12.9** | **29.0** | **3.2** |
|---|---|---|---|---|---|
| 外に働きに出たことはない | ５年未満 | ５年以上10年未満 | 10年以上15年未満 | 15年以上 | ＮＡ |





| 4 | 結婚後の住居についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．結婚による居住の変化は次のうちのどれになりますか。

**16.1** あなたがご主人の家に引っ越した
**12.9** ご主人があなたの家に引っ越した
**61.3** 家を新しく借りた
**3.2** 家（土地又は住宅のみも含みます）を新しく購入した（新築も親との共同名義も含みます）
**6.5** ＮＡ

| 5 | 結婚費用についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．ご夫婦の結婚費用はいくらぐらいでしたか（結納、結納返しを除く）。各項目についての双方の支出をご記入下さい。

| | | あなた側（妻側） | ご主人側（夫側） | 合　計 |
|---|---|---|---|---|
| ①婚約記念品 | 48.3 あり→ / 44.8 なし / 6.9 NA | 5.1　15.4 万円 | 19.0　36.6 万円 | 24.1　46.5 万円 |
| ②その他婚約関係 | 34.5 あり→ / 58.6 なし / 6.9 NA | 2.7　14.4 万円 | 6.6　19.8 万円 | 9.3　25.0 万円 |
| ③挙式・披露宴 | 72.4 あり→ / 20.7 なし / 6.9 NA | 97.2　138.2 万円 | 118.0　151.7 万円 | 215.2　276.7 万円 |
| ④仲人へのお礼 | － あり→ / 93.1 なし / 6.9 NA | －　－ 万円 | －　－ 万円 | －　－ 万円 |
| ⑤新婚旅行 | 51.7 あり→ / 41.4 なし / 6.9 NA | 9.0　27.0 万円 | 25.2　48.6 万円 | 34.2　61.6 万円 |
| ⑥家具・電気製品・台所用品等 | 65.5 あり→ / 27.6 なし / 6.9 NA | 33.1　59.5 万円 | 20.1　33.9 万円 | 53.1　75.5 万円 |
| ⑦着物・洋服・装飾品等 | 17.2 あり→ / 75.9 なし / 6.9 NA | 1.9　12.5 万円 | 0.9　25.0 万円 | 2.8　15.0 万円 |
| ⑧住居（新しく借りた場合）＊ | 51.7 あり→ / 41.4 なし / 6.9 NA | 3.2　14.3 万円 | 14.9　28.6 万円 | 18.0　32.5 万円 |
| ⑨その他（具体的に　） | 10.3 あり→ / 82.8 なし / 6.9 NA | 1.1　15.0 万円 | 3.0　40.0 万円 | 4.1　36.7 万円 |
| 合　計 | | A 153.3　165.5 万円 | B 207.6　215.5 万円 | C 360.8　374.7 万円 |

＊引っ越しの費用、礼金、敷金、不動産屋の手数料などを含む。



問２．その費用をどのように賄いましたか。問１のA B Cの金額それぞれの内訳をご記入下さい。

| | | あなた側（妻側）Aの内訳 | ご主人側（夫側）Bの内訳 | 合　計 Cの内訳 |
|---|---|---|---|---|
| ①自分の貯蓄 | 85.2 使った→ / 7.4 使わなかった / 7.4 NA | 51.7　76.0 万円 | 110.6　120.3 万円 | 162.3　176.4 万円 |
| ②親からの援助 | 59.3 使った→ / 33.3 使わなかった / 7.4 NA | 68.2　121.8 万円 | 64.3　134.0 万円 | 132.5　207.1 万円 |
| ③親からの借入れ | 3.7 使った→ / 88.9 使わなかった / 7.4 NA | －　－ 万円 | 4.0　100.0 万円 | 4.0　100.0 万円 |
| ④親以外からの援助 | 7.4 使った→ / 85.2 使わなかった / 7.4 NA | 3.6　45.0 万円 | 4.0　100.0 万円 | 7.6　95.0 万円 |
| ⑤親以外からの借入れ（金融機関を除く） | － 使った→ / 92.6 使わなかった / 7.4 NA | －　－ 万円 | －　－ 万円 | －　－ 万円 |
| ⑥金融機関からの借入れ | － 使った→ / 92.6 使わなかった / 7.4 NA | －　－ 万円 | －　－ 万円 | －　－ 万円 |
| ⑦お祝い金など | 33.3 使った→ / 59.3 使わなかった / 7.4 NA | 28.1　78.1 万円 | 24.4　67.8 万円 | 52.5　145.9 万円 |
| ⑧その他（具体的に　） | 3.7 使った→ / 88.9 使わなかった / 7.4 NA | 1.8　45.0 万円 | 1.8　46.0 万円 | 3.6　91.0 万円 |
| 合　計 | | 153.4　166.7 万円 | 209.2　217.9 万円 | 362.6　377.7 万円 |

問３．結納と結納返しはいくらぐらいでしたか。

| | | |
|---|---|---|
| 結　納 | 20.7　100.0 万円 | 74.2 結納はしなかった |
| 結納返し | 3.1　28.3 万円 | 77.4 結納返しはしなかった |

# 有配偶新規

## ◎ 家庭生活についてのおたずね ◎

ご記入にあたってのお願い

・この調査票は、配偶者のいらっしゃる方にお願いしております。
・ご記入には長時間かかりますが、あなた様（　　様）がすべてご記入下さい。
・あなた様ご自身やご家族のことなどについて少し立ち入ったこともお聞きしますが、統計的に分析することが目的ですので、ありのままをお答えいただきますようお願いします。
・９月１カ月でのことをお聞きしている質問もありますので、そのような質問にはおわかりになった時点でお答え下さい。
・質問番号順にお答え下さい。質問の中には、一部の方にだけおたずねするものがありますが、その場合は指示に従って下さい。
・お答えは、あてはまる回答についている数字を○でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入する場合があります。「その他」にあてはまる時は、数字を○でかこみ、（　　）内に具体的な内容を記入して下さい。（　　）内に書ききれない場合は、欄外にご記入下さい。
・（○は１つ）という質問では、○は１つだけにしぼって下さい。
・ご主人のことについておたずねしている質問では、あなた様ご自身がわからないことがありましたら、ご主人に聞いてご記入下さい。
・なお、「⑧⑨⑩=401」とか⑪などの記号は、コンピュータで処理するためのものですので、質問やお答えとは関係ありません。

ご記入いただきました調査票は　　日　　時ごろ　調査員の　　がいただきにあがりますので、よろしくお願いいたします。

第8989号（新）

2008年９月

| 支局番号 | | 地点番号 | | | 対象番号 | | パネル番号 | | | | | 調 査 員 名 | 点 検 者 名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 6 | | | | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | | |

社団法人　中 央 調 査 社

| 1 | ご家族についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．現在いっしょに住んでおられるご家族は、あなたを含めて全部で何人ですか。　⑧⑨⑩=401
⑪⑫

□□ 人

（同じ屋根の下、または同一敷地内にお住まいのご家族は「いっしょに住んでいる」としてご記入下さい）

問２．ご家族１人１人について、あなたとの続き柄、性別、年齢、就学・就労状況、同居・別居の別、配偶関係をお知らせ下さい。（単身赴任、留学、進学、就職、結婚や入院などで別居しているご主人、お子さんも含めてご記入下さい）

| | あなたとの続き柄〔具体的にご記入下さい〕 | あなたとの続き柄（下記のコード表参照） | 性別 | 年齢（今年10月1日現在の満年齢） | 現在の就学・就労状況 | 同別居 | 配偶関係 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 1 未就学 2 小学1～3年 3 小学4～6年 4 中学生 5 高校生 6 短大・大学生 7 専門学校 8 仕事・就いている 9 無職 10 その他（具体的に） | 1 同居 2 別居 | 1 独身 2 結婚している | ⑧⑨⑩=402 ⑳・=skip |
| 1 | あなた　本人 | 00 ⑭⑮ | 1 男 ② 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | | |
| 2 | あなたのご主人 | 01 ⑯⑰ | ① 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑪ | | |
| 3 | あなたの＿＿＿ | ⑱⑲ | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑫ | 1 2 | |
| 4 | あなたの＿＿＿ | ⑳ | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑬ | 1 2 | |
| 5 | あなたの＿＿＿ | | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑭ | 1 2 | |
| 6 | あなたの＿＿＿ | | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑮ | 1 2 | |
| 7 | あなたの＿＿＿ | | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑯ | 1 2 | |
| 8 | あなたの＿＿＿ | | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑰ | 1 2 | |
| 9 | あなたの＿＿＿ | | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑱ | 1 2 | |
| 10 | あなたの＿＿＿ | | 1 男 2 女 | 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 2 ⑲ | 1 2 | |
| | ⑬ | | | | | | | |

続き柄コード表

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 00 | 本人（妻） | 05 | 子ども（第４子） | 10 | 夫の祖父母 |
| 01 | ご主人 | 06 | 子ども（第５子以下） | 11 | 妻の兄弟姉妹 |
| 02 | 子ども（第１子） | 07 | 妻の父母 | 12 | 夫の兄弟姉妹 |
| 03 | 子ども（第２子） | 08 | 夫の父母 | 13 | 子どもの配偶者 |
| 04 | 子ども（第３子） | 09 | 妻の祖父母 | 14 | 孫 |
| | | | | 15 | その他の親族 |
| | | | | 16 | その他 |

【01・02】





| 2 | あなたご自身のことについてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたご自身のきょうだいは何人いますか。

男　**0.7** 人

女（自分も含めて）　**1.8** 人

問２．あなたの続き柄は次のうちのどれになりますか。

**67.4** 長女　**27.1** 次女　**5.0** その他　**0.5** NA

問３．（1）あなたが現在のご主人と結婚されたのはいつですか。

（平成 □□ 年 □□ 月 あるいは あなたが □□ 歳のとき）

（2）あなたは、配偶者との死別や離別を経験されたことがありますか。（なお、結婚には正式な届出をしていない内縁の関係も含みます）

**2.3** 離別した経験がある　**－** 死別した経験がある　**－** 離別と死別の経験がある　**96.3** いずれもない　**1.4** NA

→ 問４へお進みください

付問．あなたがはじめて結婚されたのはいつですか。

（平成 □□ 年 □□ 月 あるいは あなたが □□ 歳のとき）

あなたが行かれた学校についてうかがいます。

問４．中学校は次のうちどれでしたか。

**90.8** 公立・国立の中学校　**8.7** 私立の中学校　**0.5** NA

問５．高等学校には行きましたか。

**88.5** 卒業した　**8.7** 中退した　**2.8** 行かなかった

→（次ページの問６へ）

付問１．その高校は、公立・国立・私立のうちどれですか。
ST＝212

**68.9** 公立・国立　**30.7** 私立　**0.5** NA

付問２．普通科ですか。職業科ですか。
ST＝212

**78.8** 普通科高校　**0.9** 工業科高校
**12.7** 商業科高校　**7.5** その他の職業科高校　**－** NA

問６．専門学校・専修学校には行きましたか。（在学中を含む）

**22.0** 卒業した　**4.6** 中退した　**0.5** 在学中　**72.0** 行かなかった　**0.9** ＮＡ

（問７へ）

付問１．入学資格の制限はありましたか。
ST＝59

**8.5** 中卒（見込み）
**74.6** 高卒（見込み）
**15.3** 制限はなかった　**1.7** ＮＡ

付問２．どのような種類の課程ですか。

**3.4** 工業分野（建築、土木、電子工業、電気、機械、バイオ、コンピューター、自動車整備など）
**37.3** 医療分野（看護、臨床検査、診療放射線、歯科技工、歯科衛生、鍼灸、リハビリテーション、医療秘書など）
**11.9** 商業実務分野（ＯＡ、ワープロ、情報処理、会計、経理、簿記、秘書、法律、経営、観光、客室乗務員など）
**15.3** 衛生分野（栄養、調理、理容、美容など）
**16.9** 教育・社会福祉分野（保母、教員養成、介護・福祉など）
**－** 農業・漁業分野（農業、畜産、園芸など）
**8.5** 文化・教養分野（美術、音楽、芸能・演劇、スポーツ、デザイン、書道、茶道、華道、外国語、英会話など）
**5.1** 服飾・家政分野（家政、家庭、和洋裁、料理、編物・手芸、ファッションビジネスなど）
**1.7** その他（　　）

付問３．在学中、経済的に親から独立していましたか（いますか）。生活費も学費も含めてお答え下さい。
ST＝59

**78.0** ほとんど親に出してもらっていた（もらっている）
**6.8** かなりの部分を親に出してもらっていた（もらっている）
**6.8** 一部親に出してもらっていた（もらっている）
**8.5** ほとんど親には出してもらわなかった（もらっていない）

問７．大学進学予備校には行きましたか。（在学中を含む）

**6.0** 行った　**－** 在学中　**93.6** 行かなかった　**0.5** ＮＡ

問８．短大・高専には行きましたか。（在学中を含む）

**18.8** 卒業した　**1.8** 中退した　**－** 在学中　**78.9** 行かなかった　**0.5** ＮＡ

（次ページの問９へ）

付問１．その短大・高専は私立・公立・国立のうちどれですか。
ST＝45

**86.7** 私立　**8.9** 公立　**4.4** 国立

付問２．専攻されたのは、次のどれですか。
ST＝45

**4.4** 文学・語学系
**2.2** 実務系（観光、秘書、情報処理など）
**33.3** 家政系（食物、被服、生活文化など）
**31.1** 教育・保育・福祉系
**8.9** 医療系（看護、歯科衛生など）
**－** 体育系
**－** 法律・政治系
**11.1** 芸術系
**2.2** その他（　　）
**4.4** 経済・経営・商業系
**2.2** 工業系（建築、電子、機械など）



付問３．在学中、経済的に親から独立していましたか（いますか）。生活費も学費も含めてお答え下さい。ST＝45

**77.8** ほとんど親に出してもらっていた（もらっている）
**20.0** かなりの部分を親に出してもらっていた（もらっている）
**2.2** 一部親に出してもらっていた（もらっている）
**－** ほとんど親には出してもらわなかった（もらっていない）

問９．４年制大学（医・歯学部を含む）には行きましたか。（在学中を含む）

**18.8** 卒業した　**1.4** 中退した　**－** 在学中　**79.8** 行かなかった

（問10へ）

付問１．その大学は私立・公立・国立のうちどれですか。
ST＝44

**84.1** 私立　**9.1** 公立　**6.8** 国立

付問２．専攻されたのは、次のどれですか。
ST＝44

**27.3** 文学系
**6.8** 芸術系
**2.3** 医学・歯学・薬学系
**4.5** 教育系
**4.5** 理学・工学系
**13.6** その他の文系（　　）
**9.1** 法律・政治系
**－** 家政・文系
**4.5** その他の理系（　　）
**18.2** 経済・経営・商業系
**9.1** 家政・理系

付問３．在学中、経済的に親から独立していましたか（いますか）。生活費も学費も含めてお答え下さい。ST＝44

**70.5** ほとんど親に出してもらっていた（もらっている）
**22.7** かなりの部分を親に出してもらっていた（もらっている）
**4.5** 一部親に出してもらっていた（もらっている）
**2.3** ほとんど親には出してもらわなかった（もらっていない）

問10．大学院には行きましたか。（在学中を含む）

**－** 修了した　**－** 中退した　**－** 在学中　**100.0** 行かなかった

（問11へ）

付問１．その大学院は私立・公立・国立のうちどれですか。
ST＝0

**－** 私立　**－** 公立　**－** 国立

付問２．在学中、経済的に親から独立していましたか（いますか）。生活費も学費も含めてお答え下さい。ST＝0

**－** ほとんど親に出してもらっていた（もらっている）
**－** かなりの部分を親に出してもらっていた（もらっている）
**－** 一部親に出してもらっていた（もらっている）
**－** ほとんど親には出してもらわなかった（もらっていない）

問11．(1)あなたが最後に卒業した学校はどちらですか。（中退は卒業に含めないで下さい）

**10.1** 中学校
**0.5** 高専
**33.0** 高等学校（大検・高卒認定）
**18.3** ４年制大学（医・歯学部を含む）
**21.1** 専門学校・専修学校
**－** 大学院
**17.0** 短大
**－** その他（　　）

(2) その学校を卒業したのは何年ですか。

平成 [　　] 年　［例）平成14年3月に卒業は ⟶ 平成 [1][4] 年］

(3) その学校を選んだのはどういう理由からですか。（○は1つ）

**17.9** 偏差値が合格ラインにあったから
**36.7** 将来つきたい職業にあっていたから
**11.5** 教養を身につけるため
**－** 結婚の時の肩書きになるから
**8.3** 親や教師にすすめられたから
**21.1** なんとなく
**4.6** NA

問12. あなたは、次のような資格をお持ちですか。お持ちのものをお知らせ下さい。

（○はいくつでも）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **－** | 医師、歯科医師 | **－** | 弁護士 | **2.8** | 理容師、美容師 |
| **0.5** | 薬剤師 | **－** | 司法書士 | **2.8** | 情報処理技術者 |
| **5.0** | 看護師、保健師 | **－** | 行政書士 | **－** | タクシーやバスなどの営業用運転免許 |
| **0.9** | 歯科衛生士 | **－** | 社会保険労務士 | **6.0** | 英検2級程度以上 |
| **－** | 歯科技工士 | **－** | 中小企業診断士 | **10.1** | 簿記（2級以上） |
| **0.5** | 臨床検査技師 | **－** | 公認会計士 | **17.9** | その他（　　） |
| **1.8** | 社会福祉士、介護福祉士 | **0.5** | 税理士 | | |
| **5.0** | 栄養士、調理師 | **－** | 建築士 | | |
| **5.0** | 教員 | **－** | インテリア・コーディネーター | | |
| **6.9** | 保育士 | **－** | 消費生活アドバイザー | **46.3** | 持っていない　**3.7** NA |

問13. あなたの塾・お稽古ごと経験についてうかがいます。
あなたは、小学生、中学生、高校生時代に、塾（家庭教師を含む）に通ったり、稽古ごと（授業料を払うもの）をしていましたか。次の4つの時期それぞれについてお答え下さい。

| | 塾にも稽古ごとにも通っていた | 塾にだけ通っていた | 稽古ごとだけしていた | どちらもしていなかった |
|---|---|---|---|---|
| (1) 小学校1～3年生の時 | **7.8** | **4.1** | **65.1** | **20.6**<br>**2.3** NA |
| (2) 小学校4～6年生の時 | **28.9** | **11.0** | **51.8** | **7.8**<br>**0.5** NA |
| (3) 中学生の時 | **29.8** | **37.2** | **11.0** | **20.6**<br>**1.4** NA |
| (4) 高校生の時（高校に行かなかった方は15～17歳のころ） | **7.3** | **11.5** | **14.2** | **64.2**<br>**2.8** NA |





## 3　あなたの居住歴についてうかがいます。

問1．あなたは、小・中学生の時どこに住んでいましたか。小・中学生の9年間で一番長く住んでいた県をお答え下さい。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **5.5** | 北海道 | **7.8** | 東京都 | **0.9** | 滋賀県 | **0.5** | 香川県 |
| **1.4** | 青森県 | **6.4** | 神奈川県 | **2.3** | 京都府 | **1.8** | 愛媛県 |
| **1.4** | 岩手県 | **1.4** | 新潟県 | **8.3** | 大阪府 | **1.4** | 高知県 |
| **2.8** | 宮城県 | **0.5** | 富山県 | **2.8** | 兵庫県 | **3.7** | 福岡県 |
| **0.9** | 秋田県 | **1.4** | 石川県 | **0.5** | 奈良県 | **1.4** | 佐賀県 |
| **0.5** | 山形県 | **1.8** | 福井県 | **0.5** | 和歌山県 | **0.9** | 長崎県 |
| **4.1** | 福島県 | **2.8** | 山梨県 | **0.9** | 鳥取県 | **2.3** | 熊本県 |
| **1.4** | 茨城県 | **1.8** | 長野県 | **0.5** | 島根県 | **0.9** | 大分県 |
| **0.5** | 栃木県 | **1.4** | 岐阜県 | **0.5** | 岡山県 | **0.5** | 宮崎県 |
| **1.4** | 群馬県 | **3.7** | 静岡県 | **2.8** | 広島県 | **2.8** | 鹿児島県 |
| **3.7** | 埼玉県 | **5.0** | 愛知県 | **1.8** | 山口県 | **0.9** | 沖縄県 |
| **3.2** | 千葉県 | **0.5** | 三重県 | **0.5** | 徳島県 | **－** | 外国（　　） |

問2．あなたは中学を卒業してから引っ越し（**結婚の際の転居も含みます**）をしたことがありますか。

**86.2** あ る ⟶ 付問1．何回しましたか。

[**2.1**<br>**2.3**] 回

**4.1** な い ⟶ （次ページの問1へ）

**9.6** NA

付問2．現在からさかのぼって5回までの引っ越しについて、以下の項目を記入して下さい。

| | 引っ越し時期 | 前の住所（前の住所が外国の場合は国名をご記入下さい） | 引っ越しの理由 1進学のため | 2自分の初めての就職のため | 3自分の転勤のため | 4自分の転職のため | 5結婚のため | 6子どもが生まれたため | 7夫の転勤のため | 8夫の転職のため | 9親の転勤・転職のため | 10家・マンションを購入したため | 11公団など公営住宅に当たったため | 12親から独立したため | 13親と同居したため | 14夫や自分の通勤時間を短縮するため | 15子育て・子どもの教育のため | 16その他［具体的に］ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一番最近の引っ越し | ST=188<br>1 昭和 2 平成 [　] 年 [　] 月 | 県 郡 市 区 町 村 | **1.6** | **1.1** | **1.1** | **2.1** | **54.8** | **4.3** | **2.1** | **3.2** | **－** | **10.6** | **1.1** | **2.1** | **5.3** | **3.2** | **4.3** | （ **3.2** ） |
| その前の引っ越し | ST=115<br>1 昭和 2 平成 [　] 年 [　] 月 | 県 郡 市 区 町 村 | **6.1** | **10.4** | **1.7** | **3.5** | **40.9** | **4.3** | **－** | **2.6** | **1.7** | **3.5** | **0.9** | **6.1** | **6.1**<br>NA **0.9** | **0.9** | **0.9** | （ **9.6** ） |
| その前の引っ越し | ST=69<br>1 昭和 2 平成 [　] 年 [　] 月 | 県 郡 市 区 町 村 | **27.5** | **11.6** | **－** | **11.6** | **11.6** | **2.9** | **－** | **1.4** | **2.9** | **2.9** | **1.4** | **8.7** | **7.2**<br>NA **2.9** | **2.9** | **－** | （ **4.3** ） |
| その前の引っ越し | ST=30<br>1 昭和 2 平成 [　] 年 [　] 月 | 県 郡 市 区 町 村 | **43.3** | **13.3** | **3.3** | **3.3** | **3.3** | **3.3** | **－** | **－** | **3.3** | **－** | **－** | **10.0** | **3.3** | **3.3** | **－** | （ **10.0** ） |
| その前の引っ越し | ST=11<br>1 昭和 2 平成 [　] 年 [　] 月 | 県 郡 市 区 町 村 | **27.3** | **－** | **9.1** | **18.2** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **9.1** | **－** | **18.2** | **－** | **－** | **－** | （ **18.2** ） |

| 4 | あなたのご主人についておうかがいします。 |
|---|---|

問１．ご主人のきょうだいは何人いますか。

男（夫も含めて） **1.8** 人

女 **0.7** 人

問２．ご主人の続き柄は次のうちのどれになりますか。

**65.6** 長　男　**29.8** 次　男　**4.1** その他　**0.5** NA

問３．ご主人は、小・中学生の時どこに住んでいましたか。小・中学生の９年間で一番長く住んでいた県をお答え下さい。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **5.5** 北海道 | **7.3** 東京都 | **0.5** 滋賀県 | **0.5** 香川県 |
| **0.5** 青森県 | **6.0** 神奈川県 | **2.8** 京都府 | **1.8** 愛媛県 |
| **－** 岩手県 | **1.4** 新潟県 | **5.5** 大阪府 | **0.9** 高知県 |
| **3.2** 宮城県 | **0.9** 富山県 | **4.6** 兵庫県 | **5.0** 福岡県 |
| **0.9** 秋田県 | **1.4** 石川県 | **0.9** 奈良県 | **0.9** 佐賀県 |
| **0.5** 山形県 | **0.9** 福井県 | **0.9** 和歌山県 | **0.9** 長崎県 |
| **1.4** 福島県 | **3.2** 山梨県 | **1.4** 鳥取県 | **3.2** 熊本県 |
| **1.8** 茨城県 | **1.8** 長野県 | **0.5** 島根県 | **0.9** 大分県 |
| **1.8** 栃木県 | **2.8** 岐阜県 | **0.9** 岡山県 | **0.5** 宮崎県 |
| **1.4** 群馬県 | **2.3** 静岡県 | **4.1** 広島県 | **1.8** 鹿児島県 |
| **5.0** 埼玉県 | **4.1** 愛知県 | **1.4** 山口県 | **0.9** 沖縄県 |
| **4.1** 千葉県 | **0.5** 三重県 | **0.5** 徳島県 | **－** 外国（　　） |

問４．ご主人が卒業した中学校は次のうちどれでしたか。

**93.1** 公立・国立の中学校　**6.4** 私立の中学校　**0.5** NA

問５．ご主人は高等学校には行きましたか。

**89.0** 卒業した　**7.3** 中退した　**3.7** 行かなかった → （問６へ）

付問１．その高校は、公立・国立・私立のうちどれですか。ST＝210

**70.0** 公立・国立　**28.6** 私立　**1.4** NA

付問２．普通科ですか、職業科ですか。ST＝210

**71.9** 普通科高校　**14.8** 工業科高校
**4.8** 商業科高校　**6.2** その他の職業科高校　**2.4** NA

問６．ご主人は専門学校・専修学校には行きましたか。（在学中を含む）

**17.0** 卒業した　**4.6** 中退した　**0.9** 在学中　**77.1** 行かなかった　**0.5** NA

問７．ご主人は大学進学予備校には行きましたか。（在学中を含む）

**13.3** 行った　**0.9** 中退した　**83.0** 在学中　**－** 行かなかった　**2.8** NA





問８．ご主人は短大・高専には行きましたか。（在学中を含む）

**3.7** 卒業した　**0.5** 中退した　**－** 在学中　**95.0** 行かなかった　**0.9** NA → （問９へ）

付問．その短大・高専は私立・公立・国立のうちどれですか。
ST＝9
**44.4** 私立　**33.3** 公立　**22.2** 国立

問９．ご主人は４年制大学（医・歯学部を含む）には行きましたか。（在学中を含む）

**33.9** 卒業した　**5.0** 中退した　**－** 在学中　**60.6** 行かなかった　**0.5** NA → （問10へ）

付問１．その大学は私立・公立・国立のうちどれですか。
ST＝85
**70.6** 私立　**5.9** 公立　**17.6** 国立　**5.9** NA

付問２．専攻されたのは、次のどれですか。
ST＝85

| | | |
|---|---|---|
| **12.9** 文学系 | **2.4** 芸術系 | **2.4** 医学・歯学・薬学系 |
| **7.1** 教育系 | **25.9** 理学・工学系 | **3.5** その他の文系（　　） |
| **9.4** 法律・政治系 | **－** 家政・文系 | **1.2** その他の理系（　　） |
| **28.2** 経済・経営・商業系 | **－** 家政・理系 | **7.1** NA |

問10．ご主人は大学院には行きましたか。（在学中を含む）

**2.8** 修了した　**－** 中退した　**－** 在学中　**97.2** 行かなかった → （問11へ）

付問．その大学院は私立・公立・国立のうちどれですか。
ST＝6
**33.3** 私立　**16.7** 公立　**50.0** 国立

問11．(1) ご主人が最後に卒業した学校はどちらですか。（中退は卒業に含めないで下さい）

| | |
|---|---|
| **8.3** 中学校 | **1.4** 高専 |
| **38.5** 高等学校（大検・高卒認定） | **30.7** ４年制大学（医・歯学部を含む） |
| **16.1** 専門学校・専修学校 | **2.8** 大学院 |
| **1.8** 短大 | **－** その他（　　） **0.5** NA |

(2) その学校を卒業したのは何年ですか。

**1** 昭和
**2** 平成
□□ 年　［例）平成14年３月に卒業は → ①昭和 ②平成 **1** **4** 年］

| 5 | あなたの職業生活についておうかがいします。 |
|---|---|

問１．あなたは**現在（平成20年９月）**、仕事についていますか。

（仕事には、常勤従業員、パート、アルバイト、嘱託、自営、家族従業などすべて含みます。ただし、**学生アルバイトは除きます**。）

| **44.5** | **5.5** | **－** | **48.6** | **1.4** |
|---|---|---|---|---|
| 仕事についている | 休職中（仕事から離れているが、元の仕事に戻ることになっている状態） | 学　生 | 専業主婦 | その他の無職 |

付問１．休職の理由をお聞かせ下さい。
**ST＝12**

**75.0** 育児休業中　**－** 病気休業中
**－** 介護休業中　**25.0** その他〔具体的に〕
（　　）

付問２．あなたは、**学校卒業以降**通算すると何年何カ月間仕事についていましたか。その合計期間をお答え下さい。（夜間・定時制の学校に通っていて仕事についていた方は、その期間も含めてお答え下さい）

ST＝109

［　　］年［**69.9**］カ月間

→ 11ページの［A］へお進み下さい。

付問３．前の仕事をおやめになってから、仕事についていない期間はどれくらい続いていますか。（仕事の経験のない方は、**学校を卒業してからの期間**をお答え下さい）ST＝109

［　　］年［**32.9**］カ月間

付問４．あなたは将来仕事につくことを考えていますか。

ST＝109

| **12.8** | **23.9** | **45.0** | **18.3** |
|---|---|---|---|
| すぐにでも仕事をしたい | ２～３年後には仕事をしたい | 将来的には仕事をしたい | 考えていない |
| | | | → （次ページ付問７へ） |

付問５．そのために何らかの活動をしていますか。（○はいくつでも）

ST＝89

**4.5** 具体的な求職活動をしている
**11.2** そろそろ具体的な求職活動をしようと思っている
**－** 職業訓練を受けている
**2.2** そろそろ職業訓練を受けようと思っている
**82.0** 漠然と考えているだけ

付問６．どれくらいの期間求職活動をなさっていますか。

ST＝4

［　　］年［**1.5**］カ月間



付問７．あなたは、これまで、仕事についたことがありますか。

ST＝109

| **98.2** | **1.8** |
|---|---|
| 仕事についたことがある | 仕事についたことがまったくない |
| | → （20ページの問10へお進み下さい） |

付問８．あなたは、**学校卒業以降**通算すると何年何カ月間仕事についていましたか。その合計年数をお答え下さい。（夜間・定時制の学校に通っていて仕事についていた方は、その期間も含めてお答え下さい）

ST＝107

［　　］年［**49.1**］カ月間

→ 16ページの［B］へお進み下さい。

| A | 現在の職業についておうかがいします。 |
|---|---|

問１．あなたの現在の職業は何ですか。**主たる**お仕事の内容を**具体的**にご記入の上、○をつけて下さい。お手数ですが、自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書き下さい。

（○は１つだけ）

**具体的**に（　　）

ST＝109

自営業・家族従業者・自由業
- **－** 農林漁業（自営者）
- **0.9** 農林漁業（家族従業者）
- **1.8** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者）
- **4.6** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者）
- **－** 自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など）

勤め
- **－** 管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など）
- **－** 専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など）
- **15.6** 技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など）
- **11.0** 教員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など）
- **22.9** 事務職（一般事務、営業社員、銀行員など）
- **10.1** 技能・作業職（工員、警察官、電話交換手、データ入力作業者、運転士、配達員、職人など）
- **31.2** 販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、調理人、ウエイトレス、ホームヘルパーなど）
- **1.8** 自宅で賃仕事（内職）

〔13に○のついた方は14ページの問15へ〕

**〔問２～問19までは、問１で答えた主たる職業についてお答え下さい。〕**

問２．その勤め先の従業員は**会社全体**で何人くらいですか。

（注　従業員数には臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい）

ST＝107

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **14.0** | １～４人 | **15.0** | 10～29人 | **14.0** | 100～499人 | **13.1** | 1000人以上 |
| **14.0** | ５～９人 | **16.8** | 30～99人 | **7.5** | 500～999人 | **4.7** | 官公庁 |

**0.9** ＮＡ

問３．その勤め先の業種は次のどれに該当しますか。（派遣社員の方は、派遣元の業種についてお答え下さい）

ST＝107
- **0.9** 農林業
- **－** 漁業・水産業
- **－** 鉱業
- **4.7** 建設業
- **8.4** 製造業（出版、印刷を含む）
- **28.0** 卸売・小売業（デパート、スーパー、食堂、喫茶店を含む）
- **3.7** 金融・保険・不動産業
- **2.8** 運輸・通信業
- **1.9** 電気・ガス・水道・熱供給業
- **44.9** サービス業（学校、病院、ホテル、映画館、理・美容店、広告代理店、清掃会社を含む）
- **4.7** 公務
- **－** その他（具体的に　　）



問４．(1) あなたの職務は次のどれですか。

ST＝107

| | | | |
|---|---|---|---|
| **45.8** | **40.2** | **13.1** | **0.9** ＮＡ |
| 常勤の職員・従業者 | パート・アルバイト | 嘱託・その他 | |

(2) あなたは労働者派遣事務所の派遣社員ですか。

ST＝107

| | | |
|---|---|---|
| **5.6** 派遣社員 | **89.7** 派遣社員ではない | **4.7** ＮＡ |

問５．あなたの仕事の給与は、時給計算ですか、日給計算ですか。

ST＝107

| **46.7** 月給 | **－** 週給 | **6.5** 日給 | **42.1** 時給 | **2.8** その他（　　）→（問６へ） |
|---|---|---|---|---|

**1.9** ＮＡ

(1) あなたは月にいくらぐらいこの仕事から収入を得ていますか。
（残業手当を含む、ボーナスを含まない税引き前の収入）

月当たりST＝50

| 1 | 9 | 万 | 0 | 千円 |
|---|---|---|---|---|

(2) 日給はいくらですか。

１日当たり

ST＝7

| | | 万 | 6 | 5 | 3 | 9 | 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

(3) 時給はいくらですか。

１時間当たり

ST＝45

| | | 万 | 8 | 7 | 1 | | 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

問６．実際に勤務する労働時間は通常**週に**どのくらいですか。

ST＝107

| | | | | | | | | **2.8** ＮＡ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **10.3** | 15時間未満 | **21.5** | 22～34時間 | **15.0** | 43～45時間 | **9.3** | 49～54時間 | **3.7** 60～64時間 |
| **8.4** | 15～21時間 | **23.4** | 35～42時間 | **3.7** | 46～48時間 | **0.9** | 55～59時間 | **0.9** 65時間以上 |

問７．(1) 給与の支払われている残業時間は**週に**どのくらいですか。

ST＝107

| | | | | | | | | **1.9** ＮＡ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **36.4** | ０時間 | **6.5** | ４～５時間 | **1.9** | 11～15時間 | **－** | 21時間以上 | |
| **24.3** | １～３時間 | **3.7** | ６～10時間 | **0.9** | 16～20時間 | **24.3** | 残業というものはない | |

(2) 給与の支払われていない、いわゆるサービス残業は**週に**どのくらいですか。

ST＝107

| | | | | | | | | **2.8** ＮＡ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **44.9** | ０時間 | **6.5** | ４～５時間 | **2.8** | 11～15時間 | **－** | 21時間以上 | |
| **17.8** | １～３時間 | **2.8** | ６～10時間 | **－** | 16～20時間 | **22.4** | 残業というものはない | |

問８．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に実際に勤務したのは何日ですか。

ST＝107

| | | | | | | | | | **2.8** ＮＡ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **12.1** | 50日未満 | **9.3** | 100～149日 | **2.8** | 175～199日 | **20.6** | 225～249日 | **5.6** | 275～299日 |
| **7.5** | 50～99日 | **7.5** | 150～174日 | **15.0** | 200～224日 | **13.1** | 250～274日 | **3.7** | 300日以上 |

問９．現在勤めている会社等の創立時期はいつですか。
（注　公務員の方は創立時期にかかわりなく、「官公庁」に○をして下さい）
ST＝107

**5.6** 戦　前　　**9.3** 昭和30年代　　**12.1** 昭和50年代　　**26.2** 平成元年以降
**4.7** 昭和20年代　　**7.5** 昭和40年代　　**9.3** 昭和60～63年　　**4.7** 官公庁　**20.6** ＮＡ

付問．それは何年ですか。

平成 [　　] 年

---

問10（1）　有給休暇は１年間に何日ありますか。（前年度繰り越し分は除きます）ST＝107

[ **13.7** ] 日　　**46.7** 有給休暇はない ⟶ （問 11 へ）

（2）　それでは、**平成19年度（平成19年４月～平成20年３月）**に、あなたは合計で何日間有給休暇を取りましたか。ST＝57

[ **9.0** ] 日

---

問11．あなたの勤めている会社等には「育児休業制度」がありますか。
ST＝107

| **38.3** | **13.1** | **3.7** | **23.4** | **20.6** | **0.9** |
|---|---|---|---|---|---|
| 会社等に制度があり、自分にも資格がある | 会社等に制度はあるが、自分には資格がない | 会社等に制度はあるが、自分には資格があるかどうかわからない | 会社等に制度がない | 会社等に制度があるかどうかわからない | ＮＡ |
| ↓ | ↓ | ↓ | → （問 12 へ） | | |

付問１．あなたは、今勤めている会社等で、育児休業を取ったことがありますか。
ST＝59

**37.3** ある　　**62.7** ない

付問２．あなたの勤めている会社等の中の周りの人で、育児休業を取った人、現在取っている人がいますか。
ST＝59

**74.6** いる　　**25.4** いない

---

問12．あなたの勤めている会社等には「介護休業制度」がありますか。
ST＝107

| **15.9** | **7.5** | **2.8** | **22.4** | **50.5** | **0.9** |
|---|---|---|---|---|---|
| 会社等に制度があり、自分にも資格がある | 会社等に制度はあるが、自分には資格がない | 会社等に制度はあるが、自分には資格があるかどうかわからない | 会社等に制度がない | 会社等に制度があるかどうかわからない | ＮＡ |
| ↓ | ↓ | ↓ | → （次ページ問 13 へ） | | |

付問１．あなたは、今勤めている会社等で、介護休業を取ったことがありますか。
ST＝28

**3.6** ある　　**96.4** ない



付問２．あなたの勤めている会社等の中の周りの人で、介護休業を取った人、現在取っている人がいますか。
ST＝28

**25.0** いる　　**67.9** いない　　**7.1** ＮＡ

---

問13．あなたは雇用保険に加入していますか。ST＝107

**58.9** 会社の雇用保険に加入している　　**－** 船員保険に加入している　　**40.2** どれにも加入していない　　**0.9** ＮＡ

---

問14．（1）あなたは、現在の会社等に、いつから勤めていますか。

平成 [　　] **年** [　　] 月から現在まで

（2）なぜ、あなたは現在の会社等を選びましたか。（○はいくつでも）
ST＝107

**15.9** 給与がよい
**13.1** 休日、休暇が多い
**17.8** 拘束時間が少ない、労働時間が自由になる
**37.4** 家に近い、通勤距離が短い
**4.7** 転勤がない、少ない
**11.2** 安定している、失業のおそれがない
**4.7** 将来発展する可能性がある
**28.0** 結婚・出産後も続けやすい
**5.6** 技術が身につく
**14.0** 能力が生かせる
**27.1** 仕事内容に興味がある
**12.1** その他（具体的に　　）

---

問15．あなたは、現在の職種を、いつから続けていますか。

平成 [　　] 年 [　　] 月から現在まで

---

問16．あなたは、今の仕事に必要な知識や技能をどこで身につけましたか。（○はいくつでも）
ST＝109

**29.4** 社内の研修で
**26.6** 社内の同僚から
**－** 会社から学校に派遣されて
**－** 会社から他社に派遣されて
**2.8** 就職する前に公共の職業訓練校で
**15.6** 就職する前に専門学校などで
**1.8** 高校で
**16.5** 高専・短大・大学で
**－** 大学院で
**14.7** 前職の勤務により
**14.7** 独学で
**4.6** その他（具体的に　　）
**19.3** 特に身につけたことはない　　**0.9** ＮＡ

問17. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）に**、業務に係わる知識や技能を学ぶために、会社等から派遣されて研修会や講習会などに出席したことがありますか。

ST＝109

**27.5** ある → 

**71.6** ない → （問18へ）

**0.9** NA

付問１．どのような研修会・講習会の内容でしたか。（○はいくつでも）

ST＝30

**56.7** あなたの勤めている会社等が主催した研修会・講習会
**16.7** 地元の団体（商工会議所等）や同業組合などが主催した研修会・講習会
**16.7** 関連企業（機械を購入した企業などを含む）が主催した研修会・講習会
**33.3** 市や県など行政が主催した研修会・講習会
**6.7** 大学、専門学校など
**－** 留学
**13.3** その他（具体的に　　）

付問２．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、すべて合わせて何日ぐらい研修会や講習会に参加しましたか。

ST＝30

| **23.3** | **46.7** | **16.7** | **10.0** | **－** | **3.3** |
|---|---|---|---|---|---|
| １日以内 | ２日～５日 | ６日～10日 | 11日～20日 | 21日～30日 | １カ月以上 |

付問３．研修会や講習会は就業時間内に行われましたか。

ST＝30

| **60.0** | **33.3** | **6.7** |
|---|---|---|
| 就業時間内で行われた | 就業時間外で行われた | 就業時間内・就業時間外両方で行われた |

問18. あなたがしている仕事を、全くの新人がやれるようになるにはどれくらいの期間がかかりますか。

ST＝109

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **9.2** | 今日からできる | **15.6** | ３カ月 | **5.5** | ４～５年 |
| **11.0** | 数日で | **15.6** | 半年 | **－** | ６～９年 |
| **7.3** | １～２週間で | **11.0** | １年 | **－** | 10年以上 |
| **15.6** | １カ月 | **8.3** | ２～３年 | | |

**0.9** NA

問19. 現在の職業ははじめてついた仕事ですか。

（仕事には、常勤の職員・従業員、パート・アルバイト、嘱託、自営、家族従業などすべて含みます。ただし、**学生アルバイトは除きます**。）

ST＝109

**26.6** はじめて → 20ページ問10へお進み下さい

**73.4** はじめてではない → 次ページ[B]へお進み下さい





[B] 前職についておうかがいします。

前職とは……現在勤め人の方は「現在の会社の１つ前の会社または職業」／現在自営の方は「現在の職業の１つ前の職業または会社」／現在無職の方は「一番最後についていた職業または会社」　です。

問１．あなたの前職は何ですか。お仕事の内容を**具体的**にご記入の上、○をつけて下さい。お手数ですが、自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書き下さい。（○は１つだけ）

**具体的**に（　　）

ST＝187

自営者・家族従業者・自由業

**－** 農林漁業（自営者）
**－** 農林漁業（家族従業者）
**1.1** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者）
**1.6** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者）
**0.5** 自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など）

勤め

**－** 管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など）
**－** 専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など）
**12.8** 技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など）
**4.3** 教員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など）
**24.6** 事務職（一般事務、営業社員、銀行員など）
**8.0** 技能・作業職（工員、警察官、電話交換手、データ入力作業者、運転士、配達員、職人な）
**44.4** 販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、調理人、ウエイトレス、ホームヘルパーな）
**1.1** 自宅で賃仕事（内職）

〔13に○のついた方は17ページ問５へ〕

問２．前職の勤め先の従業員は**会社全体**で何人くらいでしたか。
（注　従業員数には臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい）

ST＝185

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **13.5** | １～４人 | **15.1** | 10～29人 | **16.8** | 100～499人 | **9.2** | 1000人以上 |
| **11.4** | ５～９人 | **17.8** | 30～99人 | **7.6** | 500～999人 | **2.2** | 官公庁 |

**6.5** NA

問３．前職の勤め先の業種は次のどれに該当しますか。（派遣社員の方は、派遣元の業種についてお答え下さい）

ST＝185

**－** 農林業
**－** 漁業・水産業
**－** 鉱業
**1.1** 建設業
**9.2** 製造業（出版、印刷を含む）
**30.8** 卸売・小売業（デパート、スーパー、食堂、喫茶店を含む）
**3.2** 金融・保険・不動産業
**2.7** 運輸・通信業
**－** 電気・ガス・水道・熱供給業
**48.6** サービス業（学校、病院、ホテル、映画館、理・美容店、広告代理店、清掃会社を含む）
**2.2** 公務
**－** その他（具体的に　　）

**2.2** NA

問４．前職の職務は次のどれでしたか。
ST＝185

**0.5** NA

| | | |
|---|---|---|
| **44.3** | **39.5** | **15.7** |
| 常勤の職員・従業者 | パート・アルバイト | 派遣社員・嘱託・その他 |

問５．あなたが前職に従事したのは、いつからいつまででしたか。

平成 □□ 年 □□ 月から　平成 □□ 年 □□ 月まで

問６．なぜ、あなたはその前職を選びましたか。（○はいくつでも）
ST＝187

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **23.0** | 給与がよい | **3.7** | 将来発展する可能性がある | |
| **11.2** | 休日、休暇が多い | **4.8** | 結婚・出産後も続けやすい | |
| **7.5** | 拘束時間が少ない、労働時間が自由になる | **16.6** | 技術が身につく | |
| **29.4** | 家に近い、通勤距離が短い | **11.2** | 能力が生かせる | |
| **7.0** | 転勤がない、少ない | **37.4** | 仕事内容に興味がある | |
| **8.0** | 安定している、失業のおそれがない | **11.2** | その他（具体的に　　） | **3.2** NA |

問７．どのような理由で、あなたはその前職をやめたのですか。（○はいくつでも）
ST＝187

| | |
|---|---|
| **0.5** | 人員整理・会社解散・倒産のため |
| **2.1** | 一時的・不安定な仕事だったから |
| **10.7** | 労働条件（収入、時間）が悪かったため |
| **11.8** | 仕事の内容に不満があったため |
| **3.7** | 家族の就職・転職・転勤及び事業所の移転のため |
| **32.6** | 結婚のため |
| **47.6** | 妊娠・出産・育児のため |
| **1.6** | 自分が病気になったから |
| **1.6** | 家族の介護のため |
| **4.8** | 良い条件の仕事が見つかったから・独立したから |
| **4.8** | 人間関係が気まずくなったから |
| **1.1** | 解雇された |
| **－** | 大学や専門学校などでの勉強や留学準備のため |
| **5.3** | 定年又は雇用契約の満了 |
| **－** | その他（具体的に　　） **2.7** NA |

問８．やめた時、雇用保険の失業給付を受給しましたか。
ST＝187

**23.5** 受給した →ST＝44 □**3.4**□ カ月

**40.6** 受給しなかった

**31.0** 雇用保険には入っていなかった **4.8** NA





C　はじめての職業（初職）についておうかがいします。

問１．はじめてついた職業は、つぎのうちどれに該当しますか。
ST＝187

**35.3** B(16～17ﾍﾟｰｼﾞ)で答えた「前職」である
↓
(20ﾍﾟｰｼﾞの問10へお進み下さい)

**61.5** A(11～15ﾍﾟｰｼﾞ)の「現在の職業」でも B(16～17ﾍﾟｰｼﾞ)の「前職」でもない
↓
以下の質問にお答え下さい

**3.2** NA

問２．あなたがはじめてついた職業は何ですか。お仕事の内容を**具体的**にご記入の上、○をつけて下さい。お手数ですが、自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書き下さい。
（○は１つだけ）

**具体的**に（　　）
ST＝115

| | | |
|---|---|---|
| 自営者・家族従業者・自由業 | **－** | 農林漁業（自営者） |
| | **－** | 農林漁業（家族従業者） |
| | **－** | 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者） |
| | **0.9** | 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者） |
| | **0.9** | 自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など） |
| 勤め | **－** | 管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など） |
| | **－** | 専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など） |
| | **5.2** | 技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など） |
| | **3.5** | 教員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など） |
| | **19.1** | 事務職（一般事務、営業社員、銀行員など） |
| | **7.0** | 技能・作業職（工員、警察官、電話交換手、データ入力作業者、運転士、配達員、職人など） |
| | **55.7** | 販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、調理人、ウエイトレス、ホームヘルパーなど） |
| | **－** | 自宅で賃仕事（内職） |

**1.7** NA　〔13に○のついた方は19ページ問６へ〕

問３．その勤め先の従業員は**会社全体**で何人くらいでしたか。
（注　従業員数には臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい）
ST＝113

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **8.0** | １～４人 | **18.6** | 10～29人 | **18.6** | 100～499人 | **11.5** | 1000人以上 |
| **11.5** | ５～９人 | **14.2** | 30～99人 | **5.3** | 500～999人 | **0.9** | 官公庁 **11.5** NA |

問４．その勤め先の業種は次のどれに該当しますか。（派遣社員の方は、派遣元の業種についてお答え下さい）ST＝113

| | |
|---|---|
| **0.9** | 農林業 |
| **－** | 漁業・水産業 |
| **－** | 鉱業 |
| **2.7** | 建設業 |
| **8.0** | 製造業（出版、印刷を含む） |
| **35.4** | 卸売・小売業（デパート、スーパー、食堂、喫茶店を含む） |
| **4.4** | 金融・保険・不動産業 |
| **1.8** | 運輸・通信業 |
| **－** | 電気・ガス・水道・熱供給業 |
| **38.9** | サービス業（学校、病院、ホテル、映画館、理・美容店、広告代理店、清掃会社を含む） |
| **0.9** | 公務 |
| **－** | その他（具体的に　　） **7.1** NA |

問５．あなたの職務は次のどれでしたか。

ST＝113

| | | | |
|---|---|---|---|
| **54.0** | 常勤の職員・従業者 | **38.1** | パート・アルバイト |
| **7.1** | 派遣社員、嘱託・その他 | **0.9** | NA |

問６．はじめてついた職業に従事したのは、いつからいつまででしたか。

平成 [　　] 年 [　　] 月から　平成 [　　] 年 [　　] 月まで

問７．どのような理由で、あなたははじめての職業を選びましたか。（○はいくつでも）

ST＝115

| | | | |
|---|---|---|---|
| **19.1** | 給与がよい | **6.1** | 将来発展する可能性がある |
| **4.3** | 休日、休暇が多い | **0.9** | 結婚、出産後も続けやすい |
| **7.8** | 拘束時間が少ない、労働時間が自由になる | **15.7** | 技術が身につく |
| **26.1** | 家に近い、通勤距離が短い | **11.3** | 能力がいかせる |
| **2.6** | 転勤がない、少ない | **38.3** | 仕事内容に興味がある |
| **9.6** | 安定している、失業のおそれがない | **8.7** | その他（具体的に　　） |

**8.7** NA

問８．どのような理由で、あなたははじめての職業をやめたのですか。（○はいくつでも）

ST＝115

**5.2** 人員整理・会社解散・倒産のため
**2.6** 一時的・不安定な仕事だったから
**20.0** 労働条件（収入、時間）が悪かったため
**21.7** 仕事の内容に不満があったため
**1.7** 家族の就職・転職・転勤及び事業所の移転のため
**12.2** 結婚のため
**8.7** 妊娠・出産、育児のため
**7.0** 自分が病気になったから
**0.9** 家族の介護のため
**12.2** 良い条件の仕事が見つかったから・独立したから
**12.2** 人間関係が気まずくなったから
**3.5** 解雇された
**－** 大学や専門学校などでの勉強や留学準備のため
**1.7** 定年又は雇用契約の満了
**7.0** その他（具体的に　　）　**8.7** NA

問９．あなたは、これまでに、いくつの勤務先に勤めたことがありますか。

（常勤従業員、パート、アルバイト、嘱託、自営、家族従業などをすべて含みます。**（学生アルバイトは除きます）**自営・家族従業も勤務先の１カ所と数えて下さい。現在の勤務先も含めて下さい。同じ企業内の転勤・出向や教員の配置がえは転職に含みません。派遣先が変わっても派遣元が同じなら、数に入れないでください。）

**2.6** カ所



〔全員の方に〕

問10．あなたが、仕事についていたかどうかを、あなたが満18歳の時から昨年までの１年ごとにお答えください。

１年間に複数の形態があった場合は、もっとも長いものでお答え下さい。

回答する際のメモとしてご利用ください

| 平成・西暦 | メモ | | 仕事についていた：自由業 自営業・家族従業・ | 勤め：常勤の職員・従業者 | 勤め：パート・アルバイト | 勤め：その他 嘱託・派遣社員・ | 自宅で仕事（内職） | 学生 | 無職 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （　　）年 | | 18 歳→ | **0.5** | **13.8** | **16.1** | **1.4** | **0.5** | **66.1** | **1.8** | |
| （　　）年 | | 19 歳→ | **0.9** | **16.5** | **17.4** | **2.8** | **0.9** | **54.6** | **6.9** | |
| （　　）年 | | 20 歳→ | **0.9** | **25.7** | **20.6** | **1.8** | **0.9** | **43.6** | **6.4** | |
| （　　）年 | | 21 歳→ | **0.9** | **39.4** | **21.1** | **1.8** | **0.5** | **24.3** | **11.0** | **0.9** NA |
| （　　）年 | | 22 歳→ | **1.4** | **42.7** | **18.3** | **4.1** | **0.5** | **10.6** | **22.5** | |
| （　　）年 | | 23 歳→ | **1.8** | **41.7** | **17.0** | **7.3** | **0.9** | **1.4** | **29.4** | **0.5** NA |
| （　　）年 | | 24 歳→ | **2.8** | **35.8** | **20.6** | **6.4** | **0.5** | **－** | **31.2** | **2.8** NA |
| （　　）年 | ST＝197 | 25 歳→ | **2.5** | **33.0** | **17.3** | **8.6** | **1.0** | **－** | **30.5** | **7.1** NA |
| （　　）年 | ST＝159 | 26 歳→ | **2.5** | **28.9** | **21.4** | **6.9** | **0.6** | **－** | **34.6** | **5.0** NA |
| （　　）年 | ST＝131 | 27 歳→ | **2.3** | **24.4** | **21.4** | **6.9** | **0.8** | **－** | **37.4** | **6.9** NA |
| （　　）年 | ST＝64 | 28 歳→ | **1.6** | **26.6** | **15.6** | **4.7** | **1.6** | **－** | **40.6** | **9.4** NA |

この部分は便宜上ですので、回答が終わったら消していただいても結構です。

| 6 | あなたのご主人の職業についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたのご主人は、これまで、通算して何年何カ月間仕事についていますか。その合計年数をお答え下さい。

（仕事には、常勤従業員、パート、アルバイト、嘱託、自営、家族従業などすべて含みます。ただし、**学生アルバイトは除きます**。）

［　　］年　［105.7］カ月　－ 仕事についたことはない→（問３へ）

問２．あなたのご主人は、学校卒業後、いくつの勤務先に勤めたことがありますか。

（常勤従業員、パート、アルバイト、嘱託、自営、家族従業などをすべて含みます。（**学生アルバイトは除きます**）自営・家族従業も勤務先の１カ所と数えて下さい。現在の勤務先も含めて下さい。同じ企業内の転勤・出向や教員の配置がえは転職に含みません。派遣先が変わっても派遣元が同じなら、数に入れないでください。）

［2.5 / 2.5］カ所

問３．あなたのご主人は**現在（平成20年９月）**、仕事についていますか。

- **98.6** 仕事についている → 問４へ
- **－** 休職中（仕事から離れているが元の仕事に戻ることになっている状態）
  - 付問１．休職の理由をお聞かせ下さい。
    - － 育児休業中
    - － 病気休業中
    - － 介護休業中
    - － その他〔具体的に〕（　　）
  - → 問４へ
- **－** 学　生 → （24ページへ）
- **1.4** その他の無職
  - 付問２．前の職業をおやめになってから、職業についていない期間はどれくらい続いていますか。（職業の経験のない方は、学校を卒業してからの期間をお答え下さい）ST＝3
    - ［　　］年　［7.7］カ月
    - （ここまでお答えになった方は 24 ページへお進み下さい）

問４．ご主人の現在の職業は何ですか。お仕事の内容を**具体的**にご記入の上、○をつけて下さい。お手数ですが、自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書き下さい。（○は１つだけ）

（**具体的に**　　）

ST=215

自営者・家族従業者・自由業
- **0.5** 農林漁業（自営者）
- **1.4** 農林漁業（家族従業者）
- **3.7** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者）
- **2.8** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者）
- **0.9** 自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など）

勤め
- **0.9** 管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など）
- **0.9** 専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など）
- **14.9** 技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など）
- **0.9** 教員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など）
- **18.1** 事務職（一般事務、営業社員、銀行員など）
- **36.3** 技能・作業職（工員、警察官、運転士、配達員、職人など）
- **17.7** 販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、調理人、ウエイター、ホームヘルパーなど）
- **－** 自宅で賃仕事（内職）

〔13に○のついた方は23ページの問16へ〕

**0.5** NA

（次ページ問５へ）



**〔問５～問16までは、問４で答えた主たる職業についてお答え下さい。〕**

問５．その勤め先の従業員は**会社全体**で何人くらいですか。

（注　従業員数には臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい）

ST=214

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **14.5** | １～４人 | **13.1** | 10～29人 | **16.8** | 100～499人 | **19.6** | 1000人以上 |
| **7.0** | ５～９人 | **15.9** | 30～99人 | **4.7** | 500～999人 | **5.1** | 官公庁 |

**3.3** NA

問６．その勤め先の業種は次のどれに該当しますか。（派遣社員の方は、派遣元の業種についてお答え下さい）

ST=214

- **2.3** 農林業
- **0.5** 漁業・水産業
- **－** 鉱業
- **16.8** 建設業
- **21.5** 製造業（出版、印刷を含む）
- **16.4** 卸売・小売業（デパート、スーパー、食堂、喫茶店を含む）
- **1.4** 金融・保険・不動産業
- **7.0** 運輸・通信業
- **3.7** 電気・ガス・水道・熱供給業
- **24.3** サービス業（学校、病院、ホテル、映画館、理・美容店、広告代理店、清掃会社を含む）
- **5.1** 公務
- **－** その他（具体的に　　）

**0.9** NA

問７．(1) ご主人の職務は次のどれですか。

ST=214

| | | |
|---|---|---|
| **97.2** | **0.5** | **2.3** |
| 常勤の職員・従業者 | パート・アルバイト | 嘱託・その他 |

(2) ご主人は労働者派遣事務所の派遣社員ですか。ST=214

| | | |
|---|---|---|
| **2.8** 派遣社員 | **94.4** 派遣社員ではない | **2.8** NA |

問８．ご主人の仕事の給与は、時給計算ですか、日給計算ですか。

ST=214

**1.4** NA

- **82.2** 月　給
- **0.5** 週　給
- **11.2** 日　給
- **1.4** 時　給
- **3.3** その他（　　）→（問９へ）

(1) ご主人は月にいくらぐらいこの仕事から収入を得ていますか。（残業手当を含む、ボーナスを含まない税引き前の収入）

月当たりST=177

［2 7］万［6］千円

(2) 日給はいくらですか。

１日当たり

ST=24

［1］万［1 7 1 8］円

(3) 時給はいくらですか。

１時間当たり

ST=3

［　］万［1 0 4 3］円

問９．実際に勤務する労働時間は通常**週に**どのくらいですか。

ST=214

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **1.4** | 15時間未満 | **1.4** | 22～34時間 | **7.9** | 43～45時間 | **20.1** | 49～54時間 | **13.1** | 60～64時間 |
| **0.5** | 15～21時間 | **9.8** | 35～42時間 | **13.1** | 46～48時間 | **13.6** | 55～59時間 | **17.8** | 65時間以上 |

**1.4** NA

問10. (1)　給与の支払われている残業時間は**週に**どのくらいですか。
ST=214　　**5.1** NA

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **22.9** | 0時間 | **12.6** | 4～5時間 | **6.5** | 11～15時間 | **4.2** | 21時間以上 |
| **13.1** | 1～3時間 | **15.0** | 6～10時間 | **3.3** | 16～20時間 | **17.3** | 残業というものはない |

(2)　給与の支払われていない、いわゆるサービス残業は**週に**どのくらいですか。
ST=214　　**4.7** NA

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **35.0** | 0時間 | **9.8** | 4～5時間 | **6.1** | 11～15時間 | **2.3** | 21時間以上 |
| **9.3** | 1～3時間 | **8.4** | 6～10時間 | **3.7** | 16～20時間 | **20.6** | 残業というものはない |

問11. **この1年間（平成19年10月～平成20年9月）**に実際に勤務したのは何日ですか。
ST=214　　**4.2** NA

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **－** | 50日未満 | **0.9** | 100～149日 | **1.4** | 175～199日 | **15.9** | 225～249日 | **20.6** | 275～299日 |
| **0.5** | 50～99日 | **0.5** | 150～174日 | **4.7** | 200～224日 | **33.2** | 250～274日 | **18.2** | 300日以上 |

問12. 勤めている会社等の創立時期はいつですか。
（注　公務員の方は創立時期にかかわりなく、「官公庁」に○をして下さい）
ST=214　　**19.6** NA

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **7.5** | 戦　前 | **11.7** | 昭和30年代 | **13.6** | 昭和50年代 | **12.6** | 平成元年以降 |
| **8.9** | 昭和20年代 | **10.7** | 昭和40年代 | **10.3** | 昭和60～63年 | **5.1** | 官公庁 |

付問. それは何年ですか。

平成 [　　] 年

問13. (1)　ご主人の有給休暇は1年間に何日ありますか。（前年度繰り越し分は除きます）
ST=214

[ **17.4** ] 日　　**33.6** 有給休暇はない→（問14へ）

(2)　それでは、**平成19年度（平成19年4月～平成20年3月）**に、ご主人は合計で何日間有給休暇を取りましたか。ST=142

[ **7.3** ] 日

問14. ご主人は雇用保険に加入していますか。
ST=214

| | | | |
|---|---|---|---|
| **82.2** | **－** | **15.9** | |
| 会社の雇用保険に加入している | 船員保険に加入している | どれにも加入していない | **1.9** NA |

問15. ご主人がしている仕事を、全くの新人がやれるようになるにはどれくらいの期間がかかりますか。
ST=214

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **2.3** | 今日からできる | **13.1** | 3カ月 | **10.3** | 4～5年 |
| **0.5** | 数日で | **10.7** | 半年 | **5.1** | 6～9年 |
| **4.2** | 1～2週間で | **21.5** | 1年 | **4.2** | 10年以上 |
| **5.1** | 1カ月 | **18.2** | 2～3年 | **4.7** | NA |

問16. ご主人は、現在の仕事(勤め人の方は会社、それ以外の方は職種)を、いつから続けていますか。

**1** 昭和
**2** 平成
[　　] 年 [　　] 月から現在まで





**7**　あなたのご両親についてうかがいます。

問1．あなたの父親の最終学歴は次のうちどれですか。（中退は卒業に含めないで下さい）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **14.7** | 中学校（旧制小学校・高等小学校） | **0.9** | 短大 | **0.9** | 大学院 |
| **46.3** | 高等学校（旧制中学） | **2.8** | 高専 | **－** | その他 |
| **7.3** | 専門学校・専修学校 | **22.9** | 4年制大学（　　） | **4.1** | NA |

問2．あなたの父親はご健在ですか。

**90.4** 健　在 → 付問1．何歳ですか。ST=197 → [ **56.7** ] 歳

**7.8** 既に死亡している → 付問2．いつお亡くなりになりましたか。
**1** 昭和
**2** 平成
[　　] 年

**1.8** NA

付問3．あなたの父親は現在職業をお持ちですか。
ST=197

| | | | |
|---|---|---|---|
| **84.8** | 職業を持っている | **11.2** | 職業を持っていない |
| **3.0** | わからない | **1.0** | NA |

職業を持っている → 付問4．(1)　あなたの父親のご職業は何ですか。具体的にご記入の上、○をつけて下さい。（○は1つだけ）

職業を持っていない → 付問4．(2)　あなたの父親の現役の頃のご職業は何でしたか。具体的にご記入の上、○をつけて下さい。（○は1つだけ）

お手数ですが、自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書き下さい。

**具体的に**

自営者・家族従業者・自由業
- **1.8** 農林漁業（自営者）
- **－** 農林漁業（家族従業者）
- **17.4** 小規模〔9人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者）
- **2.3** 小規模〔9人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者）
- **1.8** 自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など）

勤め
- **12.8** 管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など）
- **1.4** 専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など）
- **6.4** 技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など）
- **0.9** 教　員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など）
- **11.0** 事務職（一般事務、営業社員、銀行員など）
- **27.1** 技能・作業職（工員、警察官、運転士、配達員、職人など）
- **9.2** 販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、調理人、ウエイター、ホームヘルパーなど）

- **0.5** 自宅で賃仕事（内職）
- **0.5** 無　職

**5.0** NA

〔13、14に○のついた方は25ページの問3へ〕

付問5．その勤め先の従業員は**会社全体**で何人くらいですか。（でしたか）
（注　従業員数には臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい）
ST=205　　**10.2** NA

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **17.6** | 1～4人 | **15.1** | 10～29人 | **9.8** | 100～499人 | **7.8** | 1000人以上 |
| **7.8** | 5～9人 | **19.5** | 30～99人 | **4.9** | 500～999人 | **7.3** | 官公庁 |

付問6．父親の職務は次のどれですか。（でしたか）
ST=205　　**4.9** NA

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **85.4** | 常勤の職員・従業者 | **2.4** | パート・アルバイト | **7.3** | 派遣社員・嘱託・その他 |

問３．あなたの母親の最終学歴は次のうちどれですか。（中退は卒業に含めないで下さい）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **14.2** | 中学校（旧制小学校・高等小学校） | **14.7** | 短大 | **－** | 大学院 |
| **49.1** | 高等学校（旧制中学） | **2.3** | 高専 | **－** | その他 |
| **12.4** | 専門学校・専修学校 | **4.1** | ４年制大学 | （　　） | **3.2** NA |

問４．あなたの母親はご健在ですか。

**96.8** 健　在 → 付問１．何歳ですか。

ST=211　[ **53.8** ] 歳

**2.8** 既に死亡している → 付問２．いつお亡くなりになりましたか。

**1** 昭和
**2** 平成　[　　] 年

**0.5** NA

問５．あなたが生まれてから20歳になるまでの間に、あなたの母親は外に働きに出たことがありますか。あればその期間をお知らせ下さい。（自営・家族従業の仕事は除いてお答え下さい）

| **19.7** | **11.5** | **17.4** | **11.9** | **38.1** | **1.4** |
|---|---|---|---|---|---|
| 外に働きに出たことはない | ５年未満 | ５年以上10年未満 | 10年以上15年未満 | 15年以上 | NA |

問６．あなたの親の**昨年１年間（平成19年１月～平成19年12月）**の収入額（税込み額）はおおよそいくらぐらいですか。

勤め先からの収入、事業収入、社会保障給付、財産収入などを合計し、あてはまる金額に○をして下さい。

| **18.8** | **22.5** | **21.1** | **12.4** | **3.7** | **2.3** | **1.8** | **－** | **17.4** |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 249万円以下 | 250～499万円 | 500～749万円 | 750～999万円 | 1000～1249万円 | 1250～1499万円 | 1500万円以上 | （自分の両親は死亡） | NA |

問７．あなた方ご夫婦は、**あなたの親から**これまでに金融資産や実物資産をもらったことがありますか。もらった場合はその価値をご記入下さい。

| | 金融資産 | 実物資産 |
|---|---|---|
| 生前贈与として | **95.0** もらったことはない<br>**3.3** もらったことがある → その現在の価値 [ **1 0 9** ] 万円 | **93.6** もらったことはない<br>**3.4** もらったことがある → その現在の価値 [ **1 7 0** ] 万円 |
| 遺　産として | **93.1** もらったことはない<br>**1.0** もらったことがある → その現在の価値 [ **3 0 0** ] 万円 | **91.3** もらったことはない<br>**－** もらったことがある → その現在の価値 [　**－**　] 万円 |



問８．あなた方ご夫婦は、**あなたの親から**将来相続を受けることになると思いますか。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **32.1** | 思　う | **64.7** | 思わない | **－** | 自分の両親は死亡 | **3.2** NA |

問９．あなた方ご夫婦は、今後、**あなたの親**に経済的援助をするつもりですか。（○は１つだけ）

**3.7** 現在している
**39.9** 今後、する予定
**53.2** 現在していないし、する予定はない
**－** 自分の両親は死亡　**3.2** NA

問10．あなた方ご夫婦は、今後、**あなたの親**のお世話（家事、介護、訪問）をするつもりですか。（○は１つだけ）

**2.3** 現在している
**62.4** 今後、する予定
**32.6** 現在していないし、する予定はない
**－** 自分の両親は死亡　**2.8** NA

| 8 | ご主人のご両親についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．ご主人の父親の最終学歴は次のうちどれですか。（中退は卒業に含めないで下さい）

**16.5** 中学校（旧制小学校・高等小学校）　**0.9** 短大　**－** 大学院
**42.7** 高等学校（旧制中学）　**2.3** 高専　**－** その他
**7.3** 専門学校・専修学校　**20.6** ４年制大学　（　　）**9.6** NA

問２．ご主人の父親はご健在ですか。

**91.3** 健　在　→ ST=199
付問１．何歳ですか。　**58.8** 歳
→ 付問３．ご主人の父親は現在職業をお持ちですか。

**5.0** 既に死亡している　→ 付問２．いつお亡くなりになりましたか。
**1** 昭和　**2** 平成　　年

**3.7** NA

付問３．ご主人の父親は現在職業をお持ちですか。　ST=199

**81.4** 職業を持っている　→ 付問４．(1) ご主人の父親のご職業は何ですか。具体的にご記入の上、○をつけて下さい。（○は１つだけ）

**12.1** 職業を持っていない　**6.0** わからない　→ 付問４．(2) ご主人の父親の現役の頃のご職業は何でしたか。具体的にご記入の上、○をつけて下さい。（○は１つだけ）

**0.5** NA

お手数ですが、自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書き下さい。

**具体的に**（　　）

自営者・家族従業者・自由業
- **4.1** 農林漁業（自営者）
- **0.5** 農林漁業（家族従業者）
- **17.0** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者）
- **2.8** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者）
- **0.9** 自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など）

勤め
- **11.0** 管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など）
- **－** 専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など）
- **7.3** 技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など）
- **2.8** 教　員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など）
- **8.7** 事務職（一般事務、営業社員、銀行員など）
- **29.8** 技能・作業職（工員、警察官、運転士、配達員、職人など）
- **6.4** 販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、調理人、ウエイター、ホームヘルパーなど）
- **－** 自宅で賃仕事（内職）
- **－** 無　職

**6.9** NA

〔13、14に○のついた方は28ページの問３へ〕

付問５．その勤め先の従業員は**会社全体**で何人くらいですか。（でしたか）
（注　従業員数には臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい）
ST=203

**20.7** １～４人　**13.3** 10～29人　**11.3** 100～499人　**10.8** 1000人以上
**9.9** ５～９人　**12.8** 30～99人　**3.4** 500～999人　**7.4** 官公庁　**10.3** NA

付問６．父親の職務は次のどれですか。（でしたか）
ST=203

**81.3** 常勤の職員・従業者　**3.9** パート・アルバイト　**4.9** 派遣社員・嘱託・その他　**9.9** NA



問３．ご主人の母親の最終学歴は次のうちどれですか。（中退は卒業に含めないで下さい）

**9.6** 中学校（旧制小学校・高等小学校）　**6.9** 短大　**－** 大学院
**58.7** 高等学校（旧制中学）　**1.4** 高専　**0.5** その他
**5.5** 専門学校・専修学校　**7.8** ４年制大学　（　　）**9.6** NA

問４．ご主人の母親はご健在ですか。

**95.0** 健　在　→ ST=207
付問１．何歳ですか。　**56.3** 歳

**4.1** 既に死亡している　→ 付問２．いつお亡くなりになりましたか。
**1** 昭和　**2** 平成　　年

**0.9** NA

問５．あなたの**ご主人の親**の**昨年１年間（平成19年１月～平成19年12月）**の収入額（税込み額）はおおよそいくらぐらいですか。
勤め先からの収入、事業収入、社会保障給付、財産収入などを合計し、あてはまる金額に○をして下さい。

| **15.6** | **25.2** | **17.9** | **7.8** | **7.3** | **2.3** | **1.4** | **－** | **22.5** NA |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 249万円以下 | 250～499万円 | 500～749万円 | 750～999万円 | 1000～1249万円 | 1250～1499万円 | 1500万円以上 | （ご主人の両親は死亡） | |

問６．あなた方ご夫婦は、**ご主人の親から**これまでに金融資産や実物資産をもらったことがありますか。
もらった場合はその価値をご記入下さい。

| | 金融資産 | 実物資産 |
|---|---|---|
| 生前贈与として | **93.1** もらったことはない<br>**5.3** もらったことがある<br>→ その現在の価値　**２７９**　万円 | **95.0** もらったことはない<br>**2.4** もらったことがある<br>→ その現在の価値　**７４７**　万円 |
| 遺　産として | **92.7** もらったことはない<br>**－** もらったことがある<br>→ その現在の価値　**－**　万円 | **90.4** もらったことはない<br>**－** もらったことがある<br>→ その現在の価値　**－**　万円 |

問７．あなた方ご夫婦は、**ご主人の親から**将来相続を受けることになると思いますか。

**45.9** 思　う　**51.8** 思わない　**－** ご主人の両親は死亡　**2.3** NA

問８．あなた方ご夫婦は、今後、**ご主人の親**に経済的援助をするつもりですか。（○は１つだけ）

**2.8** 現在している
**40.4** 今後、する予定
**53.2** 現在していないし、する予定はない
**－** 自分の両親は死亡　　**3.7** NA

---

問９．あなた方ご夫婦は、今後、**ご主人の親**のお世話（家事、介護、訪問）をするつもりですか。
（○は１つだけ）

**1.4** 現在している
**61.0** 今後、する予定
**34.4** 現在していないし、する予定はない
**－** 自分の両親は死亡　　**3.2** NA

**（次のページにお進みください）**

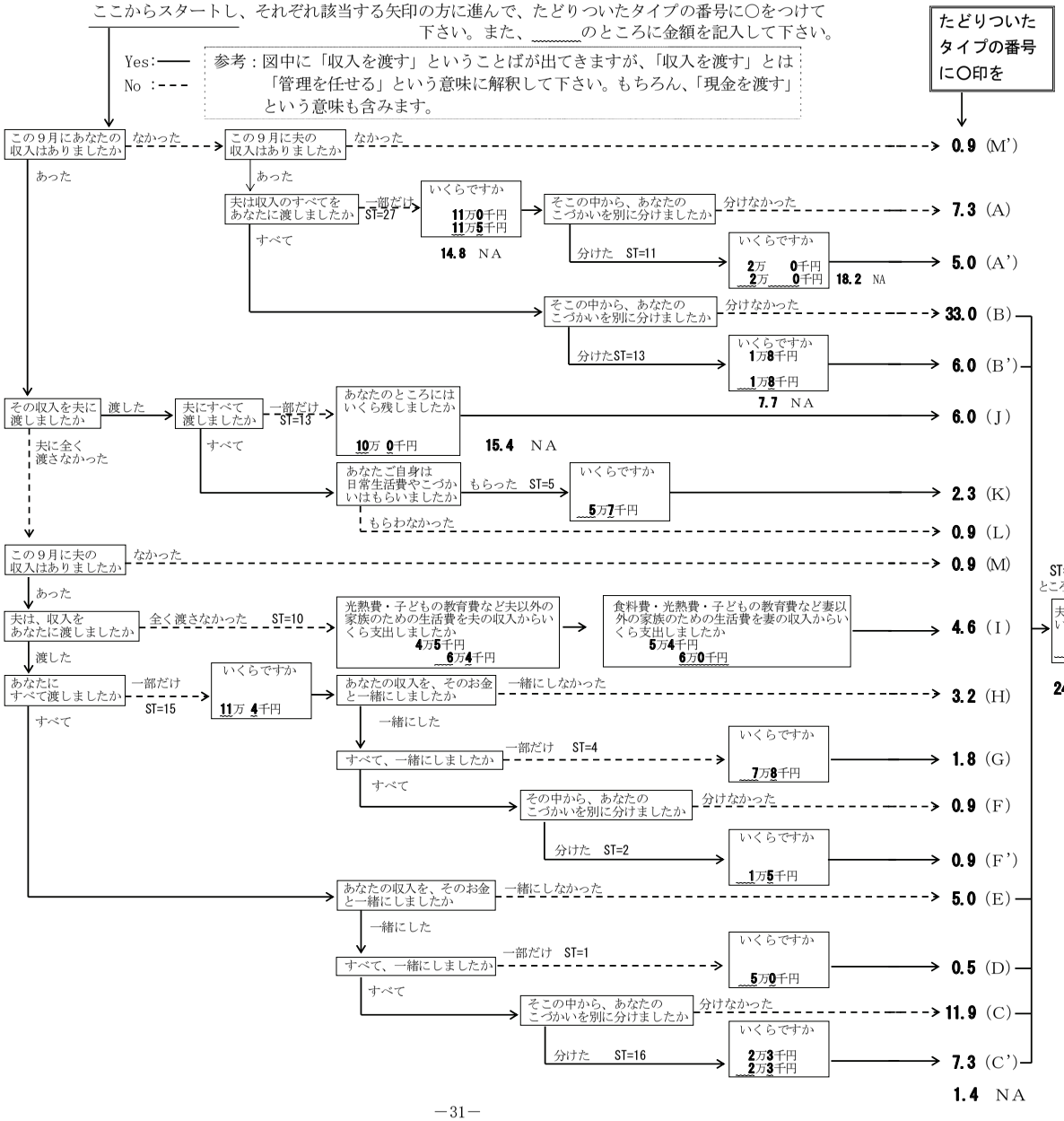
| 9 | 収入管理タイプについてうかがいます。 |
|---|---|

**（月々の収入管理タイプ）**

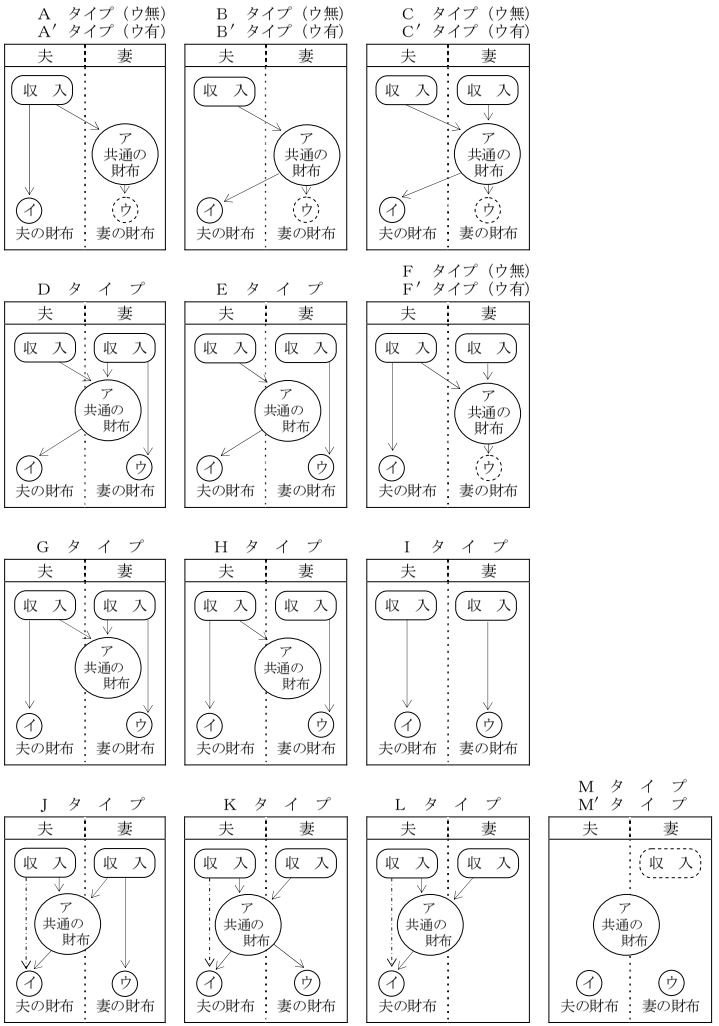
問１．お宅の月々の収入管理タイプについてうかがいます。
ここからスタートし、それぞれ該当する矢印の方に進んで、たどりついたタイプの番号に○をつけて下さい。また、＿＿＿のところに金額を記入して下さい。

Yes:——
No :- - -

参考：図中に「収入を渡す」ということばが出てきますが、「収入を渡す」とは「管理を任せる」という意味に解釈して下さい。もちろん、「現金を渡す」という意味も含みます。




ご参考までに、お宅の収入管理タイプを図にすると、次のようになります。



**（結婚当初の収入管理タイプ）**

問２．結婚当初の、お宅の月々の収入管理タイプについてうかがいます。
ここからスタートし、それぞれ該当する矢印の方向に進んで、たどりついたタイプの番号に○をつけて下さい。

Yes:——
No :- - -

参考：図中に「収入を渡す」ということばが出てきますが、「収入を渡す」とは「管理を任せる」という意味に解釈して下さい。もちろん、「現金を渡す」という意味も含みます。

2.3 NA



| 10 | 家計についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．お宅では、**この９月**にどのくらい支出、貯蓄（生命保険などの保険料の支払いを含む）、ローン返済をしましたか。**０円の場合は、０と記入して下さい。**

| 生活費その他の支出 | 貯　蓄 | ローン返済 |
|---|---|---|
| 19 万 5 千円 | 56 万 55 千円 | 26 万 92 千円 |

| | （貯蓄、ローン返済を除く）内　訳 | （生命保険料などを含む）内　訳 |
|---|---|---|
| 家族共通の支出 | 1313 万 11 千円 | |
| 家族共通の貯蓄 | | 35 万 44 千円 |
| 妻のための支出 | 11 万 38 千円 | |
| 妻のための貯蓄 | | 1 万 56 千円 |
| 夫のための支出 | 23 万 72 千円 | |
| 夫のための貯蓄 | | 1 万 69 千円 |
| 子どものための支出 | 12 万 43 千円 | |
| 子どものための貯蓄 | | 1 万 77 千円 |
| それ以外の方のための支出 | 13 万 10 千円 | |
| それ以外の方のための貯蓄 | | 1 万 27 千円 |

問２．次の各項目について、あなたのご家庭で**この９月１カ月間**に支出した額を記入して下さい。
（現金を支払ったものの他、クレジット・ローンで購入したもの、銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）から自動的に引き落とした分も含みます。）
**（支出がなかったものについては０と記入して下さい。）**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 食料（外食・給食代も含みます）……→ | 4<br>4 | 万 | 0<br>1 | 千円 |
| 家賃・地代・住宅の修繕（住宅ローンは含みません）……→ | 4<br>5 | 万 | 1<br>8 | 千円 |
| 電気・ガス・水道（上・下）……→ | 1<br>1 | 万 | 6<br>7 | 千円 |
| 家具・家事用品（寝具はこちらに含みます）……→ | 1 | 万 | 5<br>0 | 千円 |
| 衣類・はき物……→ | 1 | 万 | 9<br>4 | 千円 |
| 保健医療（栄養ドリンク・健康食品も含みます）……→ | 1 | 万 | 8<br>6 | 千円 |
| 交通（自動車購入費用・ガソリン代・定期代なども含みます）→ | 2<br>2 | 万 | 2<br>5 | 千円 |
| 通信（郵便・電話代・インターネットなど）……→ | 1<br>1 | 万 | 5<br>6 | 千円 |
| 教育（授業料・受験や補習用の塾・教科書・参考書など）……→ | 2 | 万 | 8<br>5 | 千円 |
| 教養・娯楽（受験・補習塾以外の習い事、教養・娯楽用の耐久財はこちらに含みます）→ | 1 | 万 | 4<br>2 | 千円 |
| 交際……→ | 1 | 万 | 9<br>7 | 千円 |
| 夫・妻・子どもへの小遣い、子どもへの仕送り……→ | 2<br>3 | 万 | 4<br>2 | 千円 |
| 親への仕送り、小遣い……→ | 2 | 万 | 1<br>2 | 千円 |
| その他の支出……→ | 1<br>3 | 万 | 9<br>8 | 千円 |
| 生活費合計……→ | 2　2 | 万 | 1 | 千円 |



問３．あなた方ご夫婦、及びご夫婦以外の方が世帯員にいらっしゃればその方が**昨年１年間（平成19年１月～平成19年12月）**に得た収入は、財産収入、社会保障給付、親からの仕送りなども含め、全体でいくらでしたか。次の①～⑤の区分でお答え下さい。**（該当する収入がない場合は「０該当なし」に○をして下さい）**

| | 夫の年収 | 妻の年収 | 夫婦の共通の年収 | 夫婦以外の世帯員の方全員の年収 |
|---|---|---|---|---|
| ① 勤め先の収入 | 3 5 9.0<br>3 7 3.2 万円 | 1 0 4.2<br>1 7 9.6 万円 | ＊ | 7 6.5<br>4 8 1.7 万円 |
| （勤め人の税込み年収） | 3.5 該当なし | 38.2 該当なし | | 68.4 該当なし |
| ② 事業収入 | 8.7<br>4 0 0.0 万円 | 0.0<br>6.0 万円 | ＊ | 1.0<br>1 2 0.0 万円 |
| （自営者の税込み年収） | 90.5 該当なし | 90.5 該当なし | | 80.6 該当なし |
| ③ 財産収入（昨年1年分） | 1.9<br>1 7 8.5 万円 | 0.0<br>2.0 万円 | 0.5<br>2 8.7 万円 | 1 9.0<br>2 4 0 0.0 万円 |
| （預貯金利子、株式配当、家賃、地代など） | 91.5 該当なし | 88.9 該当なし | 88.9 該当なし | 80.6 該当なし |
| ④ 社会保障給付（昨年１年分） | 7.0<br>1 4.7 万円 | 2.0<br>4 4.8 万円 | 1.0<br>1 8.4 万円 | 2.7<br>6 9.2 万円 |
| （児童手当、失業給付、年金など） | 48.2 該当なし | 86.9 該当なし | 85.4 該当なし | 78.1 該当なし |
| （社会保障給付は振り込み口座の名義人の収入として下さい） | | | | |
| ⑤ その他の収入（昨年1年分） | 3.6<br>6 7.0 万円 | 1.6<br>3 2.3 万円 | 1.8<br>5 3.7 万円 | 0.2<br>2 4.0 万円 |
| （親からの仕送り・こづかい、養育費など） | 87.4 該当なし | 86.4 該当なし | 87.4 該当なし | 80.6 該当なし |
| 合計 | 3 8 0.3<br>3 8 4.5 万円 | 1 0 7.9<br>1 7 9.1 万円 | 3.3<br>3 1.2 万円 | 9 9.4<br>5 4 4.5 万円 |
| | 1.0 該当なし | 36.2 該当なし | 80.9 該当なし | 66.5 該当なし |

〔この欄に記入された方に〕

付問．その方はどなたですか。（○はいくつでも）

ST=25

| | | | |
|---|---|---|---|
| 44.0 | 夫の父 | 4.0 | あなたの祖父母 |
| 36.0 | 夫の母 | 4.0 | 夫やあなたの兄弟姉妹 |
| 24.0 | あなたの父 | 12.0 | あなた方ご夫婦の子ども |
| 24.0 | あなたの母 | － | その他（具体的に　　） |
| 8.0 | 夫の祖父母 | | |

問４．あなたとあなたのご主人、及びご夫婦以外の方が世帯員にいらっしゃればその方がそれぞれお支払いになった税金（所得税、住民税など）と社会保険料（健康保険料、公的年金保険料、雇用保険料など）の合計は**昨年１年間（平成19年１月～平成19年12月）**でいくらでしたか。**（支払わなかった場合は「０支払いなし」に○をして下さい）**

| 夫の税金・社会保険料 | 妻の税金・社会保険料 | 夫婦以外の世帯員の方全員の税金・社会保険料 |
|---|---|---|
| **49.9** 万円 | **14.1** 万円 | **8.7** 万円 |
| **55.3** | **34.3** | **59.4** |
| **6.9** 支払いなし | **43.0** 支払いなし | **50.3** 支払いなし |

問５．(1) **現在、あなたご自身**は、どのような公的医療保障制度に加入していますか。
（１～６に○を１つ、１～４の場合は、さらに１か２に○を１つ）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **67.0** | 会社の健康保険 | ST=146 | **32.2** あなた自身が加入 | |
| | | | **63.0** ご家族の保険に加入 | **4.8** NA |
| **21.6** | 国民健康保険 | ST= 47 | **27.7** あなた自身が加入 | |
| | | | **68.1** ご家族の保険に加入 | **4.3** NA |
| **－** | 船員保険 | ST= 0 | **－** あなた自身が加入 | |
| | | | **－** ご家族の保険に加入 | **－** NA |
| **6.0** | 共済保険・共済制度 | ST= 13 | **30.8** あなた自身が加入 | |
| | | | **69.2** ご家族の保険に加入 | **－** NA |
| **0.5** | 医療扶助 | | | |
| **1.4** | どれにも加入していない | → (2)へ | | |
| **2.3** | 加入・不明 | | | **1.4** NA |

(2) あなたご自身は**現在**、公的年金制度（国民年金、厚生年金、共済年金）にどのような資格で加入していますか。（○は１つだけ）

**9.6** 第１号被保険者（第２号、第３号以外の方：自営業者や自営業者の妻など）
※国民年金の保険料納付を免除（一部免除を含む）されている方も含みます。
**33.0** 第２号被保険者（厚生年金や共済組合の加入者：会社員、団体職員、公務員など）
※育児休業制度取得により保険料納付を免除されている方も含みます。
**48.2** 第３号被保険者（主婦などで第３号被保険者の届けを市町村に出している方：会社員、団体職員、公務員などの夫に扶養されている妻）
**4.6** 加入していない（第３号被保険者でも年金保険料納付を免除されているのでもなく、保険料を支払っていない方）
**4.6** NA



問６．**この９月**の手取り収入（収入総額から税金、社会保険料を差し引いた額）はどのくらいですか。
（ボーナス、臨時の給与は除きます）

①ご主人……９月の**手取り収入** **26.8** 万円　**2.8** な　し

②あなた……９月の**手取り収入** **24.5** 万円　**54.1** な　し

問７．(1) 次のもののうち、**あなた自身の親**から一部でも出してもらっているものはありますか。
（○はいくつでも）

| **0.9** | **1.4** | **11.5** | **13.3** | **2.8** | **76.6** |
|---|---|---|---|---|---|
| 住宅ローン返済 | 家賃、地代 | 生活費 | 子どものための費用（教育費、服、その他の費用など） | その他（具体的に） | 出してもらっているものはない |

**0.5** NA → ((3)へ)

(2) **あなた自身の親**から出してもらっている金額は月に合計いくらぐらいですか。
ST=46

月に **2** 万 **8** 千円

(3) それでは、**ご主人の親**から一部でも出してもらっているものはありますか。
（○はいくつでも）

| **2.8** | **1.8** | **6.9** | **7.3** | **0.5** | **84.4** |
|---|---|---|---|---|---|
| 住宅ローン返済 | 家賃、地代 | 生活費 | 子どものための費用（教育費、服、その他の費用など） | その他（具体的に） | 出してもらっているものはない |

**0.5** NA → (次ページへ)

(4) **ご主人の親**から出してもらっている金額は月に合計いくらぐらいですか。
ST=33

月に **4** 万 **0** 千円

| 11 | 子育てについてうかがいます。 |
|---|---|

〔問１は未就学児のお子さんがいらっしゃる方にお聞きします。いらっしゃらない方は問２へ。〕

問１．あなたは、そのお子さんのために認可保育所、無認可保育所、幼稚園、ベビーシッター・家政婦、親戚・知人などによる育児サービスを利用していますか。

ST=157

**54.1** 利用している → 

**45.9** 利用していない → (問２へ)

付問．次の(1)～(6)のそれぞれについて、利用している未就学児の人数をお答え下さい。また、利用している場合は、この**９月にかかった費用**をご記入下さい。利用している未就学児が２人以上いらっしゃる方は**未就学児全員の合計費用**をお答え下さい。

ST=77

| | | 〔利用している未就学児の人数〕 | | 〔費　用〕 | |
|---|---|---|---|---|---|
| (1) | 認可保育所（市区町村へ申し込んだもの）…→ | **0.8**<br>**1.4** | 人 | **14.8**<br>**24.8** | 千円 |
| (2) | 無認可保育所（ベビーホテルや家庭保育室、勤務先の保育施設など）→ | **0.1**<br>**1.3** | 人 | **1.8**<br>**35.5** | 千円 |
| (3) | 幼稚園……→ | **0.4**<br>**1.3** | 人 | **10.0**<br>**29.6** | 千円 |
| (4) | ベビーシッター・家政婦……→ | **－**<br>**－** | 人 | **－**<br>**－** | 千円 |
| (5) | その他（家庭で、家族や同居していない……→ 親族・知人にみてもらう場合の費用など） | **－**<br>**1.0** | 人 | **0.3**<br>**12.5** | 千円 |
| (6) | 合　計……→ | **1.4**<br>**1.4** | 人 | **27.0**<br>**27.4** | 千円 |

↑ 上記のいずれかのサービスを利用している未就学児の人数をご記入下さい。

〔問２は小学校６年生までのお子さんがいらっしゃる方にお聞きします。〕

問２．**児童手当**給付は受けていますか。（なお、児童手当は小学校６学年までの児童が対象であり、３歳未満の場合は一律月額10,000円で、３歳以上は第１子・第２子に月額5,000円、第３子以降に月額10,000円が、２月、６月、10月にまとめて支給されるものです）

ST=159

**93.1** 受けている　**0.6** 受けていない　**1.3** 知らない　**5.0** ＮＡ



〔問３～問５は、15歳以下（中学生まで）のお子さんがいらっしゃる方にお聞きします。〕

問３．ご主人は、育児・子育てにどの程度関わっていますか。（○はいくつでも）

ST=159

**69.8** おむつを替えたり、着替えをさせる、着替えを用意する
**87.4** 子どもを風呂に入れたり、一緒に入る
**65.4** 子どもにご飯を食べさせたり、寝かせる
**89.9** 子どもをあやしたり遊ぶ
**1.9** ほとんど子どもとふれあわない
**1.9** その他（具体的に　　）　**1.3** ＮＡ

問４．あなた以外に子どもの世話をしてくれる人がいますか。（○はいくつでも）

ST=159

**74.8** あなたの夫
**59.1** あなたの親
**27.0** あなたのきょうだい
**50.3** 夫の親
**10.7** 友人
**6.3** 近所の人
**45.9** 保育所・幼稚園・学童保育など
**0.6** ベビーシッター・家政婦など
**4.4** その他（具体的に　　）
**3.8** 特に世話をしてくれる人はいない
**2.5** 特に世話をしてもらう必要がない

問５．育児や子育てについて相談できる方はいますか。（○はいくつでも）

ST=159

**72.3** あなたの夫
**79.2** あなたの親
**30.2** あなたのきょうだい
**40.3** 夫の親
**71.7** 友人
**15.1** 近所の人
**32.1** 医師、助産婦、保育士、保健師などの専門家
**5.7** その他（具体的に　　）
**0.6** 特に相談できる人はいない
**0.6** 特に相談する必要はない　**0.6** ＮＡ

| 12 | 貯蓄と資産についてうかがいます。 |
|---|---|

貯蓄を「預貯金」と「有価証券」に分けてお聞きします。

- 預貯金とは、次のようなものをいいます。

  郵便局（ゆうちょ銀行）の定額・定期・積立貯金、通常貯金
  銀行、信用金庫などの定期預金・定期積金、普通預金
  社内預金、金投資口座、金貯蓄口座、中期国債ファンドなど

- 有価証券とは、次のようなものをいいます。

  株式（時価）、債券（額面）、株式投資信託（時価）、
  公社債投資信託（時価）、貸付信託・金銭信託（額面）など

問１．お宅では、預貯金や有価証券をどのくらいお持ちですか
Aお宅（あなた方ご夫婦および子ども）でお持ちのものの全体と、Bそのうちあなた（妻）個人のものとしてお持ちのものの、両方についてお答え下さい。

| | | | A お宅（**あなた**、夫、子ども）でお持ちのもの**全体** | B Aのうち、**あなた個人のもの**としてお持ちのもの |
|---|---|---|---|---|
| 預貯金 | (1) 現在預貯金をお持ちですか。 | | **72.9** お宅（**あなた**、夫、子ども）で預貯金がある<br>**22.9** な い → ((3)へ)<br>**4.1** NA | (1)<br>**37.6** **あなた個人のもの**として預貯金がある<br>**57.8** な い → ((3)へ)<br>**4.6** NA |
| | 預貯金をお持ちの場合 | (2) 現在の預貯金の額はどのくらいですか。 | ST=159<br>**223.9** 万円 | (2)<br>ST=82<br>**131.5** 万円 |
| 有価証券 | (3) 現在有価証券をお持ちですか。 | | **6.4** お宅（**あなた**、夫、子ども）で有価証券がある<br>**87.6** な い → (Bの(1)へ)<br>**6.0** NA | (3)<br>**3.2** **あなた個人のもの**として有価証券がある<br>**91.3** な い → (次ページへ)<br>**5.5** NA |
| | 有価証券をお持ちの場合 | (4) 現在の有価証券の額はどのくらいですか。 | ST=14<br>**47.3** 万円 | (4)<br>ST=7<br>**45.7** 万円 |
| | | (5) この１年間（平成19年10月～平成20年９月）に有価証券を購入しましたか。<br>(購入後売却した場合も購入額に含めます) | ST=14<br>**42.9** 購入した　**28.6** 購入しなかった<br>**28.6** NA | (5)<br>ST=7<br>**57.1** 購入した　**42.9** 購入しなかった |
| | | (6) この１年間（平成19年10月～平成20年９月）に有価証券を売却しましたか。<br>(売却後購入した場合も売却額に含めます) | ST=14<br>**－** 売却した　**71.4** 売却しなかった<br>**28.6** NA | (6)<br>ST=7<br>**－** 売却した　**100.0** 売却しなかった |



問２．(1) あなた方ご夫婦が現在考えておられる貯蓄の合計目標額はいくらぐらいですか。

□□ 億 **1 3 6 2** / **1 3 6 9** 万円　**10.1** NA

(2) あなた方ご夫婦はどのような目的で貯蓄なさっていますか。下にあげてある目的のために貯蓄をしている場合は「あり」に○、していない場合は「なし」に○をおつけ下さい。

(3) 次に、(2)で「あり」とお答えいただいた貯蓄のそれぞれについて、どのくらいの貯蓄額を目標にしているかをご記入下さい。

| | (2) 貯蓄目的 | (3) 貯蓄目的のあるものについて 貯蓄目標額 |
|---|---|---|
| (a) 夫婦の老後の生活に備えるため **5.0** NA | **29.4** あ り → / **65.6** な し | □ 億 **1065.9** 万円 |
| (b) 病気、災害、その他不時の出費に備えるため **7.3** NA | **34.4** あ り → / **58.3** な し | □ 億 **169.0** 万円 |
| (c) 子どもの教育費に **5.0** NA | **62.8** あ り → / **32.1** な し | □ 億 **421.3** 万円 |
| (d) 子どもの結婚資金に **6.9** NA | **25.7** あ り → / **67.4** な し | □ 億 **221.8** 万円 |
| (e) マイホーム(土地を含む)の取得(建て替え、買い替えを含む)のため **6.9** NA | **41.3** あ り → / **51.8** な し | □ 億 **827.8** 万円 |
| (f) 耐久消費財の購入資金に **8.7** NA | **8.7** あ り → / **82.6** な し | □ 億 **125.3** 万円 |
| (g) レジャー資金に **8.3** NA | **20.2** あ り → / **71.6** な し | □ 億 **72.6** 万円 |
| (h) 独立自営のための資金に **8.7** NA | **4.1** あ り → / **87.2** な し | □ 億 **411.7** 万円 |
| (i) 特に目的はないが貯蓄をしていれば安心だから **6.0** NA | **55.0** あ り → / **39.0** な し | □ 億 **484.6** 万円 |
| (j) 遺産として残すため **10.1** NA | **2.3** あ り → / **87.6** な し | □ 億 **1033.3** 万円 |
| (k) その他〔具体的に〕（　　）**23.4** NA | **3.7** あ り → / **72.9** な し | □ 億 **418.8** 万円 |

問３．あなた方ご夫婦は、次の保険にどのくらい保険料を払っていますか。
（注　保険には簡易保険、郵便年金、生命保険、個人年金保険、積立型損害保険、障害保険、学資保険などを含みます）

| A　あなたが保険料の払い込み人となっている保険（該当するものに○をつけ、その保険料をご記入下さい。） | | | B　ご主人が保険料の払い込み人となっている保険（該当するものに○をつけ、その保険料をご記入下さい。） | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 保険の種類<br>加入しているもの<br>↓ | 昨年１年間（平成19年1月～12月）の保険料 | これまで払い込んだ保険料の合計額 | 保険の種類<br>加入しているもの<br>↓ | 昨年１年間（平成19年１月～12月）の保険料 | これまで払い込んだ保険料の合計額 |
| **32.6** 掛け捨てタイプの保険 | ST=71<br>**6.6** 万円 | | **44.0** 掛け捨てタイプの保険 | ST=96<br>**10.5** 万円<br>NA | |
| **20.2** 積立タイプの保険 | ST=44<br>**11.3** 万円 | **345.8** 万円 | **36.2** 積立タイプの保険 | ST=79<br>**16.8** 万円 | **369.8** 万円 |
| **42.7** 私が払い込み人となっている保険はない | | | **24.8** 夫が払い込み人となっている保険はない | | |
| **10.1** NA | | | **10.1** NA | | |



| 13 | 住宅についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．現在お住まいの住居は、次のどれになりますか。

**36.7** 一戸建て
**2.8** 連棟戸建て（テラスハウスなど）
**42.7** 鉄筋・鉄骨マンション（集合住宅）
**17.4** 木造アパート（集合住宅）
**0.5** その他（具体的に　　）

問２．お宅の住居の所有関係は次のどれになりますか。(親など家族名義の場合は自己所有としてお答え下さい)

**26.6** 持ち家一戸建（敷地は自己所有）
**5.0** 持ち家マンション（敷地は区分所有）
**1.8** 持ち家一戸建、マンション(敷地は借地)
**54.1** 民間の賃貸住宅
**5.0** 公営・公団・公社などの賃貸住宅
**5.5** 社宅・寮（借上げ社宅を含む）
**1.8** その他（　　）

（次ページの問３へ）

下の「A敷地」「B住宅」の両方をお答え下さい。

下の「B住宅」をお答え下さい。（マンションの場合は敷地も込みでお答え下さい）

付問１．家賃は月額いくらですか。 ST=141
**6** 万 **1** 千円

付問2．使用している部屋（居住室）の数はいくつですか。ダイニングキッチンは居住室に含めます。ただし、流しなどの部分を除いた広さが3畳にみたない場合は含めません。 ST=141
合計 **3.2** 室

（次ページの問３へ）

## A 敷地

付問３．その敷地はいつ取得（贈与・相続を含む）しましたか。
**1** 昭和
**2** 平成
□□ 年

付問４．敷地面積はどのくらいですか。 ST=58
**335.1** m²

付問５．敷地はどなたの名義になっていますか。共同名義の場合、あてはまるすべての名義人の方をお答えください。 ST=58
**5.2** あなた　**37.9** ご主人の親
**29.3** ご主人　**5.2** その他(具体　　)
**27.6** あなたの親　**－** わからない　**3.4** NA

（付問５で１～２をお答えの方に）
付問６．どのように取得しましたか。 ST=18
**55.6** すべて自己資金(ローンを含む)で購入した
**16.7** 親から一部資金援助してもらった
**11.1** 親との共同名義で購入した
**5.6** 親から贈与された
**11.1** 親から相続した
**－** その他（　　）

（付問６で２～５をお答えの方に）
付問７．上の質問でお答えになった「親」はどなたの親ですか。 ST=8
**50.0** あなたの親
**50.0** ご主人の親
**－** 両方の親

（付問３を答えた全員に）
付問８．敷地の現在の市場価格（売るとした場合の価格）はいくらくらいと思いますか。おおよそで結構です。 ST=58
□ 億 **1638.8** 万円

## B 住宅

付問９．その住宅はいつ取得（贈与・相続を含む）しましたか。
**1** 昭和
**2** 平成
□□ 年

付問10．延べ床面積はどのくらいですか。 ST=73
（畳２枚＝１坪＝3.3m²）
**126.4** m²

付問11．使用している部屋（居住室）の数はいくつですか。ダイニングキッチンは居住室に含めます。ただし、流しなどの部分を除いた広さが３畳にみたない場合は含めません。 ST=73
合計 **5.2** 室

付問12．建築の時期はいつ頃ですか。
**1** 明治　**3** 昭和
**2** 大正　**4** 平成
□□ 年

付問13．住宅はどなたの名義になっていますか。共同名義の場合、あてはまるすべての名義人の方をお答えください。 ST=73
**6.8** あなた　**23.3** ご主人の親
**38.4** ご主人　**5.5** その他(具体的に　)
**23.3** あなたの親　**1.4** わからない　**12.3** NA

（付問13で１～２をお答えの方に）
付問14．どのように取得しましたか。 ST=29
**72.4** すべて自己資金(ローンを含む)で購入した
**10.3** 親から一部資金援助してもらった
**10.3** 親との共同名義で購入した
**3.4** 親から贈与された
**3.4** 親から相続した
**－** その他（　　）

（付問14で２～５をお答えの方に）
付問15．上の質問でお答えになった「親」はどなたの親ですか。 ST=8
**75.0** あなたの親
**25.0** ご主人の親
**－** 両方の親

付問16．住宅の現在の市場価格（売るとした場合の価格）はいくらくらいと思いますか。おおよそで結構です。 ST=73
□ 億 **1270.5** 万円



〔全員の方に〕
問３．親との居住状況について、次のように分類した場合、どれにあてはまりますか。
（最も近くに居住しているあなたの親またはご主人の親でお答え下さい）

**13.3** 親と同一建物で、生計を共にしている（同居世帯）
**3.7** 親と同一建物で、生計が別（準同居世帯）
**1.8** 親と同一敷地内の別建物に居住（準同居世帯）
**23.4** 同一町丁内または１km以内に親が居住（近隣地域居住）
**6.4** （区のある18大都市居住者）同一区内に親が居住
**16.1** （その他の市部、郡部居住者）同一市町村内に親が居住
**23.9** 同一都道府県内に親が居住
**10.1** 上記１～７地域以外に親が居住
**－** 親は全員死亡 ⟶ （次ページの問８へ）　**1.4** NA

付問．同居または最も近くに居住している親は、次のうちどなたですか。

**41.7** あなたの親
**41.7** ご主人の親
**14.2** ご主人とあなたの両方の親
**2.3** NA

〔問４～問５は、あなたの親と別居している方におたずねします〕
問４．あなたの親が現在お住まいの住居は、次のどれになりますか。父親、母親それぞれについてお答え下さい。
ST=197

| | 父親 | 母親 |
|---|---|---|
| 一戸建・持ち家（敷地は自己所有・区分所有） | **65.0** | **64.0** |
| 一戸建・持ち家（敷地は借地） | **3.0** | **3.6** |
| マンション・持ち家 | **7.1** | **8.6** |
| 民間の賃貸住宅 | **7.1** | **7.1** |
| 公営・公団・公社などの賃貸住宅 | **4.6** | **9.1** |
| 社宅・寮（借上げ社宅を含む） | **0.5** | **－** |
| 介護施設・有料老人ホーム・ケア付きの高齢者住宅など | **－** | **－** |
| その他（具体的に　） | **0.5** | **0.5** |
| 死亡 | **7.1** | **2.5** |
| | **5.1** NA | **4.6** NA |

問５．今後、あなたは、あなたの親と同居する予定はありますか。あるいは、同居したいと思いますか。
ST=203　（○は１つだけ）

**0.5** 同居の予定がある
**－** 今すぐ同居したいと考えている
**12.3** いずれは同居したいと考えている
**26.1** 今は考えていないが、以前考えたことがある
**55.2** 考えたことはない
**5.9** NA

〔問６～問７は、ご主人の親と別居している方におたずねします〕

問６．ご主人の親が現在お住まいの住居は、次のどれになりますか。父親、母親それぞれについてお答え下さい。

ST=192

| | 父親 | 母親 |
|---|---|---|
| 一戸建・持ち家（敷地は自己所有・区分所有）…… | **63.5** | **66.1** |
| 一戸建・持ち家（敷地は借地）…… | **3.1** | **2.1** |
| マンション・持ち家 …… | **7.8** | **7.8** |
| 民間の賃貸住宅 …… | **7.3** | **9.4** |
| 公営・公団・公社などの賃貸住宅 …… | **4.2** | **4.7** |
| 社宅・寮（借上げ社宅を含む）…… | **－** | **－** |
| 介護施設・有料老人ホーム・ケア付きの高齢者住宅など …… | **0.5** | **－** |
| その他（具体的に　　）…… | **1.6** | **1.6** |
| 死亡 …… | **3.6** | **2.1** |
| | **8.3** NA | **6.3** NA |

問７．今後、あなたは、ご主人の親と同居する予定はありますか。あるいは、同居したいと思いますか。

ST=198　（○は１つだけ）

**3.5** 同居の予定がある
**0.5** 今すぐ同居したいと考えている
**14.1** いずれは同居したいと考えている
**18.7** 今は考えていないが、以前考えたことがある
**56.1** 考えたことはない　　**7.1** NA

〔全員の方に〕

問８．あなた方ご夫婦は**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、自分たちで住んだり、セカンドハウスとして利用するために土地または住宅を購入しましたか。(新築や親との共同名義のものも含みます)

**0.5** 土地のみを購入した　**－** 家屋のみを購入した　**0.9** 土地と家屋両方を購入した　**0.5** マンションを購入した　**96.8** 購入しなかった →（次ページの問９へ）

**1.4** NA

付問．その購入価格はいくらでしたか。(家屋のみ、マンションの場合は「家屋」のみに、土地のみの場合は「土地」のみにご記入下さい)

ST=3
家　屋 [　] 億 [ **1 2 6 7** ] 万円

ST=3
土　地 [　] 億 [ **1 4 6 7** ] 万円

ST=4
合　計 [　] 億 [ **2 0 5 0** ] 万円



問９．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなた方ご夫婦が自分たちで住んだり、セカンドハウスとして利用していた土地または住宅を売却しましたか。(親との共同名義のものも含みます)

**－** 土地のみを売却した　**－** 家屋のみを売却した　**－** 土地、家屋両方を売却した　**－** マンションを売却した　**99.1** 売却しなかった →（問10へ）　**0.9** NA

付問．その売却価格はいくらでしたか。(家屋のみ、マンションの場合は「家屋」のみに、土地のみの場合は「土地」のみにご記入下さい)

ST=0
家　屋 [　] 億 [ **－** ] 万円
土　地 [　] 億 [ **－** ] 万円
合　計 [　] 億 [ **－** ] 万円

問10．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなた方ご夫婦が自分たちで住んだり、セカンドハウスとして利用していた住宅を増築または改築しましたか。(親との共同名義のものも含みます)

**0.5** 増築した　**0.5** 改築した　**98.2** どちらもしなかった →（問11へ）　**0.9** NA

付問．その費用はいくらでしたか。

ST=2
[　] 億 [ **1 6 0 0** ] 万円

問11．あなた方ご夫婦は、今住んでいる家、セカンドハウス**以外**に、例えば他人に貸すために土地・建物などの不動産を所有していますか。(親との共同名義のものも含みます)

**0.5** 土地のみを所有している　**－** 建物のみを所有している　**0.9** 土地、建物両方を所有している　**0.5** マンションを所有している　**94.5** 所有していない →（次ページの問12へ）　**3.7** NA

付問．所有している不動産の現在の市場価格（売るとした場合の価格）は合計でいくらぐらいですか。

ST=4
[ **1** ] 億 [ **5 5 0 0** ] 万円

問12. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなた方ご夫婦は、今住んでいる家やセカンドハウス**以外**に、土地・建物を購入しましたか。（新築や親との共同名義のものも含みます）

| **0.5** | **0.5** | **－** | **－** | **97.7** | |
|---|---|---|---|---|---|
| 土地のみを購入した | 建物のみを購入した | 土地、建物両方を購入した | マンションを購入した | 購入しなかった | **1.4** NA |

→（問13へ）

付問. その購入価格はいくらでしたか。ST=2

□ 億 □－ 万円

問13. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなた方ご夫婦が自分たちで住んだりセカンドハウスとして利用していた土地・建物**以外**の土地・建物を売却しましたか。（親との共同名義のものも含みます）

| **－** | **－** | **－** | **－** | **98.2** | |
|---|---|---|---|---|---|
| 土地のみを売却した | 建物のみを売却した | 土地、建物両方を売却した | マンションを売却した | 売却しなかった | **1.8** NA |

→（次ページへ）

付問. その売却価格はいくらでしたか。
ST=0

□ 億 □－ 万円

**（次のページにお進みください）**

| 14 | 住宅ローンについてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなた方ご夫婦は、**現在**、住宅ローンに関する借入れをなさっていますか。

**15.6** 借入れをしている ↓

**84.4** していない → (53ページへ)

付問１．**現在**の借入れ残高の総額および**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**の返済総額はいくらですか。（借り替えも含みます）

ST=34

借入れ残高総額 [ 1 8 8 5 ] 万円　　この１年間の返済総額 [ 1 0 6 / 1 0 6 ] 万円

－ この１年間は返済しなかった

付問２．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に新たに借入れをしましたか。（借り替えも含みます）

ST=34

**5.9** し た → 新規借入れ額 [ 1 2 5 0 ] 万円　ST=2

**91.2** しなかった

**2.9** ＮＡ

付問３．**現在の**借入れについて、以下の項目にご記入下さい。

「①借りた目的」「②借入先」は、次ページのコード表からあてはまる「コード番号」をご記入下さい。

| ①借りた目的（01～06のコード番号記入） | ②借入先（11～16のコード番号記入） | ③現在の借入れ残高（合計） | ④この一年間の返済額（合計） |
|---|---|---|---|
| | | 千 百 十 一 [ 0 ] 万円 | 百 十 一 [ 0 ] 万円 **0** この1年間は返済しなかった |
| | | 千 百 十 一 [ 0 ] 万円 | 百 十 一 [ 0 ] 万円 **0** この1年間は返済しなかった |
| | | 千 百 十 一 [ 0 ] 万円 | 百 十 一 [ 0 ] 万円 **0** この1年間は返済しなかった |



コード表

① 借りた目的

01 借り替え
02 土地の購入
03 住宅（土地も含む）の購入
04 建物の建築
05 増改築
06 別荘の購入

② 借入先

11 銀行など金融機関
12 住宅金融支援機構・年金融資・財形融資・
13 公団融資・自治体融資などの公的融資
14 社内融資
15 妻の親
16 夫の親
17 その他

問２．返済総額は、あなた方ご夫婦にとって、どの程度負担に感じていますか。（○は１つだけ）

ST=34

**44.1** 特に問題はない
**38.2** やや負担である
**8.8** かなり負担である
**2.9** 苦しい
**5.9** ＮＡ

| 15 | 住宅ローン以外のローンについておうかがいします。 |
|---|---|

問１．あなた方ご夫婦は、**現在**借入れ（住宅ローンを除く、自動車ローン・消費者ローン・キャッシングなど）をなさっていますか。

**31.2** 借入れをしている ↓

**68.3** していない →（55ページの問３へ）

**0.5** NA

付問１．**現在**の借入れ残高の総額および**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**の返済総額はいくらですか。

ST=68

借入れ残高総額 **1 5 7** 万円

この１年間の返済総額 **4 6 / 4 9** 万円

**7.4** この１年間は返済しなかった

付問２．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に新たに借入れをしましたか。

ST=68

**17.6** し た → 新規借入れ額 **1 5 2** 万円

**82.4** しなかった

付問３．**現在の**借入れについて、以下の項目にご記入下さい。

「①借りた目的」「②借入先」「③そこで借りた理由」は、次ページのコード表からあてはまる「コード番号」をご記入下さい。

「③そこで借りた理由」は１カ所の借入先それぞれについて最大の理由１つを選んでご記入下さい。

| ①借りた目的（01～11のコード番号記入） | ②借入先（21～29のコード番号記入） | ③そこで借りた理由（31～45のコード番号記入） | ④現在の借入れ残高（合計） | ⑤この一年間の返済額（合計） |
|---|---|---|---|---|
| | | | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 O この1年間は返済しなかった |
| | | | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 O この1年間は返済しなかった |
| | | | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 O この1年間は返済しなかった |
| | | | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 O この1年間は返済しなかった |
| | | | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 O この1年間は返済しなかった |





コード表

| | |
|---|---|
| 01 事業用の資金（事業用の自動車の購入、事業用借金の返済等、事業のための借入はここに含む） | 21 銀行など金融機関・郵便局（ゆうちょ銀行） |
| 02 乗用車の購入 | 22 社内融資 |
| 03 家具・家電などの耐久消費財の購入 | 23 銀行系クレジット会社（ＪＣＢ、ＶＩＳＡ、ＵＣなど） |
| 04 衣類・身の回り品・食料品などの購入 | 24 信販会社（日本信販、ジャックス、ライフなど） |
| 05 趣味・レジャー・交際費として | 25 消費者金融会社（アコム、武富士、プロミス、レイクなど） |
| 06 教育費 | 26 流通関連会社（丸井、クレディセゾン、オーエムシーカードなど。およびデパート各社） |
| 07 結婚費用 | 27 妻の親 |
| 08 病気・不慮の事故 | 28 夫の親 |
| 09 家族の生活費の補填 | 29 その他 |
| 10 借金の返済 | |
| 11 その他 | |

③ そこで借りた理由

| | |
|---|---|
| 31 そこでしか借りられなかった | 39 借入れできるカードを持っていた |
| 32 手続きが簡単だった | 40 返済方法が簡単そうだった |
| 33 時間的に一番早く借りられた | 41 たまたま近くにあった |
| 34 営業時間が長く、夜も開いていた | 42 有名で信頼できると思った |
| 35 土曜・日曜にも借りられた | 43 気軽に借りられるから |
| 36 金利が低かった | 44 金融機関から借金をしたくなかった |
| 37 その機関の人から熱心に勧められた | 45 その他 |
| 38 友人・知人に勧められた | |

問２．返済総額は、あなた方ご夫婦にとって、どの程度負担に感じていますか。（○は１つだけ）

ST=68

**22.1** 特に問題はない

**45.6** やや負担である

**25.0** かなり負担である

**2.9** 苦しい

**4.4** NA

〔全員の方に〕

問３．あなた方ご夫婦は、これまでに借入れをしたかったのに、断られたことがありますか。

（○はいくつでも）

| | | |
|---|---|---|
| **6.0** 断られたことがある | **0.5** 認められたが減額されたことがある | **93.1** な　い |

**0.5** ＮＡ

問４．あなた方ご夫婦は、これまでに借入れをしたかったのに、断られることを見込んで最初からあきらめたことがありますか。

| | |
|---|---|
| **5.5** 最初からあきらめたことがある | **93.6** な　い |

**0.9** ＮＡ

問５．あなた方ご夫婦は、今後、新規に、または追加して借入れをなさるおつもりがありますか。

| | | |
|---|---|---|
| **11.0** 借入れのつもりがある | **52.3** な　い | **36.2** わからない |

→（次ページへ）

**0.5** ＮＡ

付問１．その場合、借入れ先としてどの機関を考えますか。下の９つの中から、あなたが考える順に３つを選び、番号を□にご記入下さい。

１位 □　２位 □　３位 □

ST=24

| １位 | ２位 | ３位 | |
|---|---|---|---|
| **70.8** | **16.7** | **8.3** | 銀行など金融機関・郵便局（ゆうちょ銀行） |
| **20.8** | **54.2** | **4.2** | 住宅金融支援機構・年金融資・財形融資・公団融資・自治体融資などの公的融資 |
| **4.2** | **4.2** | **16.7** | 社内融資 |
| **4.2** | **4.2** | **4.2** | 銀行系クレジット会社（ＪＣＢ、ＶＩＳＡ、ＵＣなど） |
| **－** | **－** | **4.2** | 信販会社（日本信販、ジャックス、ライフなど） |
| **－** | **－** | **－** | 消費者金融会社（アコム、武富士、プロミス、レイクなど） |
| **－** | **－** | **－** | 流通関連会社（丸井、クレディセゾン、オーエムシーカードなど。およびデパート各社） |
| **－** | **－** | **4.2** | その他（具体的に　　） |
| **－** | **4.2** | **16.7** | わからない |
| **－** | **16.7** | **41.7** | ＮＡ |

付問２．その機関での借入れをお考えになるのはどのような理由からですか。（○はいくつでも）

ST=24

| | | | |
|---|---|---|---|
| **25.0** | 手続きが簡単 | **－** | 秘密保持に安心できる |
| **－** | 営業時間が長く、夜も開いている | **－** | アフターサービスが良い |
| **4.2** | 土曜・日曜も利用できる | **50.0** | 有名で信頼できる |
| **41.7** | 金利が低い | **4.2** | その他　具体的に（　　） |
| **－** | 担保、保証人等が必要ない | | |

**4.2** ＮＡ



| 16 | クレジットカードを利用した飲食や買い物などについてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなた方ご夫婦はクレジットカードをご利用ですか。

（注）クレジットカードの具体例
- 銀行系クレジットカード（ＪＣＢ、ＶＩＳＡ、ＵＣなど）
- 信販会社（日本信販、ジャックス、ライフなど）
- 消費者金融会社（アコム、武富士、プロミス、レイクなど）
- 流通関連会社（丸井、クレディセゾン、オーエムシーカードなど。およびデパート各社）

| | | |
|---|---|---|
| **56.9** 利用している | **24.8** カードは持っているがほとんど利用していない | **18.3** カードは持っていない |

→（次ページへ）

付問１．支払名義人別に何枚ずつお持ちですか。

ST=124

| | あなたの名義 | ご主人の名義 | あなたの親の名義 | ご主人の親の名義 |
|---|---|---|---|---|
| | **2.0** 枚 | **1.9** 枚 | **2.5** 枚 | **1.5** 枚 |

（支払名義人それぞれについて）

付問２．クレジットカードを利用するにあたって、何か制約条件をつけていますか。該当するものに○をつけて下さい。（○は２つまで）

| | あなたの名義 | ご主人の名義 | あなたの親の名義 | ご主人の親の名義 |
|---|---|---|---|---|
| | ST=101 | ST=105 | ST=8 | ST=4 |
| (1)利用金額の限度を月に２万円位まで と決めている | **11.9** | **5.7** | **－** | **－** |
| (2)利用金額の限度を月に５万円位まで と決めている | **8.9** | **6.7** | **12.5** | **－** |
| (3)利用金額の限度を月に10万円位まで と決めている | **5.0** | **6.7** | **－** | **－** |
| (4)月々の返済金額の限度を決めている | **10.9** | **7.6** | **－** | **－** |
| (5)利用する店や、利用する物・サービスを決めている | **28.7** | **33.3** | **62.5** | **50.0** |
| (6)その他（具体的に　　） | **4.0** | **2.9** | **－** | **－** |
| (7)特に制約を設けていない | **38.6** | **41.9** | **25.0** | **25.0** |
| | ↓ **2.0** ＮＡ | ↓ **3.8** ＮＡ | | **25.0** ＮＡ |

（あなたの名義、ご主人の名義のカードについて）

付問３．現在、これから決済される（引き落とされる）利用残高はいくらくらいありますか。

| | | |
|---|---|---|
| | ST=101 | ST=105 |
| 残　高 | **13.5** 万円 | **9.7** 万円 |
| 残高はあるが覚えていない | **18.8** | **14.3** |
| 残高はない | **26.7** | **22.9** |
| わからない | **13.9** | **19.0** |
| | | **2.9** ＮＡ |

## 17 家庭電気製品などについてうかがいます。

問１．現在、あなた方ご夫婦は次のものをいくつ保有していますか。その台数を記入して下さい。持っていない場合は、０をご記入下さい。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 13.3 | 自動食器洗い機 ……→ | 1.0 | 台 |
| 27.1 | 衣類乾燥機 ……→ | 1.0 | 台 |
| 89.9 | ルームエアコン ……→ | 1.8 | 台 |
| 99.5 | カラーテレビ ……→ | 1.5 | 台 |
| 74.3 | パソコン ……→ | 1.3 | 台 |
| 100.0 | 携帯電話（ＰＨＳも含む） …→ | 2.1 | 台 |
| 89.9 | 乗用車 ……→ | 1.5 | 台 |



## 18 生活上の出来事とその対応についてうかがいます

問１．あなたやあなたのご家族に起こった大きな出来事についてうかがいます。

(1) あなたが、中学を卒業してから現在までの間で、あなたやあなたのご家族に次のような大きな出来事がありましたか。（○はいくつでも）

((1) で○のついた大きな出来事のそれぞれについて)

(2) その結果どのようなことが起こりましたか。あなたが覚えている限りで、次の中からいくつでもお答え下さい
（○はいくつでも）

| | 手術や長期療養を要するような重い病気… | 精神的な問題 登校拒否、うつ病など… | 大きな事故や災害… | 定年などによる退職… | 希望退職や失業… | 多重債務・倒産・破産… | 離婚・別居… | 転勤や単身赴任… | 家出や行方不明… | 死亡… | どれもなかった… |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 21.1 | 11.5 | 3.2 | 5.0 | 21.1 | 4.6 | 9.2 | 6.4 | 2.3 | 14.2 | 48.2 |
| | ST=46 | 25 | 7 | 11 | 46 | 10 | 20 | 14 | 5 | 31 | 0.5 NA |
| 収入や資産が低下した… | 23.9 | 20.0 | － | 36.4 | 52.2 | 50.0 | 10.0 | － | － | 12.9 | |
| 大きな費用がかかった… | 32.6 | 12.0 | 28.6 | － | － | 20.0 | 5.0 | 14.3 | － | 22.6 | |
| 世話(介護・看病など)が大変だった… | 17.4 | 12.0 | － | － | － | － | － | － | － | 19.4 | |
| 家族内の人間関係がうまくいかなくなった… | 13.0 | 24.0 | － | 18.2 | 6.5 | 30.0 | 30.0 | － | 40.0 | 19.4 | |
| あなた自身が精神的に落ち込んだ… | 37.0 | 68.0 | 42.9 | 9.1 | 21.7 | 50.0 | 30.0 | － | 40.0 | 67.7 | |
| 転居した… | 4.3 | 8.0 | － | － | 15.2 | 40.0 | 30.0 | 35.7 | － | 3.2 | |
| 進学をあきらめたり、休学・退学をした… | 4.3 | 24.0 | － | － | 2.2 | － | 10.0 | 7.1 | － | 3.2 | |
| 離婚・別居など家族がわかれた… | － | 4.0 | － | － | － | 10.0 | 65.0 | 7.1 | － | 6.5 | |
| 自分が新たに働き始めた… | 6.5 | 16.0 | － | － | 26.1 | 10.0 | 20.0 | 7.1 | － | 9.7 | |
| 家族のだれかが新たに働き始めた… | 2.2 | 8.0 | － | － | 2.2 | 10.0 | 5.0 | 7.1 | － | 9.7 | |
| 親戚や友人に経済的援助を頼んだ… | 8.7 | 8.0 | － | － | 4.3 | 30.0 | － | － | － | 6.5 | |
| 土地や家屋を売った… | 2.2 | 4.0 | － | － | － | 30.0 | － | － | － | 3.2 | |
| 金融機関などから借金をした… | 4.3 | 8.0 | 14.3 | － | 6.5 | 20.0 | － | － | － | 3.2 | |
| 専門機関で治療や相談をした… | 26.1 | 36.0 | 14.3 | － | － | 20.0 | － | － | － | 6.5 | |
| 宗教関係者に相談した… | － | 4.0 | － | － | － | － | － | － | － | 3.2 | |
| その他（具体的に　　）… | 2.2 | － | － | － | － | － | － | － | － | 6.5 | |
| とくに変化はなかった… | 26.1 | 8.0 | 42.9 | 54.5 | 19.6 | － | 15.0 | 50.0 | 40.0 | 16.1 | |

（次ページへ）

| 19 | 生活行動についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたとご主人の生活時間についてうかがいます。
日常の生活行動を次の６つに分けた場合、通常の平日、休日にそれぞれ合計でおおよそ何時間費やしていますか。
あなたの場合とご主人の場合についてお答え下さい。（10分単位でご記入下さい）
同時に複数のことをした場合は、主なもののほうでお答え下さい。

**あなたの生活時間**

| | 平日 | | 休日 | |
|---|---|---|---|---|
| (1)通勤・通学 | | 時間 19 48 分 | | 時間 1 32 分 |
| (2)仕　事 | 3 7 | 時間 16 12 分 | 6 | 時間 10 18 分 |
| (3)勉　学 | 1 | 時間 4 40 分 | 1 | 時間 4 50 分 |
| (4)家事・育児 | 8 9 | 時間 48 7 分 | 9 9 | 時間 12 36 分 |
| (5)趣味・娯楽・交際など | 1 2 | 時間 32 22 分 | 3 4 | 時間 43 45 分 |
| (6)上記以外の睡眠、食事、入浴、身の回りの用事など | 1 0 | 時間 1 分 | 10 10 | 時間 50 50 分 |
| | 計　２４時間 | | 計　２４時間 | |

注：無職の方はご主人の休みの日

**ご主人の生活時間**

| | 平日 | | 休日 | |
|---|---|---|---|---|
| (1)通勤・通学 | | 時間 49 53 分 | | 時間 2 40 分 |
| (2)仕　事 | 10 10 | 時間 21 31 分 | 4 | 時間 32 56 分 |
| (3)勉　学 | 1 | 時間 10 32 分 | 2 | 時間 15 4 分 |
| (4)家事・育児 | 1 1 | 時間 5 49 分 | 4 5 | 時間 29 35 分 |
| (5)趣味・娯楽・交際など | 1 2 | 時間 37 20 分 | 6 6 | 時間 8 51 分 |
| (6)上記以外の睡眠、食事、入浴、身の回りの用事など | 9 9 | 時間 58 58 分 | 12 12 | 時間 34 34 分 |
| | 計　２４時間 | | 計　２４時間 | |



問２．あなたとご主人は１週間に何日休みの日がありますか。
（週に２日休みの場合は2.0日とお答え下さい。
隔週の休みは0.5と換算して下さい。）

あなた　2 2 ・ 2 2 日　　ご主人　1 1 ・ 6 6 日

**50.9**　仕事についていない　　**1.4**　仕事についていない

問３．あなたとご主人は何曜日が休みですか。（隔週休みの場合は休みとしてお答え下さい。）

| | 日曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 決まっていない | 仕事についていない | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ST=107 | | | | | | | | | | |
| あなた → | **68.2**･･･ | **5.6**･･ | **7.5**･･ | **9.3**･･･ | **6.5**･･･ | **3.7**･･ | **55.1**･･･ | **26.2**･･･････ | **5.6** | NA |
| ST=215 | | | | | | | | | | |
| ご主人 → | **70.2**･･･ | **3.7**･･･ | **2.3**･･ | **4.2**･･･ | **1.9**･･･ | **0.9**･･ | **41.4**････ | **24.2**･･･････ | **0.9** | NA |

問４．あなたは**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に１泊２日以上の旅行をしましたか。
（夜行日帰りは１泊２日には含みません）

**国内**

(1)　観光旅行（レクリエーション・スポーツなどのための旅行を含みます）
**48.6**　しなかった　　**50.0**　した　　**1.4**　NA

(2)　帰省・訪問などの旅行
**52.8**　しなかった　　**44.5**　した　　**2.8**　NA

(3)　業務出張・研修・その他の業務関連
**52.8**　しなかった　　**5.5**　した　　**38.5**　この１年間は仕事についていない　　**3.2**　NA

**海外**

(4)　観光旅行（レクリエーション・スポーツなどのための旅行を含みます）
**83.9**　しなかった　　**13.3**　した　　**2.8**　NA

(5)　帰省・訪問などの旅行
**96.3**　しなかった　　**0.5**　した　　**3.2**　NA

(6)　業務出張・研修・その他の業務関連
**58.3**　しなかった　　**0.5**　した　　**38.5**　この１年間は仕事についていない　　**2.8**　NA

| 20 | 自己啓発についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたは**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に各種学校、専門学校、大学、通信教育などで受講しましたか。会社から派遣されたものは除いてお答え下さい。

**2.3** 受講した　　**97.2** 受講しなかった　　**0.5** ＮＡ

→（次ページへ）

付問１．通ったのはどのような学校ですか。（通信教育を含む）（○はいくつでも）
ST=5

- **20.0** 各種学校
- **40.0** 職業訓練学校
- － 高等学校
- － 専門学校・専修学校
- － 短大・高専
- － 大学（卒業を目的とする）
- － 大学（科目履修、聴講生、研究生など）
- － 大学（通信部、放送大学）
- － 大学院
- **20.0** その他（具体的に　　）
- **20.0** ＮＡ

付問２．この１年間に、その学校を卒業しましたか。
ST=5

**80.0** 卒業した・修了した　　**20.0** 卒業しない・修了しない

付問３．受講した理由をお聞かせ下さい。**（○は２つまで）**
ST=5

- **20.0** これまでの仕事を発展させるために役立ちそうな知識や資格などを得るため
- **80.0** これからの仕事に役立ちそうな知識や資格を得るため
- － 進学の準備のため
- － 教養を身につけるため
- － 高度な勉強がしたいから
- － 自分の視点を作りたいから
- － 芸術・芸能・趣味を高めるため
- － 健康・体力作りのため
- － 時間を充実させるため
- － 打ち込めるものがほしいから
- － 家庭・日常生活に関する知識や技能を得るため
- － 社会貢献（ボランティア等）のための知識や技能を得るため
- － その他（具体的に　　）　**20.0** ＮＡ

付問４．その費用はどなたが負担しましたか。（○はいくつでも）
ST=5

- **80.0** 自分自身
- － 勤め先
- － 夫
- － 自分の親
- **20.0** 教育訓練給付制度
- － その他の公的な助成
- － その他（具体的に　　）
- **20.0** ＮＡ

付問５．（勤務先または、公的な助成を除いて）**あなた自身が、またはあなたの家族が**負担した費用（授業料や教材費）は**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**でいくらでしたか。（交通費は除きます）
ST=5

| | | |
|---|---|---|
| | **1** | **3** |
| | **1** | **3** |

万円　　－ な　し



| 21 | お子さんについてうかがいます。 |
|---|---|

問１．お子さんのことについておたずねします。お子さんのいる方もいない方もお答え下さい。
今後、子どもは（もっと）欲しいですか。

**45.9** 是非、欲しい　　**37.6** 条件によっては欲しい　　**16.1** 欲しくない　　**0.5** ＮＡ

付問１．その条件とは何ですか。（○はいくつでも）
ST=82

- **85.4** 生活費に余裕ができたら
- **34.1** 住居が広くなったら
- **14.6** 仕事を続けられるなら
- **30.5** 夫や家族が協力してくれるなら
- **19.5** 保育所や保育ママさんなどの社会制度が利用できれば
- **13.4** その他（具体的に　　）
- **1.2** ＮＡ

付問２．なぜ欲しくないのですか。（○はいくつでも）
ST=35

- **40.0** 教育費・養育費の負担が大きいから
- **8.6** 広い家が必要だから
- **11.4** 仕事を続けたいから
- **20.0** 自分自身の生活を大切にしたいから
- **8.6** 夫との２人の生活を大切にしたいから
- **34.3** 子どもを一人前に育てるのは容易ではないから
- **17.1** 夫の育児協力が期待できないから
- **14.3** 体力的に大変だから
- **5.7** 丈夫な子どもが生まれるかどうか不安だから
- － 子どもが嫌いだから
- **2.9** 女の子さえ生まれればいいから
- － 男の子さえ生まれればいいからいまの子どもの人数で満足だから
- **5.7** その他（具体的に　　）
- **2.9** ＮＡ

→（次ページの問２へ）

付問３．（あと）何人ぐらい子どもは欲しいですか。
ST=182

**1.5** 人

付問４．男の子と女の子、どちらが欲しいのかと尋ねられたら、どちらが欲しいですか。
ST=182　（○は１つだけ）

**36.3** 男の子　　**61.5** 女の子　　**2.2** ＮＡ

〔全員の方に〕

問２．(1) 子どもに、将来、どこまで教育を受けさせたいですか。(○は１つだけ)

**14.2** 定評のある大学（４年制）に進学させたい
**10.1** どこの大学でもよいから、大学（４年制）に進学させたい
**0.5** 短大に進学させたい
**0.9** 専門学校に進学させたい
**20.2** 高校までは進学させたい
**53.7** 本人次第
**0.5** ＮＡ

(2) その理由は何ですか。(○はいくつでも)

**29.4** 就職等で有利になるから
**4.1** 結婚等で有利になるから
**7.8** 社会的に高い評価を得ることができるから
**28.0** よい教育を受けさせたいため
**37.2** よい友人を作るため
**23.9** 何となく
**19.3** その他（具体的に　　）
**1.4** ＮＡ

〔問３～問９は中学生以下のお子さんのいらっしゃる方にお聞きします。それ以外の方は65ページへお進み下さい〕

問３．問３から問９は中学生以下のお子さんのうち一番年上のお子さんについて伺います。そのお子さんは公立の学校に通っていますか、私立の学校に通っていますか。

ST=159

**16.4** 公　立　　－ 国　立　　**12.6** 私　立　　**71.1** ＮＡ

問４．そのお子さんは何かお稽古事（学習塾、英会話等を除く）をなさっていますか。(○はいくつでも)

ST=159

**13.2** 学校以外のスポーツ教室やスポーツ・クラブに通っている
**0.6** 学校の部活動を行っている
**3.8** ピアノなど音楽教室に通っている
**1.3** 絵画や習字そろばん等の教室に通っている
**0.6** その他（具体的に　　）
**47.2** 何もやっていない ――→ (次ページの問６へ)
**35.2** ＮＡ

問５．お稽古事に、すべて合わせて、１年間にいくらぐらい支出していますか。

ST=28

１年間に [ **8** ] 万 [ **5** ] 千円



問６．そのお子さんは学習塾や予備校（家庭教師を含む）、英会話等に通っていますか。

(○はいくつでも)

ST=159　　ST=7

**4.4** 普段から通っている――→　週　に [ **1.4** ] 回

月謝は月に [　　] 万 [ **9** ] 千円

ST=0

－ 夏休みや冬休みの時に通っている ――→ 費用は年に [　　] 万 [ **－** ] 千円

**64.8** 通っていない ――→ (問９へ)
**30.8** ＮＡ

問７．なぜ、学習塾や予備校、英会話等に通わせているのですか。(○はいくつでも)

ST=7

**－** 学校（幼稚園）の成績が良くなると思うから
**－** 学校（幼稚園）の成績が悪いので補習のため
**－** 学校（幼稚園）の授業内容では不十分だと思うので
**－** 受験をさせるため
**－** 通わせないと不安だから
**－** ほかの子が通っているから
**85.7** 本人が行きたいといっているので
**14.3** 時間が余っているから
**28.6** その他（具体的に　　）

問８．学習塾や予備校、英会話等に通わせた結果を、どう評価していますか。

ST=7

**100.0** 通わせないよりも、よい結果が出ていると思う
－ 通わせても、通わせなくても、結果は変わらないと思う

〔問６で「３　通っていない」と答えた方に〕

問９．今後、学習塾や予備校、英会話等に通わせる予定はありますか。

ST=103　　ST=33

**32.0** もう少し大きくなったら通わせる ――→ 何歳ぐらいから [ **8.3** ] 歳
**38.8** 成績のいかんによっては通わせるかもしれない
**27.2** 通わせるつもりはない
**1.9** ＮＡ

| 22 | あなたの友人関係についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．現在つき合いのある友人の人数を、以下のきっかけごとにお答え下さい。
ここでいう「友人」とは、あなたと１対１の関係でつき合いがある（会ったり、電話で話したり、文通したりする）友人をいいます。グループ交際の場合は含みません。
また、出会った「きっかけ」が重複する場合は、主なきっかけでお答え下さい。

| 出会った時期と主なきっかけ | | 何人いますか 女性 | 男性 |
|---|---|---|---|
| 幼なじみや、学校時代にできた友人 | | **9.0** **9.4** 人 | **1.9** **4.8** 人 |
| 学校を卒業してからできた友人 | 仕事を通して | **3.9** **5.2** 人 | **0.7** **2.9** 人 |
| | 趣味やボランティア活動などを通して | **0.5** **4.3** 人 | **0.2** **3.7** 人 |
| | 友人を通して | **0.9** **3.2** 人 | **0.4** **2.9** 人 |
| | 子どもを通して | **2.7** **6.4** 人 | **0.2** **5.7** 人 |
| | 夫を通して | **1.1** **2.9** 人 | **0.9** **3.2** 人 |
| | 近所に住んでいることがきっかけで | **0.7** **2.5** 人 | **－** **2.0** 人 |
| | その他（） | **0.1** **4.5** 人 | **－** **2.0** 人 |
| 合　　計 | | **18.6** **19.0** 人 | **4.2** **7.3** 人 |



| 23 | 生活意識についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたは生活全般に満足していますか。

| 満　足 | どちらかといえば満足 | どちらともいえない | どちらかといえば不満 | 不　満 |
|---|---|---|---|---|
| **22.9** | **44.5** | **19.7** | **10.1** | **2.8** |

問２．ふだんのあなたの健康状態はどうですか。

| とても健康 | まあ健康 | ふつう | あまり健康ではない | まったく健康でない |
|---|---|---|---|---|
| **25.7** | **37.2** | **29.4** | **7.3** | **0.5** |

問３．あなたは自分の身体について、同年齢の人と比べて若い方だと思いますか。

**7.3** 若い方だと思う
**12.4** やや若い方だと思う
**55.5** ふつう
**21.1** やや老けている方だと思う
**3.2** 老けている方だと思う
**0.5** ＮＡ

問４．現在のあなたの生活程度は、世間一般からみて、次のどれにはいると思いますか。

| 上 | 中の上 | 中の中 | 中の下 | 下 | ＮＡ |
|---|---|---|---|---|---|
| **－** | **9.6** | **62.8** | **21.6** | **5.5** | **0.5** |

問５．ご家庭の現在の収入に満足していますか。

| とても満足 | ほぼ満足 | やや不満 | とても不満 |
|---|---|---|---|
| **7.8** | **37.6** | **44.0** | **10.6** |

問６．ご家庭の現在の消費（生活費支出）額に満足していますか。

| 使いすぎていることに不満 | ほぼ満足 | 少なすぎることに不満 |
|---|---|---|
| **53.7** | **37.2** | **9.2** |

問７．ご家庭の現在の消費（生活費支出）の内容に満足していますか。

| とても満足 | ほぼ満足 | やや不満 | とても不満 |
|---|---|---|---|
| **1.8** | **38.1** | **52.8** | **7.3** |

問８．あなたは現在の夫婦関係に満足していますか。

| 非常に満足している | まあまあ満足している | ふつう | あまり満足していない | まったく満足していない | ＮＡ |
|---|---|---|---|---|---|
| **39.4** | **36.2** | **15.1** | **7.3** | **1.4** | **0.5** |

問９．あなたは幸せだと思っていますか。それとも、不幸だと思っていますか。

| とても幸せ | まあまあ幸せ | どちらでもない | 少し不幸 | とても不幸 |
|---|---|---|---|---|
| **53.2** | **34.9** | **7.8** | **4.1** | **－** |

| 24 | あなたの考え方・ご意見についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．この１週間のあなたのからだや心の状態についてお聞きします。以下のような気分やことがらをどのくらい経験しましたか。（1）～（12）についてそれぞれあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ○は１つだけ）

| | まったくなかった | 週に１～２日 | 週に３～４日 | ほとんど毎日 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| （1）ふだんは何でもないことをわずらわしいと感じたこと | **50.5** | **41.3** | **4.6** | **3.2** | **0.5** | NA |
| （2）家族や友達から励ましてもらっても気分が晴れないこと | **72.9** | **20.6** | **3.2** | **2.8** | **0.5** | NA |
| （3）憂うつだと感じたこと | **49.5** | **32.6** | **11.9** | **5.5** | **0.5** | NA |
| （4）物事に集中できなかったこと | **59.6** | **29.4** | **4.6** | **6.0** | **0.5** | NA |
| （5）食欲が落ちたこと | **77.1** | **13.3** | **4.6** | **4.6** | **0.5** | NA |
| （6）何をするのも面倒と感じたこと | **48.6** | **34.9** | **9.2** | **6.9** | **0.5** | NA |
| （7）何か恐ろしい気持がしたこと | **87.2** | **9.6** | **1.4** | **0.9** | **0.9** | NA |
| （8）なかなか眠れなかったこと | **70.6** | **20.6** | **5.5** | **2.8** | **0.5** | NA |
| （9）ふだんより口数が少なくなったこと | **78.4** | **16.1** | **4.1** | **0.9** | **0.5** | NA |
| (10) 一人ぼっちで寂しいと感じたこと | **75.7** | **17.0** | **2.3** | **4.1** | **0.9** | NA |
| (11)「毎日が楽しい」と感じたこと | **13.8** | **30.3** | **28.4** | **27.1** | **0.5** | NA |
| (12) 悲しいと感じたこと | **65.1** | **24.8** | **6.9** | **2.8** | **0.5** | NA |

問２．近年、離婚が増加してきましたが、あなたはそれについてどのようにお考えになりますか。あなたのお考えに最も近いものを１つお答え下さい。

**41.7** 問題のある結婚生活なら解消した方がよい
**20.2** 自分の生き方や気持ちを大切にするのは悪いことではない
**0.5** 離婚を悪いことだとする考えが減ったので、仕方がない
**31.2** 子どもが犠牲になるので、よくない
**4.6** どんなことがあっても、結婚生活はまっとうすべきだ
**1.8** NA

問３．最近食品が値上がりしていますが、値上がりした食品の購入について、あなたはどのような対応をとりましたか。最も多くとった行動を１つお答え下さい。

**11.5** これまでより購入する量を減らした。
**7.8** 廉価品や輸入品など、より安い商品を購入するようにした。
**1.4** パンからお米に代えるなど、代替品や類似品を購入するようにした。
**61.0** まとめ買いや特売の日に買うなど、安く購入する努力をした。
**17.0** 食品は、これまでと同じように買い物している。
**1.4** NA

大変長い間、ご協力ありがとうございました。

# 無配偶新規

## ◎ 家庭生活についてのおたずね ◎

ご記入にあたってのお願い

・この調査票は、現在配偶者のいない方（①結婚していない方、②結婚後離死別なさった方）にお願いしております。

・お子さんについての質問など未婚の方には関わりのない質問もありますが、この調査票ではお子さんのいらっしゃる方にもお願いしておりますので、ご了承下さい。

・ご記入には長時間かかりますが、あなた様（　　様）がすべてご記入下さい。

・あなた様ご自身やご家族のことなどについて少し立ち入ったこともお聞きしますが、統計的に分析することが目的ですので、ありのままをお答えいただきますようお願いします。

・９月１カ月でのことをお聞きしている質問もありますので、そのような質問にはおわかりになった時点でお答え下さい。

・質問番号順にお答え下さい。質問の中には、一部の方にだけおたずねするものがありますが、その場合は指示に従って下さい。

・お答えは、あてはまる回答についている数字を○でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入する場合があります。「その他」にあてはまる時は、数字を○でかこみ、（　　）内に具体的な内容を記入して下さい。（　　）内に書ききれない場合は、欄外にご記入下さい。

・（○は１つ）という質問では、○は１つだけにしぼって下さい。

・ご家族のことについておたずねしている質問では、あなた様ご自身がわからないことがありましたら、ご家族に聞いてご記入下さい。

・なお、「⑧⑨⑩=501」とか⑪などの記号は、コンピュータで処理するためのものですので、質問やお答えとは関係ありません。

ご記入いただきました調査票は　　日　　時ごろ　調査員の　　がいただきにあがりますので、よろしくお願いいたします。

第8989号（新）

2008年９月

| 支局番号 | | 地点番号 | | | 対象番号 | | パネル番号 | | | | | 調査員名 | 点検者名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 6 | | | | | | |

①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　・　・　・　・　・

社団法人　中央調査社

| 1 | ご家族についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．現在いっしょに住んでおられるご家族は、あなたを含めて全部で何人ですか。

□□ 人

（同じ屋根の下、または同一敷地内にお住まいのご家族は「いっしょに住んでいる」としてご記入下さい）

問２．ご家族１人１人について、あなたとの続き柄、性別、年齢、就学・就労状況、同居・別居の別、配偶関係をお知らせ下さい。（単身赴任や留学、進学、就職、結婚や入院などで別居しているお子さんも含めてご記入下さい）

| | あなたとの続き柄〔具体的にご記入下さい〕 | あなたとの続き柄（下記のコード表参照） | 性別 | 年齢（今年10月1日現在の満年齢） | 現在の就学・就労状況 | 同居 | 別居 | 配偶関係 独身 | 配偶関係 結婚している |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 未就学 / 小学1～3年 / 小学4～6年 / 中学生 / 高校生 / 短大・大学生 / 専門学校 / 仕事に就いている / 無職 / その他（具体的に） | | | | |
| 1 | あなた 本人 | 00 | 1 男 (2) 女 | □□ 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | | | | |
| 2 | あなたの＿＿ | □□ | 1 男 2 女 | □□ 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 3 | あなたの＿＿ | □□ | 1 男 2 女 | □□ 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 4 | あなたの＿＿ | □□ | 1 男 2 女 | □□ 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 5 | あなたの＿＿ | □□ | 1 男 2 女 | □□ 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 6 | あなたの＿＿ | □□ | 1 男 2 女 | □□ 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 7 | あなたの＿＿ | □□ | 1 男 2 女 | □□ 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 8 | あなたの＿＿ | □□ | 1 男 2 女 | □□ 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 9 | あなたの＿＿ | □□ | 1 男 2 女 | □□ 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 10 | あなたの＿＿ | □□ | 1 男 2 女 | □□ 歳 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 1 | 2 | 1 | 2 |

続き柄コード

| | | |
|---|---|---|
| 00 本人 | 05 子ども（第５子以下） | 10 孫 |
| 01 子ども（第１子） | 06 自分の父母 | 11 その他の親族 |
| 02 子ども（第２子） | 07 自分の祖父母 | 12 その他 |
| 03 子ども（第３子） | 08 自分の兄弟姉妹 | |
| 04 子ども（第４子） | 09 子どもの配偶者 | |



| 2 | あなたご自身のことについてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたご自身のきょうだいは何人いますか。

男 **0.8** 人

女（自分も含めて） **1.6** 人

問２．あなたの続き柄は次のうちのどれになりますか。

**72.0** 長女　**25.6** 次女　**2.4** その他

問３．あなたは、結婚したことがありますか。

**95.5** 結婚したことがない　**4.3** 結婚したことがある（離婚した）　**0.2** 結婚したことがある（死別した）

あなたが行かれた学校についてうかがいます。

問４．中学校は次のうちどれでしたか。

**90.4** 公立・国立の中学校　**9.6** 私立の中学校

問５．高等学校には行きましたか。

**95.9** 卒業した　**2.9** 中退した　**1.2** 行かなかった → （次ページの問６へ）

付問１．その高校は、公立・国立・私立のうちどれですか。

ST＝413

**69.0** 公立・国立　**31.0** 私立

付問２．普通科ですか。職業科ですか。

**80.1** 普通科高校　**1.9** 工業科高校
**8.5** 商業科高校　**9.4** その他の職業科高校

問６．専門学校・専修学校には行きましたか。（在学中を含む）

**21.5** 卒業した　**1.7** 中退した　**1.2** 在学中　**73.9** 行かなかった　**1.7** ＮＡ

（問７へ）

付問１．入学資格の制限はありましたか。
ST＝102

**4.9** 中卒（見込み）
**78.4** 高卒（見込み）
**10.8** 制限はなかった　**5.9** ＮＡ

付問２．どのような種類の課程ですか。

**4.9** 工業分野（建築、土木、電子工業、電気、機械、バイオ、コンピューター、自動車整備など）
**25.5** 医療分野（看護、臨床検査、診療放射線、歯科技工、歯科衛生、鍼灸、リハビリテーション、医療秘書など）
**9.8** 商業実務分野（ＯＡ、ワープロ、情報処理、会計、経理、簿記、秘書、法律、経営、観光、客室乗務員など）
**19.6** 衛生分野（栄養、調理、理容、美容など）
**12.7** 教育・社会福祉分野（保育士、教員養成、介護・福祉など）
**－** 農業・漁業分野（農業、畜産、園芸など）
**14.7** 文化・教養分野（美術、音楽、芸能・演劇、スポーツ、デザイン、書道、茶道、華道、外国語、英会話など）
**4.9** 服飾・家政分野（家政、家庭、和洋裁、料理、編物・手芸、ファッションビジネスなど）
**6.9** その他（　　）
**1.0** ＮＡ

付問３．在学中、経済的に親から独立していましたか（いますか）。生活費も学費も含めてお答え下さい。

**61.8** ほとんど親に出してもらっていた（もらっている）
**19.6** かなりの部分を親に出してもらっていた（もらっている）
**9.8** 一部親に出してもらっていた（もらっている）
**8.8** ほとんど親には出してもらわなかった（もらっていない）

---

問７．大学進学予備校には行きましたか。（在学中を含む）

**16.0** 行った　**0.2** 在学中　**83.5** 行かなかった　**0.2** ＮＡ

---

問８．短大・高専には行きましたか。（在学中を含む）

**11.7** 卒業した　**1.2** 中退した　**－** 在学中　**85.2** 行かなかった　**1.9** ＮＡ

（次ページの問９へ）

付問１．その短大・高専は私立・公立・国立のうちどれですか。
ST＝54

**83.3** 私立　**9.3** 公立　**5.6** 国立　**1.9** ＮＡ

付問２．専攻されたのは、次のどれですか。

**16.7** 文学・語学系
**33.3** 教育・保育・福祉系
**1.9** 法律・政治系
**3.7** 経済・経営・商業系
**5.6** 実務系（観光、秘書、情報処理など）
**7.4** 医療系（看護、歯科衛生など）
**1.9** 芸術系
**1.9** 工業系（建築、電子、機械など）
**22.2** 家政系（食物、被服、生活文化など）
**1.9** 体育系
**1.9** その他（　　）
**1.9** ＮＡ



付問３．在学中、経済的に親から独立していましたか（いますか）。生活費も学費も含めてお答え下さい。

**72.2** ほとんど親に出してもらっていた（もらっている）
**27.8** かなりの部分を親に出してもらっていた（もらっている）
**－** 一部親に出してもらっていた（もらっている）
**－** ほとんど親には出してもらわなかった（もらっていない）

---

問９．４年制大学（医・歯学部を含む）には行きましたか。（在学中を含む）

**39.2** 卒業した　**1.9** 中退した　**1.2** 在学中　**57.4** 行かなかった　**0.2** ＮＡ

（問 10 へ）

付問１．その大学は私立・公立・国立のうちどれですか。
ST＝177

**75.7** 私立　**7.3** 公立　**16.4** 国立　**0.6** ＮＡ

付問２．専攻されたのは、次のどれですか。

**28.2** 文学系
**10.2** 教育系
**6.8** 法律・政治系
**15.3** 経済・経営・商業系
**5.1** 芸術系
**9.0** 理学・工学系
**1.1** 家政・文系
**1.7** 家政・理系
**5.1** 医学・歯学・薬学系
**12.4** その他の文系（　　）
**4.5** その他の理系（　　）
**0.6** ＮＡ

付問３．在学中、経済的に親から独立していましたか（いますか）。生活費も学費も含めてお答え下さい。

**67.8** ほとんど親に出してもらっていた（もらっている）
**22.0** かなりの部分を親に出してもらっていた（もらっている）
**7.3** 一部親に出してもらっていた（もらっている）
**2.8** ほとんど親には出してもらわなかった（もらっていない）

---

問 10．大学院には行きましたか。（在学中を含む）

**2.4** 修了した　**－** 中退した　**0.2** 在学中　**96.9** 行かなかった　**0.5** ＮＡ

（問 11 へ）

付問１．その大学院は私立・公立・国立のうちどれですか。
ST＝11

**72.7** 私立　**9.1** 公立　**18.2** 国立

付問２．在学中、経済的に親から独立していましたか（いますか）。生活費も学費も含めてお答え下さい。

**36.4** ほとんど親に出してもらっていた（もらっている）
**45.5** かなりの部分を親に出してもらっていた（もらっている）
**9.1** 一部親に出してもらっていた（もらっている）
**9.1** ほとんど親には出してもらわなかった（もらっていない）

---

問 11．(1)あなたが最後に卒業した学校はどちらですか。（中退は卒業に含めないで下さい）

**3.8** 中学校
**27.3** 高等学校（大検・高卒認定）
**19.9** 専門学校・専修学校
**10.5** 短大
**－** 高専
**35.9** ４年制大学（医・歯学部を含む）
**2.4** 大学院
**－** その他（　　）
**0.2** ＮＡ

(2) その学校を卒業したのは何年ですか。

平成 [　　] 年　［例）平成 14 年３月に卒業は⟶ 平成 [1][4] 年］

(3) その学校を選んだのはどういう理由からですか。（○は１つ）

17.0 偏差値が合格ラインにあったから
40.2 将来つきたい職業にあっていたから
16.3 教養を身につけるため
－ 結婚の時の肩書きになるから
9.8 親や教師にすすめられたから
13.6 なんとなく　　3.1 NA

問 12. あなたは、次のような資格をお持ちですか。お持ちのものをお知らせ下さい。

（○はいくつでも）

| | | |
|---|---|---|
| － 医師、歯科医師 | － 弁護士 | 3.1 理容師、美容師 |
| 0.5 薬剤師 | － 司法書士 | 3.8 情報処理技術者 |
| 4.5 看護師、保健師 | － 行政書士 | － タクシーやバスなどの営業用運転免許 |
| 0.2 歯科衛生士 | － 社会保険労務士 | 8.9 英検２級程度以上 |
| 0.2 歯科技工士 | － 中小企業診断士 | 7.9 簿記（２級以上） |
| 0.5 臨床検査技師 | － 公認会計士 | 20.3 その他（　　） |
| 2.6 社会福祉士、介護福祉士 | － 税理士 | |
| 4.3 栄養士、調理師 | － 建築士 | |
| 10.5 教員 | 0.2 インテリア・コーディネーター | |
| 6.0 保育士 | － 消費生活アドバイザー | 37.8 持っていない |
| | | 3.8 NA |

問 13. あなたの塾・お稽古ごと経験についてうかがいます。
あなたは、小学生、中学生、高校生時代に、塾（家庭教師を含む）に通ったり、稽古ごと（授業料を払うもの）をしていましたか。次の４つの時期それぞれについてお答え下さい。

| | 塾にも稽古ごとにも通っていた | 塾にだけ通っていた | 稽古ごとだけしていた | どちらもしていなかった |
|---|---|---|---|---|
| (1) 小学校１～３年生の時 | 12.0 | 4.1 | 66.5 | 16.7<br>0.7 NA |
| (2) 小学校４～６年生の時 | 34.0 | 8.9 | 46.4 | 10.8 |
| (3) 中学生の時 | 29.9 | 39.0 | 9.1 | 21.8<br>0.2 NA |
| (4) 高校生の時（高校に行かなかった方は 15～17 歳のころ） | 8.6 | 17.2 | 11.7 | 60.5<br>1.9 NA |



## 3 あなたの居住歴についてうかがいます。

問１．あなたは、小・中学生の時どこに住んでいましたか。小・中学生の９年間で一番長く住んでいた県をお答え下さい。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4.1 | 北海道 | 11.7 | 東京都 | 1.0 | 滋賀県 | 0.5 | 香川県 |
| 1.9 | 青森県 | 5.0 | 神奈川県 | 2.2 | 京都府 | 1.2 | 愛媛県 |
| 1.7 | 岩手県 | 1.9 | 新潟県 | 9.1 | 大阪府 | 0.7 | 高知県 |
| 1.9 | 宮城県 | 0.7 | 富山県 | 4.1 | 兵庫県 | 4.1 | 福岡県 |
| 1.4 | 秋田県 | 1.2 | 石川県 | 0.7 | 奈良県 | 1.0 | 佐賀県 |
| 1.4 | 山形県 | 0.2 | 福井県 | 0.5 | 和歌山県 | 1.0 | 長崎県 |
| 1.4 | 福島県 | 1.2 | 山梨県 | 1.0 | 鳥取県 | 1.2 | 熊本県 |
| 1.4 | 茨城県 | 1.0 | 長野県 | 0.7 | 島根県 | 1.4 | 大分県 |
| 1.4 | 栃木県 | 1.2 | 岐阜県 | 1.0 | 岡山県 | 1.0 | 宮崎県 |
| 1.9 | 群馬県 | 2.6 | 静岡県 | 2.4 | 広島県 | 1.7 | 鹿児島県 |
| 4.5 | 埼玉県 | 5.7 | 愛知県 | 1.0 | 山口県 | 0.7 | 沖縄県 |
| 4.3 | 千葉県 | 0.7 | 三重県 | 0.7 | 徳島県 | 0.5 | 外国（　　） 0.2 NA |

問２．あなたは中学を卒業してから引っ越し（**結婚の際の転居も含みます**）をしたことがありますか。

46.9 あ る ↓　　49.3 な い ⟶（次ページの問１へ）　　3.8 NA

付問１．何回しましたか。

[1.1] 回

付問２．現在からさかのぼって５回までの引っ越しについて、以下の項目を記入して下さい。

| | 引っ越し時期 | 前の住所（前の住所が外国の場合は国名をご記入下さい） | 引っ越し理由 1 進学のため | 2 自分の初めての就職のため | 3 自分の転勤のため | 4 自分の転職のため | 5 結婚のため | 6 子どもが生まれたため | 7 親の転勤・転職のため | 8 家・マンションを購入したため | 9 公団など公営住宅に当たったため | 10 親から独立したため | 11 親と同居したため | 12 自分の通勤時間を短縮するため | 13 子育て・子どもの教育のため | 14 その他（具体的に） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一番最近の引っ越し ST=196 | 1 昭和 2 平成 [　][　]年[　][　]月 | 県 市郡 区町村 | 8.2 | 15.8 | 7.7 | 9.7 | － | － | 3.6 | 12.2 | 1.0 | 5.6 | 8.7 | 7.1 | 1.5 | 18.4（　） | 0.5 NA |
| その前の引っ越し ST=128 | 1 昭和 2 平成 [　][　]年[　][　]月 | 県 市郡 区町村 | 23.4 | 20.3 | 3.1 | 9.4 | 5.5 | 3.1 | 1.6 | 1.6 | － | 7.0 | 3.1 | 7.8 | － | 14.1（　） | |
| その前の引っ越し ST=64 | 1 昭和 2 平成 [　][　]年[　][　]月 | 県 市郡 区町村 | 28.1 | 18.8 | 1.6 | 7.8 | 6.3 | － | 1.6 | 3.1 | 1.6 | 7.8 | 6.3 | 6.3 | － | 10.9（　） | |
| その前の引っ越し ST=27 | 1 昭和 2 平成 [　][　]年[　][　]月 | 県 市郡 区町村 | 48.1 | 11.1 | － | 3.7 | － | 3.7 | － | 3.7 | 7.4 | 7.4 | － | 3.7 | － | 11.1（　） | |
| その前の引っ越し ST=9 | 1 昭和 2 平成 [　][　]年[　][　]月 | 県 市郡 区町村 | 22.0 | 11.1 | － | 11.1 | － | － | 22.2 | 11.1 | － | 11.1 | － | － | 11.1 | －（　） | |

| 4 | あなたの職業生活についておうかがいします。 |
|---|---|

問１．あなたは**現在（平成20年９月）**、仕事についていますか。

（仕事には、常勤従業員、パート、アルバイト、嘱託、自営、家族従業などすべて含みます。ただし、**学生アルバイトは除きます**。）

| **90.2** | **0.5** | **2.2** | **0.2** | **6.9** |
|---|---|---|---|---|
| 仕事についている | 休職中（仕事から離れているが、元の仕事に戻ることになっている状態） | 学　生 | 専業主婦 | その他の無職 |

付問１．休職の理由をお聞かせ下さい。ST＝2

－ 育児休業中　**100.0** 病気休業中
－ 介護休業中　－ その他〔具体的に〕（　　）

付問２．あなたは、**学校卒業以降**通算すると何年何カ月間仕事についていましたか。その合計期間をお答え下さい。（夜間・定時制の学校に通っていて仕事についていた方は、その期間も含めてお答え下さい）ST＝379

［　　］年［**6　2**］カ月間

９ページのＡへお進み下さい。

付問３．前の仕事をおやめになってから、仕事についていない期間はどれくらい続いていますか。（仕事の経験のない方は、**学校を卒業してからの期間**をお答え下さい）ST＝39

［　　］年［**2　7**］カ月間

付問４．あなたは将来仕事につくことを考えていますか。

| **41.0** | **15.4** | **28.2** | **10.3** | **5.1** |
|---|---|---|---|---|
| すぐにでも仕事をしたい | ２～３年後には仕事をしたい | 将来的には仕事をしたい | 考えていない | ＮＡ |

（次ページ付問７へ）

付問５．そのために何らかの活動をしていますか。（○はいくつでも）ST＝33

- **33.3** 具体的な求職活動をしている
- **30.3** そろそろ具体的な求職活動をしようと思っている
- **6.1** 職業訓練を受けている
- **6.1** そろそろ職業訓練を受けようと思っている
- **30.3** 漠然と考えているだけ

付問６．どれくらいの期間求職活動をなさっていますか。ST＝11

［　　］年［**4.4**］カ月間



付問７．あなたは、これまで、仕事についたことがありますか。
ST＝39

| **66.7** | **33.3** |
|---|---|
| 仕事についたことがある | 仕事についたことがまったくない |

（18ページの問10へお進み下さい）

付問８．あなたは、**学校卒業以降**通算すると何年何カ月間仕事についていましたか。その合計年数をお答え下さい。（夜間・定時制の学校に通っていて仕事についていた方は、その期間も含めてお答え下さい）ST＝26

［　　］年［**4 3.6**］カ月間

14ページのＢにお進み下さい。

| A | 現在の職業についておうかがいします。　ST＝379 |
|---|---|

問１．あなたの現在の職業は何ですか。**主たる**お仕事の内容を**具体的に**ご記入の上、○をつけて下さい。
お手数ですが、自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書き下さい。

（○は１つだけ）

**具体的に**

自営者・家族従業者・自由業
- －　農林漁業（自営者）
- **0.3**　農林漁業（家族従業者）
- **1.8**　小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者）
- **3.4**　小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者）
- **0.5**　自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など）

勤め
- **0.3**　管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など）
- －　専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など）
- **13.2**　技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など）
- **10.0**　教　員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など）
- **31.4**　事務職（一般事務、営業社員、銀行員など）
- **7.4**　技能・作業職（工員、警察官、電話交換手、データ入力作業者、運転士、配達員、職人など）
- **31.4**　販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、調理人、ウエイトレス、ホームヘルパーなど）
- －　自宅で賃仕事（内職）

〔13に○のついた方は12ページの問15へ〕

**〔問２～問19までは、問１で答えた主たる職業についてお答え下さい。〕**

問２．その勤め先の従業員は**会社全体**で何人くらいですか。
（注　従業員数には臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい。）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **8.7** | １～４人 | **14.0** | 10～29人 | **19.5** | 100～499人 | **21.6** | 1000人以上 |
| **8.4** | ５～９人 | **12.1** | 30～99人 | **4.5** | 500～999人 | **9.2** | 官公庁 |

**1.8**　ＮＡ

問３．その勤め先の業種は次のどれに該当しますか。（派遣社員の方は派遣元の業種についてお答え下さい）

- **0.3**　農林業
- －　漁業・水産業
- －　鉱業
- **1.3**　建設業
- **14.5**　製造業（出版、印刷を含む）
- **21.6**　卸売・小売業（デパート、スーパー、食堂、喫茶店を含む）
- **8.2**　金融・保険・不動産業
- **4.2**　運輸・通信業
- －　電気・ガス・水道・熱供給業
- **40.4**　サービス業（学校、病院、ホテル、映画館、理・美容店、広告代理店、清掃会社を含む）
- **8.7**　公務
- **0.5**　その他（具体的に　　）
- **0.3**　ＮＡ



問４．(1)　あなたの職務は次のどれですか。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **68.9** | **21.4** | **9.2** | **0.5** |
| 常勤の職員・従業者 | パート・アルバイト | 嘱託・その他 | ＮＡ |

(2)　あなたは労働者派遣事務所の派遣社員ですか。

| | | |
|---|---|---|
| **10.0**　派遣社員 | **87.9**　派遣社員ではない | **2.1**　ＮＡ |

問５．あなたの仕事の給与は、時給計算ですか、日給計算ですか。

| **68.3** 月給 | **0.3** 週給 | **2.6** 日給 | **25.6** 時給 | **2.4** その他 | **0.8** ＮＡ |
|---|---|---|---|---|---|

(1)　あなたは月にいくらぐらいこの仕事から収入を得ていますか。ST＝260
（残業手当を含む、ボーナスを含まない税引き前の収入）

月当たり　**20** 万 **5** 千円

(2)　日給はいくらですか。ST＝10
１日当たり　□万 **8 7 9 4** 円

(3)　時給はいくらですか。ST＝97
１時間当たり　□万 **1 0 4 6** 円

（その他）→（問６へ）

問６．実際に勤務する労働時間は通常**週に**どのくらいですか。
ST＝379

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **2.6** | 15時間未満 | **9.0** | 22～34時間 | **15.6** | 43～45時間 | **11.3** | 49～54時間 |
| **1.8** | 15～21時間 | **34.8** | 35～42時間 | **10.0** | 46～48時間 | **6.9** | 55～59時間 |
| **0.8** | ＮＡ | | | | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| **3.7** | 60～64時間 | | |
| **3.4** | 65時間以上 | | |

問７．(1)　給与の支払われている残業時間は**週に**どのくらいですか。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **31.4** | ０時間 | **13.2** | ４～５時間 | **3.7** | 11～15時間 | **1.1** | 21時間以上 |
| **24.0** | １～３時間 | **9.2** | ６～10時間 | **0.3** | 16～20時間 | **15.6** | 残業というものがない |
| **1.6** | ＮＡ | | | | | | |

(2)　給与の支払われていない、いわゆるサービス残業は**週に**どのくらいですか。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **42.5** | ０時間 | **8.2** | ４～５時間 | **4.7** | 11～15時間 | **1.3** | 21時間以上 |
| **17.2** | １～３時間 | **6.6** | ６～10時間 | **1.1** | 16～20時間 | **17.2** | 残業というものがない |
| **1.3** | ＮＡ | | | | | | |

問８．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に実際に勤務したのは何日ですか。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **1.3** | 50日未満 | **4.7** | 100～149日 | **5.0** | 175～199日 | **30.6** | 225～249日 |
| **1.6** | 50～99日 | **2.1** | 150～174日 | **11.3** | 200～224日 | **24.8** | 250～274日 |
| **1.8** | ＮＡ | | | | | | |

| | |
|---|---|
| **10.0** | 275～299日 |
| **6.6** | 300日以上 |

問９．現在勤めている会社等の創立時期はいつですか。
（注　公務員の方は創立時期にかかわりなく、「官公庁」に○をして下さい）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **8.7** | 戦　前 | **9.8** | 昭和30年代 | **14.8** | 昭和50年代 | **19.3** | 平成元年以降 |
| **5.5** | 昭和20年代 | **10.3** | 昭和40年代 | **7.4** | 昭和60～63年 | **9.5** | 官公庁 |

**14.8** ＮＡ

付問．それは何年ですか。

平成 [　　] 年

---

問10．(1)　有給休暇は１年間に何日ありますか。（前年度繰り越し分は除きます）

[ **15.0** ] 日　　**26.1**　有給休暇はない→（問11へ）

(2)　それでは**平成19年度（平成19年４月～平成20年３月）**に、あなたは合計で何日間有給休暇をとりましたか。ST＝280

[ **6.0**<br>**7.3** ] 日

---

問11．あなたの勤めている会社等には「育児休業制度」がありますか。

**ST＝379**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **35.4** | **11.1** | **9.5** | **16.4** | **27.2** |
| 会社等に制度があり、自分にも資格がある | 会社等に制度はあるが、自分には資格がない | 会社等に制度はあるが、自分には資格があるかどうかわからない | 会社等に制度がない | 会社等に制度があるかどうかわからない |
| ↓ | ↓ | ↓ | →（問12へ） | |

**0.5**　ＮＡ

付問１．あなたは、今勤めている会社等で、育児休業を取ったことがありますか。

**ST＝212**

| | | |
|---|---|---|
| **－** | **99.5** | **0.5** |
| ある | ない | ＮＡ |

付問２．あなたの勤めている会社等の中の周りの人で、育児休業を取った人、現在取っている人がいますか。

| | | |
|---|---|---|
| **73.1** | **25.5** | **1.4** |
| いる | いない | ＮＡ |

---

問12．あなたの勤めている会社等には「介護休業制度」がありますか。

**ST＝379**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **18.5** | **4.7** | **5.3** | **18.5** | **52.0** | **1.1** |
| 会社等に制度があり、自分にも資格がある | 会社等に制度はあるが、自分には資格がない | 会社等に制度はあるが、自分には資格があるかどうかわからない | 会社等に制度がない | 会社等に制度があるかどうかわからない | ＮＡ |
| ↓ | ↓ | ↓ | →（次ページ問13へ） | | |

付問１．あなたは、今勤めている会社等で、介護休業を取ったことがありますか。

**ST＝108**

| | | |
|---|---|---|
| **0.9** | **98.1** | **0.9** |
| ある | ない | ＮＡ |



付問２．あなたの勤めている会社等の中の周りの人で、介護休業を取った人、現在取っている人がいますか。

| | | |
|---|---|---|
| **21.3** | **77.8** | **0.9** |
| いる | いない | ＮＡ |

---

問13．あなたは雇用保険に加入していますか。　ST＝379

| | | | |
|---|---|---|---|
| **79.9** | **－** | **18.5** | **1.6** |
| 会社の雇用保険に加入している | 船員保険に加入している | どれにも加入していない | ＮＡ |

---

問14．(1)　あなたは、現在の会社等に、いつから勤めていますか。

平成 [　　] 年 [　　] 月から現在まで

(2)　なぜ、あなたは現在の会社等を選びましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **11.1** | 給与がよい | **5.0** | 将来発展する可能性がある |
| **12.4** | 休日、休暇が多い | **10.3** | 結婚・出産後も続けやすい |
| **7.7** | 拘束時間が少ない、労働時間が自由になる | **20.3** | 技術が身につく |
| **28.0** | 家に近い、通勤距離が短い | **20.1** | 能力が生かせる |
| **8.7** | 転勤がない、少ない | **43.0** | 仕事内容に興味がある |
| **19.0** | 安定している、失業のおそれがない | **13.2** | その他（具体的に　　） |

**2.1**　ＮＡ

---

問15．あなたは、現在の職種を、いつから続けていますか。

平成 [　　] 年 [　　] 月から現在まで

---

問16．あなたは、今の仕事に必要な知識や技能をどこで身につけましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **32.7** | 社内の研修で | **20.8** | 高専・短大・大学で |
| **29.0** | 社内の同僚から | **1.8** | 大学院で |
| **1.1** | 会社から学校に派遣されて | **13.2** | 前職の勤務により |
| **0.5** | 会社から他社に派遣されて | **15.3** | 独学で |
| **1.6** | 就職する前に公共の職業訓練校で | **6.1** | その他（具体的に　　） |
| **14.5** | 就職する前に専門学校などで | **12.4** | 特に身につけたことはない |
| **5.0** | 高校で | **1.1** | ＮＡ |

問17. **この１年間（平成19年10月～平成20年９月）に**、業務に係わる知識や技能を学ぶために、会社等から派遣されて研修会や講習会などに出席したことがありますか。

| **46.2** | **53.3** | **0.5** |
|---|---|---|
| ある | ない | ＮＡ |
| ↓ | →（問18へ） | |

付問１．どのような研修会・講習会の内容でしたか。（○はいくつでも）
ST＝175

- **61.1** あなたの勤めている会社等が主催した研修会・講習会
- **17.7** 地元の団体（商工会議所等）や同業組合などが主催した研修会・講習会
- **26.3** 関連企業（機械を購入した企業などを含む）が主催した研修会・講習会
- **22.3** 市や県など行政が主催した研修会・講習会
- **2.3** 大学、専門学校など
- **－** 留学
- **4.6** その他（具体的に　　）

付問２．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、すべて合わせて何日ぐらい研修会や講習会に参加しましたか。

| **9.1** | **49.7** | **20.6** | **13.7** | **4.0** | **1.7** |
|---|---|---|---|---|---|
| １日以内 | ２日～５日 | ６日～10日 | 11日～20日 | 21日～30日 | １カ月以上 |

**1.1** ＮＡ

付問３．研修会や講習会は就業時間内に行われましたか。

| **60.0** | **19.4** | **20.0** | **0.6** |
|---|---|---|---|
| 就業時間内で行われた | 就業時間外で行われた | 就業時間内・就業時間外両方で行われた | ＮＡ |

問18. あなたがしている仕事を、全くの新人がやれるようになるにはどれくらいの期間がかかりますか。
**ST＝379**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **5.8** | 今日からできる | **19.8** | ３カ月 | **3.4** | ４～５年 |
| **7.1** | 数日で | **13.7** | 半年 | **1.1** | ６～９年 |
| **6.3** | １～２週間で | **18.5** | １年 | **0.5** | 10年以上 |
| **11.6** | １カ月 | **10.0** | ２～３年 | **2.1** | ＮＡ |

問19. 現在の職業ははじめてついた仕事ですか。

（職業には、常勤の職員・従業員、パート・アルバイト、嘱託、自営、家族従業などすべて含みます。ただし、**学生アルバイトは除きます**。）

| **47.0** はじめて | **53.0** はじめてではない |
|---|---|
| ↓ | ↓ |
| 18ページ問10へお進み下さい | 次ページのＢをお答え下さい |





Ｂ　前職についておうかがいします。

前職とは……　現在勤め人の方は「現在の会社の１つ前の会社または職業」／現在自営の方は「現在の職業の１つ前の職業または会社」／現在無職の方は「一番最後についていた職業または会社」　です。

**ST＝227**

問１．あなたの前職は何ですか。お仕事の内容を**具体的に**ご記入の上、○をつけて下さい。お手数ですが、自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書き下さい。（○は１つだけ）

**具体的に**（　　）

自営者・家族従業者・自由業
- **－** 農林漁業（自営者）
- **－** 農林漁業（家族従業者）
- **0.4** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者）
- **－** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者）
- **－** 自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など）

勤め
- **－** 管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など）
- **0.4** 専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など）
- **4.8** 技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など）
- **5.7** 教　員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など）
- **25.6** 事務職（一般事務、営業社員、銀行員など）
- **10.6** 技能・作業職（工員、警察官、電話交換手、データ入力作業者、運転士、配達員、職人など）
- **47.1** 販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、調理人、ウエイトレス、ホームヘルパーなど）

- **0.9** 自宅で賃仕事（内職）
- **0.9** ＮＡ

〔13に○のついた方は15ページの問５へ〕

問２．前職の勤め先の従業員は**会社全体**で何人くらいでしたか。
（注　従業員数には臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい）ST＝223

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **7.2** | １～４人 | **17.5** | 10～29人 | **17.9** | 100～499人 | **14.3** | 1000人以上 | | |
| **9.0** | ５～９人 | **16.1** | 30～99人 | **5.4** | 500～999人 | **5.4** | 官公庁 | **7.2** | ＮＡ |

問３．前職の勤め先の業種は次のどれに該当しますか。（派遣社員の方は派遣元の業種についてお答え下さい）

- **－** 農林業
- **－** 漁業・水産業
- **－** 鉱業
- **2.7** 建設業
- **8.1** 製造業（出版、印刷を含む）
- **34.1** 卸売・小売業（デパート、スーパー、食堂、喫茶店を含む）
- **4.0** 金融・保険・不動産業
- **5.4** 運輸・通信業
- **0.4** 電気・ガス・水道・熱供給業
- **35.0** サービス業（学校、病院、ホテル、映画館、理・美容店、広告代理店、清掃会社を含む）
- **6.3** 公務
- **－** その他（具体的に　　）　**4.0** ＮＡ

問４．あなたの職務は次のどれでしたか。

| **39.5** | **38.1** | **22.4** |
|---|---|---|
| 常勤の職員・従業者 | パート・アルバイト | 派遣社員・嘱託・その他 |

問５．あなたが前職に従事したのは、いつからいつまででしたか。

平成 □□ 年 □□ 月から　　平成 □□ 年 □□ 月まで

問６．なぜ、あなたはその前職を選びましたか。（○はいくつでも）
ST＝227

**20.3** 給与がよい
**10.6** 休日、休暇が多い
**9.3** 拘束時間が少ない、労働時間が自由になる
**26.0** 家に近い、通勤距離が短い
**5.7** 転勤がない、少ない
**8.8** 安定している、失業のおそれがない
**3.5** 将来発展する可能性がある
**2.2** 結婚、出産後も続けやすい
**14.5** 技術が身につく
**16.7** 能力がいかせる
**42.3** 仕事内容に興味がある
**8.8** その他（具体的に　　）
**6.2** ＮＡ

問７．どのような理由で、あなたはその前職をやめたのですか。（○はいくつでも）

**4.8** 人員整理・会社解散・倒産のため
**7.0** 一時的・不安定な仕事だったから
**25.1** 労働条件（収入、時間）が悪かったため
**23.3** 仕事の内容に不満があったため
**0.4** 家族の就職・転職・転勤及び事業所の移転のため
**1.3** 結婚のため
**1.8** 妊娠・出産、育児のため
**11.9** 自分が病気になったから
**1.3** 家族の介護のため
**14.5** 良い条件の仕事が見つかったから・独立したから
**14.5** 人間関係が気まずくなったから
**1.8** 解雇された
**4.4** 大学や専門学校などでの勉強や留学準備のため
**10.1** 定年又は雇用契約の満了
**－** その他（具体的に　　）　**5.7** ＮＡ

問８．やめた時、雇用保険の失業給付を受給しましたか。

**13.2** 受給した ⟶ **3.7** カ月
**49.8** 受給しなかった
**30.0** 雇用保険には入っていなかった
**7.0** ＮＡ





C　はじめての職業（初職）についておうかがいします。

問１．はじめてついた職業は、次のうちどれに該当しますか。 ST＝227

**41.4** Bで答えた「前職」である
⇒（18ページの問10へお進み下さい）

**55.5** Aの「現在の職業」でもBの「前職」でもない
⇒以下の質問にお答え下さい

**3.1** ＮＡ

問２．あなたがはじめてついた職業は何ですか。お仕事の内容を**具体的に**ご記入の上、○をつけて下さい。お手数ですが、自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書き下さい。
ST＝126　（○は１つだけ）

**具体的に**（　　）

自営者・家族従業者・自由業
－ 農林漁業（自営者）
**0.8** 農林漁業（家族従業者）
－ 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者）
**0.8** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者）
－ 自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など）

勤め
－ 管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など）
－ 専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など）
**4.8** 技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など）
**2.4** 教　員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など）
**18.3** 事務職（一般事務、営業社員、銀行員など）
**7.9** 技能・作業職（工員、警察官、電話交換手、データ入力作業者、運転士、配達員、職人など）
**55.6** 販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、調理人、ウエイトレス、ホームヘルパーなど）
**0.8** 自宅で賃仕事（内職）

〔13に○のついた方は次ページの問６へ〕

問３．その勤め先の従業員は**会社全体**で何人くらいでしたか。
（注　従業員数には臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい）
ST＝125

**10.4** １～４人　**15.2** ５～９人　**18.4** 10～29人　**12.0** 30～99人　**14.4** 100～499人　**0.8** 500～999人　**12.8** 1000人以上　**3.2** 官公庁　**12.8** ＮＡ

問４．その勤め先の業種は次のどれに該当しますか。（派遣社員の方は派遣元の業種についてお答え下さい）

**0.8** 農林業
**0.8** 漁業・水産業
**－** 鉱業
**－** 建設業
**4.0** 製造業（出版、印刷を含む）
**36.8** 卸売・小売業（デパート、スーパー、食堂、喫茶店を含む）
**4.0** 金融・保険・不動産業
**4.0** 運輸・通信業
**－** 電気・ガス・水道・熱供給業
**37.6** サービス業（学校、病院、ホテル、映画館、理・美容店、広告代理店、清掃会社を含む）
**3.2** 公務
**－** その他（具体的に　　）　**8.8** ＮＡ

問５．あなたの職務は次のどれでしたか。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **35.2** | **53.6** | **8.0** | **3.2** |
| 常勤の職員・従業者 | パート・アルバイト | 派遣社員・嘱託・その他 | ＮＡ |

問６．はじめてついた職業に従事したのは、いつからいつまででしたか。

平成 □□ 年 □□ 月から　平成 □□ 年 □□ 月まで

問７．どのような理由で、あなたははじめての職業を選びましたか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **15.9** | 給与がよい | **7.1** | 将来発展する可能性がある |
| **3.2** | 休日、休暇が多い | **0.8** | 結婚、出産後も続けやすい |
| **6.3** | 拘束時間が少ない、労働時間が自由になる | **15.9** | 技術が身につく |
| **34.1** | 家に近い、通勤距離が短い | **8.7** | 能力がいかせる |
| **1.6** | 転勤がない、少ない | **30.2** | 仕事内容に興味がある |
| **10.3** | 安定している、失業のおそれがない | **15.9** | その他（具体的に　　） |
| | | **8.7** | ＮＡ |

問８．どのような理由で、あなたははじめての職業をやめたのですか。（○はいくつでも）

| | |
|---|---|
| **3.2** | 人員整理・会社解散・倒産のため |
| **4.0** | 一時的・不安定な仕事だったから |
| **23.0** | 労働条件（収入、時間）が悪かったため |
| **16.7** | 仕事の内容に不満があったため |
| **1.6** | 家族の就職・転職・転勤及び事業所の移転のため |
| **1.6** | 結婚のため |
| **1.6** | 妊娠・出産、育児のため |
| **9.5** | 自分が病気になったから |
| **－** | 家族の介護のため |
| **15.1** | 良い条件の仕事が見つかったから・独立したから |
| **16.7** | 人間関係が気まずくなったから |
| **2.4** | 解雇された |
| **7.1** | 大学や専門学校などでの勉強や留学準備のため |
| **4.8** | 定年又は雇用契約の満了 |
| **15.1** | その他（具体的に　　） |

**9.5** ＮＡ

問９．あなたは、これまでに、いくつの勤務先に勤めたことがありますか。

常勤従業員、パート、アルバイト、嘱託、自営、家族従業などをすべて含みます。（**学生アルバイトは除きます**）自営・家族従業も勤務先の１カ所と数えて下さい。現在の勤務先も含めて下さい。同じ企業内の転勤・出向や教員の配置がえは転職に含みません。派遣先が変わっても派遣元が同じなら、数に入れないでください。

**2.2**
**2.3** カ所



**〔全員の方に〕**

問10．あなたが、仕事についていたかどうかを、あなたが満18歳の時から昨年までの１年ごとにお答え下さい。

１年間に複数の形態があった場合は、もっとも長いものでお答え下さい。

回答する際のメモとしてご利用ください

| 平成・西暦 | メ モ | | 仕事についていた：自由業 自営業・家族従業・ | 仕事についていた：勤め 常勤の職員・従業者 | 仕事についていた：勤め パート・アルバイト | 仕事についていた：勤め その他 嘱託・派遣社員・ | 仕事についていた：自宅で仕事（内職） | 学生 | 無職 | ＮＡ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （　　）年 | | 18 歳→ | **1.2** | **6.9** | **9.1** | **1.2** | **0.2** | **77.3** | **3.6** | **0.5** |
| （　　）年 | | 19 歳→ | **1.4** | **9.8** | **14.1** | **2.2** | **0.2** | **67.9** | **3.3** | **1.0** |
| （　　）年 | | 20 歳→ | **2.2** | **17.0** | **15.6** | **2.4** | **0.2** | **58.4** | **3.8** | **0.5** |
| （　　）年 | | 21 歳→ | **2.6** | **24.4** | **17.0** | **4.8** | **0.7** | **45.0** | **4.8** | **0.7** |
| （　　）年 | | 22 歳→ | **2.4** | **34.9** | **17.9** | **6.7** | **0.5** | **32.3** | **4.8** | **0.5** |
| （　　）年 | | 23 歳→ | **3.1** | **51.4** | **18.9** | **11.2** | **－** | **8.6** | **6.2** | **0.5** |
| （　　）年 | | 24 歳→ | **3.3** | **52.2** | **19.4** | **11.5** | **－** | **6.5** | **5.0** | **2.2** |
| （　　）年 | | 25 歳→ | **5.3** | **50.2** | **18.5** | **13.5** | **－** | **3.8** | **4.7** | **4.1** |
| （　　）年 | | 26 歳→ | **5.8** | **49.1** | **18.1** | **14.2** | **－** | **3.5** | **4.9** | **4.4** |
| （　　）年 | | 27 歳→ | **5.7** | **47.5** | **18.4** | **17.1** | **－** | **1.9** | **4.4** | **5.1** |
| （　　）年 | | 28 歳→ | **7.7** | **53.8** | **11.5** | **19.2** | **－** | **－** | **3.8** | **3.8** |

この部分は便宜上ですので、回答が終わったら消していただいても結構です。

| 5 | あなたのご両親についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたの父親の最終学歴は次のうちどれですか。（中退は卒業に含めないで下さい）

**12.9** 中学校（旧制小学校・高等小学校）　**1.4** 短大　**3.1** 大学院
**40.9** 高等学校（旧制中学）　**1.2** 高専　**－** その他
**8.4** 専門学校・専修学校　**28.5** ４年制大学　（　　）**3.6** ＮＡ

問２．あなたの父親はご健在ですか。

**93.8** 健　在　→　ST＝392
付問１．何歳ですか。　**57.3** 歳

**5.3** 既に死亡している　**1.0** ＮＡ
付問２．いつお亡くなりになりましたか。
**1** 昭和
**2** 平成　　年

付問３．あなたの父親は現在職業をお持ちですか。　ST＝392

**89.3** 職業を持っている　→
付問４．（1）　あなたの父親のご職業は何ですか。具体的にご記入の上、○をつけて下さい。　ST＝418（○は１つだけ）

**8.4** 職業を持っていない　**1.8** わからない　**0.5** ＮＡ　→
付問４．（2）　あなたの父親の現役の頃のご職業は何でしたか。具体的にご記入の上、○をつけて下さい。（○は１つだけ）

お手数ですが、自営・自由業等の方も会社にお勤めの方も「○○を作っている」、「○○を売っている」、「スーパーのレジ係」、「トラック運転手」など職業の内容を具体的にお書き下さい。

具体的に（　　）

自営者・家族従業者・自由業
**2.4** 農林漁業（自営者）
**0.2** 農林漁業（家族従業者）
**18.7** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（自営者）
**1.9** 小規模〔９人以下〕の商業・工業・サービス業（家族従業者）
**1.9** 自由業（開業医、弁護士、著述業、宗教家、茶華道・舞踊の教授など）

勤め
**13.2** 管理職（会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上など）
**1.4** 専門職（病院勤務医師、研究員、大学助手以上、裁判官など）
**7.9** 技術職（技術者、プログラマー、看護師、栄養士など）
**3.1** 教　員（小・中・高校、専修学校、各種学校、幼稚園、保育園など）
**11.0** 事務職（一般事務、営業社員、銀行員など）
**24.2** 技能・作業職（工員、警察官、運転士、配達員、職人など）
**8.4** 販売サービス職（店員、外交員、理・美容師、調理人、ウエイター、ホームヘルパーなど）
**－** 自宅で賃仕事（内職）
**0.5** 無　職　**3.8** ＮＡ　〔13、14に○のついた方は20ページの問３へ〕

付問５．その勤め先の従業員は**会社全体**で何人くらいですか。（でしたか）
（注　従業員数には臨時職員・アルバイトは除きます。公務員の方は従業員数にかかわりなく「官公庁」に○をして下さい。）

ST＝400
**22.5** １～４人　**9.0** 10～29人　**11.8** 100～499人　**15.5** 1000人以上
**7.0** ５～９人　**9.8** 30～99人　**4.5** 500～999人　**10.3** 官公庁　**9.8** ＮＡ

付問６．父親の職務は次のどれですか。（でしたか）
**81.5** 常勤の職員・従業者　**2.3** パート・アルバイト　**8.3** 派遣社員・嘱託・その他　**8.0** ＮＡ



問３．あなたの母親の最終学歴は次のうちどれですか。（中退は卒業に含めないで下さい）

**6.5** 中学校（旧制小学校・高等小学校）　**16.3** 短大　**0.2** 大学院
**50.2** 高等学校（旧制中学）　**0.5** 高専　**－** その他
**13.4** 専門学校・専修学校　**10.0** ４年制大学　（　　）
**2.9** ＮＡ

問４．あなたの母親はご健在ですか。

**97.1** 健　在　→
付問１．何歳ですか。ST＝406　**54.3** 歳

**2.2** 既に死亡している　**0.7** ＮＡ　→
付問２．いつお亡くなりになりましたか。
**1** 昭和
**2** 平成　　年

問５．あなたが生まれてから20歳になるまでの間に、あなたの母親は外に働きに出たことがありますか。あればその期間をお知らせ下さい。（自営・家族従業の仕事は除いてお答え下さい）

| **23.4** | **17.9** | **17.2** | **12.2** | **27.0** | **2.2** |
|---|---|---|---|---|---|
| 外に働きに出たことはない | ５年未満 | ５年以上10年未満 | 10年以上15年未満 | 15年以上 | ＮＡ |

問６．あなたの親の**昨年１年間（平成19年１月～平成19年12月）**の収入額（税込み額）はおおよそいくらぐらいですか。勤め先からの収入、事業収入、社会保障給付、財産収入などを合計し、あてはまる金額に○をして下さい。

| **18.2** | **16.5** | **22.0** | **15.6** | **8.4** | **2.2** | **3.1** | **－** | **14.1** |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 249万円以下 | 250～499万円 | 500～749万円 | 750～999万円 | 1000～1249万円 | 1250～1499万円 | 1500万円以上 | 自分の両親は死亡 | ＮＡ |

問７．あなたは**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に親からお金をもらったことがありますか。（もらっていない方は「０もらわない」に○をつけて下さい。）

**2.6** 仕送りとして　**5 0** 万円　**85.9** もらわない　**11.5** ＮＡ

**23.0** こづかいとして　**1 0** 万円　**73.7** もらわない　**3.3** ＮＡ

問８．あなたは、**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**にあなたの親から金融資産や実物資産をもらったことがありますか。もらった場合はその価値をご記入下さい。

| | 金融資産 | 実物資産 |
|---|---|---|
| 生前贈与として | **95.0** もらったことはない<br>**2.9** もらったことがある<br>その現在の価値 **1 1 7** 万円 | **95.9** もらったことはない<br>**1.0** もらったことがある<br>その現在の価値 **5 8** 万円 |
| 遺産として | **94.7** もらったことはない<br>**0.5** もらったことがある<br>その現在の価値 **5 0 1** 万円 | **93.3** もらったことはない<br>**0.2** もらったことがある<br>その現在の価値 **2** 万円 |

問９．あなたの親から将来相続を受けることになると思いますか。（○は１つだけ）

**42.1** 思　う　　**56.2** 思わない　　**－** 自分の両親は死亡　　**1.7** ＮＡ

問10．あなたは、今後、あなたの親に経済的援助をするつもりですか。（○は１つだけ）

**13.4** 現在している　　**52.2** 今後、する予定　　**33.5** 現在していないし、する予定はない　　**1.0** ＮＡ

問11．あなたは、今後、あなたの親のお世話（家事、介護、訪問）をするつもりですか。（○は１つだけ）

**6.0** 現在している　　**70.8** 今後、する予定　　**21.8** 現在していないし、する予定はない　　**1.4** ＮＡ





| ６ | 家計についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなた、及びあなた以外の世帯員の方がいらっしゃればその方が、**昨年１年間（平成19年１月～平成19年12月）**に得た収入は、財産収入、社会保障給付、親からの仕送りなども含め、全体でいくらでしたか。次の①～⑤の区分でお答え下さい。**（該当する収入がない場合は「０　該当なし」に○をして下さい）**

| | ST＝405 あなたの**年収** | ST＝325 あなた以外の世帯員の方全員の**年収** |
|---|---|---|
| ①┌ **勤め先の収入** | **211.4**<br>**244.0** 万円 | **558.8**<br>**706.4** 万円 |
| （勤め人の税込み年収） | **8.6** 該当なし | **17.2** 該当なし |
| ② **事業収入** | **2.6**<br>**166.7** 万円 | **79.5**<br>**519.9** 万円 |
| （自営者の税込み年収） | **91.9** 該当なし | **69.8** 該当なし |
| ③ **財産収入（昨年１年分）**<br>（預貯金利子、株式配当、家賃、地代など） | **0.9**<br>**48.7** 万円 | **37.5**<br>**271.9** 万円 |
| | **91.6** 該当なし | **71.1** 該当なし |
| ④ **社会保障給付（昨年１年分）**<br>（児童手当、失業給付、年金など）<br>（社会保障給付は振り込み口座の名義人の収入として下さい） | **1.3**<br>**33.3** 万円 | **25.5**<br>**148.7** 万円 |
| | **89.6** 該当なし | **68.3** 該当なし |
| ⑤ **その他の収入（昨年１年分）**<br>（親からの仕送り・こづかい、養育費など） | **4.5**<br>**25.2** 万円 | **0.6**<br>**77.5** 万円 |
| | **76.8** 該当なし | **81.8** 該当なし |
| 合　　計 | **230.7**<br>**237.0** 万円 | **702.0**<br>**797.2** 万円 |
| | **2.5** 該当なし | **9.8** 該当なし |

〔この欄に記入された方に〕

付問．その方はどなたですか。（該当する方すべてに○）

ST＝238　**83.6** 父　**58.8** 母　**10.5** 祖父母　**35.7** 兄弟姉妹　**－** あなたの子ども　**3.4** その他（　　）　**2.1** ＮＡ

問２．あなた、及びあなた以外の世帯員の方がいらっしゃればその方がお支払いになった税金（所得税、住民税など）と社会保険料（健康保険料、公的年金保険料、雇用保険料など）の合計は**昨年１年間（平成19年１月～平成19年12月）**でいくらでしたか。**（支払わなかった場合は「０支払いなし」に○をして下さい）**

| あなたの税金・社会保険料 | | あなた以外の世帯員の方全員の税金・社会保険料 | |
|---|---|---|---|
| **32.3**<br>**39.9** | 万円 | **105.5**<br>**125.8** | 万円 |
| **14.4** | 支払いなし | **8.2** | 支払いなし |

問３．(1) **現在、あなたご自身**は、どのような公的医療保障制度に加入していますか。
（１～６に○を１つ、１～４の場合は、さらに１か２に○を１つ）

**60.8** 会社の健康保険 → ST=254（**82.3** あなた自身が加入　**7.9** ご家族の保険に加入　**7.8** NA）
**25.6** 国民健康保険 → ST=107（**56.1** あなた自身が加入　**34.6** ご家族の保険に加入　**9.3** NA）
**－** 船員保険 → ST=－（**－** あなた自身が加入　**－** ご家族の保険に加入　**－** NA）
**6.9** 共済保険・共済制度 → ST=29（**86.2** あなた自身が加入　**10.3** ご家族の保険に加入　**3.4** NA）
**－** 医療扶助
**2.4** どれにも加入していない → 〔(2)へ〕
**1.9** 不明　　**2.4** NA

(2) あなたご自身は**現在**、公的年金制度（国民年金、厚生年金、共済年金）にどのような資格で加入していますか。（○は１つだけ）

**17.5** 第１号被保険者（第２号、第３号以外の方：自営業者や自営業者の妻など）
※国民年金の保険料納付を免除（一部免除を含む）されている方も含みます。
**63.9** 第２号被保険者（厚生年金や共済組合の加入者：会社員、団体職員、公務員など）
※育児休業制度取得により保険料納付を免除されている方も含みます。
**1.7** 第３号被保険者（主婦などで第３号被保険者の届けを市町村に出している方：会社員、団体職員、公務員などの夫に扶養されている妻）
**6.7** 加入していない（第３号被保険者でも年金保険料納付を免除されているのでもなく、保険料を支払っていない方）　**10.3** NA

問４．**この９月の手取り収入**（収入総額から税金、社会保険料を差し引いた額）はどれくらいですか。
（ボーナス、臨時の給与は除きます）

９月の**手取り収入**　**48.4** 万円　　**10.5** な　し

問５．(1) 次のもののうち、**あなた自身の親**から一部でも出してもらっているものはありますか。
（○はいくつでも）

| **0.2** | **8.1** | **26.6** | **0.5** | **4.3** | **66.5** | **2.9** |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 住宅ローン返済 | 家賃、地代 | 生活費 | 子どものための費用（教育費、服、その他の費用など） | その他〔具体的に　　〕 | 出してもらっているものはない → (次ページへ) | NA |

(2) **あなた自身の親**から出してもらっている金額は月に合計いくらぐらいですか。ST=118

月に　**4** **万** **1** 千円



問６．あなたは、**この９月**の収入を親に渡しましたか。

**48.3** 渡さなかった
**41.4** 一部渡した → 付問１．いくら渡しましたか。ST=173 → **3** 万 **2** 千円
**0.5** すべて渡した → 付問２．あなた自身の生活費やこづかいはもらいましたか。ST=2
　**100.0** もらった → 付問３．いくらもらいましたか。 → **4** 万 **5** 千円
　**－** もらわなかった → (問７へ)
**8.4** 収入がなかった
**1.4** NA

問７．**この９月に、あなたの財布から**（親に渡した分を除く）、どのように支出なさいましたか。
（現金を支払ったものの他、クレジット・ローンで購入したもの、銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）から自動的に引き落とした分も含みます）
**（支出がなかったものについては０と記入して下さい）** ST=375

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| a）食料（外食・給食代も含みます） | **1** **2** | 万 | **9** **1** | 千円 |
| b）家賃・地代・住宅の修繕（住宅ローンは含みません） | **1** **4** | 万 | **4** **5** | 千円 |
| c）電気・ガス・水道（上・下） | | 万 | **3** **9** | 千円 |
| d）家具・家事用品（寝具はこちらに含みます） | | 万 | **1** **7** | 千円 |
| e）衣類・はき物 | **1** **2** | 万 | **7** **4** | 千円 |
| f）保健医療（栄養ドリンク・健康食品も含みます） | | 万 | **3** **8** | 千円 |
| g）交通（自動車購入費用・ガソリン代・定期代なども含みます） | **1** **1** | 万 | **2** **6** | 千円 |
| h）通信（郵便・電話代・インターネットなど） | **1** | 万 | **8** **1** | 千円 |
| i）教育（授業料・受験や補習用の塾・教科書・参考書など） | **2** | 万 | **3** **0** | 千円 |
| j）教養・娯楽（受験・補習塾以外の習い事、教養・娯楽用の耐久財はこちらに含みます） | **1** | 万 | **7** **8** | 千円 |
| k）交際 | **1** **2** | 万 | **5** **1** | 千円 |
| l）家族への小遣い | **3** | 万 | **3** **2** | 千円 |
| m）その他の支出 | **1** **2** | 万 | **0** **4** | 千円 |
| (1) 支　出（計）（a～mの合計） | **1** **1** **1** **1** | 万 | **4** **6** | 千円 |
| (2) 貯　　蓄 | **2** **4** | 万 | **4** **3** | 千円 |
| (3) ローンの返済 | **3** | 万 | **7** **5** | 千円 |
| 総　　額　((1)～(3)の合計) | **1** **1** **4** **4** | 万 | **5** **8** | 千円 |

| 7 | 子育てについてうかがいます。 |
|---|---|

〔問１は未就学児のお子さんがいらっしゃる方にお聞きします。いらっしゃらない方は問２へ。〕

問１．あなたは、そのお子さんのために認可保育所、無認可保育所、幼稚園、ベビーシッター・家政婦、親戚・知人などによる育児サービスを利用していますか。

ST＝12

**75.0** 利用している　　**25.0** 利用していない → （問２へ）

付問．次の(1)～(6)のそれぞれについて、利用している未就学児の人数をお答え下さい。また、利用している場合は、**この９月にかかった費用**をご記入下さい。利用している未就学児が２人以上いらっしゃる方は**未就学児全員の合計費用**をお答え下さい。

| | 〔利用している未就学児の人数〕 | | 〔費　用〕 | |
|---|---|---|---|---|
| (1) 認可保育所（市区町村へ申し込んだもの） | **1.0**<br>**1.3** | 人 | **3.8**<br>**17.0** | 千円 |
| (2) 無認可保育所（ベビーホテルや家庭保育室、勤務先の保育施設など） | －<br>－ | 人 | －<br>－ | 千円 |
| (3) 幼稚園 | **0.2**<br>**1.0** | 人 | **3.2**<br>**14.5** | 千円 |
| (4) ベビーシッター・家政婦 | －<br>－ | 人 | －<br>－ | 千円 |
| (5) その他（家庭で、家族や同居していない親族・知人にみてもらう場合の費用など） | －<br>－ | 人 | －<br>－ | 千円 |
| (6) 合　　計 | **1.2**<br>**1.2** | 人 | **7.0**<br>**15.8** | 千円 |

↑ 上記のいずれかのサービスを利用している未就学児の人数をご記入下さい。

〔問２は小学校６年生までのお子さんがいらっしゃる方にお聞きします。〕

問２．**児童手当**給付は受けていますか。（なお、児童手当は小学校６学年までの児童が対象であり、３歳未満の場合は一律月額10,000円で、３歳以上は第１子・第２子に月額5,000円、第３子以降に月額10,000円が、２月、６月、10月にまとめて支給されるものです）

ST＝14

**78.6** 受けている　　**21.4** 受けていない　　**－** 知らない



〔全員の方に〕

問３．あなたには、平成２年４月２日以降に生まれたお子さんがいらっしゃいますか。

**3.6** いる　　**94.3** いない → （次ページへ）　　**2.2** NA

付問１．ひとり親世帯などが受給できる**児童扶養手当**は受給していますか。（○は１つだけ）

ST＝15

**40.0** 全部受給　　**6.7** 一部受給　　**40.0** 受けていない　　**－** 知らない　　**13.3** NA

付問２．８月の支給額はいくらですか。

**ST＝7**

**1　2** 万　**3　3　2　0** 円

〔問４～問５は15歳以下（中学生まで）のお子さんがいらっしゃる方にお聞きします。〕

問４．**現在**、あなた以外に子どもの世話をしてくれる人がいますか。（○はいくつでも）

**ST＝14**

**50.0** あなたの親
**21.4** あなたのきょうだい
**28.6** 友人
**7.1** 近所の人
**42.9** 保育所・幼稚園・学童保育など
**－** ベビーシッター・家政婦など
**－** 子どもの父親
**14.3** その他（具体的に　　）
**7.1** 特に世話をしてくれる人はいない
**7.1** 特に世話をしてもらう必要はない
**7.1** NA

問５．**現在**、育児や子育てについて相談できる方はいますか。（○はいくつでも）

**71.4** あなたの親
**21.4** あなたのきょうだい
**71.4** 友人
**7.1** 近所の人
**14.3** 医師、助産婦、保育士、保健師などの専門家
**－** 子どもの父親
**14.3** その他（具体的に　　）
**－** 特に相談できる人はいない
**－** 特に相談する必要はない
**7.1** NA

| 8 | 貯蓄と資産についてうかがいます。 |
|---|---|

貯蓄を「預貯金」と「有価証券」に分けてお聞きします。

● 預貯金とは、次のようなものをいいます。

郵便局（ゆうちょ銀行）の定額・定期・積立貯金、通常貯金
銀行、信用金庫などの定期預金・定期積金、普通預金
社内預金、金投資口座、金貯蓄口座、中期国債ファンドなど

● 有価証券とは、次のようなものをいいます。

株式（時価）、債券（額面）、株式投資信託（時価）、
公社債投資信託（時価）、貸付信託・金銭信託（額面）など

問１．あなたは、預貯金や有価証券をどのくらいお持ちですか。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 預貯金 | (1) 現在預貯金をお持ちですか。 | **67.9** 私個人のものとして預貯金がある | **30.6** な い → ((3)へ)　**1.4** ＮＡ |
| | 預貯金をお持ちの場合 (2) 現在の預貯金の額はどのくらいですか。ST＝284 | ST＝284 **143.2** 万円 | |
| 有価証券 | (3) 現在有価証券をお持ちですか。 | **5.5** 私個人のものとして有価証券がある | **90.9** な い → (次ページへ)　**3.6** ＮＡ |
| | 有価証券をお持ちの場合 (4) 現在の有価証券の額はどのくらいですか。ST＝23 | ST＝23 **102.4** 万円 | |
| | 有価証券をお持ちの場合 (5) この1年間（平成19年10月～平成20年9月）に有価証券を購入しましたか。(購入後売却した場合も購入額に含めます) | **69.6** 購入した | **26.1** 購入しなかった　**4.3** ＮＡ |
| | 有価証券をお持ちの場合 (6) この1年間（平成19年10月～平成20年9月）に有価証券を売却しましたか。(売却後購入した場合も売却額に含めます) | **17.4** 売却した | **73.9** 売却しなかった　**8.7** ＮＡ |



問２．(1)あなたが現在考えておられる貯蓄の合計目標額はいくらぐらいですか。

□ 億　**648.8** / **652.3** 万円

(2)あなたはどのような目的で貯蓄なさっていますか。下にあげてある目的のために貯蓄をしている場合は「あり」に○、していない場合は「なし」に○をおつけ下さい。

(3)次に、(2)で「あり」とお答えいただいた貯蓄のそれぞれについて、どのくらいの貯蓄額を目標にしているかをご記入下さい。

| | (2) 貯蓄目的 | (3) 貯蓄目的のあるものについて 貯蓄目標額 |
|---|---|---|
| (a) 耐久消費財の購入資金に | **8.6** あり<br>**82.8** なし<br>**8.6** ＮＡ | □ 億 **78.2** 万円 |
| (b) レジャー資金に | **29.9** あり<br>**61.2** なし<br>**8.9** ＮＡ | □ 億 **61.8** 万円 |
| (c) 結婚資金に | **47.6** あり<br>**45.7** なし<br>**6.7** ＮＡ | □ 億 **171.3** 万円 |
| (d) 病気、災害、その他不時の出費に備えるため | **30.9** あり<br>**60.5** なし<br>**8.6** ＮＡ | □ 億 **94.1** 万円 |
| (e) マイホーム(土地を含む)の取得(建て替え、買い替えを含む)のため | **5.7** あり<br>**84.7** なし<br>**9.6** ＮＡ | □ 億 **651.3** 万円 |
| (f) 子どもの教育費に | **3.8** あり<br>**87.1** なし<br>**9.1** ＮＡ | □ 億 **410.7** 万円 |
| (g) 子どもの結婚資金に | **1.0** あり<br>**89.5** なし<br>**9.6** ＮＡ | □ 億 **266.7** 万円 |
| (h) 老後の生活に備えるため | **17.2** あり<br>**73.0** なし<br>**9.8** ＮＡ | □ 億 **811.2** 万円 |
| (i) 独立自営のための資金に | **4.1** あり<br>**86.6** なし<br>**9.3** ＮＡ | □ 億 **400.7** 万円 |
| (j) 特に目的はないが貯蓄をしていれば安心だから | **58.4** あり<br>**34.0** なし<br>**7.7** ＮＡ | □ 億 **239.5** 万円 |
| (k) 遺産として残すため | **1.2** あり<br>**88.8** なし<br>**10.0** ＮＡ | □ 億 **250.0** 万円 |
| (l) その他〔具体的に〕（　　） | **5.0** あり<br>**73.0** なし<br>**22.0** ＮＡ | □ 億 **637.4** 万円 |

問３．あなたは、次の保険にどのくらい保険料を払っていますか。

（注　保険には簡易保険、郵便年金、生命保険、個人年金保険、積立型損害保険、障害保険、学資保険などを含みます）

| あなたが保険料の払い込み人となっている保険（該当するものに○をつけ、その保険料をご記入下さい。） | | |
|---|---|---|
| 保険の種類 加入しているもの | 昨年１年間（平成19年１月～12月）の保険料 | これまで払い込んだ保険料の合計額 |
| ↓ **25.6** 掛け捨てタイプの保険 | ST＝107 **6.6** 万円 | |
| **21.3** 積立タイプの保険 | ST＝89 **11.9** **12.2** 万円 | **57.6** |
| **52.4** 私が払い込み人となっている保険はない | **5.0** ＮＡ | |

**（次のページにお進みください）**

| 9 | 住宅についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．現在お住まいの住居は、次のどれになりますか。

**61.0** 一戸建て
**1.7** 連棟戸建て（テラスハウスなど）
**27.0** 鉄筋・鉄骨マンション（集合住宅）
**9.8** 木造アパート（集合住宅）
**0.2** その他（具体的に　　）
**0.2** ＮＡ



問２．お宅の住居の所有関係は次のどれになりますか。（親など家族名義の場合は自己所有としてお答え下さい）

**55.3** 持ち家一戸建（敷地は自己所有）
**5.3** 持ち家マンション（敷地は区分所有）
**3.1** 持ち家一戸建、マンション（敷地は借地）
**29.4** 民間の賃貸住宅
**2.4** 公営・公団・公社などの賃貸住宅
**4.1** 社宅・寮（借上げ社宅を含む）
**－** その他（　）**0.5** ＮＡ
→（次ページの問３へ）

下の「Ａ敷地」「Ｂ住宅」の両方をお答え下さい。

下の「Ｂ住宅」をお答え下さい。（マンションの場合は敷地も込みでお答え下さい）

付問１．家賃は月額いくらですか。
十一 ST＝150
**5** 万 **7** 千円

付問２．使用している部屋（居住室）の数はいくつですか。ダイニングキッチンは居住室に含めます。ただし、流しなどの部分を除いた広さが3畳にみたない場合は含めません。
合計 **2.4** 室
→（次ページの問３へ）

Ａ 敷　地

付問３．その敷地はいつ取得（贈与・相続を含む）しましたか。
**1** 昭和
**2** 平成
　　年

付問４．敷地面積はどのくらいですか。ST＝231
**259.2** m²

付問５．敷地はどなたの名義になっていますか。共同名義の場合、あてはまるすべての名義人の方をお答え下さい。 ST＝231
**0.4** あなた本人
**86.6** 親
**12.1** その他（具体的に　　）
**0.9** わからない　**3.5** ＮＡ

（付問５で「１」とお答えの方に）ST＝1
付問６．どのように取得しましたか。
**－** すべて自己資金（ローンを含む）で購入した
**－** 親から一部資金援助してもらった
**100** 親との共同名義で購入した
**－** 親から贈与された
**－** 親から相続した
**－** その他（　　）

付問７．敷地の現在の市場価格（売るとした場合の価格）はいくらくらいと思いますか。おおよそで結構です。ST＝231
　　億 **2187.8** 万円

Ｂ 住　宅

付問８．その住宅はいつ取得（贈与・相続を含む）しましたか。
**1** 昭和
**2** 平成
　　年

付問９．延べ床面積はどのくらいですか。ST＝266
（畳２枚＝１坪＝3.3m²）
**121.6** m²

付問10．使用している部屋（居住室）の数はいくつですか。ダイニングキッチンは居住室に含めます。ただし、流しなどの部分を除いた広さが３畳にみたない場合は含めません。
合計 **5.9** 室

付問11．建築の時期はいつ頃ですか。
**1** 明治　**3** 昭和
**2** 大正　**4** 平成
　　年

付問12．住宅はどなたの名義になっていますか。共同名義の場合、あてはまるすべての名義人の方をお答え下さい。
**1.1** あなた本人 ST＝266
**71.4** 親
**7.5** その他（具体的に　　）
**1.1** わからない　**22.2** ＮＡ

（付問12で「１」とお答えの方に）
付問13．どのように取得しましたか。
**－** すべて自己資金（ローンを含む）で購入した
**33.3** 親から一部資金援助してもらった
**33.3** 親との共同名義で購入した
**－** 親から贈与された
**－** 親から相続した
**－** その他（　　）**33.3** ＮＡ

付問14．住宅の現在の市場価格（売るとした場合の価格）はいくらくらいと思いますか。おおよそで結構です。
　　億 **1271.8** 万円

〔全員の方に〕

問３．親との居住状況について、次のように分類した場合、どれにあてはまりますか。

**68.4** 親と同一建物で、生計を共にしている（同居世帯）
**2.9** 親と同一建物で、生計が別（準同居世帯）
**0.5** 親と同一敷地内の別建物に居住（準同居世帯）
→ （問５へ）

**1.9** 同一町丁内または１km以内に親が居住（近隣地域居住）
**1.4** （区のある18大都市居住者）同一区内に親が居住
**2.6** （その他の市部、郡部居住者）同一市町村内に親が居住
**7.7** 同一都道府県内に親が居住
**14.1** 上記１～７地域以外に親が居住
**－** 親は全員死亡 ―→ （次ページの問６へ）　**0.5** NA

付問．親が現在お住まいの住居は、次のどれになりますか。父親、母親それぞれについてお答え下さい。 ST＝116

| | 父親 | 母親 |
|---|---|---|
| 一戸建・持ち家（敷地は自己所有・区分所有） | **72.4** | **65.5** |
| 一戸建・持ち家（敷地は借地） | **2.6** | **3.4** |
| マンション・持ち家 | **5.2** | **7.8** |
| 民間の賃貸住宅 | **5.2** | **3.4** |
| 公営・公団・公社などの賃貸住宅 | **5.2** | **5.2** |
| 社宅・寮（借上げ社宅を含む） | **2.6** | **2.6** |
| 介護施設・有料老人ホーム・ケア付きの高齢者住宅など | **－** | **－** |
| その他（具体的に　　） | **0.9** | **1.7** |
| 死亡 | **4.3** | **1.7** |
| | **1.7** NA | **8.6** NA |

〔問３で「４」～「８」と答えた方に〕

問４．あなたは、親元で暮らす予定はありますか。あるいは、親元で暮らしたいと思いますか。
（○は１つだけ）

**2.6** 暮らす予定がある
**2.6** 今すぐ暮らしたいと考えている
**17.2** いずれは暮らしたいと考えている
**28.4** 今は考えていないが、以前は考えたことがある
**42.2** 考えたことはない　　**6.9** NA

〔問３で「１」～「３」と答えた方に〕

問５．あなたは、親元を離れる予定はありますか。あるいは、親元を離れたいと思いますか。
ST＝300
（○は１つだけ）

**15.7** 離れる予定がある
**1.3** 今すぐ離れたいと考えている
**52.3** いずれは離れたいと考えている
**9.0** 今は考えていないが、以前は考えたことがある
**20.0** 考えたことはない
**1.7** NA



〔全員の方に〕

問６．あなたは**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、自分で住んだり、セカンドハウスとして利用するために土地・住宅を購入しましたか。（新築や親との共同名義のものも含みます）

| **0.2** 土地のみを購入した | **－** 家屋のみを購入した | **－** 土地と家屋両方を購入した | **－** マンションを購入した | **99.3** 購入しなかった |
|---|---|---|---|---|

**0.5** NA　→ （問７へ）

付問．その購入価格はいくらでしたか。（家屋のみ、マンションの場合は「家屋」のみに、土地のみの場合は「土地」のみにご記入下さい）

ST＝1

| | | | |
|---|---|---|---|
| 家　屋 | 億 | －　万円 | |
| 土　地 | 億 | －　万円 | |
| 合　計 | 億 | －　万円 | **100.0** NA |

問７．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなたが自分で住んだり、セカンドハウスとして利用していた土地または住宅を売却しましたか。（親との共同名義のものも含みます）

| **－** 土地のみを売却した | **－** 家屋のみを売却した | **－** 土地、家屋両方を売却した | **－** マンションを売却した | **98.6** 売却しなかった |
|---|---|---|---|---|

**1.4** NA　→ （次ページの問８へ）

付問．その売却価格はいくらでしたか。（家屋のみ、マンションの場合は「家屋」のみに、土地のみの場合は「土地」のみにご記入下さい）

ST＝－

| | | | |
|---|---|---|---|
| 家　屋 | 億 | －　万円 | |
| 土　地 | 億 | －　万円 | |
| 合　計 | 億 | －　万円 | |

問８．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなたが自分で住んだり、セカンドハウスとして利用していた住宅を増築または改築しましたか。（親との共同名義のものも含みます）

| **－** | **0.7** | **98.6** | **0.7** |
|---|---|---|---|
| 増築した | 改築した | どちらもしなかった → (問９へ) | ＮＡ |

付問．その費用はいくらでしたか。**ST=3**

□ 億 **9 7** 万円

問９．あなたは、今住んでいる家、セカンドハウス**以外に**、例えば他人に貸すために土地・建物などの不動産を所有していますか。（親との共同名義のものも含みます）

| **0.2** | **－** | **0.5** | **0.5** | **97.8** | **1.0** |
|---|---|---|---|---|---|
| 土地のみを所有している | 建物のみを所有している | 土地、建物両方を所有している | マンションを所有している | 所有していない → (問10へ) | ＮＡ |

付問．所有している不動産の現在の市場価格（売るとした場合の価格）は合計でいくらぐらいですか。

ST＝5

□ 億 **7 1 3** 万円

問10．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、あなたは、今住んでいる家やセカンドハウス**以外に**、土地・建物を購入しましたか。（新築や親との共同名義のものも含みます）

| **－** | **－** | **－** | **－** | **99.0** | **1.0** |
|---|---|---|---|---|---|
| 土地のみを購入した | 建物のみを購入した | 土地、建物両方を購入した | マンションを購入した | 購入しなかった → (問11へ) | ＮＡ |

付問．その購入価格はいくらでしたか。ST＝－

□ 億 **－** 万円

問11．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、自分たちで住んだり、セカンドハウスとして利用していた土地・建物**以外**の土地・建物を売却しましたか。（親との共同名義のものも含みます）

| **0.2** | **－** | **－** | **－** | **98.1** | **1.7** |
|---|---|---|---|---|---|
| 土地のみを売却した | 建物のみを売却した | 土地、建物両方を売却した | マンションを売却した | 売却しなかった → (37ページへ) | ＮＡ |

付問．その売却価格はいくらでしたか。ST＝1

□ 億 **3 1 0** 万円

**（次のページにお進みください）**

| 10 | 住宅ローンについてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたは、**現在**、住宅ローンに関する借入れをなさっていますか。

**0.7** 借入れをしている ↓　　**98.8** していない →（39ページへ）　　**0.5** ＮＡ

付問１．**現在の**借入れ残高の総額および**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**の返済総額はいくらですか。（借り替えも含みます）

ST＝3

借入れ残高総額 **7 5 3** 万円　　**この１年間**の返済総額 **8 7 8 7** 万円

－ この１年間は返済しなかった

付問２．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に新たに借入れをしましたか。（借り替えも含みます）

ST＝3

－ し た →　新規借入れ額 **－** 万円

**100.0** しなかった

付問３．**現在の**借入れについて、以下の項目にご記入下さい。
「①借りた目的」「②借入先」は、次ページのコード表からあてはまる「コード番号」をご記入下さい。

| ①借りた目的（01～06のコード番号記入） | ②借入先（11～16のコード番号記入） | ③現在の借入れ残高（合計） | ④この一年間の返済額（合計） |
|---|---|---|---|
| | | 千 百 十 一<br>0 万円 | 百 十 一<br>0 万円<br>**0** この1年間は返済しなかった |
| | | 千 百 十 一<br>0 万円 | 百 十 一<br>0 万円<br>**0** この1年間は返済しなかった |
| | | 千 百 十 一<br>0 万円 | 百 十 一<br>0 万円<br>**0** この1年間は返済しなかった |



コード表

① 借りた目的

01 借り替え
02 土地の購入
03 （土地も含む）の購入
04 建物の建築
05 増改築
06 別荘の購入

② 借入先

07 銀行など金融機関
08 住宅金融支援機構・年金融資・財形融資
09 公団融資・自治体融資などの公的融資
10 社内融資
11 親
12 その他

問２．返済総額は、あなたにとって、どの程度負担に感じていますか。（○は１つだけ）

**66.7** 特に問題はない
**33.3** やや負担である
－ かなり負担である
－ 苦しい

| 11 | 住宅ローン以外のローンについておうかがいします。 |
|---|---|

問１．あなたは、**現在**借入れ（住宅ローンを除く、自動車ローン・消費者ローン・キャッシングなど）をなさっていますか。

**17.0** 借入れをしている → 付問１へ

**82.5** していない → (41ページの問３へ)

**0.5** ＮＡ

付問１．**現在の**借入れ残高の総額および**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**の返済総額はいくらですか。ST＝71

借入れ残高総額 **9 4** 万円

**この１年間**の返済総額 **3 9 4 0** 万円

**1.4** この１年間は返済しなかった

付問２．**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に新たに借入れをしましたか。

ST＝71

**26.8** し た → 新規借入れ額 **5 5** 万円（ST＝19）

**69.0** しなかった **4.2** ＮＡ

付問３．**現在の**借入れについて、以下の項目にご記入下さい。

「①借りた目的」「②借入先」「③そこで借りた理由」は、次ページのコード表からあてはまる「コード番号」をご記入下さい。

「③そこで借りた理由」は１カ所の借入先それぞれについて最大の理由１つを選んでご記入下さい。

| ①借りた目的（01～11のコード番号記入） | ②借入先（21～29のコード番号記入） | ③そこで借りた理由（31～45のコード番号記入） | ④現在の借入れ残高（合計） | ⑤この一年間の返済額（合計） |
|---|---|---|---|---|
| | | | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 **0** この1年間返済しなかった |
| | | | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 **0** この1年間返済しなかった |
| | | | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 **0** この1年間返済しなかった |
| | | | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 **0** この1年間返済しなかった |
| | | | 千 百 十 一 万円 | 百 十 一 万円 **0** この1年間返済しなかった |





コード表

① 借りた目的

ST＝71

01 事業用の資金（事業用の自動車の購入、事業用借金の返済等、事業のための借入はここに含む）
02 乗用車の購入
03 家具・家電などの耐久消費財の購入
04 衣類・身の回り品・食料品などの購入
05 趣味・レジャー・交際費として
06 教育費
07 結婚費用
08 病気・不慮の事故
09 家族の生活費の補填
10 借金の返済
11 その他

② 借入先

21 銀行など金融機関・郵便局（ゆうちょ銀行）
22 社内融資
23 銀行系クレジット会社（ＪＣＢ、ＶＩＳＡ、ＵＣなど）
24 信販会社（日本信販、ジャックス、ライフなど）
25 消費者金融会社（アコム、武富士、プロミス、レイクなど）
26 流通関連会社（丸井、クレディセゾン、オーエムシーカードなど。およびデパート各社）
27 親
29 その他

③ そこで借りた理由

31 そこでしか借りられなかった
32 手続きが簡単だった
33 時間的に一番早く借りられた
34 営業時間が長く、夜も開いていた
35 土曜・日曜にも借りられた
36 金利が低かった
37 その機関の人から熱心に勧められた
38 友人・知人に勧められた
39 借入れできるカードを持っていた
40 返済方法が簡単そうだった
41 たまたま近くにあった
42 有名で信頼できると思った
43 気軽に借りられるから
44 金融機関から借金をしたくなかった
45 その他

問２．返済総額は、あなたにとって、どの程度負担に感じていますか。（○は１つだけ）

ST＝71

**25.4** 特に問題はない
**53.5** やや負担である
**12.7** かなり負担である
**4.2** 苦しい
**4.2** ＮＡ

〔全員の方に〕

問３．あなたは、これまでに借入れをしたかったのに、断られたことがありますか。（○はいくつでも）

| 3.6 | 0.5 | 95.0 | 1.2 |
|---|---|---|---|
| 断られたことがある | 認められたが減額されたことがある | な　い | ＮＡ |

問４．あなたは、これまでに借入れをしたかったのに、断られることを見込んで最初からあきらめたことがありますか。

| 3.3 | 95.2 | 1.4 |
|---|---|---|
| 最初からあきらめたことがある | な　い | ＮＡ |

問５．あなたは、今後、新規に、または追加して借入れをなさるおつもりがありますか。

| 1.2 | 69.6 | 28.2 | 1.0 |
|---|---|---|---|
| 借入れのつもりがある | な　い | わからない | ＮＡ |

→（次ページへ）

付問１．その場合、借入れ先としてどの機関を考えますか。下の９つの中から、あなたが考える順に３つを選び、番号を□にご記入下さい。**ST=5**

| | 1位 | 2位 | 3位 |
|---|---|---|---|
| 60.0 | 銀行など金融機関・郵便局 | 20.0 | － |
| － | 住宅金融公庫・年金融資・財形融資・公団融資・自治体融資などの公的融資 | 20.0 | － |
| － | 社内融資 | － | － |
| 20.0 | 銀行系クレジット会社（JCB、VISA、UCなど） | 40.0 | 20.0 |
| 20.0 | 信販会社（日本信販、ｼﾞｬｯｸｽ、ﾗｲﾌなど） | 20.0 | 20.0 |
| － | 消費者金融会社（ｱｺﾑ、武富士、ﾌﾟﾛﾐｽ、ﾚｲｸなど） | － | 20.0 |
| － | 流通関連会社（丸井、ｸﾚﾃﾞｨｾｿﾞﾝ、ｵｰｴﾑｼｰｶｰﾄﾞなど。およびﾃﾞﾊﾟｰﾄ各社） | － | － |
| － | その他（具体的に　　） | － | － |
| － | わからない | － | － |
| － | ＮＡ | － | 40.0 |

付問２．その機関での借入れをお考えになるのはどのような理由からですか。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 40.0 | 手続きが簡単 | 40.0 | 秘密保持に安心できる |
| － | 営業時間が長く、夜も開いている | － | アフターサービスが良い |
| － | 土曜・日曜も利用できる | 60.0 | 有名で信頼できる |
| 40.0 | 金利が低い | 20.0 | その他（具体的に　　） |
| 20.0 | 担保、保証人等が必要ない | | |





| 12 | クレジットカードを利用した飲食や買い物などについてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたはクレジットカードをご利用ですか。

（注）クレジットカードの具体例
・銀行系クレジットカード（ＪＣＢ、ＶＩＳＡ、ＵＣなど）
・信販会社（日本信販、ジャックス、ライフなど）
・消費者金融会社（アコム、武富士、プロミス、レイクなど）
・流通関連会社（丸井、クレディセゾン、オーエムシーカードなど。およびデパート各社）

| 53.8 | 21.1 | 24.6 | 0.5 |
|---|---|---|---|
| 利用している | カードは持っているがほとんど利用していない | カードは持っていない | ＮＡ |

→（次ページへ）

付問１．支払名義人別に何枚ずつお持ちですか。

ST＝225

| | あなたの名義 | 親の名義 |
|---|---|---|
| | 2.4 枚 | 3.5 枚 |

（支払名義人それぞれについて）
付問２．クレジットカードを利用するにあたって、何か制約条件をつけていますか。該当するものに○をつけて下さい。（**○は２つまで**）

| | | |
|---|---|---|
| (1) | 利用金額の限度を月に２万円位までと決めている…… | 15.3 / 3.2 |
| (2) | 利用金額の限度を月に５万円位までと決めている…… | 13.1 / 3.2 |
| (3) | 利用金額の限度を月に10万円位までと決めている…… | 11.3 / － |
| (4) | 月々の返済金額の限度を決めている… | 9.0 / 6.5 |
| (5) | 利用する店や、利用する物・サービスを決めている…… | 25.2 / 32.3 |
| (6) | その他（具体的に　　）… | 1.8 / － |
| (7) | 特に制約を設けていない …… | 35.6 / 0.9 ＮＡ / 51.6 / 6.5 ＮＡ |

（あなたの名義のカードについて）
付問３．現在、これから決済される（引き落とされる）利用残高はいくらくらいありますか。

ST＝222

| | |
|---|---|
| 残　高 …… | 9.7 万円 |
| 残高はあるが覚えていない…… | 28.8 |
| 残高はない…… | 10.4 |
| わからない…… | 13.5 |

## 13 家庭電気製品などについてうかがいます。

問１．現在、あなた自身は次のものをいくつ保有していますか、その台数を記入して下さい。持っていない場合は、０をご記入下さい

| | | | |
|---|---|---|---|
| 5.5 | 自動食器洗い機 ……→ | 1.0 | 台 |
| 8.9 | 衣類乾燥機 ……→ | 1.0 | 台 |
| 61.0 | ルームエアコン ……→ | 1.2 | 台 |
| 71.3 | カラーテレビ ……→ | 1.2 | 台 |
| 62.4 | パソコン ……→ | 1.1 | 台 |
| 97.8 | 携帯電話（ＰＨＳも含む）……→ | 1.2 | 台 |
| 44.5 | 乗用車 ……→ | 1.1 | 台 |





## 14 生活上の出来事とその対応についてうかがいます

問１．あなたやあなたのご家族に起こった大きな出来事についてうかがいます。

(1) あなたが、中学を卒業してから現在までの間で、あなたやあなたのご家族に次のような大きな出来事がありましたか。（○はいくつでも）

((1) で○のついた大きな出来事のそれぞれについて)

(2) その結果どのようなことが起こりましたか。あなたが覚えている限りで、次の中からいくつでもお答え下さい（○はいくつでも）

| | 手術や長期療養を要する…… | ような重い病気 | 登校拒否、うつ病など…… | 精神的な問題 | 大きな事故や災害…… | 定年などによる退職…… | 希望退職や失業…… | 多重債務・倒産・破産…… | 離婚・別居…… | 転勤や単身赴任…… | 家出や行方不明…… | 死亡…… | どれもなかった…… |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 20.6 | | 16.5 | | 5.0 | 10.0 | 20.6 | 2.4 | 8.9 | 8.6 | 1.7 | 13.6 | 41.1 |
| ST＝ | 86 | | 69 | | 21 | 42 | 86 | 10 | 37 | 36 | 7 | 57 | 1.0 |
| | ↓ | | ↓ | | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | NA |
| 収入や資産が低下した…… | 10.5 | | 11.6 | | 19.0 | 54.8 | 53.5 | 50.0 | 16.2 | 8.3 | 28.6 | 10.5 | |
| 大きな費用がかかった…… | 47.7 | | 10.1 | | 42.9 | － | 3.5 | － | 5.4 | 25.0 | － | 15.8 | |
| 世話(介護・看病など)が大変だった… | 37.2 | | 7.2 | | 9.5 | － | － | － | － | － | 14.3 | 17.5 | |
| 家族内の人間関係がうまくいかなくなった… | 8.1 | | 27.5 | | 14.3 | 2.4 | 4.7 | 20.0 | 29.7 | 2.8 | 28.6 | 3.5 | |
| あなた自身が精神的に落ち込んだ… | 38.4 | | 75.4 | | 42.9 | － | 18.6 | 30.0 | 35.1 | 13.9 | － | 50.9 | |
| 転居した…… | 1.2 | | 8.7 | | 14.3 | － | 7.0 | 10.0 | 40.5 | 30.6 | 14.3 | 1.8 | |
| 進学をあきらめたり、休学・退学をした… | 2.3 | | 10.1 | | － | 2.4 | 1.2 | 10.0 | 8.1 | － | － | － | |
| 離婚・別居など家族がわかれた…… | 2.3 | | 5.8 | | 4.8 | － | － | 20.0 | 75.7 | 8.3 | 14.3 | 1.8 | |
| 自分が新たに働き始めた…… | 3.5 | | 7.2 | | － | － | 19.8 | 10.0 | 21.6 | 8.3 | 14.3 | 1.8 | |
| 家族のだれかが新たに働き始めた… | － | | 4.3 | | － | 9.5 | 8.1 | － | 10.8 | － | － | 1.8 | |
| 親戚や友人に経済的援助を頼んだ… | 5.8 | | 5.8 | | 4.8 | － | 1.2 | 20.0 | 8.1 | － | － | 3.5 | |
| 土地や家屋を売った…… | － | | － | | 4.8 | 2.4 | － | － | 2.7 | － | － | 1.8 | |
| 金融機関などから借金をした…… | － | | 1.4 | | 9.5 | － | 1.2 | 30.0 | 5.4 | － | － | － | |
| 専門機関で治療や相談をした…… | 18.6 | | 40.6 | | 4.8 | － | 3.5 | － | 8.1 | － | － | 5.3 | |
| 宗教関係者に相談した…… | － | | 1.4 | | － | － | 1.2 | 10.0 | － | － | － | － | |
| その他（具体的に　　）… | 1.2 | | 1.4 | | 4.8 | － | － | － | － | － | － | 1.8 | |
| とくに変化はなかった…… | 16.3 | | 4.3 | | 19.0 | 33.3 | 19.8 | 10.0 | 5.4 | 38.9 | 14.3 | 22.8 | |
| ＮＡ | 1.2 | | 2.9 | | － | 2.4 | 1.2 | － | 2.7 | － | － | 7.0 | |

（次ページへ）

| 15 | 生活行動についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたの生活時間についてうかがいます。
日常の生活行動を次の６つに分けた場合、通常の平日、休日にそれぞれ合計でおおよそ何時間費やしていますか。（10分単位でご記入下さい）
同時に複数のことをした場合は、主なもののほうでお答え下さい。

| | ST＝387 平日 | | ST＝386 休日 | |
|---|---|---|---|---|
| (1)通勤・通学 | 時間 | 53<br>58 分 | 1 時間 | 10<br>02 分 |
| (2)仕　事 | 7<br>8 時間 | 55<br>39 分 | 1<br>5 時間 | 00<br>52 分 |
| (3)勉　学 | 1 時間 | 27<br>52 分 | 2 時間 | 25<br>01 分 |
| (4)家事・育児 | 1 時間 | 57<br>48 分 | 1<br>2 時間 | 28<br>30 分 |
| (5)趣味・娯楽・交際など | 2<br>3 時間 | 51<br>19 分 | 8<br>8 時間 | 07<br>23 分 |
| (6)上記以外の睡眠、食事、入浴、身の回りの用事など | 10<br>10 時間 | 57<br>57 分 | 12<br>12 時間 | 50<br>50 分 |
| | 計　２４時間 | | 計　２４時間 | |

問２．あなたは１週間に何日休みの日がありますか。
（週に２日休みの場合は2.0日とお答え下さい。
隔週の休みは0.5と換算して下さい。）

11 • 99 日

**8.9**　仕事についていない

（次ページへ）

問３．あなたは何曜日が休みですか。（隔週休みの場合は休みとしてお答え下さい。）

ST＝381

| **62.5** | **4.5** | **3.9** | **3.1** | **3.1** | **2.6** | **53.5** | **31.8** |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 決まっていない |

**0.5**　ＮＡ



問４．あなたは**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に１泊２日以上の旅行をしましたか。（夜行日帰りは１泊２日には含みません）

**国内**

(1)　観光旅行（レクリエーション・スポーツなどのための旅行を含みます）

**30.6**　しなかった　　**68.2**　した　　**1.2**　ＮＡ

(2)　帰省・訪問などの旅行

**63.9**　しなかった　　**31.3**　した　　**4.8**　ＮＡ

(3)　業務出張・研修・その他の業務関連

**70.8**　しなかった　　**18.9**　した　　**6.5**　この１年間は仕事についていない　　**3.8**　ＮＡ

**海外**

(4)　観光旅行（レクリエーション・スポーツなどのための旅行を含みます）

**77.8**　しなかった　　**20.1**　した　　**2.2**　ＮＡ

(5)　帰省・訪問などの旅行

**94.5**　しなかった　　**1.4**　した　　**4.1**　ＮＡ

(6)　業務出張・研修・その他の業務関連

**87.3**　しなかった　　**2.4**　した　　**6.5**　この１年間は仕事についていない　　**3.8**　ＮＡ

| 16 | 自己啓発についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたは**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に各種学校、専門学校、大学、通信教育などで受講しましたか。会社から派遣されたものは除いてお答え下さい。

**12.4** 受講した　　**87.3** 受講しなかった　　**0.2** ＮＡ

（次ページへ）

付問１．通ったのはどのような学校ですか。（通信教育を含む）（○はいくつでも）

ST＝52

**26.9** 各種学校
**7.7** 職業訓練学校
**－** 高等学校
**17.3** 専門学校・専修学校
**－** 短大・高専
**11.5** 大学（卒業を目的とする）
**1.9** 大学（科目履修、聴講生、研究生など）
**1.9** 大学（通信部、放送大学）
**1.9** 大学院
**34.6** その他（具体的に　　）

付問２．この１年間に、その学校を卒業しましたか。

**40.4** 卒業した・修了した　　**57.7** 卒業しない・修了しない　　**1.9** ＮＡ

付問３．受講した理由をお聞かせ下さい。**（○は２つまで）**

**34.6** これまでの仕事を発展させるために役立ちそうな知識や資格などを得るため
**61.5** これからの仕事に役立ちそうな知識や資格を得るため
**1.9** 進学の準備のため
**25.0** 教養を身につけるため
**9.6** 高度な勉強がしたいから
**9.6** 自分の視点を作りたいから
**5.8** 芸術・芸能・趣味を高めるため
**－** 健康・体力作りのため
**7.7** 時間を充実させるため
**5.8** 打ち込めるものがほしいから
**5.8** 家庭・日常生活に関する知識や技能を得るため
**3.8** 社会貢献（ボランティア等）のための知識や技能を得るため
**3.8** その他（具体的に　　）

付問４．その費用はどなたが負担しましたか。（○はいくつでも）

**65.4** 自分自身
**5.8** 勤め先
**26.9** 自分の親
**5.8** 教育訓練給付制度
**3.8** その他の公的な助成
**－** その他（具体的に　　）

付問５．（勤務先または、公的な助成を除いて）**あなた自身が、またはあなたの家族が**負担した費用（授業料や教材費）は**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**でいくらでしたか。（交通費は除きます）

**4 2 4 7** 万円　　**11.5** な　し



| 17 | お子さんについてうかがいます。 |
|---|---|

**〔問１、問２は全員の方にお聞きします〕**

問１．将来、子どもは（もっと）欲しいですか。

**67.2** 是非、欲しい
**18.7** 条件によっては欲しい
**12.7** 欲しくない
**1.4** ＮＡ

付問１．その条件とは何ですか。
**ST＝78**　（○はいくつでも）
**73.1** 生活費に余裕ができたら
**9.0** 住居が広くなったら
**28.2** 仕事を続けられるなら
**56.4** 夫や家族が協力してくれるなら
**21.8** 保育所や保育ママさんなどの社会制度が利用できれば
**16.7** その他（具体的に　　）
**1.3** ＮＡ

付問２．なぜ欲しくないのですか。
**ST＝53**　（○はいくつでも）
**41.5** 結婚したくないから
**37.7** 自分自身の生活を大切にしたいから
**22.6** 仕事を続けたいから
**13.2** 結婚をしても夫との２人の生活を大切にしたいから
**24.5** 子どもが嫌いだから
**22.6** 教育費・養育費の負担が大きそうだから
**47.2** 子どもを一人前に育てるのは容易ではないから
**5.7** その他（具体的に　　）

（問２へ）

付問３．（あと）何人ぐらい子どもは欲しいですか。 **ST＝359**

**2.2** 人

付問４．男の子と女の子、どちらが欲しいのかと尋ねられたら、どちらが欲しいですか。
（○は１つだけ）

**36.5** 男の子　　**61.8** 女の子　　**1.7** ＮＡ

問２．(1) 子どもに、将来、どこまで教育を受けさせたいですか。（○は１つだけ）

**19.1** 定評のある大学（４年制）に進学させたい
**14.4** どこの大学でもよいから、大学（４年制）に進学させたい
**－** 短大に進学させたい
**1.7** 専門学校に進学させたい
**10.3** 高校までは進学させたい
**53.1** 本人次第
**1.4** ＮＡ

(2) その理由は何ですか。（○はいくつでも）

**27.8** 就職等で有利になるから
**3.8** 結婚等で有利になるから
**13.2** 社会的に高い評価を得ることができるから
**29.4** よい教育を受けさせたいため
**34.7** よい友人を作るため
**21.3** 何となく
**21.8** その他（具体的に　　）
**2.4** ＮＡ

〔問３～問９は中学生以下のお子さんのいらっしゃる方にお聞きします。それ以外の方は50ページへお進み下さい〕 ST＝14

問３．問３から問９は中学生以下のお子さんのうち一番年上のお子さんについて伺います。そのお子さんは公立の学校に通っていますか、私立の学校に通っていますか。

**42.9** 公　立　　－ 国　立　　－ 私　立　　**57.1** ＮＡ

---

問４．そのお子さんは何かお稽古事（学習塾、英会話等を除く）をなさっていますか。（○はいくつでも）

**14.3** 学校以外のスポーツ教室やスポーツ・クラブに通っている
－ 学校の部活動を行っている
－ ピアノなど音楽教室に通っている
－ 絵画や習字そろばん等の教室に通っている
－ その他（具体的に　　）
**57.1** 何もやっていない ⟶ （問６へ）　　**28.6** ＮＡ

---

問５．お稽古事に、すべて合わせて、１年間にいくらぐらい支出していますか。ST＝2

１年間に [ **1** **0** / **1** **0** ] 万　[ **0** / **0** ] 千円

---

問６．そのお子さんは学習塾や予備校（家庭教師を含む）、英会話等に通っていますか。ST＝14
（○はいくつでも）

－ 普段から通っている ⟶ 週　に [　] 回
　　月謝は月に [　　] 万 [　] 千円
－ 夏休みや冬休みの時に通っている ⟶ 費用は年に [　　] 万 [　] 千円

**71.4** 通っていない ⟶ （問９へ）　　**28.6** ＮＡ

---

問７．なぜ、学習塾や予備校、英会話等に通わせているのですか。（○はいくつでも）ST＝0

－ 学校（幼稚園）の成績が良くなると思うから
－ 学校（幼稚園）の成績が悪いので補習のため
－ 学校（幼稚園）の授業内容では不十分だと思うので
－ 受験をさせるため
－ 通わせないと不安だから
－ ほかの子が通っているから
－ 本人が行きたいといっているので
－ 時間が余っているから
－ その他（具体的に　　）

---

問８．学習塾や予備校、英会話等に通わせた結果を、どう評価していますか。

－ 通わせないよりも、よい結果が出ていると思う
－ 通わせても、通わせなくても、結果は変わらないと思う

---

〔問６で「３　通っていない」と答えた方に〕ST＝10

問９．今後、学習塾や予備校、英会話等に通わせる予定はありますか。　　ST＝1

**10.0** もう少し大きくなったら通わせる ⟶ 何歳ぐらいから [ **7.0** ] 歳
**30.0** 成績のいかんによっては通わせるかもしれない
**40.0** 通わせるつもりはない　　**20.0** ＮＡ





| 18 | あなたの友人関係についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．現在つき合いのある友人の人数を、以下のきっかけごとにお答え下さい。
ここでいう「友人」とは、あなたと１対１の関係でつき合いがある（会ったり、電話で話したり、文通したりする）友人をいいます。グループ交際の場合は含みません。
また、出会った「きっかけ」が重複する場合は、主なきっかけでお答え下さい。

| 出会った時期と主なきっかけ | | 何人いますか 女性 | 男性 |
|---|---|---|---|
| 幼なじみや、学校時代にできた友人 | | **10.2**<br>**10.5** | **3.7**<br>**6.0** |
| 学校を卒業してからできた友人 | 仕事を通して | **5.3**<br>**6.6** | **2.0**<br>**4.2** |
| | 趣味やボランティア活動などを通して | **1.7**<br>**6.5** | **1.0**<br>**4.9** |
| | 友人を通して | **1.4**<br>**4.2** | **1.1**<br>**3.9** |
| | 子どもを通して | **0.1**<br>**3.1** | **－**<br>**1.0** |
| | 以前の夫を通して | **－**<br>**3.3** | **－**<br>**1.5** |
| | 近所に住んでいることがきっかけで | **0.2**<br>**3.2** | **0.1**<br>**2.8** |
| | その他（　　） | **0.1**<br>**4.5** | **0.1**<br>**4.7** |
| 合　　計 | | **19.1**<br>**19.2** | **7.9**<br>**10.0** |

| 19 | 生活意識についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．あなたは生活全般に満足していますか。

**12.2** 満　足　　**44.5** どちらかといえば満足　　**31.1** どちらともいえない　　**8.9** どちらかといえば不満　　**2.9** 不　満

**0.5** NA

問２．ふだんのあなたの健康状態はどうですか。

**14.6** とても健康　　**40.7** まあ健康　　**32.1** ふつう　　**10.8** あまり健康ではない　　**1.4** まったく健康でない

**0.5** NA

問３．あなたは、自分の身体について、同年齢の人と比べて若い方だと思いますか。

**11.5** 若い方だと思う
**15.6** やや若い方だと思う
**50.5** ふつう
**19.4** やや老けている方だと思う
**2.6** 老けている方だと思う　　**0.5** NA

問４．現在のあなたの生活程度は、世間一般からみて、次のどれにはいると思いますか。

**0.7** 上　　**15.8** 中の上　　**56.0** 中の中　　**23.4** 中の下　　**3.6** 下

**0.5** NA

問５．ご家庭の現在の収入に満足していますか。

**4.8** とても満足　　**42.3** ほぼ満足　　**43.5** やや不満　　**8.6** とても不満　　**0.7** NA

問６．ご家庭の現在の消費（生活費支出）額に満足していますか。

**27.3** 使いすぎていることに不満　　**65.6** ほぼ満足　　**6.0** 少なすぎることに不満　　**1.2** NA

問７．ご家庭の現在の消費（生活費支出）の内容に満足していますか。

**2.4** とても満足　　**63.4** ほぼ満足　　**30.1** やや不満　　**2.2** とても不満　　**1.9** NA

問８．あなたは幸せだと思っていますか。それとも、不幸だと思っていますか。

**25.1** とても幸せ　　**53.6** まあまあ幸せ　　**14.4** どちらでもない　　**5.3** 少し不幸　　**1.0** とても不幸

**0.7** NA





| 20 | 結婚についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．結婚（法律にもとづくもの）はしたいですか。

**6.5** まもなく結婚することが決まっている　　**18.9** すぐにでもしたい　　**57.4** 今はしたくないが、いずれはしたい　　**11.2** 必ずしもしなくてよい　　**5.3** したくない　　**0.2** 不明

（問２へ）

**0.5** NA

付問１．いくつぐらいまでに結婚したいですか。

ST＝320

**30.3** 歳ぐらいまでに

付問２．現在結婚していない理由をお聞かせ下さい。（○は３つまで）

**12.8** 仕事がおもしろくて、まだ結婚にまで目が向かないから
**3.4** 勉強がおもしろくて、まだ結婚にまで目が向かないから
**25.6** 現在の生活に満足しているので、まだ結婚にまで目が向かないから
**27.8** 結婚前にやっておきたいことがあるから
**50.0** まだ結婚したい人に出会っていないから
**31.3** 恋人とつきあっているが、まだ結婚に踏み切るところまでいかないから
**6.3** 親の期待する結婚相手を見つけるのが難しいから
**6.6** その他（具体的に　　）　**0.3** NA

付問３．その理由は何ですか。ST＝69（○は３つまで）

**4.3** 仕事をしていく上で障害になるから
**31.9** 現在の生活に満足しているので、特に結婚の必要性を感じないから
**39.1** 結婚によって生活が向上するとは限らないから
**4.3** 経済的に自立しているので、あえて結婚する必要がないから
**13.0** 対等なパートナーとしてやっていけるような男性が少ないから
**20.3** 結婚という形にこだわらずに異性とつきあう方がいいから
**46.4** そもそも結婚に興味がないから
**8.7** 結婚制度に疑問を感じるから
**11.6** その他（具体的に　　）
**1.4** NA

〔全員の方に〕

問２．あなたは、**この１年間（平成19年10月～平成20年９月）**に、結婚に向けた次のような行動をしましたか。（○はいくつでも）

**1.7** 親戚や家族の紹介でお見合をした
**1.4** 友人の紹介でお見合をした
**12.4** 友人や親戚に男性の紹介を頼んだ
**0.2** この１年の間に、結婚紹介の会に加入した
**0.2** １年以上前から、結婚紹介の会に継続加入している
**3.6** 結婚情報誌を購読した
**29.2** 恋人と結婚について話し合った
**3.3** 婚約をした
**2.2** その他（具体的に　　）
**55.7** 何もしなかった　　**1.0** NA

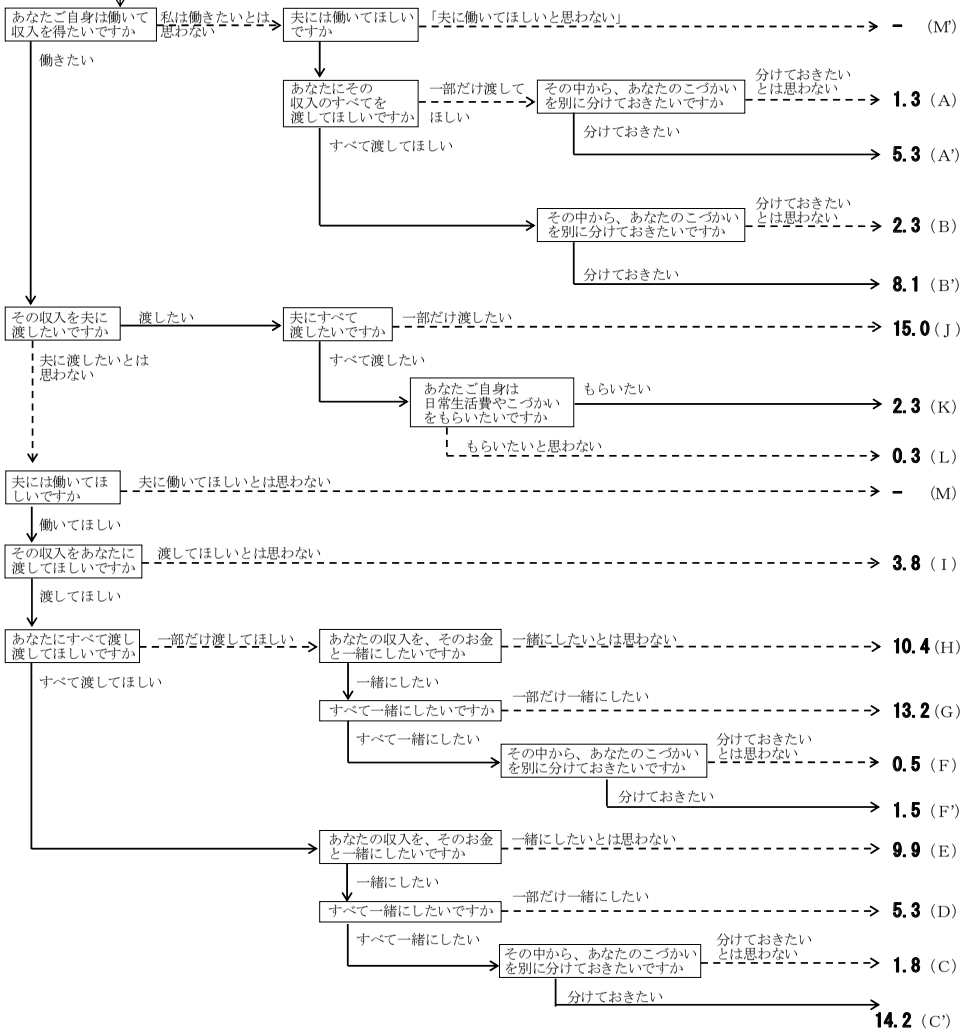
〔問１で１～４と答えた方のみお答え下さい〕

（結婚後の収入管理タイプ） ST＝394

問３．今後、もし結婚したら、あなたは月々の収入管理をどのようにしたいと思いますか。
ここからスタートし、それぞれ該当する矢印の方向に進んで、たどりついたタイプの番号に○をつけて下さい。

YES＝——
NO ＝- - - -

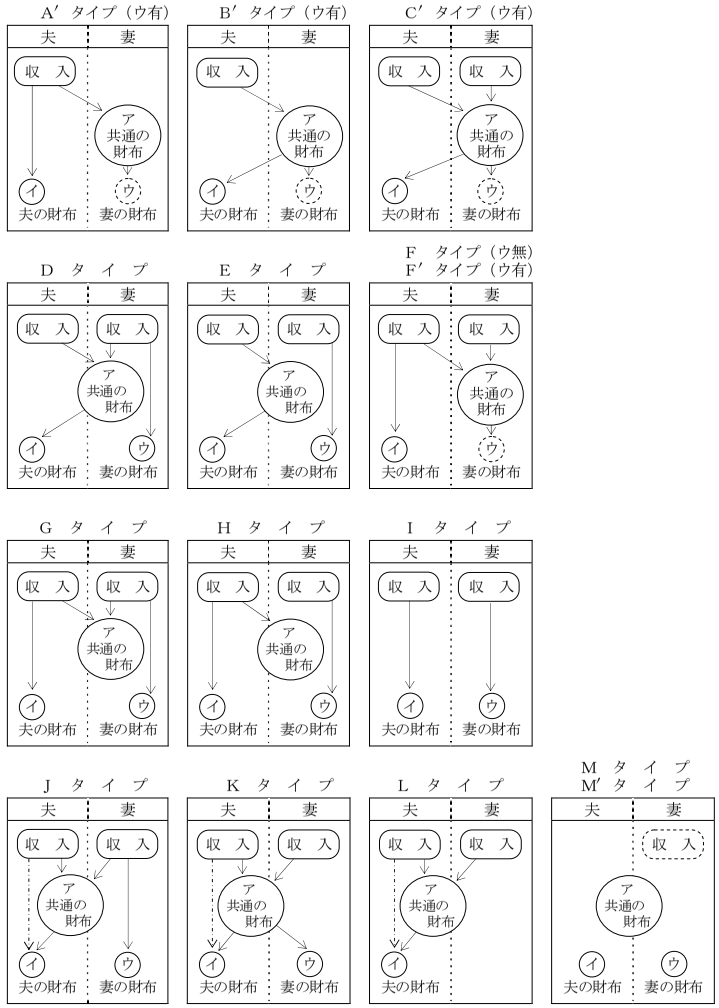
参考：図中に「収入を渡す」ということばがでてきますが、「収入を渡す」とは「管理を任せる」という意味に解釈して下さい。もちろん「現金を渡す」という意味も含みます。




4.8 NA



ご参考までに、たどりついた収入管理タイプを図にすると、次のようになります。



| 21 | あなたの考え方・ご意見についてうかがいます。 |
|---|---|

問１．この１週間のあなたのからだや心の状態についてお聞きします。以下のような気分やことがらをどのくらい経験しましたか。（1）～（12）についてそれぞれあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ○は１つだけ）

| | まったくなかった | 週に１～２日 | 週に３～４日 | ほとんど毎日 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| （1）ふだんは何でもないことをわずらわしいと感じたこと | **47.4** | **40.4** | **8.1** | **3.6** | **0.5** | NA |
| （2）家族や友達から励ましてもらっても気分が晴れないこと | **68.2** | **23.4** | **3.6** | **4.5** | **0.2** | NA |
| （3）憂うつだと感じたこと | **39.7** | **38.3** | **13.4** | **7.2** | **1.4** | NA |
| （4）物事に集中できなかったこと | **42.3** | **43.8** | **9.8** | **3.6** | **0.5** | NA |
| （5）食欲が落ちたこと | **78.7** | **17.9** | **1.7** | **1.2** | **0.5** | NA |
| （6）何をするのも面倒と感じたこと | **40.0** | **43.3** | **10.5** | **5.3** | **1.0** | NA |
| （7）何か恐ろしい気持がしたこと | **80.1** | **15.3** | **2.6** | **1.0** | **1.0** | NA |
| （8）なかなか眠れなかったこと | **63.9** | **25.1** | **6.0** | **4.5** | **0.5** | NA |
| （9）ふだんより口数が少なくなったこと | **70.3** | **22.5** | **4.5** | **2.2** | **0.5** | NA |
| (10) 一人ぼっちで寂しいと感じたこと | **64.4** | **23.7** | **6.0** | **5.5** | **0.5** | NA |
| (11)「毎日が楽しい」と感じたこと | **22.5** | **38.5** | **25.1** | **13.6** | **0.2** | NA |
| (12) 悲しいと感じたこと | **49.0** | **40.4** | **6.7** | **3.3** | **0.5** | NA |

問２．近年、離婚が増加してきましたが、あなたはそれについてどのようにお考えになりますか。あなたのお考えに最も近いものを１つお答え下さい。

**47.4** 問題のある結婚生活なら解消した方がよい
**25.6** 自分の生き方や気持ちを大切にするのは悪いことではない
**3.6** 離婚を悪いことだとする考えが減ったので、仕方がない
**21.8** 子どもが犠牲になるので、よくない
**1.2** どんなことがあっても、結婚生活はまっとうすべきだ
**0.5** NA

問３．最近食品が値上がりしていますが、値上がりした食品の購入について、あなたはどのような対応をとりましたか。最も多くとった行動を１つお答え下さい。

**17.0** これまでより購入する量を減らした。
**4.3** 廉価品や輸入品など、より安い商品を購入するようにした。
**3.1** パンからお米に代えるなど、代替品や類似品を購入するようにした。
**41.1** まとめ買いや特売の日に買うなど、安く購入する努力をした。
**33.3** 食品は、これまでと同じように買い物している。
**1.2** NA

大変長い間、ご協力ありがとうございました。

## 執筆者紹介 （五十音順）


**伊藤　ななえ（いとう・ななえ　第 II 部）**

財団法人 家計経済研究所 研究助手。

**久木元　真吾（くきもと・しんご　第 1 章）**

財団法人 家計経済研究所 次席研究員。主な論文に「若者の大人への移行と『働く』ということ」(小杉礼子編『若者の働きかた』ミネルヴァ書房, 2009)。社会学・生活経営学専攻。（kukimoto@kakeiken.or.jp）

**坂口　尚文（さかぐち・なおふみ　第 2 章）**

財団法人 家計経済研究所 研究員。主な論文に「所得流動性の再検証」（『季刊家計経済研究』80，2008)。労働経済学専攻。（sakaguchi@kakeiken.or.jp）

**坂本　和靖（さかもと・かずやす　第 3 章、第 II 部）**

財団法人 家計経済研究所 研究員。主な論文に「世帯内における消費・余暇配分の構造」（チャールズ ユウジ ホリオカ・財団法人家計経済研究所編『世帯内分配・世代間移転の経済分析』ミネルヴァ書房，2008)。労働経済学、生活経済学専攻。（sakamoto@kakeiken.or.jp）

**田中　慶子（たなか・けいこ　第 5 章）**

財団法人 家計経済研究所 研究員。主な論文に「若年層の家族意識は保守化しているのか」（SSJDA『家族形成に関する実証研究』，2007)。家族社会学専攻。（tanaka@kakeiken.or.jp）

**福田　節也（ふくだ・せつや　第 6 章）**

マックスプランク人口研究所研究員・財団法人 家計経済研究所 嘱託研究員。主な論文に“Leaving the Parental Home in Post-war Japan: Demographic Changes, Stem-family Norms and the Transition to Adulthood”（*Demographic Research*, 20(30), 2009）。人口学・家族社会学専攻。

（fukuda@demogr.mpg.de）

**村上　あかね（むらかみ・あかね　第 4 章）**

東京大学社会科学研究所 准教授・財団法人 家計経済研究所 客員研究員。主な論文に「家族と貧困」（野々山久也編『論点ハンドブック家族社会学』世界思想社，2009）。家族社会学、社会階層論、社会調査法専攻。

（murakami@iss.u-tokyo.ac.jp）

家計経済研究所パネル調査研究報告書 No.4

# 女性の生き方と家計

## 消費生活に関するパネル調査（第 16 年度）

発行年月　2009 年 10 月
編集・発行　財団法人 家計経済研究所
〒102-0093　東京都千代田区平河町 1-3-13
ヒューリック平河町ビル 6 階
電話　（03）3221-7291
FAX　（03）3221-7255

印刷・製本　佐藤印刷株式会社

Ⓒ2009